令和６年度

市　政　年　報

栃　木　市

ご　あ　い　さ　つ



令和６年度市政年報を発行するに当たりまして、ごあいさつを申し上げます。

この市政年報は、市政の概要を記録し市民の皆様に提供するとともに、市政運営の成果を後世に伝えるために作成しております。

令和６年度を振り返りますと、フランス・パリを中心にオリンピック・パラリンピックが開催され、日本中がスポーツに盛り上がった年でありました。そのような中、本市は全日本女子野球連盟より全国で１６番目となる「女子野球タウン」に認定されました。これは、これまでの栃木さくらカップ開催の実績が評価されたものであり、今後も、女子野球の普及と併せて、女性活躍のまちづくりを推進してまいります。

また、令和３年度から整備を進めてまいりました栃木インター産業団地において、１０月に国内大手のデータセンター事業者等の立地が内定し、令和７年３月に土地の引き渡しを行いました。今回の分譲により、新たな雇用の創出と固定資産税等の市税の収入増を見込んでいるほか、地元経済への波及効果も期待できると考えております。今後も、引き続き、新たな雇用の創出及び自主財源の確保に向け、産業団地の整備を進めてまいります。

さらに、本市の公共施設再編の先導的モデル事業に位置付け、総合支所・公民館・図書館の複合施設として整備してまいりました都賀総合支所を、令和７年２月２５日に開庁いたしました。都賀地域の拠点施設として多くの市民の方にご利用いただくとともに、二十歳の集いや文化祭など、地域のイベント会場として、賑わいの創出に努めてまいります。

今後におきましても、市民の皆様一人ひとりが幸せを感じられるよう、第２次栃木市総合計画に掲げる将来都市像「豊かな自然と共生し優しさと強さが調和した活力あふれる栃木市」の実現を目指して、各種施策の推進に取り組んでまいりますので、皆様の更なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和７年８月

栃木市長　大 川 秀 子

全日本女子野球連盟・栃木市
女子野球タウン
認定書授与式・協定調印式





都賀総合支所
完成

とちぎ秋祭り





栃木インター産業団地

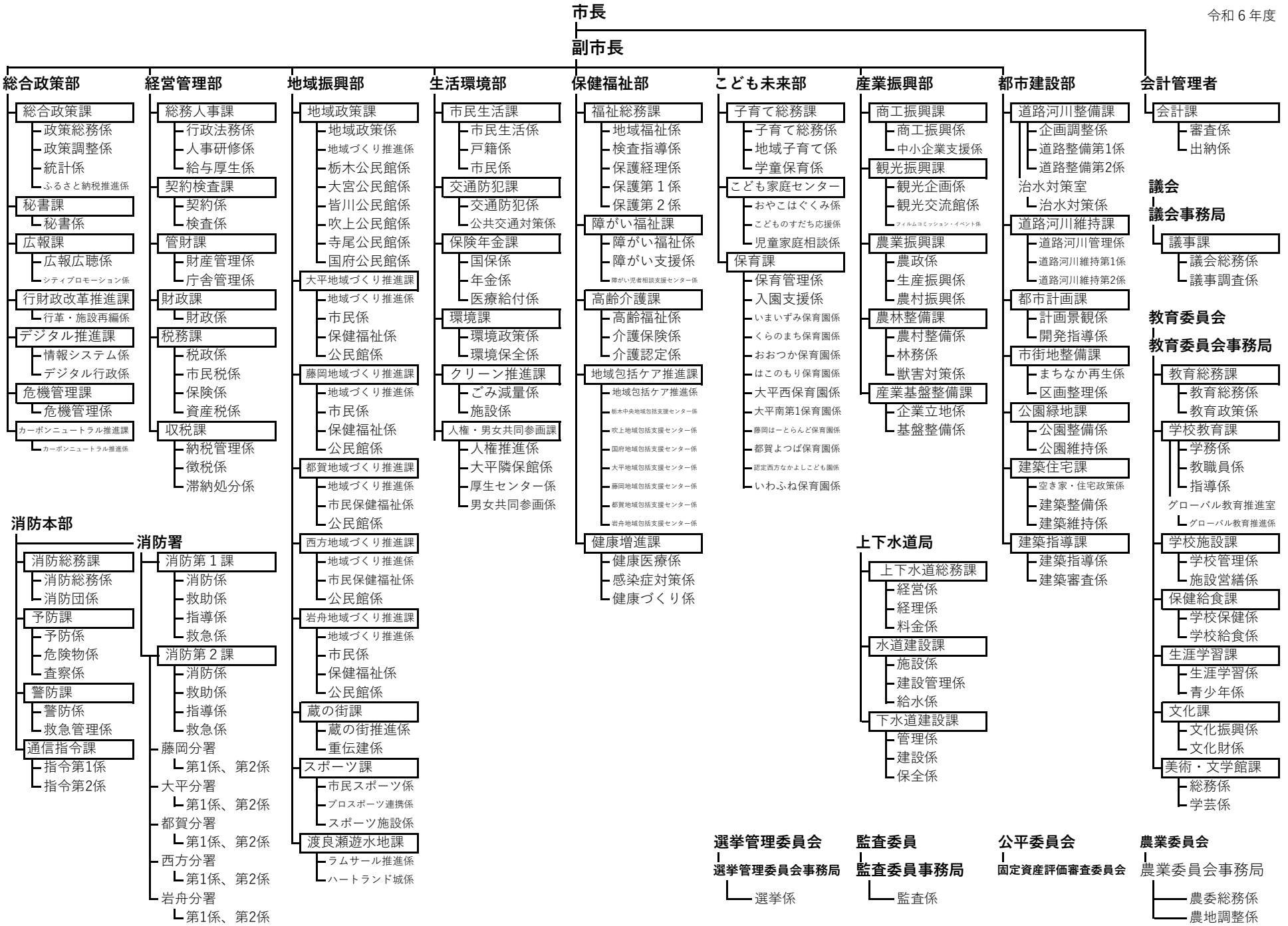
目　　次

組 織 図

第１章　　総合政策部
　第1節　　総　合　政　策　課…… 1
　第2節　　秘　　書　　課…… １１
　第3節　　広　　報　　課…… １４
　第4節　　行財政改革推進課…… ２２
　第5節　　デ ジ タ ル 推 進 課…… ２５
　第6節　　危　機　管　理　課…… ３１
　第7節　　カーボンニュートラル推進課…… ３６
第２章　　経営管理部
　第1節　　総　務　人　事　課…… ３９
　第2節　　契　約　検　査　課…… ６２
　第3節　　管　　財　　課…… ６６
　第4節　　財　　政　　課…… ７２
　第5節　　税　　務　　課…… ７８
　第6節　　収　　税　　課…… ９０
第３章　　地域振興部
　第1節　　地　域　政　策　課…… ９６
　第2節　　大平地域づくり推進課……１３１
　第3節　　藤岡地域づくり推進課……１５５
　第4節　　都賀地域づくり推進課……１７７
　第5節　　西方地域づくり推進課……１９９
　第6節　　岩舟地域づくり推進課……２２１
　第7節　　蔵　　の　　街　　課……２４５
　第8節　　ス　ポ　ー　ツ　課……２５２
　第9節　　渡 良 瀬 遊 水 地 課……２６５
第４章　　生活環境部
　第1節　　市　民　生　活　課……２７２
　第2節　　交　通　防　犯　課……２８９
　第3節　　保　険　年　金　課……２９９
　第4節　　環　　境　　課……３１０
　第5節　　ク リ ー ン 推 進 課……３１９
　第6節　　人権・男女共同参画課……３２９
第５章　　保健福祉部
　第1節　　福　祉　総　務　課……３４９
　第2節　　障 が い 福 祉 課……３６０
　第3節　　高　齢　介　護　課……３７４
　第4節　　地域包括ケア推進課……３８９
　第5節　　健　康　増　進　課……４０６

第６章　こども未来部
第１節　子育て総務課……４３２
第２節　こども家庭センター……４５３
第３節　保育課……４６７
第７章　産業振興部
第１節　商工振興課……４７６
第２節　観光振興課……４９９
第３節　農業振興課……５１４
第４節　農林整備課……５２９
第５節　産業基盤整備課……５４４
第８章　都市建設部
第１節　道路河川整備課……５５１
第２節　道路河川維持課……５５９
第３節　都市計画課……５６４
第４節　市街地整備課……５７２
第５節　公園緑地課……５７７
第６節　建築住宅課……５８６
第７節　建築指導課……５９３
第９章　会計課……５９８
第10章　議会事務局
第１節　議事課……６０９
第11章　上下水道局
第１節　上下水道総務課……６２９
第２節　水道建設課……６３４
第３節　下水道建設課……６４１
第12章　消防本部
第１節　消防総務課……６５６
第２節　予防課……６６４
第３節　警防課……６６９
第４節　通信指令課……６７５
第５節　消防署……６７９
第13章　教育委員会事務局
第１節　教育総務課……６８８
第２節　学校教育課……６９４
第３節　学校施設課……７１１
第４節　保健給食課……７１９
第５節　生涯学習課……７２８
第６節　文化課……７５９
第７節　美術・文学館課……７７５
第14章　選挙管理委員会事務局……７８６
第15章　監査委員事務局……７９５
第16章　公平委員会……７９９
第17章　固定資産評価審査委員会……８００
第18章　農業委員会事務局……８０１

令和６年度


市長
副市長
総合政策部
総合政策課
政策総務係
政策調整係
統計係
ふるさと納税推進係
秘書課
秘書係
広報課
広報広聴係
シティプロモーション係
行財政改革推進課
行革・施設再編係
デジタル推進課
情報システム係
デジタル行政係
危機管理課
危機管理係
カーボンニュートラル推進課
カーボンニュートラル推進係
経営管理部
総務人事課
行政法務係
人事研修係
給与厚生係
契約検査課
契約係
検査係
管財課
財産管理係
庁舎管理係
財政課
財政係
税務課
税政係
市民税係
保険係
資産税係
収税課
納税管理係
徴税係
滞納処分係
地域振興部
地域政策課
地域政策係
地域づくり推進係
栃木公民館係
大宮公民館係
皆川公民館係
吹上公民館係
寺尾公民館係
国府公民館係
大平地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民係
保健福祉係
公民館係
藤岡地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民係
保健福祉係
公民館係
都賀地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民保健福祉係
公民館係
西方地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民保健福祉係
公民館係
岩舟地域づくり推進課
地域づくり推進係
市民係
保健福祉係
公民館係
蔵の街課
蔵の街推進係
重伝建係
スポーツ課
市民スポーツ係
プロスポーツ連携係
スポーツ施設係
渡良瀬遊水地課
ラムサール推進係
ハートランド城係
生活環境部
市民生活課
市民生活係
戸籍係
市民係
交通防犯課
交通防犯係
公共交通対策係
保険年金課
国保係
年金係
医療給付係
環境課
環境政策係
環境保全係
クリーン推進課
ごみ減量係
施設係
人権・男女共同参画課
人権推進係
大平隣保館係
厚生センター係
男女共同参画係
保健福祉部
福祉総務課
地域福祉係
検査指導係
保護経理係
保護第１係
保護第２係
障がい福祉課
障がい福祉係
障がい支援係
障がい児者相談支援センター係
高齢介護課
高齢福祉係
介護保険係
介護認定係
地域包括ケア推進課
地域包括ケア推進係
栃木中央地域包括支援センター係
吹上地域包括支援センター係
国府地域包括支援センター係
大平地域包括支援センター係
藤岡地域包括支援センター係
都賀地域包括支援センター係
岩舟地域包括支援センター係
健康増進課
健康医療係
感染症対策係
健康づくり係
こども未来部
子育て総務課
子育て総務係
地域子育て係
学童保育係
こども家庭センター
おやこはぐくみ係
こどものすだち応援係
児童家庭相談係
保育課
保育管理係
入園支援係
いまいずみ保育園係
くらのまち保育園係
おおつか保育園係
はこのもり保育園係
大平西保育園係
大平南第1保育園係
藤岡はーとらんど保育園係
都賀よつば保育園係
認定西方なかよしこども園係
いわふね保育園係
産業振興部
商工振興課
商工振興係
中小企業支援係
観光振興課
観光企画係
観光交流館係
フィルムコミッション・イベント係
農業振興課
農政係
生産振興係
農村振興係
農林整備課
農村整備係
林務係
獣害対策係
産業基盤整備課
企業立地係
基盤整備係
都市建設部
道路河川整備課
企画調整係
道路整備第1係
道路整備第2係
治水対策室
治水対策係
道路河川維持課
道路河川管理係
道路河川維持第1係
道路河川維持第2係
都市計画課
計画景観係
開発指導係
市街地整備課
まちなか再生係
区画整理係
公園緑地課
公園整備係
公園維持係
建築住宅課
空き家・住宅政策係
建築整備係
建築維持係
建築指導課
建築指導係
建築審査係
会計管理者
会計課
審査係
出納係
議会
議会事務局
議事課
議会総務係
議事調査係
教育委員会
教育委員会事務局
教育総務課
教育総務係
教育政策係
学校教育課
学務係
教職員係
指導係
グローバル教育推進室
グローバル教育推進係
学校施設課
学校管理係
施設営繕係
保健給食課
学校保健係
学校給食係
生涯学習課
生涯学習係
青少年係
文化課
文化振興係
文化財係
美術・文学館課
総務係
学芸係
消防本部
消防総務課
消防総務係
消防団係
予防課
予防係
危険物係
査察係
警防課
警防係
救急管理係
通信指令課
指令第1係
指令第2係
消防署
消防第１課
消防係
救助係
指導係
救急係
消防第２課
消防係
救助係
指導係
救急係
藤岡分署
第1係、第2係
大平分署
第1係、第2係
都賀分署
第1係、第2係
西方分署
第1係、第2係
岩舟分署
第1係、第2係
上下水道局
上下水道総務課
経営係
経理係
料金係
水道建設課
施設係
建設管理係
給水係
下水道建設課
管理係
建設係
保全係
選挙管理委員会
選挙管理委員会事務局
選挙係
監査委員
監査委員事務局
監査係
公平委員会
固定資産評価審査委員会
農業委員会
農業委員会事務局
農委総務係
農地調整係

第１章　総合政策部

第１節　総合政策課

〔総括概要〕

総合政策課の主な分掌事務は、市政の総合的な企画調整、総合計画の進行管理、特命事業の企画調整、国際及び国内交流事業、及び各種統計調査の実施等である。

市政運営の最上位計画である第2次栃木市総合計画については、栃木市自治基本条例に基づき、令和5年3月に策定し、これを計画的に推進するため、令和7年度、令和8年度の実施計画を定めた。

行政評価については、第2次栃木市総合計画の義務的事業を除く事務事業を対象に、栃木市行政評価制度に基づき、内部評価の後、栃木市市民会議委員による外部評価を実施し、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理を行った。また、併せて、第2次栃木市総合計画に位置付けている基本方針を横断する4つのプロジェクトについても評価を実施した。

庁議、部長会議等については、政策、施策等の決定、全庁的な意見調整等、重要案件の審議を行う場として、定期的に開催した。

国際交流事業については、栃木市国際交流協会への委託事業として、外国人住民向けに外国語による相談窓口の開設や生活情報の提供等を行った。また、公共交通視察及び意見交換のため、金華市副市長を代表とする訪問団を受け入れた。

国内交流事業についても、友好親善都市である北海道滝川市で開催された「たきかわ菜の花まつり」への出展や、「栃木市の産業と物産展」への滝川市職員と事業者の出展など交流を継続した。

統計関係では、学校基本調査、全国家計構造調査、農林業センサス、国勢調査調査区設定の基幹統計調査のほか、県単統計調査として毎月人口調査を実施した。

政策総務係

1　国際交流関係

(1)　友好・姉妹都市との交流

ア　中国浙江省金華市

金華市からの訪問団受入

・実施日　10月21日（月）

・受入団体　王志強金華市人民政府副市長　外政府関係者5名

国有企業関係者2名

イ　米国インディアナ州エバンズビル市

姉妹都市留学プログラムの参加者募集の継続

(2)　外国人住民支援事業

ア　栃木市国際交流協会及び市役所において、外国人相談窓口の開設、外国語による

生活情報の提供を行った。

・相談内容内訳　　（単位：件）

相談内容	件数
税金・年金・社会保険	380
通訳・翻訳依頼	244
福祉・医療費・生活費	123
入管手続	94
学校教育	44
その他	1,057
合　　計	1,942

イ　多言語による情報提供

広報とちぎの一部を抜粋し、翻訳したものを発行した。また、ＦＭくららにおいて、多言語による情報の提供を行った。（毎月1回）

・対応言語：7か国語（英語、中国語、スペイン語、フィリピン語、ネパール語、ベトナム語、シンハラ語）

2　国内交流関係

友好親善都市である滝川市と交流を行った。

(1)　2024たきかわ菜の花まつり

・実施日　5月18日(土)、19日(日)

・会　場　道の駅たきかわ

・内　容　職員1名参加（物産販売、観光ＰＲ）

(2)　第45回栃木市の産業と物産展

・実施日　11月2日(土)、3日(日)

・会　場　蔵の街第一駐車場

・内　容　滝川市職員2名、事業者1名参加（物産販売、観光ＰＲ）

3　両毛線整備促進期成同盟会（高崎市、前橋市、伊勢崎市、桐生市、みどり市、足利市、佐野市、栃木市、小山市）

両毛線の施設整備等の促進を図るため、両毛線整備促進期成同盟会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所
6月24日（月）	第1回担当者会議	美喜仁桐生文化会館 （桐生市市民文化会館）
11月28日（木）	第2回担当者会議	美喜仁桐生文化会館 （桐生市市民文化会館）
7月31日（水）	総会	文書による承認
2月下旬	チラシ配布	各市町内中学3年生に配布

2月25日（火）	要望活動	ＪＲ東日本株式会社 高崎支社

4　宇都宮線・両毛線・水戸線・真岡鐵道沿線地域活性化推進協議会（旧名：東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会）（結城市、筑西市、足利市、栃木市、佐野市、小山市、真岡市、下野市）

小山駅に接続する宇都宮線、両毛線、水戸線沿線地域の発展と地域住民の利便性の向上を図るため、宇都宮線・両毛線・水戸線・真岡鐵道沿線地域活性化推進協議会の活動に参加した。

令和6年度においては、東北新幹線小山駅停車増便の目的を果たしたとして、在来線を含め、減便をさせない、現状を維持するといった要望活動を展開することになり、総会において名称及び会則等の変更を行った。

また、ＪＲ東日本大宮支社において実施した首都圏重点宣伝地域キャンペーンと連携し、沿線地域の魅力を発信するためデジタルスタンプラリーとなる「北関東ローカル線東西スタンプラリー」を開催した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
4月19日（金）	第1回幹事会	小山市役所	
5月23日（木）	第2回幹事会	小山市役所	
8月23日（金）	総会	小山市役所	
9月30日（月）	第3回幹事会	小山市役所	
12月1日（日）～2月28日（金）	北関東ローカル線東西スタンプラリー	駅周辺の各市イチ推しスポット（全8か所）	
3月25日（火）	要望活動	文書による実施	

5　北関東・新潟地域連携軸推進協議会（新潟市、加茂市、長岡市、柏崎市、湯沢町、沼田市、渋川市、前橋市、高崎市、伊勢崎市、玉村町、みなかみ町、足利市、佐野市、小山市、栃木市、水戸市、茨城町、ひたちなか市）

北関東及び新潟地域との連携を図るため、北関東・新潟地域連携軸推進協議会の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
5月16日（木）	総会	文書による承認	
9月 2日（月）	第1回担当課長会議	文書による承認	
3月10日（月）	第2回担当課長会議	文書による承認	

6　関東どまんなかサミット会議（古河市、加須市、野木町、板倉町、栃木市、小山市）

茨城県、埼玉県、群馬県及び栃木県の県境に位置する隣接地方自治体が相互に協力して、魅力ある圏域の形成を目指す関東どまんなかサミット会議の活動に参加した。

・活動内容

実施日	内　　容	場　　所	備考
4月26日（金）	第1回幹事会	古河市役所	
5月24日（金）	サミット会議 （板倉ニュータウン販売センター等視察）	板倉ニュータウン販売センター等	

7　マイナンバーカード普及促進事業に関すること

マイナンバーカードの普及を促進するため、昨年度から引き続き、市内郵便局29局において申請受付を実施した。また、令和5年9月から市の窓口まで足を運ぶことが難しい方を対象として、市職員及び委託業者が自宅や福祉施設等に訪問して申請を受け付け、後日マイナンバーカードを交付する出張申請受付事業を実施した。

(1)　市内郵便局

月	受付件数（件）
4月	14
5月	51
6月	56
7月	56
8月	100
9月	71
10月	88
11月	165
12月	148
1月	137
2月	119
3月	147
合計	1,152

(2)　マイナンバーカード出張申請受付

月	受付件数（件）
8月	24
9 月	21
10月	151
11月	168
12月	95
1月	33
2月	37
3月	18

合計	547

政策調整係

1　第2次栃木市総合計画

本市の自治の最高規範である「栃木市自治基本条例」の規定に基づき、市の最上位計画としての総合計画を策定し、これに基づき総合的かつ計画的な行政運営を行っている。

総合計画は、本市の10年後の目指すべき将来像を定め、その実現を図っていく基本構想と、5年間の部門ごとの現状と課題、施策の方向性を取りまとめた基本計画で構成し、市の将来都市像として「豊かな自然と共生し　優しさと強さが調和した　活力あふれる栃木市」を定めた。

また、総合計画の進捗管理は、栃木市行政評価制度により行い、栃木市市民会議委員による外部評価も併せて実施した。更に、第2次栃木市総合計画に位置付けている基本方針を横断する4つのプロジェクトについても評価を実施した。実施計画については、令和7年度・令和8年度分を策定し、実施する事務事業を明らかにした。

2　庁議

市長が主宰し、市政の基本方針等の審議または協議を行った。

・開催回数　25回
・内　　容　審議事項　　111件
　　報告事項　　45件
　　連絡事項　　10件

3　部長会議

副市長が主宰し、重要な事業等の審議または協議を行った。

・開催回数　10回
・内　　容　審議事項　　35件
　　報告事項　　8件
　　連絡事項　　1件

4　幹事課長会議

総合政策部長が主宰し、業務の調整及び報告を行った。

・開催回数　11回
・内　　容　審議事項　　31件
　　報告事項　　13件
　　連絡事項　　0件

5　土地利用対策に関すること

土地利用の諸問題を、総合的に検討、調整し、本市の総合的かつ計画的な土地利用を

図るため、栃木市土地利用対策委員会において協議を行った。

(1)　大規模開発事業について

・会議開催　1回

(2)　廃棄物処理施設設置等について

・文書照会　4件

6　栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関すること

まち・ひと・しごと創生法に基づき国が定めた総合戦略を踏まえながら人口減少問題に取り組むため、平成27年10月に「栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。その後、国の総合戦略の改訂を踏まえ、令和2年3月に「第2期栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、令和6年3月に第2期「栃木市デジタル田園都市国家構想の実現に向けたまち・ひと・しごと創生総合戦略」として改訂を行い、人口の将来展望を達成するための施策を実施している。

施策の実施に当たっては、進捗管理を行うとともに、その進捗状況や地方創生関連交付金を活用した事業に対し、栃木市まち・ひと・しごと創生総合戦略有識者懇談会を開催して意見を聴取した。

7　定住自立圏構想に関すること

定住自立圏構想は、圏域ごとに「集約とネットワーク」の考えに基づき、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確保し、地域圏への人口定住を促進する政策であり、平成27年3月に「中心市宣言」を行い、平成27年6月議会において「定住自立圏形成方針」を定めた後、平成28年3月の定住自立圏共生ビジョン懇談会の開催等を経て、平成28年8月に「栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定した。

平成31年3月には、ＰＤＣＡサイクルによる進捗管理を行っていくための成果指標（ＫＰＩ）を設定するため、「栃木市定住自立圏共生ビジョン」を改訂した。令和3年3月には「第2期栃木市定住自立圏共生ビジョン」を策定し、事業の進捗管理を行い、定住自立圏構想の推進に取り組んでいる。

8　小平浪平翁顕彰に関すること

平成30年10月5日に、栃木市出身で株式会社日立製作所の創業者である小平浪平氏の生家の土地、建物が市に寄贈され、令和4年10月から施設見学の受入れを実施している。

また、同氏の生誕から150年を記念して、その功績を顕彰することや、郷土への愛着と気運の醸成を図るため、小平浪平顕彰基金を活用した、生誕地及び関連施設である日立オリジンパーク等を巡る顕彰ツアーを計6回実施し、小学生向けに同氏の社会科資料集をデジタルブックにて作成し配信した。

令和7年1月15日には、生誕150年記念事業として小平浪平シンポジウムを開催し、同氏の地元小学校児童による研究発表を第1部とし、日立市や日立製作所など小平浪平に縁ある関係者を集めて座談会を行った。

(1)　基金の額　　（単位：円）

令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
29,315,419	9,014,000	38,329,419

(2)　運用の状況　（単位：円）

種　別	金　額
ふるさと応援寄附	11,970,000
企業版ふるさと納税	5,000,000

(3)　小平浪平生誕地見学者数　（単位：人）

種　別	人　数
見学者数	499

(4)　小平浪平生顕彰ツアー参加者数　（単位：人）

種　別	人　数
参加者数	229

(5) 小平浪平シンポジウム観覧者数

種　別	人　数
参加者数	300

9　蔵の街市民ギャラリーに関すること

令和3年3月に閉館した蔵の街美術館を、総合政策課に所管替えし、令和3年11月1日に蔵の街市民ギャラリーとしてリニューアルオープンした。内部にはギャラリーの展示室として3部屋、チャレンジショップのブースとして1部屋を設置し、貸出しを行った。

利用状況

種　別	利用件数	利用日数	使用料
展示室	27件	208日	250,500円
チャレンジショップ	2件	2か月	50,000円

10　栃木市政策フェローに関すること

本市における政策を推進するに当たり、陳内裕樹氏、渡邉賢一氏、相川七瀬氏、小出泰久氏の4名を栃木市政策フェローとして委嘱し、各分野において専門的な立場からの支援、助言をいただいた。

11　栃木市東京サテライトオフィスに関すること

令和5年度から東京都港区虎ノ門ヒルズビジネスタワーのCIC Tokyo内に栃木市のサテライトオフィスを設置している。東京圏の人や企業に対して本市の魅力を発信するとともに、新たな関係を構築しながら、市内企業と東京圏企業との事業連携や企業誘致、本市への移住促進などに取り組んだ。

12　物価高騰対応臨時給付金の給付に関すること

令和5年11月2日に閣議決定された『デフレ完全脱却のための総合経済対策』において

「住民税非課税世帯には該当しないが、個人住民税の定額減税の対象とならない住民税均等割のみ課税される世帯、定額減税が開始される時期に新たな課税情報により住民税非課税世帯に該当することが判明する世帯、低所得者世帯のうち世帯人数が多い子育て世帯や、定額減税の恩恵を十分に受けられないと見込まれる所得水準の者に適切な支援を行う」ことが盛り込まれたことを受け、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し以下の給付金を支給した。

給付金の種類	対象及び給付額	給付件数	給付総額（万円）
令和 5 年度住民税均等割のみ課税世帯支援臨時給付金	令和 5 年度住民税均等割のみ課税世帯に対し 10 万円	3,496 世帯	34,960
令和 5 年度低所得子育て世帯支援こども加算臨時給付金	令和 5 年度住民税所得割非課税世帯のうち、18 歳以下の児童がいる世帯に対し 18 歳以下の児童 1 人あたり 5 万円	1,028 世帯	8,980
令和 6 年度新たな低所得世帯支援臨時給付金	令和 5 年度住民税所得割課税世帯が令和 6 年度住民税所得割非課税となった世帯に対し 10 万円	2,202 世帯	22,020
令和 6 年度新たな低所得子育て世帯支援こども加算臨時給付金	令和 5 年度住民税所得割課税世帯が令和 6 年度住民税所得割非課税となった世帯のうち、18 歳以下の児童がいる世帯に対し 18 歳以下の児童 1 人あたり 5 万円	214 世帯	1,695
令和 6 年度低所得者支援及び定額減税補足給付金（調整給付）	令和 6 年度定額減税しきれないと想定される者に対し 1 万円単位に切り上げた額	26,007 人	108,597

統計係

1　基幹統計調査

(1)　学校基本調査（文部科学省）

学校教育行政に必要な学校に関する基本的事項（学校数、学級数、在学者数、教職員数、施設等）を明らかにするため、調査を実施した。

・調査期日　5月1日

・調査校

区　分	対象数
小学校	29校

中学校	14校
幼稚園	5園
幼保連携型認定こども園	13園
専修学校	4校
各種学校	2校

(2)　全国家計構造調査（総務省）

家計の収入及び支出、住宅と宅地の所有状況、貯蓄・負債現在高を調査し、家計の構造を所得、消費及び資産の観点から総合的に把握するとともに、地域の実態を明らかにすることを目的として実施した。

・調査期日　10月及び11月

・調査対象　基本調査　9調査単位区　108世帯

簡易調査　9調査単位区　108世帯

（1調査単位区：2人以上世帯　10世帯、単身世帯　2世帯）

・調査区数　18調査区

・調査員　　18人（基本調査　9人、簡易調査　9人）

・指導員　　6人

(3)　農林業センサス（農林水産省）

我が国の農林業の生産構造や就業構造の実態を明らかにすることを目的として実施した。

・調査期日　2月1日

・調査対象　農業や林業を行っている農家、林家や法人

・調査区数　409調査区

・調査員　　332人

・指導員　　19人

(4) 国勢調査調査区設定（総務省）

令和7年国勢調査の調査区を設定した。

・調査区設定日　10月1日

・調査区数　1,086調査区

2　県単統計調査

(1)　栃木県毎月人口調査

国勢調査の実施間における県下の常住人口と世帯数を推計し、その動向を明らかにするための調査で、市民生活課の資料を基に、本市における毎月1日から末日までの出生・死亡・転入・転出者数及び世帯の増減数を加減し推計した人口調査票を作成し、報告した。

3　その他の事業

(1)　統計調査員確保対策事業

指定統計調査を円滑に行うため、県の指導の下、統計調査員の募集、登録を行った。

また、統計調査員の各種表彰の推薦を行った。

・統計調査員数　264人

(2)　市統計データ作成事業

市政の現状とその推移を明らかにするため、市に関する基本的な統計資料を収集し、ホームページ上に「令和6年度版統計データ」として掲載した。

(3)　令和7年版県民手帳の周知

県統計協会からの依頼を受け、一部市内コンビニエンスストア及び一部書店にて販売される旨を周知した。

ふるさと納税推進係

1　栃木市ふるさと応援寄附（個人版ふるさと納税）に関すること

市ホームページ及びふるさと納税ポータルサイトへの情報掲載やインターネット広告などを通して、ＰＲに努めた。また、返礼品提供事業者の新規開拓に努め、返礼品の拡充を図った。

内　容	数　量
寄附件数	43,236件
寄附金額	1,663,915,000円
返礼品数	約780品

2　栃木市企業版ふるさと納税に関すること

令和２年11月６日に地域再生計画の認定を受け、寄附の受付を開始した。また、市ホームページに情報を掲載し、ＰＲに努めた。

内　容	数　量
寄附件数	10件※
寄附金額	3,100,000円※

※企業名、寄附金額非公開希望分は除く

第２節　秘書課

〔総括概要〕

秘書課の主な分掌事務は、秘書関係業務である。

秘書関係業務として、市長のトップマネジメントが十分に発揮できる環境を常に整えるため、庁内各課と緊密な連携を図るとともに、課内職員間の確認・連絡・報告を徹底し、秘書機能の充実に努めた。

また、市政功労者等表彰式を挙行し、本市に対して功績が顕著であった個人や団体を顕彰するとともに、その活動等の社会的な認知の浸透に努めた。さらに、市内各界の方々との相互交流を通じて、未来に向けたまちづくりへの連帯感の醸成を図ることを目的として、関係団体との協力のもと新春賀詞交歓会を開催した。

秘書係

1　市長のホームページの管理

・市長のメッセージの更新　　随時
・市長の主な動きの更新　　月１回（各月ごとにその翌月に写真で紹介）
・市長の交際費支出状況の更新　月１回（各月ごとにその翌月１日頃）

2　下野新聞社への市長日程の提供

毎月下旬に翌月分の市長日程の抜粋を報告した。

3　表彰

市政功労者等の表彰式を開催した。

・実施日　11月７日（木）
・場　所　市役所　正庁
・市政功労表彰（敬称略）

表彰条例第３条第１項による表彰（各種委員等における永年在職者）

人権擁護委員	在職15年０月	石原　謙太郎
自治会長	在職20年７月	関口　輝雄
学校医	在職20年７月	大塚　信行
学校医	在職26年７月	熊倉　忍
学校医	在職25年０月	松永　將裕
学校歯科医	在職20年７月	清野　栄治
学校薬剤師	在職20年７月	小林　弘明
スポーツ推進委員	在職20年７月	橋村　政子
障害者支援団体代表	在職22年０月	江原　昭吉
障害者支援団体代表	在職35年０月	石河　不砂

高齢者支援団体代表	在職 20 年 0 月	藤沼 恭一
消防団員	在職 40 年 1 月	石塚 正
消防団員	在職 23 年 5 月	佐藤 史晃
消防団員	在職 30 年 7 月	関口 努
消防団員	在職 23 年 7 月	田中 潤
消防団員	在職 26 年 7 月	寺内 博一
消防団員	在職 22 年 7 月	渡邉 年光

・徳行表彰（敬称略）

表彰条例第 4 条第 1 項による表彰

徳行	社会貢献活動	大竹 順子
徳行	社会貢献活動	上 恭子
徳行	社会貢献活動	君塚 美枝子
徳行	社会貢献活動	越沼 和子
徳行	社会貢献活動	坂本 茂子
徳行	社会貢献活動	佐藤 博之
徳行	社会貢献活動	高際 悦子
徳行	社会貢献活動	髙久 厚子
徳行	社会貢献活動	野村 馨子
徳行	多額寄附	伊津井 啓一
徳行	多額寄附	エネグローバル(株)
徳行	多額寄附	(株)榎倉住宅
徳行	多額寄附	五月女 博勇
徳行	多額寄附	(株)栃木こすもす
徳行	多額寄附	本澤 清治
徳行	多額寄附	本澤 尚子

（本人の希望により、2 名掲載なし）

・市民栄誉賞（敬称略）

表彰条例第 5 条による表彰

市民栄誉賞	柔道グランドスラム・タシケント 2024 100kg 超級 優勝	太田 彪雅
市民栄誉賞	パリ 2024 パラリンピック競技大会 車いすテニス 女子ダブルス 第 5 位	大谷 桃子
市民栄誉賞	タヒチアンダンス世界大会 Ori Tahiti Nui Competitions 2023 優勝	寺内 颯眞
市民栄誉賞	第 11 回 リードユース日本選手権 南砺大会 準優勝	葛生 真白

市民栄誉賞	令和６年度 全国高等学校総合体育大会 陸上男子 200m 優勝	若菜 敬
市民栄誉賞	第９回 全国小学校フェンシング選手権大会 女子エペの部 優勝	石﨑 結衣
市民栄誉賞	鹿児島特別国民体育大会 弓道競技 少年男子近的 優勝	熊倉 貫太 黒瀧 洸翔 坂本 翔
市民栄誉賞	第 10 回 全日本ターゲット・バードゴルフ 協会 全国大会 男子一般の部 準優勝	勝 一也
市民栄誉賞	第 10 回 全日本ターゲット・バードゴルフ 協会 全国大会 二人組戦の部 優勝	関口 政明 溝井 代次
市民栄誉賞	USA All Star Nationals2024 全国選手権大会 Mini 編成 Cheerleading 部門 準優勝	青鹿 圭菜 茅島 舞衣 佐藤 実郷 高橋 乃咲 沼生 杏音珠 沼生 珠莉 山根 唯愛
市民栄誉賞	USA All Star Nationals2024 全国選手権大会 Junior 編成 Cheerleading 部門 優勝	大類 莉々花 中村 里心
市民栄誉賞	USA All Star Nationals2024 全国選手権大会 Junior 編成 Cheerleading 部門 準優勝	板橋 茉海 岩崎 唯乃 坂本 陽 早川 あさひ

4　新春賀詞交歓会

・実 施 日　1月7日（火）

・場　　所　サンプラザ

・主催団体　市・市議会・栃木商工会議所・大平町商工会・藤岡町商工会・都賀町商工会・西方商工会・岩舟町商工会・下野農業協同組合・上都賀農業協同組合・栃木市自治会連合会

・参加者数　291人

（市147人、市議会26人、商工会議所74人、
商工会22人（大平3人、藤岡8人、都賀5人、西方2人、岩舟4人）、
ＪＡしもつけ10人、ＪＡかみつが3人、自治会連合会9人）

第３節　広報課

〔総括概要〕

広報課の主な分掌事務は、広報業務、広聴業務、シティプロモーション業務及びマスコットキャラクター活用業務である。

広報業務については、市民への市政情報の提供及び市外に向けての情報発信を目的として、広報紙の発行、公式ホームページ等への掲載、報道機関への情報提供等、積極的な広報活動を展開した。

広報紙については、紙面の充実を図りながら、毎月１回発行した。また、ホームページの内容の充実をはかるとともに、ＳＮＳを活用した広報活動として、公式Ｘ（旧 Twitter）、公式 Fecebook 及び公式 LINE による広報を行った。更に、栃木市コミュニティＦＭ「ＦＭくらら 857」を活用し、身近な地域情報や災害・防災情報の配信を行った。

広聴業務については、それぞれの地域ごとのニーズや意見等を市の施策に活かすとともに、本市の進めるまちづくりについて理解を深めてもらうことを目的として、まちづくり懇談会ふれあいトークを開催し、市政に関する意見、提案を広く求めた。

また、増加傾向にある外国人住民や次代を担う若者世代を対象に、本市の課題や各世代のニーズを把握するとともに、いただいたご意見等を各施策やまちづくりに活かすことを目的として「外国人住民と市長との意見交換会」及び「若者世代と市長との意見交換会」を実施し、各世代が抱える課題の洗い出しや、認識の共有を図った。

シティプロモーション業務については、平成 28 年度に作成した栃木市シティプロモーション計画「Tochigi City Promotion Design」の第３期行動計画「Tochigi City Promotion Creation 3rd」に伴うシティプロモーションアンケートを実施した。また、市民によるシティプロモーションを推進するため、宇都宮大学地域プロジェクト演習を活用し、SNS に触れる機会の多い若者の意見を取り入れ、本市の魅力的な「自然」「歴史」「食」等の様々な写真を Instagram で募集する「栃木市フォトフェス 2024」を実施した。さらに、落語家１名を新たにふるさと大使に委嘱し、そのことを記念した「栃木市ふるさと大使三人会」を開催した。

マスコットキャラクター活用業務については、平成 26 年４月５日に誕生した栃木市マスコットキャラクター「とち介」の 10 周年を祝い開催した「10th Anniversary とち介のお誕生会＠マルシェ」ほか、広くとち介をＰＲすることで、市民の一体感の醸成や本市の知名度の向上に努めた。また、とち介の派遣業務やデザイン申請の受付及び承認のほか、とち介を活用した自主企画を行い、積極的に本市の情報発信に努めた。

広報広聴係

1　広報業務

(1)　広報紙等による広報

市政全般について掲載した広報紙を、特集記事の強化など内容の充実を図りながら毎月発行し、市政のＰＲに努めた。

ア　広報とちぎ

・発行回数　定期12回（毎月1回）

・発行部数　53,000部

・仕　　様　Ａ4判（4色フルカラー・32頁）

イ　広報とちぎ点字版

・発行回数　定期6回（2か月に1回）

・発行部数　24部

・仕　　様　Ｂ5判点字用紙（約30ページ）

ウ　声の広報とちぎ

朗読ボランティア「あかり」の協力を得て発行

・発行回数　定期12回（毎月1回）

・仕　　様　ＣＤ・ＳＤカード・カセットに音声収録

(2)　ホームページによる広報

平成30年度にリニューアルを行ったホームページの機能を活かしながら、市政情報やイベント、観光案内、生活ガイドや災害情報等の内容の充実化と積極的な市内外への発信を行った。

・アクセス件数（ページビュー数）7,054,168件

(3)　ＳＮＳを活用した広報

ＳＮＳによる広報を行うことで、多様な媒体を通じての情報発信強化に努めた。

・投稿内容　行政情報、観光情報、災害情報等

・投稿数　Facebook　366件　Ｘ（旧Twitter）　906件　LINE　84件（令和6年12月3日～）

(4)　テレビ・ラジオ等による広報

ア　ＣＡＴＶコミュニティチャンネル

広報とちぎの内容や市政情報等について、ケーブルテレビ（株）に番組制作を委託し、同社のコミュニティチャンネル（デジタル111チャンネル）で放送した。

主な番組

・Report Tochigi

職員による市政情報発信番組として､イベント情報や市政情報の発信を行った。併せて、市内施設の紹介も実施した。

5分番組で、月毎にテーマを変えて放送した。（1日3回程度放送）

・生活文字情報

文字情報を全画面で表示する3分番組として、1日6回、毎日放送した。

・エリア便

イベント等の告知情報で、毎週月～木曜日に約1分間放送した。

・新春特別番組「新年のご挨拶／テレビ年賀状」

市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

15分番組で、1月1日（水）～5日（日）に放送した。

イ　とちぎテレビ

市政のＰＲを行うため、（株）とちぎテレビに番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・新春特別番組「2025年　わが街発！」

30分番組のうち10分間で、1月1日（水）、3日（金）に放送した。

ウ　栃木放送（ＣＲＴ）

市政のＰＲを行うため、（株）栃木放送に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・新春特別番組「新しい年を迎え栃木市長に聞く」

10分番組で、1月1日（水）、1月3日（金）に放送した。

エ　エフエム栃木

市政のＰＲを行うため、（株）エフエム栃木に番組制作を委託し、市長がまちづくりの抱負や行政運営、将来の展望について語った。

・2025　栃木市長新春挨拶ＣＭ

60秒ＣＭで、1月1日（水）～14日（火）の間に10回放送した。

(5)　コミュニティＦＭ

栃木市コミュニティＦＭ「ＦＭくらら857」を活用し、災害情報・防災情報の配信や、身近な地域情報を発信することで、市民が豊かで安心して暮らせるまちづくりの推進を図った。

ア　市の広報番組

・「とち介のＨＡＰＰＹ　ＴＯＷＮ」　平日の11時～11時55分

・インフォマーシャル　市からのお知らせを生放送で、毎日4回放送した。

・ＣＭ　市からのお知らせを録音し、毎日6回放送した。

イ　災害放送

・災害発生時に備えるため、毎週木曜日11時に緊急割込み放送の試験放送を行った。

(6)　報道機関等への情報提供

ア　記者会見

・定例記者会見　毎月1回

・予算記者会見　年1回

・臨時記者会見　随時(令和6年度1回)

イ　市政情報の提供（メール・ＦＡＸにより随時）

・情報提供件数　479件

(7)　広報活動推進員による活動

各課で1名広報活動推進員（庶務担当係長）を選任し、広報活動の円滑な事務を行うための広報活動推進員研修会を実施した。

・5月15日（水）（参加者64名）

2　広聴業務

(1)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市長をはじめとする市執行部が、市民の市政に対する意見、提案等を直接聴くことにより、課題等を共有し、市政に反映することを目的に実施した。

また、市の重要施策を市長等から直接市民に説明することにより、事業の周知を図った。

ア　懇談会

・栃木地域

実施日	出席者（人）	会場
7月12日（金）	79	国府公民館
7月19日（金）	109	吹上公民館
7月23日（火）	62	皆川公民館
7月26日（金）	55	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）
7月31日（水）	53	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）
8月 2日（金）	47	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

・大平地域

実施日	出席者（人）	会場
6月21日（金）	61	大平健康福祉センター
6月25日（火）	55	大平健康福祉センター

・藤岡地域

実施日	出席者（人）	会場
6月28日(金)	54	藤岡文化会館

・都賀地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 9日（火）	99	都賀公民館

・西方地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 2日(火)	43	北部健康福祉センター

・岩舟地域

実施日	出席者（人）	会場
7月 4日(木)	90	CITY GYM ＆ SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）

(2)　若者世代と市長との意見交換会

次代を担う若者世代を対象に意見交換を実施し、本市の課題や各世代のニーズを把握するとともに、いただいたご意見等を各施策やまちづくりに活かすことを目的として実施した。

実施日	出席者（人）	会場
11月24日(日)	12	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

(3)　外国人住民と市長との意見交換会

本市の外国人住民は増加傾向にあり、外国人の方が日常生活の中で感じている不安やニーズを把握し、いただいたご意見を市政に反映することにより、多文化共生のまちづくりに生かすことを目的として実施した。

実施日	出席者（人）	会場
10月13日(日)	13	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

(4)　市政メール箱（電子メール）

インターネットを利用した広聴活動として、ホームページ内に電子メールによる投書窓口「市政メール箱」を設け、投書受付を実施した。

・件数　260件

(5)　投書箱

本庁及び各総合支所に投書箱を設置し、投書受付を実施した。

・件数　38件

(6)　郵送及びＦＡＸによる市政に関する意見の受付

・件数　10件

(7)　来庁や電話による市政に関する意見の受付

・件数　19件

(8)　パブリックコメント

重要な施策の策定過程において、市民の市政に対する意見や提案の機会を確保するとともに、政策決定過程への市民の参画を促進し、市民との協働によるまちづくりの推進を図るため、栃木市パブリックコメント手続条例に基づき、パブリックコメント（市民意見提出制度）を実施した。

・実施件数　11件

シティプロモーション係

1　シティプロモーション業務

(1)　シティプロモーション事業

ア　栃木市シティプロモーション計画の第3期行動計画である「Tochigi City Promotion Creation 3rd」に伴う、シティプロモーションアンケートを実施した。

イ　日常の中の栃木市の魅力をSNSを活用して発信する「栃木市フォトフェス2024」を実施した。

・実施期間　前期（春夏の画像）：7月1日（月）～10月31日（木）
後期（秋冬の画像）：11月1日（金）～2月28日（金）

・応募作品数　前期：163点（55人）

後期：203点（68人）

ウ　栃木市の農産物のブランドイメージをより強固にするとともに、農産物をきっかけに栃木市の魅力を発信する場として、シティプロモーションイベント「いちご市（いち）～栃木市産直いちご直売会～」を開催した。

・開催日　3月26日（水）

・開催場所　（一財）地域活性化センター　日本橋イベントスペース

・協力　農業振興課、地域政策課、蔵の街課、渡良瀬遊水地課、観光振興課、栃木市観光協会

エ　宇都宮大学地域プロジェクト演習を活用した情報発信

・フォトコンテストの内容について、栃木市魅力発信特使を交えた意見交換会を実施した。

・栃木市魅力発信特使の田村律之助顕彰会と連携した二条大麦のPRのためのワークショップを開催した。

オ　栃木市ふるさと大使の落語家（春風亭柳橋氏、桂小南氏、古今亭志ん丸氏）による寄席「ふるさと大使三人会」を開催した。

・開催日　2月1日（土）

・参加者　315人

(2)　栃木市ふるさと大使

ア　本市の魅力を広く効果的に情報発信することにより、本市の知名度及びイメージの向上を図るとともに市民の一体感及び郷土愛を醸成することを目的とした「栃木市ふるさと大使」制度を設け、全国的に活躍する本市ゆかりの方に委嘱している。

・栃木市ふるさと大使　27名（赤荻一也氏、石川恋氏、植野広生氏、上原チョー氏、大谷桃子氏、桂小南氏、菊池優氏、雲田はるこ氏、黒川伊保子氏、小林美貴氏、古今亭志ん丸、澤村拓一氏、春風亭柳橋氏、武井択也氏、寺内崇幸氏、富田晋伍氏、富山貴光氏、蜂須賀孝治氏、冬木れい氏、古川登志夫氏、間中利美氏、茂手木章氏、八津弘幸氏、山田五郎氏、山田昌彦氏、吉川真氏、渡辺俊介氏）

2団体（栃木シティフットボールクラブ、MAGIC OF LiFE）

イ　栃木市ふるさと大使の活動を広く周知するため､広報とちぎ1月号にインタビュー記事を掲載した。（古今亭志ん丸氏）

(3)　栃木市魅力発信特使

ア　新生栃木市10周年を機に、「栃木市魅力発信特使」制度を設け、本市の明るい未来を築いていこうという志を持って、それぞれの分野で市内を中心に活躍し、本市の魅力を積極的に発信している個人及び団体等を認定している。

・栃木市魅力発信特使　18名（伊吹和矢氏、遠藤翼氏、遠藤百合子氏、桜祐氏、落合義人氏、神戸明氏、倉持雅代氏、小林美香氏、坂本絵津子氏、佐沼理衣氏、ShonoMercy氏、髙橋由起氏、田代大輔氏、田中潔氏、田村愛氏、平泉由実氏、山田

かかし氏、義達祐未氏）
2団体（田村律之助顕彰会、Hello-Coffee）

イ　魅力発信特使に「栃木市フォトフェス2024」の審査を依頼し、各賞を決定した。
（審査委員長：田中潔氏、審査委員：義達祐未氏）

2　マスコットキャラクター活用業務

(1)　とち介派遣事業

栃木市マスコットキャラクター「とち介」を市主催のイベントや学校行事、キャラクターイベント等に派遣し、とち介及び栃木市のＰＲと共に市民の一体感の醸成に努めた。

・派遣回数　100回　（市内90回、市外10回）　月平均　約8.3回

(2)　デザイン申請・承認手続

とち介のデザインを用いた商品等の、デザイン使用申請の受付及び承認（更新申請も含む）を行った。

・承認件数　160件　（販売品103件、非売品57件）
・商品　タオル、缶バッチ、クリアファイル、Ｔシャツ、エコバック等

(3)　とち介公式ＳＮＳによる情報発信

各ＳＮＳの特徴や、ターゲット層等に着目し、それぞれ使い分けながら、本市の情報等を継続的に発信した。

ア　とち介目線のゆるやかな言葉で、本市の情報等を継続的に発信した。
・X（旧Twitter）　フォロワー数　14,132人
・Instagram　フォロワー数　5,820人

イ　スタッフ目線で、より詳細な情報を継続的に発信した。
・Facebook　フォロワー数　2,324人

(4)　とち介主催事業

とち介を活用し、本市の魅力を積極的に発信するため、各主催事業を実施した。

ア　10th Anniversary とち介お誕生会＠マルシェ
・開催日　4月13日（土）
・開催場所　栃木市立美術館・文学館ひろば

イ　とち介のクリスマス会2024
・開催日　12月25日（水）
・開催場所　市役所1階市民スペース

ウ　とち介謹賀新年グリーティング2025
・開催日　1月7日（火）
・開催場所　神明宮

エ　とち介と冬のお散歩タイム
・開催日　2月5日（水）
・開催場所　幸来橋

(5)　マスコットキャラクター応援基金

マスコットキャラクター活用推進の財源確保のため、栃木市ふるさと応援寄附（ふ

るさと納税）の「マスコットキャラクター活動支援事業」コースにて寄附を募った。

・受入件数　308件

・受入額　7,452,000円

(6)　とち介商標権存続期間更新登録

特許庁へマスコットキャラクター商標権登録の更新を行った。

・更新登録日　3月4日（9月12日）

・期間　10年（令和16年9月12日まで）

・分類　第16類、第26類、第28類

第４節　行財政改革推進課

〔総括概要〕

行財政改革推進課の主な分掌事務は、行財政改革、指定管理者制度、公共施設の集約化及び再配置等について、庁内の調整を図る業務である。

行財政改革については、令和4年度に策定した第3次行政改革大綱・財政自立計画に基づき、実施計画の進捗管理に努め、行財政の健全化に向けた取組みを行った。

指定管理者制度については、栃木市大平健康福祉センター、道の駅みかも、大平運動公園の指定管理者の指定に当たり、栃木市指定管理者選定委員会に諮問し、候補者（案）の選定を行った。また、全ての制度導入施設について管理状況評価を行った。

公共施設の再編については、公共施設のあり方ガイドラインにおいて、30年間で延床面積を25%削減する目標を掲げており、目標達成に向けた取組みを行った。

また、公共施設のあり方等を検討するため設置している、公共施設適正配置計画推進会議において、取組み内容の確認や進捗管理等を行った。

令和５年度の施設カルテについては、各施設の基本情報、今後の方向性、課題等を取りまとめ、市ホームページに公表した。

未利用公共施設の処分等については、旧藤岡第二中学校、都賀地域活動支援センター、こどもサポートセンター等に関して検討を行った。

行革・施設再編係

1　行財政改革

令和4年度に策定した第3次行政改革大綱・財政自立計画に基づき、実施計画の進捗管理に努めた。

なお、栃木市市民会議が次のとおり開催され、行政改革大綱・財政自立計画に対する意見書が提出された。

・総合計画部会　7月31日（水）、8月1日（木）、8月8日（木）
・全体会　　9月25日（水）

2　指定管理者制度

(1)　指定管理者選定委員会の開催

開催日	内容
5月17日（金）	管理状況評価
8月20日（火）	指定管理者選定ヒアリング、候補者（案）の選定

(2)　選定委員会による管理状況評価（3次評価）を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称	評価
1	栃木市大平地域福祉センター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	A

2	栃木市藤岡地域活動支援センター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	B
3	栃木市都賀地域活動支援センター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会	B
4	栃木市北部健康福祉センター	株式会社フクシ・エンタープライズ	A
5	栃木市大平健康福祉センター	いすゞビルメンテナンス株式会社	B
6	道の駅みかも	道の駅みかも再生プロジェクトグループ	A

※評価はＡ・Ｂ・Ｃ・Ｄの４段階評価

※上記施設以外は、指定管理者による自己評価（第１次評価）及び施設所管課による評価（第２次評価）を実施

(3)　公募により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	栃木市大平健康福祉センター	いすゞビルメンテナンス株式会社
2	道の駅みかも	株式会社ニックス
3	大平運動公園	株式会社エイジェックスポーツマネジメント

(4)　公募外により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	栃木市大平地域福祉センター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
2	栃木市藤岡地域活動支援センター	社会福祉法人栃木市社会福祉協議会

(5)　公募外（優良管理者更新制度）により選定を行った施設

No.	施設名称	指定管理者名称
1	栃木市北部健康福祉センター	株式会社フクシ・エンタープライズ

3　栃木市公共施設適正配置計画関係

(1)　栃木市公共施設適正配置計画推進会議

公共施設適正配置計画に定める取組みの実施等について、庁内の合意形成を図るための協議を行った。

開催日	内容
10月2日（水）	・施設カルテについて ・取組状況等について ・栃木市公共施設適正配置計画(第2期計画)の策定について

(2)　公民館・地区公民館及び支所・出張所の今後のあり方に関する検討会議

栃木市公共施設適正配置計画(第2期計画)の策定に向けて開催した。

開催日	内容
1月14日(火)	公民館・地区公民館及び支所・出張所の今後のあり方について

(3)　藤岡総合支所複合化専門部会

藤岡総合支所複合化整備に向け、整備場所、スケジュール、アンケート調査等につ

いて審議を行った。

開催日　　10月18日(金)

(4)　施設カルテの作成

市内の全ての公共施設（684施設）について、利用状況等をとりまとめた施設カルテを作成し、ホームページで公表した。

4　未利用公共施設に関する取組状況等

(1)　旧藤岡第二中学校の活用

旧藤岡第二中学校の利活用の方向性について、避難所及び文化財倉庫として市が活用していく方針であることを部屋地域住民に説明した。

開催日　　3月7日（金）、8日（土）

(2)　都賀総合支所別館（旧都賀図書館）の活用

都賀総合支所複合化に伴い、空きスペースとなった1階部分にシルバー人材センター北部事業所を入居させるため、関係各所との調整、建物の改修を行い、都賀総合支所別館として使用を開始した。

(3)　その他

・旧大平こどもセンター　→　R6解体（行財政改革推進課）
・旧都賀総合支所　→　R7解体予定（都賀地域づくり推進課）
・旧都賀公民館　→　R7解体予定（都賀地域づくり推進課）
・岩舟総合支所別館　→　R6売却（管財課）
・旧都賀地域活動支援センター　→　R7解体予定（障がい福祉課）
・旧西方ふれあいプラザ　→　R7解体予定（高齢介護課）
・旧小野寺ふれあい館　→　公売中（管財課）
・旧こどもサポートセンター　→　R7公売予定（管財課）
・旧いまいずみ保育園　→　R7解体予定（保育課）
・川原田東市営住宅　→　R7解体予定（建築住宅課）
・消防団器具置場　→　廃止となった施設を随時解体（消防総務課）

5　公共施設のＬＥＤ化

施設の維持管理費の縮減のため、リース契約による照明器具のＬＥＤ化を進めた。

対象施設：西方総合文化体育館、大平総合支所、いわふねフルーツパークセンター、真名子夢ホール、大平地域福祉センター、大平学校給食センター、都賀学校給食センター、下野国庁跡資料館、大平みなみ児童館、部屋地区公民館

第５節　デジタル推進課

〔総括概要〕

デジタル推進課の主な分掌事務はデジタル化施策、行政デジタル化の推進、地域デジタル化の推進、情報システム及びネットワークの管理運営、情報セキュリティ対策である。

令和6年度は、ＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）やＡＩ－ＯＣＲ（人工知能による光学式文字読取）、ＡＩ音声認識による自動文字起こしツール、ノーコードツール（データベース作成システム）を活用し、行政デジタル化の推進に努めた。

また、老朽化したサーバ及びパソコン等機器の更新を行ったほか、Ｗｅｂ会議システム及び会議のペーパレス化を進めるためのタブレット利用を推進した。

地域情報化の推進では、公共施設案内・予約システム及び電子申請システムの利用促進を図るとともに、栃木市LINE公式アカウントの運用開始並びにキャッシュレス決済に対応したセミセルフレジを導入した。

情報セキュリティ対策では、高度化・巧妙化するセキュリティリスクに対応するため、栃木県及び県内市町と共同で運用する栃木県情報セキュリティクラウドに参加し、セキュリティの向上を図った。

情報システム係

1　パソコンの配備状況

情報系、基幹系、インターネット系のネットワークを分離するとともに、専用パソコンを配備することで、情報セキュリティの向上を図った。　（単位：台）

設置場所	情報系 ネットワーク	基幹系 ネットワーク	インターネット系 ネットワーク
総合政策部	189	25	57
経営管理部	143	110	17
地域振興部	198	66	37
生活環境部	110	38	13
保健福祉部	160	44	22
こども未来部	193	46	21
産業振興部	65	0	8
都市建設部	114	1	20
会計課	10	1	1
議会事務局	11	0	2

上下水道局	55	3	8
消防本部及び消防署	111	2	14
教育委員会事務局	161	5	16
選挙管理委員会事務局	5	2	1
監査委員事務局	6	0	2
農業委員会事務局	10	2	1
合計	1,541	345	240

2　電算処理業務の委託契約

電算処理委託契約を、(株)ＴＫＣと締結した。

課　　名	業　務　名
税務課	住民税、固定資産税、軽自動車税、国民健康保険税
収税課	収税消込
地域政策課	二十歳の集い開催
市民生活課	住民情報管理
保険年金課	医療費助成、国保レセプト
高齢介護課	介護保険
子育て支援課	児童手当、児童扶養手当
保育課	保育料
上下水道総務課	下水道受益者負担金
選挙管理委員会	選挙処理

3　統合型地理情報システム

市が保有する既存の地図情報を統合して管理し、全庁的に利用・共有化することで事務の効率化を図るとともに、一部情報をインターネットに公開することで、市民の利便性の向上を図った。

・都市計画図、認定路線網図、自治会区、小中学校区、防災ハザードマップ、
　指定道路図、景観情報、屋外広告物規制図、立地適正化計画、消防水利

4　職員研修

システムの活用と情報セキュリティ意識の醸成を図るため、職員を対象に研修を実施した。

名称	開催回数（回）	受講者数（人）
新採用職員研修（情報セキュリティ）	1	26
リモートラーニング デジタル人材育成研修	Web	14
システム活用研修（ノーコードツール）	2	31

デジタル行政係

1　電子申請システム

自宅のパソコンやスマートフォン等から、インターネットを通して、各種申請や届出が行えるシステムにより、市民の申請等における利便性の向上及び職員の受付事務の負担軽減を図っている。

(1)　対象手続　（単位：件）

	令和5年度	令和6年度
申請・届出	218	312
ダウンロード可能様式	131	131

(2)　利用状況　（単位：件）

	令和5年度	令和6年度
電子申請受付件数	13,046	11,316
様式ダウンロード件数	6,773	11,419

2　公共施設案内・予約システム

自宅のパソコンやスマートフォン等から、インターネットを通して、市内のスポーツ施設や公民館等の施設の空き状況照会、予約申込みが行えるシステムにより、市民の施設利用における利便性向上及び職員の受付事務の負担軽減を図っている。

(1)　対象施設

ア　文化施設　34施設

栃木市民交流センター、大宮公民館、皆川公民館、吹上公民館、寺尾公民館、国府公民館、大平公民館、大平西地区公民館、大平東地区公民館、大平南地区公民館、藤岡公民館、部屋地区公民館、赤麻地区公民館、三鴨地区公民館、都賀公民館、西方公民館、岩舟公民館、小野寺地区公民館、静和地区公民館、第三地区コミュニティセンター、第四地区コミュニティセンター、第五地区コミュニティセンター、第六地区コミュニティセンター、栃木文化会館、大平文化会館、藤岡文化会館、岩舟文化会館、大平隣保館、大平健康福祉センター、北部健康福祉センター、岩舟健康福祉センター、藤岡遊水池会館、真名子夢ホール、渡良瀬遊水地ハートランド城

イ　スポーツ施設　21施設

総合運動公園、屋内運動場、大平運動公園、大平体育館、大平南体育館、大平武道館、藤岡渡良瀬運動公園、藤岡総合体育館、都賀市民運動場、都賀体育センター、つがスポーツ公園運動場、都賀南部コミュニティセンター、木コミュニティセンター、つがの里、西方総合公園、関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）、西方南グラウンド、西方北グラウンド、真名子運動広場、岩舟総合運動場、勤労者体育センター

(2)　利用状況　（単位：件）

	令和5年度	令和6年度

アクセス件数	73,150	60,688
予約件数	1,717	2,815

3　ＲＰＡ・ＡＩ

ＲＰＡ（ロボティック・プロセス・オートメーション）ツール、ＡＩ－ＯＣＲ（人工知能による光学式文字読取）の活用、ノーコードツール及びＡＩ音声認識による文字起こしツールの導入を進めた。それらを活用し、事務の効率化及び作業時間の短縮を図った。

(1)　ＲＰＡ使用状況

課名	対象業務
デジタル推進課 市民生活課	リース料など例月支払伝票
総務人事課	辞令交付メール自動送信
契約検査課	契約管理システムへの入力
保険年金課	国民年金システムへの入力
地域政策課 子育て支援課 保育課 健康増進課 学校教育課	報酬・費用弁償など支払伝票

(2)　ＡＩ－ＯＣＲ使用状況

課名	対象業務
高齢介護課	敬老祝金口座振込申請処理 （申請書PDFのExcelデータ化）
障がい福祉課	福祉タクシー料金助成申請処理 （申請書 PDF の Excel データ化）
保険年金課	高額療養費支給申請処理 （申請書データ化）
職員課	自己申告書・人事評価等データ処理 （自己申告書・評価表等データ化）
税務課	申請書類データ化処理 （申請書PDFのExcelデータ化）

(3)　ＡＩ音声認識による文字起こしツール使用状況

	令和5年度	令和6年度
会議数(件)	790	603
利用時間(時間)	527	515

(4)　ノーコードツール使用状況　（単位：件）

	令和5年度	令和6年度

業務数	9	37

4　オープンデータ

市が保有するデータを、誰もがインターネットを通じて容易に利用できるよう、以下のオープンデータをホームページに公開した。

・公共施設一覧
・子育て施設一覧
・オープンデータ一覧
・ＡＥＤ設置箇所一覧
・介護サービス事業所一覧
・医療機関一覧
・観光施設一覧
・オストメイト対応トイレ一覧
・公衆無線LANアクセスポイント一覧
・地域年齢別人口
・指定緊急避難場所一覧

5　栃木市LINE公式アカウント

LINE公式アカウントを通じて、生活に役立つ情報や機能を提供し、住民サービスの向上を図るため、各種機能の構築や運用保守を行った。

(1)　機能

・お知らせ配信（市政情報、ごみの日お知らせ）
・避難所検索
・損傷通報（市道・河川・市営墓地）
・ごみ分別検索
・リッチメニュー

(2)　情報提供

・くらしの情報
・公共交通（ふれあいバス・蔵タク・シェアサイクル）
・図書館
・公共施設案内
・ごみの出し方、ごみカレンダー
・子育て情報（各種支援、妊娠・出産、子どもの健康・医療、講座、イベント）
・子育てガイドブック
・教育情報（保育・幼児教育、学童保育、小中学校、奨学金・就学援助）
・休日当番医

6　セミセルフレジ

キャッシュレス決済に対応したセミセルフレジを導入し、支払い方法の多様化と窓口利用者の利便性向上を図った。

（単位：件）

	令和6年度	
	決済件数	内キャッシュレス決済件数
税務課	5,736	816
市民生活課	16,761	3,386
合計	22,497	4,202

第６節　危機管理課

〔総括概要〕

危機管理課の主な分掌事務は、危機事案発生時における管理体制の整備、自衛官募集事務、地域防災計画及び水防計画に基づく防災対策、指定緊急避難場所等の指定、災害対策本部の運営、防災無線の管理、自主防災組織の育成である。

自衛官募集事務については、防衛省自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所と協力し、自衛官募集や自衛隊家族会に関する事務を行った。

防災対策については、災害時に避難指示や気象警報等の緊急情報をいち早く市民に提供するコミュニティＦＭとの連携を行い、緊急時に自動で電源が入る防災ラジオを希望する市民へ有償配付した。

防災訓練については、警察、消防、自衛隊、自主防災組織などと連携し、栃木市総合防災訓練を実施した。

防災無線等の管理については、災害時の適正な稼働を確保するため保守点検を行った。また、防災情報ステーション（防災用Ｗｉ－Ｆｉ）については、災害時の情報発信に必要な高速通信環境が広く普及したことから､令和6年度末に運用を終了した。

自主防災組織の育成については、自治会や市民等への出前講座などを実施し、防災意識の向上を図ったところ、新たに自主防災組織が2件設立された。また、令和6年度に新設した防災士資格取得費補助金により､新たに4名が､地域で活動することを目的に防災士資格を取得した。

危機管理係

1　コミュニティＦＭ事業

市民への防災ラジオの普及促進を図るため、希望する市民へ有償配付した。

2　自衛官募集事務

(1)　自衛官募集

自衛隊栃木地方協力本部と連携し、自衛官募集に係る情報提供及び啓発を行った。

・入隊・入校者数　７人

(2)　自衛隊家族会

栃木市自衛隊家族会の事務局として、家族会活動を支援した。

・役員会において協議を行い、自衛隊入隊入校激励会を開催した。

・北方領土返還要求促進署名運動の取りまとめを行った。

3　放射線測定事業

(1)　モニタリングポスト

設置場所	設置場所の住所	測定高さ（m）
本庁舎	万町 9-25	1
西方総合支所	西方町本城 1	1
岩舟公民館	岩舟町静 2292-1	1

(2)　市内での定点測定

施設	測定場所	実施日
市庁舎	本庁舎、各総合支所　6 箇所	月 1 回

(3)　放射性物質の検査

対象	検査対象	実施日
水道水	浄水場　18 箇所	3 箇月に 1 回

4　東日本大震災に伴う避難状況管理

原発避難者特例法関係

東日本大震災における原子力発電所の事故による災害に対処するための避難住民に係る事務処理の特例及び住所移転者に係る措置に関する法律に基づき、東京電力福島第一原子力発電所の事故に伴い、通常の行政サービスの提供が困難な指定市町村から避難している住民に対して、特例事務として指定市町村に代わって特定の行政サービスを提供した。

・対象者　82 人

・指定市町村

福島県	市	いわき市、田村市、南相馬市
	町	川俣町、広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町、浪江町
	村	川内村、葛尾村、飯舘村

・特例事務

分　野	根拠法令	事　務
医療・福祉関係	介護保険法	要介護認定等に関する事務
	介護保険法	介護予防等のための地域支援事業に関する事務
	老人福祉法	養護老人ホーム等への入所措置に関する事務
	児童福祉法	保育所入所に関する事務
	予防接種法	予防接種に関する事務
	児童扶養手当法	児童扶養手当に関する事務
	特別児童扶養手当等の支給に関する法律	特別児童扶養手当等に関する事務
	母子保健法	乳幼児、妊産婦等への健康診査、保健指導に関する事務
	障害者総合支援法	障害者､障害児への介護給付費等の支給決定に関する事務
教育関係	学校教育法、学校保健安全法	児童生徒の就学等に関する事務

	学校教育法、学校保健安全法	義務教育段階の就学援助に関する事務

5　防災対策

(1)　防災備蓄倉庫

地域	設　　置	位　　置
栃木地域	栃木保健福祉センター倉庫	今泉町 2-1-40
	マルワ・アリーナとちぎ（総合運動公園総合体育館）	川原田町 760
	皆川中学校体育館	皆川城内町 1856
	大宮公民館	大宮町 422-1
	老人福祉センター福寿園	千塚町 210
	寺尾公民館	梅沢町 1183
	国府公民館	惣社町 228-1
	出流ふれあいの森	出流町 417
	旧消防団栃木方面隊消防器具置場（第 11 分団第 5 部）	出流町 159-2
	栃木中央小学校体育館	入舟町 13-3
	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	入舟町 6-8
大平地域	旧消防団大平方面隊車庫（第 3 分団第 2 部）	大平町西野田 169-2
	大平中学校	大平町蔵井 2026-1
藤岡地域	部屋地区公民館	藤岡町部屋 454-1
	藤岡公民館	藤岡町藤岡 810
	赤麻地区公民館	藤岡町赤麻 1737-1
	三鴨地区公民館	藤岡町甲 436-2
	藤岡総合支所	藤岡町藤岡 1022
	藤岡中学校体育館	藤岡町藤岡 10
都賀地域	都賀防災倉庫	都賀町原宿 573
西方地域	西方総合支所	西方町本城 1
岩舟地域	岩舟総合支所	岩舟町静 5133-1

(2)　主な各種災害時用備蓄品等内訳

大　項　目	中　項　目	備　蓄　数
非　常　食	アルファ化米	24,700食
	乾パン	25,203食
	菓子パン	5,360食
	アレルギー対応食品	1,483食
	液体ミルク	240本

非常用飲料水	水（500ml）	47,833本
毛　　布	―	4,676枚

(3)　災害時応援協定

大規模災害の発生に備え、民間企業や関係機関との間で4本を締結した。

協定の名称	締結先	締結日
災害時における物資（ユニットハウス等）の供給に関する協定	三協フロンテア株式会社	9月5日
大規模災害時における相互応援に関する協定締結	神奈川県厚木市	1月16日
災害時における被災者相談業務の実施に関する協定書	栃木県司法書士会	2月18日
災害時における車両の移動等に関する協定	株式会社小島レッカーサービス	3月14日

(4)　被災者住宅復旧支援事業費補助金

令和6年3月21日に発生した強風により被害を受けた者に、その復旧費用の一部を補助することにより早期再建を支援した。

・一部損壊世帯 1件

6　防災訓練

市民の防災意識の高揚及び関係機関相互の連携強化を目的に、地震による災害を想定し、栃木市総合防災訓練を実施した。

日時　11月30日（土）8時30分～11時30分

場所　栃木市大平運動公園

参加者　訓練参加者約250名、見学者約250名

7　防災無線等

(1)　IP無線

各総合支所との通信訓練を毎月行ったほか、11月の総合防災訓練では情報伝達班が通信訓練を行った。

(2)　同報系防災行政無線

都賀総合支所移転に伴い、旧都賀総合支所に設置された同報系防災行政無線を撤去した。また、撤去による影響を考慮し、旧都賀総合支所周辺スピーカー3 箇所の改良を行った。

(3)　防災情報ステーション

市役所と各地域に7か所設置に防災用Ｗｉ－Ｆｉとして設置していたが、災害時の情報発信に必要な高速通信環境が広く普及したことから、令和6年度末に運用を終了した。

8　自主防災組織

(1)　栃木市自主防災組織育成補助金

地域防災の中核となる自主防災組織に対して、地域防災力の向上を図るため、補助金を交付した。

補助金の名称	補助金（円）	交付団体数
栃木市自主防災組織設立補助金	600,000	3
栃木市自主防災組織活動補助金	1,112,400	39

(2) 自主防災組織数

自主防災組織全体数	年度内新規設立数
69	2

(3) 防災士資格取得費補助金

補助金（円）	交付人数
86,666	4

9 地区防災計画策定支援

災害時の迅速な避難行動の実現や地域での防災意識の高揚に有効な地区防災計画を地域住民で構成する自主防災組織等が策定することを促進し、地域防災力の強化を図ることを目的として地区防災計画策定および自主防災組織の設立の支援を行った。

支援団体	対象自治会数
富田第８自治会、山中自治会	2

10 土砂災害防止関係

土砂災害のおそれがある箇所について、庁内のとりまとめを行い、3 箇所を県へ報告した。

第７節　カーボンニュートラル推進課

〔総括概要〕

カーボンニュートラル推進課の主な分掌事務は、カーボンニュートラルの推進を図る業務である。

令和６年度は、脱炭素に向けた取組のひとつとして、多様な業種の積極的な参画や連携による「栃木市脱炭素促進プラットフォーム」の運営委員会を開催し、脱炭素に関する意見交換や情報共有、普及啓発活動を通して、市全体の脱炭素に関する機運の醸成に努めた。

また、各市民団体の会議や研修会に出向き、脱炭素に取り組む必要性についての説明や、各種イベント等でEV車を活用したデモンストレーションを実施するなど、地球温暖化対策への理解を深める啓発活動を実施した。

カーボンニュートラル推進係

1　栃木市脱炭素促進プラットフォーム

多様な業種の積極的な参画や連携により脱炭素の取組を促進するため、事業を実施した。

(1)　会員（令和7年3月31日現在）　　（単位：団体）

市　内	県　内	県　外	計
51	8	3	62

(2)　運営委員会

期　日	会　場	内　容
4月16日（火）	全員協議会室 （本庁舎４階）	・脱炭素の促進に向けた取組の提案について ・講演会及び先進地視察の実施について ・栃木市脱炭素先行地域づくりプロジェクトの進捗状況について ・栃木市再エネ普及促進プロジェクトの進捗状況について
7月23日（火）	議会会議室 （本庁舎４階）	・脱炭素化講演会の実施状況について ・栃木市再エネ普及促進プロジェクトの進捗状況について ・視察研修会の実施について ・エコライフinとちぎへの参画について ・市の普及啓発の取組状況について
10月23日（水）	議会会議室 （本庁舎４階）	・（仮称）とちぎゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップについて ・エコライフinとちぎへの参画について

1月16日（木）	議会会議室 （本庁舎4階）	・栃木市脱炭素先行地域づくりプロジェクト事業の検討中止について ・エコライフinとちぎへの参画について ・令和7年度における脱炭素促進に向けた取組の提案について

(3) 再エネ普及促進プロジェクト

期　日	会　場	内　容
5月22日（水）	501会議室A （本庁舎5階）	・脱炭素に係る補助金について ・プロジェクトのPR活動について

(4) 講演会

期　日	会　場	内　容
7月3日（水）	正　庁 （本庁舎3階）	・講演 「カーボンニュートラルに係る最近の動きと活動を進めるために」　増渕 弘子 氏 ・事例紹介 「省エネ診断と省エネお助け隊を活用した木工工場の省エネ活動」　藤本 勉 氏

(5) 視察研修会

期　日	視察場所	内　容
10月7日（月）	ゼブラ電子 株式会社 （大田原市）	脱炭素につながる省エネルギー設備を導入した、災害時にも役立つレジリエンスハウスの視察研修会

(6) エコライフinとちぎへの出展

期　日	会　場	内　容
2月8日（土）	とちぎ岩下の 新生姜ホール （栃木文化会館）	事業者との連携による、環境保全への取組や環境に配慮した製品の展示及び紹介

2　地球温暖化に対する理解促進活動

市民、事業者、市それぞれが、環境問題を地球規模で捉え、日常生活や事業活動の影響が地球環境にまで及ぶことを認識してもらうための普及啓発活動を実施した。

（単位：人）

実施日	実施団体・イベント	参加人数
6月28日（金）	栃木商工会議所議員セミナー	43
7月3日（水）	栃木市脱炭素促進プラットフォーム脱炭素化講演会	60
7月7日（日）	enjoyゴミ拾い大会	150
7月20日（土）	″なつこい″Sound Stage TOCHIGI 2024 with とちぎ盆祭り	600

8月4日（日）	蔵の街2024サマーフェスタ	400
9月6日（金）	市内小学5年生へチラシ配布	1199
11月23日（土）	アグリフェスタ	400
12月1日（日）	アグリフェスタ	800
12月22日（日）	enjoyゴミ拾い大会	100
2月8日（土）	エコライフinとちぎ	800

3　連携協定締結

ゼロカーボンシティの実現を図ることを目的に連携協定を2本締結した。

協定の名称	締結先	締結日
ゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定	ケーブルテレビ株式会社 ホームタウンエナジー株式会社	4月12日
ゼロカーボンシティ実現に向けた連携協定	パナソニック株式会社　エレクトリックワークス社	10月1日

第２章　経営管理部

第１節　総務人事課

〔総括概要〕

総務人事課の主な分掌事務は、自治基本条例の運用、組織の見直し、市民憲章の周知啓発、非核平和の推進、情報公開、個人情報保護、文書管理、条例・規則等の制定・改廃、市議会との連絡調整、人事、職員研修及び職員厚生業務である。

組織の見直しについては、新たな行政課題に的確に対応するとともに、よりコンパクトで機能的な組織となるよう、庁議等における審議を経て実施した。

非核平和の推進については、栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命や平和の大切さについて考える機会を提供するため、各種事業を行った。

情報公開及び個人情報保護については、栃木市情報公開条例及び個人情報の保護に関する法律の円滑な運用に努めた。

文書管理については、文書の収受、配付及び発送の迅速かつ的確な処理を行うとともに、栃木市文書管理マニュアルに基づき、適正な文書管理に努めた。

条例、規則及び訓令については、109件の制定及び改廃を行った。

市議会については､定例会を4回､臨時会を1回招集し､162件の議案等を提出した。

職員の人事については、総合計画の将来都市像の実現に向け、栃木市の職員としての一体感の醸成を図りながら、個々の職員が意欲をもって、その能力を最大限発揮できるよう、「適材適所の配置」、「女性・若手職員の登用」、「人材育成」の視点から人事異動を行った。

職員研修については、職員の意識改革及び資質と能力の向上を目的として、全職員を対象に各種研修を計画的に実施した。

職員厚生事業については、職員厚生会を主体として各種事業を実施した。また、職員の安全衛生管理については､栃木市安全衛生管理委員会で協議するとととともに、ストレスチェックや各種健康診断を実施した。

行政法務係

1　自治基本条例

自治の基本理念及び基本原則並びに行政運営のルールを定めた自治基本条例の市民への周知を図るため、ホームページでの情報提供、新たに転入してきた世帯に対するパンフレットの配布等により、周知を行った。

2　市民会議

自治基本条例の実効性を高めるとともに適切な運用を図るため、同条例第 44 条に基

づく市民会議を開催した。

(1)　委員の構成

・公募による者　　10人
・関係団体を代表する者　24人
・学識経験を有する者　　3人
・市職員　　2人　　合計39人

(2)　会議の開催

ア　全体会

開催日時 会場	参加者数 （人）	主な議案等
5月16日（木） 書面開催	－	・令和6年度のスケジュールについて ・委員の変更について
9月25日（水） 午後7時～ 市役所正庁	32	・総合計画部会の総合計画外部評価実施結果について
2月4日（水） 午後7時～ 市役所正庁	29	・自治基本条例部会中間報告書について

イ　自治基本条例部会

開催日時 会場	参加者数 （人）	主な議案等
6月12日（水） 午後7時～ 市役所302会議室	9	・青少年や子どもに関する取組についてのヒアリング
7月24日（水） 午後7時～ 市役所201会議室	8	・中間報告の構成案について ・委員からの意見聴取
11月26日（火） 午後7時～ 市役所201会議室	10	・中間報告素案について
1月20日（月） 午後7時～ 市役所201会議室	8	・中間報告素案について ・中間報告全体会発表者について ・栃木市市民会議自治基本条例部会を振り返って

ウ　総合計画部会

総合政策課が事務局として運営した。

3　組織の見直し

(1)　令和7年4月の組織見直しに関する基本方針

ア　現行組織の定着を図るため、大幅な見直しは行わない。

イ　現行組織の課題を検証し、解決に向けた見直しを行う。

(2)　令和7年4月の組織見直しの概要

ア　生活環境部

・環境課の環境政策係と環境保全係を統合し、環境保全係を設置

イ　こども未来部

・いまいずみ保育園係を廃止

ウ　都市建設部

・都市計画課に市街地整備係を新設

・市街地整備課を廃止

エ　教育委員会事務局

・生涯学習課の青少年係の名称を青少年・家庭教育係に変更

4　市政年報

令和5年度の栃木市政の大要を収録した市政年報を作成し、閲覧用に市政情報センターや各地域図書館等に設置したほか、市のホームページに掲載した。なお、市議会議員に対しては、タブレット端末で閲覧できるよう議会事務局へデータを配付した。

・冊子及びデータ配付部数

配付先	冊子（冊）	データ（件）
市長､副市長､教育長	3	－
総務人事課	2	2
図書館	6	－
市議会議員	－	1
監査委員（議員を除く）	1	－
議事課	1	－
合　　計	13	3

5　市の木・花・鳥・歌の普及啓発

市民の一体感の醸成に寄与することを目的に制定した、市の木「トチノキ」・市の花「アジサイ」・市の鳥「カモ」・市の歌「栃木市民の歌～明日への希望～」の普及啓発活動を行った。

(1)　市の木・花・鳥

・市封筒及び市広報紙に市の木・花・鳥のイラスト等を掲載

(2)　市の歌

・カラオケによる配信

・本庁舎の電話保留音

・本庁舎での定時放送

・FMくらら857での定時放送

・防災行政無線での定時放送
・庁内でのCDの貸出
・JR栃木駅の発車メロディ

6　市民憲章の普及啓発

まちづくりをする上での市民の心構えや、行動指針として制定された市民憲章の普及啓発を行った。

・市内の小中学校にチラシを配布
・広報とちぎ2月号に記事を掲載
・庁内での音声放送（毎週水曜日）

7　非核平和事業

栃木市非核平和都市宣言の趣旨を踏まえ、戦争の悲惨さや核兵器のおそろしさを伝えるとともに、命の貴さや平和について考える機会を提供するため、各種事業を行った。

(1)　とちぎ平和展

ア　開催状況

開催期間	会場	折鶴回収数(羽)
8月13日（火）～8月16日（金）	市役所本庁舎4階	93
8月 1日（木）～8月31日（土）	栃木図書館	412
	大平図書館	126
	藤岡図書館	96
	都賀図書館	100
	図書館西方館	148
	図書館岩舟館	105
合　　計		1,080

イ　内容

(ｱ)　全会場で実施

・原爆投下後の惨状を収めた写真パネル等の展示
・折鶴作製スペースの設置
（次年度の広島平和記念式典中学生派遣において奉納予定）
※図書館での開催は、各図書館の平和に関する企画とのコラボレーション開催とした。

(ｲ)　市役所本庁舎4階のみ実施

・「原爆の図」の作者である丸木位里・俊夫妻が絵付けしたみかも焼の展示
・総務人事課所有の従軍時に使用されていた上着や水筒等の現物資料の展示
・文化課所有の飛行服の展示

(2)　とちぎ非核平和展＝ヒカリから光へ＝【賢二版画絵巻プロジェクトとの共催】

ア　開催状況

開催期間	会場	折鶴回収数(羽)
8月15日（木）～8月18日（日）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）展示室	86

イ　内容

(ｱ)　栃木市が実施

・原爆の図丸木美術館所蔵の「原爆の図」（作：丸木位里・俊）複製画の展示
　原寸大…「幽霊」
　小パネル…「竹やぶ」「救出」
・原爆投下後の惨状を収めた写真パネル等の展示
・折鶴作製スペースの設置
　（次年度の広島平和記念式典中学生派遣において奉納予定）

(ｲ)　賢二版画絵巻プロジェクトが実施

・市ゆかりの彫刻家、版画家である鈴木賢二氏制作の版画絵巻「平和を世界に」などの展示
・朗読劇、パフォーマンスの実施　※15日（木）のみ

(3)　戦争体験を聞く会

ア　日　時　8月17日（土）午後2時～
　場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）展示室
　講　師　上野和子氏　「母の対馬丸での体験と沖縄について」
　　梁島宏光氏　「空襲体験や戦没者遺児について」
　来場者　87人

(4)　広島平和記念式典中学生派遣

・派遣団員　市立中学校2年生26人
・随　　行　中学校長（派遣団長）1人、養護教諭1人、学校教育課職員1人、総務人事課職員2人　計5人

	開催日時	会場	内　　容
説明会	7月4日（木） 午後6時30分～	市役所 正庁	団長挨拶、団員自己紹介、事業内容・行程等説明
事前学習会	7月4日（木） 説明会終了後	市役所 正庁	広島への原爆投下等に関する事前学習
壮行会	7月29日（月） 午後6時25分～	市役所 正庁	市長、教育長、団長挨拶、団員代表挨拶及び記念撮影、非核平和都市宣言唱和
広島派遣	8月5日（月） ～7日（水）	広島市 ほか	広島平和記念式典参列 広島平和記念資料館及び平和記念公園見学 元安川灯ろう流し 被爆体験講話受講　ほか
報告会準備	8月19日（月） 午後6時～	市役所 正庁	報告会の準備、リハーサル

報告会	8月22日（木） 午後6時30分～	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室	副市長挨拶、派遣団長挨拶、活動報告、講評（教育長）

8　後援事業

「栃木市の後援等に係る事務取扱要綱」、「栃木市イベント開催時の安全管理方針」及び「栃木市の後援等受付マニュアル」に基づき、各種団体等の主催する事業の後援等申請に対し、承認又は不承認の決定を行った。

・後援等申請件数　18件（内承認件数18件）

9　市章

栃木市章を適正かつ慎重に取り扱うため、栃木市章の使用に関する事務取扱要綱に基づき、市章を使用しようとする者から使用承認申請を受け、承認又は不承認の決定を行った。

・使用承認申請件数　4件（内承認件数3件）

10　行政手続制度

行政手続法等による審査基準等の公表

各申請に対する審査基準及び不利益処分基準について、市として統一的に公開するため、各申請窓口への備付け及び市ホームページへの掲載を行った。

11　情報公開・個人情報保護関係

(1)　市政情報センターの管理・運営等

市政情報センター内の市政情報コーナーにおいて各種行政資料を常時公開した。また、情報公開の総合窓口として市民の相談に応じた。

(2)　情報公開請求・保有個人情報開示請求の状況

・請求件数及び公開等の決定状況

（単位：件）

情報公開請求件数	公開等の決定状況		
	公開	部分公開	非公開
115	92	39	9

（単位：件）

保有個人情報開示請求件数	開示等の決定状況		
	開示	部分開示	非開示
36	7	29	1

※情報公開請求件数及び保有個人情報開示請求件数とそれぞれの決定状況の合計の数に差があるのは、1件の請求に対して複数の決定をする場合があるため。

(3)　情報公開・個人情報保護審査会開催状況

議題なしのため、開催なし。

12　告示

・件数　362 件

13　栃木市公報の発行

・年 12 回発行　第 169 号（4 月 15 日）～第 180 号（3 月 17 日）

14　文書管理関係

・文書取扱件数　（単位：件）

区　分	郵便文書
収受文書	181,177
発送文書	1,038,689

15　文書印刷

(1)　印刷機年間利用枚数　2,054,895 枚

(2)　コピー機年間利用枚数　3,313,143 枚

(3)　カラーコピー機年間利用枚数　65,577 枚

16　市議会関係

招　集　日	会議別	提　出　議　案　等
5 月 31 日（金）	定例会	議案第 55 号～議案第 72 号 報告第　2 号～報告第 10 号
8 月 30 日（金）	定例会	議案第 73 号～議案第 94 号 報告第 11 号～報告第 14 号 認定第　2 号～認定第 10 号
11 月 29 日（金）	定例会	議案第 95 号～議案第 117 号 報告第 15 号
1 月 27 日（月）	臨時会	議案第　1 号～議案第　4 号 報告第　1 号
2 月 21 日（金）	定例会	議案第　5 号～議案第 74 号 報告第　2 号

17　条例、規則等の審査、制定及び改廃

(1)　例規審査委員会

本市において制定する条例等の適正を期するため、条例等を審査し、立案を指導・助言する栃木市例規審査委員会を開催した。

・委員会の開催　38 回

・審議件数　177 件

(2)　法令の制定・改廃等に伴い、本市の条例・規則等を整備した。（番号は暦年）

ア　条例

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
32	栃木市税条例の一部を改正する条例	令和6年6月19日	令和6年6月19日
33	栃木市役所総合支所設置条例等の一部を改正する条例	令和6年6月19日	令和7年2月25日
34	栃木市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	令和6年6月19日	令和6年6月19日
35	栃木市歴史民俗資料館条例の一部を改正する条例	令和6年6月19日	令和6年10月1日
36	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	令和6年9月30日	令和6年10月1日
37	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	令和6年9月30日	令和6年9月30日
38	栃木市監査委員に関する条例及び栃木市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	令和6年9月30日	令和6年9月30日
39	栃木市国民健康保険条例の一部を改正する条例	令和6年9月30日	令和6年12月2日
1	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	令和7年1月27日	令和7年1月27日
2	栃木市職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	令和7年1月27日	令和7年1月27日
3	栃木市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例	令和7年1月27日	令和7年1月27日
4	栃木市企業版ふるさと応援基金条例	令和7年3月26日	令和7年3月26日
5	栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例	令和7年3月26日	令和7年3月26日
6	栃木市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
7	栃木市乳児等通園支援事業利用者負担金徴収条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
8	栃木市栃木インター西産業団地事業基金条例	令和7年3月26日	令和7年3月26日
9	栃木市表彰条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
10	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関	令和7年3月26日	令和7年6月1日

	係条例の整理に関する条例		
11	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
12	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
13	栃木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
14	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
15	栃木市旧栃木警察署跡地土地利用事業者審査委員会条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
16	栃木市税条例及び栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
17	栃木市体育施設条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
18	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
19	栃木市社会福祉法人等の助成に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
20	栃木市地域活動支援センター条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
21	栃木市地域包括支援センターの包括的支援事業の職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年3月26日
22	栃木市学童保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
23	栃木市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
24	栃木市保育所条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
25	栃木市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び栃木市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年3月26日
26	栃木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年3月26日
27	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改	令和7年3月26日	令和7年3月26日

	正する条例		
28	栃木市企業立地促進条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
29	栃木市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年6月1日
30	栃木市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
31	栃木市手数料条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
32	栃木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年3月26日
33	栃木市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
34	栃木市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
35	栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例を廃止する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
36	栃木市西方さくらホーム条例を廃止する条例	令和7年3月26日	令和7年4月1日
37	栃木市民間保育所設置運営事業者審査委員会条例を廃止する条例	令和7年3月26日	令和7年3月26日
38	栃木市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	令和7年3月26日	令和7年6月1日
39	栃木市税条例の一部を改正する条例	令和7年3月31日	令和7年4月1日
40	栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例	令和7年3月31日	令和7年4月1日
41	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	令和7年3月31日	令和7年4月1日

イ　規則

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
15	栃木市都市の低炭素化の促進に関する法律施行細則の一部を改正する規則	令和6年4月1日	令和6年4月1日
16	栃木市建築基準法施行細則の一部を改正する規則	令和6年4月1日	令和6年4月1日
17	栃木市建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律施行細則の一部を改正する規則	令和6年4月1日	令和6年4月1日
18	栃木市税に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則	令和6年4月22日	令和6年4月22日
19	栃木市社会福祉法人等の助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則	令和6年5月16日	令和6年5月16日

20	栃木市予防接種事故災害補償規則の一部を改正する規則	令和6年7月23日	令和6年7月23日
21	栃木市財務規則等の一部を改正する規則	令和6年7月24日	令和6年7月24日
22	栃木市税条例施行規則及び栃木市税に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則	令和6年8月30日	令和6年8月30日
23	栃木市予防接種に関する規則の一部を改正する規則	令和6年9月3日	令和6年9月3日
24	栃木市児童手当事務取扱規則の一部を改正する規則	令和6年10月1日	令和6年10月1日
25	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例施行規則	令和6年10月1日	令和6年10月1日
26	栃木市庁舎管理規則の一部を改正する規則	令和6年10月30日	令和6年11月1日
27	栃木市会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則	令和6年11月18日	令和7年4月1日
28	栃木市国民健康保険規則の一部を改正する規則	令和6年11月29日	令和6年12月2日
29	栃木市指定介護予防支援事業所の指定等に関する規則等の一部を改正する規則	令和6年12月25日	令和6年12月25日
30	栃木市介護保険規則の一部を改正する規則	令和6年12月25日	令和6年12月25日
1	栃木市職員の給料等の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年1月27日	令和7年1月27日
2	栃木市技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則	令和7年1月27日	令和7年1月27日
3	栃木市建築物の耐震改修の促進に関する法律施行細則の一部を改正する規則	令和7年2月27日	令和7年2月27日
4	栃木市都市の低炭素化の促進に関する法律施行細則の一部を改正する規則	令和7年3月7日	令和7年3月7日
5	栃木市長期優良住宅の普及の促進に関する法律施行細則の一部を改正する規則	令和7年3月7日	令和7年3月7日
6	栃木市空家等の適正管理及び有効活用に関する条例施行規則	令和7年3月26日	令和7年3月26日
7	栃木市企業立地促進条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年3月26日
8	栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例施行規則	令和7年3月26日	令和7年3月26日
9	栃木市社会福祉法人等の助成に関する条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日

10	栃木市財務規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
11	栃木市保育所管理規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
12	栃木市行政組織規則等の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
13	栃木市表彰条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
14	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
15	栃木市会計年度任用職員の勤務時間、休日及び休暇に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
16	栃木市学童保育の実施に関する条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
17	栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例施行規則を廃止する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
18	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例施行規則の一部を改正する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
19	栃木市西方さくらホーム条例施行規則を廃止する規則	令和7年3月26日	令和7年4月1日
20	栃木市会計年度任用職員の給与の決定及び支給等に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月28日	令和7年4月1日
21	栃木市母子保健法施行細則の一部を改正する規則	令和7年3月28日	令和7年3月28日
22	栃木市職員の在宅勤務等手当の支給に関する規則	令和7年3月28日	令和7年4月1日
23	栃木市長の権限に属する事務委任及び補助執行に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
24	栃木市税に関する文書の様式を定める規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
25	栃木市建築基準法施行細則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年3月31日
26	栃木市建築物のエネルギー消費性能の向上等に関する法律施行細則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年3月31日
27	栃木市予防接種に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
28	栃木市職員の管理職手当支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年3月31日
29	栃木市職員の給料等の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日

30	栃木市技能労務職員の給与に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
31	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
32	栃木市職員の初任給、昇格及び昇給等の基準に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
33	栃木市職員の通勤手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
34	栃木市職員の地域手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
35	栃木市職員の住居手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
36	栃木市職員の単身赴任手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
37	栃木市職員の管理職員特別勤務手当の支給に関する規則の一部を改正する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日
38	栃木市職員の扶養手当の支給に関する規則	令和7年3月31日	令和7年4月1日

ウ　訓令

番号	題　　名	公布年月日	施行年月日
6	栃木市住民基本台帳ネットワークシステムの管理運営に関する規程の一部を改正する規程	令和6年7月29日	令和6年7月29日
7	栃木市職員服務規程の一部を改正する規程	令和6年8月21日	令和6年9月1日
8	栃木市入札適正化委員会運営要領の一部を改正する要領	令和6年8月28日	令和6年8月28日
1	栃木市都賀地域包括支援センター介護予防支援事業運営規程の一部を改正する規程	令和7年2月19日	令和7年2月25日
2	栃木市事務決裁規程等の一部を改正する規程	令和7年3月26日	令和7年4月1日
3	栃木市公印規程の一部を改正する規程	令和7年3月26日	令和7年4月1日

18　顧問弁護士

市長その他市の執行機関の相談に応じ、行政執行上の問題について顧問弁護士(1人)から意見、助言等を受けた。

・相談件数　　2件

19　特定任期付職員（弁護士）

市長その他市の執行機関の相談に応じ､行政執行上の問題について庁内弁護士が意見、助言等を行った。

・相談件数　106 件

人事研修係

1　職員数

(1)　部局別職員数　　(4月1日現在　単位：人)

区　　分	職員数	男	女
市長の事務部局の職員	864	485	379
議会の事務部局の職員	10	6	4
選挙管理委員会の事務部局の職員	3	1	2
監査委員の事務部局の職員	5	1	4
公平委員会の事務部局の職員	－	－	－
教育委員会の事務部局の職員	108	67	41
農業委員会の事務部局の職員	8	7	1
上下水道局の職員	52	39	13
消防職員（※）	199	193	6
合計	1,249	799	450

※消防職員の人事に関しては消防本部消防総務課を参照

(2)　級別職員数（教育長、消防吏員を除く）

ア　行政職給料表　　(単位：人)

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
男	13	69	57	78	165	93	60	33	568
女	3	10	39	42	134	89	95	23	435
合計	16	79	96	120	299	182	155	56	1,003

イ　技能労務職給料表　　(単位：人)

区分	5級	4級	3級	2級	1級	合計
男	21	6	11	－	－	38
女	3	－	3	－	－	6
合計	24	6	14	－	－	44

ウ　市費負担教職員給料表（単位：人）

区分	1級
男	3
女	2
合計	5

(3)　職種別職員数(教育長を除く)　　(単位：人)

区　分	事　務	技　術	技　労	消　防	合計
男	486	85	38	190	799
女	383	55	6	6	450
合計	869	140	44	196	1,249

2　人事

(1)　行政委員等の就任

職　　名	氏　　名	就任年月日
教育委員会委員	西　脇　は　る　み	令和6年5月19日
監査委員	浅　野　貴　之	令和6年5月31日

(2)　職員の採用　　（単位：人）

職　　種	人　員	男	女
一　般　事　務	12	5	7
保　健　師	4	－	4
保育士（幼稚園教諭）	5	－	5
社　会　福　祉　士	3	2	1
土　木	2	2	－
建　築	2	1	1
学　芸　員	－	－	－
小　計	28	10	18
県等からの採用職員	5	4	1
合　計	33	14	19

(3)　職員の退職　　（単位：人）

職　　種	人　員
行政職	48（ 9）
技能労務職	12（ 5）
合計	60（14）

※（　）内は再任用職員の退職者数

(4)　職員の再任用　　（単位：人）

区　分	常時勤務職員	短時間勤務職員	計
人　数	14	44	58

(5)　職員採用試験の実施状況

ア　前期試験

・試験実施状況

実施日	内　容
6月1日(土)	第一次試験①（教養、適正、作文試験）実施
6月2日(日)	第一次試験②（集団面接試験）実施
6月29日(土)、30日（日）	第二次試験（個別面接試験）実施

・受験状況

区　　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
保育士(幼稚園教諭)	15	14	－	5	5	2.8
保　健　師	11	10	－	4	4	2.5

社会福祉士	5	5	2	1	3	1.7
土木	2	2	－	－	－	－
建築	2	2	1	1	2	1.0

※保育士（幼稚園教諭）の最終合格者数には補欠合格者を含まない

イ　10月1日採用試験

・試験実施状況

実施日	内　容
6月29日(土)	適性検査、個別面接試験実施

・受験状況

区　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
社会福祉士	2	2	－	－	－	－
土木	2	2	1	－	1	2.0
建築	－	－	－	－	－	－

ウ　後期試験

・試験実施状況

実施日	内　容
9月22日(日)	第一次試験（教養試験）実施
10月18日(土)～21日（月）	第二次試験（適性、作文、集団面接、個別面接（障がい者）試験）実施
11月18日(月)～19日（火）	第三次試験（個別面接試験）実施

・受験状況

区　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
一般事務	96	67	8	8	16	4.2
一般事務（障がい者対象）	5	4	－	－	－	－
土木	2	2	1	－	1	2.0
土木（高校生枠）	2	2	1	－	1	2.0
建築	1	1	－	－	－	－
建築（高校生枠）	－	－	－	－	－	－

エ　追加試験

・試験実施状況

実施日	内　容
1月18日（土）～19日（日）	教養試験、適性検査、作文（小論文）試験及び個別面接試験実施

・受験状況

区　分	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			倍率（倍）
			男	女	計	
保健師	7	5	－	3	3	1.7

3　職員研修

(1)　一般研修

ア　栃木市主催単独自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月1日（月）、2日(火)	新採用職員研修	新採用職員	26
4月22日（月）	新任課長級研修	新任課長級職員	13
5月	ビジネスマナー研修（eラーニング）	希望者	31
5月～12月	ハラスメント研修（eラーニング）	主査以上未受講者	137
6月～7月	新採用職員フォローアップ研修	新採用職員	26
7月24日（水）	課長級研修	課長級職員	56
8月6日（火）	コンプライアンス研修	主事以上未受講者	53
8月7日（水）	実務研修（法制執務）	主事(採用6～8年目)	42
8月7日（水）	人事評価制度評価者研修	第1次評価者	48
8月22日（木）	実務研修（財務会計事務）	主事（採用1年目）	24
10月11日（金）	薬物乱用防止研修	部長級、課長級職員	94

イ　栃木地区職員研修協議会主催広域自主研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
4月9日（火）～12日（金）	新採用職員前期研修	新採用職員	26
4月24日（水）	メンタルヘルス(ラインケア）研修	副主幹、係長級	24
4月25日（木）	メンタルヘルス(セルフケア）研修	主事（採用3年目）	18
5月8日（水）	接遇研修	主事（採用2年目）	27
5月9日（木）	民法講座	主事（採用5年目）	18
5月29日（水） 6月26日（水） 10月1日（火）	政策課題立案研修	主査（2年目）	24
6月3日（月）～ 28日（金）	情報発信力向上研修(オンデマンド型)	主事以上未受講者	56
6月 4日(火)～ 7日(金) 9月25日(水)～27日(金)	初級職員研修	主事（採用2年目）	26
6月18日（火）	データ利活用研修	主査（1年目）	17

6月19日（水）	交渉力研修	主査（3年目）	26
7月4日（木）	タイムマネジメント研修	主事（採用4年目）	14
7月17日（水） 9月11日（水）	クレーム対応研修	主任（1年目）	30
7月23日(火)～24日(水)	プロジェクトマネジメント研修	係長級	25
8月21日（水）、 10月22日(火)～25日(金)	新採用職員後期研修	新採用職員前期研修修了者	25
9月4日（水）	後輩指導・育成研修	後輩指導者等	20
10月2日（水）～3日（木）	問題解決研修	主事（採用6年目）	24
10月8日（火）	カスタマーハラスメント対応研修	希望者	80
11月20日（水）	キャリアデザイン研修	主事（採用4年目）	13
11月21日（木）	マネジメント研修	副主幹級	31

ウ　栃木県市町村振興協会主催市町村広域研修

実施日	研修科目	研修対象者	出席者数(人)
5月20日(月)	ＤＸ研修	課長～係長級	1
5月23日(木)	ＳＤＧｓ研修	係長級	1
6月3日(月)	ＯＪＴ研修	一般職員	1
6月28日(金)	課長級マネジメント研修	課長～係長級	1
7月9日(火)､10日(水)	職場リーダー研修	係長級	1
7月19日(金)	パワーハラスメント防止研修	課長～係長級	1
7月25日(木)	ダイバーシティ時代の管理職研修	課長～係長級	1
7月26日(金)	折衝・交渉研修	一般職員	1
8月29日(木)、 30日(金)	住民との協働講座	係長級	1
9月24日(火)、25日(水)	メンタルヘルスケア講座	課長～係長級	1
10月16日(水)、 17日(木)	コミュニケーション・カウンセリング講座	課長～係長級	1
10月16日(水)、 17日(木)	プレゼンテーション講座	全職員	1
11月25日(月)、 26日(火)	接遇レベルアップ講座	若手職員	17

12 月 17 日(火)、 18 日(水)	法務基礎養成講座	中堅職員	16

(2) 派遣研修

実施日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)
4月17日(水)～23日(火)	受益者負担金（仕組・法令編）	日本下水道事業団	1
4月17日(水)～23日(火)	受益者負担金（実務編）	日本下水道事業団	1
4月17日(水)～23日(火)	受益者負担金（徴収編）	日本下水道事業団	1
5月13日(月)、14日(火)	新任担当者のための秘書実務	日本経営協会	1
5月16日(木)	土木工事設計積算研修～実践編～	とちぎ建設技術センター	1
5月23日(木)、24日(金)	基礎から学ぶ地方自治体における契約事務(工事契約コース)	日本経営協会	1
5月23日(木)、24日 （金）	新任担当者のための社会福祉法・指導監査ガイドラインの解説と監査実務のポイント	日本経営協会	1
5月23日(木)～29日(水)	区画整理(基礎講座)	全国建設研修センター	1
5月29日(水)～31日(金)	建築設備工事監理	全国建設研修センター	1
6月6日(木)、7日(金)	人事評価結果の徹底した甘辛対策と処遇反映方法の見直し	日本経営協会	1
6月10日(月)	固定資産（土地）の評価実務	日本経営協会	1
6月18日(火)～21日(金)	建築確認実務Ⅰ	全国建設研修センター	1
6月19日(水)～21 日(金)	土地区画整理入門	日本経営協会	1
6月24日(月)～28日(金)	人口減少時代の都市計画	市町村アカデミー	1
7月1日(月)～4日(木)	若手職員のための建設工事のポイント(土木コース)	全国建設研修センター	1
7月4日(木)	ＣＡＤ操作研修～実践編～	とちぎ建設技術センター	2
7月4日(木)、5日(金)	徴収事務を実務的にマスターするシリーズ3 債権差押え	日本経営協会	1
7月8日(月)	建築工事設計図書確認研修	とちぎ建設技術センター	2

7月8日(月)、 9日(火)	会計年度任用職員の任用と管理実務	日本経営協会	1
7月8日(月)、 9日(火)	固定資産税における不服申立ての実務	日本経営協会	1
7月8日(月)～ 12日(金)	区画整理	全国建設研修センター	1
7月11日(木)、 12日(金)	移転と補償・直接施工の実務	日本経営協会	1
7月23日(火)	電気機械設備工事基礎研修	とちぎ建設技術センター	2
7月24日(水)、 25日(木)	建築設備改修	全国建設研修センター	1
7月25日(木)、 26日(金)	戸籍事務の基本と窓口対応事例検討講座	日本経営協会	1
7月30日(火)	道路排水施設設計研修	とちぎ建設技術センター	2
8月30日(金)	電気機械設備工事施工管理研修	とちぎ建設技術センター	4
9月5日(木)、 6日(金)	実例演習による住民税課税の実務（中級）	日本経営協会	1
9月9日(月)、 10日(火)	農地法および関係制度の基礎と実務(農地制度の基礎編)	日本経営協会	1
9月10日(火)	舗装設計研修～アスファルト製造から設計まで～	とちぎ建設技術センター	1
9月12日(木)	舗装維持管理研修～維持管理から修繕工法まで～	とちぎ建設技術センター	1
10月8日(火)	公共土木工事検査業務研修	とちぎ建設技術センター	1
10月15日(火)～ 18日(金)	建築改修	全国建設研修センター	1
10月16日(水)～ 18日(金)	土木技術のポイントB(施工・監督・検査コース)	全国建設研修センター	1
10月18日(金)	伝わる広報紙の作り方からSNS･動画･デザインまで	日本経営協会	1
11月11日(月)、 12日(火)	公有財産管理の法律実務	日本経営協会	1
11月18日(月)～ 28日(木)	市町村税徴収	市町村アカデミー	1
11月25日(月)	出納事務の制度と実務	日本経営協会	1
11月28日(木)、 29日(金)	自治体監査の実務ポイント･ノウハウ修得セミナー	日本経営協会	1

1月31日(金)	下水道経営セミナー	日本下水道事業団	1
2月14日(金)	下水道入門（第3回 官民合同 臨時）	日本下水道事業団	1

(3) その他派遣研修

実施日	研修内容	派遣先	派遣者数(人)
4月1日（土）～ 3月31日（日）	県派遣研修	栃木県教育委員会事務局施設課	1
		栃木県県土整備部栃木土木事務所	2
		栃木県経営管理部栃木県税事務所	1

(4) 資格取得補助

職員の資格取得への意欲を高めるとともに、より専門性を高めた市民サービスを行うことを目的とし、資格取得補助金の交付を行った。

・対　象　者　全職員（希望者）

・件　　数　3件

給与厚生係

1 職員厚生

(1) 安全衛生管理関係

ア 健康診断の実施状況（消防・短時間再任用職員及び会計年度任用職員除く）

検　診　名	対　象　者	受診者数(人)
一般健康診断	全職員	516
歯科健康診断（来院型）	〃	10
胃がん検診（X線）	〃	102
胃リスク検診（ABC検診）	胃がん検診を受診しない者	204
肺がん検診（胸部X線撮影）	全職員	478
大腸がん検診	〃	317
前立腺がん検診	50歳以上	42
乳がん検診	女性職員	194
子宮頸がん検診	女性職員	140
人間(脳)ドック	30歳以上	503
PET検査	〃	1

イ ストレスチェックの実施状況

（消防・短時間再任用職員及び会計年度任用職員除く）

受検者数　979人

(2) 市職員厚生会関係

ア 掛金事業

(ｱ) 厚生給付事業

区　　分	件数(件)	金額(円)
病気見舞金	10	85,000

休業者掛金免除	52	－
弔慰金	43	976,000
災害見舞金	－	－
褒章祝金	－	－
合計	105	1,061,000

(ｲ) 各種厚生事業

区分	件数(件)	金額(円)
イベント等参加経費助成	－	－
スポーツ・文化活動助成	124	231,100
合計	124	231,100

イ 負担金事業

(ｱ) 健康増進事業

・メンタルヘルスＤＶＤ貸出　0回

(ｲ) 福利厚生事業

・ライフプランセミナー（30代、50代）　各1回

(3) 栃木県市町村職員共済組合関係

ア 組合員数 1,236人（一般組合員のみ）

イ 貸付事業利用者数 60人

ウ 物資事業利用者数 34人

エ 遺族付加年金加入者数 510人

(4) その他

ア 全国市長会任意共済加入状況

・加入者数　81人

イ 全国市長会個人年金共済加入状況

・加入者数 256人

ウ 全国都市職員災害共済会火災共済加入状況

・加入者数　61人

エ 全国都市職員災害共済会自動車共済加入状況

種類	契約台数（台）
普通及び小型乗用車	96
軽四輪自動車	70
自動二輪車	19

オ 財形貯蓄

・加入実人員 422人

・積立額

区分	金額（円）
毎月	4,797,000
6月賞与	12,361,000

１２月賞与	12,129,000

２　公務災害

(1)　公務災害認定　　4件

(2)　通勤災害認定　　1件

３　退隠料及び扶助料

該当なし

第２節　契約検査課

〔総括概要〕

契約検査課の主な分掌事務は、市が発注する建設工事、建設工事関連業務委託及び物品購入などに係る入札の執行（一般競争入札、指名競争入札）、選考委員会の開催並びに建設工事の検査業務である。

入札、契約事務の適正な執行により競争性、公正性、透明性の向上を目指すとともに、地元業者の健全な発展と公共工事等の品質確保のため、制度の改善に取り組み、公共工事等に従事する者の賃金その他労働条件の改善、安全対策の徹底、手抜き工事や下請け業者へのしわ寄せの防止に努めた。

主なものとして、令和元年６月の「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の一部改正に伴い、公共工事等の実施時期の平準化を図ることが発注者の責務とされたことから、発注者が指定する一定期間内で、受注者が工事開始日を柔軟に選択できる余裕期間の設定を行っている。また、社会資本の整備、維持管理や現在及び将来の公共工事の品質確保を継続していくために必要な中長期的な担い手の確保・育成を図るため「栃木市土木工事における週休２日制工事試行要領」及び「栃木市営繕工事における週休２日制工事試行要領」並びに「栃木市ウィークリースタンス実施要領」を令和６年４月より実施した。

工事検査では、建設工事検査規程に基づき、発注工事が契約内容どおりに適正に施工されたか、技術的な面から工事の施工管理、出来形、品質、出来ばえ、施工体制及び安全対策等について検査を実施した。

契約係

1　入札件数

原則として130万円超の建設工事、50万円超の工事関連業務委託、総額80万円超の建設資材・物品の購入、単品で50万円以上の物品購入及び総額130万円以上の印刷物について入札を執行した。なお、予定価格130万円超の建設工事及び予定価格50万円超の建設工事関連業務委託の入札については、電子入札によるものである。

・入札状況　（単位：件）

入札内容	電子入札		郵便入札		計
	一般競争	指名競争	一般競争	指名競争	
建設工事	77	147	－	－	224
工事関連業務委託	5	124	－	－	129
物品購入(建設資材含む)	－	－	4	26	30
印刷物	－	－	－	2	2
合計	82	271	4	28	385

2　見積合せ件数

3万円以上130万円未満の印刷物について見積合せを実施した。

・件数　133件

3　建設工事等請負者選考委員会

事後審査型条件付き一般競争入札により執行する建設工事、工事関連業務委託の入札参加資格要件の設定、予定価格1,000万円以上（随意契約については500万円以上）の建設工事、建設工事関連業務委託の指名業者選考等について審議した。

・開催回数　15回

・審議件数　155件

4　物品購入等業者選考委員会

予定価格1,000万円以上（随意契約については500万円以上）の物品購入・役務提供の指名業者選考等について審議した。

・開催回数　14回

・審議件数　189件

5　入札参加資格者登録

令和7・8年度分として入札参加資格審査申請のあった者について、建設工事等請負者選考委員会及び物品購入等入札参加者資格審査委員会に諮った上、登録を行った。

・令和7・8年度入札参加資格者登録数　（単位：者）

建　設　工　事	795
工事関連業務委託	612
物　品・役　務	1,203
合　計	2,610

6　小規模工事等契約希望者登録

契約予定金額が50万円以下の小規模な工事の受注を希望する業者の登録を行った。

・登録業者数　65者

7　小規模物品等契約希望者登録

契約予定金額が50万円未満の小規模な物品購入・役務提供を希望する業者の登録を行った。

・登録業者数　218者

8　入札・契約制度の改善

(1)　入札適正化委員会の開催

建設工事に係る入札・契約の適正化を図るため、学識経験者4人で構成する入札適正化委員会を2回開催した。入札及び契約手続の運用状況の報告と、委員が抽出した案件

に関して、一般競争入札の参加資格設定の経緯及び指名競争入札の指名の経緯に係る審議を行った。

・第1回目　8月27日、審議対象：1月～6月入札執行分

・第2回目　2月18日、審議対象：7月～12月入札執行分

検査係

1　工事検査

令和6年度に完成した請負額500万円以上の建設工事について、次のとおり実施した。

・主管課別検査件数　（単位：件）

事業主管課	完成検査	中間検査	出来形検査	工事担当課及び担当件数
行財政改革推進課	3			建築住宅課　3
管財課	2			建築住宅課　2
大平地域づくり推進課	1			建築住宅課　1
都賀地域づくり推進課	7			建築住宅課　4
岩舟地域づくり推進課	1			公園緑地課　1
スポーツ課	1			
環境課	1			
クリーン推進課	1		2	公園緑地課　1
交通防犯課	1			建築住宅課　1
健康増進課	3			建築住宅課　3
子育て総務課	2			建築住宅課　1 公園緑地課　1
保育課	1			建築住宅課　1
観光振興課	1			建築住宅課　1
農林整備課	1			
産業基盤整備課	7			道路河川維持課　1
道路河川整備課	16			
道路河川維持課	20			
市街地整備課	3			
公園緑地課	2			建築住宅課　2
建築住宅課	5			
水道建設課	32	1		
下水道建設課	26	3		

消防総務課	2			建築住宅課　2
通信指令課	1	1		
学校施設課	6	1		建築住宅課　5
保健給食課	3			建築住宅課　1 公園緑地課　1 下水道建設課　1
合　計	149	6	2	33 内訳　道路河川維持課　1 公園緑地課　4 建築住宅課　27 下水道建設課　1

・工種別検査件数　（単位：件）

工　種	土　木	建　築	舗　装	管	電　気	水　道	その他	合計
件　数	43	12	34	12	6	23	19	149

2　優良建設業者表彰

市が発注した建設工事のうち、令和5年度に完成した請負金額が500万円以上の建設工事を優秀な成績で完成した建設業者を、優良建設業者として表彰した。

・開　催　日　8月2日（金）
・会　　場　市役所3階正庁
・対象業者数　13業者、3特定建設工事共同事業体
・対象工事数　20件
・対象工種数　土木16件、管1件、電気2件、水道1件

第３節　管財課

〔総括概要〕

管財課の主な分掌事務は、普通財産の調査・管理及び処分に関する事務、財産区及び財産区議会に関する事務、庁舎・附属施設及び自動車等の管理に関する事務である。

普通財産の貸付けについては、事業用定期借地権を設定し貸付けを行うなど、未利用市有地の有効活用に努め、市内及び東京都内の土地 43 件、26,568.79 ㎡を 20,511,228 円で有償貸付けした。

普通財産の処分については、未利用市有地等の売却を積極的に行い、未利用市有地等 29 件、5,538.25 ㎡の土地建物を 69,507,674 円で売却した。

また、大澤基金・皆川地区振興基金・小野寺地区市有林管理基金については、設置目的事業への充当と、利子収入等の積立てを行い、確実かつ有利な方法による基金運用に努めた。

財産区については、11 月 14 日に寺尾財産区議会の定例会を開催し、令和 5 年度寺尾財産区特別会計歳入歳出決算を審議した。2 月 18 日の定例会では、令和 7 年度寺尾財産区特別会計予算及び財産の減額貸付けを審議した。計 2 回開催した全員協議会では、寺尾財産区所有地の貸付、現地研修会の日程及び賃貸借契約の更新等について審議した。

庁舎等の管理については、本庁舎の宿直・警備等業務、清掃業務、設備・環境管理業務、受付等業務等各種管理業務を実施し、良好な職場環境の維持に努め、また、職員に対するカスタマーハラスメントの被害を未然に防止し、職員が安心して業務に従事できるほか、来庁者においても安心・安全に市役所を利用することができるよう栃木市庁舎管理規則の禁止行為に庁舎における無断撮影行為、職員に面会を強要する行為等を加えた。

防火防災面では、消防法に基づく消防計画の作成及び設備維持管理業務を行うとともに、消防訓練及び災害時避難訓練を 1 階商業事業者と合同で実施した。施設の維持補修や工事関係では、本庁舎エレベータ（1・2 号機）の改修工事を施工した。その他、適宜庁舎の維持補修を行い、庁舎の機能維持及び利便性向上に努めた。

市有車については、運行の安全確保のため適切な維持管理に努めた。老朽化した車両 3 台（救急車 1 台、ダンプ 1 台、ショベルローダ 1 台）については、インターネット公有財産売却システムを利用し売却した。

市有資産を活用した財源涵養策として、庁舎の一部を、自動販売機・証明写真機・広告付庁舎案内看板・パネル広告・デジタルサイネージ広告併設タッチパネル情報端末の設置場所として貸し出す事業を実施した。

財産管理係

1　普通財産の貸付

区　　分	件数(件)	面　積(㎡)	収入金額(円)
市内市有地（旭町　ほか）	29	24,159.28	13,478,954
都内市有地（渋谷区、大田区）	14	2,409.51	7,032,274
合　　計	43	26,568.79	20,511,228

2　普通財産の処分

区　　分	件数(件)	面　　積(㎡)	売却価格(円)
普通財産（一般競争入札）	1	1,239.28	30,100,000
普通財産（市内・随意契約）	1	1,157.13	15,090,000
普通財産（都内・随意契約）	1	66.41	13,700,000
旧道水路敷（用途廃止）	26	3,075.43	10,617,674
合　　計	29	5,538.25	69,507,674

※普通財産（一般競争入札）の物件は建物付きであった。

3　都内市有地(大澤財産)処分状況　　(単位：㎡)

寄附受入面積	地積更正等	令和5年度末までの処分	令和6年度中の処分	令和6年度末の保有面積
7,928.44	7,890.02	5,478.79	66.41	2,344.82

4　大澤基金に関すること　　(単位：円)

令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
1,072,053,061	2,653,761	1,074,706,822

5　皆川地区振興基金に関すること　　(単位：円)

令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
33,507,175	4,537	33,511,712

6　小野寺地区市有林管理基金に関すること　　(単位：円)

令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
1,000	0	1,000

7　財産区関係

(1)　寺尾財産区議会の招集

招　集　日	会　議　別	提　案　議　案　等
11月14日(木)	定例会	令和５年度特別会計歳入歳出決算の認定について
11月14日(木)	全員協議会	所有地の貸付について 議員現地研修会の日程について
1月22日(水)	全員協議会	令和７年度特別会計予算(案)について

		議員提案に対する検討について 賃貸借契約の更新について 立木の切り出しについて
2月18日(火)	定例会	令和7年度特別会計予算について 財産の減額貸付けについて

(2)　令和6年度寺尾財産区特別会計歳入歳出決算　　(単位：円)

歳入	予算現額	収入済額
	59,534,000	59,064,520
歳出	予算現額	支出済額
	59,534,000	57,060,111
差引残額		2,004,409

(3)　寺尾財産区有山林貸付状況

貸付件数（件）	面積（㎡）	収入金額（円）
4	297,293.05	13,204,830

(4)　寺尾財産区運営基金状況　　(単位：円)

令和5年度末現在高	令和6年度中増減高	令和6年度末現在高
283,959,696	51,115,000	335,074,696

8　相続財産清算人制度

市有地の借地人が他界し、相続人全員が放棄したため、賃料を請求できない状況となった。賃料債権を適正に回収するため、相続財産清算人選任の申立てを行った。

件名	支払先	支払額（円）
相続財産清算人選任の申立てに係る予納金	宇都宮地方裁判所	805,075

9　物件移転補償

貸し付けている建物について、建築士から倒壊の危険性が指摘された。賃借人等の安全確保のため、速やかな退去を求めたことから補償を行った。

件名	支払額（円）
物件移転補償金	13,462,313

10　旧教育委員会建物活用事業

前事業者との契約が終了したため、新事業者の募集選定を行った。

実施日	内容
10月28日（月）	活用事業者の公募開始
1月8日（水）	第1回選定委員会
1月27日（月）	第2回選定委員会
2月7日（金）	優先交渉権者決定
3月28日（金）	優先交渉権者との定期建物賃貸借契約の締結

契約相手方：株式会社ティ・エ・エス
東京都中央区銀座7-17-1 銀座武蔵野ビル2階
代表取締役　友瀬貴也

庁舎管理係

1　本庁舎等の業務委託

庁舎管理上の必要から、次のとおり業務委託を実施した。

業　務　名	委託金額（円）
本庁舎宿直・警備等業務委託	20,605,200
本庁舎清掃業務委託	10,019,658
本庁舎設備・環境管理業務委託	33,962,984
本庁舎受付等業務委託	7,271,000
本庁舎電話交換設備等保守点検業務委託	1,567,500
本庁舎管理業務委託	2,343,249
その他業務委託　8件	859,680
合　　計	76,629,271

2　本庁舎等の工事

本庁舎エレベータ（1・2号機）の改修工事を施工した。

工　　事　　名	工事金額（円）
本庁舎エレベータ改修工事（1・2号機）	53,460,000
その他関連工事　2件	547,800
合　　計	54,007,800

3　本庁舎及び立体駐車場等の修繕工事

市役所本庁舎及び立体駐車場等において必要な修繕工事を施工した。

工　　事　　名	工事金額（円）
本庁舎ピット内排水ポンプ交換工事	562,100
立体駐車場東側駐輪場防犯カメラ設置工事	141,460
本庁舎消防点検指摘箇所修繕工事	906,400
本庁舎多目的トイレ改修工事	297,000
本庁舎マンホール修繕	999,350
東武百貨店・栃木市役所冷媒ガス補充修繕工事	148,390
東武百貨店・栃木市役所ユニットクーラー更新工事	968,000
本庁舎2階南側ペアガラス修理工事	367,400
その他維持補修等　23件	1,202,190
合　　計	5,592,290

4　栃木市庁舎管理規則の一部改正

カスタマーハラスメントの被害を未然に防止し、職員が安心して業務に従事できる職場環境を整えることができるほか、来庁者においても安心・安全に市役所を利用することができるよう、栃木市庁舎管理規則の禁止行為規定に次の行為を加えた。

・撮影、録音、録画、放送その他これらに類する行為（市が行う記者会見において報道機関が行うもの、市の職員が職務上行うものその他公務上支障がないものとして市長が認めるものを除く。）をすること。

・職員に面会を強要すること。

・前各号に掲げるもののほか、庁舎における秩序の維持又は災害の防止に支障を及ぼすおそれのある行為をすること。

5　庁舎の有効活用状況

庁舎の一部を貸し出し、財源涵養に努めた。

(1)　庁舎貸付状況

貸　付　物　件	貸付収入（円）
自動販売機（6台）	3,803,263
証明写真機	610,468
広告付本庁舎案内看板	594,000
本庁舎パネル広告事業	732,050
本庁舎デジタルサイネージ広告併設タッチパネル情報端末	1,320,000
本庁舎1階商業施設貸付収入	15,887,088
合　　計	22,946,869

(2)　自動販売機入札実施状況

入札実施日	入札実施台数	応札件数	最高貸付料率（%）
10月21日（月）	54台	13件	37.5
2月3日（月）	80台	45件	50.0

※設置事業者が年度途中で撤退したことにより、10月21日（月）に臨時入札を実施。

6　市有建物損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

・件　　数　488件

・共済責任額　8,583,802万円

・共済分担金　　9,700,661円

7　共用車管理状況

本庁所管の共用車について、状態を良好に保つよう維持管理に努めた。

【令和7年3月末現在】

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（大型バス　席数53(補助席8含む)・ガイド席1）	1

普通乗合（中型バス　席数35(補助席6含む)・ガイド席1)	1
普通乗用	10
小型乗用	14
軽乗用	10
小型貨物	13
軽貨物	20
合　　計	69

8　市有自動車損害共済委託状況

全国市有物件災害共済会

・件　　数　自動車及びバイク　376台

・共済分担金　　5,657,632円

・契約内容(自動車等)　　対物　1事故につき　　無制限

対人　1人につき　　無制限

9　消防訓練及び災害時避難訓練実施状況

回数	実施日	内容	参加者
第1回	6月12日(水)	総合訓練	277人(内、市職員 273人)
第2回	10月29日（火）	避難訓練	30人（内、市職員　27人)
第3回	11月13日（水）	総合訓練	96人（内、市職員　90人)

10　特定規模電気事業者との電力需給契約（新電力）

高圧施設 72 施設の内、本庁舎については、とちぎクリーンプラザの余剰電力を扱うホームタウンエナジー（株）と契約し、ごみの焼却熱を利用して発電した電気を使うことで、電気料金の削減とともに、脱炭素化に寄与した。また、栃木保健福祉センター等 33 施設及び小・中学校 38 校については、令和 5 年度から継続して東京電力エナジーパートナー（株）から供給を受けている。

第４節　財政課

〔総括概要〕

令和6年度の当初予算については、安定した行政サービスや、地域の資源・魅力を次の世代にも引き継いでいける強固な行財政基盤を有した「持続可能な自治体」の構築を目指し、第2次総合計画に掲げる6つの基本方針の実現に資する事業に経営資源を集中するとともに、行財政改革を着実に推進することとし、予算編成を行った。

一方、長引く物価上昇に対応するため国の交付金を活用し、低所得世帯等に対する臨時給付金や、民間保育所や中小企業者等に対する光熱費等の支援として実施に必要な予算編成を行った。

また、財政の透明性や市民への説明責任を果たすため、当初予算の概要について広報とちぎに記事を掲載するとともに、ホームページに「予算のあらまし」及び当初予算の編成過程、決算等の情報を掲載した。

令和7年度の当初予算についても、引き続き積極的に行財政改革を着実に進めることで、総合計画に掲げる本市の将来像「豊かな自然と共生し　優しさと強さが調和した　活力あふれる栃木市」の実現に向けた予算編成を行った。

財政係

1　令和6年度歳入歳出予算

(1)　一般会計　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和6年　3月27日	－	74,090,000
補正第　1号	〃　3月27日	635,583	74,725,583
〃　2号	〃　6月19日	1,921,798	76,647,381
〃　3号	〃　6月19日	11,025	76,658,406
〃　4号	〃　9月30日	1,193,646	77,852,052
専決処分補正第5号	〃　10月　9日	81,376	77,933,428
補正第　6号	〃　11月29日	－	－
〃　7号	〃　12月18日	1,874,372	79,807,800
〃　8号	令和7年　1月27日	847,021	80,654,821
専決処分補正第9号	〃　2月　3日	3,300	80,658,121
補正第 10号	〃　3月26日	647,019	81,305,140

(2)　特別会計

ア　国民健康保険　（単位：千円）

区　　分	議決等年月日	補　正　額	累　　計
当 初 予 算	令和6年　3月27日	－	17,131,689

補正第　1号	〃　6月19日	8,204	17,139,893
〃　2号	〃　12月18日	72,955	17,212,848
〃　3号	令和7年　3月26日	△831	17,212,017

イ　後期高齢者医療　（単位：千円）

区　分	議決等年月日	補正額	累計
当初予算	令和6年　3月27日	－	2,408,259
補正第　1号	〃　12月18日	95,537	2,503,796
〃　2号	令和7年　3月26日	25,294	2,529,090

ウ　介護保険（保険事業勘定）　（単位：千円）

区　分	議決等年月日	補正額	累計
当初予算	令和6年　3月27日	－	15,688,151
補正第　1号	〃　12月18日	440,830	16,128,981
〃　2号	令和7年　3月26日	78,185	16,207,166

エ　介護保険（介護サービス事業勘定）　（単位：千円）

区　分	議決等年月日	補正額	累計
当初予算	令和6年　3月27日	－	73,489
補正第　1号	〃　12月18日	10,510	83,999
〃　2号	令和7年　3月26日	611	84,610

オ　栃木インター西産業団地　（単位：千円）

区　分	議決等年月日	補正額	累計
当初予算	令和6年　3月27日	－	711,973
補正第　1号	〃　9月30日	－	711,973
〃　2号	令和7年　3月26日	2,542,486	3,254,459

カ　平川産業団地　（単位：千円）

区　分	議決等年月日	補正額	累計
当初予算	令和6年　3月27日	－	1,197,774
補正第　1号	〃　9月30日	－	1,197,774
〃　2号	令和7年　3月26日	△202,142	995,632

(3)　水道事業会計　（単位：千円）

区　分	議決等年月日	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
		収　入	支　出	収　入	支　出
当初予算	令和6年3月27日	2,783,522	2,793,843	880,187	1,952,294
補正第　1号	〃　9月30日	88,762	－	－	－
合　計		2,872,284	2,793,843	880,187	1,952,294

(4)　下水道事業会計　（単位：千円）

区　分	議決等年月日	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
		収　入	支　出	収　入	支　出
当初予算	令和6年3月27日	4,194,590	4,247,826	1,817,176	3,192,086

合　計	4,194,590	4,247,826	1,817,176	3,192,086

2　令和6年度決算状況

(1)　一般会計及び特別会計　　（単位：千円）

区　分	予算現額	決算額			翌年度へ繰越すべき財源	実質収支額
		歳　入	歳　出	差引額		
一般会計	85,326,092	81,714,809	78,167,917	3,546,892	135,187	3,411,705
国民健康保険特別会計	17,212,017	15,992,360	15,804,174	188,186	0	188,186
後期高齢者医療特別会計	2,529,090	2,526,622	2,481,161	45,461	0	45,461
介護保険特別会計(保険事業勘定)	16,207,166	16,014,352	15,464,611	549,741	0	549,741
介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)	84,610	84,132	81,304	2,828	0	2,828
栃木インター西産業団地特別会計	3,254,459	3,254,834	3,237,142	17,692	0	17,692
平川産業団地特別会計	1,019,178	791,552	787,972	3,580	51	3,529
計	125,632,612	120,378,661	116,024,281	4,354,380	135,238	4,219,142

(2)　水道事業会計　　（単位：千円）

区　分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収　入	支　出	収　入	支　出
予算現額	2,872,284	2,797,683	1,182,387	2,380,814
決算額	2,897,395	2,494,119	928,535	1,711,429
決算額−予算額	25,111		△253,852	
繰越額		26,400		337,128
不用額		277,164		332,257

(3)　下水道事業会計　　（単位：千円）

区　分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
	収　入	支　出	収　入	支　出
予算現額	4,198,430	4,251,666	2,111,529	3,500,968
決算額	4,216,955	4,128,148	1,296,507	2,577,640
決算額−予算額	18,525		△815,022	
繰越額		3,840		634,579
不用額		119,678		288,749

3　地方譲与税、利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、法人事業税交付金、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金、自動車取得税交付金、自動車税環境

性能割交付金、地方特例交付金、交通安全対策特別交付金の収入　　（単位：千円）

区　　分		交付月	期　　間	交　付　額
地方譲与税	地方揮発油譲与税	6月	令和6年　3月～　5月	40,735
		11月	〃　6月～　10月	55,251
		3月	〃　11月～令和7年　2月	52,083
		計		148,069
	自動車重量譲与税	6月	令和6年　3月～　5月	120,044
		11月	〃　6月～　10月	186,406
		3月	〃　11月～令和7年　2月	146,679
		計		453,129
	森林環境譲与税	9月	令和6年　3月～　8月	18,878
		3月	〃　9月～令和7年　2月	18,166
		計		37,044
	小　　計			638,242
利子割交付金		8月	令和6年　3月～　7月	2,190
		12月	〃　8月～　11月	3,661
		3月	〃　12月～令和7年　2月	1,890
		計		7,741
配当割交付金		8月	令和6年　3月～　7月	25,352
		12月	〃　8月～　11月	4,469
		3月	〃　12月～令和7年　2月	126,056
		計		155,877
株式等譲渡所得割交付金		3月	令和6年　3月～令和7年　2月	221,412
法人事業税交付金		8月	令和6年　3月～　7月	205,903
		12月	〃　8月～　11月	82,898
		3月	〃　12月～令和7年　2月	117,202
		計		406,003
地方消費税交付金	地方消費税交付金	6月	令和6年　3月～　5月	450,935
		9月	〃　6月～　8月	558,450
		12月	〃　9月～　11月	304,263
		3月	〃　12月～令和7年　2月	520,990
		計		1,834,638
	社会保障財源交付金	6月	令和6年　3月～　5月	565,186
		9月	〃　6月～　8月	698,939
		12月	〃　9月～　11月	382,723
		3月	〃　12月～令和7年　2月	651,579
		計		2,298,427
	小　　計			4,133,065

ゴルフ場利用税交付金	8月	令和6年　3月～　7月	145,797
	12月	〃　8月～　11月	115,578
	3月	〃　12月～令和7年　2月	91,293
	計		352,668
自動車税環境性能割交付金	8月	令和6年　4月～　7月	27,749
	12月	〃　8月～　11月	29,897
	3月	〃　12月～令和7年　3月	29,495
	計		87,141
地方特例交付金	4月		420,452
	9月		415,550
	3月		15,852
	計		851,854
交通安全対策特別交付金	9月	令和6年　3月～　8月	7,755
	3月	〃　9月～令和7年　2月	7,084
	計		14,839
合計			6,868,842

4　地方交付税

(1)　令和6年度算定額　（単位：千円）

区分	一本算定による算定額	合併算定替による算定額
基準財政需要額 ①	32,033,163	32,092,457
基準財政収入額 ②	21,582,615	21,582,603
交付基準額 ③（①－②）	10,450,548	10,509,854
調整額 ④		－
普通交付税 ⑤（③－④）		10,509,854
特別交付税 ⑥		1,267,851
合計（⑤＋⑥）		11,777,705

※算定額①②には、算定において措置すべき錯誤額を含む

(2)　収入額　（単位：千円）

区分	交付月	交付額	区分	交付月	交付額
普通交付税	4月	2,343,528	特別交付税	9月（震災復興特別交付税）	91
	6月	2,343,528		12月	105,446
	9月	2,589,184		3月	1,162,198
	11月	2,589,183		3月（震災復興特別交付税）	116
	12月追加	644,431			
小計		10,509,854	小計		1,267,851
合計					11,777,705

5　市債の状況（一般会計）　　（単位：千円）

借　入　日	借　入　先	借入年数	借　入　額	年利率(%)
令和7年1月29日	財務省	20年	174,600	1.000
〃　3月24日	栃木県市町村振興協会	15年	77,000	1.200
〃　3月25日	財務省	10年	2,000	1.200
〃	〃	20年	3,622,200	1.400
〃	全国市有物件災害共済会	5年	20,900	0.900
〃　3月31日	栃木県	10年	4,500	0.900
〃	〃	10年	270,600	1.100
〃	〃	15年	29,900	1.400
〃　5月22日	地方公共団体金融機構	20年	297,800	1.300
〃	〃	30年	1,513,700	1.300
〃	〃	10年	104,100	1.100
〃　5月24日	栃木県市町村振興協会	10年	24,600	0.800
〃	〃	15年	29,400	1.200
〃	〃	20年	110,400	1.500
〃　5月27日	足利銀行	20年	36,300	1.090
〃	栃木信用金庫	10年	938,600	0.800
〃	財務省	10年	89,900	1.100
〃	〃	20年	4,100	1.300
〃	足利銀行	5年	23,500	0.740
〃	〃	20年	37,900	1.090
〃	栃木信用金庫	10年	894,100	0.800
合　計			8,306,100	

6　財政状況の公表

告示番号	告示年月日	内　容
第179号	令和6年 6月 4日	令和5年度下半期予算執行状況等
第331号	〃 12月 2日	令和6年度上半期予算執行状況及び令和5年度決算状況等

7　水道事業及び下水道事業業務状況の公表

告示番号	告示年月日	内　容
第180号	令和6年 6月 5日	令和5年度下半期分
第332号	〃 12月 2日	令和6年度上半期分及び令和5年度決算

第５節　税務課

〔総括概要〕

自立的な行財政運営を実現するうえで、自主財源である市税の重要性は非常に高く、常に厳正な税務行政の執行が求められることから、租税の原則に基づき、公平・明確な租税賦課業務に努めた。

具体的な取組みとして、市民税関係では、課税客体の適正把握のため、個人住民税未申告者に対する申告の催告等を実施した。なお、より一層の税収確保に向けて、未申告法人の活動状況調査や申告指導を行った。また、定額による特別控除を実施した。

保険税（料）関係では、転入者等に対する適正な賦課を行うため、簡易申告等を実施した。

軽自動車税関係では、車両の現況調査等を通じて、課税客体の適正把握に努めた。

資産税関係では、土地と家屋の税務通知書を電子データ化し、固定資産税システムに取り込むことにより、精度の向上と業務の効率化をすすめた。償却資産についてはｅＬＴＡＸの推進、新規事業者の捕捉及び申告書の送付、未申告事業者に対する催告等の申告指導を継続して行った。

税政係

1　調定額　（単位：千円）

区分／税目	本年度	前年度
市民税	9,305,385	9,773,926
軽自動車税	569,909	556,579
市たばこ税	1,176,441	1,195,800
鉱産税	4,333	3,978
入湯税	18,659	18,292
国民健康保険税	3,756,662	4,339,842
後期高齢者医療保険料	1,848,206	1,661,151
介護保険料	3,582,866	3,536,900

2　賦課状況

(1)　軽自動車税(4月1日現在)　（令和6年度課税状況調より）

区分／車種		総台数（台）	課税外台数(台)		課税台数（台）	税額（千円）
			非課税	減免		
原動	50cc以下	4,407	37	－	4,370	8,740
	特定小型	15	－	－	15	30

機付自転車	51cc～90cc				525	1	－	524	1,048
	91cc～125cc				1,197	13	－	1,184	2,842
	ミニカー				115	－	－	115	425
	小　計				6,259	51	－	6,208	13,085
軽自動車及び小型特殊自動車	軽自動車	二輪車			2,237	2	2	2,233	8,039
		三輪車			2	－	1	1	5
		四輪車	乗用	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	9,685	23	224	9,438	67,954
			貨物	営業用	51	－	1	50	150
				自家用	2,150	14	33	2,103	8,412
		新税率適用分	乗用	営業用	2	－	－	2	14
				自家用	18,918	28	346	18,544	200,275
			貨物	営業用	166	－	－	166	631
				自家用	4,481	41	58	4,382	21,910
		重課適用分	乗用	営業用	4	－	－	4	33
				自家用	10,105	25	279	9,826	126,755
			貨物	営業用	46	－	－	46	207
				自家用	5,726	41	94	5,591	33,546
		75%軽課適用分	乗用	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	40	1	1	38	103
			貨物	営業用	8	－	－	8	8
				自家用	2	1	－	1	1
		50%軽課適用分	乗用	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	－	－	－	－	－
			貨物	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	－	－	－	－	－
		25%軽課適用分	乗用	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	－	－	－	－	－
			貨物	営業用	－	－	－	－	－
				自家用	－	－	－	－	－
	小型特殊		農耕作業用		5,984	20	3	5,961	14,306
			フォークリフト等		526	2	－	524	3,091
	小　計				60,158	198	1,042	58,918	485,440
二輪の小型自動車					3,127	18	5	3,104	18,624
合　計					69,544	267	1,047	68,230	517,149

(2)　市たばこ税

区　分	課税標準数量（本）	返還控除数量（本）	差引数量（本）	申告納付額（円）

たばこ税	180,381,640	827,081	179,554,559	1,176,441,460
手持ち品	－	－	－	－
合　計	180,381,640	827,081	179,554,559	1,176,441,460

※税率の改正がなかったため、手持ち品課税はなし。

(3)　鉱産税

区　分	数量(ｔ)	価格(円)	課税標準額(千円)	税額(円)
石灰石　第1類	32,717	9,815,100	－	－
ドロマイト	158,311	63,324,400		
石灰石　第2類	1,321,253	330,313,250		
珪　石	66,917	33,458,455		
合　　計	1,579,198	436,911,205	436,894	4,332,500

(4)　入湯税

区　分	税率(円/人)	人数(人)	税額(円)
日帰り	50	363,738	18,186,900
宿　泊	150	3,148	472,200
合　計		366,886	18,659,100

3　諸証明等の交付（栃木地域分）

区　分	件・冊・枚数		摘　　要
	有　料	無料(公用等)	
諸 証 明	25,150	393	・納税、所得及びその他の証明　1件につき300円 ・土地及び建物の評価証明　1件につき300円 ただし、土地は5筆、建物は5棟以下を1件とし1件増すごとに100円を加算する。 ・住宅用家屋証明　1件につき1,300円
公簿閲覧	2,762	518	・資産台帳の閲覧　1冊につき300円 ・公簿等の写し　1枚につき300円 ・航空写真の写し　1枚につき600円
合　計	27,912	911	

市民税係

1　個人市民税賦課状況(7月1日現在)　　(令和6年度課税状況調より)

(1)　所得区分別市民税額調　　(単位：千円)

区　　分	金　　額	所　得　区　分　別　金　額				
		給　与	営　業	農　業	その他	分離譲渡

所得金額		222,110,136	191,395,621	8,274,633	1,684,679	16,122,673	4,632,530
所得控除額	雑　　損	-	-	-	-	-	-
	医 療 費	1,254,467	747,665	77,271	42,038	313,777	73,716
	社会保険料	39,948,738	36,044,815	1,063,261	251,214	2,068,572	520,876
	小規模企業共済等掛金	1,098,162	749,105	204,726	19,246	63,419	61,666
	生命保険料	2,585,938	2,271,955	86,789	19,112	172,647	35,435
	地震保険料	112,680	79,803	5,200	4,221	20,343	3,113
	障 害 者	561,400	405,840	22,820	8,660	111,500	12,580
	寡　　婦	138,320	81,120	3,120	520	49,400	4,160
	ひとり親	253,500	240,600	6,300	300	4,800	1,500
	勤労学生	-	-	-	-	-	-
	配 偶 者	3,766,180	2,621,930	94,500	18,230	978,080	53,440
	配偶者特別	989,750	799,470	29,430	3,450	141,480	15,920
	扶　　養	4,897,410	4,413,500	204,360	53,810	149,780	75,960
	同居特別障害者	101,430	84,180	5,750	1,380	7,820	2,300
	基　　礎	29,361,210	24,463,190	865,890	169,850	3,509,660	352,620
	計	85,069,185	73,003,173	2,669,417	592,031	7,591,278	1,213,286
課税標準額		141,396,184	118,392,448	5,605,216	1,092,648	8,531,395	7,774,477
税額	算出税額	8,353,086	7,101,170	336,233	65,544	511,549	338,590
	調整控除額	138,196	111,527	4,407	894	19,952	1,416
	配当控除額	7,935	2,776	35	38	2,486	2,600
	住宅借入金等特別税額控除	142,983	137,838	3,938	321	349	537
	寄附金税額控除	264,240	227,165	12,663	797	6,099	17,516
	外国税額控除	71	3	-	-	41	27
	税額調整額	65	54	11	-	-	-
	配当割額等控除額	21,393	1,505	51	1	2,681	17,155
	定額による特別控除額	630,678	532,649	19,200	3,804	67,700	7,325
	減免税額	90	90	-	-	-	-
	所得割額	7,147,435	6,087,563	295,928	59,689	412,241	292,014
	均等割額	246,057	193,134	8,559	1,533	42,831	-
	市民税額合計	7,393,492	6,280,697	304,487	61,222	455,072	292,014
市民税負担割合(%)		100	85.0	4.1	0.8	6.2	3.9
納税義務者数(人)		82,019	64,055	2,816	508	13,744	896

所得割人数(人)	68,527	57,025	2,036	397	8,173	896

(2) 課税標準額段階別市民税所得割額調

課税標準額の段階	納税義務者数(人)	所得金額(千円)	課税標準額(千円)	算出税額(千円)	所得割額(千円)
10万円以下	170	65,998	1,058,544	31,961	30,192
10万円を超え 100万円以下	23,112	34,005,255	14,350,680	833,197	592,607
100 〃 200 〃	21,773	57,083,373	32,406,871	1,930,084	1,594,515
200 〃 300 〃	11,958	46,209,473	29,511,877	1,756,873	1,502,319
300 〃 400 〃	5,694	29,687,547	19,869,615	1,184,446	1,050,953
400 〃 550 〃	3,359	22,012,261	15,600,145	929,286	842,571
550 〃 700 〃	995	8,213,458	6,194,737	368,342	333,927
700 〃 1,000 〃	712	7,408,272	5,938,196	354,069	322,343
1,000 〃 2,000 〃	537	8,397,408	7,426,647	437,564	398,697
2,000 〃 5,000 〃	185	5,943,141	5,941,908	343,900	311,941
5,000 〃 1億円 〃	24	1,618,466	1,647,067	96,403	87,255
1億円を超える金額	8	1,465,484	1,449,897	86,961	80,115
合 計	68,527	222,110,136	141,396,184	8,353,086	7,147,435

※「課税標準額の段階」には分離譲渡所得は含まれない。

(3) 課税標準額段階別控除対象配偶者、扶養控除に関する調 (単位：人)

課税標準額の段階	控除対象配偶者		扶養控除人員	扶養控除人員の内訳		
		うち老人配偶者		老人扶養	同居老親扶養	その他の扶養
1万円以下の金額	24	13	17	2	7	8
1万円を超え 2万円以下	-	-	3	1	-	2
2 〃 3 〃	-	-	-	-	-	-
3 〃 4 〃	-	-	-	-	-	-
4 〃 5 〃	-	-	-	-	-	-
5 〃 6 〃	1	-	-	-	-	-
6 〃 7 〃	1	1	-	-	-	-
7 〃 8 〃	1	-	-	-	-	-
8 〃 9 〃	-	-	-	-	-	-
9 〃 10 〃	1	-	-	-	-	-
10 〃 15 〃	1	-	-	-	-	-
15 〃 20 〃	4	2	25	-	-	25
20 〃 25 〃	8	1	97	5	-	92
25 〃 30 〃	154	80	100	3	-	97
30 〃 40 〃	485	321	255	16	44	195
40 〃 60 〃	931	549	716	40	203	473
60 〃 80 〃	838	384	856	40	223	593
80 〃 120 〃	1,414	409	1,498	78	465	955

120 〃 160 〃	1,255	234	1,359	79	418	862
160 〃 200 〃	1,157	138	1,293	64	365	864
200万円を超える金額	4,845	221	6,355	323	1,287	4,745
合　　計	11,120	2,353	12,574	651	3,012	8,911

2　法人市民税賦課状況（7月1日現在）

均等割別納税義務者数

区分		均等割額(千円)	法人数(人)
資本金の額等	① 1千万円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	60	3,244
	② 1千万円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	144	35
	③ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	156	570
	④ 1千万円を超え1億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	180	61
	⑤ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人以下の法人	192	127
	⑥ 1億円を超え10億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	480	30
	⑦ 10億円を超え、市内の従業者数が50人以下の法人	492	135
	⑧ 10億円を超え50億円以下で、市内の従業者数が50人を超える法人	2,100	10
	⑨ 50億円を超え、市内の従業者数が50人を超える法人	3,600	25
合　　計			4,237

保険係

1　国民健康保険税賦課状況（7月1日現在）

(1)　医療保険分の状況

ア　税率及び課税内訳

・賦課限度額　650,000円

・所得割　6.0/100

・均等割　19,600円

・平等割　17,700円

・課税内訳

区分	所得割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	13,154	30,030	19,853
退職世帯	0	0	0
合　計	13,154	30,030	19,853

イ　軽減世帯及び限度額世帯　　（単位:世帯）

区分	低所得者等軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	5,456	2,997	2,208	10,661	178

退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	5,456	2,997	2,208	10,661	178

ウ　調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	19,853	30,030	1,750,331,000	88,164	58,286
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	19,853	30,030	1,750,331,000	88,164	58,286

(2)　後期高齢者支援金分の状況

ア　税率及び課税内訳

・賦課限度額　220,000円

・所得割　2.6/100

・均等割　10,200円

・平等割　7,500円

・課税内訳

区分	所得割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	13,154	30,030	19,853
退職世帯	0	0	0
合　計	13,154	30,030	19,853

イ　軽減世帯及び限度額世帯　（単位:世帯）

区分	低所得者等軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	5,456	2,997	2,208	10,661	329
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	5,456	2,997	2,208	10,661	329

ウ　調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	19,853	30,030	778,426,500	39,209	25,921
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	19,853	30,030	778,426,500	39,209	25,921

(3)　介護保険分の状況

ア　税率及び課税内訳

・賦課限度額　170,000円

・所得割　2.1/100

・均等割　11,100円

・平等割　6,100円

・課税内訳

区分	所得割（人）	均等割（人）	平等割（世帯）
一般世帯	4,082	9,157	7,832
退職世帯	0	0	0
合　計	4,082	9,157	7,832

イ　軽減世帯及び限度額世帯　（単位:世帯）

区分	低所得者等軽減			計	限度額世帯
	7割	5割	2割		
一般世帯	1,907	996	702	3,605	155
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	1,907	996	702	3,605	155

ウ　調定額

区分	世帯数(世帯)	被保険者数(人)	調定額(円)	一世帯当たり(円)	一人当たり(円)
一般世帯	7,832	9,157	259,446,200	33,126	28,333
退職世帯	0	0	0	0	0
合　計	7,832	9,157	259,446,200	33,126	28,333

(4)　国民健康保険税調定額

区分	世帯数(世帯)	調定額(円)
普通徴収対象世帯	17,590	2,403,456,100
特別徴収対象世帯	5,398	384,747,600
合　計	22,988	2,788,203,700

2　後期高齢者医療保険料賦課状況（7月1日現在）

(1)　後期高齢者医療保険料の算定料率

・賦課限度額　800,000円

・所得割　8.84/100

・均等割　45,600円

均等割低所得者軽減額（円）		
7割軽減	5割軽減	2割軽減
31,920	22,800	9,120

(2)　保険料軽減区分別被保険者数

区分	内容	被保険者数（人）	
		普通徴収	特別徴収
一般	（前年の所得金額-基礎控除額）×8.84%+45,600円	2,326	7,398

7割軽減	同一世帯の被保険者全員と世帯主の前年の総所得金額等の合計額が43万円+10万円×{給与所得者等の数-1}以下の被保険者は均等割額を7割軽減。	1,783	9,810
5割軽減	同一世帯の被保険者全員と世帯主の前年の総所得金額等の合計額が43万円+10万円×{給与所得者等の数-1}+(29.5万円×被保険者数)以下の被保険者は、均等割額を5割軽減。	577	4,113
2割軽減	同一世帯の被保険者全員と世帯主の前年の総所得金額等の合計額が43万円+10万円×{給与所得者等の数-1}+(54.5万円×被保険者数)以下の被保険者は、均等割額を2割軽減。	336	3,118
被用者保険の被扶養者軽減	所得割額を免除、均等割額を5割（加入した月から2年間）軽減。	（内353）	
合　計		5,022	24,439

(3)　後期高齢者医療保険料調定額（現年度分）

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収	5,022	576,344,900
特別徴収	24,439	1,216,349,600
合　計	29,461	1,792,694,500

3　介護保険料賦課状況（7月1日現在）

(1)　介護保険料段階別保険料等

段　階	対象者	被保険者数(人)		年間保険料(円)
		普通徴収	特別徴収	
第1段階	・老齢福祉年金受給者 ・生活保護の受給者 ・世帯全員が市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が80万円以下の方	734	6,007	20,270
第2段階	・世帯全員が市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が80万円を超え120万円以下の方	38	3,867	28,449
第3段階	・世帯全員が市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が120万円を超える方	25	3,250	48,719
第4段階	・市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が80万円以下の方	433	6,024	64,011
第5段階	・市民税が課税されている世帯員がいるが本人は市民税非課税で本人の前年の課税年金収入額＋その他の合計所得金額が80万円を超える方	47	8,121	71,124
第6段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が120万円未満の方	290	7,851	85,348

第7段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が120万円以上210万円未満の方	374	7,007	92,461
第8段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が210万円以上320万円未満の方	272	2,955	106,686
第9段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が320万円以上420万円未満の方	155	1,087	120,910
第10段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が420万円以上520万円未満の方	60	500	135,135
第11段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が520万円以上620万円未満の方	36	234	149,360
第12段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が620万円以上720万円未満の方	32	143	163,585
第13段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が720万円以上900万円未満の方	35	155	170,697
第14段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が900万円以上1,000万円未満の方	7	62	177,810
第15段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が1,000万円以上1,200万円未満の方	23	85	184,922
第16段階	・本人が市民税課税で前年の合計所得金額が1,200万円以上の方	61	221	195,591
合　計		2,622	47,569	

(2)　介護保険料調定額

区分	被保険者数(人)	調定額(円)
普通徴収対象者	2,622	231,429,414
特別徴収対象者	47,569	3,305,225,454
合　計	50,191	3,536,654,868

資産税係

1　調定額　　（単位：千円）

区分 / 税目	本年度	前年度
固定資産税	11,110,414	11,174,805
特別土地保有税	13,198	13,318
都市計画税	817,623	830,441

2　固定資産税評価状況（令和6年1月1日現在）

(1)　土地

地目		筆数（筆）	地積（㎡）	決定価格（千円）
田	一般田	54,075	76,808,199	8,752,793

	宅地介在田等	3,116	2,024,950	9,377,393
畑	一　般　畑	29,254	19,655,032	1,207,348
	宅地介在畑等	3,032	1,647,477	7,227,725
宅　　地		148,171	40,687,351	431,160,103
鉱　泉　地		2	4	388
池　　沼		271	139,616	5,322
山　　林		21,351	51,854,359	2,114,059
牧　　場		13	6,751	317
原　　野		2,951	811,341	17,468
雑　種　地		29,741	25,862,541	53,628,443
合　　計		291,977	219,497,621	513,491,359

3　固定資産税評価状況（令和6年1月1日現在）

(1)　木造家屋

種　　類	棟　数（棟）	床　面　積（㎡）	決定価格（千円）
戸建形式住宅	59,452	5,897,066	160,078,990
集合形式住宅	1,024	255,368	10,517,598
併用住宅	3,589	391,590	5,842,322
ホテル・旅館	116	4,980	57,187
事務所・店舗	1,730	128,599	3,217,270
劇場・病院	89	16,133	579,701
工場・倉庫	3,043	193,922	658,837
附属家	22,877	929,435	3,259,133
合　　計	91,920	7,817,093	184,211,038

(2)　非木造家屋

種　　類	棟　数（棟）	床　面　積（㎡）	決定価格（千円）
事務所・店舗	1,907	738,327	39,474,441

住宅用建物	8,035	1,347,744	49,448,099
病院・ホテル	139	128,504	11,026,024
工場・倉庫	6,308	2,896,455	75,216,644
その他	9,989	620,378	4,746,515
合計	26,378	5,731,408	179,911,723

(3) 償却資産 （単位：千円）

区分		決定価格	課税標準額
市長が価格等を決定したもの	構築物	28,226,736	27,816,307
	機械及び装置	107,535,715	106,189,129
	船舶	17,685	17,685
	航空機	－	－
	車両及び運搬具	1,171,070	1,171,070
	工具・器具及び備品	16,137,713	16,117,063
	小計	153,088,919	151,311,254
総務大臣が価格等を決定し配分したもの		34,530,585	34,040,930
県知事が価格等を決定し配分したもの		－	－
小計		34,530,585	34,040,930
合計		187,619,504	185,352,184

第６節　収税課

〔総括概要〕

歳入の根幹である市税収入については、その重要性がますます高まり、これまで以上に厳正・公平な税務行政の執行が求められており、常に適正課税と負担均衡の実現を本旨として業務執行に当たった。

本旨達成のために取り組んだ主な業務については、収税関係では、市税等の収入率向上のため、財産調査及び滞納処分を行うとともに、市税等収納員による臨戸訪問や電話催告員による電話催告を実施し､税収確保へ向けた取組を展開した｡更に、滞納処分係において、公売を積極的に行った。

また、市の債権を適正に管理回収するため、債権管理に関する職員研修や弁護士による法律相談を実施するとともに、栃木市債権回収対策本部会議を開催し、未収債権の回収計画を策定した。

更に、現年度の滞納者がそのまま翌年度以降の滞納者に直結することから、これまで以上に現年度分を中心に、県と共同で滞納整理に取り組んだ。

納税管理係

1　口座振替状況

税　　目	件　　数（件）	金　　額（円）
市・県民税	10,656	794,355,796
固定資産税・都市計画税	75,929	4,907,881,200
軽自動車税	14,859	111,031,200
国民健康保険税	37,425	1,031,143,300
介護保険料	3,037	38,453,728
後期高齢者医療保険料	9,089	280,272,600
計	150,995	7,163,137,824

2　コンビニ等納付状況

税　　目	件　　数（件）	金　　額（円）
市・県民税	18,658	553,362,576
固定資産税・都市計画税	43,066	1,332,288,290
軽自動車税	28,879	244,737,908
国民健康保険税	29,087	622,819,464
介護保険料	8,833	125,247,726
後期高齢者医療保険料	7,676	106,704,763
計	136,199	2,985,160,727

徴税係　滞納処分係

1　市税等徴収状況

市税等徴収状況については【別表】市税等徴収状況のとおり。

2　不納欠損

税　　目	件　数（人）	金　　額（円）
市　　税	1,523	105,978,395
国民健康保険税	1,246	147,707,547
介護保険料	145	6,121,011
後期高齢者医療保険料	50	1,569,159
計	2,964	261,376,112

3　執行停止

税　　目	件　数（人）	金　　額（円）
市　　税	727	57,489,687
国民健康保険税	421	53,201,414
介護保険料	96	5,710,478
後期高齢者医療保険料	37	1,709,798
計	1,281	118,111,377

4　差押及び参加差押　　（単位：件）

差押物件	差押件数	参加差押件数
不動産	21	4
自動車	1	0
債権その他	1,066	0
計	1,088	4

5　公売

・公売換価件数　21件（動産16件、自動車 2件、土地建物 3件）

6　交付要求

・交付要求件数　160件

7　督促状発送状況　　（単位：件）

税　　目	件　　数
市　　税	37,506
国民健康保険税	22,822

介　護　保　険　料	4,709
後期高齢者医療保険料	3,836
計	68,873

8　催告書発送及び納付状況

月　日	発送件数（人）	納付件数（件）	納付額（円）
10月18日（金）	2,818	1,332	29,409,422
12月7日（金）	2,066	1,012	37,073,087
3月7日（金）	1,737	739	30,776,911
計	6,621	3,083	97,259,420

9　国民健康保険税徴収指導員による指導・助言や研修の実施

職員のスキルアップや人材の育成を図ることにより円滑な滞納処分を実施するため、徴収指導員による指導及び助言を受けた。

・徴収指導員　　県派遣　佐藤知章氏
・実　施　日　　6月11日（火）、7月26日（金）、8月28日（水）、9月13日（金）、10月4日（金）、11月19日（火）、12月19日（木）
・内　　容　　個別案件の相談、捜索

10　市税等収納員による徴収事業

市税等の収入率向上のため、市税等収納員3人による臨戸徴収訪問を実施した。

訪問世帯数(件)	徴収金額(円)	納付指導(件)
4,365	27,451,094	951

11　債権管理職員研修の実施

債権管理に関する正確な法的知識を習得し、実務における職員のスキルアップを図るため、債権管理に携わる他課の職員も交えて研修を実施した。

・講　　師　弁護士　須田徹氏
・実施状況

実施日	会　場	内　　容	参加人数（人）
10月3日(木)	本庁舎 501会議室	1 債権の意義と区分 2 任意の履行を求める措置 (1)督促・納付相談 (2)履行延期の特約等 (3)徴収猶予・換価猶予 (4)分納誓約書 3 法的手続による回収 (1)裁判上の手続き	22

		(2)強制執行 (3)財産開示請求と第三者からの 情報取得制度 4 徴収困難者に対する措置 (1)徴収停止 (2)債権放棄・免除 (3)執行停止 5 債権放棄と不納欠損処理	

12　弁護士法律（メール）相談の実施

債権に関する法律上の問題や実務上の問題の解決を図るため、自治体の債権管理に精通した弁護士に委託して、メールによる法律相談を実施した。

・相談件数　10 件

13　栃木市債権回収対策本部会議の開催

市が保有する債権の適切な管理と、市税をはじめとする自主財源を確保するため、副市長を本部長とし、各部長を本部員とする「栃木市債権回収対策本部会議」を開催し、未収債権の回収計画の策定や債権管理の総合調整を行った。

実施日	内　　容	会　場
7 月 17 日（水）	(1) 債権について (2) 令和 6 年度債権管理事業計画について (3) 債権管理プランの策定について	市役所 庁議室
3 月 17 日（月） 3 月 25 日（火）	(1) 令和 6 年度分債権放棄案件の審議について (2) 令和 6 年度分不納欠損報告について (3) 令和 7 年度債権管理事業計画について (4) 令和 7 年度債権管理プランについて	市役所 庁議室

【別表】市税等徴収状況

税目				A 予算額(円)	B 調定額(円)	C 収入済額(円)	D 収入未済額(円)	E 不納欠損(円)	C/B=F 収入率 %
普通税	市民税	個人	普通徴収	1,611,559,000	1,657,378,926	1,586,388,267	69,654,126	1,336,533	95.7
			特別徴収	5,455,022,000	5,795,495,415	5,787,387,215	8,108,200	0	99.9
			過年度随時	25,493,000	43,257,746	29,500,656	13,757,090	0	68.2
			小 計	7,092,074,000	7,496,132,087	7,403,276,138	91,519,416	1,336,533	98.8
			滞納繰越分	80,632,000	294,664,269	75,490,989	174,623,064	44,550,216	25.6
			計	7,172,706,000	7,790,796,356	7,478,767,127	266,142,480	45,886,749	96.0
		法人	現年課税分	1,409,498,000	1,498,339,700	1,490,324,200	8,015,500	0	99.5
			滞納繰越分	4,439,000	16,248,528	4,294,158	10,698,890	1,255,480	26.4
			計	1,413,937,000	1,514,588,228	1,494,618,358	18,714,390	1,255,480	98.7
		合 計		8,586,643,000	9,305,384,584	8,973,385,485	284,856,870	47,142,229	96.4
	固定資産税	現年課税分		9,958,778,000	10,595,303,597	10,514,903,706	75,131,691	5,268,200	99.2
		過年度随時					0		—
		小 計		9,958,778,000	10,595,303,597	10,514,903,706	75,131,691	5,268,200	99.2
		滞納繰越分		106,491,000	301,114,556	79,887,614	196,537,316	24,689,626	26.5
		計		10,065,269,000	10,896,418,153	10,594,791,320	271,669,007	29,957,826	97.2
		交付金		212,610,000	213,996,300	213,996,300	0	0	100.0
		計		212,610,000	213,996,300	213,996,300	0	0	100.0
		合 計		10,277,879,000	11,110,414,453	10,808,787,620	271,669,007	29,957,826	97.3
	軽自動車	現年課税分		494,456,000	517,184,300	508,996,100	8,149,200	39,000	98.4
		過年度随時					0		—
		小計		494,456,000	517,184,300	508,996,100	8,149,200	39,000	98.4
		滞納繰越分		7,756,000	23,742,581	4,767,741	14,662,392	4,312,448	20.1
		環境性能割		20,400,000	28,982,000	28,982,000	0	0	100.0
		合 計		522,612,000	569,908,881	542,745,841	22,811,592	4,351,448	95.2
	たばこ税	現年課税分		1,200,000,000	1,176,441,460	1,176,441,460	0	0	100.0
		滞納繰越分		0	0	0	0		—
		合 計		1,200,000,000	1,176,441,460	1,176,441,460	0	0	100.0
	鉱産税	現年課税分		4,000,000	4,332,500	4,332,500	0	0	100.0
		滞納繰越分		1,000	0	0	0	0	—
		合 計		4,001,000	4,332,500	4,332,500	0	0	100.0
	保有税	現年課税分					0		—
		滞納繰越分		1,000	13,198,470	663,508	12,534,962	0	5.0
		合 計		1,000	13,198,470	663,508	12,534,962	0	5.0
	計	現年課税分		20,391,816,000	21,530,711,944	21,341,252,404	182,815,807	6,643,733	99.1
		滞納繰越分		199,320,000	648,968,404	165,104,010	409,056,624	74,807,770	25.4
		合 計		20,591,136,000	22,179,680,348	21,506,356,414	591,872,431	81,451,503	97.0
目的税	入湯税			18,500,000	18,659,100	18,659,100	0	0	100.0
	都市計画税	現年課税分		752,723,000	794,988,699	788,552,371	6,098,728	337,600	99.2
		過年度随時					0		—
		計		752,723,000	794,988,699	788,552,371	6,098,728	337,600	99.2
		滞納繰越分		7,743,000	22,634,256	6,867,679	14,143,520	1,623,057	30.3
		合 計		760,466,000	817,622,955	795,420,050	20,242,248	1,960,657	97.3
	計	現年課税分		771,223,000	813,647,799	807,211,471	6,098,728	337,600	99.2
		滞納繰越分		7,743,000	22,634,256	6,867,679	14,143,520	1,623,057	30.3
		計		778,966,000	836,282,055	814,079,150	20,242,248	1,960,657	97.3
総計	現年課税分			21,163,039,000	22,344,359,743	22,148,463,875	188,914,535	6,981,333	99.1
	滞納繰越分			207,063,000	671,602,660	171,971,689	423,200,144	76,430,827	25.6
	合 計			21,370,102,000	23,015,962,403	22,320,435,564	612,114,679	83,412,160	97.0

【別表】市税等徴収状況

税目				A 予算額(円)	B 調定額(円)	C 収入済額(円)	D 収入未済額(円)	E 不納欠損(円)	C/B=F 収入率 %
目的税	国民健康保険税	一般	現年分(医)特徴	1,734,960,000	261,221,900	261,483,222	−261,322		100.1
			現年分(医)普徴		1,472,174,100	1,372,095,753	99,985,247	93,100	93.2
			過年度(医)		27,849,800	18,756,856	9,092,944		67.4
			計	1,734,960,000	1,761,245,800	1,652,335,831	108,816,869	93,100	93.8
			現年分(後支)特徴	672,968,000	118,248,000	118,284,678	−36,678		100.0
			現年分(後支)普徴		651,463,000	603,433,866	47,987,134	42,000	92.6
			過年度(後支)		10,273,100	6,877,344	3,395,756		66.9
			計	672,968,000	779,984,100	728,595,888	51,346,212	42,000	93.4
			現年分(介)特徴	229,312,000	400	400	0		100.0
			現年分(介)普徴		254,533,500	232,949,605	21,583,895	0	91.5
			過年度(介)		3,868,500	2,204,063	1,664,437		57.0
			計	229,312,000	258,402,400	235,154,068	23,248,332	0	91.0
			小 計	2,637,240,000	2,799,632,300	2,616,085,787	183,411,413	135,100	93.4
			滞納繰越(医)	131,515,000	630,773,886	158,380,417	371,894,069	100,499,400	25.1
			滞納繰越(後支)	45,944,000	220,373,201	56,508,499	131,383,463	32,481,239	25.6
			滞納繰越(介)	23,563,000	103,661,241	26,123,040	62,811,293	14,726,908	25.2
			小 計	201,022,000	954,808,328	241,011,956	566,088,825	147,707,547	25.2
			合 計	2,838,262,000	3,754,440,628	2,857,097,743	749,500,238	147,842,647	76.1
		退職	現年分(医)特徴	1,000	0	0	0		—
			現年分(医)普徴		0	0	0		—
			過年度(医)		0	0	0		—
			計	1,000	0	0	0	0	—
			現年分(後支)特徴	1,000	0	0	0		—
			現年分(後支)普徴		0	0	0		—
			過年度(後支)		0	0	0		—
			計	1,000	0	0	0	0	—
			現年分(介)特徴	1,000	0	0	0		—
			現年分(介)普徴		0	0	0		—
			過年度(介)		0	0	0		—
			計	1,000	0	0	0	0	—
			小 計	3,000	0	0	0	0	—
			滞納繰越(医)	160,000	1,437,422	61,900	1,375,522	0	4.3
			滞納繰越(後支)	46,000	422,386	19,674	402,712	0	4.7
			滞納繰越(介)	42,000	362,035	14,026	348,009	0	3.9
			小 計	248,000	2,221,843	95,600	2,126,243	0	4.3
			合 計	251,000	2,221,843	95,600	2,126,243	0	4.3
		総計	現年分(医)特徴	1,734,961,000	261,221,900	261,483,222	−261,322	0	100.1
			現年分(医)普徴		1,472,174,100	1,372,095,753	99,985,247	93,100	93.2
			計	1,734,961,000	1,733,396,000	1,633,578,975	99,723,925	93,100	94.2
			現年分(後支)特徴	672,969,000	118,248,000	118,284,678	−36,678	0	100.0
			現年分(後支)普徴		651,463,000	603,433,866	47,987,134	42,000	92.6
			計	672,969,000	769,711,000	721,718,544	47,950,456	42,000	93.8
			現年分(介)特徴	229,313,000	400	400	0	0	100.0
			現年分(介)普徴		254,533,500	232,949,605	21,583,895	0	91.5
			計	229,313,000	254,533,900	232,950,005	21,583,895	0	91.5
			過年度(医)	0	27,849,800	18,756,856	9,092,944	0	67.4
			過年度(後支)	0	10,273,100	6,877,344	3,395,756	0	66.9
			過年度(介)	0	3,868,500	2,204,063	1,664,437	0	57.0
			小 計	2,637,243,000	2,799,632,300	2,616,085,787	183,411,413	135,100	93.4
			滞納繰越(医)	131,675,000	632,211,308	158,442,317	373,269,591	100,499,400	25.1
			滞納繰越(後支)	45,990,000	220,795,587	56,528,173	131,786,175	32,481,239	25.6
			滞納繰越(介)	23,605,000	104,023,276	26,137,066	63,159,302	14,726,908	25.1
			小 計	201,270,000	957,030,171	241,107,556	568,215,068	147,707,547	25.2
			合 計	2,838,513,000	3,756,662,471	2,857,193,343	751,626,481	147,842,647	76.1
後期高齢者医療保険料			現年(特徴)	1,122,999,000	1,185,892,300	1,190,030,800	−4,138,500	0	100.3
			現年(普徴)	714,160,000	643,480,100	637,860,508	5,619,592	0	99.1
			過年度		8,866,300	8,153,300	713,000		92.0
			小 計	1,837,159,000	1,838,238,700	1,836,044,608	2,194,092	0	99.9
			滞納繰越	5,345,000	9,966,860	4,416,831	3,980,870	1,569,159	44.3
			合 計	1,842,504,000	1,848,205,560	1,840,461,439	6,174,962	1,569,159	99.6
介護保険料			現年(特徴)	3,249,662,000	3,258,366,904	3,264,453,818	−6,086,914	0	100.2
			現年(普徴)	227,476,000	286,319,946	271,410,778	14,909,168		94.8
			過年度		4,059,138	3,740,804	318,334		92.2
			小 計	3,477,138,000	3,548,745,988	3,539,605,400	9,140,588	0	99.7
			滞納繰越	8,951,000	34,120,292	10,968,364	17,030,917	6,121,011	32.1
			合 計	3,486,089,000	3,582,866,280	3,550,573,764	26,171,505	6,121,011	99.1

第３章　地域振興部

第１節　地域政策課

〔総括概要〕

地域政策課の主な分掌事務は、地域自治の推進、地域会議の運営、地域会議連絡調整会議の開催、まちづくり実働組織の認定支援、定住促進、自治会との連絡調整、市民活動の推進、ＮＰＯ法人の認証、市民活動推進事業費補助金の交付、くららフェスタの開催支援、公民館・市民交流センター及びコミュニティセンターの管理運営、社会教育関係団体の活動支援、とちぎ未来アシストネットの推進などである。

地域自治の推進については、多様な地域の課題を効率的に解決するため、地域の住民が一定の枠内で予算の使い道を考える仕組みである「地域予算提案制度」により、今年度は当課所管の栃木地域の3つの地域会議から、12事業を市長へ提案した。

定住促進関係については、人口流入数を増加させるとともに、流出数を抑制するため「とちぎで暮らそＩＪＵ支援補助金」や「東京都通勤者支援補助金」等の補助金を交付した。また、中小企業における人手不足の解消のため「地方就職支援補助制度」を実施した。

さらに、栃木市での暮らしを体感できる移住体験施設を適正に管理するとともに、栃木市移住定住支援コーディネーターによる移住相談等を行った。

自治会については、栃木市自治会連合会の事務局として、自治会運営の円滑化を図った。

市民活動の推進については、市民活動推進の拠点であるとちぎ市民活動推進センター「くらら」において、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を行うとともに、庁内における市民との協働を推進するため、全課に市民協働推進員を設置し、研修会等を開催した。また、きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）において、市民活動団体・生涯学習活動団体等が一斉に集まり、「地域の歴史と文化」と「障がい福祉」をテーマに、第２回目となる「くららフェスタ 2025」を開催した。

市民団体の主体的、公益的な市民活動の支援については、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、ＮＰＯ団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化を促進するため、市民活動推進補助金“とちぎ夢ファーレ”事業を実施した。

公民館事業については、地域における生涯学習の拠点施設として、住民のニーズを捉え、地域の実情に応じた各種講座等を開設することによる学習の場の提供や教育、文化、スポーツ等の活動を行い、生涯学習の振興を図った。

また、趣味や教養に関する講座を通して、市民一人ひとりの自己実現を図るとともに、講座をきっかけとした学習の継続（サークル活動等）を促し、学習成果の地域への還元を図るため、各公民館が連携し、市民全体を対象とする「栃木市公民館教養講座」を開設した。

社会教育関係団体支援事業については、各地域において活動している子ども会育

成会や地区女性会等の団体と連携を図りながら、団体等の育成・支援、青少年教育の充実、コミュニティ活動の推進等に努めた。

とちぎ未来アシストネット事業の推進については、地域住民と小中学校の交流を深め、地域全体の活性化を図るため、各学校と地域教育協議会を開催し、地域の教育力向上に努めた。

支所・出張所業務については、大宮、皆川、吹上、寺尾及び国府の５つの公民館において、支所・出張所としての事務を行い、行政サービスの向上を図った。

地域政策係

1　地域会議連絡調整会議

(1)　地域会議連絡調整会議

各地域会議の会長を構成員とする地域会議連絡調整会議により、地域会議の活動等に関する調整及び連絡を行った。

・構成員

会　長	藤野　晴彦	（大平地域会議会長）
副会長	山ノ井　一男	（西方地域会議会長）
構成員	岡田　真由美	（栃木中央地域会議会長）
	出井　康夫	（栃木東部地域会議会長）
	酒巻　幸夫	（栃木西部地域会議会長）
	片柳　理光	（藤岡地域会議会長）
	大塚　紀通	（都賀地域会議会長）
	髙久　厚子	（岩舟地域会議会長）

(2)　栃木市地域自治交流会

地域会議と認定まちづくり実働組織相互の情報交換と地域間の交流を促進し、地域づくり活動の活性化を図るため、地域会議連絡調整会議の主催による地域自治交流会を実施した。

・実施日 2月8日

・会　場 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）　大交流室

・参加者 地域会議委員及び認定まちづくり実働組織会員、地域会議事務局 64人

・内　容 地域会議及び認定まちづくり実働組織からの事例発表

2　まちづくり実働組織

まちづくり実働組織は、地域内の各種団体や住民等が構成員となり、地域会議と連携しながら、地域の課題解決や地域活性化のための実践活動に取り組む組織である。

また、一定の要件を満たすことで、市長の認定を受け、市の助成を受けることが可能となる。

・延べ認定組織数　13件

3　移住定住施策

移住定住施策は、様々な補助金の交付、移住体験施設の運用、移住定住支援コーディネーターによる移住相談やオンラインイベント等により、栃木市への移住定住のＰＲにつなげた。

(1)　とちぎで暮らそＩＪＵ支援補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和5年度	34	12,050,000
令和6年度	110	36,750,000
計	144	48,800,000

(2)　結婚新生活支援補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和4年度	37	7,481,000
令和5年度	63	14,370,000
令和6年度	51	8,837,000
計	151	30,688,000

(3)　東京都通勤者支援補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和4年度	92	6,204,060
令和5年度	55	3,993,430
令和6年度	55	4,500,710
計	202	14,698,200

(4)　通学者定期券購入費補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和4年度	159	3,164,280
令和5年度	197	3,918,210
令和6年度	208	4,118,700
計	564	11,201,190

(5)　地方就職支援補助制度

年度	件数（件）	金額（円）
令和6年度	0	0
計	0	0

(6)　移住体験施設

ア　万町移住体験施設「ＩＪＵテラス蔵人館」

年度	利用件数（組）	利用者数（人）
令和4年度	13	29
令和5年度	15	33
令和6年度	24	55
計	52	117

イ　入舟町移住体験施設「蔵の街やどかりの家」

年度	利用件数（組）	利用者数（人）
令和4年度	9	32
令和5年度	12	32
令和6年度	16	63
計	37	127

(7)　栃木市移住定住支援コーディネーター

移住相談窓口、情報発信、定住相談体制をより強化するため、移住定住支援コーディネーターを設置し、移住定住の促進を行った。

ア　移住定住相談

出張移住相談　会場　蔵なび※土曜日、祝日

令和6年度相談件数　159件

内訳　オンライン41件　電話1件　蔵なび1件　市役所3件
移住体験施設40件　イベント等73件

イ　イベントの開催

実施日	イベント名	会　　場
8月10日～12日	移住体験モニターツアー	IJUテラス蔵人館 他市内
10月4日、2月22日	ジブンスタイルでゆるやかにつながる 地方移住のリアルMeet up in有楽町 ～話し合える仲間をみつけよう～	東京交通会館
5月16日、7月23日、 9月25日、11月21日、 2月27日	栃木市移住オンラインセミナー （全5回）	オンライン会場

4　あるが嬉しい花やか事業

「自然と伝統を大切にし、美しい環境をつくります」という市民憲章の精神を実践するため、美しい花のあるまちづくりと花を育て地域コミュニティづくりを行う団体を募集し、花の種子を提供することで花のある魅力ある場の提供と地域活性化を促進した。

また、インスタグラムフォトコンテスト「栃木市フォトフェス2024」において、あるが嬉しい花やか事業の賞を設け、本市の魅力及びあるが嬉しい花やか事業の情報発信を行った。

・参加団体　10団体

5　あるが嬉しい街かどピアノ設置事業

栃木駅の南北連絡通路に、令和4年3月に閉校した栃木市立藤岡第二中学校で使用していたグランドピアノを設置し、あらゆる世代の市民や市内を訪れる方に、いつでも気軽にピアノを弾いてもらえる交流の場として、「栃木駅街かどピアノ」を設置した。

4月に、令和5年10月に栃木市観光交流館“蔵なび”への来館者が10万人を達成したこ

とを記念して、蔵なびと連携し「栃木駅街かどピアノマラソン」を開催した。

開 催 日　4月28日

演奏者数　13人

6　地域おこし協力隊活動事業

人口減少や高齢化が進む本市において、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住及び定着を図り、地域力の維持及び強化に資するため、寺尾地区を活動拠点とする地域おこし協力隊員を委嘱し、出流そばや星野遺跡など豊かな地域資源を活かした活動を行った。

(1)　出流そばをイチから作ろうプロジェクトの企画・運営

寺尾地区を代表する観光資源である出流そばの更なる認知度を向上させるとともに、地区外からの参加型のプロジェクトとすることで、関係人口の増加を図った。

(2)　地域づくりインターン生の受け入れ

地域づくりインターンの会から4名の学生を受け入れ、8月5日から21日までの期間、寺尾地区を中心に実施した地域づくり活動を支援した。8月20日に報告会を開催し、インターン生が作成したショート動画の発表を行った。

(3)　イベントの開催

実施日	内　　容	会　　場
4月 6日	TERAO LOG OPENDAY＆癒しのヨガ	旧星野生産物直売所
6月 1日	テラオ「ピクニック」マルシェVol.3	寺尾ふれあい水辺の広場
10月 5日	ピクニックヨガinテラオ	寺尾ふれあい水辺の広場
12月 7日	テラオ「キッカケ」マルシェ　Vol.4	とちぎ山車会館前広場
2月23日	そば打ち体験会	寺尾公民館

地域づくり推進係

1　自治会関係

栃木市自治会連合会の事務局を担っており、市全域の自治会相互の連絡調整を図るとともに、地域間の情報交換を行った。また、自治会組織の強化を図るため、地域住民の福祉の向上に寄与する各種活動への助成手続きや市政への協力を得るための連絡調整を行った。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

次年度自治会長名簿の取りまとめ

・期　間　令和６年２月～４月

・対　象　170自治会（栃木地域）

イ　自治会報償金の支出

・各単位自治会の世帯数調査（基準日４月１日）

・報償金の支出

２月12日　支払い　469件

(2)　栃木市自治会連合会

ア　組織構成

・組　織　　市内全地域の 17 地区、469 単位自治会が加入

・役　員　　会長 1 人、副会長 3 人、会計 1 人、監事 2 人、理事 10 人

イ　会議等

(ｱ)　通常総会

・実施日　5 月 23 日

・会　場　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホール

・出席自治会　219 自治会（市内全自治会数　469）

・内　容　栃木市自治会連合会通常総会　議事

・表　彰

特別功労者表彰 3 人

功労者表彰 20 人

会長特別表彰 43 人

(ｲ)　役員会

回数	開催日	内容
第 1 回	5 月 10 日	・令和 6 年度通常総会について ・役員の選出について ・令和 6 年度通常総会資料の確認について ・各種委員会委員等の推薦状況について ・会費の納入、地区連合会運営費の交付について ・自治会連合会だよりの掲載記事の協力について
第 2 回	6 月 20 日	・自治会連合会だよりについて ・会費の納入について ・地区連合会運営推進費について ・会長研修大会、視察研修会について
第 3 回	8 月　8 日	・自治会連合会だよりについて ・自治会長研修大会について ・役員視察研修会について
第 4 回	9 月　5 日	・自治会長研修大会について ・役員視察研修会について
第 5 回	12 月 5 日	・県自治会連合会会長研修大会について ・県自治会連合会県南ブロック会議について
第 6 回	3 月　6 日	・令和 7 年度通常総会の開催について ・令和 7 年度通常総会資料（案）について ・栃木市自治会連合会表彰候補者の選考について ・自治会アプリについて

(ｳ)　まちづくり懇談会ふれあいトーク（栃木地域）

開催日	会場

7 月 12 日	国府公民館（大宮・国府地区）
7 月 19 日	吹上公民館（吹上・寺尾地区）
7 月 23 日	皆川公民館（皆川地区）
7 月 26 日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター） （栃木第 1・5 地区）
7 月 31 日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター） （栃木第 2・3・4 地区）
8 月 2 日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター） （栃木第 6・7 地区）

(ｴ) 自治会長研修大会

・実施日　10 月 6 日

・会　場　大平文化会館

・内　容　基調講演　これからの自治会活動を考える

演　　題　加入率の低下、担い手不足の解消！

自治会・町内会の活性化

講　　師　水津陽子　氏（合同会社フォーティＲ＆Ｃ代表）

・参加者　自治会長等　168 人

(ｵ) 栃木県自治会連合会事業への参加

a　常任理事会･定期総会(那珂川町 町立小川総合福祉センターあじさいホール)

b　会長研修大会（真岡市 ＫＯＢＥＬＣＯ真岡いちごホール）

・内 容 表彰式 栃木県自治会活動功労者知事表彰

栃木県自治会連合会自治振興功労者表彰

研修会 演題 持続可能な地域づくり

講師 水津陽子　氏（合同会社フォーティＲ＆Ｃ代表）

・参加者 役員、受賞者 13 人

c　県南ブロック会議

・実施日　2 月 7 日

・会　場　佐野市　道の駅どまんなかたぬま

・内　容

議　事　令和 7 年度栃木県自治会連合会の主な日程について

栃木県自治会連合会　総会・会長研修大会の開催地について

研修会　意見交換会

・参加者　役員　3 人

(ｶ) 新春賀詞交歓会

・実 施 日　1 月 7 日

・会　　場　サンプラザ

・主催団体　当連合会、市、市議会、商工会議所、下野農業協同組合

ほか 6 団体

2　社会教育関係団体等関係

地域のコミュニティ活動の活性化を図り、真の連帯感と相互扶助に根ざしたよりよい地域づくりの推進と育成を図った。

・対象団体　栃木第三地区コミュニティ推進協議会、栃木第四地区コミュニティ推進協議会、栃木第五地区コミュニティ推進協議会、栃木第六地区コミュニティ推進協議会

3　市民活動の推進

市民による公益的な社会貢献活動を支援するため、次の事業を行った。

(1)　市民活動推進センター

とちぎ市民活動推進センター「くらら」の管理運営業務を、特定非営利活動法人ハイジに委託し、市民活動に関する相談や情報の収集・提供及びボランティア団体の交流促進等を実施した。

ア　登録数

・団体　246 団体

イ　運営委員会の開催

開催日	場所	出席者（人）
3 月 18 日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	9

ウ　利用状況

来館者(人)	会議室使用		作業室使用		相談件数(件)	掲示物受付(件)
	団体数	人数	団体数	人数		
14,164	450	3,654	450	3,155	114	655

エ　ＳＮＳ発信回数　53 件

オ　情報紙発行　毎月　1,150 部発行

カ　広報とちぎ（7 月号）へ情報紙折込み　全戸配布

(2)　特定非営利活動法人の認証等

栃木県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例に基づき、平成 19 年度から権限移譲を受け、特定非営利活動促進法及び県の特定非営利活動促進法施行条例に基づく特定非営利活動法人の設立、解散及び合併の認証等の事務を行っている。

・取扱件数　（単位：件）

設立	解散	合併	定款変更	役員変更受付	事業報告書等受付
2	1	0	3	16	42

(3)　市民協働推進員の設置及び研修会等の開催

庁内における市民との協働を推進するため、各課に市民協働推進員を設置するとともに、行政と市民との協働に関する意識の更なる向上を目指し、研修会等を開催した。

対象者	実施日	内容	出席者
市民・職員	7 月 19 日	高齢者がすみなれた地域で暮らし続けるために ～「支え合い」から考える協働～	76 人

市民・職員	1月31日	こどもたちの放課後を安心で豊かな時間にするために～学童保育・放課後児童クラブの運営から考える協働～	63人

(4)　市民活動支援事業

ＮＰＯ団体を始めとする市民活動団体等の自立及び活性化を更に促進するため、市民協働まちづくりファンド（基金）を設け、主体的・公益的な活動を行う市民団体に市民活動推進事業費補助金“とちぎ夢ファーレ”事業により活動経費の一部を助成した。また、本活動実績を広く市民に報告するため前年度補助を受けた団体を対象に実績報告会を実施した。

・助成団体数　10団体
・助 成 総 額　1,885,000円
・寄 附 件 数　3件（このほかにふるさと応援寄附あり）
・ファンド（基金）への積立額　3,232,000円
・実績報告会　令和6年9月16日（月）開催　6団体出席

(5)　くららフェスタ2025

きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）の全館を利用し、市民活動団体・生涯学習団体等72団体が集まり、「地域の歴史と文化大集合」と「障がい福祉」をテーマに、日頃の活動を市民の方々に広く知ってもらうため、展示・体験・発表・販売を行った。

・開催日時　　3月9日（日）10時～15時30分
・出展団体数　　72団体　　205人
・来場者数　　約1,800人

4　市民総合賠償補償保険制度の実施

市民総合賠償補償保険制度とは、市が所有、使用、管理する施設の瑕疵及び市の業務遂行上の過失に起因する法律上の損害賠償責任を負う場合の損害を総合的に補てんする賠償責任保険並びに市が主催する行事等に参加している住民の急激かつ偶然な外来の事故について、法律上の損害賠償責任の有無に関係なく、市が支払う補償金（見舞金）を補てんする補償保険により構成されている制度であり、全国市長会が加入市を被保険者とする団体保険契約を損害保険会社と締結して実施した。

・支払状況

保険の種類	支払件数（件）	支払金額（円）
損害賠償請求	2	1,336,107
補償金	1	45,000

5　市民活動補償制度の実施

市民活動補償制度とは、市民により自主的に構成された市民団体やその指導者が行う地域住民活動、青少年育成活動、社会福祉・社会奉仕活動、社会教育活動等で、本来の

職場を離れて基本的に無報酬で行う継続的、計画的及び臨時的な実践活動中の事故について、指導者が賠償責任を負う場合の損害を補てんする賠償責任保険及び指導者等や参加者の活動中に発生した急激かつ偶然な外来の事故について見舞金を支給する制度であり、市が保険会社と締結して実施した。

・支払状況

保険の種類	支払件数（件）	支払金額（円）
損害賠償請求	0	0
補償金	1	86,000

栃木公民館係

1　公民館の総合調整

(1)　栃木市公民館運営審議会

市内公民館における事業等について審議した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月28日	令和5年度 公民館利用状況について　他	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	32
10月 2日	公民館点検評価について	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	34
3月12日	令和6年度 公民館事業実施状況について	栃木市都賀総合支所2階都賀公民館大会議室	34

(2)　公民館等使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	8,433	84,312	5,289,770
大宮公民館	1,191	15,234	298,720
皆川公民館	538	8,125	207,050
吹上公民館	957	17,950	315,495
寺尾公民館	464	10,917	97,390
国府公民館	1,042	16,632	418,090
大平公民館	1,550	18,362	279,815
大平西地区公民館	381	2,864	58,740
大平南地区公民館	287	3,080	56,595
大平東地区公民館	145	1,262	12,090
藤岡公民館	1,270	19,859	221,415
三鴨地区公民館	103	917	21,450
部屋地区公民館	165	1,603	64,180
赤麻地区公民館	147	1,993	36,915

都賀公民館	840	13,323	361,455
西方公民館	572	6,619	82,225
岩舟公民館	1,110	14,404	266,650
静和地区公民館	782	13,273	386,030
小野寺地区公民館	141	2,234	4,860
合計	20,118	252,963	8,478,935

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（蔵の街シルバー楽習塾）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月11日	講話「山本有三没後 50 年」 ～どっこい有三は生きている～	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	147
8月 1日	人権作文の発表 映画鑑賞「ぼくに涙は似合わない」	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	129
8月22日	講話「脚本家の仕事」 対談「歌麿を活かしたまちづくり」	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	110
9月12日	暮らしのセミナー 「人生 100 年時代を力強く生き抜きましょう！」	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	120
10月31日	音楽コンサート「フルート共演」 ※栃木地区女性学級と共催	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	152 全体 187

イ　教養講座

(ｱ)　カルチャースクール（栃木公民館）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月6日 ～11月27日	子育て応援カフェ（全 4 回）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	延べ 48
8月28日 ～9月11日	講話　歌麿と栃木（全 5 回）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	延べ 111
10月21日 ～11月18日	楽々健康体操教室（全 4 回）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	延べ 39
10月10日 ～10月24日	花と香りを楽しむ教室（全 3 回）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	延べ 78

(ｲ)　栃木市公民館教養講座（公民館連携講座）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月20日	能登半島地震復興支援コンサート	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	670
10月19日	親子で学ぼう！とちぎ秋まつり講座	栃木市内	10
9月28日 10月12日	栃木シティーフットボールクラブ全力応援！講座（2回）	栃木シティースタジアム	延べ36

(2)　女性教育関係

ア　女性学級（栃木地区女性学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月29日	講話「栃木市の魅力を語る」	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	42
9月11日	季節の花の寄せ植え	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	48
9月25日	現地学習　日本遺産「館林・里沼」を訪ねる	佐野市・館林市	41
10月16日	出前講座・食育プロジェクト 美味しさと健康を支えるきのこ	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	39
10月31日	音楽コンサート「フルート共演」 ※栃木地区高齢者学級と共催	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	35 全体187
11月14日	文学館・美術館企画展 ～江戸時代を旅する～	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流センター)	42

(3)　二十歳の集い関係（栃木会場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月10日	第1回二十歳の集い実行委員会	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	25
10月19日	第2回二十歳の集い実行委員会	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	21
1月12日	令和7年二十歳の集い	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	558

(4)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（こどもサークル）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)

7月22日	友だちづくり	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	41
7月29日	モルックに挑戦！	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	41
8月 5日	いいもの発見隊① ～栃木市の三ツ星☆☆☆をさがせ～	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	39
8月 9日	いいもの発見隊② ～栃木市の三ツ星☆☆☆をさがせ～	栃木市内	40
8月24日	昔の道具・遊び体験	おおひら歴史民族資料館	33

(5) 家庭教育学級

栃木市栃木家庭教育オピニオンリーダー会CARPA（カルパ）主催の親子での体験学習による交流とふれあいを目的とした講座を実施した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
12月16日	親子ふれあい事業 パン作り体験	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	20
3月16日	親子ふれあい事業 防災体験	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	12

3　地域会議関係（栃木中央地域会議）

栃木中央地域会議は、14人の委員により下記の内容で実施した。

(1) 委員（任期　令和5年4月1日～令和7年3月31日）　※委員No.4は欠番

区　分	No.	氏　　名	備　　考
1号	1	岩出　智恵子	栃木市第6区民生委員児童委員協議会
	2	染谷　芳江	栃木商工会議所女性経営者会
	3	平本　重子	栃木市文化団体連絡協議会
	5	下枝　順子	栃木中央アシストネット地域教育協議会
	6	林　美佐子	うずま協力隊
	7	中村　絹江	NPO法人ハイジ
	8	堀越　元樹	栃木市商店会連合会
	9	水越　房代	栃木地区子ども会育成会連合会
2号	10	岡田　真由美	学識経験を有する者
	11	古澤　利夫	

	12	松本　真由美	
3号	13	羽石　昌弘	公募に応じた者
	14	有馬　小枝子	
	15	大塚　啓子	

(2)　地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内　　容
第1回	4月16日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・自主防災組織補助金、自主防災組織活動補助金について ・旧金澤呉服店の利活用について ・地域予算提案事業（案）の検討について
第2回	5月14日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・子どもの遊び場整備事業について ・マスタープラン及び立地適正化計画「防災指針」の策定について ・地域予算提案事業（案）の検討について
第3回	6月11日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・旧警察署跡地土地利用方針（案）の修正について ・嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設整備アンケートについて ・地域予算提案事業（案）の検討について
第4回	7月9日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・地域予算提案事業（案）の検討について
第5回	8月6日午後6時00分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・地域予算事業計画書の提出について
第6回	9月10日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・旧古久磯提灯店の活用について ・産業基盤整備成長戦略（素案）について ・都市再生整備計画（素案）について
第7回	11月12日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・都市計画マスタープラン及び立地適正化計画「防災指針」の策定について ・栃木中央実働組織「うずま協力隊」との意見交換について
第8回	1月14日午後6時30分～	協議事項等

	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	・文化財保存活用地域計画について ・地域自治制度の新制度移行について ・子育て施策に関する意見交換について
第9回	3月11日午後6時30分～ きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 （市民交流センター）	協議事項等 ・旧下都賀病院北病棟跡地における今後の整備について

(3)　地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
7月	第18号	A4判両面カラー刷り
3月	第19号	A4判両面カラー刷り

※14,100部発行

(4)　地域予算提案事業の概要

事業名	事業費（千円）
蔵の街大通り“花”やか事業	3,588
中央地域の魅力向上事業	3,205
栃木のまちパンフレット作成事業	385

4　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　栃木市子ども会育成会連絡協議会､栃木地区子ども会育成会連絡協議会、栃木地区女性会、栃木市栃木家庭教育オピニオンリーダー会CARPA、栃木県女性教育推進連絡協議会栃木支部「路の会」

5　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・栃木中央地域教育協議会　2回

・アシストネットだより回覧　（2月）

大宮公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（大宮地区シルバー教室）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)

6月26日	人権講話	大宮公民館	47
7月26日	とちぎの文化財	大宮公民館	37
8月22日	セルフで改善マッサージ	大宮公民館	42
9月 5日	溝井コンサート	大宮公民館	41
11月27日	大人の社会科見学～とちぎ花センター～	とちぎ花センター・いわふねフルーツパーク	21
12月11日	健康体操教室【包括支援センター共催】	大宮公民館	37
1月23日	輪投げに挑戦	大宮公民館	41
2月13日	みんなで歌おう	大宮公民館	44

(2) 女性教育関係

ア 女性学級（さわやかレディース学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月19日	人権講話	大宮公民館	20
7月 3日	いぶき焼き【国府公民館共催】	国府公民館	20
7月24日	環境講座【国府公民館共催】	大宮公民館	18
9月11日	運動教室①【包括支援センター共催】	大宮公民館	18
10月 9日	運動教室②【包括支援センター共催】	大宮公民館	21
11月20日	調理実習（うどん作り）	大宮公民館	24
12月 9日	音楽コンサート【国府公民館共催】	国府公民館	20

イ 女性会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月15日	視察研修会	茨城県笠間市内	20

(3) 青少年教育関係

ア 少年少女学級（のびのび体験広場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月29日	いぶき焼きでマグカップ作り 【国府公民館共催】	国府公民館	19
7月30日	UVレジンでキーホルダーを作ろう 【国府公民館共催】	大宮公民館	12
8月2日	大宮公民館サマーフェス	大宮公民館	127
8月7日	社会科見学【国府公民館共催】	茨城県	10
8月23日	ヤクルトおなか元気教室 【国府公民館共催】	大宮公民館	2
10月12日	ニュースポーツに挑戦！モルック 【国府公民館共催】	大宮運動広場	5
11月18日	蒸しパンを作ろう	大宮公民館	11
12月21日	しめなわづくり教室	大宮公民館	41

イ　関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7 月 25 日	子ども寺子屋	大宮公民館	66
11 月 4 日	大宮地区子ども会マラソン大会	大宮地区内	83
12 月 15 日	クリスマス会	大宮公民館	44

(4)　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
9月29日	大宮地区体育祭	大宮運動広場	200
2月22日	大宮地区輪投げ大会	大宮公民館	65

(5)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月4日	大宮地区まつり	大宮公民館	1,600

・公民館だよりを年2回発行し、大宮地区内を対象に班内回覧した。

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　大宮地区自治会連合会、大宮地区まちづくり協議会、交通安全協会大宮支部､交通安全協会大宮支部高齢者部会､交通安全協会大宮支部女性部、大宮地区子ども会育成会連絡協議会､大宮地区女性会､大宮地区体育部、地域クリーン推進員連合会大宮支部、大宮運動広場管理運営委員会

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月21日	第 1 回東陽地域教育協議会	国府公民館	26
1 月 31 日	第 2 回東陽地域教育協議会	大宮公民館	24

・東陽地域アシストネットだよりを1回発行し、東陽地域内に全戸配布した。

4　大宮出張所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区　　分			件　　数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	1
		第2種　（甲）	1
		第2種　（乙）	0
	小型特殊（農耕用）		0

廃車申告	4
名義・車台変更届	0
合　　計	6

(2)　出納事務取扱状況

区　　分	件　　数（件）	金　　額（円）
市　　税	1,541	32,599,887
そ の 他	361	6,423,657
合　　計	1,902	39,023,544

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)	区　　分	件　数(件)
出 生 届	－	死 亡 届	－	転 籍 届	－
婚 姻 届	－	養子縁組届	－	そ の 他	－
		合　計			0

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　519件　　289,250円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区　　分	件　数（件）	区　　分	件　数（件）
転 入 届	12	婚 姻 届	0
転 居 届	4	離 婚 届	－
転 出 届	15	転 籍 届	－
世帯主変更届	－	錯　　誤	－
世帯分離届	－	国保得喪届	24
世帯合併届	－	国年得喪届	6
出 生 届	－	そ の 他	6
死 亡 届	－	合　　計	67

イ　住民票写し等交付件数　　975件　　292,500円

ウ　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印 鑑 登 録	43	12,900
印 鑑 証 明	760	228,000
印 鑑 廃 止 届	16	－
合　　計	819	240,900

エ　身分証明交付件数　　21件　　6,300円

オ　諸証明交付件数　　6件　　300円（内、労基証明2件）

(5)　税務諸証明交付件数　　412件　　105,300円（内、車検用納税証明77件）

皆川公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　成人学級（皆川学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月18日	カラダをほぐすストレッチ 【包括支援センター共催】	皆川公民館	16
7月 2日	気をつけて！特殊詐欺と交通安全	皆川公民館	15
7月27日	浴衣の着付教室	皆川公民館	6
8月 6日	地域をまもる！防災対策	皆川公民館	8
8月17日	煎茶教室	皆川公民館	11
9月 3日	スマホ教室～中級編～	皆川公民館	8
9月19日	お口の健康講話 【包括支援センター共催】	皆川公民館	13
9月29日	1玉で編めるエコファーマフラー	皆川公民館	13
10月22日	多肉植物の寄植え	皆川公民館	14
11月12日	カラダをほぐすストレッチ 【包括支援センター共催】	皆川公民館	15
11月20日	おたのしみバスツアー	さいたま市方面	20
12月10日	血の巡りと睡眠	皆川公民館	23
12月21日	マリンバ＆ピアノコンサート	皆川公民館	32
1月22日	交通安全講話	皆川公民館	5

(2)　女性教育関係

ア　女性会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月20日 ～12月17日	ストレッチ講座（全5回）	皆川公民館	延べ47
11月3日	公民館花いっぱい運動	皆川公民館	8
3月12日～14日	花いっぱい運動	皆川地区内	43

(3)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（チャレンジキッズ）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月 7日	ボーイスカウトとあそぼう！自然体験あそび「めざせ本丸！しろやま大冒険」	皆川公民館	36
7月26日	飛行機はなぜ飛ぶの（スペシャル）	皆川公民館	13
7月30日	子ども総合科学館「太陽の観察・日時計の制作」	皆川公民館	5
8月20日	縄文時代の耳飾りをつくろう	皆川公民館	12

10月5日	陶芸体験！お皿をつくろう	皆川公民館	23
10月12日	畳コースターをつくろう	皆川公民館	10
10月26日	アイシングクッキー	皆川公民館	14

イ　関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月10日	皆川地区育成会バス旅行	西武園ゆうえんち	38
10月20日	あんどん・缶バッジワークショップ	皆川公民館	50
3月29日	皆川地区育成会ボウリング大会	サンプラザボウル	59

(4)　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月16日	ソフトボール大会	皆川中学校	45
9月 7日	健康講座・ヨガ教室	皆川公民館	18
11月 9日	ハイキング	皆川地区内	14
12月 3日	皆川地区ゴルフ大会	皆川城カントリークラブ	22

(5)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月11日	自治会長及び各種団体長研修会（防災）	皆川公民館	60
9月15日	敬老記念品配布	皆川地区内	372
10月20日	皆川城址まつり	皆川公民館 皆川城址公園	2,000
11月 3日	皆川地区文化祭	皆川公民館	300
12月 4日	自治会長及び各種団体長等視察研修会（エコパークしおや・馬頭広重美術館）	皆川公民館	22
12月 7日	しろやま×BOUSAI マルシェ	皆川公民館	500
1月 1日	初日の出を見よう	皆川公民館	250
2月 9日	元気な森づくり事業　看板作り	皆川公民館	31

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　皆川地区自治会連合会、皆川地区公民館連絡協議会、交通安全協会皆川支部、交通安全協会皆川支部高齢者部会、交通安全協会皆川支部女性部会、皆川地区子ども会育成会連絡協議会、皆川地区女性会、皆川地区スポーツ協会、地域クリーン推進員連合会皆川支部、皆川地区街づくり協議会、皆川地域安全パトロール隊

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・皆川地域教育協議会　2回

・アシストネットだより全戸配布（3月）

4　皆川出張所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区分			件数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	1
		第2種　（甲）	－
		第2種　（乙）	－
	小型特殊（農耕用）		0
廃車申告			7
名義・車台変更届			3
合計			11

(2)　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	878	18,544,661
その他	52	641,075
合計	930	19,185,736

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	－	死亡届	－	転籍届	－
婚姻届	－	養子縁組届	－	その他	－
		合計			－

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　213件　　123,450円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区分	件数（件）	区分	件数（件）
転入届	2	婚姻届	－
転居届	1	離婚届	－
転出届	2	転籍届	－
世帯主変更届	－	錯誤	－
世帯分離届	－	国保得喪届	4
世帯合併届	－	国年得喪届	－
出生届	－	その他	－

死　亡　届	－	合　　計	9

イ　住民票写し等交付件数　　312件　　93,600円

ウ　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印　鑑　登　録	7	2,100
印　鑑　証　明	245	73,500
印 鑑 廃 止 届	－	－
合　　計	252	75,600

エ　身分証明交付件数　　5件　　1,500円

オ　諸証明交付件数　　0件　　0円

(5)　税務諸証明交付件数　　123件　　29,700円（内、車検用納税証明29件）

吹上公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　成人対象講座（いきいき学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月21日	花の寄せ植え	吹上公民館	11
7月25日	健康体操【吹上地域包括支援センター共催】	吹上公民館	13
8月2日	陶芸（いぶき焼き）	吹上公民館	12
9月5日	バス研修	那須方面	31
9月26日	笑いヨガ	吹上公民館	15
10月21日	キューピー「食」の講演会 ～楽しく食べて健康に～	吹上公民館	30
11月27日	健康体操【吹上地域包括支援センター共催】	吹上公民館	10
12月12日	己書	吹上公民館	中止※
2月8日	スマホ教室	吹上公民館	47

※参加者が集まらなかったため。

イ　文化祭

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月27日	吹上地区文化祭	吹上公民館	中止※

※衆議院選挙のため。

(2)　女性教育関係

ア　女性会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)

6月25日	吹上地区女性会バス研修	真岡市二宮町方面	21
11月1日～11月2日	吹上地区女性会研修旅行	湯西川方面	11

(3)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（わくわく教室いぶき）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月15日	田植えを体験しよう	吹上地区内	20
7月26日	いぶき焼き（陶芸）を体験しよう	吹上公民館	21
8月3日	世界中のボードゲームで遊ぼう	吹上公民館	9
9月15日	移動科学教室「空気で遊ぼう」	吹上公民館	17
9月28日	稲刈りを体験しよう	吹上地区内	16
12月21日	もちつきと昔遊びを体験しよう	吹上公民館	20

イ　関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月6日	いぶき屋	吹上公民館	160

(4)　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月19日	第28回吹上地区春季自治会対抗ソフトバレーボール大会	千塚小体育館	中止※
6月16日	吹上地区春季自治会対抗野球大会	総合運動公園	中止※
10月6日	第66回吹上地区体育祭	吹上中学校	中止※
10月20日	第14回吹上地区秋季自治会対抗ソフトバレーボール大会	千塚小体育館	中止※
11月10日	吹上地区秋季自治会対抗ソフトボール大会	総合運動公園	79
11月14日	第19回吹上地区自治会対抗グラウンドゴルフ大会	総合運動公園	61
3月30日	いぶきの里さくらまつりモルック体験	宮町	60

※参加者が集まらなかったため。

・公民館だよりを年1回発行し、吹上地区内を対象に全戸配布した。

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　吹上地区自治会連合会、吹上地区公民館連絡協議会、交通安全協会吹上支部、交通安全協会吹上支部高齢者部会、交通安全協会吹上支部女性部会、吹上地区子ども会育成会連絡協議会、吹上地区女性会、吹上地区体

育協会、地域クリーン推進員連合会栃木地域第10支部、吹上地区まちづくり協議会、吹上地区安全・安心な街パトロール隊、栃木遺族会第八遺族会、吹上地区長寿会、吹上地区社会福祉協議会、吹上地区文化同好会連絡協議会

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・吹上アシストネット地域教育協議会　2回

・アシストネットだより回覧　（3月）

4　吹上出張所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区分			件数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	1
		第2種　（甲）	2
		第2種　（乙）	0
	小型特殊（農耕用）		0
廃車申告			10
名義・車台変更届			2
合計			15

(2)　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	2,117	54,445,107
その他	363	3,545,456
合計	2,480	57,990,563

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	－	死亡届	－	転籍届	－
婚姻届	－	養子縁組届	－	その他	－
		合計			0

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　655件　　378,750円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区分	件数（件）	区分	件数（件）
転入届	21	婚姻届	－

転　居　届	11	離　婚　届	－
転　出　届	39	転　籍　届	－
世帯主変更届	－	錯　　誤	－
世帯分離届	6	国保得喪届	31
世帯合併届	－	国年得喪届	－
出　生　届	－	そ　の　他	1
死　亡　届	－	合　　計	109

イ　住民票写し等交付件数　　886件　　265,800円

ウ　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印　鑑　登　録	47	14,100
印　鑑　証　明	781	234,300
印 鑑 廃 止 届	2	－
合　　計	830	248,400

エ　身分証明交付件数　　25件　　7,500円

オ　諸証明交付件数　　0件　　0円

(5)　税務諸証明交付件数　　398件　　98,700円（内、車検用納税証明71件）

5　地域会議関係（栃木西部地域会議）

栃木西部地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和５年４月１日～令和７年３月31日）

区 分	No.	氏　名	備　考
1号	1	正田　秀雄	皆川地区自治会連合会
	2	厚木　秀夫	吹上地区自治会連合会
	3	蓼沼　善雄	寺尾地区自治会連合会
	4	宇佐見　まり子	栃木市第11区民生委員児童委員協議会
	5	毛塚　豊子	吹上地区女性会
	6	中島　元一	栃木地区交通安全協会皆川支部
	7	小池　祐也	栃木商工会議所　青年経営者会
	8	関口　みよ子	栃木市農村生活研究グループ協議会
	9	棚橋　利行	吹上地区体育協会
	10	石沢　恵一	栃木市PTA連合会栃木西部ブロック
2号	11	吉田　美奈子	学識経験を有する者
	12	酒巻　幸夫	
	13	峰岸　晃一	
3号	14	鈴木　加織	公募に応じた者

	15	門沢　イミ子	

(2)　地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内　　容
第1回	4月16日午後7時～ 皆川公民館大研修室	協議事項等 ・地域予算提案事業について ・熟くり塾の開催について
第2回	5月14日午後7時～ 吹上公民館大交流室	協議事項等 ・栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・地域予算提案事業について ・熟くり塾の開催について
第3回	6月18日午後7時～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・旧栃木警察署跡地土地利用方針（案）の修正について ・熟くり塾の内容について
第4回	7月16日午後7時～ 皆川公民館大研修室	協議事項等 ・地域予算提案事業案について ・熟くり塾の内容について
第5回	中止	協議事項・付議案件等がないため
第6回	10月15日午後7時～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・栃木市産業基盤成長戦略（素案）について ・栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・地域予算提案事業について ・熟くり塾の内容について
第7回	中止	協議事項・付議案件等がないため
第8回	1月21日午後6時30分～ 吹上公民館大交流室	協議事項等 ・栃木市文化財保存活用地域計画について ・栃木市地域自治制度の新制度移行に係る見直しの概要について ・熟くり塾について
第9回	3月18日午後7時～ 寺尾公民館大交流室	協議事項等 ・皆川中学校及び寺尾中学校の利活用について ・熟くり塾について

(3)　地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
11月	第18号	A4判両面カラー刷り

3月	第19号	A4判両面カラー刷り

※各号5,000部発行

(4)　地域予算提案事業の概要

事業名	事業費（千円）
学校防犯対策事業	2,497
通学路安全対策事業	200
皆川城址公園誘導灯設置事業	500
寺尾ふれあい水辺の広場　植栽・ベンチ設置事業	1,499
まちづくり塾開催事業	300

寺尾公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者対象講座（いきがい学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月12日	健康講座（健康体操）	寺尾公民館	43
8月27日	ヤクルト出前講座	寺尾公民館	57
9月12日	日赤健康生活支援講習	寺尾公民館	37
10月23日	現地学習会	深谷市方面	40
11月25日	エンディングノート	寺尾公民館	42
1月21日	お楽しみ会（うたごえ喫茶）	寺尾公民館	54

(2)　女性教育関係

ア　成人対象講座（ふれあい学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月18日	人権講座	寺尾公民館	14
8月22日	笑いヨガ	寺尾公民館	13
9月19日	草木染め	寺尾公民館	23
10月24日	お菓子作り	寺尾公民館	23
11月 6日	現地学習会	宇都宮市方面	17
12月19日	健康づくり栄養講座	寺尾公民館	11

(3)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（仲良し寺尾サークル）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月26日	寺尾米作り体験教室（田植え）	寺尾公民館	17
7月30日	太陽の観察・日時計の制作	寺尾公民館	11
8月 6日	寺尾 de 寺子屋	寺尾公民館	41
9月29日	寺尾米作り体験教室（稲刈り）	寺尾公民館	23

10月26日	お菓子作り（ハロウィン）	皆川公民館	3
12月21日	クリスマスケーキ作り	寺尾公民館	18

イ　関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月6日	縁日	寺尾公民館	45
7月21日～ 8月31日	夏休み、公民館で勉強しよう！	寺尾公民館	延べ 27

(4)　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月12日	第 75 回野球大会	総合運動公園	50
5月19日	第 73 回卓球大会	寺尾小体育館	50
6月2日	第 9 回ソフトバレーボール大会	寺尾中体育館	80
6月16日	第 41 回ゲートボール大会	寺尾公民館	42
6月30日	第 10 回グラウンドゴルフ大会	水辺の広場	76
9月6日	第 21 回輪投げ大会	寺尾公民館	70
10月6日	第 52 回ソフトボール大会	総合運動公園	50
10月6日	第 63 回ソフトテニス大会	総合運動公園	52
10月27日	第 75 回寺尾地区スポーツフェスティバル	寺尾中校庭	400

(5)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月14日	サマーフェスティバルイン寺尾	寺尾中校庭	約 1,300

・公民館だよりを年3回発行し、寺尾地区内を対象に全戸配布した。

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　寺尾地区自治会連合会、交通安全協会寺尾支部、交通安全協会高齢者部会寺尾支部、交通安全協会女性部寺尾支部、寺尾地区子ども会育成会連絡協議会､寺尾地区スポーツ協会､地域クリーン推進員連合会寺尾支部、寺尾まちづくり協議会、寺尾財産区議会、栃木市消防団第11分団、寺尾地区寿クラブ連絡協議会、寺尾地区社会福祉協議会、寺尾地区民生委員児童委員協議会、寺尾地区文化協会、寺尾地区ゲートボール協会、寺尾地区いきいきスポーツクラブ、寺尾学校給食農産物供給会

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・寺尾地域教育協議会　6月6日、1月23日

4　寺尾支所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区分			件数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	3
		第2種　（甲）	－
		第2種　（乙）	3
	小型特殊（農耕用）		2
廃車申告			12
名義・車台変更届			1
合計			21

(2)　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	872	19,288,078
その他	62	713,811
合計	934	20,001,889

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	－	死亡届	－	転籍届	－
婚姻届	1	養子縁組届	－	その他	－
		合計		1	

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　249件　　141,050円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区分	件数（件）	区分	件数（件）
転入届	3	婚姻届	1
転居届	1	離婚届	－
転出届	3	転籍届	－
世帯主変更届	－	錯誤	－
世帯分離届	－	国保得喪届	10
世帯合併届	－	国年得喪届	－
出生届	－	その他	－
死亡届	－	合計	18

イ　住民票写し等交付件数　　288件　　86,400円

ウ　印鑑証明関係

区分	件数（件）	金額（円）
印鑑登録	9	2,700

印　鑑　証　明	306	91,800
印 鑑 廃 止 届	5	－
合　　計	320	94,500

エ　身分証明交付件数　　11件　　3,300円

オ　諸証明交付件数　　1件　　300円

(5)　税務諸証明交付件数　　124件　　28,500円（内、車検用納税証明29件）

国府公民館係

1　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（いきいき学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月18日	地域で支える認知症	国府公民館	24
7月11日	オカリナ鑑賞会	国府公民館	34
7月29日	折り紙講座	国府公民館	20
10月24日	寄せ植えを楽しもう！	国府公民館	12
11月13日	食についての講演会「楽しく食べて健康に！」	国府公民館	27
12月18日	輪投げ大会	国府公民館	12
1月27日	笑いヨガ【成人学級共催】	国府公民館	27

イ　成人学級（ゆうゆう学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月11日	体操教室【包括支援センター共催】	国府公民館	20
7月3日	いぶき焼き【大宮地区女性学級共催】	国府公民館	11
7月24日	環境講座【大宮地区女性学級共催】	大宮公民館	3
8月21日	カラペハリエ【少年少女学級共催】	国府公民館	2
9月19日	認知症講話（口腔編）【包括支援センター共催】	国府公民館	10
10月18日	認知症講話（運動編）【包括支援センター共催】	国府公民館	11
11月22日	認知症講話（栄養編）【包括支援センター共催】	国府公民館	9
12月9日	音楽コンサート（ギター）【大宮地区女性学級共催】	国府公民館	9
1月27日	笑いヨガ【高齢者学級共催】	国府公民館	0

(2)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（わくわく学級）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月29日	いぶき焼きを作ろう【大宮公民館共催】	国府公民館	18
7月27日	夏休み書道教室	国府公民館	6
7月30日	キーホルダー作り【大宮公民館共催】	大宮公民館	12
8月7日	社会科見学【大宮公民館共催】	茨城県五霞町	7
8月21日	カラペハリエ【成人学級共催】	国府公民館	11
8月23日	おなか元気教室【大宮公民館共催】	大宮公民館	7
10月12日	モルック体験【大宮公民館共催】	大宮運動広場	4
12月7日	クリスマスケーキを作ろう	国府公民館	中止※

※参加者が集まらなかったため。

イ　関係行事

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
4月21日	東部地区女子ﾌｯﾄﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙ大会（春）	大塚運動広場	2チーム
11月24日	東部地区女子ﾌｯﾄﾍﾞｰｽﾎﾞｰﾙ大会（秋）	大塚運動広場	2チーム
11月17日	子どもレクリエーション大会	国府南小体育館	87

(3)　社会体育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月12日	ソフトボール大会	大塚運動広場	67
5月12日	フットベースボール大会	大塚運動広場	中止※
5月21日	スポ協グラウンドゴルフ大会	大塚運動広場	57
7月7日	ターゲットバードゴルフ大会	赤津 TBG コース	8
10月6日	国府地区スポーツフェスティバル	大塚運動広場	300
11月4日	大なわとび大会	国府公民館	中止※
1月19日	地区民ソフトバレーボール大会	総合体育館	69
2月27日	スポ協グラウンドゴルフ大会	大塚運動広場	66
3月2日	ドッジボール大会	下野国庁跡	中止※

※参加者が集まらなかったため。

(4)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
9月15日	地区敬老行事 （記念品の配布のみ実施）	国府公民館	938
9月29日	大塚運動広場一斉清掃	大塚運動広場	100
11月4日	国府地区ふるさとまつり	国府公民館	2,000
3月2日	下野国庁まつり	下野国庁跡 農村広場	1,000

2　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援

助、協力を行った。

・対象団体　国府地区自治会連合会、国府地区町内公民館連絡協議会、交通安全協会国府支部、交通安全協会高齢者部会国府支部、交通安全協会国府支部女性部会、国府地区子ども会育成会連絡協議会、栃木市スポーツ協会第12支部、地域クリーン推進員連合会栃木地域第12支部、国府地区まちづくり協議会、国府地区遺族会、国府地区シニアクラブ連絡協議会、国府地区社会福祉協議会、国府地区子どもを守る会、下野国庁跡・地区文化財整備委員会、大塚運動広場運営委員会

3　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・東陽地域教育協議会【大宮公民館共催】

4　国府支所業務

(1)　原動機付自転車等標識交付申請及び廃車申告等状況

区分			件数（件）
標識交付申請	原動機付自転車	第1種	2
		第2種　（甲）	0
		第2種　（乙）	0
	小型特殊（農耕用）		4
廃車申告			23
名義・車台変更届			1
合計			30

(2)　出納事務取扱状況

区分	件数（件）	金額（円）
市税	1,326	33,390,978
その他	287	3,489,592
合計	1,613	36,880,570

(3)　戸籍関係取扱状況

ア　戸籍届出受付

区分	件数(件)	区分	件数(件)	区分	件数(件)
出生届	－	死亡届	－	転籍届	－
婚姻届	－	養子縁組届	－	その他	－
		合計		－	

イ　戸籍謄抄本等交付件数　　478件　　267,750円

(4)　住民基本台帳関係事務取扱状況

ア　住民基本台帳届出受付

区　　分	件　数（件）	区　　分	件　数（件）
転　入　届	20	婚　姻　届	－
転　居　届	4	離　婚　届	－
転　出　届	19	転　籍　届	1
世帯主変更届	－	錯　　誤	－
世帯分離届	2	国保得喪届	23
世帯合併届	－	国年得喪届	－
出　生　届	－	そ　の　他	3
死　亡　届	－	合　　計	72

イ　住民票写し等交付件数　　697件　　209,100円

ウ　印鑑証明関係

区　　分	件　数（件）	金　額（円）
印　鑑　登　録	57	17,100
印　鑑　証　明	632	189,600
印　鑑　廃　止　届	19	－
合　　計	708	206,700

エ　身分証明交付件数　　14件　　4,200円

オ　諸証明交付件数　　5件　　1,500円

(5)　税務諸証明交付件数　　366件　　88,100円（内、車検用納税証明80件）

5　地域会議関係（栃木東部地域会議）

栃木東部地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和5年4月1日～令和7年3月31日）

区 分	No.	氏　名	備　　考
1号	1	飯島　初枝	大宮地区女性会
	2	出井　康夫	国府地区自治会連合会
	3	大木　泰正	栃木地区交通安全協会国府支部
	4	大武　真一	大宮地区自治会連合会
	5	大和田　真衣	栃木市ＰＴＡ連合会栃木東部ブロック
	6	篠原　幸江	栃木市第12区民生委員児童委員協議会
	7	長　　全高	栃木市認定農業者連絡協議会
	8	名倉　万里	大宮地区子ども会育成会
	9	藤本　和夫	栃木市スポーツ協会第12支部
	10	梁島　あけみ	栃木市第8区民生委員児童委員協議会
	11	和久井　賢司	栃木商工会議所　青年経営者会
2号	12	大橋　哲夫	地域有識者
	13	柏崎　桂二	
3号	14	島田　　研	公募に応じた者

	15	森　　寛	

(2)　地域会議の開催内容

回数	開催日時・場所	内　　容
第1回	4月25日午後7時～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案事業の想定事業について ・地域予算提案事業評価表について
第2回	5月23日午後7時～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・旧栃木警察跡地土地利用方針（案）の修正について ・都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・地域予算提案事業について
第3回	6月27日午後7時～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案事業の想定事業について
第4回	7月25日午後7時～ 国府公民館大交流室	協議事項等 ・栃木市地域予算事業計画書について
第5回	中止	協議事項・付議案件等がないため
第6回	9月26日午後7時～ 国府公民館大会議室	協議事項等 ・都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について【報告】 ・栃木市産業基盤成長戦略（素案）【情報提供】 ・令和７年度ふれあいバス大宮国府線路線の見直し【情報提供】 ・地域予算事業計画書の提出について報告 ・地域活性化交流イベントの内容について協議
第7回	11月28日午後7時～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・地域活性化交流イベントの内容について協議
第8回	1月23日午後7時～ 国府公民館中会議室	協議事項等 ・地域予算提案事業について
第9回	3月27日午後7時～ 大宮公民館大交流室	協議事項等 ・地域予算提案事業について

(3)　地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
3月	第11号	A4判両面カラー刷り

※6,900部発行

(4)　地域予算提案事業の概要

事業名	事業費（千円）

文化財案内標識整備事業	1,496
大宮公民館トイレ改修事業	3,150
地域資源案内看板整備事業	1,200
地域活性化交流イベント	342

第２節　大平地域づくり推進課

〔総括概要〕

大平地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民係、保健福祉係、公民館係の4係体制である。

地域づくり推進係では、地域まちづくりセンターとして、地域会議の事務局を担当し、「地域予算提案制度」において継続事業としての交通事故防止対策事業の他3つの事業を提案したほか、まちづくり実働組織「大平わいわいテラス」の活動支援等を行った。

広聴事業については、市政に対する市民の声を行政に反映するため、直接対話によるまちづくり懇談会ふれあいトークを開催した。

自治会事業については、大平地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援したほか、「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業については、交通安全運動における啓発や周知を強力に推進した。また、栃木地区交通安全協会大平支部の事務局として運営支援を行った。

窓口対応業務については、本庁関係課と連携し、農業関係や交通防犯関係の書類受付などを行い、市民サービス向上に努めた。

市民係では、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、各種医療費助成の申請受付や受給資格者の登録及び変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付、名寄帳等の閲覧、原動機付自転車等の標識交付・返納のほか、市税等の収納を行った。

なんでも相談については、窓口を設置し市民に寄り添った支援を行った。

保健福祉係では、民生委員児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務のほか、障がい者手帳、障がい福祉サービス、福祉タクシー、高齢者関係、介護給付等に関する申請受付事務等を行った。

また、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行うとともに、予防接種事業の案内を行った。

公民館係では、各種講座を開設し生涯学習の振興に努め、社会教育関係団体、芸術文化団体の支援を行った。また、青少年健全育成の推進及び、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

生涯スポーツの振興としては、ふる里大平スポーツフェスタ2024を開催した。

また、公民館・社会体育施設の管理運営においては、安心して施設を利用いただけるよう施設の適正管理に努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

大平地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和5年4月1日～令和7年3月31日）

区　分	No.	氏　名	備　考
1号委員	1	小堀　和子	栃木市大平地区スポーツ協会
	2	清水　泰子	大平地区社会福祉協議会
	3	阿部　誠 （令和5年5月16日委嘱）	大平地域自治会連合会
	4	柳田　和子	栃木市女性団体連絡協議会
	5	川田　健太郎	栃木市ＰＴＡ連合会大平ブロック
	6	青木　理恵	大平わいわいテラス
	7	仲三河　マコト	栃木市大平文化協会
	8	尾花　正人	栃木市認定農業者協議会大平支部
	9	田村　誠志	大平町商工会
	10	伊藤　政博	栃木市大平地区民生委員児童委員協議会
2号委員	11	藤倉　竜広	学識経験を有する者
	12	荒山　菜穂子	
	13	藤野　晴彦	
3号委員	14	植原　瑞恵	公募に応じた者
	15	三井　健	

(2)　開催内容

回数	開催日時・場所	内　容
第1回	4月25日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・令和6年度指定管理者制度導入計画について ・防災士の資格取得費補助について ・自主防災組織補助金(活動補助金)について ・各種団体との情報交換会の実施（案）について ・その他
第2回	5月23日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら	・栃木市都市計画マスタープラン(改訂版)及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・上記の意見聴取に対する「大平地域会議」として

	2階多目的ルームA	の回答について ・情報交換会 ［栃木市大平子ども会育成会連絡協議会］ 冒険遊び場事業について ・その他
第3回	6月27日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・旧栃木警察署跡地土地利用方針(案)の修正について ・上記の意見聴取に対する「大平地域会議」としての回答について ・デコ活(脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動)への参画について ・情報交換会 ［認定まちづくり実働組織大平わいわいテラス］ 活動について ・その他
第4回	7月25日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・令和７年度実施分地域予算事業計画書(案)について ・その他
第5回	8月22日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・大平運動公園整備構想の策定について ・コロナ禍以後のふれあいバス・蔵タクの利用者数の推移について ・その他
第6回	9月26日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・栃木市都市計画マスタープラン(改訂版)及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・栃木市産業基盤成長戦略(素案)について ・令和６年度栃木市地域自治交流会の開催について ・その他
第7回	中止	協議事項・付議案件等がないため
第8回	1月23日（木） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・栃木市文化財保存活用地域計画について ・地域自治制度の新制度移行について ・その他
第9回	3月19日（水） 午後6時30分～ プラッツおおひら 2階多目的ルームA	・今期の大平地域会議の活動実績について ・今期の大平地域会議の振り返りについて

(3)　地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体裁
8月	第19号	A3判二つ折り両面カラー刷り
3月	第20号	A4判両面カラー刷り

※各号9,550部発行

(4) 地域予算提案事業の概要

事業名	事業費（千円）
大平地域交通事故防止対策事業	363
学童保育室環境整備事業	1,523
かかしの里活性化事業	2,900
大平西地区公民館調理設備改修事業	1,453

2 まちづくり実働組織関係

地域の課題解決や地域活性化のために平成29年9月に設立された実働組織「大平わいわいテラス」の活動支援を行なった。

3 広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見、提案等を聴き、市民の声を今後の市の行政経営に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数(件)	フリートーク数(人)	対象自治会数	参加者数(人)
1	6月21日(金)	ゆうゆうプラザ大会議室	大平中学校区内の自治会	25	5	26	25
2	6月25日(火)	ゆうゆうプラザ大会議室	大平南中学校区内の自治会	4	7	20	19
合 計				29	12	46	44
				41			

4 自治会関係

自治会については、大平地域自治会連合会の事務局として各種事案を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1) 自治会活動の推進

ア 自治会長名簿の作成

次年度の自治会長及び自治会内の班及び戸数等を記載した名簿を作成

・受付期間 2月～3月

・対象自治会 46自治会

(2) 大平地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　46自治会

(ｲ)　役員

・会長1人、副会長2人、幹事1人、監事2人、顧問2人

イ　会議

(ｱ)　定期総会

令和6年4月25日（木）大平公民館にて　対面での総会を実施

・内　容　令和５年度事業報告・決算報告並びに監査報告について
令和６年度事業計画・収支予算について
役員の選出について等

(ｲ)　役員会

回　数	開　催　日	内　　容
第１回	6月20日(木)	・令和６年度事業計画について
第２回	8月1日(木)	・研修会について
第３回	3月13日（木）	・令和７年度総会について ・顧問について

ウ　主な事業

(ｱ)　大平地域自治会研修会

(ｲ)　自主事業

単位自治会の組織強化と活動の活性化を図るため、交付金制度に基づき全46自治会に活動費を助成した。

(ｳ)　栃木市自治会連合会関係

自治会長及び役員が総会、役員会等に出席し、各地域連合会との連絡調整を図った。

5　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の発送を行った。

後納郵便発送件数　65,642件

6　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
大平総合支所清掃業務（常駐・定期）	1,714,130
大平総合支所機械警備業務	1,069,200
大平総合支所庁舎内電話交換設備保守業務	488,400
大平総合支所自家用電気工作物保安管理業務	247,500
その他業務委託件数　5件	812,978
合　　計	4,332,208

7　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名　　等	工事金額（円）
大平総合支所本館屋上雨漏り修繕工事	191,400
大平総合支所本館１階西側防犯カメラ設置工事	128,920
大平総合支所地域づくり推進課硝子修理	36,850
大平総合支所ガス漏れ警報器交換、ガス接続管撤去めくら工事	14,300
大平総合支所西側女子トイレスイッチ不良交換行為	9,900
大平総合支所東側入口外灯不点修繕工事	18,700
大平総合支所避難誘導灯機器更新工事	352,000
大平総合支所庁舎２階女子トイレフラッシュバルブメンテナンス出張作業	9,900
大平総合支所本館１階カーテンレール修繕工事	29,788
大平総合支所新館レイアウト変更に伴う電話設備工事	179,927
合　　計	971,685

8　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（中型バス　42人）	1
普通乗用	4
軽乗用	3
小型貨物	1
軽貨物	1
合　　計	10

9　市有バスの運行　　（単位：回）

区　分	日帰り運用	宿泊運用	合　　計
市　内	44	－	44
市　外	31	－	31
県　外	21	－	21
合　計	96	－	96

10　防犯関係

防犯活動

・地域安全防犯防火診断の実施

日　時　12月6日（木）

診断者　栃木警察署、栃木市消防本部消防総務課、大平地域づくり推進課

11　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭啓発活動、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出等

・実施期間　4月6日(土)～15日(月)

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭啓発活動、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出等

・実施期間　9月21日(土)～30日(月)

ウ　交通安全市民大会

交通事故等現況報告、交通安全に関する作文朗読、大会宣言

・実施日　9月28日（土）

・場　所　栃木市大平文化会館

エ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭啓発活動

・実施期間　12月11日(水)～31日(火)

(2)　その他の交通安全対策

・交通指導員の設置　大平地域内5人委嘱

12　環境関係

環境保全に係る初動対応として、市民から野焼きや草木の繁茂等に関する苦情があった際は、現地に急行し状況確認等を行った。

犬の登録及び注射済票の受付及び交付に関する事務を行った。

13　観光振興

豊かな自然と歴史のある観光資源を生かすために、観光パンフレット等の制作・配布を行った。

(1)　観光パンフレット等の制作・配布

太平山＆晃石山を歩こう！！（ハイキングマップ）

(2)　観光キャンペーン等

ぶどう狩りキャンペーン

・実施日　　6月22日（土）

・会　場　　太平山あじさいまつり会場内ぶどう試食配布

14　観光行事

大平地域を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施した。

(1)　おおひら桜まつり（桜のライトアップ）

・実施期間　3月29日（土）～4月13日（日）　午後6時～午後9時

・場　　所　さくら通りの桜並木
・主　　催　おおひら桜まつり実行委員会
・共　　催　栃木市

(2)　光と音のページェント
・実施期間　12月5日（木）～1月13日（月・祝）午後5時～午後9時
・場　　所　新大平下駅東口・プラッツおおひら周辺
・主　　催　光と音のページェント実行委員会
・共　　催　栃木市
・来 場 者　約11,672人

15　農業関係

農業団体育成事業

・栃木市認定農業者協議会大平支部

大平地域の農業を担う認定農業者が経営改善に必要な知識・技術の研鑽に努め、会員の経営改善計画の実現を目指すことを目的に、会員相互の連携を図るため、会員相互交流事業や新年会を実施した。また、栃木市認定農業者協議会の講演会及び情報交換会等へ参加した。

16　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。　（単位：件）

件　　名	件　　数
耕作証明書	18
農家基本台帳の写し	2
農家証明書	4

市民係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　（単位：件）

処　理　事　項		件数	処　理　事　項	件数
戸籍届(出生、死亡、婚姻等)		282	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	2
住民異動届		2,262		
小　計		2,544	死胎埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	1
印鑑	登　録	680		
	廃　止	118	死産届	4
小　計		798	小　計	7
			合　計	3,349

2　謄抄本証明書等交付件数

種別		件数(件)	金額(円)	種別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	2,139	962,550	住民票	世帯全員	2,199	659,700
	個人事項証明	303	136,350		個人	3,621	1,086,300
	除籍謄本	1,435	1,076,250		証明	171	51,300
	除籍抄本	31	23,250		年金現況証明	－	－
	広域戸籍全部事項証明	317	142,650		戸籍の附票	292	87,600
	広域除籍全部事項証明	43	32,250		広域	14	4,200
	広域除籍謄本	432	324,000		小計	6,297	1,889,100
	戸籍証明	25	8,750	その他	印鑑登録	680	204,000
	受理証明	57	19,950		印鑑登録廃止	118	－
	廃棄証明	3	－		臨時運行許可証	268	201,000
	出産証明	2	－		労基証明	30	－
	戸籍電子証明書提供用識別符号	0	0		人口統計	2	－
	除籍電子証明書提供用識別符号	0	0		マイナンバーカード(有料)	319	255,200
	不受理証明	0	－		マイナンバーカード(無料)	2,596	－
	小計	4,787	2,726,000		特急発行マイナンバーカード(有料)	4	7,200
証明書	印鑑証明	3,625	1,087,500		特急発行マイナンバーカード(無料)	20	－
	諸証明	50	15,000		電子証明書(有料)	322	64,400
	身分証明	124	37,200		小計	4,359	731,800
	市町村合併証明	6	－	合計		19,248	6,486,600
	選挙証明	0	－				
	小計	3,805	1,139,700				

3　斎場及び霊きゅう車等使用許可件数

栃木市斎場

種類	区分		件数(件)		金額(円)
斎場	市内	大人	46	49	－
		小人	－		
		死産児	3		
	市外	大人	－	－	－
		小人	－		
		死産児	－		
合計				49	－

4　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	200	居住地の変更届出(転入)	184
資格変更等に伴う居住地届出	71	居住地の変更届出(転居)	161
特別永住者の居住地届出	－	特別永住者居住地の変更届出(転入)	0
特別永住者証明書の交付	－	特別永住者居住地の変更届出(転居)	－
市町村通知	－	法務省通知	－
		合　　計	616

5　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　1,590件

・限度額適用認定証　226件

(標準負担額減額認定証を含む)

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　74件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　0件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　39件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　0件

6　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　（単位：件）

申請書種類	件　数
資格関係届出	89
高額療養費申請	510
その他の療養費申請	97
葬祭費申請	208
被保険者証等再交付申請	57
合　　計	961

7　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　（単位：件）

種　　別	件　　数
重度心身障がい者医療費助成	64

こども医療費助成	562
妊産婦医療費助成	24
ひとり親家庭医療費助成	49

8　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
新規取得届	192	訂正・取消・不在	1
新規取得申出	－	付加年金取得届	10
再取得届	261	付加年金喪失届	1
再取得申出	－	法定免除該当届	6
資格喪失届	24	法定免除消滅届	0
資格喪失申出	1	通知書再交付届	1
種別変更届	54	その他	9
		合計	560

(2)　免除申請受理件数　（単位：件）

種　類	件　数
免除・納付猶予申請	59
学生納付特例申請	32

(3)　国民年金請求受理件数　（単位：件）

給付種類	件　数
老齢基礎年金	3
障害基礎年金	1
遺族基礎年金	0
寡婦年金	0
死亡一時金	4
未支給年金	3
老齢福祉年金	0
合計	11

(4)　相談件数　（単位：件）

相談の内訳	件数
来訪相談	825
電話相談	15
文書相談	0
合　計	840

9　税務関係証明書等交付件数　（単位：件）

区　分	有料件数	無料件数

諸 証 明	4,579	379
公簿閲覧	46	9
合　　計	4,625	388

10　原動機付自転車等の標識交付事務　　（単位：件）

区 分	取 得	廃 車	変 更
件 数	118	96	34

11　市税等の収納事務

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市 税 等	5,349	78,695,953
水　道	348	3,147,874
合　　計	5,697	81,843,827

12　延長窓口処理件数（1～11の内数）　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	14
住民票写し等交付	28
印鑑登録証明書交付	15
印鑑登録	9
戸籍届	0
住民異動届	21
斎場使用許可証交付	0
臨時運行許可証交付	0
個人番号カードの交付	44
国民健康保険関係	14
後期高齢者医療費関係	0
医療費助成関係	8
税務関係証明書交付	20
その他	31
窓口及び電話による相談、問合せ等	12
合　　計	216

13　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

区　　分	件　　数
税	19
保険・年金	0
交通・防犯	6

ごみ・環境	83
人権	0
福祉	28
健康・医療	6
子ども・子育て	0
観光	0
農業・商業	19
道路	30
土地	5
住宅	24
上下水道	18
消防・防災	2
教育・文化	3
その他	81
合　　計	324

保健福祉係

1　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員67人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
29	2	3	6	2	3
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
－	41	13	98	197	2.94

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
255	8	626	4,986	13,109	18,984	283.3

(3)　ふれあい館作品展示交流会

実施日　5月25日（土）～26日（日）

場　所　ふるさとふれあい館

2　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目　標　額	実　績　額	達　成　率

3,107,300円	2,750,500円	88.5%

(2) 災害による救援品配付状況

区　分	世帯数（世帯）	家族数（人）	毛布（枚）	布団（組）	緊急セット（個）
火　災	－	－	－	－	－

(3) 災害見舞金給付状況　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
－	－	－	－	－

3　身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	8
聴覚・平衡障がい	8
音声・言語・そしゃく障がい	3
肢体不自由障がい	18
内　部　障　が　い	36
複　合　障　が　い	0
合　　計	73

4　知的障がい者(児）の現況(療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者(児）の支援を目的に療育手帳の申請受付を行い18人に手帳を交付した。

5　精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	17
2　級	50
3　級	18
合　計	85

(2) 自立支援医療費（精神通院）申請受付状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、368件の申請があった。

6　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1) 補装具交付及び修理の申請件数（単位：件）

区　分	申請受付件数

身体障がい者	35
身体障害児	－
合　計	35

(2)　日常生活用具の申請件数　　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	55
身体障がい児	－
合　計	55

7　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）申請受付件数

（単位：件）

種　別	申請受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	3
腎臓機能障がい	73
合　計	76

8　自立支援医療（育成医療）申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、1人が申請した。

9　各種手当の状況　　（単位：件）

種　別		新規申請受付件数
特定疾患者介護手当		28
重度心身障がい児扶養手当		－
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	1
	障がい児福祉手当	－
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		3

10　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付し

タクシー料金を助成した。　（単位：人）

区　　分	交付者数
高齢者（80歳以上）	429
高齢者（65～79歳）	145
障がい者	92
合　　計	666

11　学童保育事業

小学校の児童で家族が仕事や傷病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない児童を対象に、学童保育利用を希望する保護者からの利用申込書の申請受付等を行った。

・学童保育受付件数　260件

12　児童手当

次代の社会を担う子どもの健やかな育ちを応援するという趣旨のもと、子どもを養育する保護者に対し、児童手当の相談・申請受付事務を行った。

・児童手当受付件数　227件

13　赤ちゃん誕生祝金事業

赤ちゃんの出産を奨励し、健やかな成長を願い、少子化及び子育て支援対策に資することを目的に、誕生祝金の申請受付事務を行った。

事　業　名	祝　金　額	受付件数(件)
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	26
	第三子以降　20,000円	14

14　児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父または母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

（単位：件）

種別	受付件数
児童扶養手当	212
遺児手当	3

15　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うために、お子様の出生時とおおむね生後４か月時に紙おむつとおしりふきの配布を行った。

・紙おむつとおしりふき配布件数　77件

16　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・入園受付件数　102 件

17　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	63
緊急通報装置貸与申請	2
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	21
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	8
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	48
在宅寝たきり老人等介護手当申請	324
紙おむつ給付申請	59
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	－
合　計	525

18　介護保険業務各種受付件数

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
介護保険負担限度額認定申請	163
高額介護サービス費支給申請	78
介護保険居宅介護サービス費支給申請書	－
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	11
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	－
短期入所連続利用等申請の受付	－
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	1
福祉用具購入費支給申請	7
住宅改修費支給申請	－
被保険証等再交付申請	90
住所地特例適用・変更・終了届	5
受給資格証明書	4
障がい者控除対象者認定申請書	9
おむつ使用証明書	2
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	1

転送希望届・転送解除届	8
合　計	379

19　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を実施した。

公民館係

1　公民館等使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
大平公民館	1,550	18,362	279,815
大平西地区公民館	381	2,864	58,740
大平南地区公民館	287	3,080	56,595
大平東地区公民館	145	1,262	12,090
合計	2,363	25,568	407,240

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月13日（月）	やさしい人権教室	大平公民館	57
5月16日（木） ～6月13日（木）	やさしい手芸教室（全3回）	大平公民館	延べ54
5月17日（金）	ハイキングを楽しもう	群馬県赤城方面	24
5月21日（火） ～6月18日（火）	手作りパン教室（全5回）	大平公民館	延べ29
5月24日（金） ～6月28日（金）	はつらつ体操（全5回）	大平公民館	延べ111
5月30日（木） 6月20日（木）	大人の社会科見学	宇都宮市 茨城県日立市	23 24
6月26日（水） ～7月10日（水）	歴史探訪講座（全3回）	大平公民館	延べ77
7月 5日（金） ～8月 2日（金）	さわやかヨガ（全5回）	大平公民館	延べ96
7月24日（水） 7月31日（水）	スマートフォン教室（全2回）	大平公民館	延べ35
10月2日（水） ～11月6日（水）	水引・組み紐講座（全5回）	大平公民館	延べ59

10月 7日（月） ～12月 2日（月）	ズンバ教室（全4回）	大平公民館	延べ56
10月 8日（火）	工場視察研修	足利市 群馬県館林市	25
10月18日（金）	大人の社会科見学	埼玉県深谷市	23
10月22日（火）	珈琲教室	大平公民館	延べ12
11月 8日（金） 1月15日（水）	歴史探訪講座（全2回）	大平公民館	延べ40
11月14日（木）	街なかウォッチング	益子方面	24
11月19日（火） ～12月12日（木）	ライフアップ講座（全5回）	大平公民館	延べ70
11月25日（月） ～12月16日（月）	デュークズ・ウォーキング（全4回）	大平公民館	延べ64
12月10日（火） 12月17日（火）	手作りケーキに挑戦（全2回）	大平公民館	延べ20

(2) 二十歳の集い関係（大平会場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月10日（土）	第1回二十歳の集い実行委員会	大平公民館	10
10月19日（土）	第2回二十歳の集い実行委員会	大平公民館	12
1月11日（土）	二十歳の集いリハーサル	大平文化会館	13
1月12日（日）	令和7年二十歳の集い	大平文化会館	226

(3) 青少年教育関係

ア リーダー研修

各単位子ども会育成会より推薦された子ども会リーダーが、集団体験活動を通し、子ども会リーダーとしての知識や技術を学び、併せて協調性・連帯性を養うことを目的とした、リーダー養成のための研修会を企画した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月31日（水） ～8月 1日（木）	大平子ども会リーダー研修会	なす高原自然の家	44

イ 冒険遊び場（ねずみもちパーク）の活動支援

「自分の責任で自由に遊ぶ」をテーマにしたプレイパークを会場に、大平子ども会育成会連絡協議会が行う様々な事業活動に対して支援を行った。

実施日等	内　　容	参加人数(人)
4月13日（土）	ペイント	17
4月27日（土）	ピザづくり・ネイチャーゲーム、図書館コラボ	35
5月11日（土）	シャボン玉	75
5月25日（土）	さつまいも苗植え	44
6月 8日（土）	木工	65

6月22日（土）	泥遊び・水遊び	67
7月13日（土）	ウォータースライダー、図書館コラボ、映画会	90
7月27日（土）	ウォータースライダー	66
8月10日（土）	ウォータースライダー	61
8月24日（土）	ウォータースライダー・縁日	62
9月14日（土）	ウォータースライダー	57
9月28日（土）	ネイチャークラフト	17
10月12日（土）	子ども食堂とコラボ	41
10月26日（土）	さつまいも掘り	40
11月 9日（土）	楽器遊び	19
11月23日（土）	焼き芋、図書館コラボ	46
12月14日（土）	リース作り	50
1月11日（土）	凧作り・凧揚げ・べーゴマ	37
1月25日（土）	楽器遊び・べーゴマ	42
2月 8日（土）	べーゴマ大会	19
2月22日（土）	秘密基地づくり、図書館コラボ	38
3月 8日（土）	子ども食堂とコラボ	98
3月22日（土）	ねずパ20周年記念行事	222

ウ　子どもフェスティバル

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月3日（日）	子どもフェスティバル	中央公園	87

エ　青少年育成市民会議「おおひらっ子ネットワーク」事業

おおひらっ子ネットワークでは、7月と11月の子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、大平地域の各小学校において、朝のあいさつ運動を実施した。また、大平地域の幼・保育園、小・中学校が花を購入する費用に対して補助金を交付することにより、花の育成を通して子どもたちの豊かな心を育む活動を支援した。

(ｱ)　朝のあいさつ運動

実施日等	場　　所	参加人数(人)
7月 2日（火） 11月12日（火）	大平地域内各小学校	43

(ｲ)　花購入費補助金の交付

・交付団体　4団体

3　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　大平地域女性の会、栃木市大平町家庭教育オピニオンリーダー会、大平町リーダースクラブ

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・大平地域教育協議会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数（人）
6月27日（木）	第1回地域教育協議会	大平公民館	28
1月28日（火）	第2回地域教育協議会	大平公民館	27
3月	大平アシストネットだより回覧	―	－

5　子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用して講座を開催した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月20日（木）	子育て講座「子どもをのばす魔法の言葉」	大平南小学校	40
1月29日（水） 2月 4日（火）	子育て講座「もうすぐわが子も一年生、トークしよう！」	大平東小学校 大平西小学校 大平中央小学校 大平南小学校	30 58 88 64

6　文化振興関係

広く文化への意識高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的に、各種文化団体の作品展示、芸能発表を行った。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月26日（土）、27日（日）、11月3日（日）、4日（月）、9日（土）、10日（日）	栃木市大平文化祭【栃木市大平文化祭実行委員会、栃木市文化協会主催】	大平公民館、大平体育館、大平文化会館	延べ 1,300

7　生涯スポーツ推進関係

(1)　地区スポーツ協会関係

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	場　　所
10月13日（日）	ふる里大平スポーツフェスタ2024	414	大平運動公園
1月25日（土） ～3月 1日（土）	寒さに負けない体力づくり ソフトテニス教室（一般）	10	大平運動公園
1月25日（土） ～3月 1日（土）	寒さに負けない体力づくり ソフトテニス教室（小学生）	1	大平運動公園

	寒さに負けない体力づくり バドミントン教室	中止	
	寒さに負けない体力づくり テニス教室	中止	
1月29日（水） ～3月 5日（水）	寒さに負けない体力づくり 卓球教室	14	大平南体育館

(2) 専門部関係

ア 剣道

開催日	行事名	参加者(人)	会場
8月24日（土）	第45回栃木地区少年剣道錬成大会	65	藤岡総合体育館

イ 柔道

開催日	行事名	参加者(人)	会場
4月～3月 （柔道教室）	大平町少年柔道教室	30	大平武道館
11月10日（日）	大平町少年柔道クラブ柔道大会	60	大平武道館
11月23日（土）	第40回栃木市少年柔道大会	90	大平武道館

ウ バレーボール

開催日	行事名	参加者(人)	会場
9月 8日（日）	第2回おおひら混合バレーボール大会	120	大平南体育館

エ スキー

開催日	行事名	参加者(人)	会場
1月18日（土） ～ 19日（日）	おおひらスキースクール	36	福島県ネコママウンテン
3月 1日（土）	おおひらスキー祭	44	福島県だいくらスキー場

オ ソフトボール

開催日	行事名	参加者(人)	会場
4月 7日（日）	第23回マラソンソフトボール大会	180	大平運動公園
4月21日（日）	第40回大平壮年ソフトボール大会	110	大平運動公園
6月 9日（日） ～ 16日（日）	第19回大岩藤ソフトボール大会	210	大平運動公園
7月14日（日） ～ 21日（日）	第15回大平協会長杯ソフトボール大会	120	大平運動公園
8月25日（日） ～9月 1日（日）	第20回大岩藤ソフトボール大会	200	大平運動公園
10月6日（日） ～11月3日（日）	第40回大平シリーズソフトボール大会	120	大平運動公園

カ　レクリエーション

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	会　　場
1月19日（日）	新春大ドッジボール大会	19	大平南体育館

8　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　　設　　名	建設年	面　　積　（㎡）		備　　考
		敷　　地	建　　物	
大平体育館	昭和49年	7,180.04	1,779.46	鉄筋コンクリート造 ※敷地は公民館等含む
大平南体育館	昭和59年	7,300.14	1,162.31	鉄筋コンクリート造
大平武道館	昭和55年	1,698.97	842.00	鉄筋造(平成元年増築)
大平運動公園野球場	平成 7年	40,000.00	285.05	鉄筋コンクリート造
大平運動公園多目的運動広場	平成 9年	48,000.00		
大平運動公園第2多目的運動広場	平成16年	8,600.00		
大平運動公園テニスコート	平成10年	7,000.00		

(2)　利用状況　　(単位:人)

施設	人数
大平体育館	1,354
大平南体育館	23,894
大平武道館	8,595
エイジェックさくら球場（大平運動公園野球場）	9,392
大平運動公園多目的運動広場	29,163
大平運動公園第2多目的運動広場	8,094
大平運動公園テニスコート	31,388
合計	111,880

9　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設(体育館)　　(単位:人)

学校名	利用人数
大平東小	2,755
大平南小	5,745
大平西小	4,089
大平中央小	12,132
大平中	6,007
大平南中	6,601
合計	37,329

イ　学校体育施設(運動場)　　(単位:人)

学校名	利用人数
大平東小	1,898
大平南小	4,242
大平西小	1,075
大平中央小	8,096
大平中	765
大平南中	0
合計	16,076

ウ　学校体育施設(武道場)　　(単位:人)

学校名	利用人数
大平南中	6,180
合計	6,180

第３節　藤岡地域づくり推進課

〔総括概要〕

藤岡地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民係、保健福祉係、公民館係の4係体制である。

地域づくり推進係の主な分掌事務は、地域づくりの推進、自治会、総合支所庁舎及び公用車の維持管理並びに交通安全の推進等である。

地域づくりの推進に関しては、地域まちづくりセンターとして地域会議の事務局を担当し、地域会議からは、「地域予算提案制度」により5つの事業を市長に提案をした。また、まちづくり実働組織「ハートランドまちづくり隊」の運営支援を行った。

自治会事業については、藤岡地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援した。また「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業として、交通安全運動における啓発や周知を行った。また、交通安全協会藤岡支部の事務局として、円滑な運営支援を行った。

窓口対応業務として、農業関係の届出書類、防犯灯設置の申請書類の受付など本庁関係課と連携し、市民サービス向上に努めた。

市民係の主な分掌事務については、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付、戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、申請、登録、変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付等及び市税等の収納を行った。

なんでも相談窓口を設置し、市民に寄り添った支援を行った。

保健福祉係の主な分掌事務については、民生委員児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務の他、障害者手帳や福祉サービス等の各種申請受付等を行った。

また、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付を行うとともに、予防接種や集団検診の受付等を行った。

公民館係の主な分掌事務については、公民館事業、スポーツ事業及び各施設の維持管理等である。“地域づくり”につながるよう、高齢者学級、成人学級、青少年教育学級などの各種講座や地域教育関係、学校開放等の事業を推進した。

また、文化団体連絡協議会の芸術文化団体の支援、子ども会育成会連絡協議会の支援、社会教育団体の支援、こどもネットワーク、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

更に、社会体育施設の管理運営において、身近にスポーツを楽しめるよう、様々なスポーツイベントが開催できる施設として、利便性の向上や適正管理に努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

藤岡地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和5年4月1日～令和7年3月31日）

区　　分	No.	氏　　名	備　　考
1号委員	1	阿部　康夫（5月15日委嘱）	藤岡地域自治会連合会
	2	大島　寿幸（5月15日委嘱）	栃木市ＰＴＡ連合会藤岡ブロック
	3	岡　弘樹	ハートランドまちづくり隊
	4	葛生　明雄（4月17日委嘱）	藤岡町商工会
	5	坂本　まち子	藤岡文化団体連絡協議会
	6	進上　一巳	藤岡地区社会福祉協議会
	7	田名網　眞一	栃木市認定農業者協議会
	8	長竹　香織	藤岡地区スポーツ協会
	9	横田　敦子	民生委員児童委員協議会
2号委員	10	阿部　多佳子	学識経験を有する者
	11	石川　淳子	
	12	大澤　孝子	
	13	片柳　理光	
3号委員	14	伊勢　智恵	公募に応じた者
	15	手呂内　彩名	

(2)　開催内容

ア　会議

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月23日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・防災士の資格取得費の補助及び自主防災組織活動補助金の拡充について ・令和6年度藤岡地域会議開催日程（案）について ・地域予算提案事業について
第2回	5月28日（火） 午後6時30分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・旧栃木警察署跡地土地利用方針（案）の修正について ・栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・栃木市脱炭素先行地域づくり事業の進捗状況について ・地域予算提案事業について

第 3 回	6 月 25 日（火） 午後 6 時 30 分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・藤岡駅前広場について ・「部屋小学校の今後の在り方」について ・デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）への参画について ・地域予算提案事業について
第 4 回	7 月 23 日（火） 午後 6 時 30 分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・地域予算提案事業について
第 5 回	8 月 27 日（火） 午後 6 時 30 分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・コロナ禍以前と以後のふれあいバス・蔵タクの利用者数の推移について ・地域予算提案事業について
第 6 回	10 月 29 日（火） 午後 6 時 30 分～ 藤岡総合支所別館 2 階会議室	・栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・栃木市産業基盤成長戦略（素案）について
第 7 回	11 月 26 日（火） 午後 6 時 30 分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・栃木市脱炭素先行地域づくり事業の取組の検討中止について
第 8 回	1 月 28 日（火） 午後 6 時 30 分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・栃木市文化財保存活用地域計画について ・地域自治制度の新制度移行について ・旧藤岡第二中学校の利活用方針案について
第 9 回	3 月 25 日（火） 午後 6 時 30 分～ 藤岡総合支所旧議会棟	・令和 6 年度実施分地域予算事業の実施状況及び令和 7 年度実施予定地域予算提案事業について

イ　部会

地域会議の内部組織として第 1 部会及び第 2 部会が設置されたが単独での部会開催は実施なし。

(3)　藤岡地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
8 月	第 28 号	A3 版両面カラー刷り
11 月	第 29 号	A4 版両面白黒刷り
3 月	第 30 号	A4 版両面カラー刷り

※各号4,800部発行

(4)　地域予算提案事業の概要　　（単位：千円）

事業名	事業費
渡良瀬の里憩いの場トイレ改修事業	913
地域子育て支援センターふじおか外遊び遊具購入費	300

恋人の聖地魅力アップ事業	1,996
藤岡公民館パワーアップ事業	1,009
渡良瀬遊水地案内看板掲出事業【継続】	396

2　まちづくり実働組織関係

藤岡地域全域を活動対象とし、地域の特色を活かした活動に自主的に取組むまちづくり実働組織「ハートランドまちづくり隊」の活動支援を行った。

3　広聴関係

(1)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市政に対する市民の声を行政に反映させるため、直接対話によるまちづくり懇談会を実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数（件）	フリートーク数（人）	自治会数	参加者数（人）
1	6月28日(金)	藤岡文化会館多目的ホール	藤岡地域の全自治会	8	7	103	37

(2)　投書箱

藤岡総合支所玄関に「みんなの声」投書箱を設置し、投書受付を実施したが意見はなかった。

4　自治会関係

自治会相互の円満な運営と、住みよい環境づくり、地域住民の福祉の増進に寄与することを目的とした藤岡地域自治会連合会の各種活動を支援した。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

(ｱ)　自治会役員名簿

次年度役員名簿（自治会長、クリーン推進員）の取りまとめ

・受付期間　2月～3月

・対象自治会　103自治会

(ｲ)　班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

・受付期間　2月～3月

・対象自治会　103自治会

(2)　藤岡地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・地区連合会(部屋地区・藤岡地区・赤麻地区・三鴨地区)

・単位自治会　103自治会

(ｲ)　役員

・会長1人、副会長3人、理事4人、会計2人、監事2人

イ　会議

開催日	名　称	内　容
4月16日(火)	第1回役員会	・令和6年度藤岡地域自治会連合会総会について ・令和6年度役員選出について
5月12日(日)	総会	・令和5年度事業報告について ・令和5年度収支決算について ・令和6年度事業計画（案）について ・令和6年度収支予算（案）について ・令和6年度役員選出について
7月9日(火)	第2回役員会	・令和6年度市自治会連合会費納入について ・令和6年度事業計画について ・藤岡地域自治会の手引きの作成について ・第37回藤岡ふくしまつりについて
9月25日(水)	第3回役員会	・防災研修の実施計画について ・藤岡地域自治会の手引きの作成について
3月17日(月)	第4回役員会	・令和6年度主催事業の報告について ・令和6年度各地区連合会運営推進費の実績報告について ・令和7年度総会について

ウ　主な事業

実施日	内　容
2月1日(土)	防災研修の実地 ・防災対策講座、体験学習、防災食配布
広報とちぎ 3月号折込	藤岡地維持自治会連合会パンフレット ・つながるFujiokaの発行

5　文書管理関係

適正な文書管理のため、移し換え、廃棄作業を行った。

6　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の送達を行った。

後納郵便発送件数　35,808件

7　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）

支所庁舎警備業務委託	861,300
支所庁舎構内電話交換設備保守委託	303,600
自家用電気工作物保安管理業務委託	272,800
その他業務委託件数 7件	302,371
合　　計	1,740,071

8　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
本館・別館庁舎内線電話移設配線工事	66,000
別館1階自動火災報知受信機予備電源修繕工事	82,500
別館1階蛍光灯修繕工事	90,750
高圧受変電設備高圧進相コンデンサ交換工事	473,000
旧議会棟通路街灯照明器具交換修繕工事	26,400
旧議会階自動火災報知受信機予備電源修繕工事	39,600
合　　計	778,250

9　共用車管理状況

区　　分	数　　量（台）
普通乗合（中型バス39人）	1
小型乗用	2
小型貨物	4
軽貨物	3
合　　計	10

10　市有バスの運行状況　　（単位：回）

	日帰り運用	宿泊運用	合　　計
市　内	59	－	59
市　外	24	－	24
県　外	6	－	6
合　計	89	－	89

11　ＯＡ機器等の管理

藤岡総合支所内における事務用ＯＡ機器等の賃貸借契約及び維持管理を行った。

・コピー機　3台

・印刷機　　1台

12　防犯関係

(1)　防犯灯設置要望の現地調査　14件

(2)　防犯活動

栃木警察署管内1市1町で組織する栃木地区防犯協会（本市が事務局）において実施した次の事業に参画した。

・防犯防火診断。藤岡駅前における広報啓発活動等を行った。

13　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭立哨指導、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出等

・実施期間　4月6日(土)～15日(月)

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭立哨指導、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び立看板掲出、藤岡中学校生徒自転車点検等

9月28日に大平文化会館において、開催された交通安全市民大会に参加した。

・実施期間　9月21日(土)～30日(月)

ウ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車、広報紙等による広報

・実施期間　12月11日(水)～31日(火)

(2)　その他の交通安全対策

・藤岡地域小中学校通学路の安全点検

14　観光振興

（一社）栃木市観光協会藤岡支部として藤岡地域の魅力を市内外に発信するため次の事業に取り組んだ。

渡良瀬遊水地フェスティバル2024における地場産品販売

・実施期間　10月6日(日)

・場　　所　渡良瀬遊水地　子供広場ゾーン及び谷中湖北ブロック

・実施主体　（一社）栃木市観光協会藤岡支部

15　観光行事

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、次の行事を実施した。

第31回藤岡さくらまつり

・日　　時　3月30日（日）

イベント10時～15時、ヨシ明かりライトアップ18時～21時

・場　　所　藤岡渡良瀬運動公園

・主　　催　（一社）栃木市観光協会藤岡支部

16　農業関係

栃木市認定農業者協議会藤岡支部

藤岡地域の認定農業者で構成される栃木市認定農業業者協議会藤岡支部の活動支援

を行った。

・8月1日（木）　意見交換会

・2月7日（金）　意見交換会

17　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明発行等の事務を行った。　（単位：件）

件　　名	件　数
耕作証明書	14
農家証明書	6
農家基本台帳の写し	9
合　　計	29

市民係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　（単位：件）

処　理　事　項		件数	処　理　事　項	件数
戸籍届(出生、死亡、婚姻等)		325	死体埋火葬許可 (栃木市斎場なし 5件)	231
住民異動届		887		
小　計		1,212	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	－
印鑑	登　録	317		
	廃　止	87	死産届	－
小　計		404	小　計	231
			合　計	1,847

2　謄抄本証明書等交付件数

種　別		件数(件)	金額(円)	種　別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	1,352	608,400	住民票	世帯全員	745	223,500
	個人事項証明	180	81,000		個　人	1,873	561,900
	除籍謄本	1,311	983,250		証　明	92	27,600
	除籍抄本	1	750		年金現況証明	-	-
	広域戸籍全部事項証明	95	42,750		戸籍の附票	184	55,200
	広域除籍全部事項証明	17	12,750		広　域	5	1,500
	広域除籍謄本	195	146,250		小　計	2,899	869,700
	戸籍証明	4	1,400	その他	印鑑登録	317	95,100
	受理証明	16	5,600		印鑑登録廃止	87	-
	廃棄証明	-	-		臨時運行許可証	154	115,500

	出産証明	-	-		労基証明	4	-
	戸籍電子証明書提供用識別符号	-	-		人口統計	-	-
	除籍電子証明書提供用識別符号	-	-		マイナンバーカード(有料)	88	70,400
	不受理証明	-	-		マイナンバーカード(無料)	1,313	-
	小　　計	3,171	1,882,150				
証明書	印鑑証明	2,138	641,400		特急発行マイナンバーカード(有料)	4	7,200
	諸 証 明	27	8,100				
	身分証明	90	27,000		特急発行マイナンバーカード(無料)	7	-
	市町村合併証明	3	-				
	選挙証明	-	-		電子証明書(有料)	92	18,400
	小　　計	2,258	676,500		小　　計	2,066	306,600
					合　　計	10,394	3,734,950

3　斎場使用許可件数

栃木市斎場

種　　類	区　　分		件　数(件)		金　額(円)
斎　　場	市　内	大　人	226	226	－
		小　人	－		
		死産児	－		
	市　外	大　人	－	－	－
		小　人	－		
		死産児	－		
小　　計				226	－

4　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	47	居住地の変更届出(転入)	39
資格変更等に伴う居住地届出	3	居住地の変更届出(転居)	24
特別永住者の居住地届出	－	特別永住者居住地の変更届出(転入)	－
特別永住者証明書の交付	－	特別永住者居住地の変更届出(転居)	－
法務省通知	－	市町村通知	－
		合　　計	113

5　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　　1,044 件

・限度額適用認定証　　175 件

（標準負担額減額認定証を含む）

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　　50 件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　　－件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　　24 件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　　－件

6　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　　（単位：件）

申請書種類	件　数
資格関係届出	7
高額療養費申請	219
高額療養費事前申請	-
その他の療養費申請	283
葬祭費申請	175
被保険者証等再交付申請	97
合　計	781

7　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　　（単位：件）

種　別	件　数
重度心身障がい者医療費助成	78
こども医療費助成	195
妊産婦医療費助成	9
ひとり親家庭医療費助成	27

8　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
新規取得届	32	訂正・取消・不在	1
新規取得申出	－	付加年金取得届	3
再取得届	138	付加年金喪失届	－
再取得申出	－	法定免除該当届	4
資格喪失届	3	法定免除消滅届	－

資格喪失申出	1	通知書再交付届	1
種別変更届	25	その他	3
		合計	211

(2) 免除申請受理件数 (単位：件)

種類	件数
免除・納付猶予申請	62
学生納付特例申請	16

(3) 国民年金請求受理件数 (単位：件)

給付種類	件数
老齢基礎年金	1
障害基礎年金	2
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	－
未支給年金	－
老齢福祉年金	－
合計	3

(4) 相談件数 (単位：件)

相談の内訳	件数
来訪相談	196
電話相談	32
文書相談	－
合計	228

9 税務関係証明書等交付件数 (単位：件)

区分	有料件数	無料件数
諸証明	1,639	208
公簿閲覧	126	20
合計	1,765	228

10 原動機付自転車等の標識交付事務 (単位：件)

区分	取得	廃車	変更
件数	101	121	42

11 市税等の収納事務

区分	件数(件)	金額(円)
市税等	5,033	84,468,470
水道	325	3,256,115

合　　計	5,358	87,724,585

12　延長窓口処理件数(1～11の内数)　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	15
住民票写し等交付	17
印鑑登録証明書交付	13
印鑑登録	3
戸籍届	－
住民異動届	1
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	－
臨時運行許可証交付	－
個人番号カードの交付	16
国民健康保険関係	3
後期高齢者医療費関係	2
医療費助成関係	－
国民年金関係	
税務関係証明書交付	－
市税等の収納	
その他	16
窓口及び電話による相談、問合せ等	2
合　　計	88

13　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

区　　分	件　　数
税	7
保険・年金	－
交通・防犯	4
ごみ・環境	55
人権	1
福祉	5
健康・医療	－
子ども・子育て	－
観光	－
農業・商業	40
道路	63
土地	4
住宅	19

上下水道	4
消防・防災	1
教育・文化	－
その他	26
合　　計	229

14　部屋出張所処理件数（1～11の内数）　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	300
住民票写し等交付	351
印鑑登録証明書交付	303
印鑑登録	23
印鑑登録廃止	8
諸証明交付	14
市税等収納	789
税諸証明交付	220
合　　計	2,008

保健福祉係

1　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員42人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員4人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
40	3	28	74	4	20
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
5	19	26	196	415	9.9

(2)　調査等状況　　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
291	13	2,142	2,868	5,447	10,761	256.2

2　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目安額	実績額	達成率

1,555,400円	1,475,900円	94.9%

(2) 災害による救援品配布状況

区　分	世帯数（世帯）	家族数（人）	毛布（枚）	布団（組）	緊急セット（個）
火　災	－	－	－	－	－

(3) 災害見舞金給付状況　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
－	－	－	－	-

3 身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視覚障がい	5
聴覚・平衡障がい	9
音声・言語・そしゃく障がい	－
肢体不自由障がい	8
内部障がい	27
複合障がい	－
合　計	49

4 知的障がい者(児）の現況(療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者（児）の支援を目的に療育手帳の申請受付を行い、6人に手帳を交付した。

5 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	6
2　級	30
3　級	16
合　計	52

(2) 自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、182人が受給した。

6 身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1) 補装具交付及び修理の申請件数（単位：件）

区　分	申請受付件数

身体障がい者	19
身体障がい児	1
合　計	20

(2)　日常生活用具の申請件数　　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	38
身体障がい児	2
合　計	40

7　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）の申請受付件数

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	1
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	2
腎臓機能障がい	58
合　計	61

8　自立支援医療（育成医療）の申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、1人が申請した。

9　各種手当の状況　　（単位：件）

種　別		新規申請受付件数
特定疾患者介護手当		13
重度障がい児支援手当		－
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	1
	障がい児福祉手当	－
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		1

10　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」を交付しタクシー料金を助成した。　　（単位：人）

区　分	交付者数

高齢者（80歳以上）	132
高齢者（65～79歳）	13
障がい者	19
合　計	164

11　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象として実施している、学童保育の利用を希望する保護者からの利用申請受付等を行った。

・学童保育受付件数　56件

12　児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

・児童手当受付件数　82件

13　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降が誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

（単位：件）

事業名	祝金額	件　数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　10,000円	11
	第三子以降　20,000円	4

14　児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

（単位：件）

種　別	受付件数
児童扶養手当	99
遺児手当	－

15　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うため、お子様の出生時とおおむね生後4か月時に紙おむつとおしりふきの配布を行った。

・紙おむつとおしりふき配布件数　30件

16　保育園事業

保護者の就労や疾病等の事由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・入園受付件数　26 件

17　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	49
緊急通報装置貸与申請	4
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	15
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	5
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	32
在宅寝たきり老人等介護手当申請	171
紙おむつ給付申請	47
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	－
合　計	318

18　介護保険業務各種受付件数

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	受付件数
介護保険負担限度額認定申請	120
高額介護サービス費支給申請	70
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	58
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	71
短期入所連続利用等申請の受付	5
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	―
福祉用具購入費支給申請	1
住宅改修費支給申請	10
被保険証等再交付申請	68
住所地特例適用・変更・終了届	19
受給資格証明書	3
障がい者控除対象者認定申請書	4
おむつ使用証明書	―
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	―
転送希望届	4
合　計	433

19　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を行った。

公民館係

1　公民館の使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
藤岡公民館	1,270	19,859	221,415
三鴨地区公民館	103	917	21,450
部屋地区公民館	165	1,603	64,180
赤麻地区公民館	147	1,993	36,915
合計	1,685	24,372	343,960

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（わたらせ大学）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月 1日(水)	講話「心豊かに生きるために」	藤岡公民館	25
6月19日(水)	実技「シニアのための軽運動」	藤岡公民館	25
7月17日(水)	講話「認知症を予防しよう」	藤岡公民館	27
9月 5日(木) 9月12日(木) 9月19日(木)	実技「クラフトアート」世界にひとつしかない作品ををを作ります	藤岡公民館	23
10月 2日(水)	館外学習	群馬方面	25
11月29日(水)	講話「笑いヨガ」	藤岡公民館	24
12月 4日(水)	落語(年末寄席)「落語…笑いの中にも人生についての深い教え」	藤岡公民館	23

イ　成人講座

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月24日(金)	座禅講座・春	足利市	20
6月 1日(土)	淡水パールとビーズで作るアクセサリー講座	藤岡公民館	3
6月 6日(木)	春の花の寄せ植え講座	群馬県板倉町	14
6月 7日(金)	ハンギングバスケット講座・春	群馬県板倉町	12

7月 3日(水)、 7月 4日(木)	学校給食理解講座	藤岡給食センター	15
7月 3日～7月17日（各水）	ゴルフ教室(全３回)	岩舟町三和ゴルフ	延べ 15
7月16日～7月30日（各火）	コーヒー講座(全３回)	珈琲音 Atelier	29
9月10日(火)	切り絵講座	藤岡公民館	8
9月13日(金)、 9月27日(金)、 10月18日(金)	歴史講座(全３回)	藤岡公民館	延べ 60
10月22日(火)	座禅講座・秋	足利市	20
11月28日(木)	秋冬の花の寄せ植え講座	群馬県板倉町	10
11月29日(金)	ハンギングバスケット講座・冬	群馬県板倉町	12
12月 5日(木)	ラク家事講座	藤岡公民館	12
12月10日(火)	アロマ講座	藤岡公民館	5
1月23日～3月6日(各木)	デュークズウォーキング教室(全６回)	藤岡総合体育館	延べ 158

(2) 二十歳の集い関係（藤岡会場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月10日（土）	第１回二十歳の集い実行委員会	藤岡公民館	13
9月21日（土）	第２回二十歳の集い実行委員会	藤岡公民館	13
11月16日(土)	第３回二十歳の集い実行委員会	藤岡公民館	5
1月11日（土）	二十歳の集いリハーサル	藤岡公民館	15
1月12日（日）	令和７年二十歳の集い	藤岡文化会館	95

(3) 青少年教育関係

ア 将来を担う子どもたちの地域との関わりや暮らしに深く関わる行事を取り入れた事業を中心に行った。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月6日(土) ～8月5日(月)	子どもカヌー教室（全６回）	藤岡地域各小中学校	延べ 39

3 社会教育関係団体等関係

事業計画から実施まで助言等を行い、団体活動の促進のために援助、協力を行った。

(1) 青少年育成市民会議「藤岡こどもネットワーク」事業

新学期を迎えた4月と11月の子ども・若者育成支援強調月間に合わせ、藤岡地域の各小中学校において朝のあいさつ運動を実施した。

また、10月には青少年健全育成見守り活動の一環として、渡良瀬遊水地フェスティ

バル巡回活動及び12月には青少年地域交流活動として「こどもたいけんフェスタinふじおか」を実施した。更に「藤岡こどもネットワークだより」を発行し、広報とちぎ4月号にあわせて全戸配布した。

ア　4月の朝のあいさつ運動

実　施　日	会　　場	参加人数(人)
4 月 11 日(木)	赤麻小	延べ 64
4 月 15 日(月)	藤岡中	
4 月 17 日(水)	部屋小、三鴨小	
4 月 30 日(火)	藤岡小	

イ　11月の朝のあいさつ運動

実　施　日	会　　場	参加人数(人)
11 月　6 日(水)	部屋小	延べ 50
11 月　8 日(金)	藤岡中	
11 月 11 日(月)	三鴨小	
11 月 13 日(水)	赤麻小	
11 月 14 日(木)	藤岡小	

ウ　青少年健全育成巡回活動の実施

実　施　日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月　6日(日)	渡良瀬遊水地フェスティバル巡回活動	藤岡渡良瀬運動公園	4

エ　青少年地域活動

実　施　日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
12月　8日(日)	こどもたいけんフェスタ in ふじおか	藤岡公民館	424

(2)　家庭教育オピニオンリーダー会との共催により、主に暮らしに深く関わる行事を取り入れた事業と、親子での体験学習による交流とふれあいを目的とした講座を企画した。

実 施 日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月27日（土）	救命救急＆消防体験	藤岡渡良瀬運動公園	40
12月　8日（日）	どーなつクラブのクリスマス会	藤岡文化会館	70

(3)　藤岡子ども会育成会連絡協議会事業

実 施 日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月25日（金）	みんなで花火を楽しもう！	藤岡公民館第二駐車場	150

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

藤岡公民館が本部となり藤岡地域の各小中学校と地域のつなぎ役である地域コーディネーターと学校支援ボランティアの支援を行うとともに、地域教育協議会を開催し地域

の教育力を高めた。

・藤岡地域教育協議会

実 施 日	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月18日(火)	(1) 各学校における今年度の取り組みについて (2) これまでの成果や課題等について意見交換	藤岡公民館２階 大会議室２	24
２月４日（火）	(1) 令和５年度事業について ア　藤岡地域各小・中学校の今年度の活動の成果と課題等について イ　次年度における事業、課題等について	藤岡公民館２階 大会議室２	24

5　文化振興関係

栃木市藤岡文化祭

広く文化への意識の高揚と、市民の文化・芸能活動への参加意欲を高めるとともに、生涯学習の成果を発表し、参加者相互の交流発展に貢献することを目的とした、栃木市藤岡文化祭を実施した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月27日(日) 11月 2日(土) 11月 3日(日)	栃木市藤岡文化祭【栃木市藤岡文化団体連絡協議会共催】	藤岡公民館、 藤岡文化会館	600

6　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　設　名	建設年	面　積（㎡）		備　考
		敷　地	建　物	
藤岡渡良瀬運動公園	昭和55年	283,249		
藤岡総合体育館	昭和61年	29,149	3,334	鉄筋コンクリート造
藤岡弓道場	平成 6年	256	236	鉄骨・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造
三鴨スポーツ広場	平成14年	5,319		簡易水洗式トイレ

(2)　利用状況　　（単位:人）

施設名	利用者数
藤岡渡良瀬運動公園	26,573
藤岡総合体育館	30,837
藤岡弓道場	1,056
三鴨スポーツ広場	230

合　　計	58,696

7　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設(体育館)　　(単位:人)

学　　校　　名	人　　数
部屋小	2,990
赤麻小	1,624
三鴨小	478
藤岡中	2,581
合　計	7,673

イ　学校体育施設(武道場)　　(単位:人)

学　校　名	人　　数
藤岡中　格技場	3,072
藤岡中　弓道場	1,767

ウ　学校体育施設(運動場)　　(単位:人)

学　　校　　名	人　　数
藤岡小	0
部屋小	3,611
赤麻小	0
三鴨小	630
藤岡中	160
合　計	4,401

エ　学校体育施設(夜間照明)　　(単位:人)

学　　校　　名	人　　数
部屋小	3,125
三鴨小	0
藤岡中	160
合　計	3,285

第４節　都賀地域づくり推進課

〔総括概要〕

都賀地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民保健福祉係、公民館係の3係体制である。

地域づくり推進係の主な分掌事務は、地域まちづくりセンターとして地域会議の事務局を担当し、地域会議からは、「地域予算提案制度」により4つの事業を市長に提案した。また、まちづくり実働組織「まちづくりネットワーク『つが』」の運営支援を行った。

自治会事業については､都賀地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業として、交通安全運動における啓発や周知を行った。また、交通安全協会都賀支部の事務局として円滑な運営支援を行った。

窓口対応業務として、農業関係の届出書類、防犯灯や狂犬病予防法による犬の登録及び注射済票の交付の申請書類の受付など本庁関係課と連携し、市民サービス向上に努めた。

都賀総合支所複合化整備事業については、総合支所、公民館等の複数の施設の機能を集約した新たな複合施設が完成し2月25日に開庁することが出来た。

市民保健福祉係の主な分掌事務については、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付、戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、申請、登録及び変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付等及び、市税等の収納を行った。

また、なんでも相談窓口を設置し、市民に寄り添った支援を行った。

保健福祉業務については、民生委員児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務のほか、障がい者手帳や福祉サービス、福祉タクシー、高齢者関係、介護保険業務に関する各種申請受付等の事務を行った。

また、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請業務を行うとともに、予防接種事業等の案内を行った。

公民館係の主な分掌事務については、各種講座を開設し生涯学習の振興に努め、社会教育団体の支援、文化協会等の芸術文化団体の支援や青少年健全育成の推進、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

生涯スポーツの振興として、都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバルを実施したほか、ターゲットバードゴルフ大会、自治会対抗ソフトボール大会を開催することができた。なお､モルック大会を予定していたが雨天のため中止となった。

また、社会体育施設の管理運営として、つがスポーツ公園テニスコートの人工芝

改修工事を行った。その他、身近にスポーツを楽しみ、様々なスポーツイベントが開催できるよう各施設の利便性向上や適正管理に努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

都賀地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和5年4月1日～令和7年3月31日）

区分	No.	氏名	備考
1号委員	1	茅島　淳二	都賀地域自治会連合会
	2	郡司　敦	都賀町商工会
	3	篠﨑　正美	民生委員児童委員協議会
	4	髙野　和枝	都賀地域女性会
	5	早乙女　英利	ＰＴＡ連合会都賀・西方ブロック
	6	直井　茂	都賀地区スポーツ協会
	7	相田　美由紀	都賀文化協会
	8	関口　精一	認定農業者協議会
	9	石本　俊光	まちづくりネットワーク『つが』
2号委員	10	大塚　紀通	学識経験者
	11	辻原　正信	
	12	飯嶋　かおる	
3号委員	13	山本　文彦	公募に応じた者
	14	田島　富美子	
	15	中島　美和	

(2)　開催内容

ア　会議

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月23日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 自主防災組織補助金（活動補助金）の拡充及び防災士の資格取得費の補助について(情報提供)【担当課：危機管理課】 (2) 地域予算提案事業の検討について (3) その他
第2回	5月28日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 旧警察署跡地土地利用方針（案）の修正について【意見聴取：市街地整備課】 (2) 栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について【意見聴取：都市計画課】 (3) (仮称) 栃木市消防署北部分署庁舎整備について【情報提供：消防総務課】

		(4) 地域予算提案事業の検討について (5) その他
第3回	6月25日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」策定の基本方針について（担当課：都市計画課） (2)ハス池再生工事等にかかる意見聴取について（担当課：公園緑地課） (3) 地域予算提案事業の検討について (4) その他
第4回	7月23日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案事業の検討について (2) その他
第5回	8月27日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案事業の検討について (2) その他
第6回	9月24日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地元議員との意見交換について (2) 地域予算提案制度の検討について (3) その他
第7回	11月26日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 地域予算提案事業の検討について (2) その他
第8回	1月28日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1) 栃木市都賀図書館の今後のスケジュール等について（情報提供）【担当課：生涯学習課】 (2) 栃木市都賀歴史民俗資料館について（意見聴取）【担当課：文化課】 (3) 地域予算提案制度の検討について (4) その他
第9回	3月11日（火） 午後7時から 都賀総合支所 大会議室	(1)（仮称）都賀総合支所複合施設に伴う都賀公民館の使用料の改正について（意見聴取）【担当課：都賀地域づくり推進課】 (2) 地域予算提案制度の検討について (3) その他

イ　部会

都賀地域会議には2つの部会があるが、令和6年度は開催がなかった。

(ｱ)　総務・産業・建設部会

回数	開催日時、場所	内　　容
	開催なし	

(ｲ)　民生・教育部会

回数	開催日時、場所	内　　容

	開催なし	

(3)　都賀地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
3月	第27号	A4判・両面・カラー刷り

※各号4,050部発行

(4)　地域予算提案事業の概要　　（単位：千円）

事業名	事業費
都賀地域交通事故防止対策事業【継続】	399
都賀総合支所開庁記念事業	3,267
つがの里活性化事業	218
簡易テント購入事業	1,278

2　まちづくり実働組織関係

地域の課題解決や活性化のために平成29年3月に設立されたまちづくり実働組織「まちづくりネットワーク『つが』」に、事業計画や補助金申請の手続きに関し支援を行った。

3　広聴関係

(1)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見や提案などを聴き、市民の声を今後の市政に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数(件)	フリートーク数(人)	自治会数	参加者数(人)
1	7月9日(火)	都賀公民館講堂	都賀地域の自治会全て	8	14	30	51

4　自治会関係

自治会については、都賀地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1)　自治会活動の推進

自治会長名簿、班数及び世帯数の把握

・受付期間　3月～4月

・対象自治会　30自治会

(2)　都賀地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　30自治会

(ｲ)　役員

・会長1人、副会長3人、監事2人（総会で選出、任期1年）

イ　会議

開催日	名　称	内　　容
4月 9日（火）	役員選出	役員選出、各種委員の推薦
4月26日（金）	総会（書面表決）	役員選出、事業計画及び予算
5月27日（月）	第1回役員会	実施事業について
3月24日（月）	第2回役員会	総会について

ウ　主な事業

(ｱ)　自治会活動用品の配布を行った。

5　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の発送を行った。

後納郵便発送件数　48,720件

6　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
都賀総合支所エレベーター保守点検業務委託	337,700
その他業務委託件数9件	1,733,739
合　計	2,071,439

7　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
都賀総合支所庁舎空調設備修理費	38,720
合　計	38,720

8　共用車管理状況

区　　分	数　量（台）
小型乗用	1
軽乗用	2
普通貨物	1
小型貨物	2
軽貨物	2
合　計	8

9　行政財産使用料

区　　分	件数（件）	数　　量	収入金額（円）

庁舎１階廊下（販売）	2	－	200
東京電力㈱（電柱）	1	12本	18,000
東日本電信電話㈱（電柱）	1	7本	10,500
郵便差出箱敷地	1	1箇所	380
合　　計	3		29,080

10　行政財産等の管理に関する事務

行政財産等の貸付

区　　分	件　数	面積（㎡）	収入金額（円）
職員駐車場利用料	28人	1,042.2	125,840
合　　計			125,840

11　都賀総合支所複合化整備事業

合併後の公共施設再編モデル事業として、総合支所、公民館、図書館の機能を集約した施設として、令和4年12月から工事を進め令和7年2月9日の落成式を経て2月25日に無事開庁することができた。

また、カーボンニュートラルを推進するため太陽光発電設備、蓄電池や電気自動車を購入し、再生可能エネルギーを活用した非常用電源設備であるV2Xシステムを導入した。

(1)　主要事業

ア　（仮称）都賀総合支所複合施設新築工事監理業務委託

受注者	株式会社本澤建築設計事務所　宇都宮市川田町1223-27
履行期間	令和4年12月12日から令和6年8月2日まで
業務内容	新築工事、電気設備工事、機械設備工事の監理業務委託

イ　（仮称）都賀総合支所複合施設新築工事

受注者	ワタナベ・大澤特定建設工事共同企業体　栃木市都賀町大橋256-1
工　　期	令和4年12月19日から令和6年7月12日まで
工事内容	・建築工事
	複数施設 RC造 2階建て 延べ面積 2,436.66m2　1.0式 車庫・倉庫棟 RC造 平屋建て 延べ面積 129m2　1.0式 駐車場 アルミニュウム造 平屋建て 延べ面積 22.36m2　1.0式 ・外構工事 路盤正整、掲揚塔、案内看板、地震計台、側溝、 雨水浸透槽、囲障　等　　1.0式

ウ　（仮称）都賀総合支所複合施設新築電気設備工事

受注者	森澤・伊藤特定建設工事共同企業体　栃木市梓町39-23
工　　期	令和4年12月19日から令和6年7月12日まで
工事内容	高圧受変電設備、発電設備、構内配電線路設備、電灯設備 動力設備、構内通信線路設備、構内情報通信網設備

	構内交換設備、音響設備、拡声設備、誘導支援設備　等

エ　（仮称）都賀総合支所複合施設新築機械設備工事

受 注 者	セキネ・日向野特定建設工事共同企業体　栃木市都賀町木 347-2
工　　期	令和4年12月19日から令和6年7月12日まで
工事内容	空気調和設備、換気設備、衛生器具設備、給排水設備 給湯設備　　1.0式

オ　（仮称）都賀総合支所複合施設V2Xシステム設置工事

受 注 者	大興・永山特定建設工事共同企業体　栃木市平井町 523-7
工　　期	令和5年8月10日から令和6年9月30日まで
工事内容	V2X システム設置、充放電器、監視装置、太陽光発電設備

12　防犯関係

防犯関係については、年末に防犯防火診断を実施し、都賀地域内の企業や公共施設を見回り、戸締り点検を実施した。

13　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等

・実施期間　4月7日(月)～15日(月)

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等

・実施期間　9月24日(水)～30日(火)

ウ　交通安全市民大会

・開催日　9月28日（土）　大平文化会館

エ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、立看板掲出等

・実施期間　12月11日(水)～20日(金)

(2)　その他の交通安全対策

ア　交通指導員の設置　5名委嘱(都賀地域)

14　環境関係

環境保全に係る初動対応として、市民から野焼きや草木の繁茂等に関する苦情があった際は、現地に急行し状況確認や指導を行った。

栃木市地域クリーン推進員都賀支部

地域クリーン推進員の協力を得て、美化キャンペーン等を実施した。

・不法投棄監視及びごみ収集ステーションの管理

・地域クリーン推進員の嘱託状況32人

15　観光振興

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源のＰＲ、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

観光協会関係

観光資源を活かした観光行事の実施、(一社) 栃木市観光協会都賀支部が実施する観光行事や観光ＰＲ事業等に対し補助金を交付した。

・つがまち観光協会事業補助金　271,000 円

・主催事業　つがの里ハスまつり、つが花火大会

16　観光行事

(1)　第 31 回つがの里花まつり“花彩祭”

・実 施 日　　3 月 30 日（土）～4 月 6 日(日)

・主　　催　　つがの里花まつり実行委員会

・後　　援　　栃木市

・つがの里山桜開花期のみライトアップ

・イベント開催は期間中の土日のみ

(2)　第 16 回つがの里ハスまつり

・実 施 日　　6 月

・主　　催　　（一社）栃木市観光協会都賀支部

・オンライン開催（インスタグラム、フォトコンテスト）

(3)　つが花火大会

・実 施 日　　8 月 3 日（土）

・主　　催　　つが市民盆踊り大会実行委員会

・共　　催　　（一社）栃木市観光協会都賀支部

(4)　まるまるまるごとつがまつり

・実 施 日　　11 月中旬

・主　　催　　まるまるまるごとつがまつり実行委員会

・共　　催　　栃木市

【都賀総合支所複合施設建設により、会場が確保できないため中止】

17　農業関係

農業経営改善計画書、利用権設定関係の申出書、農地利用最適化推進委員の活動報告書、農地の合意解約書などの受理。獣害対策設備設置補助申請書、鳥獣の捕獲等の許可申請書の受理及び添付資料の作成補助を行い担当課へ送付した。

また、認定農業者協議会都賀支部の支部活動を支援した。

18　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明書発行等の事務を行った。

件　　名	件　数(件)
耕作証明書	9
農家証明書	0
農家基本台帳の写し	2
合　　計	11

市民保健福祉係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　　(単位：件)

処　理　事　項		件数	処　理　事　項	件数
戸籍届（出生、死亡、婚姻等）		233	死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	－
住民異動届		903		
小　計		1136	死胎埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	－
印鑑	登　録	234		
	廃　止	73	死産届	－
小　計		307	小　計	－
			合　計	1,443

2　謄抄本証明書等交付件数

種　別		件数(件)	金額(円)	種　別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	1,038	467,100	住民票	世帯全員	665	199,500
	個人事項証明	170	76,500		個　人	1,615	484,500
	除籍謄本	955	716,250		証　明	70	21,000
	除籍抄本	15	11,250		年金現況証明	－	－
	広域戸籍全部事項証明	65	29,250		戸籍の附票	176	52,800
	広域除籍全部事項証明	17	12,750		広　域	－	－
	広域除籍謄本	151	113,250		小　計	2,526	757,800
	戸籍証明	1	350	その他	印鑑登録	234	70,200
	受理証明	10	3,500		印鑑登録廃止	73	－
	廃棄証明	2	－		臨時運行許可証	184	138,000
	出産証明	－	－		労基証明	4	－
	戸籍電子証明書提供用識別符号	－	－		人口統計	－	－
	除籍電子証明書提供用識別符号	－	－		マイナンバーカード(有料)	70	56,000
	不受理証明	－	－		マイナンバーカード(無料)	1,112	－
	小　計	2,424	1,430,200		特急発行マイナンバーカード(有料)	1	1,800

証明書	印鑑証明	1,769	530,700		特急発行マイナンバーカード(無料)	3	-
	諸 証 明	20	6,000		電子証明書(有料)	70	14,000
	身分証明	54	16,200		小　　計	1,751	280,000
	市町村合併証明	1	-	合　　計		8,545	3,020,900
	選挙証明	-	-				
	小　　計	1,844	552,900				

3　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	52	居住地の変更届出(転入)	70
資格変更等に伴う居住地届出	1	居住地の変更届出(転居)	46
特別永住者の居住地届出	-	特別永住者居住地の変更届出(転入)	1
特別永住者証明書の交付	1	特別永住者居住地の変更届出(転居)	-
法務省通知	-	市町村通知	-
		合　　計	171

4　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　　826 件

・限度額適用認定証　　93 件

(標準負担額減額認定証を含む)

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　　24 件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　　-件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　　8 件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　　-件

5　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　　（単位：件）

申請書種類	件　　数
資格関係届出	33
高額療養費申請	237
その他の療養費申請	37
葬祭費申請	94

被保険者証等再交付申請	43
合　　計	444

6　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　（単位：件）

種　　別	件　　数
重度心身障がい者医療費助成	24
こども医療費助成	169
妊産婦医療費助成	6
ひとり親家庭医療費助成	7

7　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
新規取得届	6	訂正・取消・不在	－
新規取得申出	－	付加年金取得届	－
再取得届	111	付加年金喪失届	－
再取得申出	－	法定免除該当届	3
資格喪失届	5	法定免除消滅届	－
資格喪失申出	－	通知書再交付届	－
種別変更届	10	そ　の　他	3
		合　　計	138

(2)　免除申請受理件数　（単位：件）

種　類	件　数
免除・納付猶予申請	10
学生納付特例申請	10

(3)　国民年金請求受理件数　（単位：件）

給付種類	件　数
老齢基礎年金	－
障害基礎年金	－
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	－
未支給年金	－
老齢福祉年金	－
合　　計	－

(4)　相談件数　（単位：件）

相談の内訳	件　数

来訪相談	111
電話相談	－
文書相談	－
合　　計	111

8　税務関係証明書等交付件数　　（単位：件）

区　　分	有料件数	無料件数
諸 証 明	1,651	154
公簿閲覧	45	7
合　　計	1,696	161

9　原動機付自転車等の標識交付事務　　（単位：件）

区　　分	取　得	廃　車	変　更
件　　数	44	67	15

10　市税等の収納事務

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市 税 等	5,428	85,045,921
水　　道	312	2,596,620
合　　計	5,740	87,642,541

11　延長窓口処理件数（1～11の内数）　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	5
住民票写し等交付	4
印鑑登録証明書交付	4
印鑑登録	3
戸籍届	－
住民異動届	－
斎場、霊きゅう車使用許可証交付	－
臨時運行許可証交付	－
個人番号カードの交付	18
国民健康保険関係	－
後期高齢者医療費関係	－
医療費助成関係	－
税務関係証明書交付	5
その他	12
窓口及び電話による相談、問合せ等	3

合　　計	54

12　赤津郵便局証明発行委託件数（1～9の内数）（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	9
住民票写し等交付	17
印鑑登録証明書交付	39
税務関係証明書交付	2
合　　計	67

13　なんでも相談窓口相談件数　（単位：件）

相 談 の 内 訳	件数
税	2
保険・年金	－
交通・防犯	－
ごみ・環境	6
人権	－
福祉	1
健康・医療	－
子ども・子育て	－
観光	1
農業・商業	7
道路	21
土地	3
住宅	2
上下水道	4
消防・防災	1
教育・文化	－
その他	8
合　　計	56

14　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員28人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
3	－	5	1	－	4
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数

－	3	6	189	211	7.5

(2) 調査等状況 （単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
96	18	614	1,918	3,342	5,988	213.8

15 日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1) 赤十字活動資金（社資）募集実績額

目標額（円）	実績額（円）	達成率（%）
1,260,350	1,060,852	84.2

(2) 災害による救援品配布状況

区　分	世帯数（世帯）	家族数（人）	毛布（枚）	布団（組）	緊急セット（個）
火　災	1	1	1	1	1

(3) 災害見舞金給付状況 （単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
1	－	－	－	－

16 身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	5
聴覚・平衡障がい	5
音声･言語･そしゃく障がい	－
肢体不自由障がい	9
内　部　障　が　い	19
複　合　障　が　い	－
合　計	38

17 知的障がい者(児）の現況（療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者(児）の支援を目的に療育手帳の申請受付を行い2人に手帳を交付した。

18 精神障がい者福祉関係

(1) 精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	8

2　級	23
3　級	9
合　計	40

(2)　自立支援医療費（精神通院）申請受付状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、150件の申請があった。

19　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1)　補装具交付及び修理の申請件数　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	19
身体障がい児	－
合　計	19

(2)　日常生活用具の申請件数　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	30
身体障がい児	2
合　計	32

20　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）の申請受付件数

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	－
腎臓機能障がい	41
肝臓機能障がい	－
合　計	41

21　自立支援医療（育成医療）の申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度。申請者なし。

22　各種手当の状況　（単位：件）

種　別	新規申請受付件数

特定疾患者介護手当		10
重度障がい児支援手当		－
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	－
	障がい児福祉手当	－
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		－

23　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。　（単位：人）

区　　分	交付者数
高齢者（80歳以上）	251
高齢者（65～79歳）	67
障がい者	57
合　　計	375

24　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象として実施している、学童保育の利用を希望する保護者からの利用申請受付等を行った。

・学童保育受付件数　84件

25　児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

・児童手当受付件数　44件

26　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降が誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

（単位：件）

事業名	祝金額	件　数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	5
	第三子以降　20,000円	7

27　児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

（単位：件）

種　別	申請受付件数
児童扶養手当	94
遺児手当	1

28　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うために、お子様の出生時とおおむね生後4か月時に紙おむつとおしりふきの配布を行った。

・紙おむつとおしりふき配布件数　22件

29　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・保育園受付件数　10件

30　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。

（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	27
緊急通報装置貸与申請	1
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	17
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	－
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	39
在宅寝たきり老人等介護手当申請	164
紙おむつ給付申請	20
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	－
合　計	268

31　介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
介護保険負担限度額認定申請	71
高額介護サービス費支給申請	43
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	4
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	24
短期入所連続利用等申請の受付	－

軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	－
福祉用具購入費支給申請	2
住宅改修費支給申請	－
被保険証等再交付申請	37
住所地特例適用・変更・終了届	1
受給資格証明書	2
障がい者控除対象者認定申請書	4
おむつ使用証明書	2
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	－
転送希望届	2
合　計	192

32　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を実施した。

公民館係

1　公民館使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
都賀公民館	578	13,323	361,455

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（ふれあい大学）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月21日（火）	笑タイム～笑いは百薬の長～	都賀公民館	25
6月19日（水）	施設見学	風土記の丘資料館・埋蔵文化財センター	17
7月18日（木）	高齢者の熱中症を予防しよう	都賀公民館	25
8月22日（木）	人権講話「災害の伴う人権問題」	都賀公民館	12
9月6日（金）	小平浪平と合戦場2	都賀公民館	23
10月8日（火）	視察研修	川越・造幣局	21
10月18日（金） 23日（金）	今から取り組もう！防災講座(全2回)	西方公民館	0
11月13日（水） 20日（水）	ふまねっと運動(全2回)	都賀公民館	延べ48
12月11日（水）	花のしめ縄づくり	都賀公民館	17

1月23日（木）	笑いヨガ	都賀公民館	19

イ　成人学級（成人セミナー）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月21日（火）	笑タイム～笑いは百薬の長～	都賀公民館	21
6月19日（水）	施設見学	風土記の丘資料館・埋蔵文化財センター	14
7月10日（水） 24日（水）	健康と睡眠の知恵袋(全2回)	都賀公民館	延べ36
8月22日（木）	人権講話「災害の伴う人権問題」	都賀公民館	13
9月12日（木） 19日（木）	カラダいきいき介護用体操(全2回)	都賀公民館	延べ35
10月8日（火）	視察研修	川越・造幣局	14
11月7日（木）	特殊詐欺について	都賀公民館	15
12月12日（火）	マジックショー	西方公民館	0
12月19日（木）	水引講座	都賀公民館	11
1月23日（木）	笑いヨガ	都賀公民館	14

ウ　女性会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月17日（金）	視察研修	笠間、益子方面	18
7月28日（日）	環境美化（公民館除草作業）	都賀公民館敷地	19
8月 3日（土）	つが市民盆踊り大会協力	都賀市民運動場	8
12月18日（水）	寄せ植え講座	都賀公民館	23

(2)　二十歳の集い関係（都賀会場）

二十歳の集い

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月11日（日）	令和7年二十歳の集い実行委員会	都賀公民館	6
1月12日（日）	令和7年二十歳の集い	都賀中学校	99

(3)　青少年教育関係

青少年の健全育成のため、子どもふれあい楽習教室を開催した。

都賀町のこどもを育む会等が実施する自然の中で体験学習を行う事業を支援することで、地域の自然及び自然愛護を知り、自然愛護の心を培い、豊かな人間性を養った。

ア　少年少女学級（子どもふれあい楽習教室）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月18日（土）	モルックを楽しもう	都賀市民運動場	42
6月8日（土）	カヌー体験	つがスポーツ公園	39
7月13日（土）	木の昆虫をつくろう	都賀公民館	34
8月29日（木）	施設見学 等	防災館 他	33

9月28日（土）	手話体験教室	都賀公民館	22
10月19日（土）	天体望遠鏡をつくろう	都賀公民館	24
11月16日（土）	ユニホック	都賀体育センター	31
12月26日（土）	ダンボールクラフトに挑戦しよう	都賀公民館	26
1月25日（土）	餅つき＆凧づくり	都賀公民館	35

イ　都賀町のこどもを育む会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月 4日（土）	タケノコ掘り体験	木地区ほ場	43
5月25日（土）	ホタルナイトウォッチング	大柿ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ他	34
6月 9日（日）	さつまいも苗植え	木地区ほ場	19
9月15日（日）	お月見団子作り	大柿ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	30
11月 2日（土）	さつまいも掘り体験	木地区ほ場	37
1月25日（土）	餅つき	都賀公民館	36
2月23日（日）	小鳥の巣箱作り	つがの里	18

ウ　都賀町子ども会育成会連絡協議会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月20(土)～28日(日)	都賀防災リーダー研修会	大柿ｺﾐｭﾆﾃｨｾﾝﾀｰ	25
8月 3日（土）	つが市民盆踊り大会協力	都賀市民運動場	3,000
12月 7日（土）	カルタ大会	都賀公民館	70

エ　ジュニアリーダースクラブ

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
12月24日（火）	サンタの宅配サービス	都賀地域全域	10

(4)　その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 3日（土）	つが市民盆踊り大会	都賀市民運動場	3,000

3　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　都賀地域女性会、家庭教育オピニオンリーダー会、都賀町のこどもを育む会、子ども会育成会連絡協議会、ジュニアリーダースクラブ、青年団

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・都賀地域教育協議会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月 6日（木）	第1回都賀アシストネット地域教育協議会	都賀公民館	13
1月24日（木）	第2回都賀アシストネット地域教育協議会	都賀公民館	13

5　子育て支援関係

子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用し、家庭教育の推進を図る。

子育て支援講座等

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
9月11日（水）	就学児健康診断時を活用した親学習プログラム	家中小学校	21
10月18日（金）	就学児健康診断時を活用した親学習プログラム	家中小学校	17
1月22日（水）	一日入学を活用した親学習プログラム	合戦場小学校	62

6　文化振興関係

・芸能文化団体関係

市民の自主的で創造的な文化芸術活動の成果の発表を通じて、身近に文化に触れる機会をつくり、文化芸術の振興発展、地域や世代を越えた市民相互の交流とともに活力あるまちづくりを目指して、芸能文化団体の発表を行った。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月12日（土） ～10月27日（日）	作品展示「ギャラリー・ロビー」	都賀公民館	305
10月13日（日）	芸能部門発表	都賀体育ｾﾝﾀｰ	90
10月20日（日）	音楽部門発表	都賀公民館	85
10月27日（日）	歌謡部門発表	都賀公民館	107
11月1日（金） ～11月7日（木）	菊花展	都賀公民館	200
通年	作品展示「都賀中ギャラリー」	都賀中学校	287

7　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　設　名	建設年	面　積（㎡）		備　考
		敷　地	建　物	
都賀市民運動場	平成11年	15,537.06	－	
都賀体育センター	昭和50年	2,413.00	999.91	鉄骨平屋、瓦棒葺
つがスポーツ公園多目的広場	平成11年	48,500.00	－	

つがスポーツ公園ﾃﾆｽｺｰﾄ	平成 4年	4,017.00	－	
都賀南部コミュニティセンター	平成 8年	9,064.86	935.11	鉄骨造
木コミュニティセンター	平成 5年	7,677.31	821.40	鉄骨造
大柿コミュニティセンター	昭和60年	4,013.00	517.63	鉄骨造

(2)　利用状況　　（単位：人）

施設	人数
都賀市民運動場	11,210
都賀体育センター	16,422
つがスポーツ公園多目的広場	9,790
つがスポーツ公園テニスコート	2,197
都賀南部コミュニティセンター	22,637
木コミュニティセンター	17,401
大柿コミュニティセンター	1,653
合　　計	81,310

8　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設（体育館）　　（単位：人）

学校名	利用人数
合戦場小	9,044
家 中 小	11,538
赤 津 小	3,681
都 賀 中	10,147
合　計	34,410

イ　学校体育施設（運動場）　　（単位：人）

学校名	利用人数
合戦場小	3,190
家 中 小	1,040
赤 津 小	2,660
都 賀 中	1,793
合　計	8,683

ウ　学校体育施設（夜間照明）　　（単位：人）

学校名	利用人数
合戦場小	8,780
家 中 小	14,255
赤 津 小	10,960
合　計	33,995

第５節　西方地域づくり推進課

〔総括概要〕

西方地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民保健福祉係、公民館係の 3 係体制である。

地域づくり推進係の主な分掌事務は、地域まちづくりセンターとして地域会議の事務局を担当し、地域会議からは、「地域予算提案制度」により 3 つの事業を市長に提案した。また、まちづくり実働組織「にしかたわくわく隊」の運営支援を行った。

自治会事業については、西方地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業として、交通安全運動における啓発や周知を行った。また、交通安全協会西方支部の事務局として円滑な運営支援を行った。

窓口対応業務として、農業関係の届出書類、防犯灯やカーブミラー設置の申請書類の受付など本庁関係課と連携し、市民サービス向上に努めた。

市民保健福祉係の主な分掌事務については、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、各種医療費助成の申請受付や受給資格者の登録及び変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付、名寄帳等の閲覧、原動機付自転車等の標識交付・返納のほか、市税等の収納を行った。

保健福祉関係業務については、民生委員・児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務、障がい者手帳、障がい福祉サービス、福祉タクシー、高齢者関係、介護保険業務に関する各種申請受付事務等を行うとともに、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務並びにすくすく子育て応援事業における紙おむつ等の配付を行ったほか、集団検診の予約受付及び予防接種事業の案内を行った。

また、なんでも相談窓口を設置し、市民に寄り添った支援を行った。

真名子出張所においては、戸籍、住民基本台帳、税関係の証明、国民健康保険証等の交付、医療費助成の申請受付、市税等の収納のほか、真名子夢ホールの利用承認及び維持管理を行った。

公民館係の主な分掌事務については、各種講座を開設し生涯学習の振興に努め、社会教育団体の支援、文化協会等の芸術文化団体の支援や青少年健全育成の推進、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

また、生涯スポーツの振興として、モルックやボッチャ、ピックルボールをはじめとしたニュースポーツ体験を中心とした「第２回にしかたニュースポーツフェス！」(旧西方地域体育祭）や地域住民の健康維持に寄与するするため、ストレッチを中心と

した健康教室「ぴんぴん体操」を開催した。さらに施設の適正管理を行い、身近にスポーツを楽しめる環境づくりに努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

西方地域会議は、14名の委員により下記の内容で開催した。

(1)　委員（任期　令和5年4月1日～令和7年3月31日）

区　　分	No.	氏　　名	備　　考
1号委員	1	小川　和佳子	栃木市西方地区スポーツ協会
	2	青木　彩季	西方商工会
	3	村上　隆一	西方地区民生委員児童委員協議会
	4	若林　正行	西方地域自治会連合会
	5	山ノ井　一男	西方地区社会福祉協議会
	6	山中　登喜子	西方文化協会
	7	手島　長壽	栃木市認定農業者協議会西方支部
	8	増田　尚久	栃木市ＰＴＡ連合会都賀・西方ブロック
2号委員	9	青木　利男	学識経験を有する者
	10	石川　久子	
	11	荻原　幸一	
	12	渡邊　隆夫	
3号委員	13	天海　伸拓	公募に応じた者
	14	針谷　伸一	

(2)　開催内容

ア　会議

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月25日(木) 午後7時～ 西方公民館2階大会議室	協議事項 ・令和7年度実施分地域予算提案事業の提案における地域の課題の洗い出しについて 情報提供 ・自主防災組織補助金（活動補助金）を拡充します ・防災士の資格取得費を補助します
第2回	5月23日（木） 午後6時30分 西方公民館2階大会議室	意見聴取 ・栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について 協議事項 ・令和7年度実施分地域予算提案事業の提案内容の検討について

		情報提供 ・（仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備について ・くらしの 10 年ロードマップ（概要）「デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動）への参画について」
第 3 回	6 月 27 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	意見聴取 ・栃木市旧栃木警察署跡地土地利用方針（案）について 協議事項 ・令和 7 年度実施分地域予算提案事業の提案の検討について
第 4 回	7 月 25 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	情報提供 ・西方城跡について 協議事項 ・令和 7 年度実施分栃木市地域予算事業計画書（案）の検討について ・にしかたふれあいパークの管理にかかる自主的審議について
第 5 回	8 月 22 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	協議事項 ・令和 7 年度実施分栃木市地域予算事業計画書（案）について ・にしかたふれあいパークの管理にかかる自主的審議について 情報提供 ・令和 5 年度ふれあいバス・蔵タクの運行状況について
第 6 回	9 月 26 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	報告 ・栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について 情報提供 ・栃木市産業基盤成長戦略（素案）について 協議事項 ・にしかたふれあいパークの管理にかかる自主的審議について
第 7 回	11 月 28 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	協議事項 ・にしかたふれあいパークの管理にかかる自主的審議の意見書の内容について ・地域自治交流会における西方地域会議の発表用資料の検討について

第 8 回	1 月 23 日（木） 午後 6 時 30 分 西方公民館 2 階大会議室	情報提供 ・栃木市文化財保存活用地域計画について ・地域自治制度の新制度移行について 回答 ・自主的審議意見書に対する回答について
第 9 回	3 月 19 日(水) 午後 6 時 30 分～ 西方公民館 2 階大会議室	協議事項 ・地域自治制度の新制度移行について（意見等のとりまとめ

イ　部会

(ｱ)　部会の構成

総務産業建設部会、教育民生部会

(3)　西方地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
7 月	第 30 号	A4 版両面カラー刷り
3 月	第 31 号	A3 版二つ折両面カラー刷り

※各号2,000部発行

(4)　地域予算提案事業の概要　（単位：千円）

事業名	事業費
八百比丘尼堂周辺環境整備事業	110
地域活動支援事業	2,769
西方ふれあいパーク　花の滝管理事業【継続】	1,087

2　まちづくり実働組織関係

地域の課題解決や活性化のために平成28年8月に設立されたまちづくり実働組織「にしかたわくわく隊」に、事業計画や補助金申請の手続に関し支援を行った。

3　広聴関係

(1)　まちづくり懇談会ふれあいトーク

市民参加のまちづくりを推進するため、直接対話により、市民から意見や提案などを聴き、市民の声を今後の市政運営に活かす目的で実施した。

回数	実施日	開催場所	対象自治会	事前質問数(件)	フリートーク数（人）	自治会数	参加者数（人）
1	7月2日(火)	ゆったり～な（栃木市北部健康福祉センター）	西方地域の自治会全て	4	9	39	27

4　自治会関係

自治会については、西方地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1)　自治会活動の推進

ア　単位自治会の把握

(ｱ)　自治会長名簿

次年度自治会長名簿の取りまとめ

・受　付　期　間　1月～3月

・対　象　自　治　会　39自治会

(ｲ)　班数、世帯数の把握

次年度各自治会の班数、世帯数の取りまとめ

・受　付　期　間　3月～4月

・対　象　自　治　会　39自治会

イ　自治会長等報償金の支出

(ｱ)　各自治会の報償金振込先調査

・調　査　時　期　11月

・対　象　自　治　会　39自治会

・支　払　時　期　2月

(2)　西方地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　39自治会

(ｲ)　役員

・会長1人、副会長1人、理事3人、会計1人、監事2人（総会で選出、任期1年）

イ　会議

(ｱ)　総会

文書総会とし、議事についての表決書により過半数の承認をもって可決された。

・実施日　4月25日(木)

・内　容　役員の選出、事業計画及び予算について

(ｲ)　第1回役員会

・実施日　4月9日(火)

・内　容　役員の選出、各種委員の推薦について

(ｳ)　第2回役員会

・実施日　8月9日(金)

・内　容　令和6年度事業計画について

(ｴ)　第3回役員会

・実施日　2月26日(水)

・内　容　令和7年度西方地域自治会連合会定期総会について

ウ　主な事業

(ｱ)　防災啓発用品として、全世帯に給水バッグを配布した。

(ｲ)　防災啓発のため、防災対策についての栃木市出前講座を開催した。

5　文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の発送を行った。

後納郵便発送件数　12,453件

6　支所庁舎内及び市有施設の業務委託

業　　務　　名	委託金額（円）
庁舎夜間警備保守業務委託	450,996
その他の業務委託件数　15件	3,366,182
合　　計	3,817,178

7　支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工　　事　　名	工事金額（円）
別館支所内修繕工事	563,200
その他の修繕件数　6件	563,090
合　　計	1,126,290

8　共用車管理状況

区　　分	数　量（台）
普通乗合（マイクロバス　25人）	1
小型乗用	2
軽乗用	1
小型貨物	3
軽貨物	2
合　計	9

9　行政財産使用料

区　　分	件数（件）	数　　量	収入金額（円）
東京電力パワーグリッド（株）（電柱、支線）	1	8本	12,000
東日本電信電話（株）（電話柱等）	1	7本	10,500
日本郵便（株）鹿沼郵便局(郵便ポスト)	1	1基	380
（株）オリエンタルトラスト（温泉給水管埋設）	1	10.12㎡	5,869
庁舎内自動販売機（1社）	1	1台	84,811
駐車場(職員用)	1	18台	112,320
その他（庁舎1階廊下等）	1	1日	100

合　　計	7	－	225,980

10　市営金崎有料駐車場利用状況

区　　分	件数（件）	収入金額（円）
年額利用	6	216,000
月額利用	11	38,500
合　　計	17	254,500

11　防犯関係

防犯関係については、防犯防火診断を実施し、巡回パトロール及び啓発物品の配布を行った。

・日　時　12月6日（金）

12　交通関係

交通安全運動等

(1)　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗掲出等

・実施期間　4月6日(土)～15日(月)

(2)　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗掲出等

・実施期間　9月21日(土)～30日(月)

(3)　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報

・実施期間　12月11日(水)～31日(火)

13　環境関係

(1)　美しいまちづくりの日（一斉清掃）の実施

西方地域は地域クリーン推進員の協力を得て、6 月と 11 月の第 3 日曜日を「美しいまちづくりの日」として、全戸参加による自主的な清掃活動を自治会単位で実施した。

・地域クリーン推進員の委嘱状況　39人

・実 施 日　6月16日（日）、11月17日（日）

・場　　所　西方地域内各地

・内　　容　ごみ拾い、草むしり

・参加人数　約3,160人

(2)　その他環境保全対応

環境保全に係る初動対応として、市民から野焼きや草木の繁茂等に関する苦情があった際は、現地に急行し状況確認や指導を行った。

14　観光振興

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源のＰＲ、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

観光協会関係

観光資源を活かした観光行事の実施、(一社) 栃木市観光協会西方支部が実施する観光行事や観光ＰＲ事業等に対し補助金を交付した。

・観光協会事業補助金　450,000 円
・主催事業　にしかた金崎の桜祭り

15　観光行事

(1)　ど田舎にしかた祭り（にしかたふるさと祭り）

・実 施 日　　12 月 1 日（日）
・主　　催　　にしかたふるさと祭り実行委員会
・共　　催　　栃木市
・場　　所　　道の駅にしかた西側田んぼ
・内　　容　　俵飛ばし大会、田んぼ相撲、花火、和楽器演奏等
・参加人数　　6,000人
・事 業 費　　2,089,674 円(負担金 1,500,000 円)

(2)　にしかた金崎の桜祭り

・実 施 日　　3 月 30 日（日）～4 月 6 日(日)
・主　　催　　にしかた桜祭り実行委員会、(一社) 栃木市観光協会西方支部

16　農業関係

地域農業者への利便を図るため、農業関係書類の受付を行い所管課へ引継ぎを行った。

17　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明書発行等の事務を行った。

件　　名	件　数(件)
耕作証明書	7
農家証明書	4
農家基本台帳の写し	1
合　　計	12

市民保健福祉係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　　(単位：件)

処　理　事　項	件数	処　理　事　項	件数
戸籍届（出生、死亡、婚姻等）	67	死体埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	14
住民異動届	368		

小　計		435	死胎埋火葬許可 (栃木市斎場利用なし)	－
印鑑	登　録	130		
	廃　止	40	死産届	－
小　計		170	小　計	14
			合　計	619

2　謄抄本証明書等交付件数

種　別		件数(件)	金額(円)	種　別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	534	240,300	住民票	世帯全員	304	91,200
	個人事項証明	88	39,600		個　人	832	249,600
	除籍謄本	537	402,750		証　明	36	10,800
	除籍抄本	－	－		年金現況証明	－	－
	広域戸籍全部事項証明	30	13,500		戸籍の附票	71	21,300
	広域除籍全部事項証明	13	9,750		広　域	－	－
	広域除籍謄本	65	48,750		小　計	1,243	372,900
	戸籍証明	－	－	その他	印鑑登録	130	39,000
	受理証明	2	700		印鑑登録廃止	40	－
	廃棄証明	1	－		臨時運行許可証	90	67,500
	出産証明	－	－		労基証明	－	－
	戸籍電子証明書提供用識別符号	－	－		人口統計	－	－
	除籍電子証明書提供用識別符号	－	－		ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｶｰﾄﾞ(有料)	30	24,000
	不受理証明	－	－		ﾏｲﾅﾝﾊﾞｰｶｰﾄﾞ(無料)	486	－
	小　計	1,270	755,350		特急発行マイナンバーカード(有料)	4	7,200
証明書	印鑑証明	894	268,200		特急発行マイナンバーカード(無料)	1	-
	諸 証 明	3	900		電子証明書(有料)	34	6,800
	身分証明	39	11,700		小　計	815	144,500
	市町村合併証明	2	－	合　計		4,266	1,553,550
	選挙証明	－	－				
	小　計	938	280,800				

3　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　　（単位：件）

件　名	件数	件　名	件数
新規上陸後の居住地届出	13	居住地の変更届出(転入)	65
資格変更等に伴う居住地届出	－	居住地の変更届出(転居)	8
特別永住者の居住地届出	－	特別永住者居住地の変更届出(転入)	－
特別永住者証明書の交付	－	特別永住者居住地の変更届出(転居)	－

法務省通知	－	市町村通知	－
		合　　計	86

4　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　　374 件

・限度額適用認定証　　62 件

（標準負担額減額認定証を含む）

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　　8 件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　　1 件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　　14 件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　　－件

5　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　　（単位：件）

申請書種類	件　数
資格関係届出	33
高額療養費申請	70
その他の療養費申請	21
葬祭費申請	62
被保険者証等再交付申請	17
合　　計	203

6　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　　（単位：件）

種　　別	件　　数
重度心身障がい者医療費助成	14
こども医療費助成	38
妊産婦医療費助成	3
ひとり親家庭医療費助成	2

7　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
新 規 取 得 届	8	訂正・取消・不在	－

新規取得申出	－	付加年金取得届	－
再取得届	62	付加年金喪失届	－
再取得申出	－	法定免除該当届	－
資格喪失届	7	法定免除消滅届	－
資格喪失申出	－	通知書再交付届	－
種別変更届	11	その他	1
		合計	89

(2) 免除申請受理件数 （単位：件）

種類	件数
免除・納付猶予申請	15
学生納付特例申請	3

(3) 国民年金請求受理件数 （単位：件）

給付種類	件数
老齢基礎年金	－
障害基礎年金	－
遺族基礎年金	－
寡婦年金	－
死亡一時金	1
未支給年金	1
老齢福祉年金	－
合計	2

(4) 相談件数 （単位：件）

相談の内訳	件数
来訪相談	97
電話相談	7
文書相談	－
合計	104

8 税務関係証明書等交付件数 （単位：件）

区分	有料件数	無料件数
諸証明	838	151
公簿閲覧	25	5
合計	863	156

9 原動機付自転車等の標識交付事務 （単位：件）

区分	取得	廃車	変更
件数	35	36	15

10　市税等の収納事務

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市 税 等	3,427	47,208,879
水　　道	269	2,288,353
合　　計	3,696	49,497,232

11　延長窓口処理件数(1～10の内数)　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	－
住民票写し等交付	2
印鑑登録証明書交付	6
印鑑登録	2
戸籍届	1
住民異動届	－
臨時運行許可証交付	－
個人番号カードの交付	9
国民健康保険関係	1
後期高齢者医療費関係	－
医療費助成関係	－
税務関係証明書交付	2
その他	6
窓口及び電話による相談、問合せ等	－
合　　計	29

12　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

区　　分	件　　数
税	6
保険・年金	4
交通・防犯	10
ごみ・環境	37
人権	－
福祉	4
健康・医療	2
子ども・子育て	1
観光	1
農業・商業	12
道路	49
土地	6

住宅	6
上下水道	6
消防・防災	0
教育・文化	2
その他	7
合　　計	153

13　真名子出張所発行等件数(1～10の内数)　　(単位：件)

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	58
住民票写し等交付	119
印鑑登録証明書交付	124
印鑑登録	12
印鑑登録廃止	5
諸証明交付	3
市税等収納	450
税諸証明交付	54
合　　計	825

14　真名子夢ホール使用状況

施　設　名	使用件数(件)	使用人数(人)	使　用　料(円)
真名子夢ホール	409	5,331	1,240

15　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員18人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、そのうち主任児童委員2人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　　(単位：件)

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
7	1	14	12	2	5
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
2	9	17	147	216	12.0

(2)　調査等状況　　(単位：件)

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
93	7	400	473	3,155	4,128	229.3

16　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目安額	実績額	達成率
621,250円	620,900円	99.9%

(2)　災害による救援品配布状況

区　分	世帯数（世帯）	家族数（人）	毛布（枚）	布団（組）	緊急セット（個）
火　災	－	－	－	－	－

(3)　災害見舞金給付状況　　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
－	－	－	－	－

17　身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	4
聴覚・平衡障がい	1
音声・言語・そしゃく障がい	－
肢体不自由障がい	3
内　部　障　が　い	8
複　合　障　が　い	0
合　計	16

18　知的障がい者(児）の現況（療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者(児）の支援を目的とした療育手帳の申請受付は無し。

19　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数)

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	3
2　級	8
3　級	4
合　計	15

(2)　自立支援医療費（精神通院）申請受付状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、73件の申請があった。

20　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1)　補装具交付及び修理の申請件数（単位：件）

区　分	申請受付件数

身体障がい者	6
身体障がい児	－
合　計	6

(2)　日常生活用具の申請受付状況　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	16
身体障がい児	－
合　計	16

21　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）の申請受付件数

（単位：件）

区　分	受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	－
腎臓機能障がい	38
合　計	38

22　自立支援医療（育成医療）の申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度。申請者無し。

23　各種手当の状況　（単位：件）

種　別		新規申請件数
特定疾患者介護手当		11
重度障がい児支援手当		2
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	4
	障がい児福祉手当	2
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		6

24　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。　（単位：人）

区　分	交付者数

高齢者（80 歳以上）	95
高齢者（65～79 歳）	11
障がい者	18
合　　計	124

25　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象として実施している、学童保育の利用を希望する保護者への事業案内を行った。

26　児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

・児童手当受付件数　13件

27　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降が誕生した市内に住所を有する保護者から、赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

（単位：件）

事業名	祝金額	件　数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	1
	第三子以降　20,000円	1

28　児童扶養手当・遺児手当

児童の健全な育成及び福祉の増進を図るため、父母の離婚や死亡などによって父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が重度の障害の状態にある児童について児童扶養手当、父母の一方又は両方が死亡した児童について遺児手当の案内･相談･受付を行った。

（単位：件）

種　別	件　数
児童扶養手当	16
遺児手当	－

29　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うために、子の出生時に紙おむつとおしりふきの配付を行った。

・紙おむつとおしりふき配付件数　4 件

30　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を

対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・入園受付等件数　11 件

31　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	24
緊急通報装置貸与申請	－
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	6
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	－
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	25
在宅寝たきり老人等介護手当申請	10
紙おむつ給付申請	15
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	－
合　計	80

32　介護保険業務受理状況

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
介護保険負担限度額認定申請	47
高額介護サービス費支給申請	16
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	5
介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	9
短期入所連続利用等申請の受付	－
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	－
福祉用具購入費支給申請	－
住宅改修費支給申請	－
被保険証等再交付申請	14
住所地特例適用・変更・終了届	－
受給資格証明書	－
障がい者控除対象者認定申請書	3
おむつ使用証明書	－
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	3
転送希望届	1
その他	0
合　計	98

33　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を実施した。

公民館係

1　公民館等使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
西方公民館	572	6,619	82,225

2　生涯学習推進関係

(1)　生涯学習公開事業

全講座受講生及び幅広い市民の方々に参加を募り、公開講座を通して地域・世代間交流を深めるとともに、地域に根ざした生涯学習を行った。

ア　生涯楽習のつどい

西方公民館で活動する社会教育団体、講座受講生等が一堂に集い、生涯にわたって学習する気運を醸成することを目的として企画した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
2月15日（土）	生涯楽習のつどい （マリンバ・オーボエ・ピアノアンサンブルコンサート）	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	114

(2)　成人教育関係

ア　高齢者学級（会い逢い楽校）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月10日(水)	資料館・工芸館に学ぼう！（大谷資料館・大谷寺・平和観音見学）	宇都宮市	27
9月 4日(木)	伝統工芸に学ぼう！（益子焼絵付け体験・真岡木綿会館見学）	益子町・真岡市	17
9月18日(月)	悪徳商法・特殊詐欺から身を守ろう！	西方公民館	17
10月18日(金) 10月23日(木)	防災に関する講話(全2回)	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	延べ30
12月 5日(金)	しめ縄づくり	西方公民館	15

イ　成人講座(TAMBO College)

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月 1日(月)	大好きなコーヒーが「もっと」おいしくなるフードペアリングって何だ？	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	11
9月21日(土)	暗闇体験会	真名子夢ホール	9
9月28日(土)	目の前にはワインがずらっ～どれを選べばいいの？	西方ふれあいパーク	11
10月26日(土)	神楽殿　二胡コンサート	近津神社	36

12月14日(土)	畳を知る、畳で作る、畳と暮らす	西方公民館	15

ウ　趣味の講座

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月12日(土)	ＤＩＹ講座「木製三段ワゴン」	西方中学校	13

(3)　二十歳の集い関係(西方会場)

ア　二十歳の集い

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月10日(土)	第１回二十歳の集い実行委員会	西方公民館	10
9月21日(土)	第２回二十歳の集い実行委員会	西方公民館	7
10月19日(土)	第３回二十歳の集い実行委員会	西方公民館	7
11月23日(土)	第４回二十歳の集い実行委員会	西方公民館	6
12月14日(土)	第５回二十歳の集い実行委員会	西方公民館	9
1月11日(土)	令和６年栃木市二十歳の集い（西方地域）リハーサル	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	13
1月12日(日)	令和６年栃木市二十歳の集い（西方地域）	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	35

(4)　女性教育関係

ア　女性学級（おびくにセミナー）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月28日(金)	ソング＆ソング絆　歌声サロン	関東ホーチキにしかた体育館(西方総合文化体育館)	38
7月24日(水)	身体(からだ)通信簿	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	21
9月12日(木)	オリジナル「焼き絵」スマホスタンド	西方公民館	19
10月 3日(木)	国営ひたち海浜公園＆アクアワールド大洗水族館	茨城県	28
11月13日(水)	料理教室「本格スパイスカレー＆アップルパイ」	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	23
11月28日(木)	楽しい音楽会　PartⅡ	西方公民館	30
12月12日(木)	みんなビックリ　ひとつ覚えたい「マジックショー」	西方公民館	37

(5)　青少年教育関係

ア　少年少女学級（わくわく子ども塾）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月 2日(金)	-196℃の世界を体験しよう	西方小学校	17

8月 6日(火)	アルソミトラ飛行機作りに挑戦！	西方小学校	13
8月 8日(木)	ネコ乗りUFO作りに挑戦しよう	西方公民館	18
8月21日(水)	クワガタムシ・カブトムシとふれあおう！	西方公民館	12
9月 7日(土)	フォーミュラーカー作り	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	10

(6) 家庭教育関係

西方家庭教育オピニオンリーダー会「こーらす」主催の親子での体験学習による交流とふれあいを目的とした講座を実施した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
6月 1日(土)	紙粘土を使って、世界に一つだけの「私のオブジェ」作り	北部健康福祉センター(ゆったり～な)	25

(7) その他

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月31日（土）	にしかた子ども夏まつり	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	荒天中止
11月23日（土） 11月24日（日）	西方文化祭	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	514
12月 7日（日）	クリスマス会	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	127

3　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力した。

・対象団体　西方地域婦人会、西方家庭教育オピニオンリーダー会「こーらす」、西方子ども会育成会連絡協議会、西方文化協会、にしかた子どもネットワーク

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・西方地域教育協議会　2回、研修　1回、広報紙配布　2回

5　子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に家庭教育学級講座（西方家庭教育オピニオンリーダー会「こーらす」）を実施した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
10月25日(金)	就学児健康診断時を活用した家庭教育学級「ほっとおしゃべり」 対象：西方小学校・真名子小学校保護者	西方小学校 真名子小学校	33 4

6　文化振興関係

地域住民の文化･芸術活動を推進するとともに、優れた文化･芸術に身近に触れる機会をつくり、文化の薫り高い心豊かな魅力ある地域づくりに寄与するため、西方文化祭を計画した。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
11月23日(土) 11月24日(日)	西方文化祭	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	514

7　スポーツ関係

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	場　　所
4月～3月	健康体操教室	460	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）
10月20日(日)	にしかたニュースポーツフェス	250	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）
3月22日(土)	桜まつり近隣市町中学校親善野球大会	0	中止

8　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　　設　　名	建設年	面　　積　(㎡)		備　　考
		敷　　地	建　　物	
関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）	平成15年	13,374.52	3,868.65	鉄骨造2階
西方総合公園運動場	昭和59年	20,068	183.53	鉄骨造1階
西方北グラウンド	平成6年	14,878		
西方南グラウンド	昭和58年	11,250		
西方桜グラウンド	昭和40年	8,636		
真名子運動広場	平成元年	11,700		

(2)　利用状況　　(単位:人)

施設	人数

関東ホーチキにしかた体育館 （西方総合文化体育館）	34,777
西方総合公園運動場	2,762
西方北グラウンド	4,406
西方南グラウンド	7,940
西方桜グラウンド	4,514
真名子運動広場	2,663
合　計	57,062

9　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設(体育館)　　(単位:人)

学校名	利用人数
西方小	2,655
真名子小	280
西方中	1,945
合　計	4,880

イ　学校体育施設(運動場)　　(単位:人)

学校名	利用人数
西方小	60
真名子小	0
西方中	0
合　計	60

第６節　岩舟地域づくり推進課

〔総括概要〕

岩舟地域づくり推進課は、地域づくり推進係、市民係、保健福祉係、公民館係の4係体制である。

地域づくり推進係の主な分掌事務は、地域まちづくりセンターとして地域会議の事務局を担当し、地域の課題解決及び地域の活性化のための「地域予算提案制度」の事業計画策定に対する支援を行った。また、旧小学校ごとに組織された3つのまちづくり実働組織の運営支援を行った。

自治会事業については、岩舟地域自治会連合会の事務局として各種事業を支援し「つながるネット」の活用により自治会からの相談に対し、適切な対応を行った。

交通安全対策事業として、交通安全運動における啓発や周知を行った。また、交通安全協会岩舟支部の事務局として円滑な運営支援を行った。

窓口対応業務として、農業、環境、クリーン推進関係の届出書類、防犯灯の申請書類の受付など本庁関係課と連携し、市民サービス向上に努めた。

また、宮の下簡易郵便局管理運営事業として、局の受託業務を適正に行った。

市民係の主な分掌事務については、戸籍届の受付、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑証明書、マイナンバーカード等の交付を行った。

国民健康保険、後期高齢者医療、国民年金事業については、各種申請書を受付し関連事務処理や相談業務等を行った。

医療費助成事業については、各種医療費助成の申請受付や受給資格者の登録及び変更などの受付を行った。

税務関係業務については、市税関係証明書交付、名寄帳等の閲覧、原動機付自転車等の標識交付・返納のほか、市税等の収納を行った。

また、なんでも相談窓口を設置し、市民に寄り添った支援を行った。

保健福祉係の主な分掌事務については、民生委員・児童委員、日本赤十字社、遺族会に関する事務のほか、障がい者手帳、障がい福祉サービス、福祉タクシー、高齢者関係、介護保険業務に関する各種申請受付事務等を行った。

また、次世代を担う子どもの健やかな育成を応援するため、児童手当、赤ちゃん誕生祝金等の各種申請受付業務を行うとともに、予防接種事業の案内を行った。

公民館係の主な分掌事務については、各種講座を開設し生涯学習の振興に努め、社会教育関係団体、芸術文化団体の支援を行った。また、青少年健全育成の推進及び、とちぎ未来アシストネット事業により地域住民と小中学校の交流を深め地域全体の活性化を図った。

スポーツの振興としては、栃木市スポーツ推進委員と連携し、地域内の小学校で、タグラグビーの講習会を実施した。岩舟地区体育祭では、レクリエーションスポーツを通して健康促進及び地域交流を図った。また、岩舟駅伝競走大会は、小野寺地内を周回するコースで開催した。

公民館・社会体育施設の管理運営においては、安心して利用しやすい施設として、利便性の向上や定期的な適正管理に努めた。

地域づくり推進係

1　地域会議関係

岩舟地域会議は、15人の委員により下記の内容で実施した。

(1)　委員（任期　令和５年４月１日～令和７年３月31日）

区　　分	No.	氏　　名	備　　考
1号委員	1	越沼　和子	家庭教育オピニオンリーダー「かるがも岩舟」
	2	横塚　勇気	岩舟町商工会
	3	栃木　光子	岩舟地区民生委員児童委員協議会
	4	阿部　亜紗子	栃木市ＰＴＡ連合会岩舟ブロック
	5	寺澤　保之	岩舟地区スポーツ協会
	6	青木　則夫	栃木市認定農業者協議会岩舟支部
	7	中田　武彦	岩舟地域自治会連合会
	8	三柴　茂	栃木市観光協会岩舟支部
	9	渡辺　和枝	岩舟地域青少年育成会議
2号委員	10	斉藤　栄吉	学識経験を有する者
	11	髙久　厚子	
	12	永島　仁一	
	13	広瀬　昌子	
3号委員	14	瀬下　紀明	公募に応じた者
	15	深津　智子	

(2)　開催内容

ア　会議

回数	開催日時、場所	内　　容
第1回	4月24日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・各種委員の選出について ・令和７年度実施分地域予算提案事業について ・地域会議開催日程について
第2回	5月29日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・栃木市都市計画マスタープラン（改定版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・旧栃木警察署跡地土地利用方針（案）の修正について ・デコ活（脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを

		創る国民運動）への参画について ・令和７年度実施分地域予算提案事業について
第3回	6月26日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・令和５年度実施分地域予算提案事業（渡り丸太修繕）について ・令和７年度実施分地域予算提案事業について
第4回	7月24日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・岩舟第６投票所の変更のお知らせ ・令和７年度実施分地域予算提案事業について
第5回	8月28日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・コロナ禍以前と以後のふれあいバス・蔵タク利用者数の推移について ・令和７年度実施分地域予算提案事業について
第6回	9月25日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・栃木市都市計画マスタープラン（改定版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定について ・栃木市産業基盤成長戦略（素案）について ・ふれあいバス・蔵タクに関する質問に対する回答について ・地域自治交流会の参加者について
第7回	1月22日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・栃木市文化財保存活用地域計画について ・地域自治制度の新制度移行について ・地域予算提案事業（岩舟総合運動公園幼児用遊具設置事業）について
第8回	3月26日（水） 午後7時00分～ 岩舟総合支所 会議室棟	・今期（令和５～６年度）に執行された地域予算提案事業について ・地域自治交流会アンケート集計結果について

イ　部会

岩舟地域のまちづくりを推進するための調査研究等を行うことを目的に、地域会議の内部組織として2つの検討部会を設置しているが、令和6年度は部会の開催は行われなかった。

(3)　岩舟地域会議だよりの発行

地域会議の協議内容等を市民にお知らせするため、「地域会議だより」を発行した。

発行月	発行号数	体　裁
９月	第 27 号	A4 判両面カラー刷り
２月	第 28 号	A4 判両面カラー刷り

※各号5,400部発行

(4)　地域予算提案事業の概要

提案事業名	事業費（千円）
静和地区公民館屋外設備整備事業	2,748
岩舟総合運動公園幼児用遊具設置事業	1,000
こなら館休憩スペースリニューアル事業	945
小学生向け自転車安全教室事業	300
交通事故防止対策事業	423

2　まちづくり実働組織関係

旧小学校区を活動対象とし、地域の特色を生かした活動に自主的に取組むまちづくり実働組織である、すみよいまちづくりの会「いわふね」、小野寺ふれあい会、静和まちづくり協議会の活動支援を行った。

3　広聴関係

まちづくり懇談会ふれあいトーク

市政に対する市民の意見等を行政に反映させるため、直接対話により、市民から意見・提案などを聴き、市民の声を今後の市の行政経営に活かす目的で実施した。

開催日	開催場所	対象地区	事前質問数（人）	フリートーク数（件）	自治会数	参加人数（人）
7月4日（木）	CITY GYM&SPA 遊楽々館	岩舟全地域	5	8	81	40

4　市民活動支援事業

岩舟地域のＮＰＯ法人1団体において、補助金交付等の事務処理を行った。

5　自治会関係

自治会については、岩舟地域自治会連合会の事務局として各種事案を支援し、自治会運営の円滑化を図った。

(1)　自治会活動の推進

ア　自治会長の把握

次年度の自治会長及び担当戸数等を確認し名簿を作成

・受 付 期 間　2月～3月

・対象自治会　81自治会

イ　自治会報償金の支給

自治会に対し報償金を支給（4月1日現在の世帯数を基に2月に支出）

(2)　岩舟地域自治会連合会（事務局）

ア　組織構成

(ｱ)　組織

・単位自治会　81自治会

(ｲ) 役員

・会長1人、副会長1人、理事2人、会計2人、監事2人

イ 会議

開催日	名 称	内 容
4月16日（火）	第1回役員会	定期総会（書面表決）の議案について
5月8日（水）	定期総会 （書面表決）	事業報告及び収支決算、事業計画及び予算、役員選出
8月6日（火）	第2回役員会	実施事業及び次年度の役員選出順について
2月28日（金）	第3回役員会	令和6年度定期総会について、自治会の解散について

ウ 主な事業

実施日	内 容	場 所
12月8日（日）	自治会長研修会 （講師：長谷川幸介氏）	岩舟公民館

6 文書発送関係

郵便物の発送、収受業務、本庁支所間の書類の発送を行った。

後納郵便発送件数 40,584件

7 支所庁舎内及び市有施設の業務委託

委 託 名 等	委託金額（円）
庁舎警備業務	1,042,800
庁舎自家用電気工作物保安管理業務	205,260
庁舎昇降機保守管理業務	396,000
庁舎電話交換設備等保守管理業務	264,000
庁舎消防用設備点検管理業務	99,000
庁舎清掃等業務	598,925
管理市有地草刈・樹木伐採等業務	808,012
合 計	3,413,997

8 支所庁舎内及び市有施設の修繕工事等

工 事 名 等	工事金額（円）
岩舟総合支所会議室棟警備用電話回線工事	28,050
岩舟総合支所会議室棟ネットワーク機器設置工事	28,600
岩舟総合支所会議室棟エアコン修繕工事	189,200
岩舟総合支所電話交換機修繕工事	702,900
合 計	948,750

9　共用車管理状況

令和6年7月に普通乗用車1台を他部署へ移管したため、管理車輌が1台減となった。

区　　分	数　　量（台）
普通乗用	2
小型貨物	1
軽乗用	1
軽貨物	3
合　　計	7

10　行政財産使用料及び市有建物貸付収入

区　　分	件数（件）	数量	収入金額（円）
東京電力パワーグリッド（株）（電柱）	1	7本	10,500
東日本電信電話（株）（電柱）	1	10本	15,000
庁舎敷地内販売等	22	－	154,855
敷地内自動販売機（1社）	1	3台	391,604
合　　計	25	－	571,959

11　ＯＡ機器等の管理

事務用ＯＡ機器等の委託契約及び維持管理を行った。

・複合機　　2 台

・印刷機　　1 台

12　宮の下簡易郵便局

岩舟町小野寺地区に設置されている簡易郵便局の主な窓口業務として、郵便・貯金及び切手販売等の取扱いを行った。

区　　分	歳入金額(円)
簡易郵便局手数料	3,449,583
切手販売取扱手数料	83,766
合　　計	3,533,349

13　防犯関係

防犯関係については、年末に防犯防火診断を実施し、岩舟地域の金融機関、学校、駅などを巡回、注意喚起の広報活動を行った。

14　交通関係

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、横断旗掲出等

・実施期間　4月6日(土)～15日(月)　(事前周知日　4月5日(金))

イ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、横断旗掲出等

・実施期間　9月21日(土)～30日(月)　(事前周知日　9月20日(金))

ウ　交通安全市民大会

交通安全功労者・功労団体表彰と大会宣言などを行った。

・実施日　9月28日（土）

・場　所　大平文化会館

エ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗、横断旗掲出等

・実施期間　12月11日(水)～31日(火)

(2)　その他の交通安全対策

岩舟地域小中学校通学路の安全点検

15　環境関係

環境保全に係る初動対応として、市民から野焼きや草木の繁茂等に関する苦情があった際は、現地に急行し状況確認等を行った。

また、犬の登録及び注射済票の受付及び交付に関する事務を行った。

栃木市地域クリーン推進員岩舟支部

地域クリーン推進員の協力を得て、美化キャンペーン、研修会等を実施した。

・不法投棄監視及びごみ収集ステーションの管理

・地域クリーン推進員の嘱託状況81人

16　観光振興

豊かな自然環境と歴史や伝統を活用した観光資源のＰＲ、観光行事の充実等、観光関連事業を積極的に展開し、観光誘客と地域の活性化に努めた。

17　観光行事

サマーフェスタ in いわふね 2024

・実 施 日　　8 月 10 日（土）

・場　　所　　岩舟総合運動場

・主　　催　　いわふね夏まつり実行委員会

・来場者数　　約 6,300 人

18　農業関係

農業経営改善計画書、利用権設定関係の申出書、農地利用最適化推進委員の活動報告書、農地の合意解約書などの受理。獣害対策設備設置補助申請書、鳥獣の捕獲等の許可申請書の受理及び添付資料の作成補助を行い担当課へ送付した。

また、認定農業者協議会岩舟支部の支部活動を補助した。

19　農業委員会関係

農業委員会事務の円滑な推進と併せて地域農業者への利便を図るため、証明書発行等の事務を行った。

件　　名	件　数(件)
耕作証明書	13
農家証明書	6
農家基本台帳の写し	0
合　　計	19

市民係

1　戸籍・住民基本台帳関係届出処理件数　　(単位：件)

処　理　事　項		件数	処　理　事　項	件数
戸籍届(出生、死亡、婚姻等)		306	死体埋火葬許可(栃木市斎場利用なし)	1
住民異動届		1,000		
小　計		1,306	死胎埋火葬許可(栃木市斎場利用なし)	－
印鑑	登　録	403		
	廃　止	163	死産届	1
小　計		566	小　計	2
			合　計	1,874

2　謄抄本証明書等交付件数

種　別		件数(件)	金額(円)	種　別		件数(件)	金額(円)
戸籍証明書	全部事項証明	1,510	679,500	住民票	世帯全員	956	286,800
	個人事項証明	239	107,550		個　人	2,408	722,400
	除籍謄本	1,370	1,027,500		証　明	89	26,700
	除籍抄本	14	10,500		年金現況証明	－	－
	広域戸籍全部事項証明	174	83,100		戸籍の附票	172	51,600
	広域除籍全部事項証明	108	81,000		広　域	2	600
	広域除籍謄本	208	156,000		公　用	－	－
	戸籍証明	8	2,800		小　計	3,627	1,088,100
	受理証明	20	7,000	その他	印鑑登録	403	120,900
	廃棄証明	－	－		印鑑登録廃止	163	－
	出産証明	－	－		臨時運行許可証	323	249,750
	戸籍電子証明書提供用識別符号	－	－		労基証明	5	－
	除籍電子証明書提供用識別符号	－	－		人口統計	－	－
	不受理証明	－	－		マイナンバーカード(有料)	105	84,000
	小　計	3,651	2,154,950		マイナンバーカード(無料)	1,521	－

証明書	印鑑証明	2,797	839,100		特急発行マイナンバーカード（有料）	8	14,400
	諸 証 明	46	13,800		特急発行マイナンバーカード（無料）	8	－
	身分証明	75	22,500		電子証明書(有料)	105	21,000
	市町村合併証明	3	－		小　　計	2,641	490,050
	選挙証明	－	－		合　　計	12,840	4,608,500
	小　　計	2,921	875,400				

3　斎場使用許可件数

栃木市斎場

種　　類	区　　分		件　数(件)		金　額(円)
斎　　場	市　内	大　人	193	194	－
		小　人	－		
		死産児	1		
	市　外	大　人	－	－	－
		小　人	－		
		死産児	－		
合　　計				194	－

4　中長期在留者住居地届出等事務

各種申請書受理件数　　（単位：件）

件　　名	件数	件　　名	件数
新規上陸後の居住地届出	35	居住地の変更届出(転入)	36
資格変更等に伴う居住地届出	8	居住地の変更届出(転居)	26
特別永住者の居住地届出	－	特別永住者居住地の変更届出(転入)	－
特別永住者証明書の交付	－	特別永住者居住地の変更届出(転居)	－
法務省通知	－	市町村通知	－
		合　　計	105

5　国民健康保険の給付等に係る申請の受付事務

(1)　高額療養費の受付状況

・高額療養費受付件数　　1,126 件

・限度額適用認定証　　146 件

（標準負担額減額認定証を含む）

(2)　療養費の受付状況

・療養費受付件数　　83 件

(3)　出産育児一時金の受付状況

・出産育児一時金受付件数　　- 件

(4)　葬祭費の受付状況

・葬祭費受付件数　　38 件

(5)　移送費の受付状況

・移送費受付件数　　- 件

6　後期高齢者の給付等に係る申請の受付事務

各種申請書等受付件数　　（単位：件）

申請書種類	件　数
資格関係届出	6
高額療養費申請	225
その他の療養費申請	57
葬祭費申請	178
被保険者証等再交付申請	50
合　計	516

7　医療費助成に係る受給資格者証の交付、資格関係等の受付事務

資格関係等受付件数　　（単位：件）

種　別	件　数
重度心身障がい者医療費助成	40
こども医療費助成	257
妊産婦医療費助成	21
ひとり親家庭医療費助成	30

8　国民年金に係る申請等受付事務

(1)　諸届の受理件数　　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
新規取得届	9	訂正･取消･不在	－
新規取得申出	－	付加年金取得届	3
再取得届	167	付加年金喪失届	－
再取得申出	1	法定免除該当届	3
資格喪失届	14	法定免除消滅届	－
資格喪失申出	1	通知書再交付届	－
種別変更届	22	合　計	220

(2)　免除申請受理件数　　（単位：件）

種　類	件　数
免除・納付猶予申請	36
学生納付特例申請	18

(3)　国民年金請求受理件数　　（単位：件）

給付種類	件　数

老齢基礎年金	－
障害基礎年金	－
遺族基礎年金	－
寡 婦 年 金	－
死 亡 一 時 金	－
未 支 給 年 金	6
老齢福祉年金	－
合　　計	6

(4)　相談件数　　（単位：件）

相 談 の 内 訳	件　　数
来訪相談	276
電話相談	1
文書相談	－
合　　計	277

9　税務関係証明書等交付件数　　（単位：件）

区　　分	有料件数	無料件数
諸 証 明	2,683	337
公簿閲覧	135	14
合　　計	2,818	351

10　原動機付自転車等の標識交付事務　　（単位：件）

区　分	取　得	廃　車	変　更
件　数	150	135	14

11　市税等の収納事務

区　　分	件　数(件)	金　額（円）
市 税 等	8,605	148,977,433
水　　道	407	3,329,112
合　　計	9,012	152,306,545

12　延長窓口処理件数(1～11の内数)　　（単位：件）

種　　別	件　　数
戸籍謄抄本等交付	6
住民票写し等交付	12
印鑑登録証明書交付	9
印鑑登録	3
戸籍届	－

住民異動届	3
斎場使用許可証交付	－
臨時運行許可証交付	－
個人番号カードの交付	25
国民健康保険関係	2
後期高齢者医療費関係	－
医療費助成関係	1
税務関係証明書交付	3
その他	13
窓口及び電話による相談、問合せ等	－
合　　計	77

13　なんでも相談窓口相談件数　　（単位：件）

区　　分	件　　数
税	3
保険・年金	－
交通・防犯	3
ごみ・環境	45
人権	1
福祉	10
健康・医療	0
子ども・子育て	1
観光	0
農業・商業	18
道路	65
土地	3
住宅	15
上下水道	6
消防・防災	0
教育・文化	1
その他	22
合　　計	193

保健福祉係

1　民生委員・児童委員関係

民生委員・児童委員45人により、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行い、うち主任児童委員3人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
18	6	2	8	－	9
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
1	21	18	435	518	12

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数
641	14	1,747	1,888	10,296	14,586	324

2　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金や災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金（社資）募集実績額

目　標　額	実　績　額	達　成　率
1,722,000円	1,684,890円	97.8%

(2)　災害による救援品配布状況

区　分	世帯数(世帯)	家族数(人)	毛布(枚)	布団(組)	緊急セット(個)
火災	－	－	－	－	－

(3)　災害見舞金給付状況　（単位：件）

全焼件数	半焼件数	部分焼	部分損壊	火災死亡
1	－	－	－	1

3　身体障がい者の現況（身体障害者手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視　覚　障　が　い	2
聴覚・平衡障がい	14
音声･言語･そしゃく障がい	2
肢体不自由障がい	13
内　部　障　が　い	32
複　合　障　が　い	－
合　　計	63

4　知的障がい者(児）の現況(療育手帳の申請受付状況）

知的障がい者(児）の支援を目的に療育手帳の申請受付を行い7人に手帳を交付した。

5　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳申請受付件数）

（単位：件）

区　分	申請受付件数
1　級	12
2　級	41
3　級	14
合　計	67

(2)　自立支援医療費（精神通院）申請受付状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、315件の申請があった。

6　身体障がい者（児）の補装具等の申請受付状況

(1)　補装具交付及び修理の申請件数（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	29
身体障がい児	－
合　計	29

(2)　日常生活用具の申請件数　　（単位：件）

区　分	申請受付件数
身体障がい者	48
身体障がい児	4
合　計	52

7　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）の申請受付件数

（単位：件）

区　分	申請受付件数
視覚障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	－
免疫機能障がい	－
肢体不自由	－
心臓機能障がい	3
腎臓機能障がい	60
合計	63

8　自立支援医療（育成医療）の申請受付件数

18歳未満の児童で治療を行わないと障害が残ると認められる者の保護者に対し、治療費の自己負担金を軽減する制度で、2件の申請があった。

9　各種手当の状況　　（単位：件）

種　　別		新規申請受付件数
特定疾患者介護手当		11
重度障がい児支援手当		1
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	1
	障がい児福祉手当	1
	福祉手当（経過的）	－
特別児童扶養手当		3

10　福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。　（単位：人）

区　　分	交 付 者 数
高齢者（80歳以上）	248
高齢者（65～79歳）	37
障がい者	55
合　　計	340

11　学童保育事業

保護者の就労等により、放課後に家庭での保護指導を充分に受けることができない児童を対象として実施している。学童保育の利用を希望する保護者からの利用申請受付等を行った。

・学童保育受付件数　195件

12　児童手当

次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することと、家庭等の生活の安定に寄与するため、児童を養育する保護者へ案内・受付を行った。

・児童手当受付件数　123件

13　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に寄与することを目的とし、第2子以降が誕生した、市内に住所を有する保護者から赤ちゃん誕生祝金の申請受付を行った。

（単位：件）

事　業　名	祝　金　額	件数
赤ちゃん誕生祝金事業	第二子　　10,000円	18
	第三子以降　20,000円	5

14　児童扶養手当・遺児手当

父母の離婚や死亡等により、父又は母と生計を同じくしていない児童や、父又は母が

重度の障害の状態にある児童について、心身ともに健やかに育成されることを目的に児童扶養手当や遺児手当の申請受付事務を行った。

（単位：件）

種　別	申請受付件数
児童扶養手当	116
遺児手当	2

15　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減、子育ての孤立化等による不安や悩みを抱える保護者の早期支援を行うために、お子様の出生時とおおむね生後４か月時に紙おむつとおしりふきの配布を行った。

・紙おむつとおしりふき配布件数　44件

16　保育園事業

保護者の就労や疾病等の理由により、家庭において安全な保育を受けられない乳幼児を対象に、保育園の利用を希望する保護者からの入園申請受付等を行った。

・入園受付件数　42件

17　高齢者関係の申請受付状況

高齢者関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	件　数
老人福祉センター等団体送迎利用申請	－
敬老会事業補助金申請	59
緊急通報装置貸与申請	－
高齢者日常生活用具購入費補助金申請	22
高齢者日常生活用具レンタル料助成申請	8
健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成券交付申請	35
在宅寝たきり老人等介護手当申請	232
紙おむつ給付申請	73
戦没者の遺族に対する弔慰金請求書	－
合　計	429

18　介護保険業務各種受付件数

介護関係の各種申請受付等を実施した。　（単位：件）

種　別	受付件数
介護保険負担限度額認定申請	131
高額介護サービス費支給申請	79
居宅サービス計画作成依頼（変更）届出書	161

介護予防サービス計画作成依頼（変更）届出書	80
短期入所連続利用等申請	14
軽度者に対する福祉用具貸与の特例申請	1
福祉用具購入費支給申請	2
住宅改修費支給申請	10
被保険者証等再交付申請書	55
住所地特例適用・変更・終了届	1
受給資格証明書	5
障がい者控除対象者認定申請書	19
おむつ使用証明書	2
医療費控除（おむつ代）に係る主治医意見書内容確認書交付申請書	2
転送希望届・解除届	15
合　　計	577

19　予防接種事業（数値は本庁健康増進課で一括計上）

感染症予防のため各種の定期及び任意予防接種の予診票の配布を実施した。

公民館係

1　公民館の使用状況

施　設　名	使用件数（件）	使用人数（人）	使用料（円）
岩舟公民館	1,110	14,404	266,650
静和地区公民館	782	13,273	386,030
小野寺地区公民館	141	2,234	4,860
合　　計	2,033	29,911	657,540

2　生涯学習推進関係

(1)　成人教育関係

ア　高齢者学級（いきいき教室）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
4月11日（木）	フォークソングを歌いましょう～青春時代に想いを馳せて～（岩舟校）	岩舟公民館	25
4月18日（木）	フォークソングを歌いましょう～青春時代に想いを馳せて～（静和校）	静和地区公民館	15
4月25日(木)	フォークソングを歌いましょう～青春時代に想いを馳せて～（小野寺校）	小野寺地区公民館	33
5月9日(木)	グラウンドゴルフ～軽い運動で気分も	岩舟総合運動場	3

	さわやか～（岩舟校）①		
5月14日（火）	グラウンドゴルフ～軽い運動で気分もさわやか～（静和校）①	静和地区公民館	14
5月21日（火）	グラウンドゴルフ～軽い運動で気分もさわやか～（小野寺校）①	栃木シティ学園CITY FOOTBOLL ACADEMY（旧小野寺北小学校）	15
6月5日（水）	食に関する講演会「楽しく食べて健康に」（岩舟校、静和校、小野寺校（3校合同）	岩舟公民館	53
9月10日（火）	特殊詐欺に関する講話（岩舟校）	岩舟公民館	22
9月17日（火）	特殊詐欺に関する講話（静和校）	静和地区公民館	14
9月24日（火）	特殊詐欺に関する講話（岩舟校）	小野寺地区公民館	5
10月1日（火）	グラウンドゴルフ～軽い運動で気分もさわやか～（岩舟校）②	岩舟公民館	10
10月10日（木）	グラウンドゴルフ～軽い運動で気分もさわやか～（静和校）②	静和地区公民館	9
10月15日（火）	グラウンドゴルフ～軽い運動で気分もさわやか～（小野寺校）②	栃木シティ学園CITY FOOTBOLL ACADEMY（旧小野寺北小学校）	18
11月12日（火）	認知症予防のために～笑いは百薬の長～（岩舟校）	岩舟公民館	29
11月19日（火）	認知症予防のために～笑いは百薬の長～（静和校）	静和地区公民館	38
11月26日（火）	認知症予防のために～笑いは百薬の長～（小野寺校）	小野寺地区公民館	22

イ　教養講座

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月29日（月） 8月5日（月）	スマホのきほん講座～基本操作と初めての電子マネー実習（全2回）	岩舟公民館	延べ46
9月2日（月） 9月9日（月）	ラク家事講座～お洗濯＆お掃除のラクテク紹介～（全2回）	岩舟公民館	延べ25
9月6日（金） 9月13日（金）	歴史探訪講座～「郷土の偉人・慈覚大師円仁」（全2回）	岩舟公民館、慈覚大師誕生地・村檜神社	延べ24
9月12日（木）	日立オリジンパーク見学ツアー「小平	日立オリジンパ	30

	浪平について学ぼう！」	ーク	
10月5日（土）	大人のドローン体験講座（午前の部・午後の部）（全2回）	岩舟公民館	延べ 14
11月11日～ 12月16日（各月）	健康アップにチャレンジ2024(全6回)	静和地区公民館	延べ 113

(2) 二十歳の集い関係（岩舟会場）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月9日（金）	第1回二十歳の集い実行委員会	岩舟公民館	9
1月12日（日）	令和7年二十歳の集い(岩舟地域)	岩舟中体育館	93

(3) 女性教育関係

ア 女性学級

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
12月6日（金）	アロマ講座～アロマ美容クリームづくり～	岩舟公民館	8

イ 岩舟町ifの会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
通　年	次代を担う女性教育指導者の育成（県主催地域活動推進セミナー受講）	－	－
通　年	「岩舟かるた」の活用	－	－
通　年	シトラスリボン作り（シトラスリボンプロジェクト啓発活動）	－	－
5月20日（月）	己書を学ぶ	岩舟公民館	16
9月26日（木）	静和小3年生授業支援「いわふねカルタ取り」	静和小学校	14
12月中	いわふねカルタ解説書制作と小学校配布	－	－
1月27日（月）	講演会「戦争を語り継ぐ」～あなたは知っていますか？学童疎開舟「対馬丸」沈没事件～	岩舟公民館	38
3月24日（月）	広報if41号発行	会員へ配布	－

(4) 青少年教育関係

ア 少年少女学級（親子ふれあい教室いわふねチャレンジ工房）

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
8月19日（月）	☆手品（マジック）教室☆ 手品を見たり、ネタを作ってみよう！ 【岩舟子ども会育成会連絡協議会と共催】	岩舟公民館	9

8月24日(土)	☆ドローン体験教室☆～ドローンを飛ばしてみよう！～（午前・午後）【岩舟子ども会育成会連絡協議会と共催】	岩舟公民館	延べ18
12月8日(日)	☆移動科学教室☆科学実験を見よう！科学工作をしよう！【岩舟子ども会育成会連絡協議会と共催】	岩舟公民館	19
12月15日（日）	☆卓球教室☆～卓球で遊ぼう！～（午前・午後）【岩舟子ども会育成会連絡協議会と共催】	岩舟公民館	延べ37

イ　岩舟地域青少年育成会議

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
4月10日～3月（毎週水曜日）	青色回転灯車両巡回活動（春・夏・冬休み期間中を除く）	岩舟地域内	105
4月19日（金）	広報誌第38号「みんなで」発行	岩舟地域内全戸配布	－
5月31日（金）	親子学び合い事業ネット時代の歩き方講習会（岩舟小学校6年親子）（児童56人・保護者34人）	岩舟小学校	90
6月5日（水）	親子学び合い事業ネット時代の歩き方講習会（小野寺小学校5・6年親子）(児童27人・保護者26人)	小野寺小学校	53
7月13日（土）	こどもフェスティバル【社会福祉協議会、社会教育関係団体との共催】	CITY GYM&SPA遊楽々館（岩舟健康福祉センター)	600
9月20日（金）	広報誌第39号「みんなで」発行	岩舟地域内全戸配布	－
10月13日（日）	スリラーナイト2024の協力【公民館がお化け屋敷になっちゃった！？】主催：栃木市ＰＴＡ連合会岩舟ブロック」	岩舟公民館	287
11月13日（水）	親子学び合い事業ネット時代の歩き方講習会（静和小学校5・6年親子）（児童85人・保護者19人）	静和小学校	104
12月1日（日）	第13回ウォークラリー大会【第13回ウォークラリー実行委員会】	CITY GYM&SPA遊楽々館（岩舟健	229

		康福祉センター）周辺	
1月23日（木）	親子学び合い事業ネット時代の歩き方講習会（岩舟中学校1年親子）（生徒109人・保護者88人）	岩舟中学校	197
1月25日（土）	岩舟の子どもをみんなで育てよう講習会～親子で学ぶＢＬＳと防災～【PTA連合会岩舟ブロックとの共催】	静和地区公民館	95
3月30日（日）	いわふね桜まつりの協力【いわふね桜まつり実行委員会】	CITY GYM&SPA遊楽々館（岩舟健康福祉センター）・ユニバーサル広場	1,500

ウ　岩舟子ども会育成会連絡協議会

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
7月13日(土)	こどもフェスティバルの協力【社会福祉協議会､社会教育関係団体との共催】	CITY GYM&SPA遊楽々館（岩舟健康福祉センター）	600
8月7日（水）	日立オリジンパーク社会見学	日立オリジンパーク	中止
8月19日(月)	☆手品（マジック）教室☆ 手品を見たり、ネタを作ってみよう！ 【市と共催】	岩舟公民館	9
8月24日(土)	☆ドローン体験教室☆～ドローンを飛ばしてみよう！～（午前・午後） 【市と共催】	岩舟公民館	延べ18
10月27日（日）	じゃんぼかるたで遊ぼう！ 【岩舟文化祭出展】	岩舟公民館	163
12月1日（日）	第13回ウォークラリー大会【第13回ウォークラリー実行委員会】	CITY GYM&SPA遊楽々館（岩舟健康福祉センター）周辺	229
12月8日（日）	☆移動科学教室☆科学実験を見よう！科学工作をしよう！【市と共催】	岩舟公民館	19
12月15日（日）	☆卓球教室☆～卓球で遊ぼう！～（午前・午後）【市と共催】	岩舟公民館	延べ37
12月26日（木）	和菓子作り体験	蛸屋工場直売お菓子パーク	19

(5)　いわふねしぐさ普及事業

江戸しぐさを通して、昔から受け継がれてきた生活のマナーをいわふねしぐさとして実行委員会を組織して普及に取り組んでいる。これまでに「あいさつしぐさ」、「スマホのしぐさ」、「会話しぐさ」や「はきものしぐさ」など、数多くのしぐさを学校・地域に紹介し、地域や家庭での教育力を高めることを目的に普及啓発している。

・年８回開催

・岩舟地域青少年育成会議だより「みんなで」の広報紙面にて「いわふねしぐさ」について掲載。令和６年度も岩舟中学校第１学年の調べ学習が開催され、いわふねしぐさ実行委員２名が講師として「いわふねしぐさ」についての講話を行った。

3　社会教育関係団体等関係

各団体の事業計画から実施まで助言等を行い、各団体の自主的活動の促進のために援助、協力を行った。

・対象団体　家庭教育オピニオンリーダー「かるがも岩舟」、岩舟地域青少年育成会議、岩舟町 if の会、岩舟子ども会育成会連絡協議会、岩舟文化協会

4　地域教育関係

とちぎ未来アシストネット事業

各学校と地域のつなぎ役であるコーディネーターと学校支援ボランティアを発掘・育成するとともに、地域教育協議会を開催し地域の教育力を高めた。

・岩舟地域教育協議会　６月 17 日（月）開催
　　１月 27 日（月）開催

・岩舟地域アシストネットだより発行　２月 20 日(木)　全戸配布

5　子育て支援関係

子育て支援として家庭教育の推進を図るため、子育て中の保護者を対象に親学習プログラム等を活用して講座を開催した。また、年間を通して、託児への協力を行った。

実施日等	内　　容	会　　場	参加人数(人)
5月15日（水）	ハッピー子育て講座　テーマ「子どもを伸ばす魔法のことば」～２つのささやき　デビル＆エンジェル	静和小学校体育館	13
9月10（火）	ハッピー子育て講座　テーマ「食事って大切だよ～早寝早起き朝ごはん～」	地域子育て支援センターいわふね	4
11月6日（水）	ハッピー子育て講座　テーマ「子どもの生活リズムを考えていますか？」	部屋小学校（藤岡）	7
4月24日（水）	就学時健診・一日入学時における子育て講座　テーマ「仲間づくりつながりづくり～もうすぐ我が子も一年生～」	岩舟小学校	19
9月19日（木）		小野寺小学校	5
１月 30 日（木）		静和小学校	33

6　文化振興関係

(1)　岩舟文化祭（岩舟文化協会）

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	場　　所
10月26日（土） 10月27日（日）	第61回栃木市岩舟文化祭 【展示部門】	1,368	岩舟公民館、岩舟体育館
11月9日（土） 11月10日（日）	第61回栃木市岩舟文化祭【演芸大会】	401	藤岡文化会館
11月21日（木）	視察研修【渋沢栄一記念館他】	28	埼玉県深谷市

(2)　岩舟石の資料館管理運営事業

岩舟の歴史的な資源である岩舟石の建造物を石の資料館として保存活用し、岩舟石の歴史や石材業の変遷についての展示を行った。

7　生涯スポーツ推進関係

スポーツの振興について、関係団体等と連携して進めた。

岩舟地区スポーツ協会事業

開　催　日	行　　事　　名	参加者(人)	場　　所
10月 13日(日)	第32回岩舟地区体育祭	延べ 800	CITY FOOTBALL STATION ｻﾌﾞｸﾞﾗｳﾝﾄ
3月 2日(日)	第50回栃木市岩舟駅伝競走大会	378	市内駅伝コース CITY FOOTBALL STATIONｻﾌﾞｸﾞﾗｳﾝﾄﾞ

8　社会体育施設

(1)　施設の種類

施　　設　　名	建 設 年	面　　積　（㎡）		備　　考
		敷　　地	建　　物	
岩舟総合運動場	－	14,126	－	
・野球場	昭和53年	6,137	－	
・ソフトボール場	昭和53年	6,000	－	夜間照明6基
・テニスコート	昭和61年	1,989	－	3面
岩舟体育館	昭和45年	781	585.0	S造　平屋

(2)　利用状況　　（単位：人）

施　　設　　名	人　　数
野球場	2,979
ソフトボール場	1,318

テニスコート	1,127
岩舟体育館	6,923
合　計	12,347

9　学校体育施設開放関係

(1)　利用状況

ア　学校体育施設（体育館）　（単位：人）

学　校　名	人　数
岩舟小	4,606
静和小	7,197
小野寺小	7,423
岩舟中	3,980
合　計	23,206

イ　学校体育施設（武道場）　（単位：人）

学　校　名	人　数
岩舟中	18,607

ウ　学校体育施設（運動場）　（単位：人）

学　校　名	人　数
岩舟小	4,338
静和小	4,700
小野寺小	1,239
合　計	10,277

エ　学校体育施設（夜間照明）　（単位：人）

学　校　名	人　数
静和小	2,946

第７節　蔵の街課

〔総括概要〕

蔵の街課の主な分掌事務は、蔵の街推進業務及び伝統的建造物群保存地区業務である。

蔵の街推進業務では、栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、更に向上させるため、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律（歴史まちづくり法）」に基づく「栃木市歴史的風致維持向上計画」に関する事業を行った。

蔵の街を活かしたまちづくり業務では、庁内での情報共有、連携を図るため蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議及び部会を開催した。また、蔵の街を活かしたまちづくりのための調査研究を実施した。

街なかの活性化を図るために、歌麿を中心とした文化のまちづくりに取り組んでいる団体等で組織した「歌麿を活かしたまちづくり協議会」と協働し、歌麿と栃木の関わりをより多くの方々に知っていただくため、歌麿まつりの開催や各種事業を実施した。

伝統的建造物群保存地区業務では、嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区（伝建地区）内の味噌工場跡地において、伝建地区拠点施設整備事業として、敷地北側の３棟の土蔵及び煙突等の修理手法の検討や伝建地区拠点施設の全体イメージの作成等を行う伝建地区拠点施設基本計画業務委託を実施した。また、伝建地区内にある個人所有の伝統的建造物等の修理・修景に対する補助事業や、建築物等の許可制度により歴史的な町並みの保全を行った。

地元関係者等で組織される「NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会」とともに、歴史的資源を活かしたまちづくり活動を実施した。

蔵の街推進係

1　歴史まちづくり

(1)　歴史的風致維持向上計画

栃木固有の歴史的文化や風情、たたずまいを維持し、更に向上させるため、歴史まちづくり法に基づき策定した栃木市歴史的風致維持向上計画を推進する学識経験者や各種団体等からなる「栃木市歴史的風致維持向上協議会」に対し、意見聴取を実施した。

・栃木市歴史的風致維持向上協議会

第1回　　1月30日

(2)　旧金澤呉服店修理工事

歴史的風致の維持・向上のため、歴史的風致形成建造物の工事を実施した。

工　事　等　名	契 約 額（円）	施工業者
旧金澤呉服店電気配線補修工事	198,000	ホリエ電設工業（株）

旧金澤呉服店廊下天窓修繕工事	187,000	(株)小林商店

(3)　歴史的建造物の試験的活用

歴史的建造物の試験的活用として、旧金澤呉服店並びに古久磯提灯店の試験的貸出を行った。

旧金澤呉服店

・貸出先　　歌麿を活かしたまちづくり協議会

・貸出期間　令和6年5月1日～令和8年3月31日

・活用方法　とちぎ歌麿交流館として開館

・利用人数　のべ4,300人

古久磯提灯店

・貸出先　　栃木商工会議所青年経営者会

・貸出期間　令和6年10月1日～令和7年1月31日

・活用方法　地域支援型駄菓子屋の開設

・利用人数　のべ1,500人

(4)　歴史的風致維持向上支援法人との定例勉強会の開催

歴史的建造物等の保存・活用に関して、法的・制度的・行政の体制的な課題等の解決に向けた、市とNPO法人とちぎ蔵の街職人塾による定例勉強会を開催した。

・第7回　　5月10日

・第8回　　7月16日

・第9回　　10月11日

・第10回　　12月18日

・第11回　　3月5日

2　蔵の街を活かしたまちづくり

(1)　蔵の街を活かしたまちづくり庁内関係課会議

蔵の街を活かしたまちづくりの推進に関し、蔵の街に関わる事業の実施関係課及び蔵の街エリアの歴史的建造物所管課との連携及び調整を図るために、庁内関係課会議及び部会を合同開催した。

・庁内関係課会議・部会

実施日	場　　所	内　　容
4月23日	庁議室	協議事項 ・蔵の街大通り沿いの市有施設である旧金澤呉服店、蔵の街観光館多目的ホール、古久磯提灯店の今後の方向性について
10月	書面開催	協議事項 ・令和6年度の古久磯提灯店見世蔵の活用について (報告) ・今後の古久磯提灯店の活用について

1月15日	庁議室	協議事項 ・令和6年度実施事業の実績について ・令和7年度実施予定事業について ・各課所管の歴史的建造物の課題・展望について ・古久磯提灯店の今後の活用について

(2)　蔵の街を活かしたまちづくり事業

蔵の街を活かしたまちづくりのための調査研究及び実践をしていくことを目的とし、「蔵の街とちぎ」の魅力を再発見・発信し、未利用の歴史的建造物の活用のきっかけを作るための事業を委託した。

・委託先　　蔵の街を活かしたまちづくり研究会

・業務内容　　未利用の歴史的建造物の活用のきっかけづくり事業、情報発信事等

3　喜多川歌麿を活かしたまちづくり

(1)　歌麿を活かしたまちづくり協議会

歌麿を活かしたまちづくり活動を充実させるため、歌麿を活かしたまちづくり協議会と市の協働により、歌麿に関する各種イベントや歌麿の業績を広めるための講演会を開催した。

実施日	場　　所	内　　容
5月23日	とちぎ歌麿交流館	とちぎ歌麿交流館開館事前学習講座 題目：旧金澤呉服店の変遷 講師：とちぎ蔵の街職人塾 石本俊光　氏
5月28日	とちぎ歌麿交流館	とちぎ歌麿交流館開館事前学習講座 題目：旧金澤呉服店近辺について 講師：歌麿を活かしたまちづくり協議会 副会長　殿塚治　氏
6月5日	とちぎ歌麿交流館	とちぎ歌麿交流館開館事前学習講座 題目：交流館展示物の説明 講師：歌麿を活かしたまちづくり協議会 阿部治　氏
8月22日	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）　大ホール	講演会 題目：シリーズ「蔦重と歌麿を追う」其の弐 講演会「【講演】脚本家の仕事＆【対談】歌麿を活かしたまちづくり」 講師：八津弘幸　氏 大木洋　氏 和久井瞳　氏 ※栃木公民館講座と連携

8月28日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）1階　大交流室	学習会 題目：シリーズ「蔦重と歌麿を追う」其の参 学習会「歌麿と栃木」（第1回） 講師：阿部治　氏 ※栃木公民館講座と連携
9月4日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）1回　大交流室	学習会 題目：シリーズ「蔦重と歌麿を追う」其の参 学習会「歌麿と栃木」（第2回） 講師：形井杏奈　氏 ※栃木公民館講座と連携
9月11日	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）1階　大交流室	学習会 題目：シリーズ「蔦重と歌麿を追う」其の参 学習会「歌麿と栃木」（第3回） 講師：大木洋　氏 ※栃木公民館講座と連携
10月19日	國學院大學栃木学園駅前教育センターレクチャーホール	講演会 題目：シリーズ「蔦重と歌麿を追う」其の四 講演会「蔦重の事業展開と歌麿」 講師：中央大学文学部教授 鈴木俊幸　氏

(2)　歌麿まつり

浮世絵師喜多川歌麿と栃木の関わりを市内外に広く周知し、文化観光としての街なかの賑わいを創出するため、歌麿道中や関連イベントを行う第 13 回歌麿まつりを開催した。

・実施期間　10 月 5 日から 10 月 14 日
・場　　所　とちぎ蔵の街大通りを中心とした街中周辺
・参加人数　約 28,000 人
・主　　催　歌麿を活かしたまちづくり協議会
・共　　催　栃木市、栃木市教育委員会

重伝建係

1　伝統的建造物群保存事業

(1)　伝統的建造物修理事業

伝統的建造物の修理、建築物の修景への補助金により所有者を支援し、歴史的町並みの形成を図った。

・伝統的建造物等修理・修景補助　　6件　　53,701,000円

(2)　伝建地区における現状変更行為

建築物等の新築、増築、改築等の現状変更行為について、許可制度により歴史的町

並みの維持を図った。

・現状変更行為許可件数　　23件

(3)　栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会

栃木市長及び栃木市教育委員会からの諮問に基づき、栃木市伝統的建造物群保存地区保存審議会を開催した。

実施日	場　　所	内　　容
7月29日	議員全員協議会室	審議事項 ・栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区保存計画の変更（特定物件の追加・環境物件の範囲変更）について ・今後の修理・修景事業について 報告事項 ・緩和条例について ・伝建地区建物バンク制度について ・拠点施設整備事業について
3月10日	庁議室	審議事項 ・今後の修理・修景事業について 報告事項 ・令和6年度の修理修景事業について ・令和6年度の現状変更行為許可について ・緩和条例について ・拠点施設整備事業について ・令和6年度の実施事業について

(4)　嘉右衛門町伝建地区総合防災訓練

「嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区防災計画（H30.3）」に基づき、伝建地区を構成する大町・嘉右衛門町・泉町の各自治会住民が主体となった総合防災訓練の実施を2月2日に予定していたが、荒天のため中止となった。

(5)　でんけん交流会

伝建地区における行政や地域の取り組みについて、地域住民と行政及び教育研究機関、職人などが意見を交わし認識を共有することを目的に、でんけん交流会を開催した。

令和6年度は「嘉右衛門町伝建地区」をテーマに、改めて伝建地区の規制内容、補助制度の内容等を説明するとともに、地区内の修理・修景事例を紹介した。

実施日	場　　所	内　　容
12月23日	伝建地区 拠点施設 交流館	開催内容 ・伝建地区の規制内容、補助制度の内容等について ・蔵の街課からの情報提供 説明 ・蔵の街課　重伝建係

(6)　伝建地区建物バンク制度

伝建地区内における空き家や空き店舗などを有効活用するため、建物の所有者と利用希望者を相互に紹介する伝建地区建物バンク制度を開始した。

・建物登録　　6件

・利用希望登録　　5件

2　伝統的建造物群保存地区拠点施設整備事業

(1)　整備概要

「栃木市嘉右衛門町伝建地区味噌工場跡地保存活用計画（R4.3 改訂）」に基づき、味噌工場跡地を拠点施設として整備するため、敷地北側の 3 棟の土蔵及び煙突等の修理手法の検討や伝建地区拠点施設の全体イメージの作成等を行う伝建地区拠点施設基本計画業務委託を実施した。

工　事　等　名	契 約 額（円）	施工業者
伝建地区拠点施設基本計画業務 （令和5年度から繰越）	19,338,000	(株)渡辺有規建築企画 事務所

(2)　栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設整備専門者会議

拠点施設の調査、保全、活用等に当たり、学識経験者等から専門的な意見を求める場として、専門者会議を開催した。

実施日	場　　所	内　　容
11月6日	伝建地区 拠点施設 交流館	議事 ・現地確認 ・拠点施設煙突調査・補強設計業務の成果報告 ・伝建地区拠点施設基本計画・基本設計業務の成果報告 ・今後の伝建地区拠点施設整備について

(3)　嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設「ガイダンスセンター・交流館」

拠点施設として整備したガイダンスセンター（観光案内施設）及び交流館（集会施設）の管理運営業務を委託した

・委託先　　NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会

・業務内容　　伝建地区の紹介・説明及び周辺の観光案内、イベント開催などのまちづくり事業　等

・利用者数　　ガイダンスセンター　11,003 人

交流館　　2,374 人

(4)　嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区拠点施設内伝統的建造物利活用事業

旧日光例幣使街道沿いの見世蔵、袖蔵、主屋の伝統的建造物を修理し、民間活力を活用した有効利用を図るため、運営事業者を公募のうえ決定し、令和 4 年 2 月 5 日に KAEMON BASE として開館した。

・運営事業者　　有限会社　松本住建

・内　容　　飲食、物販、シェアオフィス　等

・利用者数　　18,716 人

3　嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区のまちづくり

「嘉右衛門町伝建地区まちづくり計画（H26.8）」の推進を図るため、NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会との協働により、まちづくり活動を実施した。

NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会

・総　会　　4月25日
・クリーン作戦の実施　　12回（月1回：原則、毎月第一日曜日）
・花いっぱい運動　　通年開催
・先進地視察研修（宇都宮市）　11月24日
・歴史勉強会　　2月15日
・まちづくり通信の発行　　12月、1月

4　地域おこし協力隊活動事業

伝建地区において、地域外の人材を誘致し、その定住及び定着を図り、地域力の向上を図るため、地域おこし協力隊員を委嘱した。

協力隊員は、空き家・空き蔵の利活用を通じた地域振興をテーマに、各事業を実施した。

(1)　蔵を活用した民泊施設開業支援

伝建地区内の空き蔵を、地区内初の民泊施設として活用するため、民泊の法律関係の整理や開業手続き、建物のリノベーションなどの開業支援を行った。

(2)　高校生を対象とした企画

若い世代の地域への理解度を深めるため、NPO法人嘉右衛門町伝建地区まちづくり協議会の会員と協力し、栃木市に在住・通学等をしている高校生を対象に、伝統的建造物での勉強会やフォトワークショップ等の事業を実施した。

第８節　スポーツ課

〔総括概要〕

スポーツ基本法の前文は「スポーツは、世界共通の人類の文化である。」から始まり、「すべての国民が日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しみ、またはスポーツを支える活動に参画することのできる機会が確保されなければならない。」と記されている。

スポーツ基本法に基づき、本市では、社会情勢の変化、市民のスポーツ活動状況等を考慮し、令和5年3月に第2期栃木市スポーツマスタープランを策定し、「スポーツを通じて市民だれもがいきいきと元気になる栃木市の実現」を基本理念として、生涯スポーツの推進及びスポーツ環境の充実を図っている。

スポーツ課の主な分掌事務は、生涯スポーツの普及振興、生涯スポーツ関係団体の育成及び支援、スポーツ推進審議会、スポーツ推進委員による生涯スポーツ推進事業、プロスポーツ連携事業、栃木地域の社会体育施設（運動公園施設を除く）の整備及び管理運営、学校体育施設の開放、スポーツ振興基金の管理などのスポーツ環境充実事業である。

生涯スポーツの推進については、スポーツの普及振興のため、市内で活動するスポーツ団体やプロスポーツチームを活用した自由参加型のスポーツ体験イベント「栃木市民スポーツフェスティバル」や、初心者の小学生を対象とした各種スポーツ教室、地域巡回型のニュースポーツの体験会等を開催し、スポーツ人口の拡大に努めるとともに、スポーツ団体や近隣市町との連携による各種スポーツ大会・教室を開催し、競技力の向上や振興を図った。

プロスポーツ連携事業については、市内で活動を行う各プロスポーツ団体と連携し、スポーツを通じた地域の活性化・健康づくりの推進を図るために締結した連携協定の実践のほか、各スポーツ団体の市内活動拠点整備に向けて、関係機関や地元等の調整に努めた。

また、プロスポーツチームの試合や練習等を見たり、選手等と触れ合ったりすることで、市民がスポーツの楽しさを知り、スポーツを行う動機づけとなることを目指して設立された栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営し、市内で活動する栃木シティフットボールクラブや栃木ゴールデンブレーブス、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスと市民との架け橋となるべく努めた。

令和6年8月24日には、女子野球の普及振興、地域活性化を図るため、全国で16自治体目、県内で初めて認定された「女子野球タウン」事業の目的である、女子野球を通じた地域の活性化やSDGｓに掲げられている「ジェンダー平等」、「住み続けられるまちづくり」を共に連携・協力して推進していくための協定を一般社団法人全日本女子野球連盟と締結した。

スポーツ環境の充実では、社会体育施設の管理運営において、身近にスポーツが楽しめる広場や様々なスポーツイベントが開催できる施設として、利便性の向上や適正管理に努めた。

また、「栃木市スポーツ施設ストック適正化計画」の整備スケジュールに基づき、対象となるスポーツ施設の維持管理、集約化、廃止について、各施設の所管課と情報を共有しながら計画推進を図った。

社会体育施設は、利用者が安全に利用できるよう、適正な維持管理を行った。

学校体育施設の開放等については、利用日程調整会議を開催し利用者間の調整を図った。

市民スポーツ係

1　生涯スポーツ推進関係

スポーツの振興については、全地域で連携して進めた。

(1)　栃木市スポーツ推進審議会

学識経験者、スポーツ関係団体や社会体育団体の代表者、公募委員等12人により構成し、栃木市のスポーツ振興について審議するため設置された機関。

令和6年度の栃木市スポーツ推進審議会については、計画の見直しや新たに諮問する議案が無いことから開催しなかった。

(2)　市民スポーツ普及事業

ア　栃木市民スポーツフェスティバル2024

市民が様々なスポーツに触れ合いながら魅力や楽しみを発見することを通じて、スポーツ人口の底辺拡大等を図ることを目的に、市民の誰もが自由に参加して楽しむことのできるスポーツイベントを開催した。

・開催日　11月24日（日）
・参加者　5,000人
・会　場　総合運動公園

(ｱ)　主な催し物

a　栃木市スポーツ協会競技専門部による競技体験会

・実施種目　12競技（バスケットボール、卓球、フォークダンス、剣道、空手、ターゲット・バードゴルフ、ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、フットベースボール、ソフトテニス、テニス、弓道）

b　栃木市スポーツ推進委員会によるニュースポーツ体験会

・実施種目　3競技（モルック、バブルサッカー、ボッチャ）

c　プロスポーツチームとの交流コーナー

・栃木ゴールデンブレーブス（ストラックアウト）
・宇都宮ブリッツェン（ロードバイク体験）
・宇都宮ブレックス（ブース出展）

d　スタンプラリー

会場内の各コーナーをまわり、スタンプを集めた方に賞品をプレゼント

e　ウォークラリー

会場内のウォークコースをまわり、設置された8つの問題を回答した方に賞品をプレゼント

f　総合型地域スポーツクラブ、スポーツクラブによるクラブの案内及び体験教室の実施

g　スポーツショップによるスポーツ用品の販売

h　キッチンカーによる飲食物販売

i　競技団体による競技体験会

・実施種目　1競技（ローイング）

イ　“小学生向け”初心者スポーツ教室

「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図るとともに、本市と連携協定を結ぶプロスポーツチームを指導者として活用し、市民に身近に感じてもらうことで、応援機運の醸成による“みる”スポーツの推進を図ることを目的に、初心者の小学生を対象とした各種スポーツ教室を開催した。

(ｱ)　第1期

開　催　日	競技（協力プロチーム）	参加者(人)	会　　場
11月3日(日)	バスケットボール（宇都宮ブレックス）	35	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）
11月10日(日)	野球（栃木ゴールデンブレーブス）※小学1～4年生対象	37	エイジェックスポーツ科学総合センター
12月8日(日)	サッカー（栃木シティフットボールクラブ）	24	CITY FOOTBALL STATION

(ｲ)　第2期

開　催　日	競技（協力プロチーム）	参加者(人)	会　　場
2月16日(日)	サッカー（栃木シティフットボールクラブ）	27	CITY FOOTBALL STATION
3月2日(日)	野球（栃木ゴールデンブレーブス）※小学5～6年生対象	4	エイジェックスポーツ科学総合センター
3月9日(日)	バスケットボール（宇都宮ブレックス）	33	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）

ウ　“小学生対象指導者向け”スポーツ指導者講習会

本市における指導者の指導力・技術力向上を図ることで、トップアスリートとして将来活躍できる選手の育成・支援の推進を目的に、市内小学生スポーツチーム指導者を対象とした各種スポーツ指導者講習会を開催した。

開　催　日	競技（協力プロチーム）	参加者(人)	会　　場

11月3日(日)	バスケットボール（宇都宮ブレックス）	9	関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）
11月10日(日)	野球（栃木ゴールデンブレーブス）	5	エイジェックスポーツ科学総合センター
12月8日(日)	サッカー（栃木シティフットボールクラブ）	中止	CITY FOOTBALL STATION
12月22日(日)	第1回メディカル・栄養（エイジェックスポーツ科学総合センター）	中止	エイジェックスポーツ科学総合センター
3月2日(日)	第2回メディカル・栄養（エイジェックスポーツ科学総合センター）	5	エイジェックスポーツ科学総合センター

エ　“小学生向け”初心者ゴルフ教室

「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図るとともに、多くのゴルフ場を有する本市の特性を活かし、ゴルフ競技の活性化に寄与することを目的に、初心者の小学生を対象としたゴルフ教室を開催した。

・開催日　3月25日(火)
・会　場　都賀カンツリー倶楽部
・参加者　28人

オ　小中学生スキー初心者教室

小中学生が冬の大自然に触れながらスキーを楽しむことを通じ、スポーツに親しみを持たせることで、「子どもからの運動習慣の形成によるスポーツ人口の底辺拡大」及び「子どもの体力向上」を図ることを目的に開催した。

・開催日　1月18日(土)
・会　場　エーデルワイススキーリゾート
・参加者　33人

(3)　スポーツ推進委員活動事業

ア　Let’s　ENJOY　バブルサッカー

スポーツに親しむきっかけ作り等として、“する”“みる”の両面で楽しむことのできる「バブルサッカー」のイベントを実施し、「スポーツ人口の底辺拡大」を図るとともに、性別や年齢に囚われず楽しめる競技の性質を活かし、将来的に本競技を世代間・地域間交流の方法として活用するための普及活動として開催した。

・開催日　9月8日(日)
・会　場　関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館）
・参加者　29人

イ　ニュースポーツ巡回体験会（移動ニュースポーツ体験館）

3つのニュースポーツ「バブルサッカー」「モルック」「ボッチャ」を活用した地域巡回による自由参加型の体験会を実施し、「ニュースポーツの普及」を通じて、「スポーツに親しみを持たせることによるスポーツ人口の底辺拡大」及び「地域内交流の振興」を図ることを目的に開催した。

開　催　日	地域（会場）	参加者(人)
10月6日(日)	藤岡（藤岡総合体育館）	34
12月15日(日)	都賀（都賀中学校体育館）	41
1月19日(日)	岩舟（岩舟中学校体育館）	71
2月9日(日)	大平（大平南中学校体育館）	34
3月30日(日)	西方（関東ホーチキにしかた体育館（西方総合文化体育館））	12

ウ　令和6年度ふるさと見に（ミニ）ウォーキング

生涯にわたり、活発にスポーツ活動を行い、健康で活力に満ちた豊かな生活が送れる「元気はつらつコミュニティとちぎ」の実現を目指した様々な取り組みの一環として、健康づくりと生きがいづくり、並びに「ふるさとを再発見！」をテーマに開催した。

・開催日　10月27日(日)
・会　場　“小平浪平生誕150年記念”都賀の魅力発見コース
・参加者　42人

(4)　近隣市町連携事業

ア　サイクルフェスタ～走ってみよう　おやま・のぎ・とちぎ～2024

自転車を活用した栃木市・小山市・野木町の連携事業として、3市町の各所を自転車で巡り、自然と景観を体感していただく中で、市町の魅力を発信し、人を呼び込み交流人口の増加を目指すことを目的に開催した。

・開催日　11月2日(土)
・会　場　小山総合公園→いちごの里→部屋南部桜づつみ公園→野木ホフマン館→小山市立体育館→小山総合公園
・参加者　荒天のため中止

イ　令和6年度みかも山ウォーク

三毳山を活用した栃木市・佐野市の連携事業として、「三毳山の豊かな自然を楽しみながら健康づくり」をキャッチフレーズとした誰もが参加できるウォーキングイベントを実施し、両市の更なる連携強化・スポーツの振興、三毳山の活性化を図ることを目的に開催した。

・開催日　2月23日(日)
・会　場　県営みかも山公園内・周辺
・参加者　87人

ウ　第68回東武日光沿線三市親善剣道大会

東武日光沿線三市（栃木市・鹿沼市・日光市）における剣道愛好者の親睦を図り、剣道の普及･発展に資することを目的に開催した。

・開催日　12月1日(日)
・会　場　サンコー体育館（日光市大沢体育館）
・参加者　24人

(5)　近隣市町連携事業（栃木市スポーツ協会共催）

開催日	事　業　名	参加者(人)	会　場
6月30日(日) 7月 7日(日)	第78回県南五市対抗親善総合競技大会	258	栃木市・足利市
10月13日(日) 20日(日) 27日(日)	令和6年度栃木県民スポーツ大会	196	県総合運動公園他
1月26日(日)	第66回栃木県郡市町対抗駅伝競走大会	31	宇都宮市⇔栃木市
2月16日(日)	第72回県南四市対抗親善スキー大会	20	会津高原だいくらスキー場

(6)　各種スポーツ大会開催事業

開　催　日	事　業　名	参加者(人)	会　場
5月27日(月)	第45回栃木市ゲートボール大会	42	屋内運動場
6月15日(土) ～30日(日)	第14回栃木市夏季学童軟式野球大会	320	総合運動公園
6月30日(日)	第12回栃木市民陸上大会	125	
7月14日(日) 21日(日)	栃木市長杯第69回栃木市学童フットベースボール大会	86	
9月 1日(日)	第42回栃木市民水泳大会	中止	
2月11日(火)	第69回とちぎ駅伝競走大会	433	
2月15日(土)	第46回栃木市小・中学校ハンドボール大会	62	マルワ・アリーナとちぎ (総合運動公園総合体育館)

(7)　栃木市スポーツ協会事業

開　催　日	行　事　名	参加者(人)	会　場
9月22日(日)	第6回第1支部運動会	150	栃木中央小
9月22日(日)	大宮地区体育祭	200	大宮運動広場
10月 6日(日)	国府地区民スポーツフェスティバル	300	大塚運動広場
	2024年度都賀スポーツ・レクリエーションフェスティバル	229	つがスポーツ公園
	第66回吹上地区体育祭	中止	吹上中
10月12日(土)	ふる里大平スポーツフェスタ2024	2,000	大平運動公園
10月13日(日)	第32回岩舟地区体育祭	800	CITY FOOTBALL STATION サブグラウンド
10月20日(日)	にしかたニュースポーツフェス！	250	関東ホーチキにしかた体育館 (西方総合文化体育館)
10月27日(日)	第75回寺尾地区体育祭	400	寺尾中

11月10日(日)	第2支部体育大会	80	栃木中央小
12月14日(土)	ミニスポーツフェスティバル(第3支部)	290	南小

(8) 栃木市スポーツ少年団関係

ア 事業報告

開催日	事業名	参加団数	場所
4月14日(日)	第10回栃木市スポーツ少年団軟式野球交流大会	7	総合運動公園
5月12日(日)	第13回栃木市スポーツ少年団ミニバスケットボール大会	4	マルワ・アリーナとちぎ(総合運動公園総合体育館)
7月18日(木)	栃木市スポーツ少年団総会	−	きらりの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流センター)

イ 登録人数表

種目	団数	指導者数(人)	スタッフ数(人)	団員数(人)
剣道	1	2	2	55
空手道	1	4	−	8
柔道	1	2	2	8
野球	7	20	10	121
ミニバスケットボール	4	13	3	63
陸上	1	2	−	10
少林寺拳法	1	2	1	7
合計	16	45	18	272

(9) スポーツ大会出場者激励金等給付事業費

本市のスポーツの競技力・指導力の向上を図るため、スポーツ大会(全国大会、国際大会等)に出場する市内在住の選手・市内に所在する団体に対し、激励金等を給付し、大会での活躍を支援した。

・給付実績

激励金	個人	全国大会(選手1人につき1万円)	47人	470,000円
		アジア大会(選手1人につき2万円)	−	−
		世界大会(選手1人につき3万円)	12人	360,000円
	個人(市外団体の構成員)	全国大会(選手1人につき5千円)	55人	275,000円
		アジア大会(選手1人につき1万円)	1人	10,000円
		世界大会(選手1人につき2万円)	−	−

	団体	全国大会 (1団体につき上限5万円)	20団	960,000円
		アジア大会 (1団体につき上限10万円)	－	－
		世界大会 (1団体につき上限15万円)	－	－
報奨金 （アジア大会又は世界大会を伴わない全国大会で優勝又は準優勝したもの）	個人 （選手1人につき2万円）	優勝	6人	120,000円
		準優勝	1人	20,000円
	個人（市外団体の構成員） （選手1人につき1万円）	優勝	－	－
		準優勝	－	－
	団体 （1団体につき上限10万円）	優勝	－	－
		準優勝	－	－

プロスポーツ連携係

1　プロスポーツ連携関係

(1)　各プロ及びプロに準じるスポーツ団体との連携

市内で活動を行う栃木シティフットボールクラブ、栃木ゴールデンブレーブス（エイジェック硬式野球部、エイジェック硬式女子野球部を含む）、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスと連携協定に定めた事項の推進、連携事業の構築を行った。

ア　4団体共通

試合情報や結果について、栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”アカウントによるSNS上での情報発信や、市広報紙へのチーム紹介記事の掲載を行った。

イ　栃木シティフットボールクラブ関係

・栃木市で開催されたホームゲームについて、栃木市民デーを設定し市民の無料入場を実施することで、市民への「みるスポーツ」の推進を図った。

・市内小学校3校において学校訪問事業を実施し、栃木シティフットボールクラブによるサッカー教室や講話などを交えて、スポーツの振興を図った。

・JFLで優勝し、Jリーグ昇格が決まった際には、優勝と昇格を祝うため、栃木駅の改札に横断幕を設置し、また市内公共施設50か所にのぼり旗を掲出し、広く市民に周知を図った。

ウ　栃木ゴールデンブレーブス関係

市民への「みるスポーツ」の推進を図るため、「栃木市民デー」として市民の無料招待行う予定であったが、台風の影響により試合が中止となった。

エ　宇都宮ブリッツェン関係

藤岡渡良瀬運動公園で整備を行った渡良瀬サイクルパークを活用したイベント等の開催業務を委託し、各種自転車イベント・講座の開催を行うことで、広くサイクルスポーツの振興に努めた。

(2)　栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”関係

プロスポーツチームのスポンサーやファンクラブ等の既存の応援形態とは別に、市民が気軽に負担なくチームの応援の一歩を踏み出すための受け皿として栃木市民スポーツ応援団“Strawberry Hearts”を運営した。

ア　Strawberry Hearts 会員

市が連携協定を締結している栃木シティFC、栃木ゴールデンブレーブス、宇都宮ブリッツェン、宇都宮ブレックスの4チームを応援する。

・年 会 費　無料
・特　　典　各チームに関するイベント案内やグッズが当たる抽選会への参加
・会 員 数　2,172名

イ　作成物

4チームを広く紹介するためのリーフレットを作成し、試合やイベントにおいて来場者に配布する他、市内転入者向けに渡す書類に本リーフレット追加し、広く周知に努めた。

(3)　栃木市杯とちぎさくらカップ（女子野球大会）関係

女子野球の普及と大会開催による地域活性化を目指し、栃木市と株式会社エイジェックスポーツマネージメントにより組織した実行委員会主催による女子野球大会を開催した。

部門	開催日	参加人数・チーム
小学の部	10月26日(土)から10月27日(日)	36名
中学の部	9月14日(土)から 9月15日(日)	15チーム
高校の部	11月 2日(土)から11月 3日(日)	16チーム
フリーの部	3月22日(土)から 3月23日(日)	15チーム

(4)　女子野球タウン関係

令和2年から実施してきたとちぎさくらカップの実績や今後の女子野球を生かした市の事業内容が一般社団法人全日本女子野球連盟に認められ、本市が全国で16番目の「女子野球タウン」として認定されたことを記念し、下記事業を実施した。

ア　ヴィーナスリーグ公式戦誘致事業（エイジェックさくら球場（大平運動公園野球場））

部門	開催日	試合数
リポビタン杯争奪プレミア	9月21日(土)から23日(月)	6試合
報知新聞社杯争奪	9月22日(日)	2試合
埼玉西武ライオンズ杯争奪U-15	9月23日(月)	3試合

イ　高校選抜チーム試合直前合宿地誘致事業

9月23日に東京ドームで開催された「高校野球女子選抜」と「イチロー選抜 KOBE CHIBEN」との試合における高校野球女子選抜チーム直前合宿を國學院栃木高校野球

及びエイジェックスポーツ科学総合センターで実施した。

(5)　都市対抗野球

連携協定を締結しているエイジェックグループに属する社会人野球チーム「エイジェック硬式野球部」が「小山市・栃木市」のチームとして都市対抗野球大会に出場が決まった際には、栃木駅ロータリー他2か所に横断幕を掲出し、広く市民に周知を図った。

(6)　エイジェックスポーツ科学総合センターを活用したセミナー等実施事業

エイジェックグループとの連携協定における施設の相互利用、及び市民の健康増進に関する事項に基づき、市民に対する「運動と健康・栄養」の意識啓発や、令和6年7月にオープンした民間施設では国内最大級の「エイジェックスポーツ科学総合センター」の施設を知ってもらうことを目的として、スポーツ科学と健康・栄養セミナーの開催と、最先端の設備を有する施設の見学会を2月1日、9日の2日間、午前の部、午後の部計4回実施し、200名の市民が参加した。

(7)　プロスポーツチーム等による地域貢献事業

ア　キャリア教育支援事業（対象：市内中学校）

プロスポーツ、社会人スポーツを通して、選手やスタッフの「働く喜びや苦労」などの話から、スポーツを取り巻く環境などを知ることで、「夢の見つけ方」や「生きる力」を身に着け、中学生がスポーツを通じてキャリア意識を高めていくこと、また、スポーツにかかわる仕事への理解を深め、身近にスポーツチームがあることでシビックプライドの醸成を図ることを目的に実施した。

・申込校数：1校（藤岡中学校）

イ　サッカースタジアム開放事業（対象：市内幼稚園・保育園）

栃木シティフットボールクラブの協力のもと、広い芝生の中で思いっきり遊ぶことができると同時に、本格的スタジアムやプロ選手を幼少期から身近に感じてもらうことで、子供たちの健やかな成長とチームを応援する体制に繋げることを目的に実施した。

・申込園数：1園（大平西保育園）

ウ　エイジェック女子硬式野球部による園訪問事業（対象：市内幼稚園・保育園）

女子野球タウンとしての事業の一環として、エイジェック女子硬式野球部の協力のもと、申込のあった園を訪問し、園児と女子野球選手が交流しながら、やわらかいボールを使用したボール投げやボール遊びを通し、子供たちの健やかな成長とチームを応援する体制に繋げることを目的に実施した。

・申込園数：2園（けやき保育園、いまいずみ保育園）

(8)　Ｊリーグ関係自治体等連絡協議会への入会

当協議会は、ホームタウン及びホームスタジアムを所管する自治体等の相互の連絡調整を密にして、ホームスタジアムの適切かつ効果的な管理と運営の円滑化並びにホームタウンの振興を図ることを目的としている。

栃木シティフットボールクラブがJリーグ参入したことに伴い、令和6年度に入会した。

2　サイクルスポーツ関係

(1)　サイクルパークを活用したイベント等

サイクルパークを活用したイベント等業務をサイクルスポーツマネージメント株式会社に委託し、渡良瀬遊水地ライドや、太平山ヒルクライムライドの他、プロチームとの合同イベントなどを開催した。

・イベント等開催数　7回

(2)　県南サイクルモデルルート整備

県が中心となり作成した県南地域のサイクルルート（わたらせ8）を案内するために路面に矢羽根や誘導案内の表示（市道、林道部）を整備した。

・栃木市整備延長：約15.5km（全延長：約188km）

(3)　自転車の駅

ロードバイクやその他自転車で栃木市を訪れる方が、市内を快適に走行でき、また、市の物産・特産、グルメやアクティビティのPRにつなげることを目的に、サイクルスポット「自転車の駅」として協力いただける店舗や施設の募集を令和7年3月より開始した。

スポーツ施設係

1　社会体育施設

(1)　施設の種類

施設名	建設年	面積（㎡）		備考
		敷地	建物	
剣道場	明治44年	437.25	163.70	木造瓦葺平屋
弓道場	昭和28年	102.47	76.00	木造亜鉛葺平屋
皆川東宮運動場	昭和46年	14,889.23	-	
柳原河川敷運動場	昭和52年	12,608.00	3.25	簡易水洗式トイレ
尻内河川敷運動場	昭和54年	5,950.00	9.91	木造平屋トイレ
大塚運動広場	平成2年	15,942.90	27.30	木造平屋トイレ
大宮運動広場	平成5年	15,257.00	21.00	木造平屋トイレ
城内ニュースポーツ広場	平成18年	12,648.00	-	
アルレクスパークとちぎ（屋内運動場）	平成4年	3,724.23	1,062.80	鉄骨造鋼板葺平屋

(2)　利用状況　（単位:人）

施設＼利用人数	合計
剣道場	0
弓道場	0

柳原河川敷運動場	8,524
皆川東宮運動場	3,200
大塚運動広場	16,106
大宮運動広場	15,212
城内ニュースポーツ広場	9,880
アルレクスパークとちぎ（屋内運動場）	9,615
合　計	62,537

※剣道場及び弓道場は、耐震性の理由により令和5年9月11日(月)から利用休止

2　学校体育施設開放関係

利用状況

(1)　学校体育施設(体育館)　　(単位:人)

施設＼利用人数	合計
栃木中央小	17,911
栃木第三小	9,683
栃木第四小	18,603
栃木第五小	5,659
南　　小	5,524
大宮南小	4,948
大宮北小	7,296
皆川城東小	6,418
吹 上 小	8,334
千 塚 小	5,943
寺 尾 小	3,971
国府南小	4,121
国府北小	3,264
栃木東中	4,850
栃木西中	5,281
栃木南中	3,454
東 陽 中	4,530
皆 川 中	8,353
吹 上 中	3,696
寺 尾 中	4,923
合　　計	136,762

(2)　学校体育施設(運動場)　　(単位:人)

施設＼利用人数	合計

栃木中央小	3,339
栃木第三小	3,959
栃木第四小	3,450
栃木第五小	3,433
南　　小	9,116
大宮南小	－
大宮北小	3,300
皆川城東小	4,368
吹上小	3,129
千 塚 小	1,700
寺 尾 小	1,351
国府南小	460
国府北小	6,250
合　　計	43,855

(3)　学校体育施設(夜間照明)　　(単位:人)

利用人数 / 施設	合計
栃木中央小	440
栃木第三小	1,675
栃木第五小	1,433
南　　小	10,552
皆川城東小	992
栃木東中	4,664
東 陽 中	1,232
吹 上 中	277
寺 尾 中	204
栃木商業高校	460
栃木高校	1,050
合　計	22,979

第９節　渡良瀬遊水地課

〔総括概要〕

渡良瀬遊水地課の主な分掌事務は、渡良瀬遊水地に係る企画・調整、普及・啓発、環境保全・利活用、藤岡遊水池会館及び渡良瀬遊水地ハートランド城に関することである。

渡良瀬遊水地に係る企画・調整については、ラムサール条約登録湿地関係市町村会議への参加や渡良瀬遊水地保全・利活用協議会総会の主催など、関係自治体及び関係団体との連携や交流を行った。

渡良瀬遊水地の普及・啓発については、渡良瀬遊水地のPRとして毎月第3日曜日に熱気球dayを開催したほか、ラムサール条約登録記念日のある7月を強化月間として公式Ｘ（旧ツイッター）等を活用したPR活動を行うなど、幅広い層の方に対して渡良瀬遊水地に興味・関心を持っていただけるような広報を行った。

環境保全については、希少植物保全のための外来植物除去活動や湿地環境保全のためのヨシ焼き及びクリーン作戦を実施した。

また、周辺に飛来するコウノトリの定着を目指し、巣塔周りのヨシ刈り等生息地環境整備を行ったほか、関係市町と連携し観察マナー向上のための見守りボランティア募集や野鳥観察パンフレットの改定を行った。令和6年3月に飛来したコウノトリの卵は孵化しなかったが、令和7年3月には同じ雄のコウノトリが営巣した。

利活用については、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、人材育成としてボランティアガイド養成講座の開催と渡良瀬遊水地ガイドクラブの支援等を行ったほか、渡良瀬遊水地内をバスで巡るぐるり旅や、渡良瀬遊水地フェスティバルの開催など渡良瀬遊水地を活用したイベントを実施した。また、「渡良瀬遊水地の様々な資源や環境の保全活動に取り組み、それらを未来につなげる“守り人”」である会員組織のファンクラブ「渡良瀬ナイツクラブ」の運営を行った。

また、ラムサール条約登録10周年の令和4年10月に、渡良瀬遊水地及び渡良瀬遊水地ハートランド城が「恋人の聖地」として選定されたことから、熱気球バレンタインカップルフライトや「恋人の聖地」巡礼ツアー等を行った。

ラムサール推進係

1　渡良瀬遊水地に係る企画・調整

(1)　ラムサール条約登録湿地関係市町村会議

国内のラムサール条約湿地関係市町村で組織する「ラムサール条約登録湿地関係市町村会議」において、副会長市であることから、出水市で行われた令和6年度 主管者会議及び第15回学習・交流会に参加した。

・実 施 日　11月7日（木）～11月8日（金）
・会 場　ツル博物館クレインパークいずみ　他（鹿児島県出水市）
・登録湿地53か所のうち21か所20市町村参加

(2)　渡良瀬遊水地保全・利活用協議会

渡良瀬遊水地に関係する自治体や国、自治会代表、治水団体、利用する団体、環境保全等を行う団体など44団体で構成する「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」において、会長市として総会や定例会を開催し各団体との情報共有・意見交換を行った。

また、協議会の下部組織である部会では、「環境教育・普及啓発、利用ルールづくり、歴史文化啓発」のワーキンググループ②として「環境教育のためのハンドブックづくり」に取組みこれを完成させた。「渡良瀬遊水地の将来像(ビジョン)の策定に必要な前提事項の議論」のワーキンググループ③では、将来ビジョン及び基本方針の骨子の策定に向けて会議を行った。

令和6年度渡良瀬遊水地保全・利活用協議会　総会

・実 施　8 月 20 日（火）
・会 場　栃木市　藤岡遊水池会館　2 階　大会議室
・参加団体数　37 団体
※そのほか定例会を 2 回開催（5 月、12 月）

(3)　三県境事務担当者会議

栃木、群馬、埼玉の 3 県に跨る三県境について地域の観光資源として、板倉町及び加須市と連携して利活用及び環境整備を行うため、定期的に担当者による情報交換を行った。

(4)　地域おこし協力隊活動事業

渡良瀬遊水地の様々な役割と魅力を貴重な地域資源と捉え、各種団体・企業・地域住民と連携して、新たな魅力や地域資源の発掘や交流人口の拡大につなげるため、また渡良瀬遊水地と周辺地域をつなぐ情報発信を行うため地域おこし協力隊1名を委嘱した。

・委嘱期間　令和元年7月～令和6年6月まで

(5)　渡良瀬遊水地国営公園建設促進周辺地域連絡協議会

平成 19 年度から休止状態となっていた協議会について、書面総会を開催し議決を得たうえで、会を解散し負担金の清算を行った。

2　藤岡遊水池会館管理

(1)　施設管理

建物、駐車場及び施設内設備・物品・植栽の維持管理を行った。また、藤岡遊水池会館 1 階において､一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団が運営する、渡良瀬遊水地湿地資料館と連携して情報発信に努めた。

(2)　施設の貸館状況

大会議室の貸館を行っているほか、一部を一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団に事務室として貸し付けている。

大会議室の利用状況

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
316	5,886	152,510

3　渡良瀬遊水地の環境保全

(1)　渡良瀬遊水地クリーン作戦

渡良瀬遊水地の美化促進及び自然環境の意識高揚を図るため、企業や地域住民及び一般利用者が参加し、清掃活動を実施した。

実施日	場所	参加者（人）	収集量（ｔ）
4月13日（土） 毎年1回開催	渡良瀬遊水地　第1調節池	400	一般ゴミ 12.2 粗大ゴミ　0.8 産廃ゴミ　　0

(2)　希少植物保全のための外来植物等除去活動の実施

渡良瀬遊水地には多くの希少植物が生育しているため、この豊かな生態系を保全する必要性を広く周知することを目的に、植物の専門家による指導のもと、希少植物保全のための外来植物等除去活動の参加者を募り実施した。尚、4月に予定した保全活動は雨天のため参加者の活動は中止し、後日職員のみで実施した。

実施日	場所	人数（人）	保全植物
5月11日（土）	渡良瀬遊水地　第1調節池内	130	アゼオトギリ他
6月26日（水）	渡良瀬遊水地　第1調節池内	14	ノジトラノオ
9月 7日（土）	渡良瀬遊水地　第1調節池内	110	アゼオトギリ他
11月23日（土）	渡良瀬遊水地　第2調節池内	120	タコノアシ他

(3)　環境学習池の維持管理

谷中湖北側の史跡保全ゾーンに本市が占用している環境学習池(ハート池)があり、池内は約20種類の国指定の絶滅危惧種植物を含む希少植物が生育している特異な場所であるため、雑草の定期的な刈り取りや池周囲に繁茂する桑の伐根作業等を行い、良好な生育環境の保全に努めた。

(4)　渡良瀬遊水地生態系現地調査業務

業務委託により環境学習池（ハート池）の希少植物の生育状況や生育環境について現地調査を行い、今後の保全活動に向けた施策に供した。

(5)　ヨシ焼き

貴重な湿地環境の保全、害虫の駆除、樹林化の防止等を目的に、渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会主催のもとヨシ焼きを実施した。

日時	3月1日(土)　8時30分開始　18時27分終了
主催	渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会
実施区域	渡良瀬遊水地全域
関係者等	○総数:約 720 人 ・古河市、栃木市、小山市、野木町、板倉町、加須市、利根川上流河川事務所、渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団、各消防署、各警察署　約 200 人 ・渡良瀬遊水地利用組合連合会及び関係自治会　約 270 人 ・地元消防団　約250人
概要	○焼却面積：約 1,200ha（予定区域約 1,500ha の約 8 割）

	○見学者数＝2,700 人

(6)　コウノトリ生息地環境整備

ふるさと応援寄付金を原資としたコウノトリ生息地環境整備基金を財源として、渡良瀬遊水地内2か所に設置されている人工巣塔周辺の環境整備を行った他、第1調節池内の人工巣塔に営巣をはじめたコウノトリを見守るため、旧谷中村合同慰霊碑敷地内の監視用カメラにより観察を行った。

令和6年春は、小山市生まれの雄の「りょう」と淡路市生まれの雌の「淡夢」がペアとなり第1調節地内の人工巣塔に営巣した。本市初の産卵推定に至ったが、ふ化しなかった。令和7年春には「りょう」と、同じく小山市生まれの雌の「小白」がペアとなり、営巣した。

（単位：円）

	今年度末積立額	基金積立現在高
コウノトリ生息地環境整備基金	34,777,562	91,816,562

ハートランド城係

1　渡良瀬遊水地の普及・啓発

(1)　ラムサール条約登録記念日、ＰＲ強化月間

渡良瀬遊水地がラムサール条約に登録された7月3日をラムサール条約登録記念日、7月をＰＲ強化月間として、各種ＰＲ活動を行った。

ア　栃木市役所　本庁舎への懸垂幕の掲示

・掲示期間　7月1日～7月31日

イ　栃木市内公共施設へののぼり旗の掲示

・掲示期間　7月1日～7月31日

(2)　渡良瀬遊水地キャラクターの利用促進

渡良瀬遊水地課公式 X（旧ツイッター）とインスタグラムで、ハートランドキャラクターが渡良瀬遊水地の「今」の情報を発信した。

(3)　渡良瀬遊水地キャラクターの着ぐるみによるＰＲ活動

平成 26 年度に制作したHearts（ハーツ）姫、Watarase712（わたらせナイツ）の 2 つのキャラクターの着ぐるみで栃木市内及び渡良瀬遊水地周辺の市町で開催されたイベント（わたフェス、消防イベント等）に出演し、渡良瀬遊水地及びハートランドのＰＲ活動を行った。

(4)　「渡良瀬ナイツクラブ」の運営

治水や利水、自然、歴史、レジャー・スポーツなど様々な要素を持つ渡良瀬遊水地をより良く活用するために行動し、“守り人”となり渡良瀬遊水地を保全し続け未来につなぐことを目的とした会員組織のファンクラブを運営した。

・会員数　一般会員　186 人
　　特別会員　　7 人
　　サポート店　2 店

・ナイツクラブ通信発送回数　6 回

(5)　小山市との連携によるヨシ灯り展の開催

小山市との連携事業として、両市が渡良瀬遊水地に自生するヨシを活用した「ヨシ灯り」を作成し、ライトアップを行った。共催5年目となった今回は小山市会場で実施。

・実 施 日　11月9日（土）、11月10日(日)
・会　　場　小山御殿広場～まちの駅思季彩館
・来場者数　1,110人

(6)　渡良瀬遊水地キャラクターアニメーション放映

藤岡地域会議提案事業として制作した渡良瀬遊水地キャラクターによる渡良瀬遊水地のＰＲ動画を渡良瀬遊水地課公式YouTubeで公開したり、エコライフinとちぎで放映するなど幅広い層にＰＲした。

(7)　恋人の聖地関連事業

令和4年10月1日に、渡良瀬貯水池（谷中湖）及び渡良瀬遊水地ハートランド城が恋人の聖地に選定されたことから、本県産木材を使用した実物大コウノトリのモニュメント及びハートのオブジェを館内に展示するとともに、イベント事業を開催した。

・12月14日　　恋人の聖地巡礼ツアー実施（遊水地案内、ホフマン館）　3組6人
・ 2月16日　　バレンタインカップルフライト（係留）実施　9組18人

2　渡良瀬遊水地の利活用

(1)　環境学習

ア　クリーンメガSUPツアー

実施日	場所	参加人数	内容
6月15日（土）	谷中湖	16人	メガSUPに乗り、谷中湖畔のゴミ拾い

イ　夏のわくわく大作戦！親子水辺教室

実施予定日	会場	参加人数	内容
7月27日（土）	谷中湖	22人	植物観察、カヌー体験

ウ　ツバメのねぐら入り観察会

実施予定日	会場	参加人数	内容
8月21日（水）	ハートランド城～渡良瀬遊水地内	18人	ツバメの生態についての説明及びねぐら入りの観察

(2)　渡良瀬遊水地フェスティバル2024

・開 催 日　10月6日（日）
・会　　場　渡良瀬遊水地子ども広場ゾーン及び谷中湖北ブロック
・主　　催　渡良瀬遊水地フェスティバル実行委員会
・内　　容　スカイスポーツやウォータースポーツ、ロードバイク等の展示や体験、ヨシ灯り等の展示、ガイドクラブによるツアー、スタンプラリー等
・来場者数　600人

(3)　渡良瀬遊水地ぐるり旅

遊水地周辺をバスでガイドクラブが案内するぐるり旅を実施した。

実施日	参加人数	備考

5月25日(土)	18人	

(4) わたらせ熱気球day

渡良瀬遊水地のＰＲ及び安全かつ気軽に熱気球を楽しむ機会を提供するため、渡良瀬運動公園にて毎月第3日曜日に熱気球係留飛行体験を実施した。

実施日	参加組数（組）	参加者数（人）	備考
4月21日(日)	25	77	
5月5日(日・祝)	31	103	特別日として、小学生以下の体験料を無料で実施
5月19日(日)	54	123	
7月21日(日)	52	86	
8月18日(日)	17	56	
9月15日(日)	15	41	
11月17日(日)	6	16	
12月15日(日)	59	157	
1月19日(日)	30	56	
2月16日(日)	40	87	カップルフライト含む
合計10回	329	802	悪天候により中止3回（6、10、3月）

3 人材育成

(1) 渡良瀬遊水地ボランティアガイド養成講座

渡良瀬遊水地の来訪者を案内するボランティアガイドを育成するため、養成講座を開催した。

・実 施 日　4月～12月の第4土曜日
・内　　容　渡良瀬遊水地の役割、歴史、自然について
・会　　場　ハートランド城、史跡保全ゾーン、他
・受講修了者　7人
・回　　数　9回

(2) 渡良瀬遊水地ガイドクラブの活動支援

渡良瀬遊水地ガイドクラブの組織運営の支援を行った。また、団体案内申込書の受付業務及びガイド担当者の調整も行った。

・ガイド案内実績

	谷中湖周辺	ハートランド城	合　　計
日数（日）	288	116	404
利用者数（人）	4,270	1,949	6,219

(3)　渡良瀬ヨシ愛好会の活動支援

ヨシ細工指導スタッフ養成講座修了者の活動を更に発展させるため、「渡良瀬ヨシ愛好会」の設立を支援した。設立後は愛好会の活用を図り、市と協働でイベントを実施したほか、多様な申込者からの依頼に応えてヨシ細工制作体験を行った。

・渡良瀬ヨシ愛好会活動実績

	作品展示	体験申込数
件数（件）	8	14
来場者・参加者数（人）	4,824	364

4　ハートランド城管理

(1)　施設管理

市民交流の場として渡良瀬遊水地情報コーナーの充実を図り情報発信に努めた。また、建物、駐車場、植栽及び物品の維持管理を行った。

・来館者数　11,068 人

(2)　施設の貸館状況

研修室の貸館を行っている。

使用件数(件)	使用人数(人)	使用料(円)
100	6,601	15,825

第４章　生活環境部

第１節　市民生活課

〔総括概要〕

市民生活課の主な分掌事務は、市民相談、消費者行政、消費生活センター、戸籍の記載、新戸籍の編製、住民基本台帳及び印鑑登録原票の整備、マイナンバーカードの交付及び管理、関係諸証明の作成交付、住居表示番号の付番等に関することである。

市民相談業務については、市民生活に関する苦情、相談等を受け付け、解決に向けた処理として、助言や庁内各課への対応依頼及び庁外の相談先案内等を実施した。

消費者行政については、消費者である市民が、より豊かで安全・安心な消費生活を送れるよう、各種媒体を活用した情報提供や、悪質商法等に対する被害防止の啓発を行うとともに、消費生活センター相談員や職員による出前講座を実施した。

消費生活センターでは、各種法令や、悪質商法等の手口、解決法を学び相談業務に役立てるため、国や県主催の研修会に参加し、相談員のスキルアップを図った。

戸籍、住民基本台帳関係業務については、出生、婚姻等の戸籍届受付及び記載、転入や転出など住民異動届の受付及び関連事務処理並びに戸籍謄抄本や住民票の写し、印鑑登録証明書等の交付、在留資格をもって在留する外国人に関する住居地届出事務を行った。証明書交付については、マイナンバーカードの交付率の上昇に伴いコンビニ交付の利用件数が増加している。一方、マイナンバーカードの普及に伴い、既存の手続きの際に併せて必要となるカードの管理に関する事務処理が増加している。特に異動時期の窓口は混雑しており、来庁者の手続きが円滑に進むよう、窓口業務改善に取り組み、市民サービス向上に努めた。

戸籍システムに関する業務については、令和7年2月に機器のリプレースを行い、同時にシステムをオンプレミスからベンダークラウドへ移行した。

市民生活係

1　市民相談関係

市の仕事や日常生活での悩み・困りごとに関する相談、または助言、相談先の案内など、市民生活に係る問題の解決を図り、市民の福祉向上に努めた。

・各種相談状況　（単位：件）

相　談	場　所	開設状況	件　数
市民相談	市役所本庁舎２階 市民相談室	常時開設	574
合同相談（行政・人権相談）		毎月第２､４火曜日	4
弁護士相談		毎月第２､４金曜日	267
宅地建物相談		毎月第３金曜日	32

行政書士相談		毎月第３金曜日	32
司法書士相談		毎月第３水曜日	44

※合同相談及び弁護士相談件数には各総合支所での実施件数も含む。

2　消費者行政の推進

消費者を取り巻く環境は、高齢者の単身化やキャッシュレス化・グローバル化の進展を背景に著しく変化しており、また、消費者のニーズも多様化、高度化し、多面的な広がりを見せている。消費者が安全で安心な消費生活を送るために情報提供、相談業務及び啓発事業を実施した。更に、「市民の消費生活の安定と向上」を基本目標とし、その目標の達成に向け、具体的に施策を推進するための「第3次栃木市消費生活基本計画」に基づき施策を実施した。

(1)　消費生活センター事業

消費生活センターを月～木曜日開設し、国民生活センター、栃木県消費生活センターと連動した全国消費生活情報ネットワーク・システムを活用することで、相談業務の拡充と迅速な情報提供を図り、消費者啓発、苦情相談等の解決に当たった。

ア　消費生活相談員による苦情生活相談

消費生活相談員3人により消費生活に関する苦情相談、生活相談を行い、問題解決に当たった。また、パンフレット配布等を行い、消費者への啓発に努めた。

(ｱ)　相談件数の推移

相談内容	令和4年度		令和5年度		令和6年度	
	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)	件数(件)	割合(%)
苦情相談	863	87.9	967	88.9	787	92.0
問合せ	119	12.1	121	11.1	68	8.0
合　計	982	100.0	1,088	100.0	855	100.0

(ｲ)　商品・サービス別相談件数

相談の種別		令和5年度(件)	令和6年度(件)	前年比(%)
苦情相談	商品一般	116	126	108.6
	食料品	45	53	117.8
	住居品	30	33	110.0
	光熱水費	35	28	80.0
	被服品	33	33	100.0
	保健衛生品	90	73	81.1
	教養娯楽品	75	50	66.7
	車両、乗り物	44	24	54.5
	土地、建物、設備	131	86	65.6
	他の商品	4	2	50.0
	役務（サービス）一般	18	19	105.6
	金融、保険サービス	108	86	79.6
	運輸、通信サービス	53	53	100.0

	教育サービス	0	1	－
	教養、娯楽サービス	72	35	48.6
	保健、福祉サービス	32	19	59.4
	他の役務（サービス）	70	55	78.6
	内職、副業、相場	9	7	77.8
	他の行政サービス	0	3	－
	他の相談	2	1	50.0
計		967	787	81.4
問合せ		121	68	56.2
合　計		1,088	855	78.6

(ｳ)　販売購入形態別件数

	令和5年度（件）		令和6年度（件）		前年比（%）	
		うち苦情相談		うち苦情相談		うち苦情相談
店舗購入	191	183	150	140	78.5	76.5
訪問販売	115	110	85	84	73.9	76.4
通信販売	339	332	241	238	71.1	71.9
マルチ・マルチまがい	0	0	7	6	－	－
電話勧誘販売	52	50	61	60	117.3	120.0
ネガティブ・オプション	10	10	19	18	190.0	180.0
訪問購入	22	20	13	13	59.1	65.0
その他無店舗	5	4	2	2	40.0	50.0
不明・無関係	354	258	277	226	78.2	87.6
合　　計	1,088	967	855	787	78.6	81.4

イ　消費生活講座講師派遣

団体への出前講座や、高齢者教室等において講座を実施した。

・延べ実施回数　　6回

・延べ参加者数　　41人

(2)　消費者教育

消費者教育として小学校6年生を対象に、情報モラルかるたを導入した児童参加型講座を実施した。また、出前講座未実施の小学校6年生、市内中学校2年生を対象に、ネットトラブルに関するリーフレット2種類、市内高等学校2年生を対象に、若年者トラブル防止のためのリーフレットを配布した。

(ｱ)　小学校6年生向け出前講座（令和6年10月～12月）

・延べ実施回数　　4回

・延べ参加者数　　97人

(ｲ)　児童・生徒へのリーフレット配布（令和7年1月）

対象	学校数	配布部数
小学校6年生	25校 ※出前講座未実施	各1,320部

中学校2年生	13 校	各 1,355 部
高等学校2年生	9 校	1,880 部

(3)　「消費者月間」関連事業の実施

市内消費者団体（栃木市消費者友の会、栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部）と協力し、悪質商法等に関するチラシ、啓発物資を市内店舗にて配布した。

・実施状況（啓発物資配布人数 延べ650人）

実施日	実施店舗等
5月10日（金）	イオン栃木店、ヤオハンアイム店
5 月 13 日（月）	東武百貨店栃木市役所店
5月23日（木）	栃木駅北口ロータリー
5月26日（日）	コープ栃木店

(4)　配慮を要する消費者への啓発活動

市内在留外国人に対して、消費者被害の未然防止、早期発見及び拡大防止を図るため、年2回、消費者トラブルに関するチラシを作成、5か国に翻訳し、市内国際交流協会窓口に配架するとともに、市ホームページへ掲載した。

・実施月　令和6年7月、令和7年1月

・配布数　5か国語×各20部（年2回）

(5)　消費者教育講演会

複雑多様化する消費者社会、高齢化社会に対応できる消費者を育成するため、講演会を実施した。

・実施日 7月26日（金）

・場　所 栃木市役所3階正庁

・参加者 26人

・講　師 栃木県金融広報アドバイザー　半田玉枝氏

・内　容 相続の話

(6)　消費者教育研修会の実施

消費生活への関心を深め、地域の消費者リーダー的役割を担う消費者を育成するため2団体合同で研修会を実施した。また、団体間の交流を深めることができた。

・実施日　11月7日（木）

・場　所　ハウスギャバン㈱関東工場他

・参加団体　栃木市消費者友の会、栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部

・参加者　14人

(7)　家庭用品品質表示法及び消費生活用製品安全法に係る立入検査の実施

・実施日　12月11日（水）～12日（木）

・家庭用品品質表示法による立入検査実施店 4店

・家庭用品品質表示法に係る検査点数 863点

・消費生活用製品安全法による立入検査実施店 3店

・消費生活用製品安全法に係る検査点数 32点

(8)　消費生活展

「第12回栃木市消費生活展」を環境課主催「エコライフinとちぎ」と同時開催し、暮らしに役立つ知識、消費生活に関する情報を消費者団体等が展示、発表した。

・実施日　2月8日（土）

・場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)　展示室

・来場者数　約200人

・出展協力団体等

栃木県金融広報委員会、栃木県計量検定所、栃木市消費者友の会、栃木県消費生活リーダー連絡協議会栃木支部、栃木市（危機管理課、消費生活センター、交通防犯課）

戸籍係

1　戸籍事務

(1)　本籍数及び戸籍人口

・本籍数　　69,232件

・本籍人口　163,962人

(2)　戸籍届出事件数（市全体）　（単位：件）

事件の種類	総数	届出			他市町村から送付
		計	本籍人届出	非本籍人届出	
出生	931	642	440	202	289
国籍留保	11	2	2	－	9
認知	24	11	8	3	13
養子縁組	123	78	74	4	45
養子離縁	39	31	29	2	8
法73条の2､法69条の2	2	2	2	－	－
婚姻	1,324	446	360	86	878
離婚	375	231	200	31	144
法77条の2､法75条の2	140	89	81	8	51
親権､未成年後見､後見監督	6	4	3	1	2
死亡	2,822	2,436	2,182	254	386
失踪	3	3	2	1	－
復氏	5	1	1	－	4
姻族関係終了	7	5	5	－	2
相続人廃除	－	－	－	－	－
入籍	245	172	160	12	73
分籍	26	14	14	－	12

国籍取得		－	－	－	－	－
帰　　化		1	1	1	－	－
国籍喪失		1	1	1	－	－
国籍選択		1	－	－	－	1
外国国籍喪失		－	－	－	－	－
氏の変更		5	4	4	－	1
名の変更		1	1	1	－	－
転　　籍		460	302	297	5	158
就　　籍		－	－	－	－	－
訂正・更正	市町村長職権	99	99	99	－	－
	法24条2項	7	6	6	－	1
	法113条等	1	－	－	－	1
	法116条	3	2	2	－	1
	続柄の記載更正	3	3	3	－	－
	計	113	110	110	－	3
追　　完		5	5	1	4	－
そ の 他		2	－	－	－	2
不受理申出		31	22	16	6	9
合　　計		6,703	4,613	3,994	619	2,090

(3)　戸籍処理件数　　（単位：件）

処　理　内　容	件　数	処　理　内　容	件　数
新戸籍編製	804	戸籍の再製・補完	－
戸籍全部消除	1,399	その他	12
違反通知	－	合　計	2,215

2　身分関係事務

(1)　犯罪関係処理件数　　（単位：件）

既決犯罪通知	170	仮釈放期間満了通知	10
他市町村からの民刑事項通知	10	刑執行猶予言渡取消通知	3
自由刑執行終了通知	15	その他	0
財産刑執行終了通知	12	合　計	220

(2)　身上調査照会件数　　（単位：件）

警　察　署	1,643	そ　の　他	541
検　察　庁	223	合　計	2,407

3　人口動態事務

人口動態調査票作成件数　（単位：件）

種　別	件　数	種　別	件　数
婚　姻	451	出　生	650(男337、女313)
離　婚	231	死　亡	2,434(男1,227、女1,207、不詳0)
死　産	19	合　計	3,785

市民係

1　中長期在留者住居地届出等事務

入管法上の在留資格をもって中長期在留する外国人に関する事務。

(1)　在留資格別人口（市全体）　（単位：人）

人員 / 在留資格	人員 16歳未満	人員 16歳以上	人員 合　計
教授	－	1	1
宗教	－	2	2
報道	－	1	1
教育	－	10	10
企業内転勤	－	54	54
興行	－	2	2
技能	－	68	68
技能実習1号イ	－	7	7
技能実習1号ロ	－	279	279
技能実習2号イ	－	7	7
技能実習2号ロ	－	745	745
経営・管理	－	82	82
技術・人文知識・国際業務	－	543	543
技能実習3号ロ	－	76	76
介護	－	7	7
留学	－	257	257
家族滞在	190	289	479
特定活動	3	344	347
日本人の配偶者等	2	176	178
永住者の配偶者等	48	76	124
定住者	127	311	438
特定技能1号	－	647	647
特定技能2号	－	6	6
高度専門職1号ロ	－	2	2

永住者	121	1,013	1,134
特別永住者	－	51	51
仮滞在許可者	－	－	－
出生による経過滞在者	3	－	3
合　　計	494	5,056	5,550

(2)　国籍別外国人登録人員（市全体）　　（単位：人）

人員 / 国籍	人	員	
	16歳未満	16歳以上	合　　計
国籍・地域未設定	3	－	3
アフガニスタン	7	45	52
アルゼンチン	6	10	16
ボリビア	－	7	7
ブラジル	17	103	120
ミャンマー	7	256	263
カンボジア	1	96	97
カメルーン	－	3	3
カナダ	－	3	3
スリランカ	38	226	264
チリ	－	2	2
コロンビア	2	5	7
中国	36	371	407
フランス	－	4	4
ガーナ	－	4	4
ギニア	－	3	3
ホンジュラス	－	2	2
インド	2	40	42
インドネシア	1	465	466
イラン	－	9	9
アイルランド	－	1	1
イタリア	－	1	1
ジャマイカ	－	1	1
ケニア	－	1	1
朝鮮	－	7	7
韓国	－	80	80
ラオス	－	7	7
レバノン	－	2	2
マレーシア	2	8	10
メキシコ	4	3	7
モンゴル	7	23	30

ネパール	67	684	751
オランダ	－	3	3
ナイジェリア	－	7	7
パキスタン	58	234	292
パラグアイ	－	3	3
ペルー	76	333	409
フィリピン	103	532	635
ルーマニア	－	2	2
シンガポール	－	1	1
タンザニア	－	1	1
タイ	5	193	198
チュニジア	－	1	1
トルコ	－	4	4
ウガンダ	－	3	3
英国	－	9	9
米国	2	17	19
ベネズエラ	－	4	4
サモア	－	1	1
バングラデシュ	23	125	148
ベトナム	23	1,066	1,089
ドミニカ	－	1	1
ドイツ	－	3	3
エストニア	－	1	1
ロシア	2	10	12
ベラルーシ	－	1	1
キルギス	－	1	1
カザフスタン	－	1	1
ウクライナ	－	1	1
ナミビア	－	1	1
コンゴ民主共和国	－	5	5
台湾	1	20	21
無国籍	1	－	1
合　　計	494	5,056	5,550

(3)　各種申請書受理件数（市全体）

ア　中長期在留者　　（単位：件）

件　　名	件　　数	件　　名	件　　数
新規上陸後の住居地届出	792	住居地の変更届出（転入）	906
資格変更等に伴う住居地の届出	189	住居地の変更届出（転居）	608
		合　　計	2,495

イ　特別永住者　（単位：件）

件名	件数	件名	件数
住居地の届出	1	住居地の変更届出（転居）	5
住居地の変更届出（転入）	2	合　計	8

ウ　その他の事務取扱件数　（単位：件）

件名	件数	件名	件数
特別永住者証明書の更新	5	出入国在留管理庁通知	3,755
紛失等による特別永住者証明書の再交付	－	市町村通知	4,109
交換希望による特別永住者証明書の再交付	－	合　計	7,869

2　登録型本人通知制度

住民票の写し等の不正請求等を防ぐため、住民票の写し等を本人の代理人や第三者に交付した時に、事前に登録した方に交付したことをお知らせする制度。

(1)　各種申請書受理件数（市全体）　（単位：件）

登録申請	変更・廃止申請	お知らせ通知発送
8	3	40

(2)　登録者総数　428人

3　窓口事務（本庁市民生活課）

(1)　窓口届出処理件数　（単位：件）

処理事項	件数
死体埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	19
死胎埋火葬許可（栃木市斎場利用なし）	－
死産届	14
合　計	33

(2)　謄抄本証明書等交付件数

種別		件数(件)	金額(円)	種別		件数(件)	金額(円)
戸籍	全部事項証明	9,752	4,388,400	住民票	世帯全員	6,900	2,070,000
	個人事項証明	1,209	544,050		個　人	15,065	4,519,500
	除籍謄本	11,998	8,998,500		証　明	487	146,100
	除籍抄本	72	54,000		閲　覧	26	7,800
	広域戸籍全部事項証明	1,108	498,600		年金現況証明	－	－
	広域除籍全部事項証明	207	155,250		戸籍の附票	2,564	769,200
	広域除籍謄本	1,649	1,236,750		広　域	38	11,400

	戸籍証明	72	25,200		公　　用	5,642	－
	受理証明	398	141,400		小　　計	30,722	7,524,000
	廃棄証明	17	－	その他	印鑑登録	2,592	777,600
	出産証明	9	－		印鑑登録廃止	535	－
	戸籍電子証明書提供用識別符号	－	－		臨時運行許可証	449	336,750
	除籍電子証明書提供用識別符号	－	－		労基証明	40	－
	不受理証明	－	－		人口統計	26	－
	公　　用	10,575	－		マイナンバーカード(有料)	699	559,200
	小　　計	37,066	16,042,150		マイナンバーカード(無料)	6,777	－
証明書	印鑑証明	7,834	2,350,200		特急発行マイナンバーカード(有料)	42	75,600
	諸 証 明	578	173,400		特急発行マイナンバーカード(無料)	223	－
	身分証明	698	209,400		電子証明書(有料)	739	147,800
	住居表示証明等	44	－		小　　計	12,122	1,896,950
	選挙証明	34	－	合　　計		89,176	28,196,100
	公　　用	78	－				
	小　　計	9,266	2,733,000				

(3)　(1)～(2)のうち延長窓口処理件数　　（単位：件）

種　　別	件　　数
住民票写し交付	471
戸籍謄抄本交付	379
印鑑登録証明書交付	257
印鑑登録	164
住民異動届	260
戸籍届	33
臨時運行許可証交付	1
旅券交付	241
マイナンバーカード交付	735
窓口及び電話による相談、問合わせ等	44
合　　計	2,585

(4)　慶事記念品贈呈（市全体）　　（単位：件）

種　　別	件　　数
出生記念品	46
婚姻記念品	402
合　　計	448

＊木製の写真立てを贈呈（婚姻には小冊子「くらしの豆知識」を付加）

4　支所・出張所発行件数　　（単位：件）

区別 / 種別	件数				
	国府	寺尾	大宮	皆川	吹上
戸籍謄抄本等交付	475	247	516	213	639
住民票写し等交付	688	284	963	308	877
印鑑登録証明書交付	631	298	753	242	772
印鑑登録	57	8	42	7	47
印鑑登録廃止	16	－	－	－	2
諸証明交付	16	12	22	5	25
合　計	1,883	849	2,296	775	2,362

5　コンビニ交付発行件数

種別	庁外分		庁内分	
	件数（件）	金額（円）	件数（件）	金額（円）
住民票写し交付	18,827	3,765,400	1,429	285,800
印鑑登録証明書交付	17,699	3,539,800	1,694	338,800
合　計	36,526	7,305,200	3,123	624,600

6　郵便申請月別件数（戸籍謄抄本、住民票等）　　（単位：件）

月	件数	月	件数	月	件数	月	件数
4月	1,198	7月	1,165	10月	1,171	1月	1,082
5月	1,345	8月	1,037	11月	1,424	2月	1,126
6月	1,254	9月	1,101	12月	990	3月	1,138
合　計				14,031			

7　住民基本台帳事務（市全体）

(1)　世帯数及び人口

区分	人口（人）			世帯数
	男	女	計	
令和6年3月末日現在	77,012	76,816	153,828	67,394
令和7年3月末日現在	76,372	75,983	152,355	67,981
比　較	△640	△833	△1,473	587

ア　栃木地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
万町	314	343	657	337	今泉町2丁目	499	489	988	480
倭町	112	125	237	120	仲仕上町	112	95	207	89

旭町	449	463	912	455	藤田町	65	62	127	53
室町	122	130	252	123	久保田町	46	41	87	34
城内町1丁目	262	279	541	261	宮田町	35	31	66	27
城内町2丁目	1,940	1,886	3,826	1,838	高谷町	48	62	110	40
神田町	501	543	1,044	458	樋ノ口町	420	377	797	416
本町	552	527	1,079	531	皆川城内町	512	543	1,055	467
日ノ出町	543	596	1,139	579	柏倉町	160	156	316	116
沼和田町	1,531	1,520	3,051	1,467	小野口町	131	99	230	95
河合町	139	156	295	149	志鳥町	72	70	142	54
片柳町1丁目	862	873	1,735	839	岩出町	52	54	106	41
片柳町2丁目	836	835	1,671	764	大皆川町	122	137	259	107
片柳町3丁目	42	46	88	42	泉川町	241	239	480	240
片柳町4丁目	277	264	541	269	新井町	555	509	1,064	516
片柳町5丁目	285	282	567	258	吹上町	695	714	1,409	664
湊町	167	195	362	187	細堀町	54	62	116	50
富士見町	256	271	527	297	木野地町	164	153	317	137
境町	422	456	878	420	川原田町	1,691	1,767	3,458	1,638
平井町	1,231	1,251	2,482	1,192	野中町	835	849	1,684	696
薗部町1丁目	536	550	1,086	556	宮町	185	174	359	134
薗部町2丁目	617	624	1,241	595	千塚町	204	195	399	162
薗部町3丁目	217	214	431	208	大森町	504	589	1,093	578
薗部町4丁目	441	454	895	384	仲方町	91	76	167	83
入舟町	146	169	315	159	梓町	63	51	114	46
祝町	296	351	647	320	尻内町	255	257	512	218
柳橋町	712	789	1,501	713	梅沢町	264	312	576	266
箱森町	2,810	2,861	5,671	2,561	大久保町	87	87	174	80
小平町	351	360	711	316	鍋山町	397	419	816	361
錦町	232	247	479	218	星野町	78	86	164	81
嘉右衛門町	264	266	530	248	出流町	38	31	69	35
泉町	322	344	666	304	惣社町	891	965	1,856	743
大町	756	747	1,503	699	柳原町	32	40	72	36
昭和町	112	108	220	92	大光寺町	147	153	300	118
大宮町	3,321	3,433	6,754	2,963	田村町	187	196	383	235
平柳町1丁目	838	893	1,731	795	寄居町	153	153	306	124
平柳町2丁目	732	720	1,452	777	国府町	512	495	1,007	377
平柳町3丁目	1,075	1,043	2,118	931	大塚町	985	976	1,961	760
今泉町1丁目	1,020	1,041	2,061	940	合計	37,223	38,019	75,242	34,762

イ　大平地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
富田	4,186	3,862	8,048	3,722	下高島	127	131	258	99
西山田	469	446	915	374	上高島	186	217	403	172
下皆川	836	807	1,643	735	北武井	222	214	436	187
横堀	252	245	497	180	新	1,971	2,005	3,976	1,633
牛久	331	338	669	308	西野田	1,634	1,557	3,191	1,384
川連	238	232	470	221	榎本	287	314	601	249
土与	153	152	305	124	西水代	2,233	2,056	4,289	1,911
蔵井	511	561	1,072	448	伯仲	461	328	789	379
真弓	719	710	1,429	607	合計	14,816	14,175	28,991	12,733

ウ　藤岡地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
部屋	271	282	553	216	藤岡	2,652	2,679	5,331	2,445
新波	140	131	271	115	下宮	9	7	16	9
石川	64	60	124	49	内野	1	－	1	1
帯刀	37	39	76	33	赤麻	703	715	1,418	572
緑川	54	53	107	35	大前	869	800	1,669	746
西前原	33	25	58	27	甲	650	646	1,296	524
蛭沼	236	226	462	190	都賀	495	488	983	385
富吉	217	213	430	179	大田和	126	136	262	100
中根	224	248	472	204	太田	290	286	576	218
					合計	7,071	7,034	14,105	6,048

エ　都賀地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
合戦場	1,411	1,373	2,784	1,155	臼久保	82	72	154	71
平川	847	928	1,775	763	大橋	162	145	307	129
升塚	425	443	868	336	富張	267	255	522	212
家中	1,929	1,844	3,773	1,579	深沢	156	138	294	109
原宿	289	273	562	223	大柿	293	311	604	257
木	366	380	746	293	合計	6,227	6,162	12,389	5,127

オ　西方地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
金崎	803	771	1,574	701	金井	592	553	1,145	465
本城	319	284	603	240	本郷	388	319	707	304

元	369	383	752	320	真名子	495	492	987	389
					合計	2,966	2,802	5,768	2,419

カ　岩舟地域

町名	人口（人）			世帯数	町名	人口（人）			世帯数
	男	女	計			男	女	計	
鷲巣	86	94	180	66	曲ヶ島	339	371	710	330
静	2,745	2,648	5,393	2,313	古江	167	172	339	140
下津原	816	714	1,530	694	新里	325	326	651	261
畳岡	476	462	938	422	三谷	162	153	315	125
五十畑	56	46	102	41	下岡	82	70	152	55
和泉	794	796	1,590	699	上岡	28	30	58	28
静和	1,115	1,112	2,227	960	小野寺	485	481	966	411
静戸	393	316	709	347	合計	8,069	7,791	15,860	6,892

(2)　処理件数

ア　住民票記載等件数

種類		件数（件）	人口増（人）			人口減（人）		
			男	女	計	男	女	計
届出	転入届	2,703	2,975	2,145	5,120	－	－	－
	転居届	1,903	－	－	－	－	－	－
	転出届	2,973	－	－	－	2,721	2,031	4,752
	転出取消	3	－	－	－	－	－	－
	帰化届	1	－	－	－	－	－	－
	国籍取得	1	－	－	－	－	－	－
	変更届	18	－	－	－	－	－	－
	主変更	1,179	－	－	－	－	－	－
	世帯分離	332	－	－	－	－	－	－
	世帯合併	119	－	－	－	－	－	－
職権	出生	593	330	309	639	－	－	－
	死亡	2,456	－	－	－	1,243	1,220	2,463
	職権記載	1	－	－	－	－	－	－
	職権消除	9	－	－	－	163	79	242
	回復	18	22	8	30	－	－	－
	職権訂正	1,606	－	－	－	－	－	－
	抹消	－	－	－	－	－	－	－
	追加	－	156	32	188	－	－	－
通知書	転入通知	3,752	－	－	－	－	－	－
	記載事項の変更通知	298	－	－	－	－	－	－

イ　戸籍の附票記載等件数　（単位：件）

種　　類	戸籍届書	通知書	計
記　　載	11,106	－	11,106
消　　除	4,621	－	4,621
修　　正	－	8,111	8,111
合　　計	15,727	8,111	23,838

(3)　住居表示事務　（単位：件）

家屋新築届による付番	165
付番申出による付番	－
その他変更申出	4
建物廃棄による付番廃止	11
合　　計	180

8　年齢階層別人口統計（市全体）

年齢（歳）	男(人)	女(人)	人口（人）	比率（%）
0～4	1,955	1,893	3,848	2.5
5～9	2,877	2,553	5,430	3.6
10～14	3,134	2,994	6,128	4.0
15～19	3,521	3,222	6,743	4.4
20～24	3,830	3,392	7,222	4.7
25～29	3,658	3,133	6,791	4.5
30～34	3,825	3,169	6,994	4.6
35～39	4,226	3,750	7,976	5.2
40～44	4,883	4,331	9,214	6.1
45～49	5,667	4,967	10,634	7.0
50～54	6,354	5,633	11,987	7.9
55～59	5,170	4,863	10,033	6.6
60～64	4,729	4,580	9,309	6.1
65～69	5,161	5,258	10,419	6.8
70～74	5,847	6,275	12,122	8.0
75～79	5,380	6,087	11,467	7.5
80～84	3,488	4,446	7,934	5.2
85～89	1,861	3,009	4,870	3.2
90～94	654	1,668	2,322	1.5
95～99	134	675	809	0.5
100～	18	85	103	0.1
合　計	76,372	75,983	152,355	100.0

9　一般旅券申請・交付件数（市全体）　（単位：件）

月	申請	交付	月	申請	交付
4月	203	214	10月	189	213
5月	196	199	11月	192	193
6月	205	188	12月	144	165
7月	226	253	1月	226	186
8月	216	200	2月	190	197
9月	213	194	3月	158	163
			合計	2,358	2,365

10　マイナンバーカード交付件数（市全体）　（単位：枚）

月	交付枚数	月	交付枚数
4月	605	10月	1,569
5月	609	11月	1,788
6月	704	12月	2,210
7月	915	1月	1,574
8月	1,063	2月	1,412
9月	1,133	3月	1,643
		合計	15,225

第２節　交通防犯課

〔総括概要〕

交通防犯課では安全・安心な暮らしの確保、快適で利便性の高い暮らしの実現のため次の事業を行った。

交通安全関係業務については、四季の交通安全運動を強力に推進した。特に「ずっと止まれる栃木県」（横断歩道における歩行者保護の徹底）、「ライト4(フォー)運動」（前照灯の早め点灯の推進）に係る取組を行い、市民の交通安全に対する意識の高揚に努めた。

防犯関係業務については、市内のＬＥＤ防犯灯の増設、防犯カメラの更新、防犯パトロールの実施及び特殊詐欺対策機器貸出や自治会の防犯カメラ設置に対する補助により、安全・安心な市民生活の確保に努めた。

地域公共交通関係業務については、栃木市地域公共交通計画に基づき、通勤・通学及び高齢者等の日常生活における移動手段の確保等及び公共交通空白地域の解消を図るため、コミュニティバス（愛称：ふれあいバス）及びデマンド交通（愛称：蔵タク）の運行を実施した。

また、交通事故の減少を図るため、運転免許証の自主返納をした市民に対して支援を行った。

更に､誰もが安全･安心で快適に利用できる公共交通環境の整備を推進するため、ユニバーサルデザインタクシー（誰もが利用しやすいタクシー車両）を導入した事業者に対して補助を行っている。

交通防犯係

1　交通安全関係

市民一人一人が交通ルールを遵守し、交通マナーの一層の向上に努め、交通事故防止を図るため、交通安全運動を推進するとともに、交通安全教室などを実施した。

なお、市内の交通事故発生件数は、351件、死者数は7人、負傷者数は409人であった。

(1)　交通安全運動等

ア　春の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、のぼり旗及び懸垂幕等の掲出。

・実施期間　4月6日（土）～15日（月）

イ　交通安全ゲートボール大会

・実 施 日　4月22日（月）

・場　　所　スパーク栃木

・参 加 者　50人

ウ　暴走族等根絶推進強化月間

公共施設窓口及び市ホームページによる周知。

・実施期間　6月1日（土）～30日（日）

エ　秋の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙による広報、のぼり旗及び懸垂幕等の掲出。

・実施期間　9月21日（土）～30日（月）

オ　栃木市交通安全市民大会

小学生による交通安全作文、高校生による大会宣言などを行った。

・実 施 日　9月28日（土）

・場　　所　栃木市大平文化会館

・参 加 者　300人

カ　年末の交通安全県民総ぐるみ運動

街頭ＰＲ、広報車及び広報紙等による広報、懸垂幕等の掲出。

・実施期間　12月11日（水）～31日（火）

キ　栃木市・小山市合同街頭啓発活動

来場者へのＰＲ、交差点での広報、横断幕等の掲出。

・実 施 日　12月14日（土）

・場　　所　道の駅思川、国道50号線交差点

・参 加 者　106人

(2)　交通安全教室の開催

ア　交通教育指導員による交通安全教室

対　　象　　者	回数（回）	参加者数（人）
幼児(保護者含む)	15	901
小中学校児童･生徒(保護者含む)	7	924
高　　齢　　者	12	229
複 合 ・ そ の 他	2	55
合　　計	36	2,109

イ　スケアード・ストレイト方式交通安全教室（地域予算提案制度による事業）

・実 施 日　4月19日（金）、10月22日（火）

・場　　所　栃木市立大平南中学校、栃木市立赤津小学校

・参 加 者　計650名

(3)　その他の交通安全対策

ア　交通指導員の設置

・任用人数　61人

イ　栃木駅周辺、新栃木駅周辺及び野州平川駅周辺等の放置自転車の撤去を実施。

撤去実績　（単位：台）

実施月	台数	実施月	台数
4月	2	10月	26
5月	6	11月	15
6月	3	12月	3
7月	4	1月	5

8月	2	2月	2
9月	6	3月	12
		合計	86

2　防犯関係

市民の安全・安心を確保するために、ＬＥＤ防犯灯の増設や防犯パトロール等を実施した。また、駅及びその周辺については、防犯カメラを活用し、犯罪の抑止を図った。

(1)　防犯灯の設置等　（単位：灯）

区	分	灯　数
新設工事	本柱へ新設、小柱新設	96
改修工事	修繕、移設、撤去	210
合計		306

(2)　防犯カメラの設置状況　（単位：台）

設置場所	台数	設置場所	台数
栃木駅北口	2	新大平下駅東口	1
栃木駅南口	2	家中駅	2
栃木駅南北連絡通路	2	藤岡駅	2
岩舟駅	2	東武金崎駅	2
新栃木駅西口	1	静和駅	1
新栃木駅東口	1	合戦場駅	1
新栃木自由通路	2	新大平下駅西口	1
大平下駅	2	野州平川駅	1
野州大塚駅	1		
		合計	26

(3)　防犯活動

栃木警察署管内1市1町で組織する栃木地区防犯協会（本市が事務局）において実施した次の事業に参画した。

・会議、地域安全運動、青少年非行防止活動、広報啓発活動等の実施

(4)　防犯パトロール

栃木市駅前広場等迷惑行為防止条例に基づき、市民や来訪者が利用する駅の安全で快適な環境の実現を図るため、警察、学校、防犯関係団体と積極的に連携し、随時、パトロールを実施した。特に、4月から7月までを重点対策期間と定め、迷惑行為防止対策を強力に推進した。

(5)　栃木市歳末防犯防火診断の実施

年末年始における特別警戒期間にあわせ､防犯防火広報啓発活動を警察､防犯協会、消防、防犯団体の協力のもと、市内全地区一斉で実施した。

(6)　防犯カメラ設置費補助金

地域の防犯を目的に、公共の場所に向けて自主的に防犯カメラを設置した自治会に対し、設置費の一部補助を行い2自治会への補助金支給を行った。

(7)　特殊詐欺対策機器貸出

高齢者を狙った特殊詐欺に撃退の効果が有る特殊詐欺対策機器を貸出した。

貸出件数　25件

公共交通対策係

1　ふれあいバス運行事業

栃木市地域公共交通計画に基づき、通勤・通学及び高齢者等の日常生活の移動手段、また、観光客の足として定時定路線のふれあいバスの運行を実施した。

ふれあいバス利用状況

(1)　寺尾線

月	利用状況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	3,443	30	114.8	634,635
5	3,600	31	116.1	430,543
6	3,453	30	115.1	394,816
7	3,458	31	111.5	486,361
8	3,081	31	99.4	471,725
9	3,310	30	110.3	391,817
10	3,472	31	112.0	518,271
11	3,713	30	123.8	405,816
12	3,492	31	112.6	450,635
1	3,357	31	108.3	480,544
2	2,913	28	104.0	312,907
3	3,180	31	102.6	387,363
合　計	40,472	365	110.9	5,365,433
月平均 (切捨)	3,372			447,119

(2)　市街地循環線

月	利用状況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	1,394	30	46.5	161,452
5	1,384	31	44.6	123,635
6	1,378	30	45.9	132,179
7	1,345	31	43.4	170,634
8	1,332	31	43.0	140,361
9	1,387	30	46.2	153,817
10	1,452	31	46.8	181,725
11	1,319	30	44.0	135,271

12	1,278	31	41.2	151,817
1	1,188	31	38.3	135,361
2	1,182	28	42.2	158,453
3	1,292	31	41.7	159,908
合計	15,931	365	43.6	1,804,613
月平均（切捨）	1,327			150,384

(3)　市街地北部循環線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	2,534	30	84.5	362,998
5	2,704	31	87.2	328,544
6	2,625	30	87.5	302,362
7	2,568	31	82.8	319,180
8	2,602	31	83.9	337,089
9	2,654	30	88.5	350,726
10	2,531	31	81.6	272,542
11	2,260	30	75.3	286,907
12	2,394	31	77.2	269,725
1	2,134	31	68.8	246,816
2	2,137	28	76.3	274,906
3	2,459	31	79.3	288,907
合計	29,602	365	81.1	3,640,702
月平均（切捨）	2,466			303,391

(4)　部屋線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	2,738	30	91.3	402,999
5	2,893	31	93.3	356,816
6	2,668	30	88.9	292,817
7	2,874	31	92.7	348,361
8	2,508	31	80.9	336,635
9	2,832	30	94.4	325,907
10	2,987	31	96.4	336,271
11	2,807	30	93.6	295,543
12	2,714	31	87.5	311,543
1	2,566	31	82.8	291,270
2	2,331	28	83.3	258,543
3	2,514	31	81.1	319,633

合計	32,432	365	88.9	3,876,338
月平均（切捨）	2,702			323,028

(5)　真名子線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	2,398	30	79.9	419,362
5	2,499	31	80.6	334,998
6	2,441	30	81.4	307,452
7	2,510	31	81.0	367,271
8	2,263	31	73.0	405,725
9	2,507	30	83.6	351,726
10	2,518	31	81.2	429,453
11	2,386	30	79.5	301,908
12	2,513	31	81.1	349,725
1	2,215	31	71.5	387,362
2	2,107	28	75.3	271,635
3	2,464	31	79.5	345,908
合計	28,821	365	79.0	4,272,525
月平均（切捨）	2,401			356,043

(6)　金崎線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	461	30	15.4	51,907
5	447	31	14.4	51,453
6	471	30	15.7	60,726
7	413	31	13.3	56,180
8	453	31	14.6	52,362
9	427	30	14.2	44,725
10	485	31	15.6	53,090
11	414	30	13.8	47,998
12	407	31	13.1	49,362
1	394	31	12.7	47,635
2	356	28	12.7	46,272
3	415	31	13.4	48,271
合計	5,143	365	14.1	609,981
月平均（切捨）	428			50,831

(7)　大宮国府線

月	利　用　状　況	収入総額

				（円）税抜
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	
4	825	30	27.5	96,725
5	833	31	26.9	92,908
6	827	30	27.6	82,998
7	878	31	28.3	91,544
8	778	31	25.1	102,998
9	835	30	27.8	92,180
10	840	31	27.1	88,997
11	787	30	26.2	92,725
12	756	31	24.4	84,089
1	684	31	22.1	60,725
2	658	28	23.5	72,817
3	741	31	23.9	114,634
合計	9,442	365	25.9	1,073,340
月平均（切捨）	786			89,445

(8)　皆川樋ノ口線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	（円）税抜
4	1,088	30	36.3	150,454
5	1,187	31	38.3	146,089
6	1,049	30	35.0	110,180
7	1,173	31	37.8	127,726
8	927	31	29.9	144,543
9	1,055	30	35.2	134,725
10	1,106	31	35.7	133,816
11	1,013	30	33.8	107,453
12	1,102	31	35.5	127,999
1	1,095	31	35.3	96,635
2	1,016	28	36.3	125,998
3	973	31	31.4	123,272
合計	12,784	365	35.0	1,528,890
月平均（切捨）	1,065			127,407

(9)　小野寺線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	（円）税抜
4	629	30	21.0	90,270
5	731	31	23.6	98,544

6	703	30	23.4	80,543
7	594	31	19.2	90,089
8	506	31	16.3	77,816
9	752	30	25.1	85,362
10	702	31	22.6	121,090
11	755	30	25.2	87,361
12	865	31	27.9	94,635
1	694	31	22.4	109,453
2	743	28	26.5	87,725
3	800	31	25.8	97,725
合計	8,474	365	23.2	1,120,613
月平均（切捨）	706			93,384

(10)　大平線　(11)　藤岡線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	1,477	30	49.2	155,998
5	1,607	31	51.8	175,090
6	1,524	30	50.8	170,271
7	1,593	31	51.4	167,998
8	1,537	31	49.6	170,544
9	1,320	30	44.0	168,635
10	1,426	31	46.0	164,907
11	1,423	30	47.4	172,817
12	1,428	31	46.1	188,088
1	1,262	31	40.7	144,817
2	1,201	28	42.9	152,816
3	1,333	31	43.0	182,725
合計	17,131	365	46.9	2,014,706
月平均（切捨）	1,427			167,892

(12)　岩舟線

月	利　用　状　況			収入総額
	利用者数(人)	日数(日)	日平均(人／日)	(円) 税抜
4	2,627	30	87.6	344,453
5	2,605	31	84.0	333,816
6	2,402	30	80.1	278,090
7	2,301	31	74.2	306,817
8	2,192	31	70.7	266,543
9	2,322	30	77.4	283,090

10	2,164	31	69.8	291,362
11	2,188	30	72.9	222,817
12	2,016	31	65.0	233,180
1	1,837	31	59.3	247,726
2	1,934	28	69.1	235,907
3	3,107	31	100.2	416,998
合計	27,695	365	75.9	3,460,799
月平均（切捨）	2,307			288,399

2　蔵タク運行事業

栃木市地域公共交通計画に基づき、高齢者等の日常生活における移動手段を確保し、併せて定時定路線運行のバスでは補いきれない、公共交通空白地域を解消するため、市内全域で蔵タクの運行を実施した。

(1)　蔵タク利用登録者数

25,714 人

(2)　蔵タク利用状況

月	利　用　状　況			収入総額
	延利用者数（人）	日数（日）	日平均（人／日）	（円）
4	3,771	21	179.6	930,000
5	3,674	21	175.0	901,700
6	3,374	20	168.7	809,900
7	3,713	22	168.8	899,250
8	3,206	21	152.7	813,050
9	3,378	19	177.8	841,400
10	3,657	22	166.2	877,300
11	3,308	20	165.4	808,100
12	3,369	20	168.5	793,600
1	2,882	19	151.7	698,200
2	2,856	18	158.7	694,200
3	3,216	20	160.8	741,700
合計	40,404	243	166.3	9,808,400
月平均（切捨）	3,367			817,366

3　運転免許証自主返納支援事業

交通安全対策のため、運転免許証の全てを自主返納した市民を対象に、ふれあいバスと蔵タクの共通乗車券 10,000 円分を交付した。（1 人につき 1 回限り）

・支援人数　546 人（平均年齢 79.05 歳）

4　ユニバーサルデザインタクシー導入促進補助金の交付

障がいの有無、年齢等にかかわらず、誰もが快適に利用できる公共交通環境の整備を推進するため、ユニバーサルデザインタクシー（誰もが利用しやすいタクシー車両）を導入した市内に事務所を有する事業者等に対し、補助金の交付を行っている。

・交付件数　0件（導入事業者等なし）

第３節　保険年金課

〔総括概要〕

保険年金課では、国民健康保険事業、国民年金事業、各種医療費助成事業及び後期高齢者医療事業等、地域住民の医療の確保と健康の保持・増進を目指して、「健康で生きがいを持てるまちづくり」の推進を図った。

国民健康保険事業においては、被保険者からの届出に基づき国保資格の取得、喪失等の異動を行うとともに各種届書及び申請書等の受付のほか、療養の給付、療養費・高額療養費等の保険給付の手続、疾病予防及び医療費の抑制を図る特定健康診査事業・データヘルス事業・人間ドック検診助成等の保健事業の実施、医療費の適正化を図るレセプト点検等を行った。

国民年金事業においては､法定受託事務として各種届出の受理･進達等を行った。

また、年金受給権確保のため、免除申請や学生納付特例等の受付、窓口等による相談及び各種啓発や広報を行った。

こども医療費助成事業においては、医療ＤＸの取組みの一つとして、マイナンバーカードを利用してオンラインによる資格確認を実現するためのシステム（ＰＭＨ）の構築を行い体制を整備した。

また、不妊治療、不育症治療を受けている夫婦に対して、経済的負担軽減を図るため、保険適用外治療費の一部を助成した。

後期高齢者医療事業においては、各種届出書及び申請書等の受付のほか、栃木県後期高齢者医療広域連合との連携を図りながら、健康診査事業、人間ドック検診助成事業、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施などの高齢者保健事業を実施した。

国保係

1　国民健康保険被保険者等の状況

(1)　世帯数及び被保険者数

区分	前年度末現在	本年度中増減	本年度末現在	年間平均	年度末加入率
世帯数	20,652世帯	△558世帯	20,094世帯	20,512世帯	29.6%
被保険者数	31,619人	△1,497人	30,122人	31,083人	19.8%

※年間平均　国保資格者数は毎月変動するため、毎月末数を合算し12で除したもの

※年度末加入率　栃木市の人口と世帯数に対して国保加入者の割合

(2)　異動届件数（転入・転出を含む）　（単位：件）

取得届	喪失届	その他	合計
5,452	7,197	710	13,359

2　国民健康保険運営協議会

(1)　国保運営協議会協議事項

実施日	協　　議　　事　　項	協議事項の処理
7月29日	1 会長及び職務代理者の選挙について	
	2 令和6年度事業計画（案）について	承　認
	3 国民健康保険税率等の見直し及び課税限度額の引上げについて	
8月23日	1 令和5年度栃木市国民健康保険特別会計決算について	
	2 令和5年度データヘルス事業の実績について	
	3 国民健康保険税率等の見直しについて	
10月16日	国民健康保険運営協議会委員研修会	Web会議
11月28日	国民健康保険税率等の見直しについて	
2月12日	令和7年度栃木市国民健康保険特別会計予算（案）について	承　認

(2)　国保運営協議会委員定数　18人　　（単位:人）

区　　分	被保険者代表	保険医･薬剤師代表	公益代表
人　　数	6	6	6

3　保険給付状況

(1)　療養給付費

件数（件）	費用額（円）	保険者負担分（円）	一部負担金（円）	他法負担分(円)	
				他法優先	国保優先
571,511	13,128,893,480	9,641,681,544	1,712,402,828	－	411,212,306

(注1)令和4年3月～令和5年2月診療の12か月分の療養給付費である

(注2)入院時食事療養費、生活療養費標準負担額差額代は含まれていない

(2)　療養費

件数（件）	費用額（円）	保険者負担分（円）	一部負担金（円）	他法負担分(円)	
				他法優先	国保優先
8,285	89,204,672	65,451,452	23,753,220	－	0

(3)　高額療養費

件数(件)	支給額(円)
20,788	1,493,377,860

(4)　高額介護合算療養費

件数(件)	支給額(円)
40	814,106

(5)　その他の給付

区　　分	件数（件）	支給額（円）	備　　考

出産育児一時金	61	29,774,860	産科医療保障制度対象出産の場合1件当たり50万円、対象外出産の場合1件当たり48万8千円(令和5年3月以前の出産は1件当たり42万円、対象外出産の場合1件当たり40万8千円)
葬祭費	265	13,250,000	1件当たり5万円
合計	326	43,024,860	

4　医療費総費用額（療養給付費・療養費）の状況

総件数(件)	総費用額(円)	1件当たり費用額(円)	1人当たり費用額(円)
579,796	13,218,098,152	22,798	425,252

※1件当たり費用額　総費用額を総件数で除したもの

※1人当たり費用額　総費用額を１(1)に記載の年間平均被保険者数で除したもの

5　月別の療養給付費保険者負担分　（単位：円）

年度／月	令和5年度	令和6年度
3	941,003,408	820,433,710
4	818,188,482	787,680,998
5	860,288,613	821,925,542
6	857,259,479	818,669,253
7	839,995,005	863,030,730
8	886,804,180	800,450,949
9	916,385,639	783,559,457
10	899,089,806	817,446,819
11	858,186,782	813,808,192
12	851,784,426	813,753,601
1	825,822,030	784,884,684
2	812,851,851	716,037,609
合計	10,367,659,701	9,641,681,544

6　国民健康保険事業費納付金の状況　（単位：円）

区分		納付金額
医療分	一般被保険者	2,595,099,969
後期高齢者支援金分	一般被保険者	1,091,872,628
介護納付金分		357,426,598

合計	4,044,399,195

7　特定健康診査実施状況　（単位：人）

集団健診	個別健診	合計
6,476	1,215	7,691

8　人間ドック検診状況　（単位：人）

種別	実施人数
一般	820
脳	62
宿泊	4
合計	886

9　医療費通知実施状況

回数	対象月	件数（件）	発送月
1	令和5年11月～令和5年12月診療分	16,523	8月
2	令和6年01月～令和6年10月診療分	19,727	2月
合計		36,250	

10　後発医薬品利用差額通知実施状況

回数	対象月	件数（件）	発送月
1	令和6年05月診療分	217	8月
2	令和6年11月診療分	62	2月
合計		279	

11　受診勧奨通知事業

種　別	件数（件）
特定健診受診率向上事業	20,000
健診異常値放置者受診勧奨事業	605
生活習慣病治療中断者受診勧奨事業	87
合計	20,692

12　受診行動適正化指導事業

実施時期	種別	人数（人）
9月	重複服薬者	4
	頻回受診者	3
2月	重複服薬者	2
	頻回受診者	3

合計	12

年金係

1　国民年金適用関係

(1)　国民年金被保険者数　（単位：人）

区分	人数
第1号被保険者	15,501
第3号被保険者	7,381

(2)　国民年金関係諸届の受理件数　（単位：件）

種別	令和5年度	令和6年度	種別	令和5年度	令和6年度
新規取得届	510	664	訂正・取消・不在	99	69
新規取得申出	3	0	付加年金取得届	58	51
再取得届	2,031	1,976	付加年金喪失届	18	15
再取得申出	32	23	法定免除該当届	135	162
資格喪失届	910	950	法定免除消滅届	23	48
資格喪失申出	9	6	通知書再交付届	23	20
種別変更届	340	316	その他	44	43
			合計	4,235	4,343

2　国民年金保険料免除関係

(1)　免除者数　（単位：人）

種別	免除者数
法定免除	1,796
申請免除（全額免除）	2,185
〃（3/4免除）	170
〃（半額免除）	119
〃（1/4免除）	84
納付猶予	743
学生納付特例	1,557
産前産後免除	6
合計	6,660

(2)　免除申請受付件数　（単位：件）

種類	令和5年度	令和6年度
免除・納付猶予申請	707	548
学生納付特例申請	237	184
合計	944	732

3　国民年金請求受理件数　（単位：件）

給付種類	令和5年度	令和6年度
老齢基礎年金	8	10
障害基礎年金	75	82
遺族基礎年金	0	2
寡婦年金	2	2
死亡一時金	16	8
未支給年金	28	32
老齢福祉年金	0	0
合計	129	136

4　年金相談窓口相談件数　（単位：件）

相談の内訳	令和5年度	令和6年度
来訪相談	4,372	4,517
電話相談	1,664	1,654
文書相談	3	6
合計	6,039	6,177

医療給付係

1　重度心身障がい者医療費助成

重度心身障がい者の保健の向上と福祉の増進を図るため、身体障害者手帳の交付を受けた1級又は2級の人、療育手帳の交付を受けたＡ1若しくはＡ2、又はＩＱ35以下の人、身体障害者手帳の交付を受けた3級又は4級でＩＱ（知能指数）50以下の人、及び精神障害者保健福祉手帳の交付を受けた1級の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表1】重度心身障がい者医療費助成支給状況参照

・障がい別登録人員　（単位：人）

障がいの程度	登録人員	
	令和5年度末現在	令和6年度末現在
身体の障がいが1級の者	1,796（1,019）	1,796（1,037）
身体の障がいが2級の者	747（　388）	728（　382）
ＩＱが35以下の知的障がい者	426（　42）	436（　43）
身体の障がいが3～4級でIQが50以下の重複障がい者	6（　1）	6（　1）
精神の障がいが1級の者	250（　42）	259（　43）
合計	3,225（1,492）	3,225（1,506）

※（　）内の数は、後期高齢医療該当者である。

2　こども医療費助成

子どもの疾病の早期発見と治療を促し、子どもの健やかな成長と発育を図るため、出

生した日から高校3年修了時（18歳到達後最初の3月31日）までの子どもの医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表2】こども医療費助成支給状況参照

3　妊産婦医療費助成

妊産婦の疾病の早期発見と治療を促進し、母子保健の向上を図るため、妊娠の届出（母子健康手帳の交付）月の初日から出産した月の翌月の末日までの妊産婦の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表3】妊産婦医療費助成支給状況参照

4　ひとり親家庭医療費助成

ひとり親家庭の親と子の心身の健康の保持及び福祉の増進を図るため、18歳未満の児童のいるひとり親家庭の親で児童扶養手当法の所得制限額未満の人の医療費（保険診療自己負担分）を助成した。

・支給状況　【別表4】ひとり親家庭医療費助成支給状況参照

5　各種医療費助成対象者数（受給資格者証交付数）　（単位：人）

種　別	5年度末現在	新規(交付)	資格喪失	6年度末現在
重度心身障がい者医療費助成	3,237	259	271	3,225
こども医療費助成	21,605	933	1,595	20,943
妊産婦医療費助成	1,207	626	713	1,120
ひとり親家庭医療費助成	869	167	159	877
合計	26,918	1,985	2,738	26,165

※支所交付分を含む

※ひとり親家庭医療費助成の該当児（高校生）は、こども医療費助成対象年齢拡大のため喪失に含む。

6　不妊治療費助成

不妊治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から県等の給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（15万円を限度に通算5回）を助成した。

助成件数　（件）	26
治療費総額（円）	8,950,372
助成金総額（円）	2,692,300

7　不育症治療費助成

不育症治療を受けている夫婦の経済的負担の軽減を図るため、保険適用外治療費から他の制度による給付金を控除した額を基準額として、その2分の1の額（1年度30万円を限度）を助成した。

助成件数　（件）	1
治療費総額（円）	165,077
助成金総額（円）	82,500

8　後期高齢者医療制度

平成 20 年 4 月 1 日から老人保健制度に替わり、栃木県後期高齢者医療広域連合を運営主体とする後期高齢者医療制度が開始されており、市の窓口では資格及び給付関係の申請受付等を行った。

(1)　被保険者数　（単位：人）

被保険者数	65 歳以上 75 歳未満被保険者数（再掲）
27,427	337

※障がい認定者　一定の障害のある 65 歳以上 75 歳未満の方

(2)　各種申請書等受付件数　（単位：件）

申請書種類	件　数
資格関係届出	1,412
高額療養費申請	1,821
その他の療養費申請	2,727
葬祭費申請	1,777
合計	7,737

※支所受付分を含む

9　高齢者保健事業

生活習慣病を早期に発見し、重症化予防を図るため、健康診査、歯科健康診査、人間ドック検診を実施した。また、令和 4 年度から栃木県後期高齢者医療広域連合の委託を受け、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を開始した。

(1)　健康診査実施状況　（単位：人）

集団健診	個別健診	合計
3,769	1,881	5,650

(2)　歯科健康診査実施状況　（単位：人）

集団健診	個別健診	合計
22	467	489

(3)　人間ドック検診状況　　（単位：人）

種別	実施人数
一般	309
脳	48
宿泊	1
合計	358

(4)　高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

・実施事業：健康状態不明高齢者対策事業、糖尿病腎症重症化予防事業（受診勧奨）

・実施圏域：4圏域（大平地域、都賀地域、吹上地区、大宮地区）

ア　健康状態不明高齢者対策事業

(ｱ)　「高齢者の暮らしと健康」に関するアンケート実施状況

圏域名	送付人数（人）	回収人数（人）	回収率（%）
大平地域	15	12	80
都賀地域	11	11	100
吹上地区	6	4	66.6
大宮地区	23	23	100

(ｲ)　訪問等実施状況　　（単位：人）

圏域名	実施人数
大平地域	6
都賀地域	3
吹上地区	4
大宮地区	10

イ　糖尿病腎症重症化予防事業（受診勧奨）

(ｱ)　受診勧奨実施状況　　（単位：人）

圏域名	郵送	訪問
大平地域	7	3
都賀地域	3	2
吹上地区	1	0
大宮地区	3	2

【別表1】重度心身障がい者医療費助成支給状況

区分 / 保険の種別	登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額（円）				支給額（円）
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	1,044	26,160	2,396,400,550	158,527,210	303,416	－	－	303,416	158,223,794
社会保険	675	15,943	1,112,952,343	104,595,224	1,356	82,000	－	83,356	104,511,868
後期高齢者医療	1,506	39,900	3,087,705,700	140,053,443	1,075,600	－	－	1,075,600	138,977,843
合　　計	3,225	82,003	6,597,058,593	403,175,877	1,380,372	82,000	－	1,462,372	401,713,505

※登録人員は、令和6年度延べ数

【別表2】こども医療費助成支給状況

区分 / 保険の種類		登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額（円）				支給額（円）
						高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
未就学児	国民健康保険	6,035	9,894	110,365,780	17,660,359	0	0	0	0	17,660,359
	社会保険		98,132	865,730,690	160,314,362	46,036	56,012	0	102,048	160,212,314
	計		108,026	976,096,470	177,974,721	46,036	56,012	0	102,048	177,872,673
小学生	国民健康保険	7,040	11,496	90,388,320	24,820,059	0	0	0	0	24,820,059
	社会保険		96,418	753,285,760	209,679,109	48,737	27,000	0	75,737	209,603,372
	計		107,914	843,674,080	234,499,168	48,737	27,000	0	75,737	234,423,431
中学生	国民健康保険	3,840	5,141	39,259,132	11,984,069	0	0	0	0	11,984,069
	社会保険		76,367	370,084,260	100,123,524	0	24,300	0	24,300	100,099,224
	計		81,508	409,343,392	112,107,593	0	24,300	0	24,300	112,083,293
高校生	国民健康保険	4,028	5,189	50,967,340	13,900,383	0	0	0	0	13,900,383
	社会保険		40,888	371,099,790	97,690,259	68,514	68,518	0	137,032	97,553,227
	計		46,077	422,067,130	111,590,642	68,514	68,518	0	137,032	111,453,610
合　　計		20,943	343,525	2,651,181,072	636,172,124	163,287	175,830	0	339,117	635,833,007

※登録人員は、令和6年度延べ数

【別表3】妊産婦医療費助成支給状況

区分 / 保険の種類	登録人員（人）	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額（円）				支給額（円）
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	107	424	12,227,310	2,523,566	237,103	－	－	237,103	2,286,463
社会保険	1,013	4,806	135,522,380	25,460,416	1,209,895	2,908,922	－	4,118,817	21,341,599
合　　計	1,120	5,230	147,749,690	27,983,982	1,446,998	2,908,922	－	4,355,920	23,628,062

※登録人員は、令和6年度延べ数

【別表4】ひとり親家庭医療費助成支給状況

区分 / 保険の種類	登録人員	助成件数（件）	医療費総額（円）	一部負担金額（円）	控除額（円）				支給額（円）
					高額療養費給付額	附加給付額	自己負担金額	計	
国民健康保険	279世帯 279人	2,952	40,779,030	9,592,267	1,235,740	－	－	1,235,740	8,356,527
その他	598世帯 598人	6,651	72,744,790	18,476,857	385,988	119,832	－	505,820	17,971,037
合　　計	877世帯 877人	9,603	113,523,820	28,069,124	1,621,728	119,832	－	1,741,560	26,327,564

※登録人員は、令和6年度延べ数

第４節　環境課

〔総括概要〕

今日の環境問題は、河川や土壌の汚染、騒音、悪臭の問題など、市民の日常生活に直接関わるものから、地球温暖化、自然破壊による生物多様性の問題など、人類への影響のみならず、地球上の生命の生存そのものを脅かすものまで、複雑・多岐で深刻な課題を抱えており、その解決のためには、地域はもとより、全世界を挙げた取組を進めることが求められている。

これらの諸課題に対応し、環境行政の円滑で積極的な推進を図るため、本課においては、2係の体制により事務を推進している。

環境政策係では、第２次環境基本計画に基づき、市の事業に伴う温室効果ガス削減の推進、再生可能エネルギーの普及啓発、及び特定外来生物対策等を行った。

再生可能エネルギー普及のため、市民に対して太陽光発電をエネルギー源とする定置型蓄電池及び電気自動車充給電システムの設置費の一部補助を行ったほか、太陽光発電設備を設置するため市有施設の屋根貸出しを継続実施している。

また、生物多様性の観点から、主に特定外来生物クビアカツヤカミキリ被害木の防除対策、伐採を推進するため、伐採費等の一部補助を行った。また、県が主体となり本市と近隣の足利市・佐野市を含めたクビアカツヤカミキリ防除研究部会を発足し生態調査を開始した。

このほか、環境イベントや出前講座を実施し、市民への啓発を行った。

環境保全係では、栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく事務など県からの権限移譲に対応しつつ､県と連携して公害発生原因者への指導等を行うとともに、土砂等の埋立てによる土壌汚染と災害の発生防止を図ったほか、市営墓地の円滑な管理・運営に努めた。

また、あじさいの杜（栃木市斎場）が令和５年 10 月１日から供用開始となり、施設の運営及び維持管理業務を令和 20 年度までＰＦＩ事業者が実施していく予定である。

環境政策係

1　環境審議会

環境基本法(平成5年法律第91号)第44条の規定に基づき市長の諮問に応じ環境の保全及び創造に関する基本的な方針に関する事項、環境基本計画に関する事項及びその他環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進する上で必要な事項を調査審議するために設置した。

(1)　開催状況

	開催日	場　所	議　事
第1回	5月17日(金)	栃木市役所	･し尿処理施設整備基本構想（案）について

		正庁	・(仮称) とちぎゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップについて
第2回	1月8日(水)	栃木市役所 正庁	・(仮称) とちぎゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップについて ・令和5年度第2次栃木市環境基本計画年次報告書(案)について

2　環境づくり市民懇談会

栃木市環境基本計画に基づき、環境の保全及び創造に関する施策に広く市民の意見を求める場として、栃木市環境づくり市民懇談会を設置し、環境基本計画を推進するための意見交換を実施した。

開催状況

開催日	場　所	議　事
10月30日(水)	栃木市役所 正庁	・(仮称) とちぎゼロカーボンシティ実現に向けたロードマップについて ・令和5年度第2次栃木市環境基本計画年次報告書(案)について

3　栃木市役所地球温暖化対策実行計画

・計画期間　令和5(2023)年度～令和9(2027)年度

・削減実績

削減項目	基準値(H26)	増減率	実績値(R6)
温室効果ガス　(t-co2)	26,635	▲22%	20,759
廃棄物処理量　(t)	43,342	▲9%	37,942

・研修等実施状況

実施日	場　所	内　容	参加人数
9月30日(月)	本庁3階　正庁	・地球温暖化 ・栃木市役所地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	52人

4　栃木市役所グリーン購入調達方針

行政事務事業活動から生じる環境負荷を低減し、持続可能な社会の形成に資することを目的として、市役所内におけるグリーン購入の推進を図った。

・対象範囲　市のすべての機関。ただし、指定管理者施設については、方針の趣旨を踏まえ、グリーン購入の推進に努めることとする。

・特定調達品目　閣議決定物品のうち22項目280品、本市独自物品を2項目4品、計24項目284品

・調達実績(平均)　69.4%

5　環境学習・啓発活動事業

(1)　親と子の水辺教室の開催

夏のわくわく大作戦！親子水辺教室（渡良瀬遊水地課と共催）

・日時　7月27日（土）9：00～12：00

・内容　カヌー体験、ミニ植物観察会、渡良瀬遊水地の役割に関する学習、
環境学習(生物多様性)

・場所　渡良瀬遊水地　こども広場ゾーン 谷中湖湖畔、体験活動センター研修室

・対象：小学生と保護者　定員：16名×2班、計32名

(2)　環境講座

・出前講座

実施日	場　　所	講座名	参加人数
6月11日(火)	西水代集会所	知ってる？カーボンニュートラル	12人
6月21日(金)	市役所　正庁	環境・エコ啓発講座	40人
7月24日(水)	大宮公民館	知ってる？カーボンニュートラル	15人
8月1日(木)	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流センター)	サイエンススクールin　Panasonic	30人

(3)　イベント

エコライフinとちぎの開催

・開催日　　2月8日(土)

・場　所　　とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)

・内　容　　講演会「ネパールでの活動から学んだこと～私にとってのSDGｓ」
講師　野口健（登山家）
環境保全に関する啓発展示

・来場者　　約800人

6　バルクリースによる低炭素設備賃貸借業務

平成30年度に「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金既存建築物等における省ＣＯ2改修支援事業・地方公共団体所有施設の省ＣＯ2改修支援事業(バルクリース)」を活用し、市有施設の設備を省エネ性能の高い高効率機器に一括で改修した。

(1)　対象施設及び改修設備

ア　改修設備　　照明　5,107台　空調　27基

イ　改修対象施設　　35施設

(2)　契約相手方

三菱ＨＣキャピタル株式会社　執行役　安栄　香純

（東京都港区西新橋1丁目3番1号）

(3)　リース期間

平成31年3月1日～令和11年2月28日までの10年間

(4)　契約金額　　190,654,560円（税込）

7　路上喫煙防止対策事業

路上喫煙に関するマナー推進条例施行周知及び美化活動

ア　栃木駅（北口）：足つき地図看板1基、路面標示8か所、喫煙所（灰皿）1か所

イ　栃木駅（南口）：足つき地図看板1基、路面標示7か所、喫煙所（灰皿）1か所

ウ　大通り（県道）：キュービクル用看板13か所、路面標示14か所

エ　巴波川綱手道等（市道）：路面標示22か所

オ　市内各駅※　　：立看板各1基（合計13基）

8　狂犬病予防業務

(1)　犬の登録　　（単位:頭）

新規登録数	登録抹消数	登録総数
650	521	8,379

(2)　狂犬病予防注射

ア　春季集合注射

・実施期間　4月11日（木）、 12日（金）、13日（土）、16日（火）、17日（水）、18日（木）、20日（土）、27日（土）

・実施会場　市内31会場

・実施数　　1,166頭

イ　秋季集合注射

・実施期間　10月11日（金）、12日（土）、17日（木）、18日（金）、19日（土）

・実施会場　市内17会場

・実施数　　286頭

ウ　個別注射

・実施方法　各動物病院等において個別に実施

・実施数　　3,884頭

9　犬猫不妊手術費補助金交付業務

犬又は猫の無秩序な繁殖を抑制するとともに、犬又は猫の飼養者の健全な飼養意識の高揚を図ることを目的に、市内で飼養されているメス犬又はメス猫の不妊手術の一部を補助した。

補助金交付状況

区　　分	補助件数(件)	補助金額(円)
犬(一頭当たり5,000円)	100	500,000
猫(一頭当たり4,000円)	250	1,000,000
合　　計	350	1,500,000

10　生物多様性保全事業

特定外来生物クビアカツヤカミキリによる生態系に対する被害を早急に防止し、蔓延・定着の防止を図る事業を行った。

市が新たに確認した市内被害木件数　（単位:本）

地域	樹木種					地域合計
	サクラ	ウメ	モモ	ハナモモ	その他	
栃木	200	8	6	4	1	219
大平	4	9	2	0	0	15
藤岡	30	2	0	1	2	35
都賀	11	4	0	3	0	18
西方	2	0	0	0	0	2
岩舟	47	1	1	1	4	54
樹木種合計	294	24	9	9	7	343

(1)　市民への周知及び市民からの被害木の情報収集

ア　広報等を利用し、クビアカツヤカミキリの生態について市民への周知・啓発を図るとともに、市民からの被害木の情報収集を行った。

イ　市内小学校へ情報提供のポスターを配布

(2)　栃木県外来種被害対策協議会との連携事業

栃木県外来種被害対策協議会との連携事業として、民有地におけるクビアカツヤカミキリ被害木に対する防除対策、樹木管理者への防除指導を実施した。

また、樹木管理者に対し、防除ネット等の資材及び殺虫剤の配布を行った。

(3)　クビアカツヤカミキリ防除研究部会

クビアカツヤカミキリの生態調査や防除対策の研究部会が、県が主体となり、県内でも被害の多い3市(栃木市、佐野市、足利市)で発足した。

(4)　栃木市クビアカツヤカミキリ被害木伐採推進事業費補助金交付事務

クビアカツヤカミキリによる被害の拡大防止を図るため、市内に存する被害木を所有(管理)する者に対し、被害木の伐採等の費用の一部補助を行った。

・補　助　額　　被害木の伐採、切断及び運搬に必要な費用の合計額に6分の5を乗じて得た額(千円未満の端数があるときは、切捨て)
・補助限度額　　250,000円
・補 助 申 請　　58件
・補 助 総 額　11,156,000円
・伐 採 本 数　　123本

11　住宅用低炭素設備設置費補助事業

地球温暖化防止対策の一環として、定置型蓄電池及び電気自動車充給電システムの設置費に対し一部補助を行った。

(1)　定置型蓄電池

・補　助　額　　補助対象費用の10%
・補助限度額　　50,000円

・補 助 件 数　　117件
・補 助 総 額　　5,850,000円

(2)　電気自動車充給電システム
・補　助　額　　一律40,000円
・補 助 件 数　　3件
・補 助 総 額　　120,000円

12　市有施設屋根貸出事業

太陽光発電を促進するため、市有施設の屋根部分を民間事業者に有償で貸出すことで財源確保に努めた。

・使用料　年間2,846,691円

環境保全係

1　斎場関係

(1)　斎場使用状況　　（単位：件）

区　分	斎場				
	大　人	小　人	その他	死産児	計
市　内	2,418	1	5	14	2,438
市　外	36	－	1	1	38
合　計	2,454	1	6	15	2,476

(2)　新斎場整備運営事業（ＰＦＩ）

PFI事業者による施設整備が完了し、維持管理・運営業務を開始した。

区分	金額（円）	備考
施設整備費	44,837,564	割賦払分（サービス購入料B　R6年度分） 割賦払い分元本の総額に係る消費税
維持管理・運営費	135,600,204	R6年度分

(3)　業務委託

下記の業務委託を実施した。

業務委託名	金額（円）	備考
栃木市新斎場整備運営事業に伴う維持管理・運営モニタリング業務委託	3,278,000	R4～R7年度事業 ※総額 10,516,000円
市道61095号線除草外業務委託	473,000	

2　改葬許可件数

・315件

3　動力噴霧機・草刈機貸出状況

自治会に対し、衛生害虫駆除のための動力噴霧機の貸出しを行った。また、市民及び自治会に対し病害虫発生の源となる雑草を刈るための草刈機の貸出しを行った。

・動力噴霧機　　貸出台数　延べ　　6台

・草　刈　機　　貸出台数　延べ　　114台

刈払面積　延べ　63,417㎡

4　栃木市墓園使用許可状況

(1)　栃木市聖地公園

ア　区画別許可数　（単位：区画）

種別及び面積	造　成　数	許　可　数
第1種（芝生墓所）5㎡	177	173
第2種（芝生墓所）6㎡	168	150
第3種（芝生墓所）5㎡	344	332
第4種（一般墓所）5㎡	152	146
第5種（芝生墓所）5㎡	555	535
第6種（芝生墓所）5㎡	198	184
第7種（芝生墓所）5㎡	600	590
第8種（一般墓所）5㎡	88	80
第9種（芝生墓所）2㎡	200	190
合　計	2,482	2,380

イ　合葬墓地許可数　（単位：体）

種別	収　蔵　数	許　可　数
合葬墓地	2,600	101

(2)　栃木市都賀聖地公園墓地　（単位：区画）

種別及び面積	造　成　数	許　可　数
第1種（芝生墓所）　6㎡	441	438
第2種（芝生墓所）10㎡	22	22
第3種（芝生墓所）　6㎡	145	144
第4種（芝生墓所）　6㎡	185	182
合　計	793	786

(3)　栃木市藤岡中根墓地・栃木市藤岡太田墓地　（単位：区画）

名称及び面積	造　成　数	許　可　数
藤岡中根墓地　　5㎡、7.29㎡	270	267
藤岡太田墓地　　5㎡、7.29㎡	78	78
合　計	348	345

(4)　栃木市西方菅ノ沢墓地・栃木市西方東上林墓地　（単位：区画）

名称及び面積	造　成　数	許　可　数

西方菅ノ沢墓地　　19.85㎡	10	10
西方東上林墓地　　6.6㎡	25	24
合　計	35	34

5　公害関係

(1)　大気関係

ア　光化学スモッグ注意報発令状況　　（単位：回）

発令月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
発令回数	－	－	－	－	－	－	0

イ　大気汚染防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
大気汚染防止法に基づく届出	2	2	10	11
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	-	-

(2)　水質関係

ア　水質汚濁防止法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等届出状況　　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他
水質汚濁防止法に基づく届出	14	10	10	16
栃木県環境保全条例に基づく届出	-	-	2	-

(3)　騒音関係

ア　自動車騒音常時監視業務

栃木県より平成24年4月から権限移譲を受けたもので地域の騒音暴露状況を経年的に統計立て監視業務を実施して環境省（環境大臣宛）に報告を行うもの。

栃木市は県からのデータを基に110か所の道路区間を5年間に分けて自動車騒音常時監視業務を実施する。本年度は25か所の道路区間で業務を実施した。

イ　騒音規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
騒音規制法に基づく届出	2	1	－	1	10
栃木県環境保全条例に基づく届出	6	7	1	9	9

(4)　振動関係

振動規制法及び栃木県生活環境の保全等に関する条例に基づく特定施設等の届出状況　　（単位：件）

届　出　の　種　類	設置届	変更届	廃止届	その他	特定建設作業実施届
振動規制法に基づく届出	-	2	－	2	6

栃木県環境保全条例に基づく届出	4	5	－	7	7

(5)　その他

ア　公害苦情受付件数　（単位：件）

大　気	水　質	騒　音	振　動	悪　臭	土　壌	その他	合　計
57	9	16	－	8	－	4	94

イ　鍋山地区環境整備懇談会

鍋山地区の粉じん公害問題解決のため、8月27日（火）に地元自治会代表と石灰企業各社立会いのもと現地調査を実施し、石灰企業各社に対して改善を要望した。

また、10月21日（月）に懇談会を開催し、地元要望事項について石灰企業各社と協議した。

ウ　土壌汚染等の防止

土砂等の埋立て等による土砂汚染や無秩序な埋立て等に伴う災害の発生を未然に防止し、市民生活の安全と生活環境の保全を図った。

・土砂等の埋立て等事業許可件数　　6件

6　水質調査関係

(1)　河川等水質調査

市内を流れる河川等について、次のとおり水質調査を実施した。15河川

・調査河川　瀬戸ヶ原用水、清水川、永野川、荒川、巴波川、県庁堀川、杢冷川、猿渕川、赤津川、江川、蓮花川、旧渡良瀬川、市内用水、三杉川、静和川

・調査期間　通年

・調査項目　ｐＨ、ＢＯＤ、ＳＳ、ＤＯ、大腸菌数、電気伝導率

(2)　地下水水質調査

市内における地下水について、次のとおり水質調査を実施した。

・調査地点　市内 14 地点

・調査月日　2 月 21 日（金）・2 月 26 日（水）

・調査項目　全 28 項目

（カドミウム、全シアン、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、ＰＣＢ、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、クロロエチレン（別名塩化ビニル又は塩化ビニルモノマー）、1,1-ジクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、1,4-ジオキサン）

第５節　クリーン推進課

〔総括概要〕

今日､廃棄物の処理に関しては､環境に対する世界的な意識の高まりを背景とし、環境に配慮した資源循環型の持続可能な社会の実現が求められている。栃木市においても市民一人一人が日常的に意識して食品ロスを減らし、ごみの分別を適切に行い、リサイクルを推進することで、ごみの減量化を図ることやごみの焼却に伴って排出される二酸化炭素等の削減により環境負荷の軽減や脱炭素社会の実現を目指すことが重要な課題となっている。

これらの諸課題に対応し、廃棄物処理行政の円滑で積極的な推進を図るため、クリーン推進課においては、2係の体制により事務を推進している。

ごみ減量係では、資源循環型の社会づくりを目指し、家庭から出る生ごみの自家処理を進めるための補助事業を推進したほか、家庭から排出される一般廃棄物の収集を円滑に進めるため、分別収集を徹底し、ごみの減量化・資源化に努めた。

また、環境美化の向上を図るため、市内全域に地域クリーン推進員を配置し、生活環境や公衆衛生の向上のため市民意識の啓発推進に努め、自治会等による清掃活動への協力、ボランティア活動に伴うごみの回収等を行った。

不法投棄防止対策として、不法投棄監視員によるパトロール及び不法投棄物の回収等を実施したほか、不法投棄監視カメラを運用し、不法投棄監視に取り組んだ。

施設係では、市内から発生する一般廃棄物を安全かつ適正に処理するとともに、再生品の展示販売、廃棄物の資源化により最終処分量の削減に努めた。また、施設で発電される電力を地元の業者に販売することで､エネルギーの地産地消に努めた。

とちぎクリーンプラザ及び衛生センターの運営については、運転管理、修繕、物品の調達等の各業務を一括して委託する包括的業務委託事業を導入し、施設の安全かつ安定した運転､適正な維持管理を実施するとともに､周辺環境の保全に努めた。

また、とちぎクリーンプラザは、長期稼働により設備機器の老朽化が進行していることから、施設の延命化対策と長寿命化を進め、併せて二酸化炭素排出量の削減対策のため、令和４年度から基幹的設備改良工事を実施している。

さらに、衛生センターは、長期稼働により老朽化が進行し、施設の寿命を迎えることから、次期施設について、令和 13 年度供用開始に向け、本年８月に基本構想を策定し、基本計画の策定に着手した。

ごみ減量係

1　地域クリーン推進員事業

地域クリーン推進員連合会の協力を得て、美化キャンペーン等を実施した。

・委嘱状況　地域クリーン推進員　472人

（栃木：170人、大平：47人、藤岡：103人、都賀：32人、西方：39人、岩舟：81人）

2　一般廃棄物の収集

5種13分別の分別項目により、もやすごみは週2回、紙類は月4回、空カン・空ビン、ペットボトル・食品用トレイは月2回、もやさないごみは月3回、小型家電は月1回の収集を委託により実施した。

粗大ごみは、申請に基づき、委託により有料にて戸別訪問収集を実施した。

廃食用油は、市本庁舎、各総合支所、とちぎクリーンプラザ、各道の駅で拠点回収を行った。

小型家電及び家庭で使用したインクカートリッジは、収集委託のほか、市本庁舎、各総合支所、とちぎクリーンプラザで拠点回収を行った。

休日・祝日等の犬猫等死体の収集については、委託により実施した。

し尿収集及び浄化槽汚泥清掃については、許可業者が行った。

(1)　委託によるごみ収集量　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物				粗大ごみ	合計
		紙類	空カン空ビン	ペットボトルトレイ	小型家電		
26,908.18	1,908.26	1,866.51	1,221.99	592.92	182.54	23.05	32,703.45

(2)　拠点回収の回収状況　（単位：kg）

廃食用油	小型家電	インクカートリッジ
2,626.00	720.00	52.19

(3)　休日・祝日等の犬猫等の収集搬入状況　（単位：頭）

犬	猫	その他	合計
0	63	76	139

3　不法投棄監視事業

(1)　不法投棄監視員

廃棄物の不法投棄及び不適正処理を防止し、良好な生活環境の保全を図るため不法投棄監視員を設置し、巡回パトロール及び投棄物の回収を行った。

ア　地区別不法投棄物回収件数　（単位:件）

区分／地区	生活系廃棄物	家電4品目	電化製品	粗大ごみ	産業廃棄物	その他	合計
栃木	20	7	0	16	3	1	47
大平	7	5	3	13	3	0	31
藤岡	1	3	2	0	6	0	12
都賀	5	5	1	6	5	0	22
西方	0	0	0	0	1	0	1
岩舟	4	6	3	14	5	0	32
計	37	26	9	49	23	1	145

※生活系廃棄物は1事例につき1件、それ以外は1台につき1件として集計

※不法投棄者判明件数6件

(2)　不法投棄監視カメラ

不法投棄が多発、又はそのおそれのある地区に不法投棄監視カメラを設置した。

ア　不法投棄監視カメラ設置台数

地域	設置場所	台数
大平	大平町下皆川	1
都賀	都賀町家中	1
岩舟	岩舟町三谷	4
合　計		6

4　ごみ減量化対策事業

(1)　コンポスト容器の普及

生ごみの減量化を目的として、コンポスト容器の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

・申込基数　　25基

・補助額　　79,200円

(2)　電気式生ごみ処理機の普及

生ごみの減量化を目的として、電気式生ごみ処理機の購入者に補助金を交付し、その普及を図った。

・申込基数　　35基

・補助額　　691,200円

(3)　資源物回収団体活動報償金

資源物回収を行う団体に対し、1kg当たり2円の報償金(上限10万円)を交付し資源物回収活動の推進を行った。

・117団体　673,934kg　報償金額　1,326,000円

5　一般廃棄物処理業・浄化槽清掃業許可事務

・許可件数　ごみ収集運搬　　42件（新規5件、継続37件）

し尿・浄化槽汚泥収集運搬　　2件（継続2件）

浄化槽清掃　　2件（継続2件）

施設係

1　とちぎクリーンプラザ包括的業務委託事業

民間事業者の創意工夫による提案を取り入れ、一般廃棄物の受入れ並びに計量棟、ごみ焼却施設、リサイクルプラザ及びリサイクルセンターの運転・維持管理等を包括的に委託し、市内から排出される一般廃棄物の処理を適正に行った。

委託期間：令和5年度から令和19年度まで

委託業者：東京都渋谷区渋谷三丁目29番20号　エクシオグループ（株）

(1)　一般廃棄物の総搬入量　　（単位：ｔ）

もやすごみ	もやさないごみ	資源物			粗大ごみ	合計
		小型家電	空カン 空ビン	ペットボトル トレイ		
38,234.90	2,321.80	183.26	1,222.03	594.71	866.78	43,423.48

(2) もやすごみの搬入状況 （単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	減免	合計
659.65	26,908.18	10,634.28	32.79	38,234.90

(3) もやさないごみの搬入状況 （単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	減免	合計
23.35	1,908.26	388.05	2.14	2,321.80

(4) 資源物の搬入状況 （単位：ｔ）

種類	直営	委託	直接搬入	合計
小型家電	0.72	182.54	－	183.26
空カン・空ビン	0.03	1,221.99	0.01	1,222.03
ペットボトル・食品用トレイ	－	592.92	1.79	594.71
合計	0.75	1997.45	1.80	2,000.00

(5) 粗大ごみの搬入状況 （単位：ｔ）

直営	委託	直接搬入	減免	合計
26.88	23.05	815.24	1.61	866.78

(6) 特定家庭用機器の搬入状況（重量は粗大ごみに含む。）（単位：台）

種類	収集	直接搬入	不法投棄	合計
エアコン	2	6	2	10
テレビ	21	229	15	265
冷蔵庫等	23	100	9	132
洗濯機	28	69	2	99

2 最終処分業務委託

(1) 焼却残渣運搬処分業務

もやすごみの焼却により発生した焼却残渣の運搬及び最終処分を委託した。

ア 委託業者 埼玉県さいたま市大宮区大成町2丁目224番地1
(株)ウィズウェイストジャパン

・処分施設 ①福島県田村郡小野町大字南田原井字大和久169-2外
(株)ウィズウェイストジャパン 小野ウェイストパーク
②青森県三戸郡三戸町大字斗内字立花49-1外
(株)ウィズウェイストジャパン 三戸ウェイストパーク

・搬出量 焼却灰 1,442.74ｔ
飛灰固化物 868.34ｔ

イ 委託業者 山形県米沢市大字板谷315番地

ジークライト（株）

・処分施設　　山形県米沢市大字板谷字四郎右ヱ門沢773番地1外
ジークライト（株）　エコポート最終処分場

・搬出量　　焼　却　灰　497.90ｔ
飛灰固化物　495.46ｔ

(2)　不燃残渣運搬処分業務（もやさないごみ破砕後の不燃物）

もやさないごみを破砕処理した後に生じる不燃残渣の運搬及び最終処分を委託した。

・委託業者　　栃木市泉川町455番地1
(有)栃木クリーン

・処分施設　　長野県中野市大字豊津5520番地外
飯山陸送(株)　ハサマ第二処分場

・搬出量　　不燃残渣　828.55ｔ

3　処理困難物処理業務委託

(1)　破砕困難物運搬処理処分業務（ベッド・ソファー等）

とちぎクリーンプラザで破砕処理が困難なスプリング入りのベッド・ソファー、ワイヤー入りのホース等の運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

・委託業者　　埼玉県さいたま市大宮区大成町2丁目224番地1
(株)ウィズウェイストジャパン

・中間処理施設　茨城県かすみがうら市加茂5356番地1
(株)ウィズウェイストジャパン　東関東リサイクルパーク

・最終処分施設　福島県田村郡小野町大字南田原井字大和久169-2外
(株)ウィズウェイストジャパン　小野ウェイストパーク

・搬出量　　13.38ｔ

(2)　処理困難物運搬処理処分業務（廃乾電池・廃蛍光管）

ア　有害ごみとして収集された廃乾電池の運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

・委託業者　　茨城県神栖市南浜7番地
ＪＦＥ条鋼(株)　鹿島製造所

・処理処分施設　茨城県神栖市南浜7番地
ＪＦＥ条鋼(株)　鹿島製造所

・搬出量　　廃乾電池　　44.14ｔ

イ　有害ごみとして収集された廃蛍光管は、公益社団法人全国都市清掃協議会の広域回収処理事業を活用し、運搬、リサイクル処理及び残渣の最終処分を委託した。

・委託業者　　東京都中央区日本橋堀留町2丁目1番3号
野村興産(株)

・処理処分施設　北海道北見市留辺藻町富士見217番地1
野村興産(株)　イトムカ鉱業所

・搬出量　　廃蛍光管　　5.71ｔ

(3)　処理困難物運搬処理処分業務（廃タイヤ）

廃タイヤの適正処理を委託した。

・委託業者　　栃木市都賀町深沢1111番地
　　(有)丸昭
・処理処分施設　栃木市都賀町深沢1111番地
　　(有)丸昭
・搬出量　　廃タイヤ　24本

4　資源化処理業務委託

(1)　資源化処理業務

分別回収されたガラスびん（カレット（無色・茶色・その他））の運搬及びリサイクル処理を委託した。

・委託業者　　東京都港区虎ノ門1丁目14番1号　郵政福祉琴平ビル
　　公益財団法人　日本容器包装リサイクル協会
・処理施設　　茨城県龍ヶ崎市向陽台2番地3　つくばの里工業団地
　　硝和ガラス（株）
・搬出量　　無　色　295.10ｔ
　　茶　色　374.83ｔ
　　その他　130.20ｔ

(2)　容器包装運搬処理業務（ペットボトル・発泡トレイ）

分別回収されたペットボトル・発泡トレイの運搬及びリサイクル処理を委託した。

・委託業者　　東京都港区虎ノ門1丁目14番1号　郵政福祉琴平ビル
　　公益財団法人　日本容器包装リサイクル協会
　　東京都港区芝浦3丁目1番1号
　　サントリーインターナショナル（株）
・処理施設　ペットボトル　鹿沼市深程990番地30
　　ジャパンテック(株)　宇都宮工場
　　発泡トレイ　　東京都西多摩郡瑞穂町長岡3丁目5番15号
　　（株）加藤商事リサイクルプラント
・搬出量　　ペットボトル　523.65ｔ
　　発泡トレイ　　14.90ｔ

(3)　カレット残渣（ガラスくず）運搬再資源化業務

手選別後に残るカレット残渣（ガラスくず）の運搬及びリサイクル処理を委託した。

・委託業者　　千葉県銚子市春日町740番地1
　　ガラスリソーシング(株)
・処理施設　　千葉県銚子市春日町740番地1
　　ガラスリソーシング(株)　本社工場
・搬出量　　75.62ｔ

5　周辺環境分析業務委託

(1)　環境モニタリング分析調査業務

とちぎクリーンプラザ周辺地域の大気・土壌・水質中のダイオキシン類及び有害物質の調査を実施した。

・調査地点　栃木市梓町、尻内町、都賀町大柿、都賀町深沢地内
①大気　5か所　　②土壌　8か所　　③水質　7か所

・調査回数　年1回（10月）

・調査項目　①大気（浮遊粒子状物質、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、光化学オキシダント、塩化水素、ダイオキシン類）
②土壌（カドミウム、鉛、六価クロム、砒素、総水銀、セレン、ダイオキシン類）
③水質（水素イオン濃度、生物化学的酸素要求量、浮遊物質量、溶存酸素量、大腸菌数、ダイオキシン類）

(2)　とちぎクリーンプラザ周辺水質分析業務

とちぎクリーンプラザ周辺の地下水水質検査を実施した。

・検査地点　　栃木市梓町・尻内町地点（2か所）

・検査回数　　年1回（12月）

・測定項目　　水質基準51項目

6　廃家電運搬業務委託

特定家庭用機器に該当する廃家電品の指定引取場所への運搬を委託した。

・委託業者　　栃木市柏倉町536番地1
栃木カレット(有)

・指定引取場所　栃木市岩舟町静和474番地4
(株)共同陸運

・運搬回数　　21回

・搬出量　　12.59ｔ

7　放射性物質濃度測定業務委託

(1)　焼却灰等放射性物質濃度測定業務

焼却残渣と製品化されたスラグに含まれる放射性物質濃度の測定を委託により実施した。

・測定箇所　　とちぎクリーンプラザ

・測定実施月　毎月

・測定項目　　セシウム134、セシウム137

(2)　排ガス中の放射性物質濃度測定業務

ごみ焼却時に発生する排ガス中の放射性物質濃度の測定を委託により実施した。

・測定箇所　　とちぎクリーンプラザ焼却炉（2炉）

・測定実施月　1号炉　8月、3月
2号炉　9月、2月

・測定項目　　セシウム134、セシウム137

8　資源有価物売却

分別した資源ごみ及び焼却灰を溶融してできたスラグを有価財産として売却した。

品　目	アルミ缶プレス	鉄缶プレス	シュレッダーアルミ	シュレッダー鉄	鉄ガラ	焼磁性物
売却量(t)	204.89	138.37	57.21	203.68	135.25	226.88
売却金額(円)	60,131,489	6,188,957	4,014,976	2,665,163	2,640,454	124,782
品　目	新聞紙	ダンボール	雑誌	廃モータ類	非鉄ガラ	溶融スラグ
売却量(t)	10.19	75.4	56.53	1.75	8.67	694.44
売却金額(円)	11,209	82,940	62,183	1,925	84,865	38,180
品　目	小型家電(携帯電話)	小型家電（ＰＣ）	小型家電(ｺｰﾄﾞ類)	羽毛布団	リチウムイオン電池	
売却量(t)	0.26	3.46	4.72	1.42	0.16	
売却金額(円)	114,400	57,090	519,200	376,266	1,056	

9　余剰電力の売電

ごみ焼却に伴う余熱で発電を行い、所内の電力に使用し、また余剰電力が発生した場合には地元栃木市の電力会社に売電し、エネルギーの地産地消を行った。

・売却量　　1,890,273kwh

・売却金額　　16,974,644円

10　再生品提供事業

搬入された粗大ごみの中から、再利用できるものを修理し、展示販売した。

・申込件数　　2,136件

・提供台数　　316件

・提供価格　　535,900円

11　とちぎクリーンプラザ運営協議会

とちぎクリーンプラザの建設及び操業に関し、公害の発生防止を図り、周辺住民が健康で安心して住める生活環境を確保することを目的として、栃木地域及び都賀地域の近隣自治会と連携して会議等を行った。

12　搬入ごみ抜打ち検査

奇数月に許可業者等の搬入車のもやすごみの内容物を検査し、搬入可能なごみ以外のもの（産業廃棄物、市外のごみ等）の混入や、ごみの分別がされていない場合は、口頭により指導を行った。

13　藤岡地域及び岩舟地域のし尿及び浄化槽汚泥の搬入状況

衛生センターにおける処理能力では市全域分のし尿（生し尿及び浄化造汚泥）を処理することが難しいため、藤岡地域及び岩舟地域のし尿及び浄化槽汚泥の処理を佐野市に委託した。

（単位：kl）

区　分	し尿	浄化槽汚泥	合　計
藤　岡	456.26	2,086.79	2,543.05
岩　舟	1,234.16	2,934.13	4,168.29
合　計	1,690.42	5,020.92	6,711.34

14　衛生センター包括的業務委託事業

民間事業者の技術やノウハウを取り入れ、衛生センターの運転管理業務、維持管理業務、物品調達業務等を包括的に委託し、し尿及び浄化槽汚泥の処理を適正に行った。

・委託期間　令和3年度から令和7年度まで

・委託業者　東京都中央区晴海3丁目5番1号

月島ＪＦＥアクアソリューション（株）

・し尿及び浄化槽汚泥の搬入状況　（単位：kl）

区分	し尿	浄化槽汚泥	合　　計
栃　木	936.11	13,058.82	13,994.93
大　平	739.12	5,210.43	5,949.55
都　賀	178.40	1,325.96	1,504.36
西　方	111.49	832.43	943.92
合　計	1,965.12	20,427.64	22,392.76

上記のほか、施設の不具合等によりし尿と浄化槽汚泥の処理ができない壬生町の依頼を受け、下表のとおり本市の衛生センターにおいて壬生町のし尿と浄化槽汚泥の処理を行った。

（単位：kl）

区分	し尿	浄化槽汚泥	合　　計
壬生町分	63.02	142.33	205.35

15　脱水汚泥資源化業務委託

し尿、浄化槽汚泥を処理した後に生じる脱水汚泥の運搬及び資源化を委託した。

・運搬業者　栃木市泉川町455番地1

(有)栃木クリーン

・資源化施設　茨城県結城市大字上山川4102番地1

ときわ化研(株)　結城工場

栃木県日光市猪倉2151番地

鹿沼化成工業（株）　日光工場

・搬出量　ときわ化研(株)　911.52ｔ

	鹿沼化成工業(株)	249.31ｔ
	搬出量合計	1,160.83ｔ

16　し渣資源化業務委託

し尿、浄化槽汚泥を処理した後に生じるし渣の運搬及び資源化を委託した。

・運搬業者　　栃木市泉川町455番地1
　　(有)栃木クリーン
・資源化施設　　埼玉県大里郡寄居町大字三ヶ山313番地
　　オリックス資源循環(株)
・搬出量　　12.59ｔ

17　とちぎクリーンプラザ基幹的設備改良工事

平成15年3月からの長期稼働により設備機器の老朽化が進行していることから、施設の延命化対策と長寿命化を進め、併せて二酸化炭素排出量の削減を図るため、実施している。

(1)　工事期間　　令和4年12月15日～令和8年3月31日
(2)　対象施設　　ごみ焼却施設、リサイクルプラザ、リサイクルセンター
(3)　主な工事　　二酸化炭素排出量削減に寄与する設備機器及び関連する設備機器
　・灰溶融炉の整備
　・蒸気タービン及び発電機の改良
　・各設備駆動モータ、電気設備変圧器等を高効率化に改良等

18　衛生センター施設整備事業

受入貯留棟は昭和60年3月、水処理棟は平成7年12月に竣工し、長期稼働により設備機器の老朽化が進行していることから、新たな施設の令和13年度の供用開始を目指し、し尿施設整備基本構想を8月に策定した。

また、基本構想の内容を踏まえて、令和8年3月の策定を目指し、10月から基本計画の策定に着手した。

第６節　人権・男女共同参画課

〔総括概要〕

人権・男女共同参画課の主な分掌事務は、人権問題、人権啓発、人権擁護委員、人権関係機関及び人権関係団体、男女共同参画の推進・啓発、男女共同参画推進団体、大平隣保館、厚生センターの管理運営及び隣保館相談事業、集会所の管理運営に関することである。

人権教育・啓発の推進については、「栃木市人権施策推進プラン第3期計画 2024年度～2028年度」を指針とし、市民一人一人が人権に関心をもち、人権問題についての正しい知識と理解を深めるため、研修会、人権講演会を開催した。特に、人権啓発活動については、誰もが人権問題の解決を自らの課題として受け止められるよう、人権擁護委員や人権関係団体と連携を図り、市民の中に潜在するあらゆる差別や偏見の根絶に向け、積極的な活動を展開した。

大平隣保館及び厚生センターは、人権問題の活動拠点として、地域住民に対して生活上の各種相談事業や地域交流のための事業を実施した。また、大平隣保館での人権啓発情報誌「こだま」の発行、厚生センターでの啓発用ＤＶＤの貸出しなど、広く市民に対する人権意識の高揚に努めた。

また、人権教育事業として、集会所を拠点に各種学習や交流事業を通して、様々な人権問題に対する理解と認識を深めるとともに、人権が尊重される社会づくりを推進する人材育成に努めた。

男女共同参画の推進については、「とちぎ市男女共同参画プラン（第3期計画）2023年度～2027年度」に沿って取組を進め、その取組状況について公表した。

また、男女共同参画地域推進員や女性団体と協働で各種啓発活動や広報紙の発行などを行い、男女共同参画意識の高揚を図った。

人権推進係

1　啓発事業

(1)　研修会等の実施

ア　人権教育啓発推進事業委託実施状況

研修会等の名称	開催回数(回)	参加者(人)	関係課等
職員人権講座（市職員対象）	2	141	全課
栃木市人権啓発研修会	1	20	商工振興課
社会福祉協議会人権（介護）講演会	1	20	社会福祉協議会

イ　市職員フィールドワーク研修

特定職業従事者である本市職員を対象に、当事者の案内により現地で学ぶことで部落差別問題に対する歴史認識や現状を正しく理解することを目的に実施した。

実施日	開催場所	参加者(人)

10月22日（火）	岩舟公民館	13
10月24日（木）	藤岡公民館	13

(2) 企業・事業所等の啓発

市内の事業所に対し、人権擁護委員と訪問し企業啓発を実施した。

配 布 物 啓発用うちわ、クリアファイル、ボールペン、リーフレット、ポスター他

ア 8月1日（木）藤岡地域9事業所

・参 加 者 人権擁護委員3人、市職員2人

イ 8月1日（木）栃木地域5事業所

・参 加 者 人権擁護委員2人、市職員1人

ウ 8月2日（金）大平・岩舟地域5事業所

・参 加 者 人権擁護委員2人、市職員1人

エ 7月30日（火）都賀・西方地域6事業所

・参 加 者 人権擁護委員3人、市職員1人

(3) 「人権週間」12月4日～10日における啓発

ア 街頭啓発の実施

「人権週間」に合わせ、人権尊重思想の普及と高揚を図るため、街頭啓発を実施した。

(ｱ) 11月21日(木) イオン栃木店、ヨークベニマル栃木祝町店

・参 加 者 人権擁護委員6人､市職員3人、法務局職員1人、活動団体等7人

・配 布 物 啓発用ボールペン、クリアファイル、パンフレット 280セット

(ｲ) 11月25日(月) とりせん大平店

・参 加 者 人権擁護委員2人、市職員1人、活動団体等2人

・配 布 物 啓発用ボールペン、クリアファイル、パンフレット 130セット

(ｳ) 11月28日(木) とりせん藤岡店

・参 加 者 人権擁護委員3人、市職員1人、活動団体等2人

・配 布 物 啓発用ボールペン、クリアファイル、パンフレット 80セット

イ 懸垂幕掲示

市役所本庁舎に人権週間周知の懸垂幕を掲出した。

・実施期間 11月29日（金）～12月11日（水）

ウ 人権を考える市民の集い

・実施日 12月7日(土)

・場 所 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館 大ホール及びホワイエ）

・参加者 約600人

・中学生の人権作文朗読 「僕たちの大切な命」、「文化を尊重し合う」、「差別のない明るい未来へ」の3編

・講演会 拉致問題の風化に抗して～北朝鮮主張の「解決済み」のウソと解決への道を考える～

蓮池薫　氏（新潟産業大学経済学部特任教授）

命のあるうちに　ひとり残さず取り返す

竹下珠路　氏（特定失踪者家族会事務局長）

・配布物　啓発用ボールペン、コットンバック、北朝鮮啓発冊子、
人権プラン概要版、人権啓発カレンダー、リーフレット　約500セット

・備　考　教育委員会と共催

エ　盲導犬体験学習の実施

実施日	会　場	参加生徒数（人）
11 月 22 日（金）	東陽中学校	184
11 月 29 日（金）	栃木南中学校	234
12 月 9 日（月）	岩舟中学校	343

(4)　「地域のイベント」における市民啓発

各地域で開催されるイベントで街頭啓発を実施した。

ア　とちぎ蔵の街サマーフェスタ2024　8月4日（日）

・参加者　人権擁護委員6人、市職員2人

・配布物　啓発用うちわ　400枚

イ　藤岡ふくしまつり（不参加）

ウ　岩舟ふくしまつり　11月3日（日）

・参加者　人権擁護委員3人、市職員1人、活動団体等4人

・配布物　啓発用ポーチ、鉛筆、リーフレット　150セット

エ　まるまるまるごとつがまつり（休止中）

オ　ど田舎にしかた祭り　12月1日（日）

・参加者　人権擁護委員2人、市職員1人

・配布物　啓発用ポーチ、折り紙、リーフレット　150セット

カ　りんぽかんまつり　3月9日（日）

・参加者　人権擁護委員1人、市職員1人

・配布物　啓発用鉛筆、クリアファイル、シール　210セット

(5)　「人権出前講座」

職員が、団体からの依頼により人権をテーマとした人権講座を行う。

依頼なしにつき実施せず。

(6)　「ブルーリボン運動」の実施

11月26日（火）～12月17日（火）市役所1階の市民スペースに「誰もが北朝鮮当局による拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示」としてブルーリボンで装飾したツリー、関連ポスター、冊子を配架した。同じく12月7日（土）～12月20日（金）まで栃木図書館において、特設コーナーを設置して、啓発を行った。

(7)　人権標語の募集

ア　対象者：小学生以上だれでも

イ　応募数: 70点（人権の集い会場11点、窓口52点、メール7点）

ウ　入選数：3点

(8)　人権ミニフェスタ2024in栃木

宇都宮地方法務局栃木支局と真岡支局管内の人権擁護委員、法務局職員、行政で構成されている栃木・真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会の事業として、会場持ち回りで実施しているもの。令和6年度人権啓発活動地方委託事業の補助事業として栃木市会場で実施した。

・実施日　9月15日（日）
・場　所　大平文化会館
・参加者　約600人
・内　容　(1) 人権と子どものワークショップ・展示

参加予定団体

1.(一社)ガールスカウト　栃木県連盟
2.NPO法人栃木おやこ劇場
3.冒険あそび場　ねずみもちパーク
4.コドモノミカタ☆ねっとわーく
5.NPO法人自然史データバンク　アニマnet
6. 栃木市大平図書館
7. 栃木人権擁護委員協議会第一部会

(2) 劇団らくりん座公演　　あらしのよるに

・配布物　啓発用ボールペン、コットンバック、うちわ、
こどもの人権条約、まんが人権冊子、リーフレット　約350セット

2　人権擁護委員関係

(1)　人権相談

地域ごとに定期の人権相談窓口を開設したほか、6月と12月に臨時相談窓口を開設した。

ア　定期相談

地　域	実　施　日	会　場
栃木	毎月第2・4火曜日	栃木市役所
大平	奇数月第3木曜日	大平総合支所
藤岡	奇数月第3月曜日	藤岡総合支所
都賀	偶数月第3火曜日	都賀総合支所
西方	奇数月第4火曜日	西方公民館
岩舟	偶数月第3木曜日	岩舟総合支所

イ　臨時相談

名　称	実施日	会　場
人権擁護委員の日	6月3日(月)	大平隣保館
人権週間	12月6日(金)	厚生センター

(2)　人権講話等

各小中学校において、人権講話を行い、人権を尊重する精神の涵養を図った。

実施日	会　場	内　　容	参加者(人)
10月22日(火)	真名子小学校	人権教室「一人で悩まず相談しよう」	10
11月26日(火)	西方中学校	人権集会「身近にある人権問題」	128

(3)　人権啓発人形劇（演目：0ちゃんとおともだち）

園児を対象に、相手への思いやりや人権を尊重する大切さについて、人形劇を通して分かり易く啓発した。

実施日	会　　場	対象者	参加者（人）
11月 8日(金)	おおひらふじ幼稚園	園児	86
11月12日(火)	くらのまち保育園	園児	65
11月25日(月)	吹上幼稚園	園児	108
12月17日(火)	大平南第1保育園	園児	30
12月18日(水)	バンビ幼稚園	園児	113

(4)　「人権の花」運動

人権思想の普及高揚には、幼少期のころから行うことがより効果的であることから、市内10校の小学校で実施した。児童がお互いに協力して花を育て、情操豊かに育み、人権意識の高揚を図った。

・贈呈式（人権講話実施）　　計285人

実施日	会　場	参加者（人）
5月28日　(火)	大平東小学校	188
5月31日　(金)	栃木第三小学校	15
6月 3日　(月)	岩舟小学校	13
6月 4日　(火)	三鴨小学校	8
6月 5日　(水)	寺尾小学校	5
6月 6日　(木)	家中小学校	9
6月 6日　(木)	栃木第五小学校	14
6月 7日　(金)	大平南小学校	10
6月11日　(火)	栃木第四小学校	19
6月12日　(水)	千塚小学校	4

(5)　人権擁護委員の推薦

任期満了に伴い法務局から推薦依頼を受け、議会の議決を経て推薦をした。

・推　薦　11人（うち再任10人）

(6)　栃木人権擁護委員協議会第一部会の活動支援状況

実施日	会　　場	事　　業　　名	参加人数(人)
4月11日（木）	市役所正庁	定期総会及び第1回研修会 人権啓発DVD視聴	15
5月14日（火）	市役所401会議室	役員会	6

7月16日（火）	市役所正庁	第2回研修会 地域で支える認知症　講習	14
10月31日（木）	視察研修 （宇都宮市）	第3回研修会 栃木県議事堂等見学・LRT見学	13
12月26日（木）	市役所401会議室	役員会	6
2月27日（木）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	第4回研修会 プロから学ぶ美味しいコーヒー淹れ方講座	16
3月26日（水）	市役所401会議室	役員会	6

3　部落問題対策関係事業の実施状況

部落解放同盟栃木県連合会要請書の対応

2023年8月に提出された「2023年・2024年部落解放のための要請書」に対する回答について、検討・調整を行い、話し合いを開催した。

ア　人権施策推進本部幹事会（書面開催）

・開催日　6月10日（月）～6月26日（水）

・対象者　要請事項関係課長

・内　容　2023年・2024年部落解放のための要請書の回答（原案）について

イ　人権施策推進本部会議

・開催日　7月26日（金）

・会　場　市役所庁議室

・出席者　副市長、教育長、全部長

・内　容　2023年･2024年部落解放のための要請書の回答（案）について

ウ　部落解放同盟栃木県連合会と栃木市行政との話し合い

・開催日　1月29日（水）

・出席者　市長、副市長、教育長、生活環境部長、教育次長、要請事項関係課長

・内　容　【第1部】

〔1〕部落差別解消推進法の下での部落問題の解決

〔2〕差別禁止法

〔3〕女性差別撤廃条約と封建的家制度の克服

【第2部】

〔4〕個人情報保護と戸籍制度（身元調査は出生による差別）

〔5〕子どもの人権と子どもの権利条約

〔6〕社会的セーフティネットと人権基準

〔7〕障害者権利条約と優生保護法

4　栃木市人権施策推進プランの推進

栃木市人権施策推進審議会の開催

実施日 会　場	内容	審議会委員の参加人数（人）
7月30日（火） 市役所正庁	正副会長の選出について 栃木市人権施策推進プラン第2期計画に関する年次報告書について	12

・出席者　生活環境部長、人権・男女共同参画課長、担当職員及び人権施策推進審議会委員

5　栃木市パートナーシップ宣誓制度

性的マイノリティの方の自分たちの存在を公的に認めてほしいとする気持ちを受けとめる取組として、2人が人生のパートナーであることを栃木市長に宣誓し、証明書を交付する制度（令和2年11月から開始）。栃木県においても、令和4年9月から「とちぎパートナーシップ宣誓制度」が開始され、県内の連携が進んだ。また、令和6年8月から希望があれば、続柄の欄に「夫（未届）」や「妻（未届）」と記載した住民票を交付することとした。（交付　0件）

・栃木市パートナーシップ宣誓制度証明書交付　　1件　（累計3件）

大平隣保館係

1　大平隣保館事業

(1)　相談事業

ア　弁護士相談

弁護士を招き、予約制にて開設した。

・実施日時　奇数月第3木曜日　午前10時から12時

・実施回数　6回

・相談件数　33件

イ　生活困りごと相談

大平隣保館にフリーダイヤルを設けて、指導員及び職員による生活相談を随時行った。

・相談件数　11件

ウ　内容別相談件数

項　　目	件　数(件)	項　　目	件　数(件)
生活相談	37	福祉相談	－
健康相談	2	医療年金相談	－
教育児童相談	－	職業相談	－
住宅相談	－	人権相談	5
市税等相談	－	環境衛生相談	－
合　計			44

(2)　啓発事業

ア　情報誌の発行

隣保館事業の周知と人権問題を広く啓発普及するため、人権啓発情報誌「こだま」を発行し、市内全域回覧した。

・発行状況　　広報とちぎ4月号・11月号に折込み全地域に回覧した

・発行部数　　各号7,070部　合計14,140部（Ａ4版 8頁）

イ　大平隣保館利用者への人権啓発

利用者を対象に、人権講座を実施した。

開催日時	場所	参加人数(人)
12月17日(火) 10:00～11：30	大平隣保館多目的ホール	22
12月18日(水) 10:00～11：30	〃	27
12月19日(木) 13:30～15：00	〃	20
合　　計		69

・内容　人権啓発ＤＶＤ等の鑑賞、人権啓発指導員による人権講話

(3)　地域交流事業

ア　主催講座・教室

事　　業　　名	開催回数(回)	参加者(人)
ＨＡＰＰＹ生き生き塾	8	168
日本語講座	23	43
草花をアレンジしよう！	3	64

イ　健全育成事業

事　　業　　名	参加者(人)
隣保館開放（通年）	児童生徒692人
新春書初め会（1月7日実施）	児童生徒10人、保護者7人

ウ　野外研修事業

参加サークル	実施回数(回)	参加者(人)
8団体	2	42

エ　りんぽかんまつり

隣保館事業の成果発表と地域交流を目的に、部落解放同盟栃木市協議会及び大平町新第3・第4自治会の協賛にて開催した。

・実施日時　3月9日（日）　午前10時から午後1時

・場　　所　大平隣保館

・来 場 者　900人

・内　　容　自主グループによる作品の展示・即売・体験、実技発表会
協賛団体による各種模擬店・ゲームコーナー
人権擁護委員による人権啓発物品の配付
地元消防団による消防ポンプ車試乗会

オ　自主サークル活動

施設を定期利用する団体(自主サークル)による活動を通じて、地域交流を図っ

た。

活動団体	利用件数(件)	利用人数(人)
17団体	400	2,690

(4)　地域福祉事業

榎本集会所において、地域の高齢者を対象に健康運動、音楽鑑賞、教養講話等を実施し、参加者間の交流促進及び人権啓発を図った。

事業名及び内容	開催回数(回)	参加者(人)	備考
ふれあい交流会 (高齢者の地域交流・ 健康維持事業等)	12	131	

2　集会所事業

(1)　市主催講座

ア　大平榎本集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
料理教室	9	18	58	大木節子氏
はつらつ教室	18	36	96	人権啓発指導員他
カラオケ教室	16	32	139	熊倉晴彦氏
人権講話	1	2	9	人権啓発指導員
合　計	44	88	302	

イ　大平伯仲集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
女性教室	8	16	77	とちぎ花センター他
料理教室	9	18	53	大木節子氏
ダンス教室	17	34	117	吉野静氏
カラオケ教室	17	34	166	田中玲子氏
人権講話	1	2	16	人権啓発指導員
合　計	52	104	429	

ウ　大平真弓集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
はつらつ教室	18	36	86	人権啓発指導員他
ダンス教室	17	34	158	熊倉晴彦氏
カラオケ教室	17	34	132	熊倉晴彦氏
人権講話	2	4	12	人権啓発指導員
子どもの広場	1	2	23	青木恵美子氏
合　計	55	110	411	

エ　大平西水代集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師

女性教室	9	18	106	人権啓発指導員他
高齢者教室	18	36	184	人権啓発指導員他
ダンス教室	17	34	133	藤倉和子氏
カラオケ教室	17	34	235	渡部昌信氏
人権講話	1	2	14	人権啓発指導員
子どもの広場	1	2	23	青木恵美子氏
合　計	63	126	695	

オ　大平富田集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
女性教室	8	16	57	田中唯之氏他
料理教室	9	18	61	大木節子氏
高齢者教室	18	36	202	人権啓発指導員他
ダンス教室	17	34	102	吉野静氏
カラオケ教室	17	34	73	川田善文氏
民謡教室	17	34	116	金沢ゆき江氏他
人権講話	2	4	38	人権啓発指導員
合　計	88	176	649	

カ　藤岡都賀集会所主催講座

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
にこにこのつどい	4	8	55	間中浩子氏他
人権講話	1	1	9	人権啓発指導員
合　計	5	9	64	

キ　藤岡富吉集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
子どもの広場	1	2	25	青木恵美子氏
ふれあいのつどい（成人）	5	10	51	とちぎ花ｾﾝﾀｰ職員他
にこにこのつどい	3	6	43	間中浩子氏他
人権講話	1	1	11	人権啓発指導員
合　計	10	19	130	

ク　岩舟西根南集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
料理教室	9	18	69	中田美千子氏
カラオケ教室	15	30	66	―
卓球教室	15	30	116	―
人権講話	1	2	8	人権啓発指導員
合　計	40	80	259	

ケ　岩舟下津原集会所主催教室

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師

料理教室	8	16	96	種村有子氏
健康づくり教室	8	16	102	間中浩子氏
美術教室	9	18	73	籾山礼子氏
卓球教室	40	80	268	―
カラオケ教室	42	84	182	―
人権講話	1	2	19	人権啓発指導員
合　計	108	216	740	

コ　集会所運営委員会（第2回目中止）

会　議　名	実施日	参加人数(人)	会　　場
栃木市集会所運営委員会	7月23日（火）	26	大平隣保館

サ　野外研修

集会所教室名	実施日	参加人数(人)	研修先及び内容
富田・西水代高齢者教室、榎本はつらつ教室	10月9日（水）	17	茨城県日立市・施設見学
藤岡集会所	10月21日（月）	18	埼玉県深谷市・施設見学
西水代・伯仲・富田女性教室	10月22日（火）	23	茨城県日立市・施設見学
岩舟地域集会所主催教室	10月30日（水）	33	埼玉県深谷市・施設見学

シ　地域ふれあいのつどい

・実 施 日　11月30日（土）　午前9時から午後0時30分
・場　　所　藤岡富吉集会所
・参 加 者　82人
・内　　容　スノードーム作り、人権ＤＶＤ鑑賞、ビンゴ、啓発物品等配布
・協　　力　部落解放同盟栃木市協議会

厚生センター係

1　厚生センター事業

(1)　相談事業　（単位：件）

項　　目	件　数	項　　目	件　数
生活相談	5	福祉相談	－
健康相談	－	医療年金相談	－
教育児童相談	－	職業相談	－
住宅相談	－	人権相談	6
市税等相談	－	環境衛生相談	－
合　計			11

(2)　啓発事業

ア　啓発用ビデオ・ＤＶＤの貸出し

各種研修会・講演会等において、人権問題を広く啓発するため、啓発用ビデオ・

ＤＶＤの貸出しを行った。また、啓発用ＤＶＤを1本新規購入した。

・貸出状況　21件（延べ視聴者1,280人）

・購入ＤＶＤ「心をつなぐ、はじめの一歩」

イ　図書及び啓発資料の貸出し

人権問題の啓発等に関する図書及び資料の貸出しを行った。

ウ　厚生センターだよりの発行

厚生センター並びに栃木地域集会所事業の情報提供と人権について身近な話題についてわかりやすくコメントした「厚生センターだより」を毎月発行、市ホームページに掲載した。

(3)　地域交流事業

ア　夏の交流事業

・実施日　7月20日（土）午前9時30分から11時30分

・場　所　厚生センター　集会室

・参加者　32人

・内　容　「きらきらスライム」を作ってみよう、やさしい人権のお話、本の読み聞かせ、ビンゴ、啓発物品等配布

・協　力　部落解放同盟栃木市協議会、九輪草の会

イ　冬の交流事業

・実施日　12月14日（土）午前9時30分から12時

・場　所　厚生センター　集会室

・参加者　58人

・内　容　「スノードームを作ろう」、やさしい人権のお話、本の読み聞かせ、ビンゴ、啓発物品等配布

・協　力　部落解放同盟栃木市協議会、九輪草の会

ウ　読み聞かせ学習体験講座【3回連続】

・実施日　12月9日（月）、10日（火）、11日（水）、　午後1時30分から3時

・場　所　厚生センター　集会室

・参加者のべ　23人

エ　厚生センター自主講座

(ｱ)　第１回 布ぞうり作り

・実施日　６月 25 日（火）午後１時 20 分から４時

・場　所　厚生センター　和室

・参加者　10 人

(ｲ)　第２回 布ぞうり作り

・実施日　６月 26 日（水）午後１時 20 分から４時

・場　所　厚生センター　和室

・参加者　10 人

オ　厚生センター地域交流研修会

・実施日　11月6日（水）午前10時から11時30分

・場　所　厚生センター　集会室

・参加者　19人

・内　容　ミュージックベル演奏、人権講話

カ　厚生センター地域交流バス研修

・実施日　12月18日（水）午前8時30分から午後4時

・場　所　渋沢栄一記念館他深谷市内施設見学

・参加者　30人

(4)　ボランティア団体等の活動支援

ア　登録団体への無償貸館

登録団体	貸出件数	利用人数
8団体	53件	1,357人

イ　読み聞かせ学習グループ「九輪草の会」の活動支援

朝の読み聞かせ	栃木第四小学校
	大宮北小学校

(5)　集会所指導事業

ア　皆川城内集会所指導事業

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
子ども教室	25	50	160	伊藤恵子氏
成人教室	83	166	295	山田次男氏他
人権講話	1	2	5	人権啓発指導員
合　計	109	218	460	

イ　新栃木コミュニティ会館指導事業

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
子ども教室	25	50	361	伊藤恵子氏他
成人教室	31	62	146	栗原千恵子氏他
合　計	56	112	507	

ウ　栃木第四地区コミュニティセンター指導事業

講　座　名	回数(回)	時間(時間)	参加人数(人)	講　　師
子ども教室	32	64	404	杉山真理氏他
成人教室	73	146	622	前橋陽子氏他
人権講話	2	4	40	人権啓発指導員
合　計	107	214	1,066	

男女共同参画係

1　各種委員会等への女性委員構成状況調査の実施

男女共同参画社会の形成に関する施策の推進状況を把握するため、庁内における女性の委員会等への参画状況の調査を実施するとともに、女性登用推進要綱に基づき、女性

参画の推進に取組んだ。

・委員会等の組織数　88組織
・構成人数　　1,512人
・うち女性数　601人
・女性登用率　39.7%（4月1日現在）

2　男女共同参画プランの推進

(1)　男女共同参画プランの適正な進行管理

令和5(2023)年度の男女共同参画に関する施策の実施状況調査を実施し、施策事業の評価を実施した。また、年次報告書を作成し、関係機関に配布するとともに、市ホームページにて公表した。

(2)　男女共同参画審議会の開催

実施日 会　場	内容	参加人数 （人）
11月14日（木） 午前10時から11時30分 市役所501会議室	「とちぎ市男女共同参画プラン（第3期計画）」年次報告について 「栃木市男女共同参画推進事業者表彰」事業者選考について	12

・出席者　生活環境部長、人権・男女共同参画課長、担当職員及び男女共同参画審議会委員

3　男女共同参画推進本部検討部会部会員の活動

(1)　研修会の実施

実施日 会　場	内　　容	参加人数 （人）
7月18日（木） 午後1時から4時30分 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	映画上映会×トーク交流会 「マダム・イン・ニューヨーク」	27
9月25日（水） 午前10時から12時 市役所　正庁	講話・実技 「災害が起こった時にあなたが支援できること」 講師：日本赤十字社栃木県支部	11
11月26日（火） 午前10時から11時30分 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	講話 「多様性を楽しめる社会の担い手づくりに向けて～とちぎ市の教育は今～」 講師：栃木市教育長　青木千津子氏	18

上記の中から希望する講座を選んで参加。

(2)　男女共同参画のつどいに併せて募集した「男女共同参画」に関する標語の選定。

4　男女共同参画啓発事業

(1)　男女共同参画週間事業

男女共同参画社会基本法の目的及び基本理念に対する理解を深め、男女共同参画社会の形成の促進を図るため、パネル展の開催及び広報紙への記事の掲載等を行った。

場　所	実　施　日	内　容
栃木図書館 1階特設コーナー	6月8日（土） ～6月30日（日）	・パネル展示 ・啓発物資（コーヒー、リーフレット）の設置 ・男女共同参画に関する書籍の紹介、陳列
市役所 市民スペース 2階吹き抜け	6月20日（木） ～6月30日（日）	・パネル展示 ・啓発物資（ティッシュ、リーフレット）の設置 ・2階吹き抜け：ポスター、のぼり旗の掲示

(2)　男女共同参画地域推進員の活動

ア　啓発物資の配布

男女共同参画週間及び女性に対する暴力をなくす運動週間において、啓発物資を配布した。

・実施日　6月27日（木）午後3時から4時

・場所　　東武栃木市役所店　出入口

・参加人数　　2人

イ　研修会の実施

今後の啓発活動に役立て、本市の更なる男女共同参画の推進を図るため、6月～1月に実施した男女共生大学の中から希望する講座に参加した。

・参加者数　　のべ20人

ウ　男女共同参画広報紙「きららとちぎ」の編集

編集会議 6月24日（月）、7月26日（金）、8月30日（金）、11月7日（木）
2月6日（木）、2月27日（木）

参加者　延べ20人

発行回数　3回

(3)　「とちぎ市男女共同参画のつどい」の開催

男女共同参画社会づくりを目指し、「とちぎ市男女共同参画のつどい」を開催した。

・実 施 日　1月25日（土）午後1時30分から3時30分

・会　　場　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

・内　　容　男女共同参画標語コンテスト　最優秀賞　表彰式
栃木市男女共同参画事業者表彰　表彰式
栃木市女子野球タウン認定報告
講演　みんなで取り組むジェンダーギャップ
講師　ジェンダーのスペシャリスト　大崎麻子氏

・参加人数　80人

(4)　男女共同参画のつどいに併せての啓発事業

ア　啓発事業として「男女共同参画」に関する標語の募集を行い、表彰した。
最優秀賞小中学生各1点、優秀賞小中学生各5点
・小学5年生　応募総数245点
・中学2年生　応募総数272点

イ　栃木市男女共同参画推進事業者の表彰を実施した。
表彰事業者　パナプラス株式会社
表彰理由　・柔軟なシフト体制
・適正な業務評価
・労働環境の改良改善

(5)　男女共同参画推進事業の広報
市広報紙、市ホームページ、新聞による広報を行った。

(6)　出前講座の実施

実施日 会　場	内　　容	参加人数 （人）
8月21日（水） 午前9時30分から10時30分 大平西水代集会所	大平町西水代上3自治会老人会 講話 「男女共同参画社会」って？ 講師：栃木市男女共同参画推進指導員 藤野喜代子氏	8
2月26日（水） 午前10時から11時00分 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	栃木市女性史研究会「あいの会」 講話 男女共同参画～国の現状と栃木～ 講師：栃木市男女共同参画推進指導員 藤野喜代子氏	7

(7)　男女共同参画広報紙の発行
男女共同参画について市民の理解と関心を深めるため、男女共同参画地域推進員を編集員として、男女共同参画広報紙「きららとちぎ」を発行した。令和6年度より電子版とし、年3回の発行を行った。

(8)　とちぎ市男女共生大学の開設
男女共同参画社会の実現に向け、共に学び考え、それぞれの活動を通して、自分らしく生き生きと活躍、行動できる力を身につける人材を育成するため男女共生大学を開設した。

実施日 会　場	講　座　内　容	参加人数 （人）
5月22日（水） 午前10時から11時30分 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	講話・実技 「アンガーマネジメント＋怒らない体操」 講師　ヤマゼンコミュニケイションズ(株) 山本果奈氏	23

7月18日（木） 午後1時から4時30分 とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	映画上映会×トーク交流会 「マダム・イン・ニューヨーク」	180
9月25日（水） 午前10時から12時 市役所　正庁	講話・実技 「災害が起こった時にあなたが支援できること」 講師：日本赤十字社栃木県支部	24
10月23日（水） 午後7時から8時30分 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	講話・実技 「プロから学ぶ美味しいコーヒー淹れ方講座」 講師：湯澤珈琲　湯澤和貴氏	21
11月6日（水） 午前10時から11時30分 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	講話・実技 「スマホ楽習会 （総務省デジタル活用支援推進事業）」 講師：日本メディアセンター	20
11月26日（火） 午前10時から11時30分 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	講話 「多様性を楽しめる社会の担い手づくりに向けて ～とちぎ市の教育は今～」 講師：栃木市教育長　青木千津子氏	35
12月14日（土） 午後2時から3時30分 きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	講話 「夢実現へのチャレンジ」 講師：内閣府理工系女子応援大使　杉本雛乃氏	42

5　キャリアデザイン講座の実施

将来の担い手となる中学生を対象に、自分の望む将来の姿や夢へのアプローチを現実として考える一助となるようキャリアデザイン講座を実施した。

講師：(有)フェードイン　　工藤敬子　氏

実　施　日	会　場	実施団体	参加人数(人)
6月12日（水）	大平中学校	大平中学校　2年生徒	95
6月24日（月）	栃木西中学校	栃木西中学校　2年生徒	140

6　理工系チャレンジ講座の実施

女子小中学生が楽しみながら理工系分野に興味がもてるような実験と講話の講座を実

施した。

・実 施 日　8月22日（木）午前8時30分から15時30分
・会　　場　帝京大学宇都宮キャンパス
・内　　容　実験、リケジョの先輩との交流、キャンパス見学
　　講師：帝京大学理工学部　准教授　平澤孝枝氏・高山優子氏
・参加人員　小学5年生～中学3年生30人、保護者11人

7　ＤＶ防止啓発事業

配偶者や恋人などの親密な関係にある間柄で行われる暴力「ＤＶ（ドメスティック・バイオレンス）」についての正しい知識を身に付け、問題に対する理解と認識を広めるため、講座及び啓発活動を行った。

(1)　講座

・実 施 日　10月30日（水）午後2時30分から4時
・会　　場　國學院大學栃木短期大学
・内　　容　「護身術講座～自分の身は自分で守ろう～」
・講　　師　栃木県警察本部 人身安全少年課
　　栃木県生活文化スポーツ部 くらし安全安心課
・参加人員　國學院大學栃木短期大学　人間教育学科　　42人

(2)　啓発活動

場　所	実　施　日	内　容
栃木図書館 1階特設コーナー	11月9日（土） ～11月29日（金）	・パネル展示 ・啓発物資（ウェットティッシュ、入浴剤、リーフレット）の設置 ・ＤＶに関する書籍の紹介、陳列 ・パープルリボンツリーの設置
市役所 市民スペース 2階吹き抜け	11月12日（火） ～11月29日（金）	・パネル展示 ・啓発物資（ウェットティッシュ、リーフレット）の設置 ・2階吹き抜け：ポスター、のぼり旗の掲示

8　男女共同参画自主グループ活動支援

(1)　栃木市女性団体連絡協議会の活動支援

実施日	会　　場	事　　業　　名	参加人数(人)
6月21日（金）	市役所正庁	栃木市女性団体連絡協議会定期総会 研修会 環境・エコ啓発講座	31
7月18日（木）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	とちぎ市男女共生大学 映画上映会×トーク交流会	20

10月29日（火）	宇都宮市	視察研修 ＬＲＴ見学 フジドライ工場見学	29
11月27日（水）	市役所正庁	研修会 エアコン講座	21
1月25日（土）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	とちぎ市男女共同参画のつどい	16
2月8日（土）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	エコライフｉｎとちぎ	16
2月17日（月）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	研修会 コーヒー講座	16
3月25日（火）	市役所正庁	栃木市女性団体連絡協議会役員会	14

(2)　おおひら男女共同参画をすすめる会（自主学習グループ）との協働啓発活動

ア　男女共同参画事業の啓発活動

「とちぎ市男女共同参画のつどい」の共催

イ　その他の活動

実施日	会　場	事業名	参加人数（人）
4月3日（水）	大平公民館	企画会	7
4月15日（月）	大平公民館	総会・定例会	7
5月20日（月）	大平公民館	定例会	8
6月23日（日）	とちぎ男女参画センターパルティ	男女共同参画社会を考えるとちぎ県民のつどい	1
7月22日（月）	大平公民館	定例会	7
10月21日（月）	大平公民館	定例会	7
10月24日（木）	とちぎ男女参画センターパルティ	県女性連協セミナー	1
11月16日（土）	とちぎ男女参画センターパルティ	フェスタinパルティ2024	1
11月18日（月）	大平公民館	定例会	7
12月9日（月）	大平公民館	定例会	7
1月25日（土）	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	とちぎ市男女共同参画のつどい共催・参加	4
3月17日（月）	大平公民館	総会	8

(3)　自主学習グループへの活動支援

自主学習グループに対して、会議室の提供、男女共同参画に関する情報提供、指導・助言等を行った。

・支援対象グループ

栃木市女性史研究会「あいの会」、栃木市高齢社会を考える「パールの会」、とちぎつばさの会栃木支部、とちぎ地域推進員パラレルの会

9　女性首長による「びじょんネットワーク」への参加

・実 施 日　10月12日（土）
・会　　場　東京都　東京商工会議所
・テ ー マ　女性活躍推進のための投資とインクルーシブな社会の実現に向けて
・参加人数　4人

第５章　保健福祉部

第１節　福祉総務課

〔総括概要〕

福祉総務課の主な分掌事務は、地域福祉計画に関すること、栃木市社会福祉協議会に関すること、民生委員・児童委員に関すること、更生保護業務の支援に関すること、避難行動要支援者に関すること、災害見舞金等に関すること、日本赤十字社に関すること、社会福祉法人の定款認可等に関すること、社会福祉事業の経営に係る指導監督に関すること、指定障害福祉サービス事業者及び指定障害者支援施設の指定等に関すること、生活保護法による保護の措置に関すること、生活困窮者の自立支援に関すること等である。

地域福祉係では、福祉ニーズや地域情勢の変化による新たな課題に対応する「第3期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定し、関係機関・団体等に送付した。

また、令和7年1月から、食料品、生活用品等の価格高騰が著しいことから、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対して「栃木市非課税世帯支援給付金支給事業」に取り組んだ。

検査指導係では、平成25年度から社会福祉法人の定款認可及び指導監査事務等を行っており、栃木県知事から市長への事務処理特例制度の活用による社会福祉事業の経営に係る指導監督等の事務を行うとともに、障がい福祉サービス事業者の指定、保育所の認可及び業務検査指導等の事務への取組など、社会福祉事業の適正な運営に資するよう努めた。

また、国の社会福祉法人指導監査実施要綱により、市内社会福祉法人に対し指導監査ガイドラインによる全国統一基準の指導監査を実施した。

保護経理係、保護第1係、保護第2係では、経済・雇用環境の変化や、高齢者人口の増加、核家族化の進行により、生活保護受給者の状況も変化してきている中、生活保護法、実施要領等関係法令を順守し、生活困窮者に対して公平かつ適切な保護を心がけ、最低生活の保障と自立助長を図るとともに生活保護業務の組織的な管理を推進し、生活保護の適正実施に努めた。

また、生活保護に至る前の段階における自立支援策の強化を図るため、生活困窮者に対し自立相談支援事業、家計相談支援事業、学習支援事業、就労準備支援事業、住居確保給付金の支給を行った。

地域福祉係

1　社会福祉施策推進委員会の開催

社会福祉施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、栃木市社会福祉施策推進委員会を開催し、「栃木市障がい者計画」、「第8期高齢者保健福祉・介護保険事業計画」、「第

3期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画」、「第2期栃木市成年後見制度利用促進計画」の進捗等について検討を行った。

会議名	実施日	内　容
委員会	7月26日(金)	・栃木市障がい者計画の報告について ・第8期栃木市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の報告について ・第3期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について
委員会	9月17日(火)	・第3期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について
委員会	11月22日(金)	・第3期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定について
委員会	12月11日(水)	・第2期栃木市成年後見制度利用促進計画の策定について

2　地域福祉計画の推進

「第2期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画」の評価を社会福祉協議会と行った。

「第3期栃木市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定し、関係機関・団体等に送付した。

3　障がい者就労支援

栃木特別支援学校の生徒に対し、職業体験を行った。

4　民生委員・児童委員関係

市内17協議会による栃木市民生委員児童委員協議会連合会の事務局として、各協議会相互の連絡調整、情報の共有、委員の資質向上のための研修会開催等の支援を行った。

また、栃木地域においては民生委員・児童委員186人（12区の協議会）が、関係機関と連携協力のもと各種調査相談等を行った。そのうち主任児童委員23人は、特に児童福祉に関する活動を専門的に行った。

(1)　相談・指導状況　（単位：件）

地域福祉･在宅福祉	家族関係	住　居	保健･医療･健康	仕　事	生活費
89	61	29	97	71	24
年金･保険	非行･養護･健全育成	生活環境	その他	計	委員1人当たり件数
9	14	101	574	1,648	8.8

(2)　調査等状況　（単位：件）

調　査	証明事務	施設団体公的機関との連絡	諸会合･行事への参加	友愛訪問･安否確認のための訪問	計	委員1人当たり件数

612	55	2,816	15,581	29,210	48,274	259.5

5　日本赤十字事業

人道・博愛の精神を基調として、社会福祉増進のため募金及び災害救護を実施した。

(1)　赤十字活動資金募集実績額

地域	実績額(円)
栃木	6,717,890
大平	2,750,500
藤岡	1,475,900
都賀	1,060,800
西方	620,900
岩舟	1,684,800
合計	14,310,790

(2)　火災による救援品配布状況

地域	世帯数(世帯)	家族数(人)	毛　布(枚)	布　団(組)	緊急セット(個)
栃木	0	0	0	0	0
大平	0	0	0	0	0
藤岡	0	0	0	0	0
都賀	1	1	1	1	1
西方	0	0	0	0	0
岩舟	0	0	0	0	0
合計	1	1	1	1	1

(3)　講習会等

・健康生活支援講習　　5回

・救急法講習　　9回

6　火災等による災害見舞金支給状況（全地域合計）　　（単位：件）

全焼	半焼	部分焼	全壊	半壊	部分損壊	入院	火災死亡
7	2	2	－	－	－	－	3

7　地域福祉センター

(1)　ふるさとふれあい館

ア　利用状況

・年度別利用者数

年度／区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数（人）	14,018	15,214	15,326

・開館日数 313日

・1日平均入場者数 48人

・月別内訳

区分／月別	研修室	和室	ボランティアルーム①	ボランティアルーム②	陶芸室	木工室	学習室	ロビー・応接室等	合計	開館日数（日）
4	637	210	108	59	90	6	197	95	1,402	27
5	381	230	95	95	71	13	126	511	1,522	25
6	588	192	105	93	91	21	209	58	1,357	28
7	505	198	112	102	69	5	171	89	1,251	28
8	395	174	80	55	24	4	172	89	993	27
9	470	214	98	90	61	14	176	89	1,212	25
10	515	254	145	90	55	15	192	119	1,385	28
11	450	213	93	75	43	10	174	73	1,131	25
12	411	190	103	73	25	0	175	134	1,111	25
1	654	175	110	71	29	5	140	106	1,290	24
2	543	118	98	106	30	15	197	76	1,253	23
3	574	170	120	44	52	5	187	267	1,419	28
合計	6,123	2,408	1,267	953	640	113	2,116	1,706	15,326	313

イ　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ふるさとふれあい館のロビーや通路の壁側に、毎月、利用団体の作品の展示を行い、文化活動の活性化を図っている。

また、回遊式庭園のため、市民が気軽に来園し散策等出来るように、ベンチの設置やレジャーシート貸し出しを実施した。

更に以下のとおり自主事業を計画・実施した。

(ｱ)　オレンジカフェ（認知症カフェ）への協力

認知症の人だけでなく、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを目指し、地域の社会福祉法人が実施するオレンジカフェへの協力を行った。

開催場所：ロビー

開催日　：毎月第1金曜日及び第3木曜日

参加者　：707人

(ｲ)　学習支援

自宅で落ち着いて学習が出来ない、家庭の事情で塾に行けない生徒に対し学習支援を実施した。

・開催回数　37回

・延べ人数　215人/年

(ｳ)　ふれあい福祉作品展

ふるさとふれあい館利用団体等によるふれあい福祉作品展を実施することで、ふるさとふれあい館や福祉についてのＰＲ活動を行った。

・開催日　　5月25日(土)、26日(日)

・参加者数　409人

(ｴ)　エコキャップ回収運動

ペットボトルキャップの収益金を世界の子ども達のワクチン購入のために寄付するエコキャップ回収運動を実施した。

(2)　あいあいプラザ

・年度別利用者数

区分＼年度		令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	大人	574人	933人	1,176人
	子ども	2,207人	2,141人	2,864人
	計	2,781人	3,074人	4,040人
開館日数		308日	303日	307日
日平均利用者数		9.0人	10.1人	13.2人

検査指導係

1　社会福祉法人等の認可及び届出の延べ件数

(1)　社会福祉法人　　(単位：件)

	設立認可	定款変更	その他	合計
社会福祉法人	－	12	1	13

(2)　障がい福祉サービス事業所　　(単位：件)

	指定	指定更新	変更届	休止・廃止届	合計
障がい福祉サービス事業所	7	43	323	13	386

(3)　保育所等　　(単位：件)

	設置認可開始届	変更届	休止・廃止届	合計
保育所	1	2	1	4
小規模保育事業	－	1	－	1
一時預かり事業	1	3	－	4

放課後児童健全育成事業	3	9	3	15
認可外保育施設	－	5	4	9
児童館	－	－	－	－

2　検査指導業務の実施延件数　（単位：件）

種別		指導監査対象件数	指導監査実施件数
社会福祉法人		21	7
社会福祉施設等		508	151
高齢	地域密着型介護サービス事業(介護予防サービス事業含む)	54	3
	居宅介護支援事業	48	5
	介護予防支援事業	7	－
	第1号事業	100	－
障がい	障がい福祉サービス事業	141	59
	地域活動支援センター	4	3
児童	保育所	15	15
	一時預かり事業	10	10
	特定教育・保育施設	33	16
	小規模保育事業	4	1
	特定地域型保育事業	4	1
	放課後児童健全育成事業	67	22
	児童館	6	1
	認可外保育施設（認定こども園併設含む）	15	15

保護経理係　保護第1係　保護第2係

1　生活保護及び支援給付関係

(1)　被保護世帯数

ア　地区別状況

区分	総数	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟
世帯数	1,150	755	134	97	59	21	84
比率%	100	65.7	11.7	8.4	5.1	1.8	7.3

イ　世帯類型別状況

区分	総数	高齢者	障がい者	傷病者	母子	その他
世帯数	1,150	615	146	87	33	269
比率%	100	53.5	12.7	7.5	2.9	23.4

ウ　労働力類型別状況

区　分	総　数	世帯主 常用勤労者	世帯主 日雇労働者	世帯主 内職者	その他の 就労者	世帯員が 稼働	稼働者 なし
世帯数	1,150	54	96	2	4	24	970
比率％	100	4.7	8.3	0.2	0.3	2.1	84.4

(2)　生活保護新規相談及び開始・廃止ケースの状況

	新規ケースの処理状況					廃止件数
	相談件数	申請件数	開始数	取下数	却下数	
4月	29	7	7	－	－	19
5月	31	17	16	1	－	12
6月	28	12	10	2	－	10
7月	46	21	13	2	6	14
8月	33	19	17	－	2	11
9月	31	22	20	－	2	17
10月	23	11	10	1	－	12
11月	29	19	17	－	2	9
12月	29	17	17	－	－	14
1月	34	16	14	1	1	19
2月	41	20	19	1	－	13
3月	30	18	18	－	－	14
合　計	384	199	178	8	13	164
月平均	32	17	14	1	1	14

(3)　保護施設入所状況

生活保護法による保護施設の入所状況は次のとおりである。

・施設名　　共生の杜（救護施設）
　　フルーツガーデン（救護施設）
　　パルミラ（救護施設）
　　鹿島更生園（救護施設）
　　妙義白雲寮（救護施設）

・入所者数　12人

・入所状況内訳　　（単位：人）

区　分	令和5年度末	入所者	退所者	令和6年度末
共生の杜	3	－	－	3
フルーツガーデン	4	1	－	5
パルミラ	3	1	2	2

鹿島更生園	1	1	－	2
妙義白雲寮	2	－	2	－
合計	13	3	4	12

(4) 生活保護費等の支出状況

・支出状況 【別表 1】生活保護費等の支出状況

2 行旅死病人等取扱状況

取扱件数及び扶助費の支出額は次のとおりである。

区分	件数(人)	支出額（円）
行旅死亡人	2	433,960
行旅病人	－	－
行旅人	－	－
合計	2	433,960

3 生活困窮者自立促進支援事業関係

(1) 生活困窮者自立促進支援事業

	実施方法	相談者数	事業の概要
自立相談支援事業	委託 栃木市社会福祉協議会	315 人	生活困窮者の相談に広く応じ、当該生活困窮者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認することを通じて個々の状態にあった支援計画の作成等を行い、関係事業との連携を深めた支援を包括的、継続的に実施した。
家計改善支援事業	委託 栃木市社会福祉協議会	22 人	家計に関する相談を受け、家計管理に関する支援、滞納の解消や各種制度等の利用に向けた支援、債務管理に関する支援、貸付のあっせん等を行った。

<table>
<tr>
<td>学習支援
事業</td>
<td>委　託
栃木市社会福祉協議会</td>
<td>85 人</td>
<td>午前・午後の 2 部に分けて、個別指導により週6時間の学習サポート塾及び通信学習を実施した。また、必要に応じて面接練習、試験前学習を講師協力のもと、実施した。また、小学 5，6 年生の通信学習を実施した。

（習熟度別学習）　（単位：人）
<table><tr><th>学　年</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>中学 1 年生</td><td>9</td></tr><tr><td>中学 2 年生</td><td>8</td></tr><tr><td>中学 3 年生</td><td>21</td></tr><tr><td>合　計</td><td>38</td></tr></table>
（通信学習）　（単位：人）
<table><tr><th>学　年</th><th>参加人数</th></tr><tr><td>小学 5 年生</td><td>12</td></tr><tr><td>小学 6 年生</td><td>15</td></tr><tr><td>中学 1 年生</td><td>10</td></tr><tr><td>中学 2 年生</td><td>7</td></tr><tr><td>中学 3 年生</td><td>3</td></tr><tr><td>合　計</td><td>47</td></tr></table></td>
</tr>
</table>

(2)　住宅支援給付事業関係（住居確保給付金）

年度	支給月数(月)	支出額（円）
令和 4 年度	177	5,838,000
令和 5 年度	16	552,000
令和 6 年度	17	675,800

【別表 1】 生活保護費等の支出状況

・扶助費別支出状況 （単位：円）

月別	被保護		生活	住宅	教育	介護	医療	出産	生業	葬祭	就労自立	進学就職	保護施設
	世帯数	人員	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	扶助費	給付金	準備給付金	事務費
4月	1,127	1,362	51,108,095	24,098,480	401,113	5,138,397	118,449,791	－	602,736	185,500	－	－	2,737,595
5月	1,130	1,368	52,462,349	24,594,737	484,820	5,399,750	105,141,610	－	73,994	254,282	－	－	2,721,425
6月	1,127	1,365	53,085,767	24,359,242	738,713	5,265,229	87,166,088	－	126,300	389,650	－	－	2,718,515
7月	1,132	1,372	51,216,031	24,332,504	385,440	5,453,853	84,292,917	－	57,015	－	20,000	300,000	2,918,915
8月	1,132	1,375	52,796,716	24,120,239	264,385	5,055,308	70,239,234	－	47,700	176,000	－	－	2,922,627
9月	1,135	1,381	51,594,332	23,912,197	442,280	5,395,341	105,067,685	－	42,400	193,600	－	－	2,773,515
10月	1,135	1,377	52,470,658	24,357,203	424,833	5,079,450	85,670,118	352,700	42,400	568,800	－	－	2,832,845
11月	1,141	1,382	57,157,273	25,492,350	420,785	5,021,542	87,516,643	－	77,860	－	20,000	－	2,842,607
12月	1,138	1,384	70,731,587	25,197,813	423,490	5,820,557	91,222,503	－	53,000	－	－	100,000	2,847,217
1月	1,147	1,398	58,151,898	24,441,380	428,880	5,607,103	94,126,478	363,000	79,700	383,610	50,733	－	2,847,945
2月	1,139	1,394	59,838,196	25,268,196	477,940	5,200,462	86,235,944	－	63,600	242,000	－	－	2,651,390
3月	1,150	1,412	58,751,486	25,765,588	553,810	5,484,061	87,037,078	－	38,770	2,063,310	24,533	300,000	4,997,234
合計			669,364,388	295,939,929	5,446,489	63,921,053	1,102,166,089	715,700	1,305,475	4,456,752	115,266	700,000	35,811,830
月平均	1,136	1,381	55,780,366	24,661,661	453,874	5,326,754	91,847,174	59,642	108,790	371,396	9,606	58,333	2,984,319
扶助別構成比			30.71	13.58	0.25	2.93	50.56	0.03	0.06	0.20	0.01	0.03	1.64

・月別支出状況 （単位：円）

月	月別計	月	月別計	月	月別計	月	月別計	月	月別計	月	月別計	合計
4月	202,721,707	5月	191,132,967	6月	173,849,504	7月	168,976,675	8月	155,622,209	9月	189,421,350	2,179,942,971
10月	171,799,007	11月	178,549,060	12月	196,396,167	1月	186,480,727	2月	179,977,728	3月	185,015,870	

※保護率 9.52‰ ［‰（パーミル）：1000 分の幾つであるかを表す語。1 パーミルは 1000 分の 1。（人口 1,000 人当たりの保護者数）］

前年度比保護費	3.8％減
前年度比保護世帯数	0.3％増
前年度比保護人員	0.8％増

第２節　障がい福祉課

〔総括概要〕

障がい福祉課の主な分掌事務は、障がい者手帳の交付に関すること、障がい児者の手当支給に関すること、福祉タクシー料金助成に関すること、障がい者自立支援医療に関すること、障がい福祉サービスの支給に関すること及び障がい児者の福祉に係る相談支援に関することである。

障がい福祉係では、身体障害者手帳、療育手帳の交付等申請受付をはじめ、自立支援医療費（更生医療、育成医療）の支給、補装具・日常生活用具費の支給、特別障がい者手当等の支給、福祉タクシー券助成等の事務を行った。

障がい支援係では、主に障がい者の日常生活及び社会生活の総合的な支援に資するために訪問・通所・入所、住まい等の各種障がい福祉サービスの支給決定、障がい支援区分認定事務を行った。そのほか、地域生活支援事業（日中一時支援、移動支援、地域活動支援センター等）、精神障害者保健福祉手帳の交付申請及び自立支援医療（精神通院医療）の支給認定申請の受付を行った。

障がい児者相談支援センター係では、係を基幹相談支援センターとして位置づけており、障がい児者と当事者を取り巻く環境との相互作用による問題等について、地域の相談支援の拠点として関係機関と連携を図りながら相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行った。また、障がい者の高齢化、重度化や「親なき後」を見据え、安心して地域で生活できる地域生活支援システムである「栃木市くらしだいじネット」を運用し、緊急時支援等を行った。

障がい福祉係

1　身体障がい者の現況（身体障害者手帳交付状況）　（単位：人）

障がい区分	手帳所持者数	新規交付者数
視覚障がい	346	33
聴覚・平衡障がい	681	56
音声・言語・そしゃく障がい	61	3
肢体不自由障がい	2,335	62
内部障がい	1,874	179
複合障がい	254	2
合計	5,551	335

2　知的障がい者（児）の現況（療育手帳交付状況）　（単位：人）

区分	障がい児（18歳未満）		障がい者		合計
	男	女	男	女	

重度(A1･A2)	70	31	302	248	651
中度(　B1　)	64	22	286	202	574
軽度(　B2　)	126	45	269	128	568
合　　計	260	98	857	578	1,793

3　身体障がい者（児）の補装具等の交付状況

(1)　身体障がい者（児）の補装具交付及び修理

ア　件数　　（単位：件）

区　　分		身体障がい者			身体障がい児		
		交付	修理	合計	交付	修理	合計
義肢	義　手	2	1	3	－	－	－
	義　足	9	9	18	－	－	－
装具	下　肢	33	3	36	8	－	8
	靴　型	3	1	4	2	－	2
	体　幹	－	－	－	1	－	1
	上　肢	1	－	1	－	－	－
座位保持装置		6	14	20	3	2	5
盲人安全つえ		14	－	14	－	－	－
義眼		2	－	2	－	－	－
眼鏡	矯正眼鏡	6	－	6	－	－	－
	遮光眼鏡	5	－	5	－	－	－
	弱視眼鏡	－	－	－	－	－	－
補聴器	高度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	88	21	109	－	－	－
	重度難聴用ポケット型	－	－	－	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	26	10	36	1	1	2
	耳あな型(ｵｰﾀﾞｰﾒｲﾄﾞ)	－	－	－	－	－	－
人工内耳		－	－	－	－	－	－
車いす	普通型	12	22	34	2	5	7
	その他	10	5	15	1	4	5
電動車いす		－	6	6	－	－	－
座位保持いす		－	－	－	4	－	4
頭部保持具		－	－	－	－	－	－
歩行器		2	－	2	2	－	2
歩行補助つえ		1	－	1	－	－	－
重度障がい者用意思伝達装置		－	－	－	－	－	－
合　　計		220	92	312	24	12	36

イ　費用　　（単位：円）

区分	総額	公費分	自己負担額分
身体障がい者	29,527,679	28,684,682	842,997
身体障がい児	5,915,734	5,427,708	488,026

※公費分の給付に加え、市単独の事業として自己負担額分についても助成を行った。

(2)　障がい者（児）等の日常生活用具の給付

ア　件数　　（単位：件）

区　　分	障がい者等	障がい児	小児慢性特定疾患児
特殊寝台	2	－	－
特殊マット	2	－	－
床ずれ防止用具	－	－	－
特殊尿器	－	－	－
入浴担架	1	－	－
体位変換器	－	－	－
移動用リフト	－	－	－
移動用リフトスリングシート	－	－	－
訓練いす（児のみ）	－	－	－
訓練用ベッド（児のみ）	－	－	－
入浴補助用具	1	1	－
腰掛便座	－	－	－
洗浄機能付便座	－	－	－
昇降機能付便座	－	－	－
歩行支援用具	－	－	－
Ｔ字状・棒状のつえ	－	－	－
頭部保護帽	4	1	1
火災警報器	－	－	－
自動消火器	－	－	－
電磁調理器	－	－	－
歩行時間延長信号機用小型送信機	－	－	－
聴覚障がい者用屋内信号装置	1	－	－
透析液加温器	2	－	－
ネブライザー	1	－	－
電気式たん吸引器	8	1	－

酸素ボンベ運搬車	－	－	－
盲人用体温計	2	－	－
盲人用体重計	1	－	－
携帯用会話補助装置	－	－	－
点字ディスプレイ	－	－	－
点字器	－	－	－
点字タイプライター	－	－	－
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	2	－	－
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	1	－	－
視覚障がい者用拡大読書器	6	－	－
盲人用時計	5	－	－
聴覚障がい者用通信装置	3	－	－
聴覚障がい者用情報受信装置	－	－	－
人工喉頭	－	－	－
埋込型用人工鼻	－	－	－
人工内耳外部装置	－	－	－
情報・通信支援用具	2	－	－
ストマ用装具	4,030	24	－
紙おむつ	611	240	－
収尿器	2	－	－
居宅生活動作補助用具	2	1	－
パルスオキシメーター	1	1	－
自家発電機又は外部バッテリー	2	－	－
車いす	－	－	－
クールベスト	－	－	－
紫外線カットクリーム	－	－	－
合計	4,692	269	1

イ　費用　　（単位:円）

区分	総額
障がい者等	47,349,278
障がい児	3,244,119
小児慢性特定疾患児	15,200

(3)　軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業

身体障害者手帳の交付の対象にならない軽度・中等度の難聴児の補聴器購入費等の一部を助成した。

ア　件数　（単位:件）

区分		交付	修理	合計
補聴器	軽度・中等度難聴用ポケット型	－	－	－
	軽度・中等度難聴用耳かけ型	1	7	8
	高度難聴用ポケット型	－	－	－
	高度難聴用耳掛け型	－	－	－
	重度難聴用ポケット型	－	－	－
	重度難聴用耳掛け型	－	－	－

イ　費用　（単位：円）

区分	総額		
		公費分	自己負担額分
軽度・中等度難聴児	241,658	161,101	80,557

※公費分の給付に加え、市単独の事業として自己負担額分についても助成を行った。

4　身体障がい者の自立支援医療（更生医療）給付状況

(1)　件数　（単位:件）

区分	給付決定件数
音声・言語・そしゃく機能障がい	1
肢体不自由	1
心臓機能障がい	66
腎臓機能障がい	465
肝臓機能障がい	8
免疫機能障がい	31
合計	572

(2)　費用　（単位：円）

総額	国県負担金対象分	市単独助成分
140,156,982	139,776,083	380,899

5　身体障がい者の自立支援医療（育成医療）給付状況

(1)　件数　（単位:件）

区分	給付決定件数
視覚機能障がい	－
聴覚・平衡機能障がい	－
音声・言語・そしゃく機能障がい	9

肢体不自由	4
心臓機能障がい	－
小腸機能障がい	2
肝臓機能障がい	－
その他機能障がい	4
合計	19

(2) 費用 （単位：円）

総額	国県負担金対象分	市単独助成分
768,152	624,515	143,637

6 各種手当の状況

障がいに関係する手当

種別		受給者数（人）	支給額（円）
特定疾患者介護手当		1,509	51,513,000
特別障がい者等手当	特別障がい者手当	108	34,836,320
	障がい児福祉手当	62	11,617,900
	福祉手当(経過的)	2	466,000
重度障がい児支援手当		134	4,404,000
特別児童扶養手当		271	県で支給

7 福祉タクシー料金助成事業

障がい者及び高齢者の社会参加の促進を図るため、「福祉タクシー利用券」により、タクシー料金を助成した。

区分		実施状況
交付者数		5,952人
	障がい者	804人
	高齢者	5,148人
交付枚数		138,336枚
利用枚数		73,761枚
利用率 （利用枚数/交付枚数）		53.3%
助成額		36,880,500円

8 身体障がい者福祉関係

障がい者の体力増進を図るため、次の事業を実施した。

(1) 障がい者軽スポーツ大会

・日程　3月2日（日）

障がい支援係

1　障がい者福祉関係

(1)　障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい者の状況は次のとおりである。

ア　障害者自立支援給付費

サービスの種類		利用障がい者数(人)					給付額（円）
		身体	知的	精神	難病	計	
介護給付費	居宅介護	73	93	103	5	274	126,634,698
	行動援護	1	14	－	－	15	4,161,401
	同行援護	53	－	－	－	53	15,685,659
	短期入所	23	68	11	－	102	64,654,857
	重度訪問介護	5	－	－	－	5	47,812,080
	療養介護	26	－	－	－	26	79,537,910
	生活介護	141	330	38	1	510	1,386,216,692
	重度障害者等包括支援	－	－	－	－	－	－
	施設入所支援	65	121	5	－	191	371,319,373
	特定障害者特別給付費	－	－	－	－	－	56,476,097
	高額障害福祉サービス費	1	4	2	－	7	67,982
	新高額障害福祉サービス費	3	7	2	－	12	1,714,259
	計	391	637	161	6	1,195	2,154,281,008
訓練等給付費	共同生活援助	33	196	144	2	375	639,385,775
	自立訓練	1	4	11	－	16	13,599,256
	就労移行支援	4	6	23	－	33	41,756,519
	就労継続支援Ａ型	24	51	110	4	189	236,456,796
	就労継続支援Ｂ型	62	339	263	5	669	1,006,718,715
	就労定着支援	－	4	8	－	12	4,610,991
	自立生活援助	－	－	－	－	－	－
	計	124	600	559	11	1,294	1,942,528,052
相談支援給付費	計画相談支援	318	744	524	14	1,600	86,055,304
	地域移行支援	0	1	4	－	5	172,585
	地域定着支援	2	5	－	－	7	276,512
	計	320	750	528	14	1,612	86,504,401

合　　計	835	1,987	1,248	31	4,101	4,183,313,461

イ　地域生活支援事業

サービスの種類	利用障がい者数(人)					支出額(円)
	身体	知的	精神	難病	計	
成年後見制度利用支援事業	－	6	3	－	9	2,040,185
コミュニケーション支援事業	20	－	－	－	20	1,206,310
移動支援事業	34	67	41	2	144	9,392,221
訪問入浴サービス事業	4	－	－	－	4	1,292,500
更生訓練費及び就職支度金給付事業	－	－	－	－	－	－
日中一時支援事業	47	94	56	0	197	53,018,610
自動車改造費助成事業	3	－	－	－	3	300,000
自動車運転免許取得助成事業	－	－	－	－	－	－
合　　計	108	167	100	2	377	67,249,826

(2)　障がい支援区分審査会実施状況

障害者総合支援法に定める、介護給付費の支給に関する障がい支援区分の審査・判定及び市の障がい福祉サービス支給要否決定に当たって審査会委員が意見を述べることを目的として審査会が設置されており24回開催した。実施状況は次のとおりである。

障がい支援区分	身体		知的		精神		身体・知的		身体・精神		知的・精神	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
1	5	7.5	4	2.1	－	－	－	－	－	－	－	－
2	8	11.9	26	13.4	59	48.8	－	－	1	14.3	3	27.3
3	12	17.9	44	22.7	41	33.9	6	10.3	1	14.3	3	27.3
4	6	9.0	38	19.6	12	9.9	5	8.7	1	14.3	4	36.3
5	11	16.4	39	20.1	6	4.9	6	10.3	2	28.6	1	9.1
6	25	37.3	43	22.1	3	2.5	41	70.7	2	28.6	－	－
計	67	100	194	100	121	100	58	100	7	100	11	100

障がい支援区分	身体・知的・難病		難病		身体・難病		知的・難病		精神・難病		合計	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	9	1.9
2	－	－	1	50.0	－	－	－	－	－	－	98	21.0
3	－	－	－	－	－	－	1	100.0	－	－	108	23.2

4	－	－	1	50.0	2	66.7	－	－	－	－	69	14.8
5	－	－	－	－	1	33.3	－	－	－	－	66	14.2
6	2	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	116	24.9
計	2	100	2	100	3	100	1	100	－	－	456	100

2　障がい児福祉関係

(1)　児童福祉法に基づく障害児通所支援の利用状況

平成24年4月の児童福祉法の改正に伴い、障害児通所支援給付費により障害児通所支援を利用した障がい児の状況は次のとおりである。

・障害児通所給付費

サービスの種類	利用障がい児数(人)	支出額(円)
障害児相談支援	709	37,827,385
児童発達支援	316	284,229,437
医療型児童発達支援	－	6,150
居宅訪問型児童発達支援	－	－
放課後等デイサービス	385	548,644,621
保育所等訪問支援	76	4,036,818
高額障害児通所給付	7	118,297
合　計	1,493	874,862,708

(2)　障害者総合支援法に基づく障がい福祉サービスの利用状況

障害者自立支援給付費、地域生活支援事業により障がい福祉サービスを利用した障がい児の状況は次のとおりである。

ア　障害者自立支援給付費

サービスの種類		利用障がい児数(人)	支出額(円)
介護給付費	居宅介護	3	－
	行動援護	－	－
	短期入所	8	－
	合　計	11	－

イ　地域生活支援事業

サービスの種類	利用障がい児数(人)	支出額(円)
コミュニケーション支援事業	－	－
移動支援事業	－	－
訪問入浴サービス事業	－	－
日中一時支援事業	117	8,700,195
合　計	117	8,700,195

3　地域活動支援センター事業

障害者総合支援法に基づき、障がい者及び障がい児に、創作的活動や生産活動の機会を提供し、社会参加や交流の促進を図るために実施した。

・運営状況　（単位：人）

施　設　名	所　在　地	月平均通所者数	通所延べ人員
オープンハウスたんぽぽ	小平町6-11	161.6	1,940
さざなみの家	平柳町1-2-7	198.6	2,384

4　精神障がい者福祉関係

(1)　精神障がい者の現況(精神障害者保健福祉手帳交付状況)

区　分	交付者数（人）	比　率（%）
1　級	282	17.8
2　級	917	57.9
3　級	386	24.3
合　計	1,585	100.0

(2)　自立支援医療費（精神通院）受給状況

精神科外来を受診する際に自己負担金が軽減される制度で、3,068人が受給した。

障がい児者相談支援センター係

1　相談支援事業

福祉に関する必要な情報の提供・助言、福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行い、虐待の防止や早期発見、障がいのある方の権利擁護のために必要な援助を実施した。

(1)　相談支援専門員・保健師による精神保健福祉相談

ア　利用者数　（単位：人）

実人数	うち新規者の受付経路	
	医療機関	その他
136	9	36

イ　支援方法　（単位：件）

訪問	面接	電話・メール	合　計
333	161	766	1,260

(2)　相談支援専門員・保健師による福祉相談

ア　利用者数（障がい種別）　（単位：人）

	実人数	内訳（障がいが重複している場合は、それぞれに計上）						
		身体	重心	知的	精神	発達	高次脳	その他

新規	64	4	1	8	35	4	1	15
継続	148	9	0	25	84	11	2	24
合計	213	13	1	33	119	15	3	39

※内10名は障がいが重複している。

イ　支援方法　（単位：件）

訪問	面接	同行支援	電話	メール	支援会議	関係機関	その他	合 計
606	205	117	1,206	9	39	1,307	2	3,491

ウ　支援内容　（単位：件）

福祉サービスの利用等	1,542	家計・経済	500
障がいや病状の理解	257	生活援助	159
健康・医療	944	就労	198
不安解消・情緒不安定	837	社会参加・余暇支援	38
保健・教育	26	権利擁護	25
家族関係・人間関係	230	その他	54
		合　計	4,810

2　くらしだいじネット

(1)　緊急時支援事業

市と市内障がい福祉サービス事業所等との連携により、携帯電話による常時の相談及び緊急時の対応（短期入所、居宅介護、駆けつけ応援）等の支援を行った。

ア　登録者数　69名（うち令和6年度 新規1名）

イ　相談件数　3件

ウ　支援件数　（単位：件）

支援件数	支援方法		
	短期入所	居宅介護	駆けつけ応援
1	1	－	1

(2)　一人暮らし体験事業

障がい者が親なき後も安心して自分らしく生活することができるよう、将来地域における自立生活を目指す障がい者が､体験施設において一人暮らしを体験することで、一人暮らしの課題把握や、障がい者及び家族の不安を整理し、障がい者の自立意欲の促進を図った。

ア　委託先

・一人暮らし体験施設の提供および支援
　社会福祉法人ブローニュの森　ゆっ蔵
・一人暮らし体験における家事援助

栃木市内の居宅介護事業所(6事業所)

イ　相談件数　7件

ウ　利用実人数(日数)　2人(14日間)

3　ひきこもり対策

ひきこもり状態の方を早期に適切な支援に結びつけるために、栃木県子ども若者・ひきこもり総合相談センター（ポラリス☆とちぎ）の協力のもと、毎月第2木曜日にひきこもり個別相談会を実施したほか、アウトリーチ事業を行った。

また、ひきこもり等の問題を抱える家族の相互理解を目的とするひきこもり家族会を実施した。

(1)　ひきこもり個別相談会

ア　実施回数　12回　（4月11日、5月9日、6月13日、7月11日、8月8日、9月12日、10月10日、11月14日、12月12日、1月9日、2月13日、3月13日）

イ　参加人数　延べ28人(実人数7人)

(2)　アウトリーチ事業

ア　面接　7回(実人数2人)

イ　訪問　8回(実人数3人)

(3)　ひきこもり研修会

ア　開催日　10月29日（火）

イ　参加者　30人

(4)　ひきこもり家族会

ア　開催日　3回　（7月17日、11月1日、3月11日）

イ　参加者　7人

4　関係機関との連携・ネットワークづくり

(1)　相談支援ネットワーク定例会

障がい児者の相談支援に携わる関係者の資質の向上、関係機関の相互の連携強化、相談支援体制の充実強化を図るために研修会を開催した。

ア　対象者　市内事業所の相談支援専門員

イ　開催回数　4回（6月27日、9月26日、11月21日、2月20日）

ウ　参加者数　延べ117人

(2)　居宅介護研修会

複雑多様化する障がいや、家族への支援等に関する専門的知識を学ぶ機会を持つとともに、支援者間の連携強化を図るために研修会を開催した。

ア　対象者　市内の居宅介護事業所職員

イ　開催回数　1回（9月13日）

ウ　参加者数　10人

(3)　障がい児福祉サービス事業所連携会議

障がい児の支援に関する専門性の向上を図るとともに市内の児童を取りまく現状を共有し、支援者間の連携強化を図るために研修会を開催した。

ア　対象者　市内の障がい児福祉サービスを提供している事業所・相談支援事業所職員
イ　開催回数　1回（6月12日）
ウ　参加者数　47人

5　障がい者等自立支援協議会

(1)　障がい者等支援担当者会議

障がい児者及び難病への支援体制の整備を図るため、支援体制に関する課題の共有や、支援体制の整備、栃木市くらしだいじネットについて協議を行った。

ア　構成員　15名（メディカルソーシャルワーカー、相談支援専門員、障害福祉サービス事業所職員、教育関係者、保健師、当事者等）
イ　開催回数　2回（7月12日、2月10日）

(2)　医療的ケアワーキンググループ

医療的ケアを要する障がい児者が安心して地域で生活するにあたって、適切な支援体制の整備を図るため、医療的ケア児者の支援における課題やニーズの把握、支援に必要な施策等について協議を行った。また、医療的ケア児者の支援体制の整備について研修を開催した。

ア　構成員　17名（メディカルソーシャルワーカー、相談支援専門員、障害福祉サービス事業所職員、訪問看護師、教育関係者、保健師、当事者等）
イ　開催回数　3回（6月11日、9月3日、1月17日）

(3)　くらしまるごとワーキンググループ

精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築を進めるため、精神障がい者が、地域の一員として安心して自分らしい暮らしができるよう精神保健福祉体制について協議、検討を行った。

ア　構成員　16名（メディカルソーシャルワーカー、相談支援専門員、障害福祉サービス事業所職員、保健師、当事者等）
イ　開催回数　5回（5月29日、7月19日、8月20日、11月13日、1月23日）

6　障がい者虐待関係

障がい者の権利擁護を図るため、障がい者虐待に対する相談受付及び被虐待者の保護や自立の支援、養護者に対する支援等の対応を行った。また、虐待の早期発見や防止に関する普及啓発のため研修会を行った。

(1)　障がい者虐待相談・対応状況

ア　障がい者虐待相談・対応件数

（単位：件）

	養護者によるもの	障がい者福祉施設従事者等によるもの	使用者によるもの	合計

相談･通報･届出受理件数	5	5	0	10
受理したケースの内虐待の判断にいたったケース	0	2	0	2

イ　虐待ケース会議開催回数　3回

(2)　障がい者虐待防止研修会

ア　開催日　3月7日(金)

イ　対象者　障がい者福祉事業所職員(施設長及び管理者)

ウ　参加者数　40人

第３節　高齢介護課

〔総括概要〕

高齢者が住み慣れた地域でよりよく生活できるよう、高齢者福祉の充実と向上に努めた。

高齢福祉係では、高齢者の生きがいづくりを推進するため、健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成事業や敬老祝金支給、老人クラブ活動の支援などの事業を実施した。

また、緊急通報装置設置、高齢者ふれあい相談員などの安否確認を兼ねた事業や在宅高齢者短期入所､日常生活用具購入費助成､在宅ねたきり老人等介護手当支給、紙おむつ給付事業等、高齢者の在宅福祉事業を実施した。

更に、指定管理である老人福祉センターや渡良瀬の里においては、健康の増進等に関する事業を実施した。

介護保険係では、第９期介護保険事業計画を基に、要介護者などが、住み慣れた地域において継続して日常生活を続けられるよう、居宅サービス及び地域密着型サービスの充実を図り、介護給付費の支給事務や低所得者の負担軽減対策、利用者からの苦情処理及び地域密着型サービス事業所・居宅介護支援事業所の整備・指定・更新事務等を実施した。

更に、介護人材不足解消のため、介護人材の裾野拡大と専門性の向上を目的として生活サポーター(あったかいご員)養成講座を開催した。

介護認定係では、要介護（要支援）認定申請の受付、介護認定訪問調査、介護認定審査会事務等を実施し、適正・公正な要介護（要支援）認定を行った。

高齢福祉係

1　高齢者人口・生活態様別統計

(1)　高齢者人口（令和6年4月1日現在）

区分＼年度	令和４年度	令和５年度	令和６年度
総人口（人）	156,301	155,092	153,828
65歳以上人口（人）	50,237	50,156	50,239
高齢化率（%）	32.14	32.30	32.66

(2)　高齢者生活態様（5～7月　高齢者実態調査結果）

高齢者の生活実態を把握するとともに、緊急時の対応や見守り支援に繋げていくため、前年度中に70歳になった方や70歳以上のみの世帯で転入等の異動があった世帯を対象に、民生委員の協力を得て、高齢者実態調査を行った。

高齢者実態調査	世帯数(世帯)	人数(人)

70歳になった方で 一人暮らし世帯（独居世帯）	362	362
70歳になった方が属する 70歳以上の方のみが暮らす世帯（高齢者世帯）	277	565
合計	639	927

※70歳以上のみの世帯で転入等の異動があった世帯を含む。

2　敬老祝賀事業

9月1日(基準日)において本市に引き続き1年以上居住し、当該年度に85歳、100歳、101歳以上の誕生日を迎える高齢者の方に対し、長寿を祝して敬老の日に合わせ敬老祝金及び記念品を贈呈した。

区　分	支給額(円)	対象人数(人)
85歳	10,000	1,196
100歳	100,000	63
101歳以上	記念品	66

3　敬老会事業

敬老会事業を実施した自治会等に対し、その地域に在住の 80 歳以上の高齢者数に1,000 円を乗じた額の補助金を交付した。

・補助金交付団体数・補助額

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
交付団体数（自治会等）	403	405	393
補助額（円）	15,000,000	15,299,000	15,285,000

4　栃木市シルバー作品展事業

高齢者の生きがいづくり、健康寿命の延伸を目的に、市内在住で65歳以上の方を対象とした作品展を開催した。（令和6年度より蔵の街シニアクラブ連合会と共同開催）

・出品数　　167作品

・開催日　　12月10日～13日　計4日間

・来場者数　464人

5　とちぎ蔵の街シニアクラブ活動支援事業

とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会の活動及び単位老人クラブの社会奉仕活動、生きがい活動、健康づくり活動等の充実のため支援を行った。

・クラブ数・会員数・補助額

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
単位老人クラブ数（クラブ）	125	115	110
とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会会員数（人）	4,298	3,891	3,703

老人クラブ活動助成補助金（円）	5,443,000	5,088,000	4,725,000
とちぎ蔵の街シニアクラブ連合会活動促進補助金（円）	7,321,000	8,621,000	8,621,000

6　高齢者ふれあい相談員事業

在宅のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯に対し、家庭訪問を通して、時の話題を提供しながら、安否の確認、相談業務等を行った。

・相談員数・訪問世帯数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
相談員数（人）	965	992	1,013
訪問世帯数（世帯）	9,621	10,026	10,603

7　養護老人ホーム入所判定委員会

心身機能の減退等のために日常生活に支障がある高齢者又は生活に困窮している低所得の高齢者で、家族からの適切な介護を受けることが困難な方に対し、養護老人ホームへの入所措置等を適正に行うため、入所判定委員会を開催した。

・開催回数　4回

・判定件数　5件

8　養護老人ホームへの措置　（単位：人）

区　分	令和6年4月1日現在人数	令和6年度中		令和7年3月31日現在人数
		入所	退所	
養護老人ホーム	54	4	8	50

9　日常生活用具購入費助成等事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具の購入費助成を行った。

・日常生活用具購入費助成状況　（単位：件）

品　目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
老人福祉車	188	161	179
小型暖房器具	12	13	14
電磁調理器	3	4	1
火災警報器	2	－	2
自動消火器	－	－	－
エアコン	－	21	12

10　日常生活用具レンタル料助成事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしの高齢者等の便宜を図るため、日常生活用具のレンタル料の一部を助成した。

・日常生活用具レンタル料助成申請状況　　（単位：件）

品　　目	令和4年度	令和5年度	令和6年度
電動小型吸引機	21	28	26
特殊寝台	6	7	12
じょく瘡予防用具	4	1	0

11　緊急通報装置設置事業

ひとり暮らしの高齢者及び身体障がい者宅に緊急通報装置を設置し、急病や災害等の緊急時に備えた。

・設置状況　　（単位：台）

既設置台数	設置台数	撤去台数	計
161	8	38	131

12　福祉電話貸与事業

おおむね65歳以上の低所得のひとり暮らし高齢者への通報用電話の貸与を継続した。

・設置状況　　（単位:台）

既設置台数	撤去台数	計
3	－	3

13　在宅ねたきり老人等介護手当支給事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された高齢者と同居し、常時介護している方に対し、介護者の慰労及び在宅福祉の向上を目的として、月額3,000円の介護手当を支給した。

・在宅ねたきり老人等介護手当支給者数（延べ人数）　　（単位：人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
上半期	832	844	748
下半期	840	832	701
合計	1,672	1,676	1,449

14　紙おむつ給付事業

市内に住所を有し、要介護認定3・4・5のいずれかに認定された方で、日常生活において常時紙おむつを使用している方に対し、紙おむつを給付（注文額のうち月額3,500円までを市が負担）した。

・給付認定者数　　（単位：人）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
認定者数	1,587	1,560	1,503

15　在宅高齢者短期入所事業

介護予防や生活支援の必要な在宅のひとり暮らし高齢者等に、在宅生活での自

立を目的とした事業を実施した。

・利用者数・延べ宿泊数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数（人）	1	2	6
延べ宿泊数（泊）	48	43	97

16　健康はり、きゅう及びあん摩マッサージ指圧施術料助成事業

高齢者の健康保持や健康寿命延伸を目的に、はり、きゅう、あん摩マッサージ指圧施術料助成券を交付し、施術料の一部について助成した。

・事業対象者　市内在住で満 75 歳以上の方

・助成券概要　2 か月に 1 枚の割合で交付（最大 6 枚綴）、1 枚につき 800 円の助成

・交付・利用実績

	令和 4 年度	令和5年度	令和6年度
交付数（冊）	444	488	526
利用枚数（枚）	1,038	1,136	1,130

17　老人福祉センター長寿園

(1)　利用状況

・年度別利用者数　(単位：人)

年度	令和 4 年度	令和5年度	令和6年度
長寿園利用者	17,993	23,767	28,394

・開館日数　296日　・1日平均入場者数　95.9人

・6月15日（土）(県民の日)※無料開放日：120人

・9月16日（月）(敬老の日)※無料開放日：116人　計236人

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	障がい者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上（人）	一般（人）	（人）	（人）	60歳以上（人）	一般（人）	市外（人）	（人）	（人）	（人）	（円）	（日）
4	490	36	1	368	950	24	5	188	－	2,069	181,500	25
5	451	25	3	317	1,025	29	7	204	－	2,061	184,000	23
6	429	40	2	312	1,110	24	6	331	－	2,271	159,700	26
7	551	35	2	404	1,203	33	11	283	－	2,557	163,200	26
8	485	35	9	398	1,065	28	10	335	－	2,463	155,500	25
9	455	26	3	382	1,075	23	11	376	－	2,380	167,900	24
10	497	30	6	384	1,115	26	13	224	－	2,312	165,600	25
11	533	24	11	436	1,183	17	10	228	－	2,448	175,400	24
12	590	39	6	468	1,276	28	13	235	－	2,660	195,700	27
1	590	33	11	370	1,099	26	10	195	－	2,350	164,300	23

2	550	34	5	408	1,118	27	7	158	－	2,315	175,200	22
3	572	49	4	434	1,148	26	12	222	－	2,508	185,900	26
計	6,193	406	63	4,681	13,367	311	115	2,979	－	28,394	2,073,900	296

(2) 事業実施状況

ア 機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びフットマッサージ機の活用を行った。

・延べ人員 4,976 人

イ 健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・延べ人員 33 人

・実施回数 11 回

・実施日 随時

ウ 包括的な相談

高齢者の生活の困りごとに関する情報提供を行った。

・延べ人員 1 人

・実施回数 1 回

・実施日 随時

エ 運動教室（6 教室）

・延べ人員 2,062 人

・実施回数 96 回

オ はじめての英会話教室

・延べ人員 188 人

・実施回数 21 回

カ 教養講座（4 講座）

・延べ人員 293 人

・実施回数 31 回

キ 料理教室

・延べ人員 13 人

・実施回数 1 回

ク 高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、11 のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
陶芸（4クラブ）	34	151	690
絵画	5	24	66
太極拳（3クラブ）	47	110	1,504
気功体操	14	24	286
短歌	9	11	67

絵手紙	4	15	62
合　　計	113	335	2,675

18　老人福祉センター泉寿園

(1)　利用状況

・年度別利用者数　(単位：人)

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
泉寿園利用者	17,858	19,454	20,891

・開館日数　298日

・1日平均入場者数　　70.1人

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	障がい者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上	一般			60歳以上	一般	市外					
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(円)	(日)
4	386	7	－	274	801	14	－	160	－	1,642	112,000	24
5	356	2	1	268	870	19	－	160	－	1,676	125,300	24
6	445	6	－	298	845	11	－	122	－	1,727	101,900	26
7	390	－	－	340	904	11	－	140	－	1,785	130,000	25
8	393	5	－	358	949	14	－	149	－	1,868	135,300	26
9	429	4	－	281	829	12	－	122	－	1,677	105,300	24
10	399	3	3	284	912	16	－	119	－	1,736	127,400	25
11	373	2	1	293	950	17	－	314	－	1,950	152,000	25
12	377	7	－	290	996	15	－	133	－	1,818	123,100	27
1	329	7	5	249	860	11	－	126	－	1,587	117,800	23
2	346	7	6	245	832	12	－	111	－	1,559	120,800	22
3	362	3	8	347	955	9	－	182	－	1,866	137,200	27
計	4,585	53	24	3,527	10,703	161	－	1,838	－	20,891	1,488,100	298

※6月15日　県民の日（無料開放）　利用者110名

※9月16日　敬老の日（無料開放）　利用者94名

※11月6日、3月5日　事業開催のため休園日の開園

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用を行った。

・ヘルストロン使用者 5,623人、マッサージ器使用者 331人

イ　健康相談及び衛生教育

医療従事者による各種測定や健康に関する相談会を定期的に開催した。また認知症・フレイル予防に関するイベント、講座を開催した。

(ｱ)　スポーツドクターの健康相談会

・延べ実施回数　19回

・延べ人員　11人

(ｲ)　まちの保健室

・延べ実施回数　6回

・延べ人員　123人

(ｳ)　いきいき元気教室

・延べ実施回数　8回

・延べ人員　239人

(ｴ)　医師による健康講話

・延べ実施回数　1回

・延べ人員　16人

(ｵ)　認知症普及啓発イベント

・延べ実施回数　1回

・延べ人員　86人

ウ　自主事業

健康マージャン室の利用貸出や各種体験会の開催、飲食販売を行った。

エ　講座開催

健康増進、教養向上を目的とした講座の開催を行った。

・開催講座数　10講座

・延べ人員　2,419人

オ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、11のクラブ活動を支援した。

講座名	会員数(人)	実施回数(回)	延べ人員(人)
囲碁・将棋・麻雀(9ｸﾗﾌﾞ)	156	426	3,077
ちぎり絵	9	22	139
俳句	3	12	36
合計	168	471	3,252

19　老人福祉センター福寿園

(1)　利用状況

・年度別利用者数　（単位：人）

年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
福寿園利用者	11,164	13,245	14,261

・開館日数　298日

・1日平均入場者数　47.9人

・無料開放日：226人（6月15日（土）41人、9月16日（月）58人、3月25日（火）127人）

・どまんなか協定該当者3人含む。

・小学生以下含めず。

・月別内訳

区分／月別	市内		市外	障がい者等	回数券利用			減免利用	団体割引	計	利用料	開館日数
	60歳以上	一般			60歳以上	一般	市外					
	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（人）	（円）	（日）
4	206	6	−	126	352	13	−	316	−	1,030	58,800	25
5	180	2	1	135	350	10	−	289	−	978	53,700	23
6	212	8	1	143	352	12	−	332	−	1,073	54,300	26
7	152	19	3	175	362	11	−	405	−	1,212	53,900	26
8	193	15	1	135	332	14	−	400	−	1,131	57,200	25
9	208	1	1	134	288	11	−	351	−	1,001	44,400	24
10	277	30	3	194	329	10	−	379	31	1,261	55,000	25
11	221	3	4	132	353	20	−	392	−	1,133	62,000	24
12	252	14	−	178	420	11	−	418	−	1,317	62,300	27
1	249	8	2	168	418	12	−	370	31	1,243	65,100	23
2	259	4	1	173	410	10	−	374	167	1,404	64,400	22
3	199	2	4	196	392	25	−	440	174	1,478	58,500	26
計	2,608	112	23	1,889	4,358	159	−	4,466	403	14,261	689,600	296

(2)　事業実施状況

ア　機能回復訓練

老化防止、健康の保持増進を目的に、器具及びヘルストロンの活用を行った。

・延べ人員　6,934 人

（ヘルストロン使用者 4,147 人、マッサージ器使用 2,787 人）

イ　健康相談及び衛生教育

看護師を招き、高齢者の健康保持に関する相談や、血圧測定、日常生活に関する指導、看護と療養指導などの衛生教育と健康づくり指導を行った。

・延べ人員　46 人

・実施回数　随時

ウ　介護相談

高齢者の介護に関する相談や、介護保険制度等の情報提供を行った。

・延べ人員　23 人

・実施回数　随時

エ　自主事業

・ロコモティブシンドローム教室 154 人、シナプソロジー教室 94 人、スマホ教室 28 人、フレイル教室 107 人、赤ちゃんハイハイレース参加者 7 組
元気アップ教室 65 人、卓球 80 人、雅楽演奏会 20 人、カラオケ大会 98 人
熱中症予防かるた大会 50 人、老後も安心終活準備 22 人、尿もれ予防講座 10 人
まりもちゃんショー122 名、輪投げ大会 22 人

・ビンゴ大会毎月第 3 金曜日実施

オ　高齢者のクラブ活動

高齢者の生涯学習活動の一環として、1つのクラブ活動を支援した。

講座名	会員数（人）	実施回数（回）	延べ人員（人）
大正琴	8	37	289

20　渡良瀬の里

利用者相互の交流と憩いの場として、福祉及び健康の増進を図り、入浴、グラウンドゴルフの利用できる施設として、指定管理者により運営しており利用状況等は次のとおりである。

(1)　利用状況

・年度別利用者数　（単位：人）

年　度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	15,721	22,349	24,040

・開館日数　292日

・1日平均入場者数　82.3人

・月別内訳

区分／月別	大人(一般) 65歳以上（人）	大人(一般) 64歳以下（人）	回数券利用（人）	子供（人）	障がい者（人）	グラウンドゴルフ（人）	その他（人）	計（人）	開館日数（日）
4	902	165	672	8	201	70	0	2,018	25
5	882	182	640	43	240	46	0	2,033	27
6	854	159	586	25	211	40	0	1,875	26
7	777	157	547	23	181	55	0	1,740	26
8	790	174	480	9	171	0	0	1,624	27
9	259	85	165	10	82	14	0	615	10
10	821	186	512	13	178	28	0	1,738	27
11	1,030	272	646	52	204	51	0	2,255	26
12	1,049	269	686	31	223	22	0	2,280	25
1	1,064	253	739	18	219	0	0	2,293	23
2	1,194	298	874	30	251	33	0	2,680	24
3	1,300	363	875	30	281	40	0	2,889	26
計	10,922	2,563	7,422	292	2,442	399	0	24,040	292

(2)　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

・海鮮せとうち

・運動塾・・・・・毎月第2・第4　木・土

・健康相談　・・・・・毎月1回(第3土曜日)

21　公益社団法人栃木市シルバー人材センター

(1)　年齢別会員登録状況

性別／年齢別	男(人)	女(人)	計(人)	構成比(%)
60歳未満	－	－	－	－
60 ～ 64	15	4	19	2.3
65 ～ 69	84	52	136	17.0
70 ～ 74	194	79	273	34.1
75 ～ 79	190	66	256	32.0
80歳以上	92	25	117	14.6
合　計	575	226	801	100.0
構成比 (%)	71.8	28.2	100.0	
平均年齢(歳)	74.7	73.8	74.4	

(2)　職群別会員登録状況

性　別／職　群	男 (人)	女 (人)	計 (人)	構成比 (%)
植木手入れ、襖・障子・網戸の張替、大工、塗装、刃物研ぎ等	154	11	165	20.6
宛名書き、毛筆筆耕、一般事務等	20	30	50	6.2
施設管理、駐車(輪)場管理等	145	19	164	20.5
パンフレット配布、外交、調査等	10	3	13	1.6
除草、清掃、草刈り、屋内外の一般作業等	226	100	326	40.7
家事援助、調理補助、病院付き添い等	19	63	82	10.3
その他	1	0	1	0.1
合　計	575	226	801	100.0

(3)　発注者別実績

区　分	受　託 件数(件)	就業延べ 人員(人)	契　約　金　額 (円) 配分金	材料費	事務費	合　計
公　共	1,791	5,366	122,772,837	9,991,009	14,621,166	147,385,012
民　間	2,492	6,453	146,454,009	9,422,781	17,394,573	173,271,363
一　般	5,427	10,511	82,853,664	20,514,736	9,932,510	113,300,910
独　自	25	117	415,926	7,155	19	423,100
合　計	9,735	22,447	352,496,436	39,935,681	41,948,268	434,380,385

(4)　職群別実績

区　分	受　託 件数(件)	就業延べ 人員(人)	契　約　金　額 (円) 配分金	材料費	事務費	合　計
技　術	1	1	6,150	0	738	6,888
技　能	2,143	4,805	42,282,481	12,964,510	5,004,584	60,251,575

事務整理	80	145	5,498,553	0	649,482	6,148,035
管　　理	599	2,199	77,265,201	1,226,082	9,246,747	87,738,030
折衝外交	97	631	2,514,360	232,960	243,612	2,990,932
一般作業	5,664	12,774	203,424,863	25,358,499	24,292,620	253,075,982
サービス	1,151	1,892	21,504,828	153,630	2,510,485	24,168,943
そ の 他	0	0	0	0	0	0
合　計	9,735	22,447	352,496,436	39,935,681	41,948,268	434,380,385

(5)　労働者派遣事業

受注件数	就業延べ人員(人)	契約金額（円）			派遣協力費(円)
		賃　金	手数料等	合　計	
19	7,068	31,317,897	9,445,229	40,763,126	3,234,173

(6)　職業紹介事業

常用求人数(人)	求職申込件数(件)	求人者手数料(円)
0	0	0

介護保険係

1　介護保険被保険者数

第１号被保険者（65 歳以上）　　49,982 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）

2　保険給付状況

被保険者が介護保険のサービス提供を受けた場合、要介護・要支援区分及び利用者負担割合に応じ、サービスに要した費用のうち、9割、8割又は7割を保険者（市）が給付した。

(1)　居宅介護サービス給付費

要介護者が指定居宅サービス事業者の行う在宅サービスを受けた際に、介護保険法第41条に基づき、居宅介護サービス費を給付した。

・給付状況　　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
訪問介護	608,412,588
訪問入浴介護	48,773,437
訪問看護	249,371,219
訪問リハビリテーション	23,305,265
通所介護	1,875,456,676
通所リハビリテーション	770,556,375
福祉用具貸与	429,200,413
短期入所生活介護	669,755,015
短期入所療養介護（老健）	49,840,959

（療養型）短期入所療養介護	0
居宅療養管理指導	101,579,782
特定施設入居者生活介護	520,059,606
特定診療費（短期・療養型分）	0
合　　計	5,346,311,335

(2)　介護予防サービス給付費

要支援者が指定介護予防サービス事業者の行う介護予防サービスを受けた際に、介護保険法第53条に基づき介護予防サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
介護予防訪問入浴介護	0
介護予防訪問看護	25,905,185
介護予防訪問リハビリテーション	5,685,610
介護予防通所リハビリテーション	120,653,171
介護予防福祉用具貸与	61,252,016
介護予防短期入所生活介護	2,196,735
介護予防短期入所療養介護（老健）	482,219
介護予防居宅療養管理指導	5,103,370
介護予防特定施設入居者生活介護	15,921,631
合　　計	237,199,937

(3)　地域密着型介護サービス給付費

要介護者が指定地域密着型サービス事業者の行う地域密着型サービスを受けた際に、介護保険法第42条の2に基づき、地域密着型介護サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
認知症対応型共同生活介護	755,896,933
（短期）認知症対応型共同生活介護	2,562,446
地域密着型介護老人福祉施設（特養）	977,449,771
認知症対応型通所介護	637,179
小規模多機能型居宅介護	176,020,344
小規模多機能型居宅介護（短期利用）	1,678,882
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	21,420,706
地域密着型通所介護	283,664,961
看護小規模多機能型居宅介護	103,832,862
看護小規模多機能型居宅介護（短期利用）	2,110,653
合　　計	2,325,274,737

(4)　地域密着型介護予防サービス給付費

要支援者が指定地域密着型予防サービス事業者の行う地域密着型予防サービスを受

けた際に、介護保険法第54条の2に基づき、地域密着型介護予防サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
介護予防認知症対応型共同生活介護	14,091,862
介護予防認知症対応型共同生活介護（短期）	101,808
介護予防小規模多機能型居宅介護	3,991,209
介護予防小規模多機能型居宅介護（短期）	16,804
合　計	18,201,683

(5)　施設介護サービス給付費

要介護者が介護保険施設に入所して施設サービスを受けた際に、介護保険法第48条に基づき、施設介護サービス費を給付した。

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
介護老人福祉施設サービス	2,635,260,101
介護老人保健施設サービス	1,877,473,439
介護療養型医療施設サービス	286,992
介護医療院サービス	81,703,462
特定診療費（介護療養型医療施設分）	4,338
特別診療費（介護医療院分）	3,423,191
合　計	4,598,151,523

(6)　その他の給付費

・給付状況　（単位：円）

サービスの種類	給　付　額
居宅介護サービス計画費	673,306,077
介護予防サービス計画費	50,021,191
福祉用具購入費	15,984,767
介護予防福祉用具購入費	3,915,891
住宅改修費	33,994,855
介護予防住宅改修費	15,612,111
高額介護（介護予防）サービス費	324,334,557
高額医療合算介護（介護予防）サービス費	35,971,545
特定入所者介護（介護予防）サービス費	367,615,942
合　計	1,520,756,936

3　生活サポーター(あったかいご員)養成講座修了者数　（単位：人）

	第1回	第２回	第3回
修了者数	8	8	12

4　居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所の指定等

市が指定する居宅介護支援事業所及び地域密着型サービス事業所の支援を基本とし、介護保険制度の理解促進、利用者保護及び保険給付の適正化を図ること等を目的として、事業所集団説明会を令和7年3月28日に書面開催した。

また、主に指定有効期間の満了が近い事業所に対し、運営指導を行った。

・運営指導の実施件数　（単位：事業所）

居宅介護支援	介護予防支援	地域密着型（介護予防）サービス
5	0	3

5　高齢者自立生活支援事業

高齢者等が地域において安定的かつ継続的に日常生活を営むことができるように、居住の場の確保に資する情報の提供及び日常生活上の生活支援相談等を行った。本事業は、一般社団法人栃木市地域包括ケア推進ネットワークあったかネットとちぎに委託した。

・相談受付件数　（単位：件）

完結	継続中	合計
27	5	32

介護認定係

1　要介護認定の実施状況　（単位：件）

申請件数				調査件数	審査会回数	認定件数
新規	更新	変更	計			
2,440	3,455	1,327	7,222	6,891	323	6,895

2　要介護度分布状況　（単位：人）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合　計
807	1,183	1,973	1,480	1,075	1,042	774	8,334

第４節　地域包括ケア推進課

〔総括概要〕

地域包括ケア推進係では、高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域の多様な主体が連携して、医療、介護、予防、住まい及び生活支援のサービスを切れ目なく一体的に提供できる地域包括ケアシステムの構築に向けて、介護予防・日常生活支援総合事業、在宅医療・介護連携の推進、地域見守りネットワーク構築、認知症施策の推進及び地域ケア会議の推進等の施策に取り組んだ。

また、認知症高齢者等及びその家族が安心・安全に生活することのできる環境を整備するため、認知症高齢者等ＳＯＳネットワークを中心とした認知症にやさしいまちづくり事業を実施した。

更に、地域共生社会の実現に向け、栃木市福祉総合相談支援センターを構成する相談機関等との連携により重層的支援体制整備事業を実施し、複合的な課題を抱える世帯等への相談支援や社会参加へ向けた支援を実施した。

地域包括支援センターでは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援することを目的として、介護予防事業・包括的支援事業等に取り組んだ。

地域包括ケア推進係

1　軽度生活援助員派遣事業

日常生活に支援が必要な、おおむね 65 歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯で、かつ市民税非課税世帯の方に対し、軽易なサービスを提供する軽度生活援助員を派遣した。サービスの提供は公益社団法人栃木市シルバー人材センターに委託した。

・実利用者数　（単位：人）

	令和４年度	令和５年度	令和6年度
実利用者数	159	174	182

・延べ利用時間数　（単位：時間）

	令和４年度	令和5年度	令和6年度
家屋内の整頓、その他軽易な援助	1,586	1,433	1,305
草取り	2,830	2,834	2,657
草刈り	－	281	271
植木の剪定、大工・塗装	1,587	1,486	1,162
合計	6,003	6,034	5,395

2　生活支援サービス事業（配食）

在宅で生活するひとり暮らし等の高齢者に対し、健康保持と福祉の増進を図るため、

昼食弁当（1食300円）を宅配し、併せて安否確認を行った。

・対象者　　65歳以上のひとり暮らし又は高齢者のみの世帯、これに準ずる世帯で調理困難な方。

・宅配利用者数・個数

	令和5年度	令和6年度
事業	生活支援サービス事業（配食サービス）	生活支援サービス事業（配食サービス）
合計利用者数（人）	910	926
合計個数（個）	100,016	103,306

・宅配業者　（有）ききょう、まごころ弁当栃木中央店、まごころ弁当鹿沼店、（株）トレンド、（株）シニアライフクリエイト、ワタミ（株）（福）スイートホーム（令和6年12月まで）

3　地域安心安全事業

(1)　栃木市地域見守り事業に関する協定

高齢者の日常生活の異変等を発見した際に、市へ連絡できる体制を整えるため、栃木市内で営業活動を行う民間事業者を対象に「栃木市地域見守り事業に関する協定」を締結した。

・協定締結事業所・団体数　67事業所・団体

・協力営業所・店舗数　366営業所・店舗

(2)　緊急医療情報カプセル配付事業

65歳以上のひとり暮らし、高齢者のみの世帯等で希望された世帯に対し、緊急時に必要な医療情報を専用の容器（カプセル）に入れて冷蔵庫に保管しておき万が一の事態に備える緊急医療情報カプセルを配付した。

・累計配付数　627個

4　成年後見制度利用促進事業

栃木市成年後見サポートセンター委託事業

高齢者が自分らしく生活するため、高齢者の人権や権利擁護に関する相談に応じる栃木市成年後見サポートセンターの運営を栃木市社会福祉協議会に委託し、成年後見制度の普及や市民後見人の養成を行った。

(1)　権利擁護に関する相談業務

・新規相談件数　126件

・継続相談件数　　60件

(2)　成年後見制度・市民後見人啓発事業講演会

市民の成年後見制度に対する正しい理解と適切な利用促進を図るため、成年後見制度・市民後見人啓発事業講演会を開催した。

・開催日　　10月27日（日）

・開催場所　ゆったり～な（栃木市北部健康福祉センター）

・参加者数　70 人

(3)　市民後見人養成講座

身近な地域で暮らす市民が、障がいや認知症により判断能力が低下した方に寄り添った身上保護を行う、市民後見人の養成講座を開催した。

市民後見人養成講座フォローアップ実務編

・開催日　　9 月 30 日、10 月 7 日、10 月 21 日、10 月 28 日

・受講者数　15 名

5　介護予防・生活支援サービス事業

要支援1及び要支援2の認定者並びに事業対象者に対して、要介護状態等になることを予防するための訪問型・通所型サービスを実施した。

・実施状況　　（単位：円）

サービスの種類	事業費額
訪問介護相当サービス	44,211,698
緩和した基準による訪問型サービス	12,324,355
通所介護相当サービス	143,910,557
緩和した基準による通所型サービス	41,720,837
短期集中通所型サービス	3,015,600

併せて、介護予防・生活支援サービス事業所の指定等を行った。また、介護予防・生活支援サービスの適正利用に向けた事業所説明会を開催した。

6　はつらつセンター事業

高齢者が要介護状態になることを予防するため、委託を受けた団体（自治会等）が、地域住民の参加と協力のもとに、家に閉じこもりがちな高齢者に集まりの場を提供し、生きがいづくりや健康で元気に生活するための様々な活動を行う事業で、その運営費の一部を助成した。

・事業実施者　自治会等

・利用対象者　栃木市内に居住するおおむね 65 歳以上の方

・実施施設　　地域の公民館、集会場、広場等

・実施内容　　趣味・生きがい活動、教養講座・健康講座の開催、高齢者スポーツ活動、地域における交流活動等

・実施状況

	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
実施団体数（団体）	151	153	153
委託料（円）	17,116,000	18,186,169	19,728,000
実施回数（回）	19,659	19,000	18,832
参加延べ人数（人）	169,955	174,136	161,365

7　いきいきサロン事業

自宅に閉じこもりがちな高齢者の社会参加を促すことで介護状態になることを予防することを目的に、個人宅等の身近な場所で、お茶やおしゃべりを楽しめる居場所を提供するサロン開設者に対し運営費等の一部を補助した。

・実施状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業実施箇所数（箇所）	150	159	165
補助金額（円）	3,661,633	3,987,617	4,179,889

8　栃木市地域支え合い活動の推進

ひとり暮らしの高齢者や障がい者などを日頃から地域の身近な方々で見守る「地域支え合い活動」を推進することを目的に、支え合い活動対象者へ名簿登載調査を行い、支え合い活動対象者名簿を作成し、自治会へ名簿を提供した。

・提供数　8団体（11自治会）

（西水代上第3自治会、城内町大宿自治会、箱森西部自治会、万町三丁目自治会、箱森町東部自治会、中央町二丁目自治会、新里地域自治会連合会、新第1･2自治会）

9　成年後見制度利用支援事業

(1)　審判の申立てに関する支援（市長申立）

認知症等により判断能力が十分でない高齢者について、老人福祉法第32条に基づき、後見開始の審判等の申立てを行った。

・申立件数　3件（後見開始2件、取下げ1件）

(2)　後見人等報酬助成

成年被後見人等の生活状況から、後見人等の業務に対する報酬が支払えない場合に、報酬の全部又は一部を助成した。

・助成件数　5件

・助成額　　980,000円

10　認知症総合支援事業

(1)　認知症ケアパス作成

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市民向けに情報を整理し、認知症の進行や状態に合わせて受けられる、医療・介護・福祉サービス等を示した冊子「認知症あんしんガイド」を作成し、関係機関に配布した。

(2)　市民特別講座

認知症への理解を促進し、地域で見守り支え合う体制づくりの基礎とするため、市民公開講座を企画した。

・開催日　　9月16日（月・祝）

・開催場所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）小ホール

・参加者数　250名

(3)　安心見守りカプセル配付事業

栃木市内に住所があり、認知症の症状を有し徘徊又は徘徊の恐れのある方に対し、救急時に必要な情報を携帯できるネックレス型及びキーホルダー型の安心見守りカプセルを配付した。

・配付数　8セット（総配付数　253セット）

(4)　認知症カフェ登録事業

高齢化とともに認知症高齢者が増加している中、認知症になっても住み慣れた地域で自立した生活ができるよう仲間づくりや生きがい支援､介護する家族の負担軽減等、認知症の人とその家族を支える地域づくりを進めるため、認知症カフェを開設する団体を登録した。

・認知症カフェ登録団体　19団体

（認知症カフェ八州苑、オレンジカフェ星風会おおひら、とちぎ・すけっとカフェ、ふれんどカフェ、おのでらカフェ、オレンジカフェおおひら、おれんじ喫茶うづま、おれんじ喫茶いずみ、おれんじ喫茶ふくじゅ、えぽっくカフェ、オレンジカフェにしかた、おれんじ喫茶ゆざわ、オレンジカフェ幸寿苑たかしまの郷、ほんわかカフェ、ほしかぜカフェ、あいあいカフェ、オレンジカフェちょこリハ、おれんじ喫茶コスモ、おれんじ喫茶このゆび☆と～まれ）

11　在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、在宅医療と介護が一体的に提供できる体制を構築するため、在宅医療・介護連携推進会議において在宅主治医・在宅協力医体制の構築や在宅医療・介護の専門職の連携ルールを協議した。

また、市民への在宅医療・介護の普及啓発のための講演会や多職種の顔の見える関係を構築するための多職種研修会、事例検討・交流会の開催及び医療・介護・地域資源総合検索サイトの運用を行った。

(1)　在宅医療・介護連携推進会議

・開催回数　6回

・開催場所　下都賀郡市医師会　会議室

・委員数　　22名

（医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、社会福祉士、看護師、理学療法士、作業療法士、介護支援専門員、訪問介護員、管理栄養士、栃木市消防本部職員、地域包括支援センター職員）

・主な検討事項　在宅主治医・在宅協力医体制の構築
在宅医療・介護の専門職の連携ルールの検討
市民向け講演会（シンポジウム）及び多職種研修会の企画・開催

(2)　栃木市在宅医療・介護連携推進事業シンポジウム

市民への在宅医療・在宅介護の普及啓発を図るため、医療・介護の専門職をパネリストとしたシンポジウムを開催した。

・開催日　　1月26日（日）

・テーマ　　いつまでも自分らしく暮らすために
　　～そもそもリハビリテーションって何？～
・開催場所　　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）
・参加者数　　200 人

(3)　在宅医療・介護連携のための多職種研修会（在宅医療・介護セミナー）
・開催日　　①6 月 13 日（木）　②10 月 10 日(木)
・開催テーマ　①栃木市の在宅医療・介護を知り、連携しながらケアを提供する
　　②栃木市の在宅医療を知り、安心して在宅医療に取り組める
・開催場所　　下都賀郡市医師会　会議室（オンラインでも視聴可）
・参加・視聴者数　①92 人　②124 人

(4)　栃木市在宅医療・介護連携推進事業事例検討・交流会（あつまろ会）
・開催日　　①8 月 29 日（木）　②2 月 27 日(木)
・開催テーマ　①その人らしさを支えるってなに？
　　②多職種でケアプランを考えよう
・開催場所　　①大平公民館　②とちぎメディカルセンターしもつが
・参加者数　　①42 人　②68 人

(5)　医療・介護・地域資源総合検索サイト

市民が市内の医療機関・介護サービス事業所等の情報を手軽に検索できるよう、医療機関・介護サービス事業所等の情報を集約した医療・介護・地域資源総合検索サイトを構築するとともに、専門職専用の情報共有サイトを併設し、多職種間の連携強化を図った。

12　地域包括ケアシステム講座

栃木市全体での地域包括ケアシステムの構築を推進するため、市民を対象とした出前講座を実施し地域包括ケアシステムの普及啓発を図った。

・開催回数　　10 回
・延べ参加人数　145 人

13　多機関の協働による包括的支援体制構築事業

福祉ニーズの多様化や地域コミュニティーの希薄化が進む中で、複雑かつ複合的な課題を抱える世帯や制度の狭間の対象者に対し、横断的かつ包括的な相談支援体制を構築するとともに、既存の相談機関を活用した相談窓口の一体化（ワンストップ窓口）を図った。

(1)　栃木市福祉総合相談支援センターの設置（相談支援機関の連携強化）
＜構成相談機関＞
・地域包括支援センター（高齢者）
・福祉総務課（生活保護）
・障がい福祉課（障がい児者）
・障がい児者相談支援センター（障がい児者）
・高齢介護課（高齢者）

・健康増進課（成人）
・こども家庭センター（こども・保護者）
・子育て総務課（こども）
・地域子育て支援センター（こども）
・保育課（こども・保護者）
・学校教育課（こども・保護者）
・栃木市社会福祉協議会（地域福祉）
・とちぎ市くらしサポートセンター（生活困窮）
・成年後見サポートセンター（高齢者・障がい児者）

(2) 重層的支援会議の開催

・開催回数　6回（4月18日・6月27日・8月8日・10月17日・12月19日・2月20日）
（10月17日は書面開催、2月20日は研修会同時開催）

14 生活支援体制整備事業

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、生活支援コーディネーターを配置し、地域住民やボランティア、NPO 団体など様々な主体による多様な取組が利用できる地域づくりを推進した。

・生活支援コーディネーター配置人数
（第1層）1人（市内全域）
（第2層）8人（①～③栃木地域、④大平地域、⑤藤岡地域、⑥都賀地域、⑦西方地域、⑧岩舟地域）

15 認知症にやさしいまちづくり事業

認知症の本人又はその家族が住み慣れた地域で安心・安全に生活することのできる環境を整備することを目的に、「認知症にやさしいまち・栃木市」の実現に向けた施策を実施した。

(1) 認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク

認知症高齢者等が行方不明になった際に、市、警察、協力事業所、自治会、民生委員等登録協力機関に対し、システムを利用し、アプリ又はメールで捜査の協力を依頼した。

ア　使用システム　メール連絡網

イ　認知症高齢者等ＳＯＳネットワーク協力機関登録件数（単位：件）

登　　録	アプリ	メール	合計
栃木地域	126	37	163
大平地域	27	14	41
藤岡地域	22	5	27
都賀地域	19	7	26
西方地域	7	4	11

岩舟地域	27	5	32
合計	228	72	300

(2)　見守りシール

対象者の安否情報等をインターネット上で共有し、対象者の身元確認や家族への引渡しを円滑に行うため、ＱＲコードが印刷された見守りシールを交付した。

・見守りシール交付者数　（単位：人）

地域	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
R6 交付者数	19	6	3	2	0	4	34
交付者累計	77	35	8	9	1	14	144

(3)　認知症高齢者等個人賠償責任保険

認知症高齢者等が日常生活における偶然の事故により法律上の損害賠償責任を負った場合に、これを補償する個人賠償責任保険に市が契約者となって加入した。

・個人賠償責任保険加入者数　（単位：人）

地域	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
R6 加入者数	22	5	4	4	0	5	40
現加入者数	40	13	6	4	0	9	72

※保険金の支払実績なし

栃木中央地域包括支援センター係　吹上地域包括支援センター係
国府地域包括支援センター係　大平地域包括支援センター係
藤岡地域包括支援センター係　都賀地域包括支援センター係
岩舟地域包括支援センター係

1　地域包括支援センター設置状況

栃木中央地域包括支援センター	栃木市万町 9-25	市役所 2 階
吹上地域包括支援センター	栃木市吹上町 782-1	吹上公民館内
＜皆川地区包括支援センター	栃木市皆川城内町 699	皆川公民館内＞
＜寺尾地区包括支援センター	栃木市梅沢町 1183	寺尾公民館内＞
国府地域包括支援センター	栃木市惣社町 228-1	国府公民館内
＜大宮地区包括支援センター	栃木市大宮町 422-1	大宮公民館内＞
大平地域包括支援センター	栃木市大平町富田 558	大平総合支所内
藤岡地域包括支援センター	栃木市藤岡町藤岡 1022-5	藤岡総合支所内
都賀地域包括支援センター	栃木市都賀町原宿 573	都賀総合支所内
＜西方地域包括支援センター	栃木市西方町本城 1	西方総合支所内＞
岩舟地域包括支援センター	栃木市岩舟町静 5133-1	岩舟総合支所内

※＜　＞は地域包括支援センターを補完するサブセンター。

2　一般介護予防事業

(1)　介護予防普及啓発事業

65 歳以上の高齢者を対象に、生活機能の維持・向上を図るため介護予防に関する各事業を実施した。

ア　単発教室

（国府）転倒予防のちょいトレ教室

（都賀）低栄養予防、介護保険・高齢者サービスについて、オーラルフレイル予防、フレイル予防体操

イ　複合型（運動・栄養・口腔機能向上・認知症予防）教室

（栃木中央）健康寿命のびのび教室

（吹上）元気アップ教室

（国府・大宮）いきいき元気教室

（藤岡）フレッシュ・シニア教室

（岩舟）元気もりもり教室

ウ　脳活教室（認知症予防教室）

認知症を予防するための正しい知識を認識し、予防に有効とされる日常生活における取組ができるよう支援し、認知症への移行や要介護状態への進行防止を図ることを目的に教室を各地域包括支援センターにおいて開催した。内容はタブレットを使用した認知機能チェック(4 会場)、認知症講話、運動、栄養、口腔の視点から指導し、参加者の行動変容を促すプログラムとした。

エ　教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
単発教室	0	0	11	207	7	132	0	0
複合型	4	66	8	59	8	231	9	131
脳活教室	5	90	4	45	3	28	9	153
	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
単発教室	0	0	4	49	19	217	41	605
複合型	6	82	0	0	4	57	39	626
脳活教室	3	47	3	49	4	37	31	449

(2)　出前講座・その他

ア　出前講座

「今日からさっそく介護予防」「認知症を予防しよう！」「認知症サポーター養成講座」の出前講座の開催とその他、健康講演会や健康福祉まつりにおいて普及啓発活動を行った。

イ　その他

地区社協との連携事業、公民館・老人福祉センター・自治会等との共催事業、介

護保険事業所からの依頼、健康まつり、健康講演会等

ウ　教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
今日から早速介護予防	11	186	0	0	0	0	1	13
認知症を予防しよう！	3	75	0	0	1	13	5	70
認知症サポーター養成講座	11	275	1	21	4	58	10	125
その他	1	50	1	45	0	0	12	873

	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
今日から早速介護予防	0	0	0	0	1	18	13	217
認知症を予防しよう！	1	10	0	0	0	0	10	168
認知症サポーター養成講座	8	270	2	25	5	85	41	859
その他	1	189	0	0	1	48	16	1,205

(3)　地域介護予防活動支援事業

高齢者の身近な地域で住民が主体的に介護予防に取り組んでいけるよう、地域活動の支援を目的とした介護予防事業を実施した。

ア　単発教室

（栃木中央）元気もりもり教室

(国府)シニアクラブ運動講座

(都賀)低栄養予防教室、介護保険、高齢者サービスについて、オーラルフレイル予防教室、フレイル予防体操

イ　複合型教室

（国府）はつらつ元気教室

（大平）シニア健康応援講座

（藤岡）フレッシュ・シニア教室

ウ　教室実施状況

	栃木中央		吹上		国府		大平	
	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）	回数（回）	延人数（人）
単発教室	4	77	2	24	1	40	0	0
複合型	0	0	0	0	3	25	6	49

	藤岡		都賀		岩舟		合計	
	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数	回数	延人数

	(回)	(人)	(回)	(人)	(回)	(人)	(回)	(人)
単発教室	0	0	4	31	0	0	11	172
複合型	10	107	0	0	0	0	19	181

(4) 活動支援

ア 地区組織活動支援

(栃木中央)栃木県シルバー大学校南校学生へ高齢者の健康づくりについて紹介

(吹上・寺尾・皆川) はつらつセンター、シニアクラブへ熱中症予防、健康に関する情報提供、地区社協・ふれあい相談員へ訪問時のポイント等について講話

(国府) いきいきサロンにじ色カフェ・南部サロン(多世代型交流サロン)

(大平) 栃木県シルバー大学校南校大平支部への高齢者保健事業紹介

(藤岡) はつらつセンター・いきいきサロン・地域座談会等

(都賀) はつらつセンター・いきいきサロンへ加齢性難聴、ヒートショック、脳卒中予防について講話

(岩舟) 協議体活動支援として、静和わがまるカフェ、小野寺北かるた大会への支援

・実施回数 59回

・活動支援数(延人数) 1,334人

イ 自主グループ活動支援

(吹上) ひまわり会

(藤岡) チームはつらつ、なのはなクラブ

・実施回数 5回

・活動支援数(延人数) 17人

ウ ますます元気サポーター活動支援

地域において活動する介護予防ボランティアを養成するとともに、市全域で活動支援を行った。また、情報交換及びサポーターのスキルアップを目的とした地区別研修会、ボランティア同士の交流や情報交換を目的とした全体会を開催した。

・サポーター活動数(実人数)

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
サポーター数(人)	17	14	22	49	17	14	42	175

・サポーター活動状況

実施回数 3,836回　　活動数(延人数) 4,209人

・サポーター活動支援

実施回数 104回

・ますます元気サポーター養成講座(参加状況)

	回数(回)	実人数(人)	延人数(人)
基礎講座	3	16	64
スキルアップ講座	7	-	85

・ますます元気サポーター全体会

参加者数　43 人

内容　サポーターによるレクリエーション紹介、交流等

エ　あったかとちぎ体操

地域住民が主体となって取り組むことができる「あったかとちぎ体操」の普及啓発を行うとともに、実施希望団体に対して継続して実施できるよう運営協力を行った。

・実施団体　105 団体

・実施状況

	回数（回）	実人数（人）	延人数（人）
あったかとちぎ体操 出前講座	8	－	121
あったかとちぎ体操 団体活動状況	3,938	1,404	38,568
あったかとちぎ体操 団体活動支援	304	－	3,155

3　介護予防ケアマネジメント事業

要支援者等が、可能な限り地域において自立した日常生活ができるよう支援した。

・要支援 1・2 の介護予防サービス計画作成状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
事業者委託	2,753	936	904	1,830	1,193	795	1,424	9,835
地域包括支援センター作成	277	0	63	99	147	23	96	705
計	3,030	936	967	1,929	1,340	818	1,520	10,540

・総合事業による介護予防ケアマネジメント作成状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
事業者委託	1,975	490	606	536	278	504	525	4,914
地域包括支援センター作成	509	36	58	78	20	35	1	737
計	2,484	526	664	614	298	539	526	5,651

・相談業務実施状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
申請時相談	177	109	17	52	106	298	91	850
契約等訪問	202	47	72	93	56	59	71	600
モニタリング訪問	405	25	50	178	42	53	44	797
ケアマネ支援	236	264	206	185	175	214	173	1,453

・サービス担当者会議実施状況　（単位：回）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
地域包括支援センター主催及び委託事業所実施への参加	592	130	199	257	61	120	92	1,451

・住宅改修・福祉用具購入理由書作成状況　　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
福祉用具	15	0	0	4	0	0	0	19
住宅改修	31	7	4	2	11	7	2	64

4　総合相談支援事業

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、関係者との連携に努めながら、高齢者の心身状況や生活実態を把握し相談支援を行った。

・実施状況　　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
面接	807	237	425	792	251	364	192	3,068
電話	1,112	834	747	1,132	527	1,173	1,568	7,093
家庭訪問	787	223	347	344	149	308	217	2,375
メール	14	2	0	0	4	0	2	22
計	2,720	1,296	1,519	2,268	931	1,845	1,979	12,558

・認知症相談状況（総合相談事業からの再掲・実）　　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
認知症に関すること	139	37	92	93	9	149	87	606

総合相談の内訳として、認知症に関する内容が一番多い。

5　権利擁護事業

地域住民、民生委員、介護支援専門員等の支援だけでは問題解決できない状況にある高齢者に対し、尊厳ある生活ができるよう権利擁護のための専門的・継続的な支援を行い、成年後見制度の活用促進、消費者被害の防止、老人福祉施設等への措置の支援、高齢者虐待への対応、困難事例への対応等を行った。

・実施状況（総合相談事業からの再掲・実）　　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
権利擁護に関すること	19	4	7	25	12	11	4	82
高齢者虐待に関すること	24	6	9	14	12	10	5	80
消費者被害に関すること	4	1	0	3	0	0	0	8
介護家族者離職防止に関すること	0	0	0	0	0	0	5	5

・虐待ケース会議実施状況　（単位：件）

		栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
虐待ケース会議	実件数	5	7	3	6	6	2	4	33
	延件数	14	19	7	11	13	2	6	72
会議内訳(複数項目有)	身体	3	6	2	4	5	－	1	21
	放棄	1	1	1	－	－	－	－	3
	心理	1	1	1	2	1	1	2	9
	経済	－	1	－	1	1	1	－	4
	その他	－	－	－	－	－	－	1	1

6　包括的継続的ケアマネジメント支援事業

(1)　地域における多職種の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援等を行った。

ア　介護支援専門員事例検討会開催状況（各地域包括支援センター）

事例検討会　5回　参加者数　70人

イ　介護支援専門員研修交流会開催状況（各地域包括支援センター）

研修交流会　2回　参加者数　110人

・関係機関との連携状況(相談支援)　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
ケアマネ支援	234	211	73	239	226	175	101	1,259
民生委員	75	69	80	74	21	195	42	556
関係機関	263	104	290	317	245	544	188	1,951

・関係機関との連携状況(会議)　（単位：回）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
民生委員	7	12	6	4	1	2	2	34
関係機関	94	42	29	15	18	4	24	226
個別ケース検討会議	9	1	0	0	3	0	1	14
圏域別地域ケア会議	9	5	5	6	5	3	47	80

(2)　生活援助ケア会議

生活援助の回数の多いケアプランとして届出のあったものを、生活援助ケア会議に付議し、多職種で自立支援・重度化防止に向けた検討・助言等を行う。

会議開催回数　0回（対象となるケアプランがなかったため）

【構成員】

・助言者：薬剤師、リハビリ専門職、管理栄養士、栃木市社会福祉協議会
・事例提供者：居宅介護支援事業所介護支援専門員、介護サービス提供事業者
・参加者：介護保険係・地域包括支援センター担当者等

(3) 自立支援検討会議

高齢者の自立支援・介護予防の観点を踏まえて、要支援者等の生活行為の課題の解決等、状態の改善を導き自立を促すとともに生活の質(QOL)の向上を目指すため、多職種で検討・助言等を行った。

・実施状況
北部会場(栃木市役所)　12回(24件)
南部会場(大平総合支所)　7回(14件)

【構成員】
・助言者：医師、歯科医師、歯科衛生士、薬剤師、リハビリ専門職、管理栄養士、栃木市社会福祉協議会
・事例提供者：居宅介護支援事業所介護支援専門員、地域包括支援センターケアプラン作成担当者、介護サービス提供事業者
・参加者：地域包括支援センター担当者等

7 認知症総合支援事業

(1) 認知症サポーター養成事業

認知症に関する正しい知識を持ち、地域や職域において認知症の人や家族を支援する認知症サポーター養成講座を開催し、認知症となっても安心して暮らせる地域づくりを推進した。

・実施状況（市全体）

対　象	回数	参加数(人)	内　訳
市職員	2	48	新採用職員研修・資質向上研修
一般市民	41	859	自治会、はつらつセンター、小・中学校、民生委員、学童保育、金融機関、施設、企業、事業所等
計	43	907	

・実施状況（一般市民）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
回数（回）	11	1	4	10	8	2	5	41
参加人数(人)	275	21	58	125	270	25	85	859

(2) あったかとちぎ・みんなのつどいの開催

市全域で実施する認知症の取組として、認知症の講話、座談会、家族介護者との交流等を組み合わせた「あったかとちぎ・みんなのつどい」を開催した。

・開催日時・会場

会　　場	1回目	2回目

栃木会場：きららの杜とちぎ蔵の街楽習館	11 月 20 日	11 月 29 日
大平会場：ふるさとふれあい館	11 月 19 日	11 月 26 日
西方会場：北部健康福祉センター	11 月 15 日	11 月 22 日

・参加者数　1 回目：51 人　2 回目：50 人

・内容　認知症サポーター養成講座、座談会、認知症の介護体験談、認知症初期集中支援専門員による相談、認知症関連図書紹介、認知症支援等サービス情報提供

(3)　認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業

ア　認知症カフェ活動支援

認知症の方や家族、地域住民、医療、介護の専門職等、地域の誰もが参加できる集いの場で、認知症の方が地域住民と一緒に活動することができるよう、認知症カフェの立ち上げ支援や活動支援を行った・

・認知症カフェ数　20 か所

・認知症カフェ活動支援回数　133 回

イ　チームオレンジ活動支援

認知症の方や家族の支援ニーズを把握して必要な支援につなぐ、認知症サポーターを中心に活動するチームオレンジの立ち上げ支援や活動支援を行った。

・チームオレンジ数　5 団体

・チームオレンジ活動支援回数　99 回

ウ　とちぎオレンジまち活フェスタの開催

市民認知症サポーターが、認知症の人やその家族を地域で支える活動を PR し、参加者と共に認知症に関する正しい知識を学ぶ認知症普及啓発イベントを開催した。

・実施状況

開催日時　9 月 26 日	内容
第 1 会場　栃木市大平文化会館	・参加者数計　180 人 ・市民認知症サポーター活動紹介・認知症セミナー・認知症サポーター養成講座PR・オレンジまち活頑張ろう！宣言
第 2 会場　栃木市大平図書館	・参加者数計　200 人 ・若年性アルツハイマーを描いた映画上映会 「私の頭の中の消しゴム」 ・大平図書館認知症普及啓発特設コーナー設置 ・障がい者福祉施設自主製品販売

8　認知症初期集中支援推進事業

(1)　R6 の取組状況

ア　初期集中支援専門員による支援の流れ及び帳票の整備

イ　地域包括支援センター、医療機関、介護支援専門員との連携

ウ　支援計画に基づいた初期集中支援の実施

エ　チーム員会議の開催（2 回）

オ　もの忘れ相談（12 回）

・相談者数：27 名

カ　サポート医との懇談会（1 回）

開催日	令和 7 年 3 月 18 日（水）
参加者数	30 名 サポート医 9 名、専門医 1 名、医療機関関係者 3 名、認知症地域支援推進員等 17 名
テーマ	「認知症初期集中支援事業と医療連携」

キ　認知症関連イベントへの参加協力　29 回

(2)　認知症初期集中支援事業

認知症の人や疑いのある人及びその家族の初期支援を行う認知症初期集中支援専門員として保健師・看護師を配置し、支援対象者の状態に合わせた医療・介護サービスの適切な利用に向けて包括的・集中的に支援した。

・相談受理状況　（単位：件）

総数		支援継続中	終了
前年からの継続	21	11	80
新規(新規、再相談)	70		
単発相談	40		
合計	131		

10　地域自立支援事業（24 時間通報体制）

高齢者のいる世帯の家庭内事故等による通報に随時対応するため、地域包括支援センターの夜間等の対応について、市内の医療法人及び社会福祉法人に相談業務を委託した。

・実施状況　（単位：件）

	栃木中央	吹上	国府	大平	藤岡	都賀	岩舟	計
委託先への相談件数	86	12	32	44	3	0	3	180
内、地域包括支援センター対応件数	8	1	6	33	3	0	2	53

11　母子保健事業（各総合支所の地域包括支援センターにて実施）

こども家庭センターが担当する母子保健事業への協力として、お誕生連絡表の確認と受理、及びベビーバスの貸出業務を行った。

第５節　健康増進課

〔総括概要〕

健康増進課の主な事業は、保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営、救急医療対策事業、予防接種事業、新型コロナウイルスワクチン接種事業、健康診査事業、健康づくり事業、がん患者支援事業である。

保健福祉センター及び健康福祉センターの管理運営では、栃木保健福祉センター及び藤岡保健福祉センターは直営で行い、また、大平健康福祉センター、岩舟健康福祉センター及び北部健康福祉センターは指定管理者に管理運営を委託し行った。

救急医療対策事業では、初期救急医療体制及び二次救急医療体制の確保に努めるとともに、休日歯科診療を実施した。また、市有施設等に配置した自動体外式除細動器（ＡＥＤ）を適切に管理した。

予防接種事業では、感染症予防及びまん延防止のため、予防接種法に基づく定期予防接種の実施、任意予防接種の接種費用の助成を行った。

新型コロナウイルス感染症予防接種については、4月から定期予防接種B類疾病に位置づけられたことから、65歳以上の方及び60歳から64歳で一定の基礎疾患を有する方を対象として、10月1日から翌年3月31日までの期間で助成を実施した。

また、任意予防接種については、帯状疱疹予防接種を50歳以上の方を対象に、4月1日から接種費用の助成を開始したほか、小児インフルエンザ予防接種についても、予防接種助成対象年齢を中学3年生までに拡大し実施した。

更に、国の風しん追加的対策事業として対象となる男性に対する抗体検査や予防接種の受診勧奨、及び市の単独事業として妊娠を希望する女性やその配偶者等を対象とした風しん抗体検査や麻しん風しん混合予防接種を実施した。

その他、スマートフォン等で接種間隔錯誤や接種忘れの防止が確認できる「栃木市すくすくナビ」アプリの提供を実施したほか、予診票の電子化に向けて、4月からは、市内の25医療機関において、おたふくかぜ予防接種のデジタル予診票の取扱いを開始した。更に10月には、デジタル予診票が利用可能なワクチンに定期予防接種A類の麻しん風しんと水痘を追加し、利用者の利便性の向上に努めた。

がん検診等事業では、集団検診での基本健診と各種がん検診等実施のほか、個別検診では子宮がん、乳がん、歯周病検診、高齢者歯科口腔健診及び口腔がん検診を実施した。

受診券等については、個人別にまとめた「けんしんパスポート」及び検診の実施方法を記載した「けんしんガイドブック」を各世帯に郵送したほか、検診受診の意識を高めるため「健康マイレージ事業」を実施するなど、受診率向上に努めた。

健康づくり事業では、生活習慣病の発症・重症化予防のため、特定保健指導や運動、栄養、口腔等に関する相談及び健康教育事業の実施や、官民一体となった新たな熱中症対策として、「クーリングシェルター」や「ちょこっと涼み処」の指定、「ウォーターサーバー」の設置等を行った。

がん患者支援事業では、医療用ウィッグ、乳房補整具購入費の助成や、若年がん

患者の在宅ターミナルケアにかかる費用を助成し、がん患者やその家族を支援した。

健康医療係

1　保健福祉センター利用状況（利用延べ人数）

(1)　栃木保健福祉センター　（単位：人）

区　分	大会議室	検診ホール	集会室	その他	合　計
利用者数	-	18,645	587	6,657	25,889

(2)　藤岡保健福祉センター　（単位：人）

区　分	会議室	検診ホール	調理実習室	合　計
利用者数	2,633	4,524	340	7,497

2　大平健康福祉センター「ゆうゆうプラザ」

管理運営を、いすゞビルメンテナンス株式会社に委託(指定管理)し、実施した。

(1)　利用状況

・年度別利用者数　（単位：人）

年　度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数(人)	48,467	92,555	130,733

・開館日数　308日

・1日平均利用者数　424人

・月別内訳　（単位：人）

区分／月別	風呂	トレーニングルーム	大会議室	小会議室	大・小会議室併用	研修室1	研修室2	多目的ホール	母子指導室	調理実習室	総合計	開館日数（日）
4	7,099	2,078	25	19	264	66	0	197	61	14	9,823	25
5	7,259	2,132	40	17	245	44	0	320	101	20	10,178	27
6	5,396	2,100	0	61	548	287	38	260	184	14	8,888	26
7	6,861	2,131	52	17	519	190	26	316	223	10	10,345	26
8	6,796	1,971	175	0	451	162	19	381	197	10	10,162	27
9	6,971	2,053	63	18	593	258	43	436	292	13	10,740	25
10	7,694	2,324	159	2	523	257	17	594	330	35	11,935	27
11	7,877	2,189	134	0	389	183	6	395	211	23	11,407	26
12	8,046	2,113	103	47	356	103	30	393	133	80	11,404	25
1	8,073	2,002	125	36	335	188	60	463	228	43	11,553	24
2	8,551	2,218	193	66	404	127	0	363	160	38	12,120	24

3	9,098	2,327	84	55	220	70	0	215	97	12	12,178	26
合計	89,721	25,638	1,153	338	4,847	1,935	239	4,333	2,217	312	130,733	308

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア はじめてのヨガ

開催回数　4教室(40回)

参加延べ人数　61人

イ ZERO エアロ

開催回数　1教室(6回)

参加延べ人数　8人

3 CITY GYM & SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）

管理運営を、宮ビルサービス株式会社・株式会社日本理化シェアードソリューションズ共同事業体に委託(指定管理)し、実施した。

(1) 利用状況

・年度別利用者数　（単位：人）

年　度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	49,387	70,945	76,815

・開館日数　306日

・1日平均利用者数　251人

・月別内訳　（単位：人）

区分／月別	風呂	トレーニングルーム	第1第2会議室	検診室	ボランティア室	親子室	調理実習室	健康相談室	生活相談室	総合計	開館日数（日）
4	4,398	1,114	125	238	14	44	15	0	0	5,948	26
5	4,302	1,083	122	126	12	53	57	0	0	5,755	26
6	4,516	1,114	301	395	0	96	57	0	0	6,479	26
7	3,008	1,072	724	1,003	32	22	61	0	0	5,922	25
8	4,123	1,077	434	220	7	31	12	0	0	5,904	26
9	4,381	1,095	538	896	8	46	34	0	4	7,002	26
10	4,081	1,092	1,078	601	7	35	23	0	5	6,922	26
11	4,372	1,151	643	499	5	36	9	0	0	6,715	26
12	4,591	996	463	488	0	31	42	0	0	6,611	25
1	4,581	1,025	253	352	8	32	23	0	0	6,274	24
2	4,582	1,080	482	580	0	44	38	0	0	6,806	24
3	4,783	1,166	190	273	9	50	6	0	0	6,477	26
合計	51,718	13,065	5,353	5,671	102	520	377	0	9	76,815	306

(2)　事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア　ヨガ教室（体を鍛えながら、楽しく運動をするヨガ教室）

開催回数　　34回

参加延べ人数　651人

イ　カイロプラクティック体験施術会

開催回数　　17回

参加延べ人数　89 人

ウ　ネイル・フェイシャル施術

開催回数　　7 回

参加延べ人数　22 人

エ　カラオケ大会

開催回数　　1 回

参加延べ人数　10 人

オ　歌謡ショー（地元の歌手を中心としたショー）

開催回数　　29 回

参加延べ人数　3,410 人

4　北部健康福祉センター「ゆったり～な」

管理運営を、株式会社フクシ・エンタープライズに委託(指定管理)し、実施した。

(1)　利用状況

・年度別利用者数　　（単位：人）

年　度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
利用者数	25,777	38,095	47,994

・開館日数　　306日

・1 日平均利用者数　157 人

・月別内訳　　（単位：人）

区分／月別	風呂	トレーニングルーム	歩行用プール	会議室	多目的ホール	相談室	和室	調理実習室	プレイルーム	総合計	開館日数（日）
4	357	1,792	1,112	15	116	0	51	0	82	3,525	26
5	471	1,708	1,144	6	132	0	49	0	86	3,596	26
6	517	1,666	1,322	72	391	0	80	0	197	4,245	26
7	420	1,837	1,550	106	345	4	54	14	130	4,460	27
8	389	1,595	1,440	138	338	26	90	72	246	4,334	26
9	416	1,757	1,521	30	258	34	62	0	127	4,205	26
10	329	1,771	1,448	115	336	10	67	0	83	4,159	26
11	458	1,689	1,149	70	239	75	65	30	160	3,935	26

12	533	1,594	1,028	12	102	0	64	0	147	3,480	23
1	353	1,517	940	71	444	15	30	0	160	3,530	23
2	506	1,833	1,063	11	79	0	53	9	187	3,741	24
3	576	2,006	1,247	12	433	0	129	0	381	4,784	27
合計	5,325	20,765	14,964	658	3,213	164	794	125	1,986	47,994	306

※風呂の利用者数は、単独利用者数を計上。トレーニングルーム及び歩行用プール利用者のうち定期購入者は風呂を無料で利用可としている。

(2) 事業実施状況（指定管理者による自主事業）

ア 有料教室

開催回数　312回

参加延べ人数　2,995人

イ 無料教室

トレーニングルーム・歩行用プール利用者が施設使用料のみで参加できる教室

開催回数　119回

参加延べ人数　568人

ウ イベント「LiNK」（関連施設と連携して「世代間交流」を目的とした独自イベント）

開催回数　3回

参加延べ人数　719人

5 献血推進事業

血液製剤の安定供給確保のため、献血事業を行った。

実施日数（日）	受付（人）	200ml献血（人）	400ml献血（人）	献血者計（人）	不適格者（人）
3	303	9	276	285	18

6 とちぎメディカルセンター運転資金貸付事業

・貸付名称　とちぎメディカルセンター運転資金貸付金

・用　　途　とちぎメディカルセンターが開設するしもつがの運営に要する運転資金

・貸付金額　5億円

・貸付期間　4月1日から3月31日

7 救急医療対策事業

(1) 初期救急医療

栃木地区急患センター

・管理運営　一般社団法人 下都賀郡市医師会（指定管理者）

ア 休日・夜間診療

・診療時間　休日（日曜日・祝日・年末年始）…午前9時～午後 9時　内科

午前9時～午後 5時　外科

平日（月曜日～土曜日）……午後7時～午後10時　内科

日数（日）	延べ患者数（人）
365	3,652

イ　小児救急医療

・診療時間　休日（日曜日・祝日・年末年始）…午後6時～午後9時　小児科

日数（日）	延べ患者数（人）
72	677

(2)　二次救急医療

ア　病院群輪番制病院運営等補助事業

病院群輪番制に参加する2病院（とちぎメディカルセンターしもつが、獨協医科大学病院）に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利　用　施　設	日数（日）	延べ患者数（人）
病院群輪番制病院(2病院)	365	7,416

栃木医療圏の救急告示病院（藤沼医院、多島外科胃腸科、とちぎメディカルセンターとちのき）に対し、二次救急を確保するため、救急車受入件数に応じ補助金を交付した。

利　用　施　設	件数（件）
救急告示病院（3施設）	281

イ　小児二次救急医療

小児二次救急医療機関に対し、その運営を支援するため補助金を交付した。

利　用　施　設	日数（日）	延べ患者数（人）
獨協医科大学病院	365	1,392

8　休日歯科診療事業

ゴールデンウィークやお盆、年末年始の歯科医院が休診となる長期休暇中でも、歯科救急患者が診療を受けることができるよう、休日歯科診療を実施した。

・一般社団法人 下都賀歯科医師会による市内歯科医院の輪番制

実施期間（日数）	受診者数（人）
5月3日～6日（4日間）	17
8月12日～14日（3日間）	19
12月30日～1月3日（5日間）	62
合　計　（12日間）	98

9　自動体外式除細動器（ＡＥＤ）整備・貸出事業

市内公共施設及びコンビニエンスストアに設置されているＡＥＤを適切に管理した。

・市内公共施設　　110台（貸出用6台・広告付き7台含む）

・市内コンビニエンスストア　14台

市内で開催される各種行事において、参加者が心肺停止状態に陥った際の救急救命活動に備えるため、主催する団体へ自動体外式除細動器（ＡＥＤ）の貸出しを行った。

・貸出申請件数　24件

10　地域医療対策基金積立事業　（単位：円）

令和5年度末現在高	積立金額	繰出金額	令和6年度末現在高
20,365,296	0	0	20,365,296

11　骨髄移植ドナー支援事業

骨髄又は末梢血管細胞を提供した方（ドナー）の負担を軽減し、骨髄移植の推進及びドナー登録者の増加を図るため、ドナーとその方の勤務する事業所に対し、助成金を交付した。

・交付実績（単位：件）

ドナー	事業所
1	0

感染症対策係

1　予防接種事業

(1)　定期接種

ア　ロタウイルス感染症

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

(ｱ)　1価ワクチン

・対　　象　生後6週から生後24週までの間にある者

・回　　数　4週間以上の間隔をおいて2回

(ｲ)　5価ワクチン

・対　　象　生後6週から生後32週までの間にある者

・回　　数　4週間以上の間隔をおいて3回

・接種状況

		勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）
1価	1回目	628	606
	2回目		604
5価	1回目		32
	2回目		33
	3回目		24

・接 種 率　1回目　101.6%

2回目　101.4%

イ　小児の肺炎球菌感染症

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　生後2月から生後60月に至るまでの間にある者
・回　　数　（開始月齢により異なる。）
生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）
生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）
生後12月から24月に至るまで：2回
生後24月から60月に至るまで：1回
・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
初回 1回目	628	653	104.0
初回 2回目		658	104.8
初回 3回目		640	101.9
追加	691	697	100.9

ウ　B型肝炎
・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　1歳に至るまでの間にある者
・回　　数　3回
・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1回目	628	645	102.7
2回目		656	104.5
3回目		642	102.2

エ　　五種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ・ヒブ）
・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　生後 2 月から生後 90 月に至るまでの間にある者
・回　　数　1 期初回　20 日以上の間隔で 3 回
1 期追加　1 期初回終了後、約 6 か月～1 年半経過した時期に 1 回
・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1期初回 1回目	628	639	101.8
1期初回 2回目		578	92.0
1期初回 3回目		498	79.3
1期追加		44	7.0

オ　四種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）
・実施期間　通年
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　生後2月から生後90月に至るまでの間にある者

・回　　数　1期初回　20日以上の間隔で3回
　　1期追加　1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回

・接種状況

	被接種者数（人）
1期初回 1回目	13
1期初回 2回目	90
1期初回 3回目	152
1期追加	742

※三種混合（ジフテリア・百日せき・破傷風）接種状況　2人

カ　ＢＣＧ（結核）

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　1歳に至るまでの間にある者

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
628	649	103.3

キ　二種混合（ジフテリア・破傷風）

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　11歳以上13歳未満の者（小学校6年生）

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1,215	986	81.2

ク　ヒブ感染症

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後2月から生後60月に至るまでの間にある者

・回　　数　（開始月齢により異なる。）
　　生後 2月から 7月に至るまで：4回（初回3回、追加1回）
　　生後 7月から12月に至るまで：3回（初回2回、追加1回）
　　生後12月から60月に至るまで：1回

・接種状況

	被接種者数（人）
初回 1回目	12
初回 2回目	81
初回 3回目	138
追加	634

ケ　急性灰白髄炎（ポリオ）

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後2月から生後90月に至るまでの間の、ポリオワクチン接種の必要回数（4回）を終了していない者
（生ポリオ2回終了した者は除く）

・回　　数　1期初回　20日以上の間隔をおいて3回
1期追加　1期初回終了後、約1年～1年半経過した時期に1回

・ポリオは四種混合に含まれているため、接種が必要となる場合は、三種混合を受けていた場合のみ

・接種状況　１名

コ　麻しん・風しん混合（MR）

(ｱ)　1期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後12月から生後24月に至るまでの間にある者

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
691	632	91.5

(ｲ)　2期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　5歳～7歳未満の者で、小学校就学の始期に達する日の1年前の日から当該始期に達する日の前日までの間にある者（幼稚園・保育園等の年長児相当）

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
958	972	101.5

サ　水痘

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後12月から生後36月に至るまでの間にある者

・回　　数　3月以上の間隔をおいて2回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率(%)
1回目	691	684	99.0
2回目		693	100.3

シ　日本脳炎

(ｱ)　1期初回

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後6月から生後90月に至るまでの間にある者及び予防接種法で定める特例対象者

・回　　数　6日以上の間隔で2回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率(%)
1回目	836	811	97.0
2回目		798	95.5

(ｲ)　1期追加

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　1期初回接種終了後おおむね1年経過した生後90月未満の者及び予防接種法で定める特例対象者

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
836	813	97.2

(ｳ)　2期

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　9歳以上13歳未満の者及び予防接種法で定める特例対象者で、1期接種3回を終了している20歳未満の者

・回　　数　1回

・接種状況

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1,176	1,352	115.0

ス　ヒトパピローマウイルス感染症（子宮頸がん予防）

(ｱ)　定期接種

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　小学校6年生から高校1年生相当年齢の女子

・回　　数　3回（9価1回目の接種を15歳未満で受ける場合は2回）

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1回目	2,650	482	18.2
2回目		364	13.7

3回目		145	5.5

(ｲ) キャッチアップ接種

・実施期間　通年（令和7年3月31日まで）

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　平成9年4月2日から平成21年4月1日生まれの女性

・回　　数　3回

・接種状況

	勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1回目	5,038	1,220	24.2
2回目		1,156	22.9
3回目		1,058	21.0

セ　風しん追加的対策

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施、集団検診・職場検診で集団実施

・対　　象　昭和37年4月2日から昭和54年4月1日に生まれた男性で、抗体検査及び予防接種を受けたことがない者

・回　　数　抗体検査、予防接種ともに生涯1回

・実施状況

	勧奨対象者数（人）	実施数（人）	実施率（%）
抗体検査	12,111	373	3.1
予防接種		114	0.9

ソ　高齢者インフルエンザ

・実施期間　10月1日～3月31日

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　①65歳以上の希望者

②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身辺の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいを有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する者で、接種を希望する者

・回　　数　年度内1回

・助 成 額　3,500円

・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
50,046	27,348	54.6

（対象者数は65歳以上の人数）

タ　高齢者の肺炎球菌感染症

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　①65歳の希望者

②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身辺の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいを有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する者で、接種を希望する者
※過去に接種歴のある者は対象外

・回　　数　生涯1回
・助 成 額　5,700円
・接種状況

(ｱ)　対象者中①に該当する者

勧奨対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
1,838	635	34.5

(ｲ)　対象者中②に該当する者

被接種者数（人）
1

チ　新型コロナウイルス感染症

・実施期間　10月1日～3月31日
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　①65歳以上の希望者
②60歳から65歳未満の者であって、心臓・腎臓・呼吸器の機能に自己の身辺の日常生活行動が極度に制限される程度の障がいを有する者及びヒト免疫不全ウイルスにより免疫の機能に日常生活がほとんど不可能な程度の障がいを有する者で、接種を希望する者
・回　　数　年度内1回
・助 成 額　11,800円
・接種状況

対象者数（人）	被接種者数（人）	接種率（%）
50,046	8,429	16.8

（対象者数は65歳以上の人数）

(2)　任意予防接種

ア　小児インフルエンザ

・実施期間　10月1日～2月28日
・接種方法　協力医療機関で個別実施
・対　　象　①生後6月から小学校就学前までの希望者
②小学1年生以上中学3年生までの希望者
・回　　数　①生後6月から小学校就学前まで　2回
②小学1年生以上中学3年生まで　1回
・助 成 額　1回あたり2,500円
・延べ被接種者数　8,157人

イ　おたふくかぜ

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　生後12月から小学校就学前の小児の希望者

・回　　数　生涯2回

・助 成 額　1回あたり　3,600円

・延べ被接種者数　1,322人

ウ　帯状疱疹

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　50歳以上の希望者

・回　　数　①生ワクチン　　1回

②不活化ワクチン　2回

・助 成 額　①生ワクチン　　4,000円

②不活化ワクチン　1回あたり10,000円

・延べ被接種者数　4,020人

(3)　風しん予防対策事業

・実施期間　通年

・接種方法　協力医療機関で個別実施

・対　　象　次のいずれかに該当する方

①妊娠を希望している女性およびその配偶者

②妊娠している女性の配偶者

ア　風しん抗体検査

・回　　数　1回

・助 成 額　2,000円

・受診者数　18人

イ　風しん予防接種

・回　　数　1回

・助 成 額　3,000円

・被接種者数　21人

ウ　麻しん風しん混合予防接種

・回　　数　1回

・助 成 額　5,000円

・被接種者数　97人

2　すくすくナビ事業

・登録者数　7,312人

3　新型インフルエンザ等対策事業

新型インフルエンザ等が大流行した場合に必要となる備蓄品の管理及び補充

4　ＰＣＲ検査事業（感染者発生時検査）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、クラスターの発生リスクが高い高齢者施設・介護事業所及び障がい児者施設において、職員及び利用者等が新型コロナウイルス感染症の陽性者となった際に、当該施設の職員及び利用者等のうち希望する者に対してＰＣＲ検査を実施した。

・対　　象　陽性者が確認された、障がい児者施設・高齢者施設・介護事業所の職員及び利用者等

・検査方式　個別方式

・実施状況

被検査件数（件）	被検査人数（人）
2	26

健康づくり係

1　健康増進計画推進事業

(1)　重点領域の推進

6つの重点領域（①栄養・食生活②身体活動・運動③喫煙④こころの健康⑤歯と口の健康⑥健康診査・検診）ごとに、ライフステージ別、関係機関別に取組を行い、関係機関と連携し健康づくりを推進した。

ア　関係機関

健康増進計画推進懇談会参加者（保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等）及び庁内ワーキング構成員

イ　主な取組

・糖尿病等の生活習慣病予防に関する出前講座の実施、普及啓発
・野菜摂取・減塩促進のための動画を配信
・季節毎に野菜を使ったレシピを作成し、市内直売所等に設置
・食生活改善推進員協議会活動の推進
・適正飲酒に関する普及啓発
・とちぎハート体操、ラジオ体操の普及啓発
・ちょこっとウォーク～スニーカービズ～の実施
・市内にあるとちぎ健康づくりロードの周知
・妊婦や未成年に対する受動喫煙を無くすための普及啓発
・禁煙に関する普及啓発及び禁煙相談機関の周知
・こころの健康相談、こころの健康サポーター養成研修会等の実施
・こころの相談窓口一覧の全戸配布
・こころの相談窓口一覧を封入したポケットティッシュの作成、配布
・歯周病予防の動画の普及啓発、出前講座の実施

・健康診査・検診の実施及び受診勧奨

ウ　健康増進計画策定懇談会及び健康増進計画推進懇談会、庁内ワーキング合同会議

現行計画の計画期間が、令和7年度をもって終了となることから、次期計画を策定するために、栃木市健康増進計画策定懇談会を設置した。また、併せて栃木市健康増進計画推進懇談会を設置し、具体的な健康づくりの取り組みについて、懇談会参加者や庁内ワーキング構成員と連携を図りながら、次期計画策定に向けてや計画の推進について意見交換を行った。

・実施内容

月日	参加数(人)	内容
第1回 7月18日	39	(ｱ)栃木市健康増進計画の概要と次期計画策定について (ｲ)ミニ講話 「健康増進計画策定の意義と体制について」 (ｳ)グループワーク 「日常生活の中で、みんなが簡単に運動を取り入れるためには」
第2回 2月13日	32	(ｱ)中間評価以降（R元～R6年度）の各団体・部署における健康づくりに関する取り組み状況について (ｲ)栃木市生活習慣等に関するアンケート結果について (ｳ)グループワーク 「栃木市生活習慣等に関するアンケート結果の課題に対してこれからできること～野菜摂取と減塩の取り組み～」

エ　生活習慣等に関するアンケート調査の実施

健康増進計画最終評価および次期計画策定のため、市民を対象に生活習慣等に関するアンケート調査を実施した。

・調査方法　郵送による配布・無記名回収

・調査期間　7月から8月

・調査対象　市内在住で20～79歳の市民3,000人（無作為抽出）

・調査項目　栄養・食生活や身体活動・運動等生活習慣に関する項目　全29項目

・回 収 率　50.3%

(2)　健康都市宣言の普及啓発

「あったかとちぎ健康都市宣言」の周知のため、栃木保健福祉センター等にパネルの設置、懸垂幕やのぼり旗の設置、集団検診受診者に対してチラシの配布を実施した。

また、健康増進普及月間には市内にある電光標示板やケーブルテレビ等にて周知した。

(3)　事業所と連携した生活習慣病予防事業

市内事業所と連携しながら、従業員を対象に壮年期の課題を含めた健康づくり事業を実施した。

ア　事業所への健康通信の送付

・回数　6回

・送付先　栃木市企業連絡協議会加入事業所　44社
栃木商工会議所、大平町商工会、藤岡町商工会、都賀町商工会、西方町商工会、岩舟町商工会
栃木地域産業保健センター

イ　ウェルワークとちぎ会報への記事掲載

・回数　6回

ウ　生活習慣病予防講座の実施

・回数　2社、2回（内1回はこころの健康サポーター養成研修として実施）

・参加者延べ数　24人

・実施内容　熱中症予防や生活習慣病予防の内容を中心に、事業所の健康課題や希望に応じて講話を実施

エ　生活習慣病予防講座等の普及啓発

市内事業所や栃木商工会議所及び大平商工会等へ、本市における健康課題や生活習慣病予防講座等の普及啓発を実施

2　健康診査事業

(1)　集団検診実施状況

・集団検診実施回数　103回

・集団検診実施場所　各保健センター、各公民館等

(2)　基本健診受診者数　（単位：人）

健診区分	特定健康診査(国保)	特定健康診査(社保等)	後期高齢者健康診査	ヤング健康診査	健康診査	合計
集団	6,476	1,705	3,769	1,048	42	13,040
個別	1,357	－	1,881	－	－	3,238
合計	7,833	1,705	5,650	1,048	42	16,278

(3)　がん検診等事業

ア　がん検診

区　分	実施方法	対象者数（人）	受診者数（人）	受診率（%）	異常なし（人）	要精検（人）	精検不要（人）	判定不能（人）
胃がん	集団	47,963	4,600	9.6	2,946	294	1,360	－
肺がん	集団	47,963	11,516	24.0	6,890	382	4,244	－
大腸がん	集団	47,963	11,058	23.1	10,529	529	－	－
前立腺がん	集団	17,932	4,279	23.9	3,860	387	32	－
子宮がん(頸)	集団	32,055	4,667	24.4	4,578	64	24	1
	(医療機関)		3,145		3,011	121	37	－
子宮がん(体)	(医療機関)	32,055	1,067	3.3	1,062	5	－	－
乳がん	集団	30,509	6,215	21.2	2,929	266	3,020	－
	(医療機関)		266		207	14	45	－

イ　肝炎ウイルス検診

区 分	受診者数(人)	要精検(人)
B型	1,132	8
C型	1,122	2

ウ　骨粗しょう症検診

対象者(人)	受診者(人)	受診率(%)	結果内訳(人)		
			正常範囲	要指導	要精検
12,816	1,364	10.6	703	495	166

エ　胃がんリスク検査（ＡＢＣ検査）

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要精検（人）		
			A群	B群	C群	D群
13,271	522	3.9	414	66	31	11

オ　歯周病検診

区 分	対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	要指導(人)	要精検(人)
歯周	20,100	847	4.2	49	105	693

カ　口腔がん検診

対象者数(人)	受診者数(人)	受診率(%)	異常なし(人)	口腔がん所見(人)	他の所見(人)
79,495	875	1.1	841	1	33

3　けんしんパスポート、けんしんガイドブック送付事業

受診率向上のため、個人ごとに受診券や無料クーポン券などをまとめた「けんしんパスポート」を、世帯に一冊の集団検診日程や内容、予約方法などを記載した「けんしんガイドブック」とともに送付した。

・対　　象　20歳以上の全市民
・発送時期　5月下旬
・対象者数　132,389人　67,492世帯
・集団検診予約受付

予約方法	電話等	インターネット	合計
受付数(件)	10,330	7,676	18,006
割合（%）	57.4	42.6	

4　健康マイレージ事業

市民が自らの健康保持増進に関心を持ち、健(検)診の受診や健康づくりに積極的に取り組むためのインセンティブとして、健康マイレージ事業を実施した。

・対　　象　20歳以上の全市民
・実施方法　けんしんパスポートに、ポイントカード及び参加方法の説明を綴り、全対象者に配布
　　参加者全員にサポートカードを発行（サポート店：38件）

参加者は寄附または抽選を選択できる。

寄附を選択の場合は、市立小・中学校PTAへ1,000円の寄附となる。

抽選を選択の場合は、当選者に記念品を送付する。

・参加状況及び抽選結果　（単位：人）

区　分	参加者数	記念品当選者数	寄附	商品券当選者数
男　性	221	181	18	22
女　性	340	275	26	39
合　計	561	456	44	61

・当選者に対して実施したマイレージ事業アンケート調査

対象者数　561人

回答者数　410人

回 収 率　73.1%

5　健康づくり事業

(1)　特定保健指導等事業

ア　特定保健指導

特定健診受診者に対し、内臓脂肪型肥満に着目した生活習慣の改善のため、運動・栄養等の保健指導を行った。

・面談場所　各保健センター、自宅、テレビ電話等

・実施状況

区　分	対象者（人）	利用者（人）	利用率（%）
積極的支援	193	79	40.9
動機付け支援	698	257	36.8
合計	891	336	37.7

イ　健診結果説明会

健診結果と生活習慣の改善方法を理解することを目的とし、説明会（個別指導）を行った。

・参加者数　152人

(2)　糖尿病性腎症重症化予防事業

糖尿病重症化予防を目的とし、保健指導を行った。

ア　保健指導（外部委託）

・対象者　国民健康保険加入者又は後期高齢者医療制度加入者（75～79歳）の糖尿病性腎症第2～4期の病期にある者（人工透析移行のリスクが高い者）

・実施状況　個別指導5回、集団指導(運動療法)1回

・プログラム終了者数　国民健康保険加入者　4人

後期高齢者医療制度加入者　6人

イ　糖尿病予防講座　～継続コース～

・対象者　令和5年度特定健診結果で糖尿病境界域段階の者

・会場　栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

・回数　　1クール4回×4コース

・参加者延べ数　125人

ウ　糖尿病予防講座　～単発コース～

・対象者　令和6年度特定健診結果で糖尿病境界域段階の者

・会場　　栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

・回数　　1回2コース

・参加者数　39人

(3)　肝炎ウイルス陽性者フォローアップ事業

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された者のうち、同意が得られた者に対し、年に1回調査票の送付等を行い、医療機関の受診状況や診療状況の確認と、必要に応じて電話等による受診勧奨を行った。今年度は、市の集団検診から10名、妊婦検診から2名対象者を把握した。健診申し込み時に、未受診者へ極力案内も行ったことから、対象者が例年に比べて増加した。

また、フォローアップの同意から5年経過した者は終了とし、終了者は増加した。

年　度	対象者（人）	同意者（人）	継続フォロー者（人）	終了者（人）
令和6年度	12	11	28	18
令和5年度	5	3	28	2

(4)　健康教育

ア　健康あっぷ講座

市民を対象に「食べる力を維持するために」と題し、口周りの筋力維持やケア方法について、歯科医師・歯科衛生士が講話を行った。

回数（回）	参加数（人）
1	30

イ　中学校における歯と口の出前講座

中学生を対象に、歯と口の健康についての講話とブラッシング指導を行った。

学校数（校）	対象者（人）
4	923

ウ　出前講座

地域や団体に対し、健康教育を行った。

区　　分	回数（回）	参加者延べ数（人）
熱中症	9	172
オーラルフレイル	11	208
生活習慣	8	200
こころ	3	43
糖尿病	2	25
合　　計	33	648

(5)　健康相談・栄養相談・禁煙相談

心身の健康に関する個別の相談に応じ、保健師・管理栄養士が必要な指導及び助言を行った。また、集団健診当日(計10回)に血圧高値者に対し、健康相談を行った。

・相談者延べ数　412人（内集団健診当日402人）

(6)　病態別栄養指導

医療機関と連携し、管理栄養士が個別に慢性疾患の病態に応じた栄養指導を実施し、疾病の早期回復を図った。

・実施回数　3回

・相談者延べ数　3人

・指導内容(延べ件数)　（単位：件）

糖尿病	高血圧	脂質異常症	腎臓病	その他	計
1	1	2	1	0	5

(7)　脳卒中啓発プロジェクト

脳卒中予防に関するチラシを特定保健指導、出前講座で配布した。

・配布数　1,310枚

(8)　熱中症対策

庁内各課及び庁外関係機関、事業所等と連携を図り、熱中症予防に対する普及啓発、注意喚起を実施した。

ア　普及啓発

・暑さ指数を活用した熱中症注意情報の掲示

・関係各課及び機関におけるチラシ等の配布及びポスターの掲示

チラシ配布数　　15,000枚、うちわ配布数　800枚

ポスターの掲示　　290枚

・広報とちぎやＳＮＳ、マスメディアの活用、市道電光標示板、のぼり旗による普及啓発

イ　防災無線放送を活用した注意喚起（期間：5月1日（水）～10月23日（水））(平日のみ)

・熱中症警戒アラート発表時　9回

・盛夏期における週末の注意喚起　8回

ウ　熱中症対策庁内連携会議の開催　2回

エ　包括連携協定事業所との連携による普及啓発

オ　熱中症対策

・指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）　98か所

・ちょこっと涼み処　125か所

・熱中症お助けスポット　26か所

・移動ちょこっと涼み処　2か所（なつこい、蔵フェスにて開設）

・無料給水スポット　2か所

6　自殺予防対策事業

(1)　こころの健康相談

こころの悩みの軽減及び自殺予防を図るため、カウンセラーによるうつ、ストレス、不眠等のこころの健康相談を実施した。

・会　　場　栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

・実施回数　11回

・相談人数　相談実数　15人、相談延べ数　15人

(2)　こころの健康サポーター（ゲートキーパー）養成研修

こころの健康サポーター（ゲートキーパー）の役割を理解することで、こころの悩みやサインに気づき、自殺予防を図ることを目的に、研修会を実施した。

・実施回数　5回

・参加者延べ数　247人

(3)　自殺予防普及啓発

ア　街頭キャンペーン（県共催）

(ｱ)　自殺予防週間（9月）及び自殺対策強化月間（3月）の期間中、自殺予防等の正しい知識の普及啓発と身近な相談機関の周知を図るため、自殺予防の啓発グッズ及び相談窓口一覧チラシ、相談窓口案内ポケットティッシュを配布した。

・実施場所　市内商業施設

・配 布 数　720個

(ｲ)　自殺予防週間（9月）期間中、自殺予防の啓発グッズ、相談窓口一覧チラシ、相談窓口案内ポケットティッシュを設置した。

・設置場所　ハローワーク栃木

・設置数　　200個

イ　移動スーパーと連携した取り組み

自殺対策強化月間（3月）の期間中、とくし丸を利用した方に対し、自殺予防の啓発グッズ及び相談窓口一覧チラシ、相談窓口案内ポケットティッシュを配布した。

・配布数　200個

ウ　図書館と連携した取り組み

自殺対策強化月間（3月）を周知するため、市内の各図書館で特設ブースを設置し、こころの健康に関する図書の展示や、自殺予防の啓発グッズ及び相談窓口一覧チラシ、相談窓口案内ポケットティッシュを配布した。

・配布数　210個

(4)　自殺対策調整会議

栃木市いのち支える自殺対策計画を推進し、自殺を未然に防ぐため、調整会議を設置し、関係機関との連携強化を図った。

ア　参加者

保健医療・福祉・教育・労働等に関わる団体の代表者及び行政機関の担当職員等

イ　会議開催

開催日	参加数（人）	内容
第1回 9月5日	17	・栃木市いのち支える自殺対策計画及び進捗状況について

		・栃木市の自殺の現状について ・子どもの自殺の現状について ・子どもに対する自殺対策についての意見交換
第2回 1月31日	16	・栃木市消防本部から自損行為者の現状について ・栃木市の自殺の現状について ・栃木市生活習慣等に関するアンケート（こころの健康と睡眠）の結果について ・栃木市生活習慣等に関するアンケート結果の課題に対する取り組みについての意見交換

7　地域保健対策推進事業

(1)　栃木市健康づくり推進会議

市民の生涯を通した健康の実現を目指し、市民一人ひとりの主体的な健康づくり活動を関係機関、関係団体、行政等が協働して支援し、住民に密着した総合的な健康づくり対策事業を推進するため、会議を実施した。

ア　関係機関

保健医療、福祉、教育関係団体、公募による者等

イ　会議開催

開催日	参加数（人）	内容
第1回 8月1日	13	・栃木市保健事業概要について ・各係から今年度の主な事業について ・栃木市健康増進計画の策定について
第2回 2月20日	10	・令和6年度熱中症対策事業について ・令和6年度市民健康まつりについて ・健康増進計画について ・帯状疱疹予防接種の状況について

(2)　食生活改善事業

食生活改善推進員（92人）が、地域における食生活改善推進のため、個別訪問活動や教室を開催し普及啓発を行った。また、会員相互の連携及び交流を図るため、グループ活動を実施した。

ア　栃木市食生活改善推進員協議会活動

・実施状況

区分		内容	実施回数（回）	会員参加者数（人）	一般参加者数（人）
事業	講習会	生涯骨太クッキング	1	15	36
		おやこの食育教室	1	7	19
		ヘルスサポーター養成事業 高齢世代	1	8	25
		ヘルスサポーター養成事業 働き世代	1	7	20

会議	総会	1	66	－
	理事会	3	23	－

イ　栃木市食生活改善推進員地区組織活動実績集計表

・方法別活動状況

集会		対話・訪問		総数		自己学習回数
回数	人数	回数	人数	回数	人数	
383	5,959	838	1,598	1,221	7,557	892

・項目別活動状況

子どもの健康・食生活		若者、働き世代の健康・食生活		高齢者の健康・食生活		その他		総数	
回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
238	2,344	351	1,474	632	3,739	0	0	1,221	7,557

8　がん患者支援補助金

(1)　がん患者アピアランスケア支援補助金交付事業

がん患者アピアランスケア支援(外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減する支援)として、がん患者の補整具の購入に要する経費の一部を補助することにより、当該がん患者の心理的及び経済的な負担を軽減するとともに、療養生活の質の向上を図った。

・交付実績

医療用ウィッグ　（単位：人）

区分	20代未満	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
男	1	－	－	－	-	－	－	－	1
女	1	－	3	12	14	15	10	3	58
合計	2	－	3	12	14	15	10	3	59

乳房補整具　（単位：人）

区分	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合計
合計	－	-	6	4	2	2	-	14

・交付額　　医療用ウィッグ　1,612,600円

乳房補整具　　273,500円

(2)　若年がん患者の在宅ターミナルケア支援補助金交付事業

若年がん患者のターミナルケア支援(医師が一般に認められている医学的知見に基づき、回復の見込みがない状態に至ったと判断した18歳以上40歳未満のがん患者に対する在宅療養生活の支援)として、若年の末期がん患者の在宅療養に要する経費の一部を補助することにより、当該患者及びその家族の経済的負担を軽減するとともに、在宅療養生活の質の向上を図る。

・交付実績

申請　　0件
交付額　　0円

9　地域看護

・成人宅等を訪問し、健康相談及び生活指導等を行った。
・訪問指導数　36件
・内訳（延べ件数）

（単位：件）

精神保健	生活習慣病	他の疾患	その他
10	27	1	0

10　市民健康まつり開催事業

・実施日　11月10日（日）
・会　場　栃木保健福祉センター　（単位：人）

協力団体名	実　施　内　容	参加人数
下都賀郡市医師会	健康に関する講演会・落語	80
下都賀歯科医師会	歯科相談、保健指導、ＤＶＤ上映、歯と口の健康づくりについての歯科保健指導	58
下都賀歯科衛生士会	上記の内、保健指導	37
栃木地域薬剤師会	お薬相談、パネル展示、禁煙相談、お薬Q&Aコーナー	78
栃木県栄養士会 県南支部	フレイル予防の食生活をテーマにした展示、個別食生活相談、握力測定、	188
栃木市食生活改善 推進員協議会	食事の大切さに関するレシピやチラシ配付、１日分の野菜の重量体験	95
ＪＡしもつけ 栃木農産物直売所	地元産の新鮮野菜と果物の販売	100
ＮＰＯ法人 蔵の街ウエイブ	精神障がい者への理解を深める活動	46
とちぎメディカル センター	フレイル予防講座、骨密度測定、もの忘れチェック	341
保険年金課	特定健診とフレイル予防の案内	250
健康増進課	健康に関する模型展示、健康啓発動画の上映、血管年齢測定、骨派測定、体組成計等	779
各ブース来場者（延べ人数）		2,052

11　イベント等での健康啓発事業

(1)　健康啓発チラシ設置

ア　TMCしもつが市民公開講座

・実施日　6月1日（土)、7月20日（土)、10月12日（土)、11月30日（土）
・会　場　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）
・実施日　2月22日（土）
・会　場　大平文化会館

イ　ど田舎にしかた祭り
・実施日　12月1日（日）
・会　場　道の駅にしかた西側の田んぼ

(2)　健康情報コーナーの設置

ア　くららフェスタ
・実施日　3月9日（日）
・会　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）
・内　容　血圧測定、ロコチェック、とちぎハート体操、健康情報ＤＶＤ放映
乳がん・血管模型の展示、健康づくりロードマップの展示
健康関連情報の設置

第６章　こども未来部

第１節　子育て総務課

〔総括概要〕

子育て総務課では、全てのこども・若者が、身体的・精神的・社会的に幸福な生活を送ることができる社会の実現に向けて、本市のこども施策を総合的かつ計画的に推進するため、令和７年度から令和11年度を計画期間とする「栃木市こども計画」を策定した。

また、子育て世帯を支援するために、子育てガイドブックの発行をはじめとした子育て情報の発信を行うとともに、児童に関する手当として、児童手当、児童扶養手当、遺児手当及び赤ちゃん誕生祝金の支給を行った。

なお、児童手当及び児童扶養手当については、国の制度改正に伴いシステム改修や支給対象者への事前周知など所要の対応を行った。

子育て世帯の経済的負担の軽減を行うとともに、育児の悩み等の相談に応じ子育て世帯を応援するため、出生時及び概ね4か月ごろに紙おむつ等の育児用品の給付事業を行った。

こどもの運動機能の向上及び子育て世代の交流の促進を図ることを目的として、市内の民間屋内遊戯施設を利用するこども及びその保護者を対象に、施設利用料の半額相当を助成する補助制度を整備した。

ファミリー・サポート・センターでは、仕事と育児の両立を図り、安心して働ける環境づくりを進めるため、地域における子育て相互支援機能の強化、調整に努めた。

地域子育て支援センターでは、子育て家庭への育児支援を図るため、子育てに関する情報や遊び場の提供、育児不安等に関する相談支援を行った。また、保護者間の交流を図るとともに、親子・子ども同士が楽しく触れ合うことのできる事業を企画実施した。

児童館では、地域における子育て支援の拠点として、児童の健全育成を図るため、地域社会と連携しながら、子どもたちに健全な遊びや情報、居場所の提供を行った。

来館者数や利用者数は、新型コロナウイルス感染症の影響により減少する以前の水準へ回復してきている。

旧下都賀総合病院北病棟跡地に計画していた子どもの遊び場整備事業については、令和元年台風災害による影響から財政負担の軽減や平準化を図るための全庁的な大型事業の見直しの対象となり、施設規模や建設場所の変更を含め検討を重ねてきた中、民間事業者が市内にこども専用の屋内遊戯施設を整備したことから中止となり、事業用地については、市議会及び地域会議の意見聴取や地元自治会へのアンケート調査の結果等を踏まえ、今後の整備方針を決定した。

箱森町地内の複合施設とちぎコミュニティプラザ２階のはこのもり児童センター等の空調設備について、大規模な改修工事を実施した。

学童保育事業では、下校後に保護者が家庭にいないため、保護指導を十分に受けられない児童に対する支援を行った。

新築した大平西子どもの家2号館において、大平西第2学童保育を大平西地区公民館から移設するとともに、新たに大平西第3学童保育を創設し受入れを開始した。

大宮北小学校敷地内の宮の子学童保育周辺における、児童の安全確保や利用者の車両出入りに係る利便性向上のため、学校敷地内一部の舗装整備を実施した。

公設学童保育の現状と課題を踏まえ、民間運営委託の導入についての具体的な委託方法等、今後のあり方の検討を行った。

子育て総務係

1　子ども・子育て会議の開催

本市の実情に合った子ども・子育て支援の施策を推進していくため、子ども・子育て会議を開催した。

回数	内容	備考
第1回	（報告事項） ・第二期栃木市子ども・子育て支援事業計画の実施状況について （報告事項） ・栃木市こども計画の策定について （報告事項） ・公設学童保育の現状と今後のあり方について	9月17日
第2回	（審議事項） ・栃木市こども計画(案)について （審議事項） ・栃木市こども計画(案)に関するパブリックコメントの実施について	1月15日
第3回	（審議事項） ・栃木市こども計画の案について （審議事項） ・乳幼児等通園支援事業の認可等について （審議事項） ・特定教育・保育施設の利用定員の設定について （報告事項） ・特定教育・保育施設の利用定員の変更について	3月18日

2　栃木市こども計画の策定

子ども・子育て支援事業計画や子ども・若者計画をはじめとした、本市のこども施策を包含した計画として栃木市こども計画を策定した。また計画策定のための、パブリックコメント及びアンケート調査を行った。

(1)　栃木市こども計画(案)に関するパブリックコメント

対 象 者	・市内在住、在勤、在学の者 ・市内に事業所等を有する個人、法人等 ・市税の納税義務者 ・本計画に利害関係を有する者
実施期間	1月27日～2月26日
閲覧場所	・子育て総務課 ・市政情報センター ・各総合支所地域づくり推進課 ・大宮、皆川、吹上、寺尾、国府の各公民館窓口 ・市ホームページ
提出方法	郵送、ファックス、電子メール、直接提出のいずれか
提出件数	5件

(2)　栃木市こどもアンケート

対 象 者	18歳未満のこども
実施期間	2月10日～3月2日
配布場所	・はこのもり児童センター ・いまいずみ児童館 ・そのべ児童館 ・大平みなみ児童館 ・大平児童館
調査方法	紙面調査及びＷＥＢ調査
調査時期	2月17日～3月17日
提出件数	248件

3　赤ちゃんの駅

子育て家族が安心して外出できる環境づくりを進めることを目的として、平成23年8月に赤ちゃんの駅登録事業を開始した。

おむつ替えや授乳のため自由に利用することのできる施設を、赤ちゃんの駅として登録し、市民への周知を図った。

・赤ちゃんの駅登録数　95か所（公共施設59か所・民間施設36か所）

・移動式赤ちゃんの駅　１セット（貸出用１セット）

4　子育て応援企業登録事業

従業員の仕事と子育ての両立支援や、地域における子育て支援に取り組む（取り組もうとする）企業を、子育て応援企業として登録し、その取組内容の周知を行った。

・子育て応援企業登録数　125企業

5　子ども未来基金

本市の未来を担う子どもたちの健全な成長に寄与し、子育てに対する支援を推進する事業の財源に充てるため、子ども未来基金を設置している。

(1)　子ども未来基金状況　　（単位：円）

摘　　要	増額	減額	現在高	備　考
令和5年度末残高	－	－	301,935,091	
一般会計へ繰入	－	57,722,000	－	
利子積立金	4,537	－	－	
寄附金等積立金	206,921,889	－	－	(2)寄附金内訳参照
令和6年度末残高	－	－	451,139,517	

(2)　寄附金内訳　　（単位：円）

区　　分	金　　額
個人からの寄附　　4件	6,297,700
団体からの寄附　　14件	3,834,689
ふるさと応援寄附金（栃木の子育て支援事業）	196,789,500
合　　計	206,921,889

地域子育て係

1　児童に関する手当

種　　別	受給者数（人）	新規認定件数（件）
児童手当	11,060	2720
児童扶養手当	822	137
遺児手当	34	6

※令和６年１０月に制度改正があったため、新規認定件数が昨年度と比較して大幅に増加した。

2　赤ちゃん誕生祝金事業

児童の健やかな成長を願い、子育て支援に資することを目的に、18歳未満の児童を養育し、第2子以降が誕生した保護者に祝金を支給した。

・支給額　4,650,000円

・支給状況

区　分	祝金の額（円）	支給件数（件）
第2子	10,000	227
第3子以降	20,000	119

3　すくすく子育て応援事業

子育て世帯の経済的負担の軽減を行うとともに、育児の悩み等の相談に応じ子育

て世帯を応援するため、出生時及び生後4か月ごろに紙おむつ等の育児用品の給付を行った。

・1回目（出生時）　　632件（紙おむつSサイズ2袋・おしりふき1箱）
・2回目（生後4か月程度）　532件（紙おむつMサイズ2袋・おしりふき1箱）

4　地域組織活動（母親クラブ）への支援

保護者等が組織し、児童館等を拠点に会員相互の交流を深めながら、世代間交流や児童養育に関する研修活動、児童の事故防止活動等を自主的に実施する母親クラブに対し、活動の支援・指導を行った。

・会員数の内訳　（単位：人）

組　織　名	活　動　場　所	会員数
栃木市母親クラブゆるく	大宮公民館	11

5　ファミリー・サポート・センター事業

(1)　会員数の内訳　（単位：人）

育児依頼会員	590
育児提供会員	181
依頼･提供両会員	42
合　計	813

(2)　活動状況　（単位：件）

援　助　活　動　内　容	活動件数
保育園･幼稚園への登園前の預かり及び送り	0
保育園･幼稚園への迎え及び帰宅後の預かり	189
学童保育前の預かり及び送り	93
学童保育への迎え及び帰宅後の預かり	71
放課後の預かり及び送迎	331
子どもの習い事等の場合の援助	465
保育園･学校等休み時の援助	1
保護者等の短時間･臨時的就労の場合の援助	89
保護者等の病気、その他の急用、外出の場合の援助	65
その他	378
合　　計	1,682

(3)　講習会等　（単位:人）

No	内　容	参加人数
1	地域ぐるみの子育てのメリットや関わり方について	12
2	救命講習（応急手当）	11
3	子どもと楽しむ押し花アート	9

4	ハッピー子育て講座「自己肯定感を育み、心が育つために大切なこと」	8
5	栄養たっぷりおやつ作り	11
6	骨盤体操	8
7	栃木市健康診断の託児講習（全3回）	23

6　地域子育て支援センター

(1)　利用者数推移　（単位：人）

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和4年度	1,097	1,546	1,118	358	78	43	19	3,612	7,871
令和5年度	1,010	1,038	785	493	77	31	18	3,088	6,540
令和6年度	1,263	1,253	760	513	295	67	22	3,675	7,848

(2)　活動状況

ア　日常活動

・参加者数　延べ7,848人

・実施内容　子育て情報提供、子育て情報交換、子育て相談

(ｱ)　えほんタイム

・実施時間　午前11時～11時20分（月・木・金曜日）
　　午後4時～4時20分（火・水曜日）

・実施内容　歌、絵本、パネルシアター、紙芝居、わらべうた、手遊び、体操

(ｲ)　園庭開放（はこのもり保育園園庭）

・実施曜日　毎週火・水曜日

・実施時間　午前11時30分～正午

イ　定例活動

・実施回数　ほんわかタイム12回　プチなかよしタイム4回
　　なかよしタイム37回

・参加者数　延べ894人

・実施内容　ほんわかタイム（0歳児と保護者を対象）
　　ふれあい遊びや絵本の紹介、仲間づくり活動
　　プチなかよしタイム（1歳児と保護者を対象）
　　ふれあい遊び・新聞紙遊び・散歩
　　なかよしタイム（2歳児、3歳児と保護者を対象）
　　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、わらべうた、パネルシアター、紙芝居、絵本読み聞かせ、製作活動、体操遊び、散歩、ゲーム等毎回テーマを決めて実施

・実施日時

区　分	実施日	開催時間

ほんわかタイム	月1回火曜日	午前10時～11時
プチなかよしタイム	5、8、11、2月の第2火曜日	午前10時～11時
なかよしタイム	毎週水曜日	午前10時～11時

ウ　特別活動　（単位：人）

No	活動名	参加人数	No	活動名	参加人数
1	子育て講座 「ベビーマッサージ」2回	46	8	14支援センター合同行事 「支援センターフェア」	99
2	子育て講座 「歯みがき講座」	19	9	0歳講座 クリスマスコンサート	34
3	語りべ「間中一代さん」	21	10	クリスマス会 「ViVidコンサート」	28
4	子育て講座 「ベビーヨガ」	18	11	子育て講座 「親子リトミック」	24
5	運動会	23	12	0歳講座 チャクラマッサージ	19
6	総合合同避難訓練（2回）	24	13	お楽しみ会 「コロポックル」	23
7	子育て講座「親子ビクス」	20	14	スプリングコンサート	40
合　計					438

エ　子育て相談　（単位：件）

相談内容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	10	8	2
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	3	3	－
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	2	2	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	10	10	－
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	4	4	－
対人関係	他の子との関わり　ほか	6	6	－
その他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	38	33	5
合　計		73	66	7

7　地域子育て支援センターおおひら

(1)　利用者数推移　（単位：人）

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和4年度	478	458	342	257	266	174	74	1,814	3,863

令和5年度	624	608	366	215	170	179	86	1,952	4,200
令和6年度	744	503	487	228	170	169	101	2,126	4,528

(2) 活動状況

ア 定例活動

・実施日時 火曜日(月2回)(ころころ広場) 午前10時30分～11時15分
木曜日(月2回)(あかちゃんサロン) 午前10時30分～11時15分
木曜日(月4回)(すくすく木曜日) 午前9時～午後4時
木曜日(年2回)(リトルサロン) 午前10時30分～11時15分
木曜日(年4回)ツインズサロン午前10時30分～11時15分
木曜日(年各1回)2歳児リトミック・骨盤スリムヨガ
午前10時30分～11時15分

・実施内容 集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、体操遊び、親子工作、リズム遊び、親子ヨガ、リトミック、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数 115回

・参加者数 延べ2175人

イ 特別活動 (単位:人)

No	活動名	参加人数	No	活動名	参加人数
1	ベビーマッサージ(3回)	96	6	大平西保育園交流会	10
2	大平南第1保育園交流会	14	7	バランスボールダンス	26
3	親子リトミック	25	8	ハロウィンお楽しみ会	52
4	14支援センター合同行事「栃木市支援センターフェア」	別表	9	きゅーちゃんダンスを踊ろう(ケーブルテレビ)	34
5	ママの癒しタイム「エアロビクス」	32	10	ママの癒しタイム「フラワーアレンジメント」	24
合計					313

ウ 子育て相談 (単位:件)

相談内容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ ほか	0	0	0
排泄に関すること	おむつはずし、便秘 ほか	1	1	0
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い ほか	0	0	0
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達 ほか	7	7	0
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語 ほか	1	1	0
対人関係	他の子との関わり ほか	0	0	0
その他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり ほか	38	33	5

合　　計	47	42	5

8　地域子育て支援センターふじおか

(1)　利用者数推移　　（単位：人）

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和4年度	218	769	445	232	57	29	19	1,535	3,304
令和5年度	230	527	711	167	67	41	14	1,446	3,203
令和6年度	337	613	519	175	75	41	12	1,439	3,211

(2)　活動状況

ア　定例活動（わくわくタイム）

・実施曜日　木曜日又は金曜日（月3～4回）

・実施時間　午前10時30分～11時30分

・実施内容　集団親子活動を行い、歌、リズム遊び、楽器遊び、親子のふれあい遊び、体操運動遊び、季節の製作、紙芝居や絵本の読み聞かせ等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　28回

・参加者数　延べ373人

読み聞かせタイム

・実施日　　行事がない開設日

・実施時間　午前11時～（15分程度）

・実施内容　歌、絵本読み聞かせ、親子のふれあい遊び、体操

・実施回数　107回

・参加者数　延べ1,006人

イ　特別活動　　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数	No	活　動　名	参加人数
1	ハッピー子育て講座	10	11	おいも掘り	中止
2	親子の音楽療法	27	12	親子のパーソナルカラーレッスン	14
3	藤岡はーとらんど保育園との交流会	8	13	絵本講座	10
4	親子クラフト	12	14	親子フィット	17
5	親子リトミック	21	15	14支援合同行事「14支援センターフェア」	別表
6	歯科衛生士さんの歯みがきのおはなし	11	16	米粉パンクッキング	21

7	骨盤ケア	16	17	クリスマス会	32
8	食育出前講座	10	18	はじめての語りべ	25
9	避難消火訓練、消防車見学	15	19	親子ビクス	12
10	エレクトーンコンサート	18	20	お楽しみ広場	27
合　　計					306

ウ　子育て相談　　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	7	7	－
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	7	6	1
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	3	3	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	10	9	1
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	4	4	－
対　人　関　係	他の子との関わり　ほか	6	6	－
そ　の　他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	47	41	6
合　　計		84	76	8

9　地域子育て支援センターつが

(1)　利用者数推移　　（単位：人）

年齢／年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	保護者	合　計
令和4年度	449	384	143	62	17	7	9	1,010	2,081
令和5年度	514	589	278	88	23	9	3	1,387	2,891
令和6年度	626	397	351	57	22	4	6	1,351	2,814

(2)　活動状況

ア　定例活動

すくすくタイム

・実施曜日　毎週木曜日

・実施時間　午前10時～11時

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、折り紙、親子工作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　24回

・参加者数　延べ356人

読み聞かせタイム

・実施曜日　火・金

・実施時間　午前 11 時～（15 分程度）

・実施内容　体操・手遊び・絵本・紙芝居

・実施回数　78 回

・参加者数　延べ 1,110 人

イ　特別活動　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数	No	活　動　名	参加人数
1	ベビーヨガ	19	6	親子体操	41
2	0 歳のリトミック	36	7	親子リトミック	17
3	親子エアロビクス	50	8	おはなし会	20
4	ベビーマッサージ	21	9	14 支援センター合同行事「14 支援センターフェア」	別表
5	1 歳からのリトミック	42			
合計					246

ウ　子育て相談　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	14	14	－
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	1	1	－
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	6	6	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	12	11	1
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	6	6	－
対　人　関　係	他の子との関わり　ほか	5	5	－
そ　の　他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	14	13	1
合　計		58	56	2

10　地域子育て支援センターにしかた

(1)　利用者数推移　（単位:人）

年齢／年度	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	保護者	合　計
令和 4 年度	88	170	57	58	11	5	1	363	753
令和 5 年度	167	184	54	41	24	7	4	445	926
令和 6 年度	205	290	194	41	28	54	11	723	1,546

(2)　活動状況

ア　定例活動

なかよしひろば

・実　施　日　月 6～7 回

・実施時間　午前 10 時 30 分～11 時 30 分

・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、リズム体操、折り紙、親子製作、体操遊び、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。

・実施回数　49 回

・参加者数　延べ 586 人

イ　特別活動　（単位：人）

No	活動名	参加人数	No	活動名	参加人数
1	親子フィット、親子ヨガ 3 回	51	4	食育講座 2 回	36
2	歯磨き指導(健口の話) 3 回	25	5	人形劇鑑賞	11
3	総合避難訓練	12	6	パーソナルカラーレッスン	21
				合計	156

ウ　子育て相談　（単位：件）

相談内容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	7	7	－
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	0	0	－
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	2	2	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	1	1	－
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	1	1	－
対人関係	他の子との関わり　ほか	1	1	－
その他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わり　ほか	20	20	－
合計		32	32	－

11　地域子育て支援センターいわふね

(1)　利用者数推移　（単位：人）

年齢／年度	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	6 歳	保護者	合計
令和 4 年度	231	302	173	54	29	16	13	756	1,574
令和 5 年度	323	347	229	25	12	2	24	869	1,831
令和 6 年度	326	197	179	23	8	29	1	782	1,545

(2)　活動状況

ア　日常活動

(ｱ)　読み聞かせ

・実施日　　行事のない開設日

・実施内容　歌、絵本の読み聞かせ、親子のふれあい遊び、体操等

・実施回数　46 回
・参加者数　延べ 146 人

(ｲ)　園庭利用
・実施曜日　毎週火・金曜日
・実施時間　午前 11 時～正午
・実施内容　いわふね保育園園庭遊び
・実施回数　42 回
・参加者数　延べ 37 人

イ　定例活動

(ｱ)　のびのび・うきうきルーム
・実施日　　のびのびルーム：毎月 2 日間
　　うきうきルーム：毎月 1 日間
・実施時間　午前 10 時 30 分～11 時 30 分
・実施内容　集団親子活動を行い、季節の歌、手遊び、紙芝居、絵本読み聞かせ、誕生会、身体測定、カレンダー製作、体操遊び、リズム遊び、親子製作、ゲーム等毎回テーマを決めて実施。
・実施回数　21 回
・参加者数　延べ 399 人

(ｲ)　計測と子育て相談の日
・実施日　　毎月 1 回
・実施期間　午前 10 時～12 時
・実施内容　身体測定、子育て相談、親子交流等
・実施回数　12 回
・参加者人数　延べ 69 人

(ｳ) 年中行事
・実施日　　不定期
・実施時間　午前 10 時～11 時（お庭であそぼう　午前 11 時～正午）
・実施内容　年中行事に合わせ集団親子活動を行う。
・実施回数　12 回
・参加者数　延べ 191 人

ウ　特別活動　（単位：人）

No	活　動　名	参加人数	No	活　動　名	参加人数
1	0 歳からの春の音楽会	33	7	赤ちゃんとパーソナルカラーレッスン	14
2	ベビービクス（2 回）	23	8	えほんといっしょ	17
3	リズムと心の癒し(2 回)	60	9	歯科衛生士さんの講話	14
4	Let's enjoy 体操	12	10	14 支援センター合同行事「14 支援センターフェア」	別表
5	ベビーヨガ	9	11	骨盤ケア	15

6	ハッピー子育て講座	11	12	親子クラフト	15
			13	おはなし会	26
合　　計					178

エ　子育て相談　　（単位：件）

相　談　内　容		相談件数	相談方法	
			来所	電話
食事に関すること	授乳、離乳、卒乳、食事、おやつ　ほか	2	2	－
排泄に関すること	おむつはずし、便秘　ほか	2	2	－
睡眠に関すること	夜更かし、夜泣き、眠りが浅い　ほか	1	1	－
健康に関すること	ほふく、歩行、身体の発達　ほか	1	1	－
ことばに関すること	発語が遅い、幼児語　ほか	2	2	－
対　人　関　係	他の子との関わり　ほか	－	－	－
そ　の　他	性格、育児依頼、入園について、病気、親のストレス、家庭環境、祖父母との関わりほか	33	31	2
合　　計		41	39	2

【別表】地域子育て支援センター合同行事集計表　　（単位：組）

No	活　動　名	参加組数
1	14支援センター合同行事　「栃木市支援センターフェア」	47
合　　計		47

12　児童館運営委員会の開催

本市の児童館の適正な運営を図るため、児童館運営委員会を開催した。

開催日	内容
7月3日	（協議事項） ・栃木市児童館運営委員会正副委員長の選出について （報告事項） ・令和5年度事業報告について ・令和6年度事業計画について

13　児童館

児童の健康を増進し、情操を豊かに育むことを目的とし、児童に対し遊びを通じた指導や情報提供、相談支援等を行うとともに、地域組織や地域住民と連携を図りながら、各種事業を実施した。

(1)　はこのもり児童センター

ア　利用状況　　（単位：人）

幼児	小学校1～3年	小学校4～6年	中学生	高校生	大人	合計	開館日数	1日平均利用人員
3,160	2,167	3,309	1,926	324	4,656	15,542	293	53

イ　事業実施状況　　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
季節の行事(遊べる行事)(7回) こいのぼりエコ工作・バンブー水鉄砲・スイカ割り・秋祭り・スニュースポーツに挑戦・お正月あそび・ひし餅積みゲーム	510	季節の行事(工作)(2回) タペストリー(お正月飾り)・恵方巻ロール	51
		体験バスツアー(1回) 那須ハイランドパーク	20
季節の行事(科学遊び)(1回) 七夕＆プラバン	106	バレンタインクッキング(1回) キラキラクッキー	19
科学あそび工作(２回) オーシャンボトル・偏光板万華鏡風工作	41	進級工作(2回)(リサイクル) クリップボード・持ち物チェックボード	46
母の日企画(1回) 空き瓶リメイク(リサイクル)	22	春休み企画(1回) ビンゴ大会	36
父の日企画(1回) 針金ハンガー	20	工作(２回) マーブリングうちわ・メモパッド	52
敬老の日企画(1回) ギフトボックス(リサイクル)	26	簡単工作(１回) ストロー笛	50
異文化交流(季節の行事)(1回) ハロウィン	62	実習生工作(1回) ドリームキャッチャー	16
異文化交流(調理)(1回) カレー＆サラダ	16	移動動物園(1回)	237
合　　計			1,330

(2) いまいずみ児童館

ア　利用状況　　（単位：人）

幼児	小学校1～3年	小学校4～6年	中学生以上	大人	団体	合計	開館日数	1日平均利用人員
3,008	1,224	2,499	586	3,106	33	10,456	295	35

イ　事業実施状況　　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ママといっしょ（33回）	289	eスポーツ体験会(2回)	33
にこにこたいむ（3回）	61	野菜とお花の花だんづくり	7
収穫祭	4	じどうかんまつり	111
わくわくたいむ（7回）	182	カラオケ練習会(3回)	22
七夕飾り作り（6回）	50	いまいずみONステージ♪	10
県民の日カラオケ	35	豆まき会	21
こいのぼり作り	28	ひな人形作り	22
春休み・夏休み・冬休み工作	67	冬休み・春休みスポーツ大会	29
こどもアトリエ（2回）	20	風船バレー	12
熱中症予防講座	2	風船ボールあそび	10
子育てママの為の引き締めトレーニング（3回）	24	いまいずみリサイクル	30
親子DEわくわく体操	10	親子ヨガ	16

裏卓球大会	6	己書体験会	19
リッピー&まるぷーのカラフルコメディーショー&グリーティング	72	長期休みいまいずみ学習スペース	111
避難訓練(2回)	32	合　　計	1,335

ウ　地域子育て支援センター連携型

利用者数　（単位：人）

区分	乳幼児	保護者	計	開館日数
人数	206	208	414	141

活動状況

いまいずみ子育てサロン（いまいずみ児童館内）

・実施曜日　月曜日、火曜日、金曜日

・実施時間　午前9時～正午

(3)　そのべ児童館

ア　利用状況　（単位：人）

幼児	小学校1～3年	小学校4～6年	中学生以上	大人	団体	合計	開館日数	1日平均利用人員
3,735	503	821	612	3,510	－	9,181	300	31人

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
親子ビクス（11回）	260	初めてのお化け屋敷	24
きねんび☆photo（11回）	139	敬老の日のプレゼント作り	139
ぺたぺたひろば（12回）	222	ポンポコたぬきで楽しもう	16
おひさまクラブ	223	みんなで作るパンプキン	237
おはなしの玉手箱	126	風船でポン	8
親子で愉快に笑いヨガ	24	みのむしたちがゆ-らゆら	124
こいのぼりを作ろう	90	みんなで作るクリスマス	171
親子ふれあい遊び	18	フルートコンサート	26
かたつむりを作ろう	113	たこたこあがれ	75
虫歯をなくそう	25	新春福引き	57
七夕飾り	162	かわいい鬼に変身	57
子育てハッピーアドバイス	34	リズムにのって楽しく遊ぼう	117
かるた大会	28	おひなさまを作ろう	113
楽しく踊ろう	24	楽しいおひなさま	25
勉強お助け隊	66	ビンゴ大会&駄菓子屋さん	75
夏まつり	110	陶芸小物作り	41
合　　計			2,969

ウ　地域子育て支援センター連携型

利用者数　（単位：人）

区分	乳幼児	保護者	計	開館日数
人数	951	909	1,860	149 日

活動状況

そのべ子育てサロン（そのべ児童館内）

・実施曜日　月曜日、火曜日、水曜日

・実施時間　午前 9 時～正午

(4)　大平みなみ児童館

ア　利用状況　（単位：人）

幼児	小学校 1～3 年	小学校 4～6 年	中学生	高校生	大人	合計	開館日数	1 日平均利用人員
1,767	1,987	2,782	833	140	2,810	10,319	300	34

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
幼児クラブ（23 回、うち 1 回中止）※	785	ハロウィンイベント	274
こどもまつり	302	クリスマスオーナメント作り	115
母の日のプレゼント作り	10	門松作り	7
父の日のプレゼント作り	10	ハッピーくじ	59
七夕短冊書き	132	親子フラワーアレンジメント	7
スタディタイム（夏休み自習）	7	カプラであそぼう	19
スーパーボールすくい	68	子どもクッキング（4 回）	58
敬老の日プレゼント作り	7	避難訓練（12 回）	140
合　計			2,000

※戸外活動日で雨天のため

(5)　大平児童館

ア　利用状況　（単位：人）

幼児	小学校 1～3 年	小学校 4～6 年	中学生以上	大人	団体	合計	開館日数	1 日平均利用人員
6,656	1,580	2,146	1,782	6,751	193	19,108	300	64

イ　事業実施状況　（単位：人）

事業名	参加人数	事業名	参加人数
ぱくぱくクッキング(6回)	78	足型＆体重測定会（1 回）	6
幼児クラブ（33 回）	818	運動が好きになる体操教室	29
わいわい広場（22 回）※うち 1 回中止	479	天体観測（20 回）	204
おさるキャッチャーでお菓子をゲットしよう！！	33	みんなのアイディアでおまつりを盛り上げよう	216

子どもフェスティバル	340	栃木の特産品を味わおう	46
ベビーマッサージ（12回） ※うち2回中止	199	おうちでできるトレーニング教室（11回）※うち4回中止	50
出前児童館（2回）	670	産後のフェムケア矯正（11回） ※2回中止	65
工作あそび（5回）	96	お正月企画～はっぴーくじ～ （8日間）	58
合　計			3,387

ウ　地域子育て支援センター連携型

利用者数　（単位：人）

区分	乳幼児	保護者	計	開館日数
人数	2,593	2,271	4,864	274

活動状況

子育てサロン　てもんのおうち（大平児童館内）

・実施曜日　水曜日、木曜日、金曜日、土曜日、日曜日

・実施時間　午前9時～午後4時

14　（仮称）子育て支援施設子どもの遊び場整備事業

児童の健康を増進し、情操を豊かに育むことを目的とした大型遊具を備えた児童遊戯施設の整備を予定していたが、令和元年東日本台風の影響により全庁的に大型事業の見直しが行われ、当面の間整備が延期となったため、計画敷地の適正管理に努めた。

業務委託	業務内容	期間
旧下都賀病院・駐車場管理業務	①草刈り・残滓処分 ②草刈り・残滓処分	①　6月17日～ 7月 2 日 ②　9月23日～10月21日

学童保育係

1　学童保育事業

保護者の就労等により、昼間家庭での保護指導を充分に受けることができない小学生を対象とし、健全な余暇利用の機会を与え、集団生活を通し社会性を養うことを目的として実施した。

・公設公営　40クラス

・公設民営　3事業者14クラス

・民設民営　6事業者10クラス

(1)　公設公営学童保育利用者数(令和6年5月1日時点)　（単位:人）

地域 （クラス）	学年 学童保育名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計

栃木(11)	なかよし第1（栃木中央小）	14	14	16	0	0	0	44
	なかよし第2（栃木中央小）	15	11	8	0	0	0	34
	なかよし第3（栃木中央小）	0	0	9	15	9	9	42
	ひまわり第1（栃木第三小）	20	15	11	8	3	6	63
	ひまわり第2（栃木第三小）	0	12	7	7	2	2	30
	しろのうち第1（栃木第四小）	5	10	4	4	3	1	27
	しろのうち第2（栃木第四小）	7	9	6	5	0	0	27
	杉の木第1（栃木第五小）	18	12	16	10	4	3	63
	杉の木第2（栃木第五小）	10	8	8	9	5	2	42
	のびっこ第1（南小）	11	9	6	3	3	1	33
	のびっこ第2（南小）	10	8	7	4	5	1	35
	いとひば第1（吹上小）	13	12	13	3	3	0	44
	いとひば第2（吹上小）	9	12	10	9	1	1	42
	えのき（千塚小）	11	8	7	11	5	0	42
	しろやま（皆川城東小）	1	6	5	8	6	4	30
大平(9)	大平中央第1（大平中央小）	17	14	12	12	3	0	58
	大平中央第2（大平中央小）	16	14	14	10	4	0	58
	大平南第1（大平南小）	14	11	12	3	1	1	42
	大平南第2（大平南小）	14	9	11	5	3	2	44
	大平東第1（大平東小）	5	7	3	6	4	2	27
	大平東第2（大平東小）	6	7	5	6	3	0	27
	大平西第1（大平西小）	18	25	23	0	0	0	66
	大平西第2（大平西小）	14	16	12	0	0	0	42
	大平西第3（大平西小）	0	0	0	23	13	5	41
藤岡(4)	部屋（部屋小）	1	5	2	3	2	0	13
	藤岡第1（藤岡小）	8	12	9	5	3	2	39
	赤麻（赤麻小）	5	9	4	4	2	2	26
	三鴨（三鴨小）	4	6	2	2	0	0	14
都賀(5)	げんきっこ第1（合戦場小）	37	0	21	0	7	6	71
	げんきっこ第2（合戦場小）	0	20	0	17	0	0	37
	さくらんぼ第1（家中小）	3	3	7	2	2	8	25
	さくらんぼ第2（家中小）	4	3	8	4	3	3	25
	キッズ（赤津小）	5	4	12	13	7	0	41
岩舟(7)	岩舟第1（岩舟小）	9	9	5	6	6	3	38
	岩舟第2（岩舟小）	7	7	7	8	5	3	37
	岩舟第3（岩舟小）	9	8	4	6	4	4	35
	静和第1（静和小）	5	7	11	10	4	2	39
	静和第2（静和小）	9	9	3	10	1	6	38

	小野寺北（小野寺小）	2	3	2	1	1	1	10
	小野寺南（小野寺小）	6	2	3	6	1	4	22
	合計	362	356	325	258	128	84	1,513

(2) 公設民営学童保育利用者数(令和6年5月1日時点) (単位:人)

地域（クラス）	学年 / 学童保育名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
栃木(11)	スマイルクラブきたA（国府北小）	16	10	12	0	0	0	38
	スマイルクラブきたB（国府北小）	15	10	11	0	1	0	37
	スマイルクラブきたC（国府北小）	0	0	0	17	16	2	35
	スマイルクラブこくちょう（国府南小）	5	4	7	0	1	5	22
	スマイルクラブみなみA（大宮南小）	10	6	9	7	10	5	47
	スマイルクラブみやのこ1（大宮北小）	24	16	0	0	0	0	40
	スマイルクラブみやのこ2（大宮北小）	22	18	0	0	0	0	40
	スマイルクラブみやのこ3（大宮北小）	0	0	21	15	0	0	36
	スマイルクラブみやのこ4（大宮北小）	0	11	20	0	7	0	38
	スマイルクラブみやのこ5（大宮北小）	0	0	0	20	12	5	37
	寺尾学童保育（寺尾小）	9	1	10	2	9	2	33
西方(3)	西方児童クラブ（西方小）	8	0	3	8	10	4	33
	第2西方児童クラブ（西方小）	0	18	14	6	3	1	42
	真名子児童クラブ（真名子小）	4	5	1	7	0	2	19
	合計	113	99	108	82	69	26	497

(3) 民設民営学童保育利用者数(令和6年5月1日時点) (単位:人)

地域（クラス）	学年 / 学童保育名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
栃木(6)	3J学童クラブ	2	5	2	4	23	7	43
	さくら学童クラブ	16	15	12	6	1	0	50
	さくら第2学童クラブ	15	13	7	9	6	3	53
	栃木3J学童クラブ	2	6	7	12	4	4	35
	栃木さくら学童クラブ	12	15	5	9	4	1	46
	SES	9	10	11	9	2	0	41
大平(2)	学童保育フレンド	4	4	13	7	1	0	29
	ハートキッズ	2	6	9	3	3	0	23
藤岡(2)	Fuji Kids Academy	16	8	5	4	4	3	40
	ひまわり学童クラブ藤岡校	2	3	5	5	2	4	21
	合計	80	85	76	68	50	22	381

2 学童保育施設整備事業

年々増加傾向にある学童保育利用者の受入れ拡大を図るため、社会福祉法人鐘の鳴る

丘友の会が実施する学童保育施設整備に対し補助金を交付した。

補助額：155,672,000 円

定員　（単位:人）

学童保育名	令和 6 年度	令和 7 年度	増減	備考
3J 学童クラブ	36	43	7	移設
さくら 3J ホール学童クラブ	0	43	43	新設
栃木 3J 学童クラブ	26	43	17	移設
栃木さくら学童クラブ	36	43	7	移設
さくら学童クラブ	48	48	0	既存
さくら第 2 学童クラブ	60	60	0	既存
合計	206	280	74	

第２節　こども家庭センター

〔総括概要〕

こども家庭センターでは、全ての妊産婦、こども、子育て家庭の心身の健康の保持増進を図るとともに、発達支援や児童福祉などに関する包括的な相談支援を行った。

おやこはぐくみ係では、妊娠前から産前産後、乳幼児期における母子保健や子育て支援において、全ての妊産婦、乳幼児、子育て家庭を対象に、健康の保持・増進に関する妊産婦健康診査や乳幼児健康診査などの各種健康診査、両親教室、プレパパ教室、離乳食教室などの健康教育や子育て相談、若年・多胎児家庭交流などの相談・交流事業を実施した。

また、これらの事業や妊娠届出時、妊娠8か月時、生後2週間、生後2か月時などの面談を通じ、子育て家庭の状況や実情を把握するとともに、相談内容やニーズに応じて必要な、産前産後のサポート（産後ケア、産前産後ヘルパー派遣事業など）や子育てサービスの提供を行うなど切れ目ない相談支援を行った。

こどものすだち応援係では、発達の遅れや心の成長に課題を持つこどもたちに対し、医師や心理相談員、言語相談員、保健師等が電話や面談を通して、個人の課題に寄り添いながら支援を実施した。

就学前の児童に対しては、認定こども園、幼稚園、保育園の巡回訪問や５歳児発達相談､乳幼児発達相談等を実施し､発達障がい児等を早期に療育の場に繋げたり、未就学児ことばの教室など、子どもの特性に応じた支援環境の整備を図った。

更に、就学後も支援を継続していくため、学校等を窓口として相談がある保護者に対応し、集団生活や家庭環境に課題を持つ児童の支援を行った。

児童家庭相談係では、子ども家庭総合支援拠点において、こども及びその家庭並びに妊産婦の福祉に関し、実情の把握、情報の提供、相談、調査、指導、関係機関との連絡調整その他の必要な支援を行い、児童虐待の未然防止に努めるとともに、家庭児童相談室及び養育支援家庭訪問事業において、児童の家族関係の健全化や児童の養育の適正化に努めた。また、ヤングケアラー・コーディネーターを配置し、関係機関と連携しヤングケアラーの状態にある児童の把握と当該家庭の相談支援に努めるとともに、広報活動によるヤングケアラーの普及啓発を行った。

ひとり親家庭の福祉については、「母子及び父子並びに寡婦福祉法」に基づき、相談業務等を通してひとり親家庭の抱えている問題を把握し、関係機関と連携し問題解決に努めたほか、経済的支援として母子（父子・寡婦）福祉資金貸付申請の受付等を行った。

要保護女子等については、配偶者等からの暴力による被害者の自立及び支援を行うため、配偶者暴力相談支援センターで、より細やかな相談支援を行えるように努めた。

おやこはぐくみ係

1　こどもなんでも相談室事業

(1)　妊娠届出の受理及び母子健康手帳の交付（各総合支所分を含む）

母子保健法に基づき、妊娠届出の受理を行い、妊娠、出産、育児に関する母子の健康状態を一貫して記録し、健康管理に役立てるため、窓口において母子健康手帳の交付を行った。母子健康手帳交付者及び転入の妊婦に対して、妊娠・出産についてのアンケート及び個別面接を実施し、妊婦の状態把握に努めるとともに、必要に応じて相談対応を行った。また、リスクアセスメントシートをもとに係内で要支援ケースカンファレンスを実施し、特に支援が必要な妊婦への支援方針を検討し安心して出産が迎えられるよう支援した。

・受理及び交付状況　（単位：人）

妊娠届出数	母子健康手帳交付数				
		妊娠届出	双　胎	紛失等	海外からの転入
704	743	704	6	12	21

・転入の妊産婦　49人

・要支援ケースカンファレンス実施回数　51回

・要支援ケースカンファレンス検討者数　318人

(2)　低体重児の届出・未熟児訪問指導

体重が2,500g未満の児を出産、または妊娠37週より前に早産した場合は、保護者からの届出を受け、保健師や助産師等が家庭訪問を実施し、児の発達状況や家庭環境に応じた適切な養育指導を行った。

・届出数　66件

・訪問延べ数　87件

(3)　新生児・産婦訪問指導

新生児期の子育ての悩みや不安及び母親の心身の不安に対して助言指導するために、保健師や助産師等による訪問指導を行った。

・訪問実数　33件

・訪問延数　42件

(4)　産前産後サポート支援

ア　若年妊産婦支援

10代の若年妊産婦は、出産や育児の情報不足、経済問題、支援の繋がりにくさなど複数の課題を抱えていることが多い。そのため、妊娠中から安全な出産や安心して子育てが出来るよう、電話面接、訪問、個別教室などの支援を実施した。

・支援件数：13件

イ　多胎妊産婦支援事業

身体的リスクが高く、産後における育児等の負担が大きい多胎妊産婦に対し、早い時期から必要な情報を提供するとともに、多胎育児経験者による家庭訪問や交流会を実施し、不安軽減と孤立予防を図った。

・プレツインズ（多胎児出産準備教室）

実施数：1組

・産後ピア家庭訪問（多胎育児経験者家庭訪問）

訪問回数：産婦5件

・makingツインズフレンズ（多胎児家庭交流会）

実施回数：3回

参加延べ人数：54人

参加組数：17組

ウ　産前産後ヘルパー派遣事業

多胎妊産婦や日中支援者がいない妊産婦に対し、ヘルパーを派遣し家事や育児の負担軽減を図った。

・利用状況

単胎		双胎	
利用者数（人）	利用回数（回）	利用者数（人）	利用回数（回）
20	202	6	76

(5)　産後ケア事業

産後も安心して子育てができる支援体制を確保するため、産後１年未満で支援を必要とする母子に対し､心身のケア､育児のサポート等を行う産後ケア事業を実施した。

・利用状況

短期入所型		通所型		居宅訪問型	
実人数（人）	延利用回数（回）	実人数（人）	延利用回数（回）	実人数（人）	延利用回数（回）
70	166	38	103	124	281

(6)　健康相談・支援

ア　生後2週間目全戸電話相談

出産を終え、退院後の不安を抱きやすい時期に、子育てや母親の心身等の不安に対して助言指導するために、保健師及び助産師による電話相談を行った。

・対象者数　640人

・実施数　　635人

・実施率　　99.2%

2　妊産婦健康診査事業

(1)　妊産婦健康診査

妊産婦の健康診査の徹底と経済的支援を図るため、1人につき妊婦健康診査14回（多胎妊婦は19回）と産婦健康診査2回の受診票を交付し、妊産婦の健康管理の向上を図った。（母子健康手帳交付時に受診票を配付、医療機関に委託して実施）

・妊婦健康診査受診状況　（単位：人）

回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目

受診者数	684	668	669	666	642	639	620
回数	8回目	9回目	10回目	11回目	12回目	13回目	14回目
受診者数	638	612	572	614	469	336	183
回数	15回目	16回目	17回目	18回目	19回目	計	
受診者数	2	0	0	0	0	8,014	

・産婦健康診査受診状況　（単位：人）

回数	1回目 （産後2週間目）	2回目 （産後1か月目）	計
受診者数	568	617	1,185

(2)　妊産婦歯科健康診査

妊産婦を対象に口腔衛生の向上を図るため、市内の歯科医院において、歯科健康診査及び保健指導を行った。

	対象者数(人)	受診者数（人）
妊婦	704	275
産婦	593	171

3　母子保健事業

(1)　健康診査

ア　乳幼児健康診査

乳幼児の健康増進及び疾病の早期発見を目的に健康診査を実施し、身体発育及び精神発達の状況を確認した。また、育児等についての相談・指導を行い、育児不安の軽減を図った。4か月児健診及び9か月児健診では、助産師を配置し、乳房トラブルの対応方法や母乳の与え方等の相談に応じ、1歳6か月児及び3歳児健診では、心理職を配置し、親子関係や発達障がいの相談に応じた。4か月児健診から3歳児健診では、栄養士による離乳食や食事に関する相談を行った。

更に3歳児健診では眼科疾患早期発見のため、屈折検査を実施した。精密検査対象となったのは全体の15.9%であり、うち有所見者は9.8%であった。未受診者については、電話や家庭訪問にて勧奨を行った。

・会　場　栃木保健福祉センター、大平健康福祉センター

(ｱ)　健康診査

区　　分	実施回数 （回）	対象数 （人）	受診数 （人）	受診率 （%）	要観察 （人）	治療中 （人）	要治療 （人）	要精検 （人）
4か月児	34	651	648	99.5	96	31	0	13
9か月児	35	692	689	99.6	123	43	2	25
1歳6か月児	32	760	751	98.8	119	35	5	51
3歳児	37	925	920	99.5	134	25	49	225

(ｲ)　相談・指導　（単位：件）

区　　分	母乳相談	栄養相談	心理相談

4か月児	108	38	－
9か月児	32	211	－
1歳6か月児	－	109	143
3歳児	－	116	181

イ　1か月児健診

疾病及び異常を早期に発見し適切な指導を行うことで、その進行を未然に防止するとともに、児のすこやかな成長と子育て家庭を支援することを目的に、１か月児健康診査の費用の助成を行った。

対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	結果内訳（人）			
			異常なし	要経過観察	要治療	要指導
582	580	99.7	559	19	0	2

※異常なしに記載なし含む

ウ　2歳児歯科健康診査及び育児相談

う歯の予防知識の普及とう歯の罹患率減少につなげることを目的に、市内の歯科医院において、2歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を行った。

	対象数（人）	R5受診数（人）	R6受診数（人）	計	受診率（%）	う歯のある児（人）
R3年度生まれ	876	445	217	662	75.6	24（3.6%）
R4年度生まれ	792	－	469	469	59.2	14（3.0%）

※受診可能期間が2歳の誕生日から1年間のため生まれた年度ごとに集計

エ　6歳児歯科健康診査及び育児相談

歯質の強化とう歯予防への意識の高揚を図ることを目的とし、市内の歯科医院において、６歳児を対象に歯科健康診査及びフッ化物塗布を行った。

対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	う歯のある児（人）
1082	424	39.2	81（19.1%）

オ　乳児先天性股関節脱臼検診

3～4か月児を対象に委託医療機関において、股関節脱臼の早期発見、適切な療育指導を目的に検診を行った。

対象数（人）	受診数（人）	受診率（%）	結果内訳（人）		
			異常なし	要経過観察	要治療
644	614	95.3	601	13	0

カ　新生児聴覚検査

聴覚障がいを新生児期に発見し、早期に医療及び療育につなげることで適切な言語の取得を促すとともに、成長発達への影響を最小限に抑えることを目的に検査を行った。

対象数	受診数	受診率	結果内訳（人）

（人）	（人）	（%）		
646	644	99.7	異常なし	要精密検査
			639	5

(2)　健康教育

ア　Hello赤ちゃん教室

妊婦とそのパートナーまたは支援者に対して、助産師や栄養士による講話や参加者でグループワークを行った。

・会　場　栃木保健福祉センター

・実施数　8回

・参加者数

参加者（組）	内訳（人）		
	妊婦	夫	祖父母等
66	66	57	4

イ　プレパパ教室

妊婦の夫またはパートナーに対して、助産師による講話や育児体験、先輩パパによる体験談、交流会を行った。

・会　場　栃木保健福祉センター、こどもっちパーク

・実施数　4回

・参加者数

参加者（組）	内訳（人）	
	夫	妊婦
36	36	4

ウ　離乳食教室

5～8か月の乳児とその保護者を対象に、離乳食の困り事や不安を軽減するため、講話や個別相談を行った。

・会　　場　栃木保健福祉センター

・実施回数　6回

・参加者延べ数　59組

エ　にこにこ教室

発達や関わり方に悩みのある2歳の子どもを持つ保護者と児を対象に、親子遊び、専門職による発達の見立て、個別相談を行った。

・会　　場　栃木保健福祉センター

・実施回数　22回

・参加者延べ数　112人

オ　思春期保健事業

命の大切さを知り、自尊感情や自己決定能力を高めていくため、小中学生を対象に、性（生）教育の授業協力を行った。

・授業協力

対　　象	実施回数（回）	参加人数（人）
		児童・生徒
小　学　校	3	52
中　学　校	8	956

カ　だっこだっこ絵本事業

9か月児とその保護者を対象に、親子のふれあいを促進し、豊かな親子関係づくりとゆとりある育児を支援するため、絵本の配布を行った。

・実施回数　35回（9か月児健康診査時）

・参加者延べ数　689組

キ　出前講座

地域住民や施設等からの要望に基づき、幼児期の食事や小児生活習慣病を予防するための健康講話を開催した。

・実施回数　10回

・参加者延べ数　214人

ク　ぴよぴよ交流会

出生数の少ない地域（藤岡地域、都賀地域、西方地域、岩舟地域）に居住する乳児と保護者に対して交流会を開催し、親子の繋がりを築き、子育ての悩みを共有できるよう支援するとともに、地域の子育て情報を提供した。

・会　　場　北部健康福祉センター、藤岡保健福祉センター
CITY GYM ＆ SPA 遊楽々館（岩舟健康福祉センター）

・実施回数　6回

・参加者延べ数　50組

(3)　健康相談

ア　子育て相談

乳幼児期の子どもを持つ保護者に対し、育児、栄養、歯科に関する相談及び指導を行った。

・会　　場　栃木保健福祉センター

・実施回数　11回

・参加者延べ数　117組

イ　のびのび相談

1歳6か月児健診や3歳児健診及び相談・家庭訪問等において発達の問題や強い育児不安が見られた幼児期の子どもを持つ保護者に対して、心理職が個別相談に応じることで児の健全な発達を促し育児支援を行った。

・会　　場　栃木保健福祉センター

・実施回数　24回

・参加者延べ数　56組

ウ　こんにちは赤ちゃん訪問事業

生後4か月までの乳児のいる家庭を保健師・看護師が訪問し、様々な不安や悩みを

聞き、子育て支援に関する情報提供等を行うとともに、3つの質問票（育児支援チェックリスト、エジンバラ産後うつ病質問票、赤ちゃんへの気持ち質問票）を用いて、母子の心身の状況や養育環境の把握及び助言を行い、支援が必要な家庭に対し、適切なサービス提供につなげた。

また、県事業である「ようこそ赤ちゃん！支え愛（あい）事業」として、地域全体で子育てを応援する旨のメッセージカードや企業からの協賛品（紙おむつ、トートバック、乳児用麦茶など）を贈呈した。

対象数（件）	実施数（件）	実施率（%）
649	638	98.3

(4)　個別支援

妊娠期から育児に関する様々な悩み等に対応するため、なんでも相談室及び地区担当保健師等による電話、訪問による個別相談を実施した。また、困難ケースや情報共有が必要なケースに対して、ケース検討会議等で関係機関と連携を行い支援した。

ア　個別相談　（単位：人）

	妊婦	産婦	乳児	幼児	学童以上	その他	計
訪問	27	793	850	64	0	26	1,760
面接	1,340	592	1,790	2,088	0	6	5,816
電話	348	1,603	308	381	0	33	2,673
計	1,715	2,988	2,948	2,533	0	65	10,249

※Ｒ3より、すこやか相談室・保健師・栄養士等による相談対応数を合算した。

イ　会議

参加会議　129回（ケース検討会議、受理会議等）

(5)　歯科保健事業

ア　フッ化物洗口

児童のう歯を予防し、歯の健康の保持増進を図るためフッ化物洗口を実施した。

・参加学校数　6校

・参加者数　753人

(6)　給付事業

ア　未熟児養育医療

出生時の体重が2,000g以下又は生活力が薄弱な未熟児に対し、指定医療機関に委託し、養育に必要な医療の給付を行った。（県からの権限移譲により平成25年度開始）

・給付認定者数　10件

イ　出産・子育て応援ギフト

全ての妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てが出来る環境整備のため、身近な相談に応じ、様々なニーズに即して必要な支援につなぐ「伴走型相談支援」と「ギフト提供（経済的支援）」を実施した。

伴走型相談支援では、妊産婦に対して、妊娠届出時、妊娠8か月頃、乳児家庭全戸訪問で面談を行い、出産育児等の見通しを立て、不安の軽減を図った。

経済的支援では、妊娠届出時面談後に妊婦1人当たり5万円（出産応援ギフト）、乳児家庭全戸訪問時面談後に子ども1人当たり5万円（子育て応援ギフト）を支給した。

・伴走型支援（妊娠8か月アンケート実施）数

対象者数（件）	回答数（件）	回答率（%）
643	635	98.6

・相談希望数、支援数

相談希望数（件）	延支援数（件）	支援方法（件）			
		電話	面接	訪問	メール
185	205	197	6	2	0

・ギフト提供者数

出産応援ギフト（件）	子育て応援ギフト（件）
713	664

こどものすだち応援係

1　相談支援等業務状況

(1)　心・育ちの相談

心理相談員や言語相談員、保健師、こども支援員等がこどもの発達や心の課題について相談を受け、必要に応じた検査を行い、専門的評価に基づく助言を行った。

面接相談・検査実績　（単位：件）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
面接相談	500	385	616
電話相談	21	58	1275
オンライン相談	1	1	0
訪問相談			43
知能検査	47	16	86
言語検査	79	59	124

(2)　医療相談

こどもの心や発達に関する様々な相談に医師が応じ継続的な支援を行った。

実施状況

	令和6年度
回数（回）	20
延人数（人）	41

(3)　関係機関への巡回訪問

心理相談員や言語相談員、保健師、こども支援員等が、園や小中学校等への巡回訪問を行い、こどもの発達に合わせた効果的な指導方法について助言を行った。

巡回訪問実績　（単位：回）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
幼稚園・保育園	47	37	49
学童保育	20	12	5
小中学校	29	30	15
合計	96	79	69

(4)　関係機関との連携会議

支援を必要としているこどもに関係する者が、園や学校、病院等で状況の把握、課題の整理、支援方針等を話し合った。

実施状況

	令和6年度
回数（回）	24
関係機関数（箇所）	78
会議出席者数（人）	201

2　啓発活動

障がいの有無にかかわらず全てのこどもが地域の中で豊かに暮らせるよう、保護者や支援者のための研修や市民向けの講座を開催した。

(1)　啓発活動(講演会等講師派遣)

実　施　日	演　題　等	主　催
6月27日(木)	通級指導教室担当者研修会	学校教育課
12月8日(日)	保護者支援講演会	保育課

(2)　保護者研修(ペアレントトレーニング)

実　施　日	演　題　等	講　師	延べ参加者数（人）
10月28日(月) 11月18日(月) 12月2日(月) 12月16日(月)	自分らしく前向きな子育てができるよう、家庭での子どもへの関わり方を学ぶ	明星大学心理学部心理学科 教授　竹内康二氏	47

(3)　支援者専門研修(こども支援スキルアップ研修)

実　施　日	演　題　等	講　師	実参加者数（人）
11月8日（金）	こどもの発達と心の理解	栃木市内中学校ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ 公認心理師　渡邊文子氏	24
12月3日（火）	発達障がいの理解と支援	目白大学 心理カウンセリング学科 教授　髙橋稔氏	31

12月19日(木)	アセスメントとプランニング	宇都宮大学大学院 教育学研究科 准教授　司城紀代美	26
2月6日（木）	発達的課題や心因性の課題を持つ児童への支援	上毛病院　精神科・心療内科 医師　星野美幸氏	28

(4)　市民講座

実　施　日	演　題　等	講　師	実参加者数（人）
10月16日（水）	登校、登園に不安のあるこどもへの対応	柳川小児科 医師　柳川悦子氏	14
11月20日（水）	発達が気になる子への支援	栃木市内中学校ｽｸｰﾙｿｰｼｬﾙﾜｰｶｰ 公認心理師　渡邊文子氏	29
12月10日（火）	青年・大人の発達障がいについて	上毛病院　精神科・心療内科 医師　星野美幸氏	36
1月29日（水）	知ってほしいな　きょうだいの気持ち～障がいのある妹がいる姉の立場から～	ばななば 相談支援事業所 Well-Being 相談支援員　牧子晃那氏	17

3　未就学児ことばの教室

言語発達に課題を持つ未就学児童を対象にことばの指導を行った。

（単位：人）

	実人数	延人数	実施場所
栃木教室	30	711	栃木保健福祉センター 大宮公民館
大平教室	8	196	大平健康福祉センター
岩舟教室	5	110	静和地区公民館
合　計	43	1,017	

4　こどもサポートクラブ

こどもサポーターの協力のもと、地域での仲間づくりや社会性の伸長を目的としたクラブ活動を行った。発達特徴に合わせた支援を行うため専門員も参加した。

	回数（回）	延参加人数（人）	実施場所
ミュージック	8	17	大宮公民館
クリニカルアート	8	14	大宮公民館
フットサル	8	38	アルレクスパークとちぎ（屋内運動場）

合　　計	24	69	

5　乳幼児発達相談（二次健診）

乳幼児健康診査や相談、訪問等の保健指導において成長発達の遅れが疑われた児に対し、医師による診察や専門職による相談指導を行い、児の発達の促進と保護者へ育児支援を行った。

・会　場　栃木保健福祉センター

開催回数（回）	受診児数（人）			結果内訳（人）		
	初診	継続	計	今回のみ指導	再診	要治療・要精検
16	48	2	50	38	0	12

6　5歳児発達相談

3歳児健康診査までに発見されにくい高機能自閉症等の発達障がいの早期発見及び支援を行うことにより、幼児の健全育成を図るため、年中児を対象に、市内認定こども園、保育園及び保健福祉センター等において発達相談を行った。

・実施状況　（単位：人）

受診者数	結　果　内　訳				
	異常なし	要観察	既医療・既療育	要精密検査	療育機関等紹介
943	664	111	54	12	102

児童家庭相談係

1　児童福祉関係

(1)　児童福祉施設措置児童数　（単位：人）

施　設　別	児　童　数		
	男	女	計
乳　児　施　設	1	2	3
児　童　養　護　施　設	23	17	40
児　童　自　立　支　援　施　設	2	1	3
児　童　心　理　治　療　施　設	1	1	2
フ　ァ　ミ　リ　ー　ホ　ー　ム	1	－	1
自　立　援　助　施　設	1	－	1
障　害　児　入　所　施　設	5	－	5
身　体　障　害　者　療　護　施　設	－	－	－
里　親　委　託	6	1	7
合　計	40	22	62

(2)　家庭児童相談室

家庭における適正な児童養育その他家庭児童福祉の向上を図るため、家庭相談員4

人により各種の相談指導を行った。また、ヤングケアラー・コーディネーター1名による啓発活動と児童の状況把握や相談支援を行った。

月別・相談区分別相談指導件数及び訪問回数

区分／月	養護相談		保健相談	障害相談	非行	育成相談				その他	合計（件）	訪問回数（回）
	虐待	その他				性格行動	不登校	適性相談	親・しつけ			
4	474	−	−	−	−	1	31	−	5	22	533	61
5	535	−	−	−	−	3	−	2	−	5	545	77
6	459	−	−	−	−	3	−	−	−	8	470	54
7	462	−	2	−	−	−	−	4	−	19	487	46
8	439	−	−	−	−	−	−	4	−	2	445	72
9	410	−	−	−	−	−	38	−	−	8	456	67
10	517	2	−	−	−	−	−	4	−	20	543	102
11	422	4	−	−	−	1	−	2	−	17	446	92
12	405	−	−	−	−	−	4	4	−	26	439	81
1	461	4	−	4	−	−	−	2	−	21	492	56
2	516	−	−	−	−	−	−	−	−	6	522	112
3	486	4	−	−	−	−	−	4	−	14	508	121
計	5,586	14	2	4	−	8	69	26	5	168	5,882	941

ヤングケアラー対応人数　15人

ヤングケアラー・コーディネーター対応件数　延べ540件

(3)　養育支援家庭訪問事業

児童虐待防止対策として養育支援家庭訪問事業支援員2人を配置し、児童の養育力不足のため支援を要する家庭に対し、家庭訪問等による育児・家事の援助を行った。

月別・ケース区分別訪問回数及び対応ケース数

区分／月	養育者の諸問題	虐待関係	家庭養育上の問題	施設等からの家庭復帰	心身上の諸問題	合計（回）	対応ケース数（件）
4	8	1	5	1	−	15	12
5	18	−	3	2	−	23	22
6	5	1	2	1	−	9	9
7	8	2	1	2	−	13	10
8	14	−	1	1	−	16	13
9	5	1	−	−	−	6	5
10	10	−	−	−	−	10	8
11	14	−	1	1	−	16	9
12	10	−	3	1	−	14	9
1	12	−	1	−	−	13	8
2	18	−	4	1	−	23	15

3	14	1	－	－	－	15	10
計	136	6	21	10	－	173	月平均11

2　ひとり親家庭福祉関係

母子寡婦福祉資金貸付申請状況

種　　類	件　数（件）	金　額（円）
転　宅　資　金	1	180,000
就　学　支　度　資　金	1	348,000
合　計	2	528,000

3　配偶者暴力相談支援センター関係

相談、証明書等発行状況

相談 人数	来所 延件数	電話 延件数	訪問 延件数	証明書等発行件数
175 人	184 件	612 件	37 件	住/意見 20 件　保/年 2 件 来 3 件　意見提出 3 件

※ 住/意見 … 「住民基本台帳事務における支援措置申出書」に対する意見
保/年 … 健康保険、年金に係る証明書
来 … 来所相談証明書
意見提出 … 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律第 14 条第 2 項に基づき裁判所から意見提出を求められた件数

4　こども食堂関係

市内で実施するこども食堂の開催にあたり、ホームページ等での周知広報、寄附の受入調整、市有施設の利用料減免や、子ども食堂開設運営補助金の支給等の支援を行った。

子ども食堂開設運営補助金の支給実績

支給団体数	金　額（円）
5 団体	408,000

第３節　保育課

〔総括概要〕

保育管理係では、保育所等において園児及び保育士等が安心して過ごすことができる環境を常に確保するため、法令等を遵守し、各園と連携を密にし、安全安心な保育所等の体制整備に努めた。

保育所の整備については、民設民営の新たないまいずみ保育園の整備が令和6年度で終了し、令和7年4月開園することになった。

また、公立保育園等の長寿命化を図るため、大規模改修工事等を実施した。

入園支援係では、保護者が就労等の事由により家庭で保育することができない場合に、保育所へ預けるための入所手続及び保育料等に関する相談業務を行った。

保育所・認定こども園・小規模保育事業所では、保護者の就労形態や就労時間の多様化に伴い、延長保育事業、一時預かり事業を実施した。更に特別支援保育事業、休日保育事業等の特別保育を実施し、児童福祉の向上と保育の充実を図った。

保育管理係

1　保育所等整備

令和2年3月に策定した「栃木市保育所等整備基本方針」に基づき、いまいずみ保育園については、令和3年度に選定した事業者の整備計画により施設整備を実施していたが、令和6年度で終了した。

また、栃木市大平南第1保育園の屋根や外壁の改修工事を施工した。

令和7年度の栃木市いまいずみ保育園の解体工事施工に向け、設計業務を委託した。

(1)　民設民営施設整備スケジュール（いまいずみ保育園）

・令和5年度　　実施設計、工事着手　など
・令和6年度　　工事、保護者等説明会　など
・令和7年度　　開園

2　保育所第三者評価の実施

公立保育所の提供するサービスの質の向上と、利用者の選択支援のため、保育所及び利用者以外の公正・中立な第三者機関による専門的かつ客観的立場からの評価を行った。

・実施園　大平南第1保育園
　　いわふね保育園

3　幼保小連絡協議会交付金交付事業

保育園、認定こども園及び小学校間の情報交換や授業交流等を推進し、園児や児童の実態や教育、保育内容等についての相互理解を深め、また教職員の資質向上を図り、連携を強化することを目的とする協議会の活動に対する交付金を活用しながら、研修会を実施した。

・5月14日　　第1回研修会
・10月15日　　第2回研修会

4　施設運営全般(公立)

(1)　施設運営上の目標

・幼児の心身の発達を助長するために、特に安定感のある物的及び人的環境の整備
・幼児と保育士等職員が相互に関わり合う場合に必要な空間としての環境と設備の有効利用
・保育内容の充実と技術の向上
・安全対策と緊急時の対応
・地域における子育て支援

(2)　保健管理

ア　健康診断の実施状況

区　分	回　数	実　施　月	対　　応
健康診断	2	5月・10月	結果を保護者に連絡
歯科検診	2	6月・10月	結果を保護者に連絡

イ　検便等の実施状況

区　分	回　数	実　施　月	対　　応
寄生虫卵検査	1	6月	結果を保護者に連絡
尿検査	2	5月・10月	結果を保護者に連絡

ウ　健康状態の観察及び個別検査の状況

(ｱ)　観察

朝、出席受付の際子どもの状態を観察し、保護者から家庭での状況を聴取して対応。

(ｲ)　個別検査

保育中の発熱、けがなどを随時確認し、保護者に連絡の上、処置。

(ｳ)　伝染病の発生と管理

・流行性疾病の場合は、登園停止として、医師の診断により対応。
・保護者に掲示等で流行の周知。

(3)　児童保育の内容

ア　保育目標

・心身ともに健康な子ども
・自分で考え行動する子ども
・喜んで話したり聞いたりする子ども
・人とのかかわりの中で相手を思いやる子ども
・豊かな感性を持つ子ども
・地域の中で育つ子ども

イ　保育内容の構成と指導計画

保育目標に基づき年齢別に年間計画、月案、週案及び日案の計画を立てた。

ウ　年間行事実施状況

区　分	社会的行事に合わせた行事	主　な　行　事
4月		入園式
5月	こどもの日	園外保育
6月	歯の衛生週間、時の記念日	保育参観
7月	七夕祭り	納涼祭
8月	お盆	
9月	防災の日、敬老の日、秋分の日	お月見会
10月	体育の日	運動会
11月	文化の日、勤労感謝の日	
12月	師走	保育参観
1月	お正月	新年のつどい、凧揚げ
2月	節分	なわとび大会
3月	ひなまつり	お別れ遠足、お別れ会、卒園式

※その他、毎月誕生児の誕生会を催した。

エ　特別支援保育の状況

・特別支援保育対象児童数　（単位：人）

施　設　名	人数	施　設　名	人数
いまいずみ保育園	12	大平南第１保育園	6
くらのまち保育園	6	藤岡はーとらんど保育園	6
おおつか保育園	6	都賀よつば保育園	4
はこのもり保育園	6	認定西方なかよしこども園	10
大平西保育園	5	いわふね保育園	10
		合　計	71

・保育方法　混合保育で実施

(4)　防災対策の状況

ア　設備、遊具等の整備点検

イ　避難訓練

ウ　安全のための実施訓練

事故、災害防止及び交通安全訓練等を定期的に実施

エ　災害時対応マニュアルの確認

(5)　給食実施状況

ア　予定献立の作成

献立は、管理栄養士が原案を作成して、毎月の調理員会議にて決定した。

イ　給食構成

種　　類	区　分		給　食　構　成
公　立　保　育　園	3歳未満児		主食、副食、おやつ（完全給食）
	3歳以上児		主食（木曜日のみ）、副食、おやつ
認定西方なかよしこども園	3歳未満児		主食、副食、おやつ（完全給食）
	3歳以上児	保育園	主食、副食、おやつ（完全給食）
		幼稚園	主食、副食（完全給食）

入園支援係

1　幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の減免実施

幼児教育・保育の無償化後に実費徴収となる副食費については、市独自の減免拡充を行い、保護者負担の軽減に努めた。

2　幼稚園就園奨励費補助金交付事業

（市単独補助事業幼稚園等第三子以降支援特別補助金）

第三子以降が幼稚園に就園する園児の保護者の経済的負担を軽減するため、保育料を減免した園に対し交付する補助金。

・交付園　8 園
・交付対象人数　12 人
・交付額　1,621,050 円

3　幼稚園等教育助成補助事業

市内の私立認定こども園に対し、幼児教育振興のために交付する補助金。

・交付園　16園
・交付額　300,000円×16園＝4,800,000円

4　幼稚園等子育て支援事業費補助事業

市内の私立認定こども園に対し、子育て支援事業拡充のために交付する補助金。

・交付園　16園
・交付額　500,000円×16園＝8,000,000円

5　幼稚園等児童災害共済等加入費補助事業

市内の私立保育園、認定こども園、小規模保育事業所に入園する就学前児童の事故等への適切な対応や安心安全な教育・保育環境の確立を図るため、災害共済又は賠償責任保険の加入費に対し交付する補助金。

・交付園　26園
・交付額　1,183,035円

6　幼稚園等療育支援補助事業

私立保育園、認定こども園及び小規模保育施設における発達に課題がある幼児の教育の増進を図るため、当該幼児を受け入れる私立保育園、認定こども園及び小規模保育施設に対し交付する補助金。

・交付園　15園

・交付額　500,000円×15園＝7,500,000円

7　保育所・認定こども園・小規模保育事業所

保育所・認定こども園(保育部分)・小規模保育事業所は、児童福祉法に基づき保育を必要とする乳幼児を保育することを目的とする児童福祉施設であり、保護者の就労、疾病等の事由により、家庭において児童を保育することができない保護者に代わり保育することにより、その心身の健全な発達・育成を図った。

また、家庭環境の変化に対応し、子育て家庭を支援するため、乳幼児の入園や保育料等に関する相談等を行った。

(1)　入所状況

ア　年齢別児童数（3月1日現在）　（単位：人）

区分	施設名	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳以上	合計
保育所	いまいずみ保育園	6	13	18	16	40	93
	くらのまち保育園	11	16	15	20	42	104
	おおつか保育園	6	7	12	12	28	65
	はこのもり保育園	13	16	18	28	58	133
	大平西保育園	6	9	12	9	27	63
	大平南第1保育園	2	6	4	4	14	30
	藤岡はーとらんど保育園	5	5	9	11	21	51
	都賀よつば保育園	5	18	21	21	55	120
	いわふね保育園	11	13	16	17	29	86
	さくら第2保育園	12	38	0	0	0	50
	けやき保育園	19	26	29	29	57	160
	大平中央保育園	10	14	17	19	38	98
	ひかり保育園	10	13	12	15	39	89
	フォレストキッズ保育園	14	18	19	21	43	115
	すみれ保育園	5	10	11	9	24	59
	市外委託	4	4	9	7	17	41
認定こども園	認定西方なかよしこども園	8	11	12	14	43	88
	認定こども園アルス幼稚園	6	12	11	20	45	94
	認定こども園アルス南幼稚園	1	7	9	13	30	60
	認定こども園おおみや幼児教育センター	12	15	15	20	32	94

	認定こども園國學院大學栃木二杉幼稚園	3	7	8	9	18	45
	さくら学園 SEI 認定こども園	0	9	11	9	36	65
	認定こども園さくら	10	2	49	51	114	226
	認定こども園栃木幼稚園	5	3	5	5	10	28
	認定こども園ひらかわ幼稚園	3	2	6	7	14	32
	認定こども園吹上幼稚園	6	16	17	17	36	92
	認定こども園若葉幼稚園	3	7	6	7	14	37
	認定こども園おおひらふじ幼稚園	6	15	14	16	41	92
	認定こども園大平みなみ幼稚園	12	14	20	12	36	94
	幼保連携型認定こども園バンビ幼稚園	5	7	9	11	38	70
	認定こども園ふじおか幼稚園	9	8	21	18	44	100
	認定こども園都賀幼稚園	3	11	12	17	25	68
	認定こども園岩舟幼稚園	6	12	17	7	24	66
	認定こども園しずわでら幼稚園	14	27	33	32	76	182
	市外委託	5	8	9	5	16	43
小規模保育事業所	ちびっこランドイオン栃木園	3	9	7	－	－	19
	きらら保育園栃木大宮	5	8	9	－	－	22
	うずま保育園	6	6	7	－	－	19
	とちぎメリーランド保育園	4	6	7	－	－	17
	市外委託	0	1	1	－	－	2
合計		274	449	538	529	1,226	3,016

イ　副食費免除の状況（3月1日現在）　（単位：人）

区分	免除なし	公的免除	独自免除	合計
令和6年度	1,888	660	402	2,950
令和5年度	2,143	559	417	3,119

※公的免除：国基準による免除対象者数

※独自免除：市基準による免除対象者数

※他市町からの受託者については、在住地算定区分のため含まない。

(2)　延長保育の状況　（単位：人）

年度	標準時間認定児童 延べ利用人数	短時間認定児童 延べ利用人数
令和6年度	11,391	21,254
令和5年度	45,783	34,728
令和4年度	45,268	27,852

(3)　一時預かりの状況　（単位：人）

年度	一般型 延べ利用者数	幼稚園型 延べ利用者数	余裕活用型 延べ利用者数
令和6年度	4,042	30,493	49
令和5年度	5,194	31,783	99
令和4年度	3,394	34,028	164

(4)　休日保育の状況　　（単位：人）

実施施設名	延べ利用者数
認定こども園さくら	268

(5)　病児保育事業　　（単位：人）

実施施設名	病児対応型 延べ利用者数	病後児対応型 延べ利用者数	体調不良児対応型 延べ利用者数
フォレストキッズ保育園	242		
認定こども園さくら		12	
とちぎメリーランド保育園			184

(6)　特別保育科目設定実施事業

ア　世代間交流事業

高齢者福祉施設等への訪問や、季節的行事・伝承遊びに地域の高齢者等を招待し、世代間のふれあいを行った。

イ　異年齢児交流事業

入園前の乳幼児とその保護者を対象に、保育園児との交流を通し、遊びの楽しさや育児についてお互いに学びあえる場を設けた。

ウ　子育て・仕事両立支援

乳幼児をもつ保護者等に対し育児講座の開催や育児に関する情報提供等を行った。

（単位：回）

区分	実施施設名	実施回数		
		ア	イ	ウ
保育所	いまいずみ保育園	3	－	1
	くらのまち保育園	2	－	1
	おおつか保育園	2	1	1
	はこのもり保育園	－	－	6
	大平西保育園	－	1	－
	大平南第1保育園	1	1	1
	藤岡はーとらんど保育園	1	1	1
	都賀よつば保育園	1	1	4
	いわふね保育園	－	1	2
	さくら第2保育園	12	12	12

	けやき保育園	－	2	2
	大平中央保育園	－	－	6
	ひかり保育園	1	－	1
	フォレストキッズ保育園	2	3	5
	すみれ保育園	1	1	－
認定こども園（保育部分）	認定西方なかよしこども園	－	－	1
	認定こども園アルス幼稚園	1	16	16
	認定こども園アルス南幼稚園	－	19	19
	認定こども園おおみや幼児教育センター	4	14	12
	認定こども園國學院大學栃木二杉幼稚園	－	－	－
	認定こども園さくら	12	12	12
	さくら学園ＳＥＩ認定こども園	5	2	2
	認定こども園栃木幼稚園	1	68	71
	認定こども園ひらかわ幼稚園	－	12	－
	認定こども園吹上幼稚園	－	－	－
	認定こども園若葉幼稚園	1	65	66
	認定こども園おおひらふじ幼稚園	3	3	30
	認定こども園大平みなみ幼稚園	2	6	－
	幼保連携型認定こども園バンビ幼稚園	3	20	42
	認定こども園ふじおか幼稚園	5	4	12
	認定こども園都賀幼稚園	1	6	－
	認定こども園岩舟幼稚園	4	3	－
	認定こども園しずわでら幼稚園	－	34	13
小規模保育事業所	ちびっこランドイオン栃木園	－	－	－
	きらら保育園栃木大宮	1	－	－
	うずま保育園	2	－	1
	とちぎメリーランド保育園	1	－	－
合計		72	308	340

8　子育てのための施設等利用給付費

・1号認定児童・・・　2名

・2号認定児童・・・183名　預かり保育利用　179名
　認可外保育施設利用 3名
　一時預かり事業利用 1名

・3号認定児童・・・　4名　認可外保育施設利用 3名

一時預かり事業利用 1名

第７章　産業振興部

第１節　商工振興課

〔総括概要〕

令和６年度における国内経済は、日経平均株価が史上最高の高値を記録するとともに、インバウンド需要の増加や最低賃金の引上げなど、景気回復への期待が高まったものの、一方で地域経済にとっては物価高騰に伴う個人消費の低迷が続き、内需型産業を中心に企業経営への深刻な影響を与えるなど、先行きが不透明な１年となった。

企業経営においては、円安水準の継続、原材料、電気・ガスなどのエネルギー価格の上昇によるコスト高、人手不足等により経営が圧迫され、事業継続を断念するケースや、時間外労働の規制強化による「2024年問題」から人手不足と人件費高騰に、さらに深刻な影響を及ぼしたことで、栃木県内の倒産企業数は過去最高値に達するなど、全国的に倒産件数は前年を上回る結果となった。

倒産企業の産業別では、サービス業他、建設業、卸売業と続き、倒産原因は「販売不振」「他社倒産の余波」「資金繰り悪化」「人手不足・後継者難」「税金関連」と影響は広がっており、特に中小企業の資金繰りは厳しさが増し、物価高と人件費上昇分の価格転嫁は容易ではないため、倒産件数は高い水準となっている。

このような中、本市では「栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョン」に掲げた中小企業・小規模企業の持続的な発展に効果的な施策の推進に取り組むとともに、市制度融資の利子補給や、市独自の補助金となる「栃木市電気・ガス価格高騰対策事業者支援補助金」を交付するなど、物価高により多大な影響を受けた市内の中小企業等の事業継続・経営安定を積極的に支援した。

創業支援については、創業しやすい環境づくりを推進するため、県の「とちぎまるごと創業プロデュース事業」を関係機関と連携して実施するとともに、「蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト」を開催し、事業化へ向けた支援に努めた。

工業振興施策については、中小企業等が設備投資を通じて労働生産性の向上を図るための「先端設備等導入計画」の認定を行い、税制支援などの支援措置による生産性向上の推進に努めるとともに、中小企業者の新たな開発意欲の向上及び開発費負担の軽減を図り、地域産業の活性化に資するための補助事業を実施した。

また、砂利採取法に基づく認可事務を行うとともに、監視員による定期的な監視活動を実施し、採石場等における事故防止や環境保全に努めた。

労働施策については、勤労者福祉施設の管理運営事業、勤労者への福利厚生の充実を目的とする勤労者福祉サービスセンターの管理運営支援を実施したほか、ワーク・ライフ・バランス講演会を開催し、働きやすい職場づくりの推進に努めた。

商工振興係

1　商業の振興

(1)　栃木市の産業と物産展

本市の産業の発展と物産の普及促進を目的として、本市の誇る生産品や物産品等を広く紹介する第45回栃木市の産業と物産展を商工会議所との共催で開催した。

・実施日　　11月2日(土)、3日(日)（令和6年とちぎ秋まつりと同時開催）

・場　所　　蔵の街第一駐車場・倭町小江戸ひろば

・出店数　　23事業所

(2)　商工団体の育成及び助成

商工会議所、各商工会、商店会連合会、たばこ組合、青色申告会等の諸事業に助成を行った。

・助成実施状況　　（単位：円）

名　　称	事業費	うち補助額	備考(目的等)
栃木商工会議所事業費補助金	340,609,753	6,000,000	中心市街地活性化の促進等
大平町商工会事業費補助金	59,885,168	8,000,000	商工会事業助成
藤岡町商工会事業費補助金	49,552,686	5,500,000	商工会事業助成
都賀町商工会事業費補助金	54,618,477	5,800,000	商工会事業助成
西方商工会事業費補助金	26,964,386	4,000,000	商工会事業助成
岩舟町商工会事業費補助金	54,277,561	7,000,000	商工会事業助成
栃木市商店会連合会事業補助金	3,633,115	1,500,000	商店街近代化対策の実施　等
20歳未満の者の喫煙防止事業補助金	371,119 138,350	180,000 116,000	20歳未満の喫煙防止対策等 (栃木市たばこ組合) (鹿沼たばこ販売協同組合)
青色申告推進事業補助金	1,887,917	30,000	青色申告制度の普及推進
合　　計	591,938,532	38,126,000	

(3)　大規模小売店舗立地法

大規模小売店舗立地法に基づき提出された企業の届出に対し、届出書の縦覧、庁内連絡会議による意見の集約等を実施した。

届出区分	件数（件）
法第5条第1項（新設に関する届出等）	0
法第6条第1項（変更の届出〔形式的変更〕）	1
法第6条第2項（変更の届出〔実質的変更〕）	1
法第8条第4項（市意見）	2
法第11条第3項（承継）	0

(4)　中心市街地活性化

中心市街地の活性化を図るため「商業の活性化」と「市街地の賑わい出し」等を柱とした各種施策を展開した。特に、市役所周辺の市中心部等をより活気あるものにしようと、次の事業を推進及び支援した。

ア　中心市街地活性化支援

栃木商工会議所と大平町商工会が事業主体の中心市街地活性化や賑わいの創出の

ための各事業への支援を行った。

名　　称	補助額	備考
中心市街地活性化支援事業	1,500,000 円	事業費助成 （栃木商工会議所事業費補助金の一部）
産業振興活動支援事業 （富田地区中心市街地商業振興）	200,000 円	事業費助成

イ　中心市街地イベント等の推進及び支援

事業名	実施日	会場
第 27 回小江戸とちぎ 人形まつり	5 月 5 日(日)・6 日(月)	山車会館前広場
第 18 回県民の日イベント 「県名発祥の地　十千木縁日」	6 月 15 日(土)	山車会館前広場
第 18 回あそ雛まつり	2 月 22 日(土) ～3 月 3 日(月)	蔵の街大通り周辺

ウ　空き店舗活用促進事業

新規開業者や中小企業者が対象区域内の空き店舗において開業する際に、店舗改装費の一部を補助し、開業及び商店街活性化のための支援を行った。

・対象事業　　小売業、飲食業及びサービス業（風俗業及び遊戯業等は除く。）
・対象区域　　主に栃木市立地適正化計画で定める各地域における都市機能誘導区域内の商業地域及び近隣商業地域等
・補助内容　　店舗改装費の 2 分の 1 以内（限度額 150 万円）
・実　　績　　新規開業：2 件

(5)　オフィス移転等支援補助金交付事業

栃木県内に本社がない会社が栃木市内に本社を移転するか、サテライトオフィス等事務所を新設する場合に、その整備費用の一部を補助することで、市商業の活性化を図った。

・補助対象：栃木市内に本社がない会社（株式会社、合名会社、合資会社、合同会社、（特例）有限会社）で、下記限度区分を該当する者
・限度区分及び交付限度額：①栃木市に本社を移転する会社…300 万円
　②栃木市に事務所を新設する会社…200 万円
・補助対象経費：設備工事費、改装費、事務所機能に付随する設備の工事費、備品購入費、オフィス開設に伴う宣伝広告費、引越し費用
・実　　績：交付件数　0 件

(6)　先端設備等導入計画に基づく認定事務

生産性向上特別措置法に基づく「導入促進基本計画」を平成 30 年 7 月に策定し、市内中小企業が税制支援などの支援措置を受けることができる「先端設備等導入計画」の認定事務を行った。

産業競争力強化法の一部を改正する等の法律の施行により、生産性向上特別措置法

が廃止され、先端設備等導入制度関係の規定が中小企業等経営強化法に移管された。

・実　　績　　新規認定　8件
　　変更認定　6件

2　工業の振興

(1)　工場立地法に基づく届出の受理業務

工場等の適正な操業環境の保全を図るため、工場立地法に基づき、工場立地に関する準則との適合について審査・指導した。

なお、工場用地の効率的な活用及び企業立地の促進を図るため、国で公表した準則に代えて適用できる「栃木市工場立地法に基づく準則を定める条例」を制定し、緑地面積率等を緩和している。

・届出件数　　（単位：件）

新　設	変　更	廃　止	承　継	名義変更	計
－	4	－	－	1	5

(2)　砂利採取法・採石法に基づく業務

ア　砂利採取計画認可事務

砂利採取に伴う災害発生の未然防止を図るため、砂利採取法に基づく砂利採取計画の認可事務を進めた。

・認可件数　　（単位：件）

山砂利	陸砂利	洗浄施設	計
－	4	2	6

イ　陸砂利採石監視業務

砂利・岩石採取に伴う採取地及び周辺地域における事故・不正採取の未然防止を図るため、公益社団法人栃木市シルバー人材センターに監視業務を委託し、2名の監視員による巡回監視を実施した。

・活動実績　　（単位：件）

区　　分	箇所数
砂利採取法に基づく認可地(砂利採取場)	5
砂利採取法に基づく認可地(洗浄施設)	3
採石法に基づく認可地	11

(3)　大光寺工業団地管理事業

大光寺工業団地内施設（道路、調整池等）の維持や、工場排水等による事故を未然に防止するため、団地内の見回り及び管理業務等を実施した。

ア　大光寺工業団地の概要

総面積：15.2ha、分譲完了：昭和63年9月

立地企業名（事業所名）	本社住所	工場所在地	製造品名
トヨタホーム（株）栃木事業所	名古屋市東区泉1-23-22	大光寺町3487-1	鉄骨系住宅
（株）ムトウユニパック栃木工場	江東区永代1-7-12	大光寺町1313-1	和・洋封筒
旭化学合成（株）栃木工場	板橋区小豆沢1-12-15	大光寺町3487-8	合成接着剤

イ　大光寺工業団地内施設維持管理業務

(ｱ)　除草業務

公益社団法人栃木市シルバー人材センターへの委託により工業団地進入路及び調整池の草刈りを実施した。

・草刈り　　6月、8月、9月

(4)　栃木市企業連絡協議会

栃木市内既存企業の定着を促進し、さらなる産業集積の一助とするため、また、市と企業、企業同士の業種間の情報交換及び各種連携の場のひとつとして、市内で製造業を営む企業等で本会を設置している。

・会員企業　　（単位：事業所）

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	合計
21	8	3	5	5	2	44

(5)　栃木市フードバレー構想の推進

本市の誇る「豊かな農畜産物」や「多様な食品関連企業の立地」など、恵まれた「食」に関する地域資源を活用した産業振興を図るため、令和3年12月に「栃木市フードバレー構想」を策定し、令和4年5月に市内の食品関連企業24社と栃木商工会議所等の支援機関により構成される「栃木市フードバレー協議会」を設立した。

・会員企業数：23社(3月31日現在)

3　栃木市大平まちづくり交流センター（プラッツおおひら）の管理運営事業

大平地域の中心市街地に賑わいと活力を創出するためのまちづくり拠点施設として設置した、栃木市大平まちづくり交流センター（プラッツおおひら）の管理運営を指定管理者制度により、株式会社大高商事に委託した。

(1)　まちづくり交流センター利用者総数

営業日数　　307日

利用者数　　87,161人

1日平均　　283人

(2)　まちづくり交流センター施設利用状況

区　　分	使用時間(時間)	利用者数(人)
多目的ルームA	387	1,908
多目的ルームB	656	1,101
遮音スタジオ	547	467
交流サロン	87	155

中小企業支援係

1　金融支援

(1)　市制度融資

ア　中小企業向け資金

市が金融機関に預託金を預け、融資限度額及び貸付利率等の融資条件を定めた信用保証協会の保証付融資を設けることで、中小企業者及び小規模企業者の資金繰りの円滑化を支援した。

中小企業向け資金融資預託金(中小企業設備合理化資金、中小企業経営安定資金、小規模企業者資金)として16億7,300万円、中小企業緊急景気対策特別資金融資預託金として3億円、中小企業創業資金融資預託金として3,500万円を、それぞれ栃木県信用保証協会を介して取扱金融機関に預託し、融資の利用促進を図った。

(ｱ) 中小企業設備合理化資金

中小企業者の設備の合理化を支援するための設備資金。

・融資限度額　2,000万円
・返済期間　10年以内（据置き6か月以内）
・年利　1.6％（5年以内）
　1.9％（7年以内）
　2.1％（10年以内）
・協調倍率　3倍
・融資状況

令和6年度		令和5年度		令和4年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
35件	246,300千円	20件	151,390千円	21件	131,269千円

(ｲ) 中小企業経営安定資金

中小企業者の経営の安定化を支援するための運転資金。

・融資限度額　2,000万円
・返済期間　7年以内（据置き6か月以内）
・年利　1.4％（3年以内）
　1.6％（5年以内）
　1.8％（7年以内）
・協調倍率　3倍
・融資状況

令和6年度		令和5年度		令和4年度	
件数	金額	件数	金額	件数	金額
327件	2,717,250千円	251件	2,088,507千円	230件	1,815,600千円

(ｳ) 小規模企業者資金

特に資金供給が行われにくい小規模企業者の資金調達を支援するための設備資金及び運転資金。

・融資限度額　1,250万円
・返済期間　5年以内（据置き6か月以内）
・年利　1.4％（3年以内）
　1.6％（5年以内）
・協調倍率　3倍

・融 資 状 況

令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
53 件	165,900 千円	34 件	113,600 千円	31 件	90,500 千円

(ｴ) 中小企業緊急景気対策特別資金

売上の減少（新型コロナウイルス感染症の影響による売上減少を含む）が生じている中小企業者、取引金融機関の破綻、合併等により資金面から経営上の支障を来している中小企業者の資金調達を支援するための運転資金。

・融資限度額　売上の減少　1,000 万円
　取引金融機関破綻、合併等　1,000 万円
・返 済 期 間　5 年以内（1 年超の場合に据置き 6 か月以内）
・年 利　1.0 %（1 年以内）
　1.1 %（3 年以内）
　1.3 %（5 年以内）
・協 調 倍 率　3 倍
・融 資 状 況

令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
15 件	122,100 千円	16 件	102,000 千円	24 件	153,000 千円

(ｵ) 中小企業創業資金

市内で新たに創業する者や事業転換を行う中小企業者の資金調達を支援するための設備資金及び運転資金。

・融資限度額　500 万円
・返 済 期 間　5 年以内（1 年超の場合に据置き 6 か月以内）
・年 利　1.6 %（申込人（法人の場合は代表者）が女性又は若者（融資実行時の年齢が 40 歳未満）である場合は、0.2%引下げ）
・協 調 倍 率　2 倍
・融 資 状 況

令和 6 年度		令和 5 年度		令和 4 年度	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
6 件	23,200 千円	9 件	33,200 千円	5 件	16,200 千円

イ 勤労者向け資金融資

勤労者住宅資金の取扱金融機関である中央労働金庫栃木支店に対し、令和 5 年 12 月末時点の債務残高の補填として 70 万円を預託金として預けた。

(ｱ) 勤労者住宅資金

市内在住の中小企業勤労者に、住宅用土地建物購入資金を貸付け、住宅取得促進を図るため、平成 29 年度まで融資申込み受付を実施していたが、市中金利の低下等により、勤労者住宅資金の需要がなくなり、平成 30 年度以降は新規受付を終了した。現在は、償還中の勤労者の債務残高に対し、中央労働金庫栃木支店へ預

託金を預けている。

・融資限度額　2,000 万円
・返 済 期 間　35 年以内
・年　　利　2.5 %（平成 29 年度）
・協 調 倍 率　3 倍

(2)　中小企業向け資金融資信用保証料補助金

市制度融資（中小企業向け資金）の利用者が栃木県信用保証協会に支払う信用保証料を当該年度に全額補助し、負担を軽減すると共に、市制度融資利用促進を図った。

区　　分	令和 6 年度		令和 5 年度	
	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
設備合理化	35	5,846,889	20	4,280,816
経営安定	327	53,672,656	251	41,859,643
小規模企業者	53	3,413,516	34	2,382,067
緊急景気対策	15	1,418,074	16	1,267,484
創業	6	463,409	9	579,473
合　計	436	64,814,544	330	50,369,483

(3)　経営安定関連保証（セーフティネット保証）認定・危機関連保証認定

取引先の再生手続等の申請や事業活動の制限、災害、取引金融機関の破綻、大規模な経済危機等による信用の収縮等により経営の安定に支障を生じている中小企業者に対して、中小企業信用保険法第 2 条第 5 項の規定に基づく認定を行った。また、災害等の危機時に、全国・全業種を対象として中小企業信用保険法第 2 条第 6 項の規定に基づく認定を行った。

・認定状況　（単位：件）

保険法	適用事項	令和 6 年度	令和 5 年度	令和 4 年度
第 5 項第 1 号	連鎖倒産防止	－	－	－
第 5 項第 2 号	取引先企業のリストラ等の事業活動の制限	－	－	－
第 5 項第 3 号	突発的災害（事故等）	－	－	－
第 5 項第 4 号	突発的災害（自然災害等）	25	38	69
第 5 項第 5 号	業況の悪化している業種	26	19	6
第 5 項第 6 号	取引金融機関の破綻	－	－	－
第 5 項第 7 号	金融機関の経営の相当程度の合理化に伴う金融取引の調整	－	－	－
第 5 項第 8 号	金融機関の整理回収機構に対する貸付債権の譲渡	－	－	－
第 6 項	危機関連保証	－	－	－
合　　計		51	57	75

(4)　小規模事業者経営改善資金融資制度利子補助金

㈱日本政策金融公庫の「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」を利用した小規模事業者の借入れ当初の負担軽減と経営の安定化を図るため、当該融資に係る利子の一部を補助した。

・補助対象融資：令和4年1月以降に実行した融資
・補 助 率：返済利子の2分の1
・支援年限：融資実行後2年間
・補助上限額：8万円
・補助金交付実績

令和6年度		令和5年度		令和4年度	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
108件	1,477,300円	68件	642,600円	47件	504,900円

(5) 新型コロナウイルス感染症対策中小企業緊急資金利子補助金

新型コロナウイルス感染症の影響により業況が悪化している中小企業を支援するため、市制度融資等の対象融資の利用に伴う利子の一部を令和2年度から補助している。

・令和2年度申請分
対 象 者：次のいずれにも該当する中小企業者
①市内で事業活動を営む者
②令和2年3月2日から令和3年3月31日までの間に対象融資を利用した者
③市税に関する徴収金に未納がない者
対象融資：①栃木市緊急景気対策特別資金（新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した者に限る。）
②栃木県制度融資「新型コロナウイルス感染症緊急対策資金」
③栃木県制度融資「新型コロナウイルス感染症対策パワーアップ資金」
補助金額：第1回目の利子の支払月の初日から5年間に支払った利子額（栃木県が給付する利子補給金の対象となる利子を除く。）

・令和3年度申請分
対 象 者：次のいずれにも該当する中小企業者
①市内で事業活動を営む者
②令和3年4月1日から令和4年3月31日までの間に対象融資を利用した者
③市税に関する徴収金に未納がない者
※令和2年度に本補助金申請済みの者は対象外。
対象融資：栃木市緊急景気対策特別資金（新型コロナウイルス感染症の影響により売上が減少した者に限る。）
補助金額：第1回目の利子の支払月の初日から5年間に支払った利子額

・補助金交付実績

令和6年度		令和5年度		令和4年度	
件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額

2,188 件	138,177,991 円	1,569 件	80,355,211 円	710 件	43,192,120 円

2　中小企業振興事業

(1)　栃木市中小企業・小規模企業振興審議会

平成29年6月に制定した栃木市中小企業･小規模企業の振興に関する条例に基づき、中小企業・小規模企業の振興に関する施策を計画的かつ総合的に推進するために必要な事項を審議するための組織である栃木市中小企業・小規模企業振興審議会を開催した。

ア　委員の構成

・学識経験を有する者　　1 人
・市内中小企業者を代表する者　4 人
・関係団体から選出された者　　5 人
・公募による者　　2 人　　合計 12 人

イ　会議の開催

期　日	場　所	主な議案等
8月9日（金）	市役所本庁舎 402会議室	・栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョンに掲げる具体的な取組の検証について ・栃木市中小企業・小規模企業振興ビジョンの見直しについて ・（仮称）栃木市中小企業総合支援センターについて

(2)　新製品等開発支援事業補助金

栃木市内において、新製品等の研究開発を行う中小企業者の取組に補助金を交付する。

・対象事業　　新製品・新技術の開発を行おうとする中小企業者で、補助金審査会において採択されたもの。
・補助内容　　補助対象経費の 2 分の 1 に相当する額（限度額 50 万円）
・実　　績　　2 件

(3)　産業財産権取得費補助金

市内の中小企業者の競争力を高め、本市における産業の活性化を図ることを目的に、産業財産権の取得費用に対する助成を行った。

・対　　象　　産業財産権を取得した中小企業者
・対象となる産業財産権　　特許権、実用新案権、意匠権、商標権
・補助、助成金の内容　　特許等取得に対する助成
　取得後6か月以内に申請
　取得対象費用の1/2とする
　（特許権は50万円を、それ以外は10万円を限度とする）
・補助実績　　（単位：件）

特許権	実用新案権	意匠権	商標権	合計
2	0	0	1	3

(4)　産業振興団体補助

商工関係諸団体の健全な育成と活動を支援し、産業の振興と活性化を図るため、県内産業支援団体へ負担金を支出した。

ア　栃木県産業振興センター負担金

県内産業の振興を目的として、高度技術の開発及び利用の促進、創業や新分野展開など新事業の創出促進、中小企業の経営革新等に関する諸事業を総合的に推進する機関として設置された栃木県産業振興センターへ負担金を支出した。

・本市負担金　10,500 円

イ　ジェトロ栃木情報センター負担金

中小企業等の国際ビジネス展開支援、日本企業の海外ビジネス展開支援など、日本の貿易の振興に関する事業、開発途上国・地域に関する研究を行うジェトロ栃木情報センターへ負担金を支出した。

・本市負担金　200,000 円

3　創業支援

(1)　蔵の街とちぎビジネスプランコンテスト

市内において多くの創業が実現すること、若者や女性等の創業に関する機運を高めることを目的として、ビジネスプランコンテスト 2024 を開催した。

本市において創業を目指す方や､創業後間もない方から 22 件のビジネスプランの応募があり、新規性や実現可能性等において優秀なプランを表彰するとともに、事業化を支援するための奨励金を贈呈した。

また、「とちぎおいしいーとこフードバレー賞」では、「食」に関する優秀なプランを表彰することで、栃木市フードバレー協議会の知名度の向上及び栃木市の「食」の推進を図った。

ア　開催内容

内容	実施日	会場
募集期間	8 月 1 日(木) ～10 月 31 日(木)	―
ブラッシュアップセミナー【基礎編】	11 月 26 日(火)	市役所本庁舎 501 会議室
若手経営者との意見交換会	12 月 16 日(月)	ホテルサンルート 栃木
書類審査会	12 月 17 日(火)	市役所本庁舎 501 会議室
ブラッシュアップ個別相談会【応用編】	1 月 17 日(金)	市役所本庁舎 201 会議室 401 会議室
プレゼンテーション最終審査会･表彰式	2 月 18 日(火)	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流

		センター) 大交流室
ステップアップ個別相談会	3月5日(水)	市役所本庁舎 201会議室 401会議室

イ　表彰

・最優秀賞＆とちぎおいしいーとこフードバレー賞：岩﨑　元気
・女性特別賞：牛山　美樹
・若者特別賞：佐藤　尚弘
・優秀賞：蟹澤　佳奈
・優秀賞：伊沢　友佑

ウ　審査員

・染谷 勝彦（企業再建・承継コンサルタント協同組合　組合員）
・荒井 大（㈱あしぎん総合研究所　代表取締役）
・伊藤 一嘉（㈱UI志援コンサルティング　代表取締役）
・籠谷 めぐみ（㈱Airy coco　代表取締役）
・髙野　義宏（市産業振興部長）

(2)　とちぎまるごと創業プロデュース事業

創業しやすい環境づくりを推進するため、県が実施している「とちぎまるごと創業プロデュース事業」により派遣された創業プロデューサーとともに、商工団体と協力をしながら、市内の空き店舗の写真等を通して物件の見つけ方や選び方、内装工事のポイント等を解説するバーチャル貸店舗ツアーを開催した。また、創業経験者にインタビューを実施し、自身の経験談や新規創業者向けのメッセージ等をいただいた記事を市HPで公開した。

実施日	内　　容	会　　場
6月21日(金)	バーチャル貸店舗ツアー 【内容】 ・ミニ講座(失敗しない物件選びのポイント等) ・バーチャル貸店舗ツアー ・支援策説明 【参加者】 15名（現地11名、オンライン4名）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター) 大交流室
①1月20日(月) ②1月27日(月)	バーチャル貸店舗ツアー【拡大版】 【内容】 ①講座(失敗しない物件選びのポイント等) ②バーチャル貸店舗ツアー、支援策説明 【参加者】 ①3名（現地3名） ②8名（現地4名、オンライン4名）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター) 大交流室

4　物価高騰に伴う事業者支援

物価高騰により経営環境に多大な影響を受けている市内中小企業者等を支援するため、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、次の事業を実施した。

・事 業 名　電気・ガス価格高騰対策事業者支援補助金
・補助内容　令和6年5月から同年9月までの間に使用した事業用の電気料及びガス料金の合計が20万円以上である市内中小企業者等に対し、補助金を支給した。
・補助金額　5万円（定額）
・実施状況　516件　25,800千円

5　勤労者支援

(1)　勤労者福祉サービスセンター支援事業

中小企業勤労者に対する福利厚生制度の充実を目的として、各種事業を実施する栃木市勤労者福祉サービスセンターの管理運営を支援し、労働者の勤労意欲の増進及び中小企業における人材の確保・定着に努めた。

ア　事業団体

・栃木市勤労者福祉サービスセンター（愛称　ウェルワークとちぎ）
・理事長　　大川秀子
・所在地　　入舟町6-8
・会員数　　事業所数　　396事業所
　　従業員数　　1,392人

イ　会議関係

期　　日	場　所	内　　容
5月14日(火)	栃木県小山庁舎	第1回「雇用調整等に対応するための地域連絡会議[県内地区]」
5月16日(木)	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	第1回サービスセンター理事会
6月11日(火)	東京グランドホテル	全福センター定時総会
7月9日(火)	オンライン	全福センター業務運営研修会
7月25日(木)	鹿沼市まちなか交流プラザ	第1回栃木4共済会連絡協議会
7月25日(木)	鹿沼市まちなか交流プラザ	第1回全福センター関東ブロック協議会関東Ⅴ地区運営委員会
9月6日(金)	東京都港区ＢＤＫ会議室	実務担当者研修会
10月10日(木)～11日(金)	ホテルメトロポリタン山形 やまぎん県民ホール	全福センター東ブロック会議
1月22日(水)	オンライン	関東ブロック協議会実務研修会

3月10日(月)	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館 (市民交流センター)	第2回サービスセンター理事会
3月27日(木)	鹿沼市まちなか交流プラザ	第2回栃木4共済会連絡協議会
3月27日(木)	鹿沼市まちなか交流プラザ	第2回全福センター関東ブロック 協議会関東Ⅴ地区運営委員会

ウ　実施事業

(ｱ)　余暇活動事業

a　スポーツ・レクリエーション事業及び旅行事業

期　　日	内　　容	場　　所	参加人員(人)
7月6日(土)	農業収穫体験（トマト狩り）	柏崎農園	11
11月22日(金)	第41回ボウリング大会	サンプラザボウル	37
2月2日(日)	おたのしみ企画成田山新勝寺節分会	成田山新勝寺	29
その他 主催事業助成	栃木シティフットボール観戦チケット助成	―	1
	宇都宮ブレックス観戦チケット助成	―	80
合　　計			158

b　旅行等補助事業　（単位：人）

宿泊施設利用補助	170
提携ツアー利用補助	2
合　　計	172

(ｲ)　余暇施設利用事業　（単位：人）

提　携　施　設　名	利用人数
東武動物公園（東武法人アトラクションパスセット）	249
那須ハイランドパーク	99
東京ディズニーランド・東京ディズニーシー	793
シネマロブレ5（映画館）	1,583
小山温泉「思川」割引利用	197
小山温泉「思川」回数券	6
大平ぶどう団地（ぶどう狩り）	208
栃木市総合運動公園プール	164
宇都宮動物園	223
那須どうぶつ王国	186
東京サマーランド	3
スパリゾートハワイアンズ	190
国営ひたち海浜公園プレジャーガーデン	9
上野動物園	25
観光農園いわふね（フルーツ狩り）	36

農産物購入ハッピー補助（道の駅みかも他 4 施設）	157
東京ジョイポリス	7
合　　計	4,135

(ｳ)　在職中の生活安定事業

・慶弔給付金　　（単位：件）

給付項目	件　数
結　婚　祝　金	14
出　産　祝　金	17
銀　婚　祝　金	16
入　学　祝　金	86
傷病休業保険金	14
疾病死亡保険金	2
不慮の事故死亡保険金	0
死　亡　弔　慰　金	27
合　　計	176

(ｴ)　文化教養健康事業

a　自己啓発事業　　（単位：人）

期　　日	内　　容	場　　所	参加人数
12 月 15 日(日)	フラワーアレンジメント教室	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	15
3 月 2 日(日)	寄せ植え教室	とちぎ花センター	12
通　年	みかも山公園みどりの相談所講座		1
	ＮＨＫ学園生涯学習通信講座		0
	とちぎ岩下の新生姜ホール(栃木文化会館)等の各種チケットのあっせん		55
	市等文化教養健康事業助成（とちぎ文化講座・外国語講座）		3
合　　計			86

b　健康の維持増進事業　　（単位：人）

事業名	人数
人間ドック・脳ドック助成事業	128
予防接種受診助成事業	173
合　　計	301

(ｵ)　広報宣伝活動（ＰＲ活動）

・会報誌「ウェルワークとちぎ」（年 6 回発行）を発行

・ＦＭくらら 857 とち介ハッピータウン出演（2 回）

・くららフェスタ 2025 出展

・ミニコミ誌にサービスセンター事業を紹介（2 回）

(ｶ)　会員勧誘活動

・本庁、栃木商工会議所及び各商工会書架に会報誌を掲示し、「ウェルワークとちぎ」の周知・勧誘を図った。

・栃木ケーブルテレビにCMを放映した。（3週間）

・ＦＭくらら857出演の際、サービスセンターの周知・勧誘を図った。

・下半期に職員2名により事業所を訪問し、勧誘活動を行った。

(ｷ) その他

会員の誕生月に「バースデープレゼント」、満 20 歳の会員に「はたちのプレゼント」、金婚・珊瑚婚祝を申請した会員に「金婚・珊瑚婚祝品」を贈呈した。

(2) 労働団体の支援

連合栃木下都賀地域協議会の実施する勤労者福利厚生事業等に対して補助を行うことにより、事業実施を支援した。

名称		補助額(円)
第95回栃木県メーデー下都賀地区大会補助金		50,000
福利厚生活動補助金		130,000
内訳	スポーツ大会	20,000
	野球大会	30,000
	家族ふれあい行事	35,000
	環境保全ボランティア	5,000
	新春の集い	40,000

(3) 就業安定対策

ア 栃木市就業安定対策協議会

市内企業及び関係団体の代表者等で組織する栃木市就業安定対策協議会の活動として、安定した就労の促進と職場内における人権問題の早期解決を図るため、市民及び市内企業に対して各種啓発活動等を実施した。

(ｱ) 求人情報の提供

ハローワーク栃木求人情報の配布（通年）及びホームページへの掲載

(ｲ) 会議及び啓発事業

実施日	内容
7月23日（火）	栃木市就業安定対策協議会
9月27日(金)	人権啓発資料（パンフレット）送付
11月21日(木)	人権週間における街頭啓発
12月9日（月）	事業所等関係者人権啓発研修会・働き方改革講演会

イ 就職面接会等の開催

市内事業所における人材の確保と、地元での就職を希望する新規学卒者及び若年者や中高年の求職者等への支援として、関係機関との連携により就職面接会等の就労支援イベントを開催した。

実施日	内容	会場
9月2日（月）	就職活動個別相談会 とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業の一環と	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館

	して開催 対象者：求職中の女性・高齢者 参加求職者：1人	（市民交流センター） 会議室 1
1 月 20 日 （月）	ミニ就職面接会 とちぎ女性・高齢者等新規就業支援事業の一環として開催 対象者：求職中の女性・高齢者 参加企業10社　参加求職者13人	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター） 大交流室

(4)　職業訓練支援

技能労働者の養成、確保及び技能水準の向上を図ることを目的に、職業能力開発促進法の規定に基づき栃木県知事の認可を受けて設置されている共同高等産業技術学校に対し補助を行うことにより学校の運営を支援した。

交付先	所在地	金額等
栃木共同高等産業技術学校	栃木市日ノ出町16番6号（技能センター内）	固定額500,000円＋（40,000円×市内生徒数3人）＝620,000円
鹿沼共同高等産業技術学校	鹿沼市上石川 1465 番地 4（鹿沼市職業訓練センター内）	定額　100,000円

(5)　技能顕彰

技能の必要性・重要性の理解を深め、技能水準の向上及び技能者の社会的地位の向上を図り、職業に精進する気運を高めることを目的に、本市在住・在勤の技能検定合格者をホームページへの掲載により顕彰した。

・技能検定合格者　81 人

(6)　勤労者総合福祉センター管理運営事業

中小企業労働者の福祉の充実と勤労意欲の向上を図るため、栃木市勤労者総合福祉センターの管理運営事業をシダックス大新東ヒューマンサービス㈱に委託し、各種講座を開講した。

ア　利用状況

使用区分	1 階会議室	2 階会議室	教養文化室	多目的ホール	職業技能講習室	研修室	個人多目的ホール	屋外イベント	合　計
件　数(件)	146	117	4	726	241	41	251	0	1,526
人　数(人)	1,255	2,634	64	24,195	2,866	448	664	0	32,126

イ　講座、イベント等の状況

(ｱ)　自主講座

講座名	第 1 期(各 10 回)		第 2 期(各 10 回)		第 3 期(各 10 回)		平均年齢	合計
	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	実施日	参加者(人)	(歳)	(人)
初めての書道	5 月 13 日 ～7 月 22 日	158	8 月 26 日 ～11 月 25 日	175	12 月 23 日 ～3 月 10 日	171	70	504
健康体操	5 月 13 日 ～7 月 29 日	471	8 月 19 日 ～11 月 18 日	432	12 月 23 日 ～3 月 10 日	365	71	1,268
筋力アップ	5 月 13 日 ～7 月 29 日	415	8 月 19 日 ～11 月 18 日	334	12 月 23 日 ～3 月 10 日	312	66	1,061

ストレッチ&ヨガ	5月15日 ～7月17日	262	9月4日 ～11月6日	253	1月8日 ～3月19日	202	65	717
エアロ★ダンス	5月15日 ～7月17日	150	9月4日～ 11月13日	157	1月8日 ～3月12日	131	64	438
リズム体操	5月16日 ～7月18日	420	9月5日 ～11月7日	452	1月9日 ～3月6日	414	74	1,286
イキイキ☆フィットネス	5月17日 ～7月26日	403	9月6日～ 11月15日	420	1月10日 ～3月14日	380	71	1,203
合　計		2,279		2,223		1,975	68	6,477

(ｲ)　単発講座、イベント

名　称	開催日	参加者(人)	名　称	開催日	参加者(人)
熱中症×ECOイベント	5月～6月	7	親子GOENCAFEクリスマス会	12月15日(日)	16
8月ふれあいパーティー	8月25日(日)	25	糖尿病予防講座	1月10日(金)	14
タロット占い	9月1日(日)	8	開運手相占い	1月18日(土)	13
消防訓練	9月11日(水)	50	1月ふれあいパーティー	1月19日(日)	17
0円マルシェ	9月15日(日)	50	マザーズセミナー	2月5日(水)	2
パーソナルカラーセミナー	10月20日(日)	5	勤総フェスティバル	3月9日(日)	350
勤労感謝キャンペーン	11月～12月	22	消防訓練	3月12日(水)	50
体力測定	12月4日(水)	5	救命入門講習	3月12日(水)	10

(7)　栃木勤労青少年ホーム管理運営事業

ア　登録者数・利用者数（単位：人）

ホーム登録者数	197
ホーム利用者数	13548

イ　年齢層別登録者数　（単位：人）

区　分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	0	0	1	3	38	42
女	0	1	4	6	144	155
合計	0	1	5	9	182	197

ウ　年齢層別利用状況　（単位：人）

区　分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	6	22	41	122	2,850	3,041
女	13	94	266	281	9,853	10,507
合計	19	116	307	403	12,703	13,548

エ　栃木勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ｱ)　定期講座

講　座　名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日
英会話(初級)	10	24	137	月
バドミントン	20	24	161	火
ヘルスフィットネス*	15	6	106	火
セルフ整体　*	15	6	24	火

初めてのヨガ*	15	8	96	火
ソフトバレーボール	20	24	247	水
スタイリッシュヨガ	25	31	816	水
初級ヨガ	25	8	215	水
ギター講座　*	8	9	63	水
フラワーアレンジメント	15	2	36	水
ズンバ	25	28	548	木
ピラティス	25	18	455	木
つまみ細工	10	20	120	金
ベリーダンス	20	33	471	金
シーグラスアート　*	10	7	97	金
フラダンス	20	32	536	土
合　　計		280	4,128	

＊ 印は新規講座

(ｲ)　自立・就職相談事業

・内　　容　　日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言

・実施回数　　93回

・延べ相談者数　171人

(ｳ)　ホーム行事（利用者会事業）等

行　事　概　要	実施日	参加者数(人)	会　　場
ウイングとちぎフェスタ	7月13日（土）	112	栃木勤労青少年ホーム
第9回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月13日(日)	44	勤労者体育センター
ウイングとちぎクリスマス会	12月14日(土)	60	栃木勤労青少年ホーム体育室

(ｴ)　他ホームとの交流イベント等

行　事　概　要	実施日	参加人数(人)	会　　場
県ホーム協議会ブドウ狩り	8月25日(日)	44	盤峰園（大平町）
大平勤労青少年ホーム利用者発表会	12月7日(土)	64※	大平勤労青少年ホーム

※ 内、栃木勤労青少年ホーム利用者の参加者数は18人

(ｵ)　クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数（回）	活動延べ人数（人）
ベリーダンス	月	93	1,488
ＧＡＣＨＩ！！！	火	25	253
ズンバクラブ	火	50	1,076

ぼっつぁんず　＊	火	19	57
スポーツパラダイス	水	51	557
ヨガサークルひなた	水	51	1,581
ギター愛好会　＊	水	22	154
ユースネット	木	52	104
ＳＳＯ	土	100	1,614
ＭＢＣ	土	48	329
ソフラ	土	48	761
遊人会	日	39	381
南インド古典舞踊と即興ダンス	不定期	291	291
合　　計		889	8,646

＊印は新規クラブ

(ｶ)　婚活イベント事業

行事概要	実施日予定日	参加者数(人)	会　　場
バーベキュー好き婚活	6月9日(日)	中止※	大平勤労青少年ホーム
クリスマス会で素敵な出会いを	12月14日(土)	7	栃木勤労青少年ホーム体育室
素敵な出会いのための「レザークラフト講座」	2月16日(日)	中止※	栃木勤労青少年ホーム体育室

※参加申込み人数が最小開催人数に満たなかったため

(8)　大平勤労青少年ホーム管理運営事業

ア　登録者数・利用者数（単位：人）

ホーム登録者数	386
ホーム利用者数	7,438

イ　年齢層別登録者数　（単位：人）

区　分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	0	0	0	3	70	73
女	0	3	12	13	285	313
合計	0	3	12	16	355	386

ウ　年齢層別利用状況　（単位：人）

区　分	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35歳以上	合計
男	1	16	4	26	1,613	1,660
女	7	40	105	184	5,442	5,778
合計	8	56	106	210	7,085	7,438

エ　大平勤労青少年ホーム講座開講、ホーム行事、クラブ活動等の状況

(ｱ)　定期講座

講　座　名	定員(人)	延べ実施回数(回)	延べ受講者数(人)	開催曜日

ズンバ	25	20	261	月
書道	15	20	232	月
リカバリーヨガ	25	22	391	火
ゴルフ	25	20	165	火
テニス	25	21	119	水
着付け	15	17	106	水
ヒーリングヨガ	25	17	137	水
英会話	15	17	246	木
ダイエットサーキット	25	22	272	木
料理	20	17	112	金
華道	15	13	90	金
ゴスペル	15	20	302	金
リラックスヨガ	25	24	190	土
合　　計		237	2,623	

(ｲ)　自立・就職相談事業

・内　　容　　日常の悩みや社会生活、就労に関する相談・助言

・実施回数　　37回

・延べ相談者数　37人

(ｳ)　ホーム行事（利用者会事業）等

行　事　概　要	実施日	参加者数(人)	会　　場
利用者会役員親睦会	4月28日(日)	7	泰平楽(大平町)
ホームクリーンアップ大作戦&バーベキュー	6月9日（日）	33	大平勤労青少年ホーム/サンランド栃木
利用者会バスツアー	9月8日(日)	35	豊洲千客万来･お台場
ハロウィンホーム祭り	10月27日(日)	23	大平勤労青少年ホーム
利用者会発表会	12月7日(土)	64	大平勤労青少年ホーム
講座・クラブ利用者交流会	2月16日(日)	13	海鮮どんさん亭栃木店

(ｴ)　他ホームとの交流イベント等

行　事　概　要	実施日	参加人数(人)	会　　場
ウイングとちぎフェスタ	7月13日（土）	112	栃木勤労青少年ホーム
県ホーム協議会ぶどう狩り	8月25日（日）	109	盤峰園（大平町）
第9回栃木･大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月13日（日）	44	勤労者体育センター

ウイングとちぎクリスマス会	12月14日（土）	60	栃木勤労青少年ホーム

(ｵ) クラブ活動

クラブ名	活動曜日	活動回数（回）	活動延べ人数（人）
ズンバクラブ	月	14	180
書道クラブ	月	3	26
クレッシェンド	月	12	33
コスモスクラブ	月	43	274
ひまわり手芸クラブ	月	12	51
大平歴史サークル	火	23	103
ダンスサークル　カトレア	火、水	76	147
ハナミズキ	火	48	328
ターピン中文クラブ	火	8	49
リカバリーヨガ	火	8	78
テニスクラブ	水	1	5
リリーズ	水	47	218
※大平書道	水、火	21	108
ダイエットサーキット	木	11	116
ローズ	木	48	297
着物リメイク	木	24	133
英会話クラブ	木	31	124
料理クラブ	金	12	71
こでまり	金	40	222
リラックスヨガクラブ	土	9	108
ハッピータイム	不定期	1	15
合　　計		492	2,690

(ｶ) 婚活イベント事業

行事概要	実施日	参加者数(人)	会　　場
バーベキュー好き婚活	6月9日(日)	中止※	大平勤労青少年ホーム
ハロウィンホーム祭り婚活	10月27日(日)	中止※	大平勤労青少年ホーム
友達作り交流会婚活	2月16日(日)	中止※	大平勤労青少年ホーム

※参加申込み人数が最小開催人数に満たなかったため

(9) 勤労者体育センター管理運営事業

勤労者をはじめとする市民の健康保持増進とスポーツの振興を図るため、勤労者体育センターの管理運営を栃木勤労青少年ホームと一括して環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体に委託し、効率的な管理運営を実施した。

ア　利用状況

(ｱ) 利用者数　（単位：人）

市内居住者	32,039

市外居住者	1,145
合　計	33,184

(ｲ)　月別利用状況　　（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
市内	2,318	2,715	2,614	2,591	2,200	2,709	2,894	2,851	2,448	2,512	2,750	3,437
市外	95	79	68	77	51	70	96	91	46	106	141	225
合計	2,413	2,794	2,682	2,668	2,251	2,779	2,990	2,942	2,494	2,618	2,891	3,662

(ｳ)　曜日別利用状況　　（単位：人）

曜　日	日　曜	月　曜	火　曜	水　曜	木　曜	金　曜	土　曜
利用者数	6,010	4,590	2,715	4,163	4,541	4,691	6,474

(ｴ)　種目別利用状況（団体利用のみ）　　（単位：人）

種　目	バレーボール	バドミントン	バスケット	卓　球	その他
利用者数	6,867	2,073	4,466	16,625	1,318

イ　利用者交流イベント等

行　事　概　要	実施日	参加人数(人)
第9回栃木・大平勤労青少年ホーム及び勤労者体育センター利用者交流スポーツ大会	10月13日（日）	44
第14回勤労者体育センターソフトバレーボール大会	11月24日(日)	35

第２節　観光振興課

〔総括概要〕

平成 26 年 3 月に策定した「栃木市観光基本計画」（令和 5 年度より 2 期計画）に基づき、観光資源を一体的かつ有効的に活用し、様々な観光施策に取り組んできた結果、令和元年度上半期までは、観光客の入込数や宿泊者数は増加し、順調に計画が推移していた。

しかしながら、令和元年東日本台風や令和 2 年頃から感染が拡大した新型コロナウイルス感染症、物価高騰などの影響により生活環境や経済の著しい変化に見舞われ、施策の展開が厳しい状況となり、観光客が激減した。

本市の観光振興を考えるうえで従来の日帰りを中心とした誘客に加え「住んでよし、訪れてよし」といった持続可能な観光の視点を取り入れた街づくりを推進するため、産学との連携強化を目的に 4 者による協定書の締結をし、滞留時間の増加や蔵を活かした観光まちづくりについて研究を行っている。

令和 3 年 4 月には、新たな観光拠点施設として栃木市観光交流館「蔵なび」を開館し、観光案内、特産品の展示・販売、観光情報発信、多目的交流、移住定住促進事業を行ったほか、栃木市アンテナショップまちの駅コエド市場を活用した情報発信や観光客の受入れ環境の向上を図るため、歴史的風致維持向上計画に基づいた横山郷土館の大規模改修を行った。

訪日外国人の誘致については、外国人観光客向けの 1 日市民パスポートの発行や多言語パンフレットを更新し、台湾ブックフェアで配布するなどPRを行った。

まつり・イベントについては、「太平山桜まつり」、「とちぎあじさいまつり」、「なつこい」、「令和 6 年とちぎ秋まつり」、「栃木市・渡良瀬バルーンレース 2024」などを開催した。

ロケの支援に関するフィルムコミッション事業については、積極的にロケの誘致に努め、TVドラマなど年間 46 件の撮影が実施された。

観光企画係

1　観光振興宣伝事業

本市は、見世蔵や土蔵が立ち並ぶ蔵の街大通りをはじめ、重要伝統的建造物群保存地区に選定された嘉右衛門町地区、桜とあじさいの太平山、ラムサール条約湿地に登録された渡良瀬遊水地、古刹と手打ちそばの出流など、歴史的文化遺産と美しい自然に恵まれており、関東平野に連なる観光地として個性豊かな表情を持っている。

これらの観光資源を生かすために、観光パンフレット等を作成・配布するとともに、各種観光キャンペーン等に参加し、更に、マスメディアの活用を行うなど観光宣伝事業を積極的に展開し、観光誘客に努めた。

(1)　観光パンフレット等の作成・配布　　（単位：部）

名称	作成部数	配布部数
総合パンフレット	20,000	14,400
蔵の街散策マップ（蔵の街ウォーキングマップ）	―	41,300
太平山観光パンフレット	―	6,200
出流・星野パンフレット	―	1,700

(2)　イベント等への出展

ア　第43回春日部藤まつり

・実施日　4月28日（日）

・会　場　春日部駅西口「ふじ通り」

イ　佐野まるっとマルシェ in 佐野プレミアム･アウトレット

・実施日　4月27日（土）、28日（日）、29日（月）

・会　場　佐野プレミアム･アウトレット

ウ　観光PRイベント「いちご市～栃木市産直いちご直売会～」

・実施日　3月26日（水）

・会　場　日本橋プラザビル 南広場

(3)　広域観光推進事業

ア　例幣使道軸共同開発協議会

構成団体　4市（栃木市、足利市、佐野市、鹿沼市）

(ｱ)　会議開催

a　総会

・開催日　3月26日（水）

・開催方法　書面表決

イ　両毛線沿線のほほん連絡協議会

構成団体　6市（前橋市、伊勢崎市、みどり市、桐生市、足利市、栃木市）、（公財）群馬県観光物産国際協会、JR東日本高崎支社、（株）ジェイアール東日本企画高崎支社、（株）ジェイ・エヌ・エス

(ｱ)　会議開催

a　総会

・開催日　7月9日（火）

・会　場　前橋プラザ元気21　5階　506学習室

b　ワーキンググループ

・開催数　8回

・会　場　栃木市役所 ほか

(ｲ)　共同事業等

a　チラシ、WEBページの作成

・名　称　JR東日本「両毛線沿線のほほん♪秋いろさがし」

・対　象　一般観光客

b　観光キャラバン

・実施日　10月6日（日）

・場　所　JR川越駅　自由通路

c　特別体験プログラム

・実施日　11月10日（日）

・内　容　匂い香作り体験、横山郷土館の見学

・参加数　18人

2　「本物の出会い　栃木」観光プロモーション

2018年の春（4～6月）に、栃木県においてJRグループ6社と地域が協働で取り組む国内最大規模の観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン（略称：DC）」が、2017年の春のプレDCと2019年の春のアフターDCを含め、3年間にわたり開催された。

この3年間のDCにより得たレガシー（遺産）を引継ぎ、今後とも全国からの観光誘客を図るため、令和2年4月1日から新体制「本物の出会い　栃木」観光プロモーション協議会として、県、各市町との連携や共同での観光キャンペーンの実施、PRパンフレットの作成等を行った。

(1)　「本物の出会い　栃木」観光プロモーション協議会

・構成団体　栃木県、JR東日本、東武鉄道、県内各市町、観光協会、経済・金融関係、交通関係、旅行関係、観光施設関係、報道関係等

・会議開催状況

名　称	日　時	場　所
第1回企画会議	7月12日（金）	オンライン
第1回総会	8月 8日（木）	栃木県庁北別館403会議室
第2回企画会議	2月21日（金）	栃木県庁研修館302研修室
第2回総会	3月17日（月）	栃木県庁研修館402研修室

(2)　パンフレット等の作成（栃木県全体）　（単位：部）

名　称	対象	作成部数
2024年度観光PRパンフレット通年版	一般観光客	55,000

(3)　城跡を活用した分科会

・構成団体　8市2町（栃木市、佐野市、小山市、真岡市、大田原市、矢板市、那須烏山市、下野市、壬生町、那珂川町）

・実施事業　令和7年度の事業実施に向けた調整

3　栃木市ブランド（とちぎ小江戸ブランド）推進事業

本市のお土産品及び特産品の知名度向上、販売促進並びに本市全体のイメージアップを目的とした情報発信を行った。

(1)　栃木市ブランド推進協議会

・委　　員　20人

・会議開催状況

日　程	会　議	議事内容

1月10日（金）	第1回推進協議会 （書面表決）	・令和5年度事業報告について ・令和5年度決算報告及び会計監査報告について ・令和6年度事業計画について ・令和6年度収支予算について ・委員の編成並びに職務代理者及び監事の選出について

4　栃木県東京スカイツリーアンテナショップ事業

栃木県のアンテナショップ「とちまるショップ」を活用し、東京スカイツリーを訪れる国内外の観光客や周辺地域及び都心・近郊各沿線の居住者等、様々なお客様に栃木市のPRを行い、観光客の増加を図った。

(1)　栃木県アンテナショップ協議会

・会議開催状況

名　称	日　時	場　所
第１回運営会議・決算総会	６月 24 日（月）	県庁本館
第２回運営会議・予算総会	３月 26 日（水）	県庁北別館

(2)　「とちまるショップ」イベントスペース観光PR

実施日	内　容
８月９日（金）	ぶどうのPR
10 月４日（金）～10 日（木）	「栃木市・渡良瀬バルーンレース」、「とちぎ秋まつり」のPR

5　鯉飼育管理事業

(1)　飼育場の環境整備

河川愛護会、自治会連合会、地域クリーン推進員連合会の共催による巴波川一斉清掃に参加し、水草の処理、川底投棄物の回収等の実施に協力した。

実施日	実施個所
4月20日（土）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
7月　6日（土）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀
9月21日（土）	蟹田橋下流～両毛線鉄橋、県庁堀

(2)　鯉の放流

コイヘルペスウイルス病蔓延防止のため､平成16年から鯉の放流が禁止されている。その後、蔵の街の観光資源である鯉が巴波川や県庁堀から姿を消し魅力が薄れていることから、放流の可能性について平成20年度に県と協議を行った結果、PCR検査(コイヘルペスウイルス陰性検査)を受けた鯉に限り試験的に放流できるとの回答を得た。

しかし、平成25年度の夏季に大量死があって以降放流を見合わせている。

(3)　県庁堀内清掃

観光振興に資するため、県庁堀内の環境美化に努めた。

・委託先　栃木市シルバー人材センター

・実施日　4月1日～3月31日の間の77日間

6　栃木市観光情報物産館管理運営事業

本市の特産品等の展示・販売業務を民間事業者に委託し、観光客等に対して魅力的な店舗運営を行い、本市の知名度向上、産業振興及び地域の活性化を図った。

・民間運営事業者　株式会社ファーマーズ・フォレスト

・店舗名称　　栃木市アンテナショップまちの駅コエド市場

(1)　実施事業

・月別実施事業

4月　お買得品フェア(パン)、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
いちご大好きフェア(第3金土日)

5月　お買得品フェア(パン)、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
いちご大好きフェア(第3金土日)

6月　お買得品フェア(パン)、初夏のパンまつり、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、

7月　お買得品フェア(パン)、初夏のパンまつり、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
もも＆ぶどうフェア(第3金土日)

8月　お買得品フェア(パン)、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
もも＆ぶどうフェア(第3金土日)

9月　お買得品フェア(パン)、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
新米祭り(地場産コシヒカリ)、梨＆ぶどうフェア(第3金土日)

10月　お買得品フェア(パン)、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
新米祭り(西方桜おとめ)、梨＆ぶどうフェア(第3金土日)

11月　お買得品フェア(パン)、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
栃木市秋まつり開催

12月　お買得品フェア(パン)、野菜特売会(毎週月曜・火曜)

1月　お買得品フェア(パン)、お楽しみ抽選会、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
いちご大好きフェア(第3金土日)

2月　お買得品フェア(パン)、栃木市とのコラボフェア(パン)、
野菜特売会(毎週月曜・火曜)、いちご大好きフェア(第3金土日)

3月　お買得品フェア(パン)、野菜特売会(毎週月曜・火曜)、
いちご大好きフェア(第3金土日)

(2)　来客者数　　(単位:人)

	令和6年度	令和5年度
4月	7,510	6,297
5月	7,792	7,137
6月	6,053	5,780
7月	5,144	5,017
8月	5,491	5,428
9月	5,914	5,246

10月	6,845	6,666
11月	7,780	7,410
12月	6,713	6,635
1月	6,096	5,879
2月	6,796	6,374
3月	7,927	7,125
合　　計	80,061	74,994

7　観光まちづくり事業

本市観光の目指すべき方向性を明確にし、更なる観光振興を図るための指針となる「栃木市観光基本計画」の計画期間が令和4年度で終了となることから、観光を取り巻く社会環境やニーズの変化等を踏まえ、令和5年度から5年間の取り組むべき施策や事業を定める「第2次栃木市観光基本計画」を令和5年3月に策定した。

同計画の策定にあたり、本市の観光施策を総合的かつ継続的に進めていくための組織である観光まちづくり推進連絡会議を運営し、意見集約を行った。

(1)　栃木市観光まちづくり推進連絡会議

・会議開催状況

名　称	日　時
第1回会議	3月24日（月）

(2)　産官学連携

栃木市、東武鉄道株式会社、東武トップツアーズ及び國學院大學観光まちづくり学部が相互の強みや資源を活かした観光地域づくりを協力して推進することを目的に「持続可能な観光まちづくりに関する協定書」を締結した。

・会議開催状況

名　称	回　数
共同定例ミーティング	13回

・小浜・熊川宿視察の実施

実施日：8月6日（火）～8日（木）

・『蔵の街とちぎ 観光まちづくりシンポジウム』の開催

開催日：2月25日（火）

参加人数：約100人

8　栃木市横山郷土館管理運営事業

市の施設であり、国の登録文化財である「横山郷土館（平成27年3月31日付公益財団法人横山郷土館から寄贈）」の運営やイベントの実施により、観光客の誘致に努めた。

(1)　施設概要

・住　　所　栃木市入舟町2-16

・展示内容　横山家居宅及び店舗（国有形登録文化財）、洋館風離れ（国有形登録文化財）、回遊式庭園、美術品（金屏風、掛け軸、絵画、陶芸品、工

芸品等）、当時資料（当時の生活雑貨、記録写真、記録文書等）

(2) 運営状況

・開館時間　午前 9 時～午後 5 時

・休 館 日　毎週月曜日（祝祭日の場合は翌日休館）、年末年始

・入 館 料　300 円（中学生以下無料）

・臨時休館　9 月 5 日（木）～9 月 8 日（日）、9 月 10 日（火）～9 月 11 日（水）、2 月 18 日（火）（工事等のため）

(3) 入館状況　（単位:人）

	令和6年度	令和5年度	令和 4 年度
4月	741	694	284
5月	1,068	1,134	931
6月	586	576	435
7月	262	331	216
8月	323	298	295
9月	351	599	337
10月	699	842	621
11月	866	1,095	665
12月	399	378	246
1月	302	319	244
2月	433	539	334
3月	663	501	577
合　　計	6,693	7,306	5,185

9 観光客入込状況

(1) 各地域入込状況　（単位：人）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
栃　　木	2,387,401	2,062,777	2,031,821
大　　平	183,122	192,876	168,948
藤　　岡	1,313,522	1,311,047	1,162,351
都　　賀	40,121	77,575	54,401
西　　方	408,731	397,111	381,044
岩　　舟	929,437	993,646	1,020,763
合　　計	5,262,334	5,035,032	4,819,328

(2) 主要地点入込状況　（単位：人）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
太　平　山	1,115,383	982,617	953,707
出流・星野	493,111	501,026	507,442
蔵　の　街	568,240	533,235	335,391

みかも山	1,873,046	1,886,256	1,786,990
渡良瀬遊水地	353,285	384,568	368,202

(3) 観光施設等入込状況 （単位：人）

	令和6年度	令和5年度	令和4年度
郷土参考館	2,764	2,530	2,555
横山郷土館	6,697	7,306	5,185
あだち好古館	524	884	1,179
岡田記念館	2,113	2,478	2,518
とちぎ山車会館	12,882	16,008	11,364
アグリの郷	4,700	4,966	8,288
蔵の街遊覧船	25,443	24,315	19,692
まちの駅コエド市場	80,061	74,994	63,956
かかしの里	4,033	5,195	3,007
プラッツおおひら	127,959	135,991	138,462
歴史民俗資料館白石家戸長屋敷	5,237	6,714	6,152
道の駅みかも	711,771	696,702	600,092
渡良瀬の里	24,040	22,438	15,721
つがの里ふるさとセンター	8,315	8,593	10,113
道の駅にしかた	389,611	380,141	369,169
とちぎ花センター	293,080	347,111	323,285
マルシェいわふね	219,685	202,208	224,002
いわふねフルーツパーク	28,605	25,819	22,860

10 インバウンド事業

新型コロナウイルス終息後の外国人観光客誘客に向け、外国人観光客の受入環境を整備した。

(1) 外国人観光客1日市民パスポートの発行

主に日本在住の外国人観光客に対し、1日市民デジタルパスポートを発行し、特典サービスの提供や英会話による案内など、外国人観光客へのおもてなし向上を図った。

(2) Wi-Fi環境の維持管理

栃木駅観光案内スペースや栃木市観光協会のWi-Fi環境の維持管理を行った。

11 とちぎ江戸料理の推進

平成27年度に開発した「とちぎ江戸料理」を推進するために公式ホームページや公式SNSでの情報発信を行った。また、1月25日(土)のSL×DLイベントに江戸料理提供店に出店いただき、事業のPRを行った。

12 ハイキングコース管理事業

(1) 首都圏自然歩道管理事業

・稜線をたどるみち（延長 4.4 ㎞）
・桜咲くパノラマのみち（延長 1.6 ㎞）
・かかしの里・ブドウのみち（延長 1.6 ㎞）
・松風のみち（延長 1.1 ㎞）

(2)　歩道ハイキングコース
・清水寺～晃石山、大中寺～太平山（延長 1.4 ㎞）

13　観光施設管理事業
・大中寺憩の森緑地管理
・清水寺の森緑地管理
・かかしの里緑地管理
・かかしの里受付業務等管理
・大中寺憩の森トイレ維持管理
・清水寺の森トイレ維持管理
・林道下皆川線屋外トイレ維持管理
・林道下皆川線あずまや維持管理
・小野寺憩いの森維持管理
・三毳山棚岩遊歩道維持管理
・岩船山人車鉄道跡遊歩道排水路管理
・慈覚大師誕生地公衆用トイレ維持管理
・慈覚大師誕生地駐車場維持管理
・大慈寺園地公衆用トイレ維持管理
・岩船山公衆用トイレ維持管理
・兜山公園管理
・藤岡堤外地先桜植樹地管理
・かたくり群生地管理
・龍興寺しだれ桜周辺管理
・金崎桜堤管理

14　三県境関連事業
歩いて 3 歩で回れる全国で唯一の三県境について、観光資源としての利活用を図るため栃木市、群馬県板倉町、埼玉県加須市の 2 市 1 町共同で、例年、加須市の道の駅「かぞわたらせ」において、徒歩による三県境ツアー、2 市 1 町のPR及び各市町の特産品販売等のイベントを開催した。
・開催日　3 月 1 日（土）

15　SL×DL鉄道フェスティバルの開催
東武鉄道の蒸気機関車「大樹」の栃木駅から下今市駅までの運行に合わせ、JRのディーゼル機関車の運行や栃木駅でのマルシェや岩舟駅での「ソースイベント」などを開催した。

・開催日　1月25日（土）

観光交流館係

1　栃木市観光交流館「蔵なび」管理運営事業

観光振興を軸とした本市の総合的シティプロモーション施設として活用し、本市の知名度の向上、イメージアップ、おもてなしの強化、魅力と賑わいの創出を図った。

交流人口の増加及び地域産業の活性化を図るため、観光案内、特産品の展示・販売、観光情報発信、多目的交流、移住定住促進事業を行った。

(1)　施設概要、運営状況

・住　　所　栃木市河合町1-2

・開館時間　午前9時～午後7時

・休館日　年末年始（12月29日（日）～1月3日（金））

(2)　入館者数（うち、多目的交流スペース利用者数）　（単位:人）

	令和6年度	令和5年度
4月	5,280　(2,703)	4,533　(2,535)
5月	6,127　(3,312)	4,718　(2,552)
6月	5,459　(2,954)	5,068　(3,062)
7月	5,152　(3,384)	3,983　(2,539)
8月	4,488　(2,940)	4,284　(2,700)
9月	5,858　(3,747)	4,741　(2,929)
10月	6,149　(3,539)	5,125　(3,120)
11月	6,540　(3,804)	5,361　(3,109)
12月	5,037　(3,323)	4,916　(3,057)
1月	5,304　(3,582)	4,547　(2,960)
2月	5,120　(3,361)	5,119　(3,257)
3月	4,522　(2,738)	3,936　(2,547)
合　　計	65,036 (39,387)	56,331 (34,367)

(3)　貸出件数

特産品の販売やイベントを行うため、1㎡あたり1,000円で貸し出しを行っている。

・物　　販　16件

・イベント　5件

(4)　特産品の展示・PR

特産品紹介サイト「とち介とわくわく通販」に掲載している商品を、館内のデジタルサイネージに展示し、PRした。

・委託先　株式会社　下野新聞社

・サイトアクセス数　42,269件

フィルムコミッション・イベント係

1　観光行事推進事業

本市を県内外に宣伝し、産業と観光の振興を図るため、下記の行事を実施・支援した。

(1)　太平山桜まつり

・実施期間　令和6年3月23日（金）～4月7日（日）
・場　　所　太平山県立自然公園
・主　　催　太平山桜まつり実行委員会
・共　　催　栃木市、一般社団法人栃木市観光協会、栃木商工会議所
・来 場 者　54,000人

(2)　とちぎあじさいまつり

・実施期間　6月14日（金）～6月30日（日）
・場　　所　太平山県立自然公園（あじさい坂）
・主　　催　とちぎあじさいまつり実行委員会
・共　　催　栃木市、一般社団法人栃木市観光協会、栃木市観光ボランティア協会
・来 場 者　60,000人

(3)　“なつこい” Sound Stage TOCHIGI 2024 with とちぎ盆祭り

・実施期間　7月20日（土）
・場　　所　栃木市大平運動公園
・主　　催　なつこい実行委員会
・共　　催　栃木市、とちぎ盆祭り実行委員会
・来 場 者　24,000人

(4)　蔵の街サマーフェスタ2024

・実施期間　8月4日（日）
・場　　所　蔵の街大通り、銀座通り、巴波川
・主　　催　蔵の街サマーフェスタ実行委員会
・共　　催　栃木商工会議所青年経営者会、一般社団法人栃木市観光協会、
　　一般社団法人栃木青年会議所、ＮＰＯ法人蔵の街遊覧船、
　　栃木市商店会連合会
・後　　援　栃木市、栃木商工会議所　他
・来 場 者　120,000人

(5)　令和6年とちぎ秋まつり

・実施期間　11月1日（金）～11月3日（日）
・場　　所　とちぎ蔵の街大通り周辺
・主　　催　令和6年とちぎ秋まつり実行委員会
・共　　催　栃木市、栃木商工会議所、一般社団法人栃木市観光協会、
　　栃木市商店会連合会、とちぎの山車祭り伝承会
・来 場 者　210,000人

(6)　太平山もみじまつり

・実施期間　11月14日（木）～12月1日（日）
・場　　所　太平山県立自然公園
・主　　催　太平山観光会

(7)　栃木市・渡良瀬バルーンレース2024
・実施期間　12月13日（金）～15日（日）
・場　　所　藤岡渡良瀬運動公園
・主　　催　渡良瀬バルーンレース実行委員会
・共　　催　栃木市
・後　　援　国土交通省、栃木県他
・来場者数　100,000人

(8)　太平山寒たまごまつり
・実施期間　2月7日（金）～2月13日（木）
・場　　所　太平山神社及び各茶店
・主　　催　太平山観光会

(9)　星野花まつり
・実施期間　2月14日（金）～3月31日（月）
・場　　所　四季の森星野
・主　　催　四季の森保全会
・共　　催　栃木市

2　巴波川利用促進事業

(1)　うずまの鯉のぼり
・実施日　3月15日（金）～5月15日（水）
・場　所　巴波川（常盤橋～幸来橋～巴波川橋下流）

(2)　うずま川行灯まつり
・実施日　7月1日（月）～9月30日（月）
・場　所　巴波川（開運橋・常盤橋～幸来橋～巴波川橋下流）
・内　容　行灯設置

(3)　うずまの竹あかり
・実施日　10月26日（土）～2月28日（金）
・場　所　巴波川（常盤橋～幸来橋～巴波川橋）
・内　容　竹あかり設置

(4)　舟行
・実施主体　NPO法人蔵の街遊覧船
・実施日　　通年実施（年末年始を除く）
・場　所　　巴波川　幸来橋～瀬戸河原堰

3　フィルムコミッション事業

本市の知名度向上を図るとともに、ロケ地を広く紹介することにより地域イメージのブランド化を図ることを目的として、映画やドラマ等のロケーション撮影を積極的に誘

致し、撮影支援を行った。

・ロケーション撮影件数　（単位：件）

映　画	ドラマ	情報番組	その他	合　計
6(10)	4(12)	31(40)	5(8)	46(70)

カッコ内は相談件数

4　倭町小江戸ひろば管理運営事業

市街地に存する倭町小江戸ひろばの管理運営及び交流センター内における観光案内を一般社団法人栃木市観光協会へ委託することにより、観光客へのおもてなしを図った。

・利用件数　（単位：件）

会議室	イベント広場
1	6

5　観光施設等利用状況

(1)　山車会館入館状況　（単位：人）

			令和6年度	令和5年度	令和4年度
4月			1,571	847	657
5月			1,593	1,582	1,428
6月			1,475	1,220	2,001
7月			523	62※①	511
8月			625	12※①	680
9月			1,104	370※①	1,206
10月			1,564	1,375	1,524
11月			1,315	1,706	1,233
12月			648	717	522
1月			481	540	427
2月			961	486	524
3月			1,022	905	651
合　計			12,882	9,822	11,364
内訳	有料	割引有	7,252	5,428	5,470
		割引無	2,938	2,272	2,295
	無　料		2,692	2,122	3,599

※①空調設備が故障したことに伴い、令和5年7月1日から令和5年9月20日までの82日間を休館としたことから入館者が減少している。

(2)　倭町駐車場（蔵の街第一駐車場）利用状況　（単位：台）

	令和６年度	令和5年度	令和4年度
4月	2,183	1,963	1,975
5月	2,118	2,094	2,062

6月	1,930	1,773	1,765
7月	1,511	1,702	1,748
8月	1,671	1,738	1,906
9月	1,859	1,785	1,791
10月	1,751	1,870	2,015
11月	1,521	1,609	1,357
12月	1,578	1,724	1,433
1月	1,702	1,697	1,596
2月	1,994	1,694	1,752
3月	2,246	2,294	2,093
合　　計	22,064	21,943	21,493

(3)　山車会館前広場利用状況

実　施　日	行　　事	主　催　等
4月1日（月） ～3月31日(月)	栃木市シェアサイクル事業	栃木市
4月5日（金）	春の交通安全運動出発式	栃木市
4月12日（金） ～5月7日（火）	鯉のぼり掲揚	栃木市商店会連合会
5月5日（日） ～6日（月）	小江戸とちぎ人形まつり	栃木市商店会連合会
5月12日（日）	とちぎ地囃子煌祭り	とちぎ煌
6月15日（土）	第18回県民の日イベント「県名発祥の地十千木縁日」	県名発祥の地十千木縁日実行委員会
7月5日（金） ～6日（土）	JC関東大会	栃木青年会議所
8月5日（日）	蔵の街サマーフェスタ	蔵の街サマーフェスタ実行委員会
9月15日（日）	第7回栃木市高校生合同文化祭	とちぎ高校生蔵部
10月27日（日）	栃木市消防団通常点検に伴う分列行	栃木市消防団
10月12日（土）	まちなかの小さな展覧会	株式会社ソワーズ
10月19日（土） ～20日（日）	第6回とちぎ蚤の市	とちぎ蚤の市実行委員会
11月1日(金) ～3日(日)	令和6年とちぎ秋まつり	令和6年とちぎ秋まつり実行委員会

11月10日（日）	小江戸アコースティカルサウンド	スマイルクリエーション
11月10日（日）	小江戸とちぎきものの日	小江戸とちぎきものの日実行委員会
12月7日（土）	テラオキッカケマルシェ	テラオノマルシェ実行委員会
12月15日（日）	第4回蔵の街とちぎクリスマスフェス2024	とちぎ駅前オープンステージ蔵の市実行委員会
12月29日（日）	夕焼け色の師走横丁	スマイルクリエーション
1月2日（木）	新年お囃子たたき初め	中荒井囃子連
3月1日（土）	律之助像完成一周年記念川島史也作品展	田村律之助顕彰会
3月2日（日）	あそ雛マルシェ	とちぎの雛まつり実行委員会

(4)　とちぎ蔵の街観光館利用状況

月	蔵　座　敷	
	回数（組）	人 員（人）
4	1	10
5	0	0
6	3	3
7	8	80
8	3	60
9	4	41
10	4	55
11	27	1,074
12	1	14
1	1	16
2	0	0
3	7	100
合計	59	1,453

第３節　農業振興課

〔総括概要〕

本市は、農家戸数、耕地面積ともに県内有数の都市で、水稲や二条大麦を中心にいちご・トマトなどの施設園芸、ぶどう・なしなどの果樹、畜産などの経営が盛んである。特に二条大麦といちごは、全国でもトップクラスの作付面積と生産量を誇っている。また、本市の農業には、首都圏に位置するという地理的優位性から、生産者と消費者をつなぎ安心安全で確かな農産物を届けることが期待されているほか、農業を営みながら多様なライフスタイルを実現する「半農半Ｘ」への関心が高まりつつある。加えて、農業は、食料やその他の農産物を供給する機能以外にも、自然環境の保全、土壌浸食防止、気候変動の緩和、特徴的な景観及び伝統文化の形成など、多面的かつ公益的な機能を果たしている。

しかし、今日の農業は、農業従事者の減少と高齢化による人手不足、荒廃農地の増加、物価高による資材費等の上昇、外国産農産物との競合、気候変動による生産への影響など様々な問題を抱えている。とりわけ、本年は市南部でイネカメムシによる大規模な被害が発生し、米の大幅な減収に見舞われた。このほか、令和５年度産米の収量減に端を発する米価の高騰は、農産物の安定生産や消費者購買行動に対して少なからず影響を及ぼしており、こういった社会情勢の変化が農業経営の不安定化を促し、離農者の増加、ひいては農業・農村の機能の低下が懸念される。

こうした状況下において、本市では、農業生産と農村の振興を軸とした各種施策を実施することにより、農業経営の安定と就農意欲の喚起に力を注いだほか、一般財団法人栃木市農業公社及び栃木市農業再生協議会と連携し、担い手への農地集積・集約と水田を活用した戦略作物の本作化を支援した。

農政係

1　経営所得安定対策と米政策

農業経営の安定や食料自給率の向上を図るとともに、農業の多面的機能を将来にわたって適切に発揮するため、国の経営所得安定対策とその関連事業を活用し、需要に応じた作物の生産等を推進した。

(1)　水田活用の直接支払交付金

食料自給力の向上に資する麦・大豆・飼料作物等戦略作物の本作化や生産性向上の取組等を支援した。

・戦略作物等交付対象面積　（単位：ha）

麦	247.13
大豆	48.02
そば	37.77
飼料作物	115.92

新規需要米	飼料用米	169.48
	米粉用米	786.45
	ＷＣＳ稲	65.17
加工用米		13.71

・産地交付金（市設定枠）交付対象面積　（単位：ha）

飼料用米等の生産性向上	946.98
二毛作	1594.65
麦の生産性向上	1758.08
大豆の生産性向上	378.61
加工用米の生産性向上	288.51
野菜の生産振興	27.34

(2)　コメ新市場開拓等促進事業

需要拡大が期待される加工用米、米粉用米の低コスト生産の取組を支援した。

・コメ新市場開拓等促進事業交付対象面積　（単位：ha）

加工用米	48.32
米粉用米	2.03

(3)　畑作物産地形成促進事業

水田における畑作物の導入・定着に向けた取組を支援した。

・畑作物産地形成促進事業交付対象面積　（単位：ha）

麦	1054.83
子実用とうもろこし	8.86
高収益作物（野菜）	8.16

(4)　畑地化促進事業

水田を畑地化して畑作物の本作化に取り組む農業者を支援した。

・畑地化促進事業交付対象面積　（単位：ha）

飼料作物	0.63

(5)　令和6年度水稲生産実施計画及び営農計画書等の受付事務

経営所得安定対策の円滑な推進と農業者への情報提供を図るため、栃木市農業再生協議会による個別相談及び事業加入申請受付を行った。

・期間　2月10日～2月27日

2　農業制度資金関係

(1)　農業近代化資金利子補給金

農業経営の近代化・高度化に資する資金の円滑な融通とその返済に掛かる負担の軽減を図るため、融資を実行した金融機関に対して利子補給金を交付した。

・利子補給金額（一般農業者）

上　期		下　期		利子補給金合計（円）
件数（件）	利子補給金	件数（件）	利子補給金	

	（円）		（円）	
37	224,699	36	221,688	446,387

・特別利子（認定農業者上乗せ分）

上　期		下　期		利子補給金合計（円）
件数（件）	利子補給金（円）	件数（件）	利子補給金（円）	
2	11,655	2	13,204	24,859

・新規融資申請状況

申請件数(件)	申請金額（千円）
8	44,410

(2)　農業経営基盤強化資金利子助成金

認定農業者等が経営改善を図るために借り入れる農業経営基盤強化資金等の金利負担を軽減するため、利子助成を実施した。（県助成金と同額を助成）

・利子助成金額（平成23年度融資実行分までの利子。平成24年度以降該当者なし）

件数（件）	利子助成金額（円）
2	4,397

3　農業経営基盤強化促進事業

経営感覚に優れた効率的かつ安定的な農業経営体が農業生産の相当部分を担うような農業構造の確立を目指して、経営改善に取り組む農業者の計画を認定するとともに、農用地の利用集積、生産性の向上など、農業者等による経営改善に向けた計画的な取組を支援した。

(1)　経営改善に向けた取組の支援（認定農業者・認定新規就農者の認定）

他産業並の労働時間と年間所得の実現を目指して、農業者や農業法人、これから農業経営を営もうとする者の経営改善に向けた計画の策定を支援し、その認定を行った。

区　分		経営体数	備　考
農業経営改善計画認定者		71	内広域認定0経営体
	新規認定	11	内広域認定0経営体
	再認定	59	内広域認定0経営体
	変更認定	1	
青年等就農計画認定者		3	内変更認定1経営体

(2)　農用地の利用集積

ア　農地流動化関連事業

認定農業者をはじめとする担い手及び今後育成すべき農業者に農地を集積し規模拡大を図るため、農業委員会等関係機関との連携のもと農地に関するニーズの掘り起こし活動を実施し、農地の流動化(農地の貸借・売買）を推進した。

・農用地利用集積計画策定状況

番号	公告年月日	告示番号	利用権等の種類	面積(ha)
1	4月25日	栃木市告示第146号	利用権の設定及び所有権移転	60.4
2	5月29日	栃木市告示第171号	利用権の設定及び所有権移転	59.1
3	6月26日	栃木市告示第200号	利用権の設定及び所有権移転	18.7
4	7月29日	栃木市告示第216号	利用権の設定及び所有権移転	13.0
5	8月28日	栃木市告示第234号	利用権の設定及び所有権移転	9.63
6	9月26日	栃木市告示第261号	利用権の設定及び所有権移転	25.2
7	10月29日	栃木市告示第292号	利用権の設定及び所有権移転	35.7
8	11月27日	栃木市告示第323号	利用権の設定及び所有権移転	84.4
9	12月25日	栃木市告示第353号	利用権の設定及び所有権移転	127.1
10	1月29日	栃木市告示第 17号	利用権の設定及び所有権移転	68.6
11	2月26日	栃木市告示第 41号	利用権の設定及び所有権移転	77.4
12	3月27日	栃木市告示第 77号	利用権の設定及び所有権移転	77.8
合　　計				657.0

4　新規就農支援事業

(1)　就農相談

県や農協、農業公社等農業関係機関・団体と連携し、就農準備、就農、定着、経営発展の各段階における相談を受け、補助金や制度資金の活用、農地の斡旋など必要な支援を行った。

(2)　就農イベントへの出展

次代を担う新規就農者の確保を目的としたイベントに出展した。

名　称	日　時	場　所	概　　況
新・農業人フェア	12月8日(日)	東京ビッグサイト	・参加227団体 ・来場者数1,405人 内本市への相談者5人

(3)　新たに就農した経営体への支援

就農直後の青年就農者に対し農業経営に係る経費の一部を支援することにより、就農意欲の喚起と就農後の定着を図った。

支　援　区　分	対 象 者（人）	補助金額（円）
新規就農サポート事業費補助金（市単）	2	437,930
青年就農補助金（国庫） （国の事業名：農業次世代人材投資事業（経営開始型））	7 （内夫婦2組）	6,450,000
新規就農者経営開始支援事業費補助金（国庫） （国の事業名：経営開始資金）	12 （内夫婦4組）	14,187,500
新規就農者初期投資促進円滑化事業費補助金（国庫）	5 （内夫婦1組）	19,039,500

（国の事業名：初期投資促進事業）		

5　農村女性活動活性化事業

市内の農村女性組織間の連携や情報交換を密にしつつ、農業経営における男女共同参画意識を高め、豊かで活力ある地域社会の実現に資することを目指して、女性農業団体の活動を支援した。

・栃木市農村生活研究グループ協議会

【視察研修会】

開催日：11月12日（火）

視察先：道の駅まえばし赤城/良農園

参加者：25人

・栃木市農村女性会議

【農業委員への女性登用に向けた要請活動】

開催日：10月4日（金）

会場：栃木市役所　本庁舎3階正庁

内容：①要請書の提出

②意見交換

参加者数：26人

【視察研修会】

開催日：3月26日（水）

視察先：ヤサイな仲間たちファーム、渋沢栄一記念館

参加者数：23人

6　栃木県南地方卸売市場関係

(1)　概要

栃木県南地方卸売市場は、平成29年10月1日に民営化し、現在、荒井商事株式会社が『「安心・安全・新鮮・元気」を軸に生産者と消費者をつなぐ地域密着の「食の拠点」づくり』をテーマに掲げて開設・運営している。

・開設者（民営事業者）

商　　号：荒井商事株式会社

所 在 地：神奈川県平塚市紅谷町17番2号

開設期間：令和4年10月1日～令和9年9月30日の5年間

・運営（管理業務）の状況

区　分	金額・数量等	備　考
収入	131,196,078円	民営第7期 令和5年10月1日～令和6年9月30日
支出	103,842,893円	
卸売業者	3社	令和6年9月30日現在
仲卸業者	14社	
関連事業者	12社	

買受人	188 社	
買出人	506社	

(2)　財産管理

市場の土地・建物は、小山市、栃木市、下野市、壬生町、野木町の共有財産であり、管理に関する事務は小山市へ委託している。その事務に要する費用は構成市町が負担率に応じて負担している。

・事務委託費：令和 6 年度における本市の負担分 3,856,653 円

・構成市町の共有財産

区　分	数　量　等	備　考
土地	61筆　計111327.80㎡	内栃木県中央食販㈱へ貸付12547.16㎡
建物	15棟　延23506.68㎡	
設備	冷蔵機械設備 等　10件	
付属施設	囲障、受水槽 等　10件	

・構成市町負担率（共有財産の持分）

小山市	66.60%
栃木市	29.09%
下野市	0.95%
壬生町	1.82%
野木町	1.54%

(3)　栃木県南地方卸売市場管理評価委員会

開設者が行う管理運営状況について、外部専門家を交えて評価、指導等を行った。

開催日時：2月20日（木）　午前10時00分

評価対象期間：令和5年10月1日～令和6年9月30日

7　ふるさと農業体験学習事業

地域農業への理解促進や就農意欲の喚起、及び本市農業の担い手確保を目的として、栃木市農業士会及び岩舟町ぶどう生産出荷組合との共催により「ふるさと農業体験学習（ぶどう収穫体験会・新規就農相談会）」を開催した。

開催日：9月7日（土）

会場：いわふねフルーツパーク、岩舟農村環境改善センター（こなら館）

内容：ぶどう（巨峰）収穫体験会、新規就農相談会

参加者数：86人（うち新規就農相談会参加者28人）

8　農業者団体等育成事業

本市農業の振興と地域社会の発展に寄与することを目的に、各種農業者団体等の指導、育成を行うとともに、実施事業に対する支援を行った。

補助金等名称	相手方	補助額（円）	補助対象事業の内容

栃木市認定農業者 協議会補助金	栃木市認定農業者 協議会	134,000	講演会費用 （講師謝礼、会場費）
農業改良団体育成助長 補助金	栃木市農村生活 研究グループ協議会	42,200	県・地区会費負担金
	栃木市農村女性会議	8,626	視察研修会費用 （保険料、高速代の一部）

9　地域計画策定事業

令和4年度の農業経営基盤強化促進法改正により、従来の人・農地プランが法制化され、令和6年度までに「地域計画」とその付図である「目標地図」を策定することとされたことから、集落･地域における話し合いに基づき、地域農業のあり方などを明確化した「地域計画」を策定した。

(1)　地域計画策定に向けた取組

各集落・地域において、農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり、「地域の田畑を今後どうするか考える座談会」を開催し、10年後の地域農業の姿について地域における話し合いを行った。

区　分	主　催	回　数	時　期
地域の田畑を今後どうするか 考える座談会	市 農業委員会事務局	8回	1月17日～31日

(2)　農地利用地域計画策定懇談会

地域農業の実情を地域計画に反映するため、農業者、農業関係団体、及び公募委員等で構成する農地利用地域計画策定懇談会を開催した。

開催日：2月28日（金）

出席委員：13名

内容：地域計画（案）及び目標地図（案）の確認、地域農業が抱える課題等についてのフリートーク等

(3)　農地中間管理機構を活用した農地集積の促進

農地流動化の取組に関連し、地域の農地をまとめて農地中間管理機構に貸し付けて担い手への農地集積・集約化を図る場合、機構集積協力金の交付対象となる。土地改良事業に伴い、地域での説明会や話合いを実施したが、地域の合意までには至らなかった為、令和6年度の申請はなし。

・機構集積協力金の活用状況

区　分		対象者（人）	対象面積（ha）	補助金額（円）
機構集積 協力金	地域集積協力金	－	－	－
	集約化奨励金	－	－	－

10　農業振興地域整備促進事業

(1)　農業振興地域整備計画の一般管理（農振除外）

農地に係る社会的・経済的情勢の変化を考慮しつつ、農林業と都市計画の健全な調和の観点から限られた土地資源を有効に配分するため、農業振興地域整備計画の変更（いわゆる農振除外）の申出を受け付け、一般管理を行った。

(2)　農業振興地域内の農用地等の面積（令和6年12月31日時点）　（単位：ha）

区分		総面積	農用地						混牧林地	農業用施設用地	混牧林地以外の山林原野	その他
			農地				採草放牧地	計				
			田	畑	樹園地	計						
現況	農業振興地域	16,942	7,962	1,813	217	9,992	2	9,994	2	54	1,468	5,424
	農用地区域	7,331	6,369	721	154	7,244	－	7,244	－	52	6	29
	農振白地地域	9,611	1,593	1,092	63	2,748	2	2,750	2	2	1,462	5,395

(3)　農振除外申出受理件数　（単位：件）

区分	件数
重要変更	11
軽微な変更	5

11　農業委員会との調整

農業経営基盤強化促進法に基づく利用権設定等事務、農業振興地域の整備に関する法律に基づく農振除外事務及び農地法に基づく農地転用事務を適正かつ円滑に遂行するため、農業委員会との連携・調整、及び意見照会を行った。

12　諸証明の発行状況　（単位：件）

件名	件数
農振農用地区域等の証明	22
譲渡所得の特別控除に係る土地等についての証明等	－
登録免許税の税率の軽減措置に係る土地の取得証明	11
合計	33

13　一般財団法人栃木市農業公社に関する事業

栃木市全域をカバーする農業公社の自主的かつ安定的な運営を支援するため、運営費を補助した。

・補助金額：17,590,000円

14　栃木市農業ビジョンの進捗管理

平成29年から令和8年までの10年間の本市農業のあるべき姿や方向性を描いた「栃木市農業ビジョン」に掲げた7つのプロジェクトと、その行動計画である「栃木市農業振興アクションプラン」の進捗状況について、管理・点検を行った。

・栃木市農業振興推進会議

開催回数：1回（12月13日（金））

内容：栃木市農業ビジョンの進捗状況、地域計画の策定状況、意見交換（栃木市有機農業実施計画（素案）について、『「農業」で栃木を明るくステキな街へ』を実現するために）

生産振興係

1　農業生産振興事業

農業生産の規模拡大や経営の安定化を図るため、機械施設の導入などに対し支援を行った。

区　　分	事業内容	取組件数	補助額（円）
土地利用型園芸産地展開加速化事業（県補助）	経費補助	1経営体	2,105,000
土地利用型園芸産地新たなチャレンジ支援事業（県補助）	経費補助	1経営体	6,156,000
園芸大国とちぎフル加速総合対策事業(施設園芸規模拡大支援事業)（県補助）	経費補助	1経営体	5,439,000
園芸大国とちぎフル加速総合対策事業(スマート果樹園推進事業)（県補助）	経費補助	2経営体	892,000
産地生産基盤パワーアップ事業（麦・大豆機械導入対策）（国庫）	経費補助	6経営体	36,039,000
産地生産基盤パワーアップ事業(収益性向上タイプ）（国庫）	経費補助	9経営体	49,068,000

【令和5年度繰越】

区　　分	事業内容	取組件数	補助額（円）
担い手確保・経営強化支援事業（国庫）	経費補助	1経営体	472,000

2　稲等病害虫防除事業

病害虫防除を広域的かつ効率的に行うとともに、農業者の作業負担の軽減を図るため、ラジコンヘリコプター等を使用した共同防除の取組を支援した。

（予算内での定額補助）

補助金額：13,638,200円

面　　積：3,022ha

対 象 者：19団体(1,739人)

3　優良種苗購入事業

いちごの親苗由来の病害を抑制し生産量と品質の維持向上を図るとともに、推奨品種への転換を促進するため、優良種苗調達の取組を支援した。

（予算内での定額補助）

事業主体：下野農業協同組合、上都賀農業協同組合
補助金額：835,912円（とちおとめ・スカイベリー、とちあいか8円/本）
事業内容：優良種苗の供給　104,489本

4　農業用廃ビニール処理事業

農業用廃ビニールの分別回収と適正処分を促進するため、廃棄に係る費用の一部を支援し実施者の負担軽減を図った。

（予算内での定額補助）
事業主体：市内6地域の廃プラスチック処理対策団体
事業内容：農業用廃ビニール分別回収、適正処理
処 理 量：258.6t
補助金額：1,550,000円(処理経費の約8%)

5　環境保全型農業直接支払交付金

地球温暖化防止や生物多様性の保全等に寄与する営農活動を行う農業者グループ等に対し、経費の一部を支援した。

活動組織名	実施地区	対象農家数（戸）	事業内容	交付額（円）
栃木市環境保全型農業研究会	大久保町、大塚町、藤岡町（藤岡、大前、新波）、大平町（西野田、西水代）	9	有機農業　1,508 a 有機＋堆肥　233 a 堆肥施用　7,334 a 秋耕　278 a 緑肥　1,005 a	5,988,000

6　有機農業産地づくり実施計画策定委託事業

国の「みどりの食料システム戦略」及び県の「とちぎグリーン農業推進方針」に沿って、本市の農業生産における環境負荷低減の取組を推進するため、農業者団体や流通・販売関連団体等から選出された委員で構成する栃木市有機農業実施計画策定懇談会を開催して意見を取りまとめ、栃木市有機農業実施計画を策定した。

計画策定業務委託料：2,566,905円

懇談会開催日	出席委員	内容
9月30日(月)	13名	栃木市有機農業実施計画の策定方針について等
10月29日(火)	11名	栃木市有機農業実施計画の素案について等
11月26日(火)	10名	栃木市有機農業実施計画の素案について等

7　畜産振興事業関係

(1)　畜産団体育成補助金

本市畜産業の振興を目的として、畜産農業者が連携して行う実践活動及び自衛的に実施する家畜防疫事業に要する費用の一部を支援した。

支出先：栃木市畜産協議会

補助額：200,000円

(2)　繁殖牛導入促進支援補助金

子牛の繁殖及び繁殖･肥育の一貫経営に取り組む農業者の経営の安定を図るため、繁殖牛導入経費の一部を補助した。

取組件数：1経営体

補 助 額：84,000円（1頭あたり導入経費の1割（上限10万円））

農村振興係

1　農産物ＰＲ事業

県内外において開催されたイベント等において、市内農畜産物をＰＲし、販売促進を図った。

また、県主催「いちご王国プロモーション事業」の協賛として、県内外において開催されたイベント等においていちごの販売促進及びのぼり旗やポスター等によるディスプレイを実施し、県産いちごのＰＲを図った。

・農業振興課職員参加のＰＲイベント

名　称	日　時	場　所	内　容
佐野まるっとマルシェ	4月27日(土) ～4月29日(月)	佐野プレミアムアウトレット 遊歩道	・いちご、いちごやぶどうのジャムやジュース、梅酢、漬物等販売
県民の日 東武宇都宮線 フリー乗車DAY	6月15日(土)	東武野州大塚駅 栃木駅	・いちご、いちごやぶどうのジャムやジュース、鉢花の販売 ・野菜等の配布
栃木市産ぶどうのPRイベント	7月26日(金)	北千住駅 2階中央改札内	・種なし巨峰、シャインマスカット、野菜の販売
佐野まるっとマルシェ	10月12日(土)	佐野プレミアムアウトレット 遊歩道	・玉ねぎ、シャインマスカット、里芋、にっこり梨の販売
魅力発信イベント	10月30日(水) ～31日(木)	丸の内 (明治安田生命ヴィレッジ) ビル2階	・ジャム、ジュース、野菜、米、果物、味噌、漬物等販売 ・にっこり梨の試食

・いちご王国プロモーション事業

名　称	日　時	場　所	内　容
佐野まるっとマルシェ	4月27日(土)	佐野プレミアムアウトレット	・いちご、いちごジャム、いちごジュース等

		遊歩道	の販売 （道の駅みかも出店）
「いちご王国」ＰＲディスプレイの実施	R7年 1月10日(金) ～2月27日(木)	栃木市役所本庁舎 （2階吹抜）	・市役所本庁舎を利用し、のぼり旗、ポスター掲示等いちご王国のＰＲを実施
Berry2HappyTrain運行開始記念スペシャルマルシェ	1月19日(日)	東武宇都宮駅構内	・いちごジャム、いちごジュース、いちご使用のパン3種等の販売
SL×DL とちぎ鉄道フェスティバル	1月25日(土)	栃木駅 JR岩舟駅	・いちごのＰＲ販売、いちご検定実施
栃木市産いちご直売会	3月26日(水)	日本橋プラザビル南広場	・いちごの販売

2　地域農産物活用補助事業関係

(1)　栃木市直売所連絡協議会関係

直売所相互の連携体制を構築し、地産地消を推進するため、共通のＰＲ用チラシ及びポスターの作製・配布による支援を実施した。

事　業　主　体：栃木市直売所連絡協議会

事　業　内　容：直売所が実施する「地産地消」や「安全・安心ＰＲ」に関する事業の経費に対し補助する。

対象直売所数：12か所

補　助　金　額：188,000円

(2)　直売所出荷農家表彰制度

農業に生きがいを持ち、楽しく頑張る農家を後押しすることを目的として、各直売所より推薦のあった対象者に賞状と記念品を贈呈した。

・表彰対象者　　8名

3　都市農村交流事業

地域資源を生かした農業体験事業を通じ、都市農村交流の活性化及び地域農業振興の促進を図る取組を支援した。

・各地区における交流事業実施状況

地　区	開　催　日	名　称	参加者(人)
吹上地区	6月15日(土)、9月28日(土)、12月21日(土)	吹上米づくり体験教室	200
寺尾地区	5月26日(日)、9月14日(土)	寺尾米づくり体験教室2024	198
下高島地区	5月26日(日)、10月1日(火)	茶豆オーナー制度引渡し	220
北武井地区	10月20日(日)	黒大豆オーナー制度引渡し	820

新地区	10月20日(日)	黒大豆オーナー制度引渡し	364

4　農産物加工施設等の管理運営事業

地域農村のコミュニティづくりのほか、加工による地域農産物の消費拡大、付加価値向上、及び地域農業に対する理解促進を図るため、農産物加工施設の管理・運営を行った。

・施設の利用状況

施　設　名	利用日数（日）	利用人数（人）	主な利用目的
農村振興総合センター	93	1,302	味噌づくり､農業関係団体の会議、市民講座会場・練習等
大平西地区農産加工所	96	654	ぶどうジャム・ジュースづくり 味噌づくり
大平農村婦人の家	14 (内：選挙3日間)	165	地元団体(自治会・水利組合)会議 ※設備劣化のため調理室使用中止
藤岡農産加工センター	37	221	味噌づくり
西方農産加工所	364	3,682	いちごジャム・ジュース、弁当、惣菜、漬物、梅干し等の製造・加工、味噌づくり
西方農村婦人の家	67	297	
岩舟町ふるさとセンター	77	599	味噌づくり、地元団体の会議

5　都賀生出(おいで)宿里の駅施設管理事業

直売所やカタクリの里等、市の主要な観光地を訪れる観光客の利便性向上を図るため設置された、生出宿公衆トイレ施設の維持管理及び、修繕を行った。

6　とちぎアグリフェスタ事業

農産物等の販売を通し、生産者と消費者の相互理解を深めるとともに、地域農業の振興と地域農産物のＰＲ並びに食と農に対する理解と正しい知識を深めることを目的に、下野農業協同組合との共催により、とちぎアグリフェスタ2024を開催した。

なお、今年度から、下野農業協同組合の組織が統廃合されたのを機に実施地域を拡大し、２会場で2日間開催した。

開　催　日	会　　場	来　場　者　数
11 月 23 日（土）	栃木市大平運動公園 第一多目的広場	約 21,000 人
12 月 7 日（土）	栃木市総合運動公園 中心広場	約 22,000 人

実施内容：地域農産物の販売と屋台の出店、農産物無料配布、お買上げ抽選会等

7　道の駅管理運営事業

本市の農畜産物や地域特産品の紹介、販売、及び地域情報の発信を通して、都市と農村の交流を促進することを目的に道の駅みかも及び道の駅にしかたを指定管理者制度の導入により管理運営を行った。主な取り組みとして、民間の活力とノウハウを生かして農産物の消費拡大と高付加価値化に取り組んでいるほか、各種イベントを開催して地元農産物や特産品等のＰＲを行った。

(1)　道の駅みかも

・売上等実績

施設名	客　数　(人)	売上額　(円)
農産物直売室	346,291	334,780,052
物産館	295,419	186,820,273
農産物加工販売室「ジェラート工房」	40,489	20,558,155
地域食材供給室「レストランみかも」	57,280	49,213,430
合　　計	739,479	591,371,910

・主なイベント

イベント名	開　　催　　日
感謝祭	3月2日(日)

(2)　道の駅にしかた

・売上等実績

施設名	客　数（人）	売上額　（円）
農産物直売所「ふれあいの郷」	199,348	291,624,787
農村レストラン「ふるさと一番」	147,567	104,417,900
交流物産館「さくら」	42,696	58,806,175
合　　計	389,611	454,848,862

・主なイベント

イベント名	開　催　日
夏の感謝祭	7月21日(日)
秋の感謝祭	11月24日(日)

8　むらづくり施設管理運営事業

いわふねフルーツパークセンターは、農産物の加工及び販売を通じた都市と農村の交流促進、岩舟農村環境改善センターは農業者及び農村地域在住者の生活改善、健康増進等の促進及び地域活性化を目的として設置されている。両施設は指定管理者制度を導入し、民間の活力とノウハウを生かして、観光による農業・農村への理解促進と地域活性化、市民や観光客の交流促進に取り組み、施設の効果的な活用を図った。また、むらづくり施設の維持管理（補修等）を実施した。

(1)　売上等実績

施設名	客数(人)	売上額(円)	備考

いわふねフルーツパークセンター	225,511	375,440,684	
岩舟農村環境改善センター（こなら館）	9,028	698,410	施設利用料
合　　計	234,539	376,139,094	

(2)　維持管理（補修等）

施設名	補修等内容	金額(円)
いわふねフルーツパークセンター	空調機器修繕工事	326,150
岩舟農村環境改善センター（こなら館）	ブラインド交換工事	485,000

第４節　農林整備課

〔総括概要〕

農村整備係においては、農業水利施設の維持管理及び老朽施設の更新や農道の舗装を実施するとともに、農村地域が有する多面的機能の適切な保全管理に取り組む団体の活動を支援した。

また、下流域の浸水被害軽減に向けた「流域治水」の対策として田んぼダム整備事業を推進するとともに、防災・減災事業として今後防災工事を実施する予定の防災重点農業用ため池について、実施計画の策定を行った。

林務係においては、森林の有する多面的機能の維持を目的として、森林の適正な経営管理の推進と林業関連事業体や担い手の育成及び森林整備の普及啓発を実施した。

獣害対策係においては、有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害を防止するため、地元猟友会や関係機関と連携し、鳥獣被害対策の3つの柱である「捕獲」・「侵入防止対策」・「生息環境管理」の推進に向けた支援を実施した。

農村整備係

1　市単独農業農村整備事業

農業水利施設の維持管理及び老朽化した施設の改修等を実施した。

(1)　実施事業

事業箇所（地区名）	事業内容	事業費（円）
岩舟町（静和）	静和川浚渫	1,265,000
大塚町	大塚排水路除塵機周辺浚渫	385,000
藤岡町（富吉）	西前原排水機場樋管堆積土砂除去	995,500
皆川城内町	皆川城内町水路　畦畔復旧工事	137,500

(2)　補助金

団体名	事業箇所（地区名） 事業内容	事業費 （円）	補助額 （円）
栃木市土地改良区	尻内町（寺尾南部地区） ・水路接続改良　他２件	1,811,370	362.274
栃木市東部土地改良区	仲仕上町（仲仕上地区） ・揚水ポンプ更新　他２件	4,477,000	895,400
大美間土地改良区	大平町蔵井（蔵井地区） ・揚水ポンプ更新	1,727,000	345,400
藤岡土地改良区	藤岡町部屋（部屋南部地区） ・Ｕ字溝敷設替え　他１件	2,266,000	453,200

都賀町土地改良区	都賀町大橋（大橋深沢南地区） ・法面復旧　他２件	3,590,565	718,110
小倉堰土地改良区	西方町本城（西方地区） ・小倉堰流木撤去 他３件	3,894,066	1,397,661
大岩藤土地改良区	岩舟町下岡（大岩藤地区） ・暗渠パイプ設置 他７件	5,260,000	1,052,000
岩舟土地改良区	岩舟町静和（静和地区） ・水中ポンプ交換	1,733,600	346,720
伯仲水利組合	大平町伯仲（伯仲地区） ・揚水ポンプ更新	2,530,000	506,000
富吉北部土地改良事業協同施行	藤岡町富吉（富吉地区） ・水中ポンプ交換	682,000	136,400
水代新水利組合	大平町西水代（西水代地区） ・揚水ポンプ交換	2,245,001	449,000
新水利組合	大平町新（新地区） ・揚水ポンプ交換　他１件	2,718,700	543,740

２　県単独農業農村整備事業

老朽化した農業水利施設の改修等を実施した。

(1)　実施事業

事業箇所（地区名）	事業内容	事業費（円）
栃木市野中町地内（旧赤津川）	水路改修 L＝13m	9,392,900

(2)　補助金

団体名	事業箇所（地区名） 事業内容	事業費 （円）	補助額 （円）
栃木市東部土地改良区	今泉町（今泉地区） ・水路改修 L=192.1m	7,909,000	4,290,000
栃木市東部土地改良区	大宮町（大宮地区） ・揚水機改修　１箇所	4,717,900	2,585,000
大岩藤土地改良区	岩舟町和泉（大岩藤地区） ・ポンプ設備更新工事　１箇所	847,000	435,400
栃木市土地改良区	木野地町（吹上東部１地区） ・揚水機改修　１箇所	8,017,900	4,400,000
大岩藤土地改良区	岩舟町五十畑（大岩藤地区(2)） ・バイパス管布設	3,088,800	1,430,000
栃木市土地改良区	梅沢町（寺尾南部地区） ・揚水機改修　１箇所	4,067,000	2,200,000
都賀町土地改良区	都賀町木（赤津南部地区）	2,814,000	1,540,000

	・揚水機改修　1箇所		
（翌年度へ繰越） 栃木市土地改良区	木野地町（吹上東部地区） ・揚水機改修　1箇所	5,000,000	2,750,000
（翌年度へ繰越） 都賀町土地改良区	都賀町富張（赤津南部地区） ・赤津川用水堰補修　1箇所	2,200,000	1,210,000
（翌年度へ繰越） 大岩藤土地改良区	藤岡町都賀（大岩藤地区） ・中央幹線漏水補修工事　1箇所	1,600,000	1,120,000

3　農地耕作条件改善事業

地域計画の策定区域において、農業者が農業を継続できる環境を整えるため部屋南部地区の老朽化した農業用排水路改修事業を進めた。また、土地改良区が実施する事業に対し、補助金を交付した。

(1)　部屋南部地区排水路改修工事（翌年度に繰越）

ア　実施設計業務委託　1,496,000 円（内、市負担額35％）

イ　工事管理業務委託　3,454,000 円（内、市負担額35％）

ウ　排水路改修工事（繰越予算分、L=93ｍ）　80,863,000 円（内、市負担額35％）

エ　排水路改修工事（現年度予算分、L=89ｍ）76,921,000 円（内、市負担額35％）

(2)　補助金

地区名	実施主体	事業内容	補助額（円）
国府南部(7)	国府土地改良区	揚水機改修	5,320,000
下岡・三谷	大岩藤土地改良区	排水路改修	2,900,000

4　維持管理適正化事業補助金

土地改良施設維持管理適正化事業に取り組む土地改良区等に対し、市補助金として、事業費の10％を補助した。

事業主体	事業箇所（地区名） 事業内容	事業費(円)	補助額 (円)
栃木市土地改良区	尻内町（尻内梓地区） ・揚水機改修	3,500,000	350,000
都賀町土地改良区	都賀町大柿（深沢大柿地区） ・水中ポンプ、揚水管交換　他1件	24,940,000	2,494,000

5　部屋南部地区かんがい排水事業負担金

県が実施する土地改良事業に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

事業名	事業箇所	事業期間	事業内容	負担額（円）
水利施設整備事業 （かんがい排水）	部屋南部地区	H30～R9	排水機場改修 一式	184,773,500

6　水施設等保全高度化事業負担金

県が実施する亀の子堰（所在地：小山市大川島、受益地：藤岡町新波地区）の改修工事に係る法定負担金（受益者負担金）を支出した。

事業名	事業箇所	事業期間	事業内容	負担額（円）
水利施設高度化事業	亀の子堰地区	R5～R8	堰の改修	16,000
農地集積促進事業				2,000

7　国営かんがい排水事業栃木南部地区負担金

国営土地改良事業栃木南部地区の事業促進と、関係市町及び土地改良区の連絡調整及び施設の維持管理体制等の確立を目的とした協議会へ負担金を支出した。

・支出先　栃木南部地区国営土地改良事業推進協議会

・負担金　120,000円

8　皆川西部地区ほ場整備事業

皆川西部地区の農業生産基盤を一体的に整備するほ場整備事業推進のため、調査業務を行った。

業務委託名	事業内容	事業費（円）
経営体育成促進換地等調整業務委託	地区内状況等状況調査 地区内アンケート調査	1,518,000
市単経営体育成促進換地等調整業務委託	相続関係説明図作成	275,000

9　防災重点農業用ため池整備事業

市内の防災重点農業用ため池25か所について、「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき、令和12年度までに防災工事を進めることとなっており、令和6年度については、防災工事の実施計画策定を行った。

また、市内の農業用ため池7か所について、水害対策のために台風時期に合わせてため池の水位を下げて貯水容量を増やす「低水管理」を管理者に委託し、実施した。

(1)　防災重点農業用ため池実施計画策定業務委託

実施箇所　7か所

ア　繰越予算分（2か所）　　11,000,000円（全額国庫補助）

鷲巣溜（中）（岩舟町鷲巣）、岩の入溜（上）（岩舟町三谷）

イ　現年度予算分（5か所）　27,852,000円（全額国庫補助）

星の宮溜（下）、堤溜（上）、堤溜（下）（岩舟町三谷）、

道場溜（岩舟町小野寺）、西谷津溜（大平町西山田）

(2)　農業用ため池低水管理業務委託

実施箇所

ため池名	事業箇所	管理者
南嶺溜	都賀町大柿	都賀町土地改良区

深沢芦ノ沢溜	都賀町深沢	都賀町土地改良区
荒川１号溜	都賀町木	都賀町土地改良区
荒川２号溜	都賀町木	栃木市土地改良区/都賀町土地改良区
鷲巣溜（下）	岩舟町鷲巣	大岩藤土地改良区
星の宮溜（下）	岩舟町三谷	三谷地域自治会連合会
梓溜	皆川城内町	栃木市土地改良区

・委託費　　1,260,000円（内、市負担額は25%）

10　多面的機能支払交付金事業

非農家を含めた地域共同による農地・農業用水等の保全管理と農村環境の保全向上等の取組を支援するために、補助金を支出した。

※市負担額は、事業費の 25%

活動組織名	事業内容	事業実施面積（a）	事業費(円)
仲仕上みどりの里	農地維持、資源向上	田：4,494	2,157,120
大塚田んぼの会	農地維持、資源向上	田：13,561 畑：1,766	7,053,208
細堀・木の西みどりの会	農地維持、資源向上	田：3,245 畑：567	1,732,236
川原田めぐみの里	農地維持、資源向上	田：2,978　畑：283	1,516,604
宿前みどりの会	農地維持、資源向上	田：3,620　畑：79	1,761,932
吹上東部環境保全会	農地維持、資源向上	田：5,740　畑：1,167	3,114,636
春名塚環境保全会	農地維持、資源向上	田：12,185　畑：406	5,973,848
沼和田東部環境保全会	農地維持	田：4,300	1,290,000
尻内梓環境保全会	農地維持	田：2,100　畑：260	682,000
和田環境保全会	農地維持	田：620	186,000
高谷町グリーンクラブ	農地維持、資源向上	田：4,747　畑：263	2,359,564
寺尾南部環境保全会	農地維持	田：8,200　畑：500	2,560,000
寺尾北部地区農地・水保全の会	農地維持	田：4,512　畑：697	1,493,000
西山田自然環境保全会	農地維持、資源向上	田：8,826　畑：7,006	6,394,328
富田七環境保全会	農地維持、資源向上	田：5,044　畑：210	2,485,800
西水代環境保全会	農地維持、資源向上（加算有）	田：10,446　畑：197	5,388,136
あらい水と緑の会	農地維持、資源向上	田：9,924　畑：62	4,782,616
上高島環境保全会	農地維持、資源向上	田：5,138　畑：160	2,515,520
水代新水利組合環境保全会	農地維持	田：1,729　畑：35	525,700

西野田環境保全会	農地維持、資源向上	田：5,077　畑：64	2,456,672
大平東部環境保全会	農地維持、資源向上	田：56,407　畑：719	18,628,588
下皆川環境保全会	農地維持、資源向上	田：3,371　畑：667	1,823,516
戸崎農地保全組合	農地維持	田：3,407　畑：262	1,074,500
万葉の郷保全会	農地維持	田：5,156　畑：92	1,565,200
ふじおか環境保全会	農地維持、資源向上（加算有）	田：64,739 畑：1,142	23,185,786
新波・巴波の郷	農地維持、資源向上（加算有）	田：9,858　畑：307	5,127,662
富張地区環境保全会	農地維持、資源向上	田：9,840 畑：1,785	5,272,980
大柿の郷をまもる会	農地維持、資源向上	田：11,066 畑：4,420	6,673,040
木の西環境保全会	農地維持、資源向上	田：2,461　畑：575	1,358,380
遊泉の会	農地維持、資源向上	田：23,005　畑：1,715	11,570,620
大橋深沢南地区環境保全会	農地維持	田：2,536　畑：25	765,800
ふるさと古江 21	農地維持、資源向上	田：3,700　畑：436	1,910,288
小名路里山を守る会	農地維持、資源向上	田：2,131　畑：149	1,068,772
静和川活動組織	農地維持	田：16,842 畑：3,220	5,696,600
沖田の里を守る会	農地維持	田：1,992	597,600
和泉活動組織	農地維持	田：10,173　畑：473	3,146,500
三谷地域の自然を守る会	農地維持、資源向上	田：3,596　畑：655	1,927,820
両岡環境保全会	農地維持	田：3,886　畑：990	1,363,800
静戸川活動組織	農地維持	田：2,641　畑：2,253	1,242,900
思川西部環境保全会	農地維持、資源向上（加算有）	田：9,284　畑：161	4,787,326

11　田んぼダム整備事業業務委託

市内中心市街地の浸水被害軽減対策として、関係土地改良区に対して、田んぼダム整備業務委託を行った。

委託先	事業量	委託料（円）
栃木市土地改良区	落水調整桝設置 吹上東部地区　27 基(6.3ha) 栃木市西部地区　34 基(8.4ha) 高谷地区　21 基(5.3ha)	 1,914,000 2,189,000 1,441,000

小倉堰土地改良区	落水調整桝設置　　18基(5.0ha)	1,111,000
大岩藤土地改良区	落水調整桝設置　　23基(6.3ha)	2,189,000

12　西前原湛水防除事業

農業用施設及び住宅の湛水被害を防止するため、西前原排水機場の維持管理及び運転を行った。

・運転回数　1回（4日間）
・ポンプ稼働時間　94時間34分（ポンプ4台稼働累計）
・事業費　10,565,385円

13　排水事業維持管理補助金

土地改良区の管理する排水機場の維持管理及び運転に係る経費の一部を補助金として交付した。

・事業費　　2,166,237円（内、市補助額1,571,234円）
・実施箇所　3か所（部屋南部地区（石川排水機場）、新井地区（鳥谷崎排水機場）、東谷津地区（東谷津排水機場））

14　排水機場維持管理負担金

受益地に栃木市が含まれる排水機場の維持管理に係る経費の一部を関係市町等に支出した。

対象施設	相手方	負担金(円)
荒川排水機場、与良川排水機場	小山市	1,931,000
界排水機場	佐野市	225,272
邑楽東部第一排水機場	板倉町	361,000
渡良瀬川中央地区水管理施設	渡良瀬川中央区 水管理施設管理協議会	60,000

15　水利施設管理強化事業補助金

土地改良区等の農業水利施設に要する電気使用料の高騰対策として、国庫補助事業により電気料高騰額の70%を補助した。

・土地改良区等　10団体
・補助額　　12,363,000円（全額国庫補助）

16　農村公園管理事業

農村地域の憩いの場となる農村公園の維持管理を実施した。

名称	所在	維持管理委託先	委託料(円)

三谷農村公園	岩舟町三谷 132 番地 2	三谷区	80,000
中妻農村公園	岩舟町小野寺 4698 番地	中妻自治会	80,000
羽抜農村公園	岩舟町静 4199 番地 1	羽抜区	80,000
御門農村公園	岩舟町静 3604 番地 2	御門自治会	80,000

17　地籍調査事業費

国土調査法に基づき、土地一筆ごとに所在・地番・地目・境界等の調査測量を行い、土地に関する基礎資料として地籍簿、地籍図を作成する。

令和6年度は、岩舟町静地内における成果物の誤謬訂正のため、境界確定測量及び地図訂正図面作成業務を委託するとともに、栃木県国土調査推進協議会に対する負担金を支出した。

実施事業

事業個所	事業内容	委託料(円)
栃木市岩舟町静地内	境界確定測量・地図訂正図面作成業務	475,200

林務係

1　アメリカシロヒトリ駆除事業

アメリカシロヒトリの蔓延防止を目的として、自主駆除を促進するために背負式噴霧器と高枝切りバサミの貸出しを実施した。

(1)　噴霧機及び高枝切りバサミの貸出し状況

・背負式噴霧機　　4件
・高枝切りバサミ　　2件

2　治山林道管理事業

利用者の安全を確保するため、市内林道、水路及び太平山下水資源確保治山ダムの維持管理を実施した。

(1)　林道等維持補修工事

・林道下皆川線舗装補修工事（大平町下皆川）　88,000円
・林道西山田線舗装補修工事（大平町西山田）　297,000円
・岩船山採石場入口土留め工事（岩舟町新里）　341,000円
・治山ダム阻害物除去工事（平井町）　99,000円
・仲方町排水路整備工事（仲方町）　418,000円
・大久保町排水路浚渫工事（大久保町）　418,000円
・大平町西山田水路整備工事（大平町西山田）　163,900円

(2)　林道等改修工事

・林道西山田線復旧工事　567,600円

(3)　除草業務委託

・林道下皆川線・大中寺下皆川線除草業務委託　　463,320円
・林道西山田線除草及び側溝土砂清掃業務委託　　498,630円
・林道真上男丸柏木線植栽管理業務委託　　187,323円

(4)　維持管理業務委託

・林道下皆川線・大中寺下皆川線維持管理業務委託　　499,620円
・林道西山田線維持管理業務委託　　495,000円
・岩舟小野寺地区水路浚渫業務委託　　483,000円
・林道下皆川線スズメバチ駆除業務委託　　22,000円
・倒木処理業務委託　3件　　280,500円

(5)　太平山下水資源確保治山ダム維持管理業務委託

・業務概要　ダム周辺の清掃、草刈り等を平井町自治会に委託
・実施期間　通年
・委託費　　56,000円

3　生活環境保全林維持管理事業

生活環境保全林の維持管理を実施した。

・生活環境保全林維持管理業務委託(片岡山)　　249,997円

4　出流ふれあいの森管理事業

(1)　管理運営委託

平成18年度から指定管理者制度を導入しており、施設の管理運営を委託した。

・指定管理者　　みかも森林組合
・指定管理期間　令和6年度～令和8年度
・委託費　　8,584,000円

(2)　施設管理

・施設用地の賃借料　　2,754,299円
・借地面積　　34,886.7㎡（地権者17人）
・賠償保険料（森林国営保険料）　　786,750円
・施設修繕費
　コテージ修繕工事（2件）　　493,350円
　蕎麦打ち室空調機取替え工事　　154,000円
　コテージカーテン・網戸設置工事　　485,650円
　ローラー滑り台支柱修繕工事　　550,000円
・工事請負費
　小コテージエアコン取付工事　　330,000円
　キャンプ場浸透桝設置工事　　660,000円

(3)　施設利用状況　　（単位：人）

入園者	キャンプ場		バーベキュー場	スベリ台	コテージ	
	一般	オート			大	小

12,119	527	798	909	152	197	263

5　木とのふれあい体験事業

(1)　林業体験教室

森林資源の有効活用と水源涵養等森林の持つ公益的機能についての理解を深めてもらうため、小学生を対象に間伐体験教室を開催した。

・実施日　　11月30日（土）

・参加者　　市内の小学校児童5・6年生と保護者5人

・内　容　　間伐体験

(2)　水とみどりのふれあい体験活動

森林資源の有効活用と水源涵養等森林の持つ公益的機能についての理解を深めてもらうため、出流ふれあいの森において小学生とその保護者を対象に木工教室やホタルの幼虫放流等を内容とした教室を開催した。

・実施日　　2月8日（土）

・参加者　　8家族　32人

・内　容　　木工教室、ホタル幼虫放流、特用林産教室（なめこ駒打ち）

6　とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業

とちぎの元気な森づくり市町村交付金事業に取り組み、里山林の維持管理をするために、除伐や刈払い等を実施した。

(1)　里山林整備事業（野生獣被害のための里山林整備事業）

実　施　箇　所	事業量(ha)	交付金(円)
大平町西山田地内	2.0	100,000

(2)　里山林整備事業（地域で育み未来につなぐ里山林整備事業）

実　施　箇　所	事業量(ha)	交付金(円)
岩舟町静地内	3.7	740,000

(3)　里山林管理事業（地域で育み未来につなぐ里山林整備事業交付期間満了分）

実　施　箇　所	事業量(ha)	交付金(円)
都賀町家中地内	0.6	30,000
岩舟町静地内	6.4	320,000

7　森を育む人づくり事業交付金

森を育む人づくり事業交付金を活用し、地域や地域住民による森林を活用した森づくり活動を交付金により支援した。

(1)　みんなの元気な森づくり支援事業交付金

・支援団体　　4団体（皆川地区街づくり協議会、みかも森林組合、渡良瀬エコビレッジ、栃木市林業振興会）

・交付金額　　579,894円

(2)　林業担い手育成事業交付金

・支援団体　　1団体（林業・木材製造業労働災害防止協会）

・交付金額　　86,400円

8　つがの里周辺管理事業

(1)　周辺緑地賃借料

都賀地域の重要な観光地である「つがの里」周辺の臼久保地区緑地を保全するとともに、観光資源として活用するために用地の賃借を行った。

・借上面積　　10,254 ㎡

・借上金額　　90,560 円

(2)　木道・休憩場修繕工事

・あずまや修繕工事　　42,900 円

9　森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業

地域住民等による里山林の保全管理や資源を利用するための活動に対して交付金を支出した。

交付金負担割合　国：75%、県：12.5%、市：12.5%

内　　訳	取組組織数	面積等（ha）	交付金（円）
地域環境保全（里山林保全）	18	211.3	30,849,800
地域環境保全（侵入竹除去・竹林整備）	1	0.6	195,000

・取組組織　18組織　　・市負担額　3,827,400円

10　森林法に基づく許認可事務

(1)　林地開発行為の許可、届出書の受理、監督処分

・処理件数　林地開発許可申請書（変更）　1件

(2)　伐採及び伐採後の造林届出書

・処理件数　18件

(3)　保安林の制限に関する事務

・保安林内（立竹の伐採等行為）許可　　1件

(4)　火入許可（栃木市火入れに関する条例に基づく）

・処理件数　　6件

11　自然環境の保全及び緑化に関する条例に基づく許認可事務

(1)　県自然環境保全地域内における許可、届出事務

・処理件数　　0件

(2)　県緑地環境保全地域内における行為の届出等

・処理件数　　0件

12　林業種苗法に基づく許認可事務

種子及び苗木等生産事業者の登録事務等

・処理件数　　0件

13　林業者育成支援事業補助金

本市の林業の担い手となる人材の育成及び確保を図るため、市内の林業者に対し林業に関する研修の受講等及び林業の安全に資する装備の購入に要する経費の一部を補助した。

・処理件数　2件

・交付金額　400,000円

14　ナラ枯れ被害緊急対策事業

ナラ枯れ被害の防除対策を支援することにより、その被害拡大を防止し、森林の持つ公益的機能を持続的に発揮させた。

(1)　ナラ枯れ被害木くん蒸等業務委託

被　害　箇　所	本数(本)	委託料(円)
平井町地内	21	7,007,000
平井町・薗部町4丁目地内	9	2,266,000
大平町富田地内	3	2,530,000
大平町下皆川地内	8	1,683,000
大平町西山田地内	5	1,185,800
大平町西山田・岩舟町三谷地内	3	407,000
岩舟町静地内	1	352,000

(2)　ナラ枯れ被害木伐倒駆除補助金

被　害　箇　所	本数(本)	補助金(円)
吹上町地内	20	2,266,000

15　森林経営管理事業

森林経営管理実施のために、経営管理権集積計画を作成した。

・経営管理権集積計画作成業務委託（星野町地内）　2,475,000円

16　森林環境譲与税の活用

栃木市森林環境譲与税基金積立

・積立金額　37,044,000円（令和6年度森林環境譲与税額）

・繰入金額　34,559,873円

（内訳）

・木製キュービクルカバー製作費　2,181,828円

・木とのふれあい体験事業費　95,433円

・森を育む人づくり事業交付金　666,294円

・小中学校木製机椅子製作費　17,879,400円

・ナラ枯れ被害緊急対策事業費　9,623,529円

・林業者育成支援事業補助金　400,000円
・林業総務事務費　55,740円
・森林経営管理事業費　3,657,649円
・令和6年度末基金残高　52,197,284円

獣害対策係

1　有害鳥獣対策事業

有害鳥獣による農作物被害や生活環境被害等の防止を目的に、鳥獣被害対策の3つの柱（捕獲・侵入防止対策・生息環境管理）の推進に向けた支援を次のとおり実施した。

捕獲については、地元猟友会に委託しての有害鳥獣捕獲を通年で実施し、近年増加しているハクビシン・アライグマについては、被害住民による捕獲推進のため、小型箱わなでの捕獲許可や、小型箱わなの貸出し、捕獲後の報償金の支給、猟友会の協力による捕獲個体の引き取り処分を実施した。

侵入防止対策については、ワイヤーメッシュ柵や電気柵等を設置する住民や団体に対し、補助金による支援を実施した。

生息環境管理については、放任果樹の管理指導や、補助金を活用しての緩衝帯整備を実施した。

さらに、地域ぐるみでの適切な対策推進のため、鳥獣管理士を派遣しての学習会等や被害調査を要請のあった自治会等で開催した。特にイノシシの出没が多い藤岡地域においては、ヨシ焼き当日のパトロールを渡良瀬遊水地周辺の自治体と連携して実施した。

(1)　大型獣の捕獲駆除

実施区域	実施時期	捕獲実績
栃木市全域の山間部等	通　年	イノシシ　1,433頭 ニホンジカ　594頭

(2)　その他の捕獲駆除

実施区域	実施時期	捕獲実績
栃木市全域	被害報告のあった時期	中型獣(ﾊｸﾋﾞｼﾝ･ｱﾗｲｸﾞﾏ)451頭 鳥類(カラス等)　380羽

(3)　獣害対策設備設置支援（補助金）

被害地区住民による被害防除対策を促進するため、個人及び自治会等団体が設置する電気柵等侵入防止柵や箱罠（大）等設置の経費を補助した。

区分	侵入防止柵					捕獲罠			合計
	電気	ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ	金網	獣害ﾈｯﾄ	小計	箱罠(大)	箱罠(小)	小計	柵・罠
申請件数	24	19	2	2	47	1	6	7	54
うち個人	23	16	2	2	43	1	6	7	50

うち団体	1	3	0	0	4	0	0	0	4
距離(km)	8.0	3.4	0.1	1.5	13	－	－	－	13
罠数(基)	－	－	－	－	－	1	6	7	7
補助額(千円)	3,062	3,448	64	103	6,677	66	47	113	6,790

(4)　わな猟免許取得・更新支援

・わな猟免許を新規で取得及び更新する場合に必要となる経費を補助した。

・申請件数　　82件

・補助額　　280千円

(5)　学習会の実施

時期	実施箇所	対象獣種	内容
6月	藤岡町富吉地内	イノシシ	侵入防止柵の設置検討
7月	星野町地内	サル	被害対策の検討
8月	細堀町地内	イノシシ	集落点検、被害対策の学習（各1回）
	尻内町地内	イノシシ	集落点検、被害対策の学習（各1回）
9月	藤岡町蛭沼地内	イノシシ	センサーカメラによる侵入経路の調査
11月	藤岡町藤岡地内	イノシシ	侵入防止柵の設置検討
12月	大平町下皆川地内	イノシシ	現地での被害調査
	西方町本城地内	イノシシ	現地での被害調査
	藤岡町大前地内	イノシシ	現地での被害調査

(6)　栃木市野生鳥獣被害対策連絡協議会

鳥獣被害対策の検討及び関係機関との連絡調整を行う協議会を7月に開催した。また、鳥獣被害防止総合対策事業費補助金を活用し、各種事業を実施した。

○主な実施内容

・侵入防止柵の新規設置、既設柵の地際補強

・緩衝帯の整備（大久保町）

・箱わな、電気止め刺し器の導入等による猟友会への支援

○侵入防止柵の設置状況

竣工時期	実施場所	対象獣種	設置距離（補助対象分）
11月	藤岡町富吉	イノシシ	L=146.0m
2月	藤岡町藤岡	イノシシ	L=107.0m

(7)　渡良瀬遊水地とその周辺におけるイノシシ対策

遊水地内及びその周辺において、地元猟友会による箱わなでの有害捕獲を通年で実施したほか、渡良瀬遊水地周辺のイノシシによる被害防止を目的としたワーキンググループに参加する自治体、県等と連携しながら、ヨシ焼き当日のパトロールを実施した。

2　鳥獣の保護及び管理に関する許認可事務

鳥獣保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律に基づき、各種許認可事務を実施した。

(1)　鳥獣捕獲等の許可

・処理件数　198件

(2)　鳥獣飼養登録

・処理件数　　0件

(3)　販売禁止鳥獣（ヤマドリ）の販売許可

・処理件数　　1件

第５節　産業基盤整備課

〔総括概要〕

産業基盤整備課では、雇用機会の拡大と市税等安定した自主財源の増加を図るため、主に市内産業団地への企業誘致、栃木インター周辺地区、佐野藤岡インター周辺地区等の新たな産業拠点の整備を行っている。

企業誘致事業については、令和5年度に開設した栃木市東京サテライトオフィスによる企業訪問や栃木県主催の「とちぎ企業立地魅力発信セミナー」に参加する等、本市の優れた立地環境や企業立地の優遇制度を積極的にＰＲし、市内への企業誘致活動を実施した。

栃木インター産業団地については、国の「半導体・デジタル産業戦略」に基づくデータセンターの誘致を推進するため、国・県と連携を重ね積極的な誘致活動に努めた。令和6年9月に第1期分譲を開始し、データセンター事業者と地元製造事業者と契約を締結、約14haを分譲した。

市内の企業立地状況については、千塚産業団地において、1社が令和7年度中に操業開始を予定しており、宇都宮西中核工業団地において1社が建設工事の準備を進めている。また、既存事業所の増設の状況については、栃木地域内で2社が年度内に操業を開始した。

また、宇都宮西中核工業団地事務組合に対して負担金を拠出し、事業の推進を図った。

産業団地管理事業については、市内の産業団地に立地する企業へ安心安全な操業環境を提供するため、防犯灯を計画的に設置した。

産業団地関連道路補修事業については、老朽化し破損した道路の補修工事を計画的に実施した。

インター周辺開発事業については、栃木インター周辺地区約80ha、佐野藤岡インター周辺地区約100ha、都賀インター周辺地区約24haの区域内の地権者に対して、開発に向けた調査研究を推進している。栃木インター周辺地区では、地元研究会の総会、役員会等を開催した。佐野藤岡インター周辺地区では、地元研究会の総会、役員会、先進地視察見学会等を開催したほか、開発への意向調査やボーリング調査を実施した。都賀インター周辺地区では、会長協議を行ったほか、今後の開発について県企業局と意見交換を実施した。

また、栃木市産業基盤成長戦略(案)を策定するため、庁内協議や地域会議からの意見を聴取した。

併せて、国道50号沿線において、地域未来投資促進法に係る重点促進区域の指定に伴う国・県協議を行い、国の同意が得られた。

栃木インター西産業団地造成事業については、区画道路舗装工事、公園整備工事等を行った。土地区画整理事業に伴う事業計画変更・換地計画処分・区画整理登記等業務を実施した。分譲を行うため、ボーリング調査を実施した。開発区域の維持管理のため、除草業務を行った。

企業立地係

1　企業誘致事業

(1)　千塚産業団地の概要

・所在地　　千塚町地内
・事業主体　　栃木市
・団地面積　　約 36.7ha
・分譲面積　　約 26.0ha
・分譲率　　100％
・分譲企業数　　13 社
・未操業　　2 社

(2)　中根産業団地の概要

・所在地　　藤岡町富吉地内
・事業主体　　栃木市
・団地面積　　約 5.8ha
・分譲面積　　約 4.7ha
・分譲率　　100％
・分譲企業数　　4 社

(3)　惣社東産業団地の概要

・所在地　　惣社町及び壬生町地内
・事業主体　　栃木県企業局
・団地面積　　約21.8ha(壬生町分約1ha含む)
・分譲面積　　約14.3ha(壬生町分約1ha含む)
・分譲率　　100％
・分譲企業数　　11社(栃木市分)

(4)　宇都宮西中核工業団地の概要

・所在地　　西方町本城及び鹿沼市地内
・事業主体　　栃木県土地開発公社
・団地面積　　約142.7ha(栃木市分　約83.4ha)
・分譲面積　　約 91.8ha(栃木市分　約50.6ha)
・分譲率　　100％(栃木市分　100％)
・分譲企業数　　16社(栃木市分)
・未操業　　2社(栃木市分)

(5)　皆川城内産業団地の概要

・所在地　　皆川城内町地内
・事業主体　　栃木市土地開発公社
・団地面積　　約4.8ha
・分譲面積　　約3.5ha
・分譲率　　100％

・分譲企業数　　7社
・未操業　　1社

(6)　企業誘致活動

ア　企業訪問及び産業団地への現地案内等の誘致活動

・企業訪問　　26件　※栃木市東京サテライトオフィス開設により企業訪問数増
・来庁　　30件
・現地案内　　4件

イ　産業展等への参加

・とちぎ企業立地・魅力発信セミナー（東京都）7月23日（火）

ウ　企業誘致パンフレットの作成

・作成部数　2,000部

エ　市ホームページによる産業団地、空き工場等の紹介

(7)　各種企業誘致活動団体等への負担金等の支出

ア　栃木県企業立地促進協議会活動(負担金額　180,000円)

・構成団体　28団体（栃木県、県企業局、県土地開発公社、県内14市11町）
・広告宣伝事業(産業展における県内産業団地のＰＲ等)
・誘致活動事業(企業訪問、とちぎ企業立地魅力発信セミナーの開催等)
・会議及び研修事業(総会、研修会等の開催)

イ　宇都宮西中核工業団地企業誘致活動協議会活動(負担金額　0円)※活動休止

・構成団体　2団体(栃木県土地開発公社、栃木市)

ウ　千塚産業団地連絡協議会活動(補助金交付額　100,000円)

・定期総会

開催日	主　な　内　容
5月17日（金）	令和5年度事業報告及び決算報告 令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）

・会議等

開催日	区分	主　な　内　容
4月 4日（木）	親睦会	千塚町自治会主催ゴルフコンペ参加
6月11日（火）	役員会	8月親睦会開催について
8月23日（金）	親睦会	団地内企業間の親睦・交流会
10月15日（火）	役員会	4月～8月の実績報告 役員の改選について 2月親睦会開催について
11月14日（木）	親睦会	千塚町自治会主催ゴルフコンペ参加
2月 7日（金）	親睦会	団地内企業間の親睦・交流会
3月14日（金）	役員会	総会資料について 新年度役員について

・一斉清掃

団地内施設の適正な維持管理を図るため、協議会の活動として、団地内区画道

路及び公園等敷地について定期的に清掃を実施した。

実施回数　7回

（4月10日、5月8日、6月5日、7月3日、10月2日、11月6日、3月5日）

2　企業立地促進事業

栃木市企業立地促進条例(平成23年10月施行)に基づく指定申請企業の審査及び指定決定企業への奨励金交付

(1)　企業立地促進審査会の開催

回	開　催　日	主　な　内　容
第1回	1月22日（水）	指定申請企業の審査　2件

(2)　奨励金の交付

・立地奨励金交付企業　　9件（8社）

3　宇都宮西中核工業団地事務組合関係

宇都宮西中核工業団地事務組合は旧西方町と旧粟野町によって設置された事務組合であり、その後の市町合併により、現在は本市と鹿沼市が負担金を拠出し共同処理事務を行っている。

(1)　事業概要

組合規約第3条に規定する共同処理事務については、都市下水路事業負担金、水道事業負担金、一般管理費及び施設維持管理費があり、その受益の状況により均等割及び流量比割するものと、面積割で算出されるものがある。

(2)　関係自治体負担金内訳

自治体名	負担額（円）	負担割合（%）
栃木市	77,907,000	55.21
鹿沼市	63,213,000	44.79

4　産業団地管理事業

工事請負費

工　事　名	内　容	金額（円）
岩舟工業団地LED防犯灯新設工事	防犯灯取付工　1式	198,000

5　産業団地関連道路補修事業

工事請負費

工　事　名	内　容	金額（円）
市道21100号線外舗装補修工事	舗装打換え工、区画線工　1式	13,596,000
市道21100号線舗装補修工事	舗装打換え工、舗装版切断工　1式	880,000

基盤整備係

1　インター周辺開発事業

(1)　栃木インター周辺地区事業計画

ア　栃木インター周辺開発研究会区域

・位　　置　吹上町・野中町・新井町地内

・地区面積　約80ha

・地権者数　約230人

イ　栃木インター西地区（栃木インター周辺開発研究会区域の内）

・位　　置　吹上町・野中町地内

・地区面積　約23.1ha

・地権者数　72人

ウ　栃木インター北地区（栃木インター周辺開発研究会区域の内）

・位　　置　吹上町・野中町地内

・地区面積　約26.6ha

・地権者数　99人

(2)　栃木インター周辺開発研究会活動

区　分	開催回数	会　場
総会	1回（6月）	吹上公民館
役員会	2回（5月、3月）	吹上公民館
正副会長会議	2回（5月、11月）	吹上公民館

(3)　栃木インター周辺開発研究会補助金の交付　100,000円

(4)　佐野藤岡インター周辺地区事業計画

・位　　置　藤岡町太田・岩舟町静地内

・地区面積　約100ha

・地権者数　約220人

(5)　佐野藤岡インター周辺開発研究会活動

区　分	開催回数	会　場
総会	1回（7月）	岩舟総合支所
視察見学会	1回（11月）	坂戸西SIC、境古河IC
役員会	3回（6月、9月、3月）	岩舟総合支所
地元説明会	1回（10月）	岩舟総合支所
意向調査	1回（10月～3月）	藤岡町太田、岩舟町静外
正副会長会議	1回（8月）	岩舟総合支所

(6)　佐野藤岡インター周辺開発研究会補助金の交付　100,000円

(7)　業務委託

業　務　名	内　容	金額（円）
佐野藤岡インター周辺地区 ボーリング調査業務委託	ボーリング調査　1式	4,197,000

(8)　都賀インター周辺地区事業計画

・位　　置　都賀町家中地内

・地区面積　約24ha

・地権者数　約70人

(9)　都賀インター周辺土地利用研究会活動

区　分	開催回数	会　場
意見交換会	1回（12月）	県企業局
会長協議	1回（3月）	会長宅

(10)　栃木市産業基盤成長戦略の作成

Iot や AI、ロボット等の技術革新の進化により、社会経済状況が変化している中、本市の地域特性に応じた産業基盤施策を推進するため栃木市産業基盤成長戦略を作成した。

(11)　栃木市産業基盤成長戦略の策定活動

区　分	開催回数	会　場
関係各課協議	2回（8月、12月）	市役所
地域協議会	8回（9月、10月）	各総合支所

(12)　業務委託

業　務　名	内　容	金額（円）
栃木市産業基盤成長戦略策定業務委託	成長戦略作成　1式	6,050,000

2　栃木インター西産業団地造成事業

(1)　事業計画

・位　置　吹上町・野中町地内

・地区面積　約23.1ha

・宅地面積　約16.8ha

・地権者数　72人

(2)　栃木インター西産業団地造成事業活動

区　分	開催回数	会　場
土地区画整理評価員会	1回（7月）	市役所
土地区画整理審議会	1回（8月）	吹上公民館

(3)　業務委託

業　務　名	内　容	金額（円）
栃木インター産業団地除草業務委託	除草　1式	896,500
栃木インター西土地区画整理事業事業計画変更・換地計画処分・区画整理登記等業務委託	事業計画変更業務　1式 換地計画処分業務　1式	38,940,000
栃木インター産業団地地質調査業務委託	地質調査　1件	5,027,000

栃木インター産業団地用地調査（物件調査再算定）業務委託	物件調査再算定業務　1件	957,000
栃木インター産業団地 分譲用地価格算定業務	鑑定意見書作成業務　1式	44,000
栃木インター産業団地 用地測量業務委託	地積測量図作成　1式	396,000

(4)　工事請負費

工　事　名	内　容	金額（円）
栃木インター産業団地 舗装工事(2 工区)	アスファルト舗装　1 式	43,692,000
栃木インター産業団地 舗装工事(3 工区)	アスファルト舗装　1 式	47,377,000
栃木インター産業団地 舗装工事(4工区)	アスファルト舗装　1式	32,373,000
栃木インター産業団地 造成、公園整備工事	公園工　1式	60,038,000
栃木インター産業団地 公園整備工事	公園工　1式	48,664,000
栃木インター産業団地 舗装工事(5工区)	アスファルト舗装　1式	55,308,000

(5)　負担金

・上水道事業者負担金　　15,556,460円

(6)　物件移転等補償費

・電柱移設補償　　3件　　3,661,714円

第８章　都市建設部

第１節　道路河川整備課

〔総括概要〕

道路は、地域住民にとって最も身近な社会基盤であり、通勤、通学をはじめ買い物やレジャーなどの日常生活から、生産、物流の経済活動及び地域の歴史、文化交流までを支える公共施設として大きな役割を果たしている。

また、河川は市民が安全で快適に暮らす上で必要不可欠な社会基盤であり、洪水被害などを防ぎ、安全で快適な生活環境を守るために大きな役割を果たしている。

このため、道路河川整備課においては、市民が安全で快適な日常生活を送るために必要な幹線道路や生活道路、水路等の整備充実を図るための事業を行った。

これらの事業を進めるに当たっては、厳しい財政状況や少子高齢化の進展など社会情勢の変化を踏まえ、一層の効率化、重点化が求められていることから、総合計画及び市道整備基本計画等に基づいた執行に努めているところである。

企画調整係においては、県や関係市町との協調を図りながら、各種協議会等の運営や要望活動を実施したほか、市民からの道路整備に関する要望等を受け付け、整備手法等の調整を行った。また、栃木駅及び新栃木駅周辺のバリアフリーマップについて、令和６年 10 月に改訂を行った。

道路整備第１係においては、栃木地域・都賀地域・西方地域の道路整備を主として、今泉町２丁目・日ノ出町地内今泉泉川線をはじめ７か所の道路改良工事等を実施した。

道路整備第２係においては、大平地域・藤岡地域・岩舟地域の道路整備を主として、藤岡町富吉地内市道 1066 号線をはじめ８か所の道路改良工事等を実施した。また、市道 1066 号線の延長 950m の区間を令和６年９月に、藤岡駅前広場を令和７年２月に供用開始し、藤岡駅前広場整備事業が完了した。

治水対策室治水対策係においては、台風や大雨時の浸水被害軽減のための治水対策として、祝町地内の清水川地下貯留施設をはじめ９か所の整備工事を実施した。

企画調整係

1　建設事業の総合調整

建設担当部課長会議

・栃木土木事務所と建設関連事業に関する相互の協議を実施

2　陳情、要望等受付

・道路（橋りょう）改良工事に関するもの　4件

3　各種協議会・同盟会

(1)　関東国道協会栃木県地区協議会（事務局：栃木市）

・ 5月　　総会及び要望活動の実施（国、国会議員）

・10月　　意見交換会の実施（国）

・11月　　要望活動の実施（国、国会議員）

・ 1月　　研修会参加

(2)　その他協議会・同盟会

・道路関係団体総会及び要望活動実施　16回

道路整備第1係

1　工事関係

工事箇所		工事内容			金額(円)	備考
町名	路線名(市道～号線)	延長(m)	幅員(m)	その他		
大宮町	1033	103.4	－	排水流末整備工事	9,020,000	繰越明許費
		－	－	公共汚水桝設置工事	509,218	繰越明許費
		－	－	公共汚水桝移設工事	258,500	繰越明許費
		70.3	－	排水流末整備工事	6,688,000	
平井町	2065	64.4	－	路体盛土工事	7,370,000	
		44.5	－	土留工事	6,798,000	
今泉町2丁目・日ノ出町	今泉泉川線	－	－	橋梁下部工事用道路整備工事	4,389,000	繰越明許費
		－	－	予告看板設置工事	220,000	
		101.1	－	流末排水路整備工事	13,112,000	翌年度に繰越
		－	－	跨線橋下部(A1)工事	146,410,000	継続費(R6～R7)
都賀町富張	都賀西方スマートIC	－	－	標識改修工事	282,150	
				標識修繕工事	539,000	
大宮町	12119	20.0	－	－	2,530,000	繰越明許費
		－	－	給水管移設工事	67,485	繰越明許費
藤田町	1001	－	－	交通安全施設整備工事	297,000	繰越明許費
祝町	1034	－	－	歩道舗装工事	550,000	
計7箇所					199,040,353	

2　業務委託関係

業務名	委託箇所		委託内容	金額(円)	備考
	町名	路線名(市道～号線)			
用地測量	都賀町合戦場	2033	用地測量	7,964,000	
用地調査	大宮町	1033	物件調査再算定	1,034,000	
用地測量	皆川城内町	14238	用地測量	3,333,000	繰越明許費
用地調査			物件調査	3,333,000	繰越明許費

土地評価			土地評価	847,000	
用地測量 設　　計	平井町	2065	用地測量 道路修正設計	1,419,000 5,467,000	
用地調査 設　　計 ほか	今泉町２丁目・ 日ノ出町	今泉泉川線	物件調査再算定 流末排水路設計 仮設道路設計 害虫防除	4,103,000 385,000 308,000 79,750	
設　　計	皆川城内町・ 大皆川町	1024	道路概略設計	4,785,000	
資料作成	都賀町富張外	都賀西方 スマート IC	フォローアップ資料作成	3,795,000	
用地測量	都賀町合戦場 ・平川	43382	用地測量	2,145,000	
除草業務	栃木地域内		除草3件	1,249,600	
計9箇所				40,247,350	

3　用地取得関係

用地取得箇所		用地	補償	金額（円）	備　考
町　　名	路線名（市道~号線）	（筆）	（件）		
大宮町	1033	－ 6 －	2 － 4	1,045,952 4,342,951 76,700,642	繰越明許費(電柱移設等)
平井町	2065	2 －	－ 1	3,864 4,167,000	翌年度に繰越(電柱移設等)
今泉町2丁目・ 日ノ出町	今泉泉川線	6 － 11 －	－ 4 － 8	23,190,091 166,582,345 28,950,600 169,596,618	繰越明許費 繰越明許費
川原田町	13349	2 1	－ －	447,480 1,814,384	繰越明許費
計４箇所				476,841,927	

4　財産の売払い

町名	内容	件数(件)	面積(㎡)	売却価格(円)
日ノ出町	今泉泉川線道路整備事業に伴う代替地としての売払い	4	1,049.47	32,765,846

5　登記関係

内　　容	筆数(筆)

分筆（代　位）	17
地積更正（代　位）	9
名義人表示変更・更正（代　位）	10
相続（代　位）	1
地図訂正	1
合筆	0
所有権保存	0
所有権移転	32
地目変更	27
合計	97

道路整備第2係

1　工事関係

工事箇所		工事内容			金額(円)	備考
町名	路線名 (市道～号線)	延長(m)	幅員 (m)	その他		
藤岡町富吉	1066	458.9	10.2	－	67,868,000	繰越明許費
		－	－	パイプライン移設	879,395	繰越明許費
		－	－	案内看板設置	366,300	繰越明許費
		－	－	立竹木撤去工事	770,000	繰越明許費
		75.0	10.2	－	18,832,000	
藤岡町藤岡 (藤岡駅前広場)	33074	1,427㎡	－	舗装	36,839,000	繰越明許費
		1,427㎡	－	－	33,198,000	繰越明許費
		－	－	量水器移設	251,900	繰越明許費
		－	－	路肩舗装	145,200	繰越明許費
藤岡町甲	1073	81.5	6.0	－	6,589,000	
岩舟町下津原	62024	18.0	5.5	－	3,157,000	
大平町西野田	2098	106.2	6.5	－	12,408,000	
岩舟町静戸	62155	63.6	6.0	－	9,064,000	
大平町富田	2106	50.0	－	－	3,740,000	
岩舟町三谷	61074	64.3	5.0	－	8,734,000	
計8箇所					202,841,795	

2　業務委託関係

業務名	委託箇所		委託内容	金額(円)	備考
	町名	路線名 (市道～号線)			
用地測量	藤岡町赤麻	1073	用地測量	14,817,000	

用地調査			物件調査	10,362,000	
用地測量 調　　査	藤岡町富吉	1066	用地測量査 埋蔵文化財調査支援	473,000 17,479,000	 翌年度に繰越
用地測量 路線測量 設計業務	大平町富田	2089	用地測量 路線測量 交差点詳細設計	14,828,000 3,047,000 4,488,000	
路線測量	岩舟町静	62057	路線測量修正	352,000	
土地評価	大平町下皆川	23002	土地評価	429,000	
用地調査	大平町下高島	22024	物件調査再算定	715,000	
用地調査	岩舟町静	61268・ 61262・ 61251	物件調査再算定 物件調査再算定その2	1,045,000 330,000	
土地評価 用地調査	岩舟町五十畑	2091	土地評価 物件調査再算定 物件調査再算定その2 用地調査 用地調査その 2	928,400 1,925,000 429,000 484,000 246,400	
用地調査	岩舟町三谷	61074	物件調査	462,000	
除草業務			除草 3 件	321,200	
計10箇所				73,161,000	

3　用地取得関係

用地取得箇所		用地	補償	金額(円)	備　考
町　　名	路線名（市道～号線）	（筆）	（件）		
藤岡町富吉	1066	2	－	4,511,510	
藤岡町藤岡	33074	－	4	2,269,531	繰越明許費・電柱移設等
岩舟町下津原	62024	1 －	－ 1	786,450 4,142,675	
岩舟町静戸	62155	－	1	1,246,120	電柱移設等
大平町下皆川	23002	7	－	2,394,676	
大平町下高島	22024	5 － 4 － 1 －	－ 3 － 4 － 1	190,489 1,290,000 1,069,440 33,059,002 438,144 990,000	繰越明許費 繰越明許費 翌年度に繰越 翌年度に繰越
岩舟町静	61268・61262・ 61251	5 － 10	－ 1 －	704,850 1,331,000 1,870,632	繰越明許費 繰越明許費

		－	5	36,750,827	
岩舟町五十畑	2091	13	－	1,501,732	
		－	11	11,246,299	(内4件前金払)
		7	－	643,979	翌年度に繰越
		－	6	2,828,117	翌年度に繰越(精算)
岩舟町三谷	61074	2	－	435,921	
		－	1	2,161,069	
		－	2	711,791	電柱移設等
計 9 箇所				112,574,254	

4　県営橋りょう整備事業負担金

支出先	委託内容	金額(円)	備　考
栃木土木事務所	両明橋架替工事 橋梁下部工、橋梁上部工、護岸工、取付道路工	62,517,000 14,381,000	繰越明許費 翌年度に繰越
		76,898,000	

5　登記関係

内　　容	筆数(筆)
分　　筆　(代　位)	53
地　積　更　正　(代　位)	7
地　図　訂　正　(代　位)	0
名義人表示変更・更正　(代　位)	2
相　　続　(代　位)	2
所　有　権　保　存	0
所　有　権　移　転	52
合　　計	116

治水対策室　治水対策係

1　工事関係

工　事　箇　所		工 事 内 容	金額(円)	備　考
町　名	河 川 名			
箱森町	旧赤津川	門扉設置　1箇所	594,000	
		附帯工事　1件	770,000	繰越明許費
祝町	清水川	地下貯留施設整備　1箇所	128,007,000	
		地下貯留施設整備　1箇所	156,200,000	繰越明許費
平井町	平井川	調節池整備　1箇所	316,800,000	翌年度繰越
片柳町3丁目	東郷堀川	調節池整備　1箇所	279,400,000	翌年度繰越

薗部町4丁目	岩崎川	電柱移設　1件	702,900	
片柳町4丁目	永野川	整地工事　1箇所	341,000	
錦町	旧赤津川	調節池整備　1箇所	85,305,000	繰越明許費
柳橋町	清水川	附帯工事　1件	4,928,000	繰越明許費
薗部町4丁目	平井川	排水施設整備　1箇所	420,794,000	繰越明許費
		給水施設移設　1式	1,234,200	繰越明許費
計9箇所			1,395,076,100	

2　業務委託関係

業務名	委託箇所		委託内容	金額（円）	備考
	町名	河川名			
測量業務	箱森町	清水川	用地測量	9,240,000	繰越明許費
	片柳町3丁目	東郷堀川	用地測量	275,000	繰越明許費
	薗部町4丁目	岩崎川	現地測量	3,751,000	
	小平町	旧赤津川	用地測量	7,150,000	
設計業務	箱森町	清水川	詳細設計(調節池)	32,208,000	翌年度繰越
	薗部町４丁目	坂ノ下川	詳細設計	41,184,000	繰越明許費
	平井町	平井川	詳細設計(調節池)	27,049,000	繰越明許費
	薗部町４丁目	岩崎川	詳細設計(排水施設)	27,841,000	翌年度繰越
			詳細設計(放水路)	5,709,000	
調査業務	箱森町	清水川	物件調査	2,024,000	
			地質調査	5,423,000	
除草業務			除草４件	800,384	
合計				162,654,384	

3　用地取得関係

用地取得箇所		用地	補償	金額(円)	備考
町名	河川名	(筆)	(件)		
薗部町4丁目	坂ノ下川	0	1	6,615,142	繰越明許費
箱森町	清水川	14	3	106,753,092	
片柳町3丁目	東郷堀川	23	1	46,158,982	繰越明許費
計3箇所				159,527,216	

4　登記関係

内容	筆数(筆)
分筆　(代　位)	0
地積更正　(代　位)	0
地図訂正　(代　位)	0
名義人表示変更・更正　(代　位)	0

相　　続　（代　位）	0
所　有　権　保　存	0
所　有　権　移　転	37
合　　計	37

第２節　道路河川維持課

〔総括概要〕

道路河川維持課は、市民の安全で快適な暮らしに必要不可欠な道路・河川・橋梁等の機能保全と適正な管理を行うとともに、効率的な維持補修を行うことで社会基盤の安全確保に努めている。

道路河川管理係では、市道路線の認定等や道路台帳の整備、市道及び法定外公共物の占用・使用・工事等に係る許認可のほか、道路・河川と民有地との境界確認や公共用財産の用途廃止、道路用地の寄付受入及び開発帰属に係る協議・指導等を行った。また、道路橋の法定点検等を実施し、市道の適切な維持管理及び計画的な補修実施に努めた。

道路河川維持第１係では主に市北部（栃木、都賀、西方)、第２係では市南部（大平、藤岡、岩舟）の道路、河川等に係る維持管理を実施した。

道路については、通行の安全確保のため、直営による迅速な補修対応を行ったほか、市道の舗装、交通安全施設の補修及び長寿命化修繕計画に基づく橋梁修繕工事を実施し、生活道路等の環境改善に努めた。

そのほか、小学校の通学路安全対策や河川の堆積土砂の浚渫や除草、調整地の維持管理等により各施設の機能保全に努めた。

また、アダプト制度による道路・河川の美化活動や自治会等主催の愛護活動への支援を行い、道路・河川の環境美化に対する市民の意識高揚を図った。

道路河川管理係

1　市道路線認定関係

種　　別	路線数（本）	実延長（m）
1級市道	77	230,168
2級市道	151	214,250
その他の市道	4,796	1,554,103
合　計	5,024	1,998,522

2　道路台帳関係

道路台帳補正業務　　（単位：円）

委　託　箇　所		委　託　内　容	金　額	備　考
町　　名	箇　所			
市　内　全　域	－	道路台帳補正、属性データ作成等	15,510,000	

3　各種申請関係　　（単位：件）

申　　請　　内　　容	件　　数

道路占用許可申請等	577
法定外公共物使用許可申請等	182
道路工事施行承認申請	129
放流許可申請（道路・河川）	66
特殊車両通行許可協議	651
行政財産使用許可申請（駅掲示板）	2
道路関係証明等交付申請	2,479
境界確認申請	279
公共用財産用途廃止申請	23
道路用地寄附申込	21
都市計画法第32条の規定に基づく協議・同意・申請	19
合　計	4,428

4　長寿命化点検関係

(1)　橋梁長寿命化点検業務　（単位：円）

委託箇所		委託内容	金額	備考
町名	箇所			
藤岡町都賀ほか	後藤架道橋ほか	跨道橋点検、診断（3橋）	11,742,786	
星野町ほか	山口橋ほか	道路橋点検、診断(34橋)	16,060,000	
合計			27,802,786	

(2)　橋梁自主点検

実施箇所		実施内容
町名	箇所	
大町ほか	雷電橋ほか	道路橋点検、診断（147橋）

道路河川維持第1係　道路河川維持第2係

1　工事関係

(1)　市道各号線交通安全施設整備事業　（単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
柳橋町ほか	11134ほか	区画線設置等	7,535,000	
寄居町ほか	12237ほか	道路反射鏡設置等	1,457,500	

(2)　市道維持管理事業　（単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
市内全域	－	維持補修等	7,419,500	
市内全域	－	舗装補修等	20,361,000	

市内全域	－	側溝補修等	2,431,000	

(3) 生活道路舗装補修事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
栃木地域	11203ほか	舗装補修	103,752,000	
大平地域	22210ほか	舗装補修	18,414,000	
藤岡地域	1065ほか	舗装補修	26,972,000	一部翌年度繰越
西方地域	1001ほか	舗装補修	38,082,000	
岩舟地域	61203ほか	舗装補修	12,595,000	

(4) 市道各号線橋りょう維持補修事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
藤岡町甲ほか	東十三橋（1073）ほか	橋梁修繕	1,639,000	

(5) 橋梁長寿命化修繕事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
岩舟町古江	樋の口橋（1044）	橋梁修繕	24,057,000	
星野町	牛落橋（14019）	橋梁更新	111,315,600	一部翌年度繰越

(6) 河川維持補修事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	河川名等			
樋ノ口町	綾川	河床整備	13,090,000	一部翌年度繰越
本町	杢冷川	河床整備	24,750,000	一部翌年度繰越
志鳥町ほか	大沢川ほか	土砂撤去	1,276,000	

(7) 舗装修繕事業 （単位：円）

工事箇所		工事内容	金額	備考
町名	路線名等			
大平町北武井ほか	1001ほか	舗装修繕	125,543,000	

2 業務委託関係

(1) 市道維持管理事業 （単位：円）

業務名	委託箇所	委託内容	金額	備考

	町　名	箇　所			
駅関連業務	沼和田町ほか	栃木駅ほか	清掃業務等	8,404,133	
アンダーパスポンプ場管理業務	西方町本城ほか	－	排水ポンプ点検等	1,231,164	
樹木管理業務	市内全域	－	伐木剪定	28,634,824	
除草業務	市内全域	－	道路除草	12,342,087	
側溝清掃業務ほか	片柳町１丁目ほか	1036ほか	暗渠清掃等	1,760,110	
擁壁修繕設計業務	都賀町大橋	2019	擁壁修繕設計	2,926,000	
道路排水路詳細設計業務	片柳町１丁目	1036	道路排水路詳細設計	3,828,000	

(2)　橋梁長寿命化修繕事業　（単位：円）

業務名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町　名	箇　所			
橋梁予備設計業務	岩舟町小野寺ほか	中川原橋ほか	橋梁予備設計	24,002,000	

(3)　河川維持補修事業　（単位：円）

業務名	委託箇所		委託内容	金額	備考
	町　名	箇　所			
調整地管理業務	岩舟町静ほか	中久保調整池ほか	除草等	1,789,488	
河川水路等清掃	入舟町ほか	県庁堀川ほか	除草等	3,765,300	
都市排水路清掃	大平町富田ほか	宿裏排水路ほか	除草等	535,700	

3　工事用原材料　（単位：円）

材料名	数量	金額
常温合材	130t	2,002,000
切込砕石	1,338.57㎥	2,916,273
その他補修用資材	－	350,537
交通安全施設用資材	－	3,881,290

4　栃木市道路等のアダプト制度（道路・河川）

「栃木市道路等のアダプト制度」は、ボランティア活動に意欲のある市民が、身近な公共空間である道路、河川等において、清掃、除草等の美化活動を行い、市がその活動をサポートすることにより、市民協働による維持管理を行う制度で、現在の活動者（団

体）の届出状況は、道路28団体・河川18団体である。

第３節　都市計画課

〔総括概要〕

都市計画課の主な分掌事務は、都市計画の総合的調査・計画策定、良好な景観の誘導及び開発指導である。

都市計画は、都市内の限られた土地資源を有効配分し、建築敷地、基盤施設用地、緑地・自然環境を適正に配置することにより、農林業との健全な調和を図りつつ、健康で文化的な都市生活及び機能的な都市活動を確保しようとするものであり、土地利用、都市施設の整備及び市街地開発事業に関する計画を定めることにより、その実現を目指している。

計画景観係では、良好な周辺環境と調和した流通業務地を形成し、将来にわたって適切な維持及び保全を図っていくため、小山栃木都市計画静戸中央東地区計画の都市計画決定を行った。

また、栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）の素案の作成と併せて、栃木市立地適正化計画について、都市再生特別措置法の改正に伴う防災指針を追加する改訂を行った。

さらに、良好な景観の形成及び保全を図ることを目的とした栃木市景観計画や栃木市景観条例等により本市の景観資源を活かし、地域の特性に応じた景観まちづくりを推進した。同時に良好な景観の形成や風致の維持、公衆に対する危害を防止するため、屋外広告物に関する許可及び届出の事務を行った。

開発指導係では、無秩序な市街化及び不良市街地の形成を防止するための線引制度を担保するものとして創設された開発許可制度に関する事務について、都市計画法の規定に基づき許可処分等を行うにあたり、申請者等と協議及び指導等を行うとともに、庁内関係部署での開発行為等に関する手続き及び進捗状況の確認などの情報交換を行うため、土地利用調整会議を毎月1回開催した。

また、本市の美しい自然環境、魅力ある景観及び安全安心な生活環境の保全及び形成と再生可能エネルギー発電設備を設置する事業との調和を図るため、栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例に基づき許可処分等を行うため、申請者等と協議及び指導等を行った。

計画景観係

1　都市計画審議会に関すること

開催日時	議　　題
12月16日 （第22回）	(1)　栃木市都市計画審議会会長の選出について（協議） (2)　小山栃木都市計画地区計画の決定について（審議）
3月5日 （第23回）	(1)　栃木市立地適正化計画防災指針の案について（意見聴取）

2　都市計画の決定又は変更に関すること

次の都市計画の決定を行った。

小山栃木都市計画静戸中央東地区計画の決定（面積約8.4ha）

・告示　　12月24日

3　都市計画マスタープラン（改訂版）等の策定に関すること

(1)　事業概要

令和5年度から検討を行っていた栃木市都市計画マスタープランについて、概ね10年ごとに見直しを行うことを同プラン中に定めていることから、改訂版の素案を作成した。

また、都市再生特別措置法の改正に伴い、「防災指針」を追加するため、栃木市立地適正化計画の改訂を行った。

(2)　事業の実施状況

・委託業務名　栃木市都市計画マスタープラン等策定業務委託

・履行期間　　令和5年5月26日～令和7年3月31日

・契約額　　14,883,000円

（内　令和6年度支払額　8,296,200円）

・契約相手方　日本工営㈱栃木事業所

・業務内容　　栃木市都市計画マスタープラン（改訂版）及び栃木市立地適正化計画「防災指針」の策定に伴う調査検討等

(3)　栃木市都市計画マスタープラン等策定委員会及び同作業部会

・開催回数　　7回

・合同会議　　3月14日

・作業部会　　5月10日　8月19日　12月13日

・策定委員会　5月28日　9月18日　1月14日

4　立地適正化計画に関すること

・都市再生特別措置法に基づく届出書の受理

項　　目	件数(件)
（都市機能誘導区域外） 誘導施設を有する建築物の建築目的の開発行為	1
（都市機能誘導区域外） 誘導施設を有する建築物の新築	0
（居住誘導区域外） 3戸以上の住宅の建築目的の開発行為	3
（居住誘導区域外） 3戸以上の住宅の新築	5
計	9

5　公有地の拡大の推進に関する法律に基づく届出等に関すること

・公拡法第4条及び第5条に基づく届出書等の受理

項　　目	件数(件)
土地有償譲渡届出書（法第4条）	7
土地買取希望申出書（法第5条）	0
計	7

6　国土利用計画法による届出等に関すること

・国土利用計画法第23条に基づく届出書の受理

地　　域	件数(件)
栃木地域	20
大平地域	2
藤岡地域	2
都賀地域	12
西方地域	6
岩舟地域	18
計	60

7　地価公示及び地価調査に関すること

地価公示法に基づく地価公示標準地及び国土利用計画法に基づく地価調査基準地の周知を行った。

(1)　地価公示

・価格時点　　1月 1日

・公示時点　　3月19日

・標 準 地　　栃木市大町字西向223番1　ほか54地点

(2)　地価調査

・価格時点　　7月 1日

・告示時点　　9月18日

・基 準 地　　栃木市大森町442番9　ほか39地点

8　都市計画法第53条に規定する建築の許可等に関すること

・都市計画施設の区域又は市街地開発事業の施行区域内における建築行為の許可等

名　　称	件数(件)
3・4・201 沼和田川原田線	2
3・4・203 今泉泉川線	2
3・4・204 沼和田合戦場線	2
3・4・205 栃木駅南口線	1
3・4・209 新栃木駅東口線	2

3・4・213 城内町通り	1
3・4・214 境町薗部線	2
3・4・216 栃木大通り	1
3・4・404 大平町役場通り	2
3・4・405 富田・西野田線	1
3・4・601 藤岡中央通り	5
3・4・603 藤岡駅前通り	1
3・5・402 牛久川連線	1
新大平下駅前土地区画整理事業	6
計	29

9　栃木市風致地区条例に基づく許可等に関すること

・太平山風致地区内における行為の許可等

項　　目	件数(件)
建築行為等の許可（条例第2条）	1
建築行為等の通知受理（条例第3条）	1
計	2

10　都市計画法第58条の2に規定する建築等の届出に関すること

・地区計画の区域内における行為の届出書の受理

地区名	件数(件)
運動公園前	5
惣社東産業団地	3
大平みずほ企業団地	1
箱森小平	3
ＪＲ大平下駅前	1
下皆川・富田	3
宇都宮西中核工業団地	1
蔵の街大通り倭町一丁目東側商家群	1
箱森西部	5
千塚産業団地	1
平川産業団地	7
計	31

11　都市計画情報システムに関すること

(1)　事業概要

都市計画事務の適正化・効率化・高度化及び住民サービスの向上を図ることを目的として、統合型GISの一部である都市計画情報システムの保守及びデータ更新並びに公

開型GISの搭載データのうち都市計画関係のデータ更新を実施した。

(2) 事業の実施状況

ア 都市計画情報システム保守業務委託の実施

・委託業務名 栃木市都市計画情報システム保守業務委託

・履行期間 4月1日～3月31日

・契約額 902,000円

・契約相手方 国際航業㈱宇都宮営業所

・業務内容 栃木市都市計画情報システムの保守に係る業務

イ 都市計画情報システムデータ更新業務委託の実施

・委託業務名 栃木市都市計画情報システムデータ更新業務委託

・履行期間 12月19日～3月31日

・契約額 1,012,000円

・契約相手方 国際航業㈱宇都宮営業所

・更新データ項目

種 別	内容又は地区
地区計画	静戸中央東地区計画
地区計画	関連ファイルの更新
DID 地区	平成 27 年度、令和 2 年度の追加

ウ 都市計画情報公開型GISデータ搭載業務委託（都市計画関係データ更新）の実施

・委託業務名 栃木市都市計画情報公開型GISデータ搭載業務委託

・履行期間 12月19日～3月31日

・契約額 797,500円

・契約相手方 国際航業㈱宇都宮営業所

・更新データ項目

種 別	内容又は地区
地区計画	静戸中央東地区計画
地区計画	関連ファイルの更新
都市計画法第 34 条第 11 号指定区域	都市計画法第 34 条第 11 号指定区域

12 栃木市歴史的町並み景観形成要綱に基づく届出等に関すること

・景観形成地区内の新築、増築、改築等工事の届出書の受理

項 目		件数(件)
工事の届出の受理（要綱第12条）	建築物	2
	工作物	2
	その他	4
計		8

13 都市景観形成事業に関すること

栃木市景観計画で定めた本市の特色ある良好な景観形成及び保全を総合的、計画的に図るため、栃木市景観条例に基づき一定規模を超える建築行為等を届出対象とし、良好な景観形成と保全の誘導を行った。

(1)　栃木市景観条例に基づく届出書等の受理

項　　目		件数(件)
建築行為等の届出の受理（景観法第16条第1項）	建築物	5
	工作物	26
	開発行為	0
計		31
建築行為等の変更届出の受理（景観法第16条第2項）	建築物	0
	工作物	1
	開発行為	0
計		1
国・地方公共団体の建築行為等の通知の受理（景観法第16条第5項）	建築物	1
	工作物	1
	開発行為	0
計		2
総　　計		34

(2)　景観審議会に関すること

審議案件がなく、開催しなかった。

(3)　栃木市公共サイン管理台帳の整備

公共サインの整備及び管理状況を把握するため、栃木市公共サインガイドラインに基づき作成した管理台帳を基に、庁内全課対象の調査を行い、適正な表示・設置が行われるよう指導に努めた。

・公共サインを有する課　　29課

・公共サイン管理台帳数　　491基

14　屋外広告物に関すること

(1)　栃木県屋外広告物条例に基づく許可及び届出書の受理

ア　許可

項　　目	件数(件)
屋外広告物の設置の許可（条例第5条等）	37
屋外広告物の更新の許可（条例第13条）	161
屋外広告物の変更の許可（条例第14条）	50
計	248

イ　届出書の受理

項　　目	件数(件)
屋外広告物の除却に係る届出の受理（条例第18条）	19
屋外広告物管理者等に係る届出の受理（条例第24条）	127

公共的目的をもって設置する場合に係る届出の受理（条例施行規則第4条）	0
計	146

ウ　許可申請手数料

・件　数　　248件

・金　額　　2,516,410円

(2)　違反広告物除却推進団体

違反広告物の除却措置について、住民参加による除却活動を推進するため、栃木市違反広告物除却推進制度に関する要綱に基づき、違反広告物除却推進団体を認定し、活動支援を行った。

・違反広告物除却推進団体の認定数　　2団体

団体名	推進員数（人）	活動回数	認定期間
栃木市少年補導員会	62	1	4月1日～3月31日
大平町あじさいグループ	12	0	4月1日～3月31日

開発指導係

1　都市計画法に基づく開発許可制度に関すること

(1)　都市計画法許可等の状況

区　分		件数(件)
法第29条第1項	開発許可	83
法第34条の2第1項	開発許可の特例の協議	0
法第35条の2第1項	開発変更許可	19
法第36条第2項	完了検査及び検査済証の交付	91
法第36条第3項	完了公告	94
法第37条第1項	建築制限解除承認	11
法第38条	開発廃止届の受理	3
法第42条第1項	用途変更等許可	6
法第43条第1項	建築行為許可	25
法第46条	開発登録簿の調製	83
法第47条第5項	開発登録簿の写しの交付	185
省令第60条	開発行為又は建築行為に関する証明	197

(2)　開発行為等許可申請手数料の収納状況(都市計画法)

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	36	28	23	20	31	33	
金額(円)	851,750	126,130	158,400	109,980	184,860	327,540	
月　別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数(件)	26	28	17	24	24	25	315

金額(円)	276,640	402,720	332,590	526,910	1,366,780	664,030	5,328,330

※件数及び金額は、受付ベース

(3) 栃木県開発審査会

市街化調整区域内における開発行為のうち、都市計画法第34条第14号に基づく立地基準の該非を審査する機関で本年度は4回開催された。

・個別付議　0件

・報告事案　22件

(4) 栃木県開発許可事務連絡協議会

開発許可制度の有効な運用と事務改善を目的とする協議会を実施した。

・幹事会　1回

・総会　1回

・研修会　3回

・意見交換会　0回

2 優良宅地の認定に関すること

租税特別措置法に基づく優良宅地の認定申請はなかった。

3 栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例に基づく許可制度に関すること

(1) 栃木市自然環境等と再生可能エネルギー発電設備設置事業との調和に関する条例許可等の状況

区　分	件数(件)
条例第11条第1項 再生可能エネルギー発電設備設置事業の許可	2
条例第15条第1項 再生可能エネルギー発電設備設置事業の変更許可	0
審査基準第2条 再生可能エネルギー発電設備設置事業面積5,000㎡以上に対する行政指導	2

(2) 開発行為等許可申請手数料の収納状況(条例)

月　別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
件数(件)	0	0	0	1	0	0	
金額(円)	0	0	0	120,000	0	0	
月　別	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計
件数(件)	0	0	0	0	0	0	1
金額(円)	0	0	0	0	0	0	120,000

※件数及び金額は、受付ベース

(3) 栃木市再生可能エネルギー発電設備設置審議会

・許可案件　2件

・変更許可　0件

第４節　市街地整備課

〔総括概要〕

市街地整備課の主な分掌事務は、都市再生整備計画事業に関すること並びに土地区画整理事業の企画、調整及び施行に関することである。

まちなか再生係では、少子高齢化に伴う人口減少や中心市街地の空洞化・低密度化、既存公共施設の老朽化など、都市を取り巻く課題へ対応し、今後もより一層の都市の賑わい創出と魅力向上による持続可能なまちづくりを推進し、コンパクトシティの実現に取り組むため、新たに都市再生整備計画を策定し、国の補助事業である都市構造再編集中支援事業を導入するための手続を行った。

また、長期間遊休地となっている旧栃木警察署跡地の利活用について、旧栃木警察署跡地土地利用方針を決定し、栃木市観光・交流拠点整備検討会議において、旧栃木警察署跡地の観光・交流施設整備の基本計画を検討し、令和7年3月に意見を取りまとめた。

区画整理係では、良好な操業環境を備えた産業用地を整備することで定住人口の維持、雇用の創出を図るため、平川地区において、地区内居住者が既存のコミュニティを維持継続できるよう事業計画の変更を行い、用地取得、物件調査再算定、物件移転補償、区画道路の築造工事及び今後の宅地造成に必要な土砂の搬入や整地工事などを行った。

また、新大平下駅前第2地区においては、清算金の徴収を引き続き行った。

まちなか再生係

1　都市構造再編集中支援事業

重要伝統的建造物群保存地区と歴史的風致維持向上計画の重点区域を含み、歴史的町並みが残る「栃木市中心市街地地区」において、栃木文化会館大規模改修や旧栃木警察署跡地等における整備計画を定めた「都市再生整備計画」を策定し、国へ提出した。

また、当該整備計画を実施するに当たり、国の補助事業である「都市構造再編集中支援事業」を導入するために必要な手続等を行った。

(1)　都市再生整備計画（栃木市中心市街地地区）

ア　事業期間　令和7年度～令和11年度（5か年間）

イ　総事業費　　6,316,700,000円

ウ　交付対象事業費　　3,863,800,000円

エ　補助見込額　　1,931,900,000円

オ　事業数　　基幹事業10事業、提案事業3事業　計13事業

(2)　栃木市都市再生整備計画検討委員会

都市再生整備計画の策定に当たり、庁内において検討、連携、調整等を行う庁内検討組織である、栃木市都市再生整備計画検討委員会を開催した。

ア　検討委員会

・委 員 数　11人
・委 員 長　都市建設部長
・開催状況　1回（6月21日）

イ　検討部会
・委 員 数　12人
・委 員 長　市街地整備課長
・開催状況　1回（6月21日）

2　旧栃木警察署跡地土地利用推進事業

栃木地域の中心市街地における大規模遊休地である旧栃木警察署跡地の土地利用について、旧栃木警察署跡地土地利用方針を決定し、栃木市観光・交流拠点整備検討会議において、旧栃木警察署跡地の観光・交流施設整備の基本計画を検討し、令和7年3月に意見を取りまとめた。

(1)　ＵＲ都市機構の支援

「地方再生コンパクトシティ」における国の支援事業である「都市再生コーディネート等推進事業」を活用し、UR都市機構による助言等の支援を受け、検討を行った。

・ＵＲ都市機構との打ち合せ　2回（4月16日、12月24日）

(2)　栃木市観光・交流拠点検討会議

栃木市観光・交流拠点検討会議を設置し、旧栃木警察署跡地の観光・交流施設整備の基本計画を検討し、令和7年3月に意見を取りまとめた。

・委員数　22人
・座長　都市建設部長
・開催状況　2回（10月16日、3月18日）

3　官民連携によるまちづくり事業

蔵の街エリアの魅力・活力・賑わいの向上を目指す官民連携組織「ウズマクリエイティブ」と今後の官民連携によるまちづくりについて意見交換を行った。

・ウズマクリエイティブとの打ち合せ　1回（12月9日）

4　シェアサイクル事業

栃木地域の中心市街地において、観光客及び市民の交通の利便性の向上、まちなかの周遊性の向上を図るため、事業を実施している。

(1)　シェアサイクル設置台数

電動アシスト自転車　30台

(2)　ステーションの配置箇所

栃木駅北口	岩下の新生姜ミュージアム
旧栃木警察署跡地	とちぎ山車会館
栃木市立美術館・文学館	栃木市役所本庁舎
嘉右衛門町伝建地区ガイダンスセンター	新栃木駅西口

(3)　利用状況　　（単位：人）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
529	528	552	566	597	603	544	543	478	498	367	485	6,290

(4)　事業費

内　　容	金　額（円）	備考
消耗品費	161,103	
自転車管理業務委託料	349,180	
運営業務システム等使用料	2,564,981	
その他（修繕料・高速道路使用料・備品購入費）	146,040	
合　　計	3,221,304	

5　湊町・富士見町地区まちづくり事業

湊町・富士見町地区について、住環境の整備を行い定住人口の維持及び促進を図るに当たり、まちづくり勉強会を開催した。

(1)　まちづくり勉強会の開催

・開催日　　3月13日

・参加者　　20名

(2)　業務委託

業　務　名	内　　容	金　額（円）	備考
まちなか土地利用計画資料作成業務委託	地元勉強会の開催・資料作成等	495,000	

区画整理係

1　平川土地区画整理事業（市施行）

(1)　事業概要

ア　面　　積　　約22.7ha

イ　地権者数　　43人

ウ　施行期間　　令和3年度～令和10年度

エ　総事業費　　2,398,000千円

オ　令和6年度事業費　　693,814,599円

(2)　業務委託

業務委託名	内　　容	金　額（円）	備考
維持管理	除草　4件	1,831,500	
合　　計		1,831,500	

(3)　工事請負

工　事　名	内　　容	金　額（円）	備考
区画道路	区画道路（9-4、6-5、歩4-	52,360,000	

	2) 築造工事		
	区画道路（6-6） 築造工事	23,595,000	
	区画道路（12-1） 舗装工事	913,000	
	区画道路（12-1） 舗装工事（その2）	539,000	
	区画道路（9-3） 舗装工事	979,000	
	区画道路（6-4） 舗装工事	693,000	
水路	水路（4.5-1） 築造工事	19,100,000	
	水路（4.5-2） 築造工事	51,623,000	
宅地造成	整地工事　11件	9,707,500	
	造成工事　6件	5,604,500	
合　　計		165,114,000	

(4)　土地の先行買収

名　　称	内　　容	金額（円）	備考
土地購入費	面積 1,871.00㎡ （1名、2筆）	6,045,350	

(5)　器具購入費

名　　称	内　　容	金額（円）	備考
器具購入費	CADシステムソフト購入	77,000	

(6)　負担金

名　　称	内　　容	金額（円）	備考
上水道事業負担金	配水管布設工事	25,497,050	
下水道事業負担金	配水管布設工事	6,127,000	
合　　計		31,624,050	

(7)　物件移転補償

名　　称	内　　容	金額（円）	備考
移転補償	建物、工作物　19件	485,303,514	
	電柱、電気設備　5件	3,692,936	
合　　計		488,996,450	

2　新大平下駅前第2土地区画整理事業（市施行）

(1)　事業概要

ア　面　　積　約5.3ha

イ　地権者数　85人

ウ　施行期間　平成27年度～令和8年度

エ　総事業費　1,840,000千円

(2)　事業経過等

ア　清算金　　徴収　　1件

(3)　土地区画整理事業清算金

名　　称	内　　容	金　額（円）	備考
土地区画整理事業清算徴収金	関係権利者１名	107,740	

第５節　公園緑地課

〔総括概要〕

公園緑地課では、市民の安全で快適な暮らしに必要不可欠な社会資本である公園等の効率的な整備や維持管理を行い、生活環境の向上を図っている。

公園施設長寿命化対策事業では、栃木市総合運動公園多目的グラウンドにおいて屋外トイレの屋根や内外壁等の改修を図り、併せてトイレの洋式化を実施した。

太平山県立自然公園施設整備事業では、謙信平下園路の老朽化した木製階段を擬木階段に改修した。

公園緑地の維持管理については、利用者が安全で快適に利用できるように、市内324公園（栃木地域154か所、大平地域91か所、藤岡地域30か所、都賀地域14か所、西方地域19か所、岩舟地域16か所）の清掃、除草、樹木管理及び遊具等の公園施設の維持管理を実施し、利用環境の向上に努めた。

栃木市総合運動公園では、屋外プールにおいて取水用ポンプが故障し使用不能となったため、修繕工事を実施した。また、指定管理者の㈱メディカルフィットネスとちの木と連携を図り、快適な利用環境の確保のため適切な維持管理に努めた。

大平運動公園では､テニスコート夜間照明設備の LED 灯への改修工事を実施した。また、指定管理者の公募を実施し、㈱エイジェックスポーツマネジメントを令和 7 年度から 5 年間の指定管理者に選定した。

藤岡渡良瀬運動公園では、渡良瀬サイクルパークでのレンタサイクルにおいて、タンデム自転車の公道走行を可能とした。

岩舟総合運動公園では、民設民営サッカースタジアム内に便益施設の設置を許可した。

そのほか、アダプト制度による公園清掃等のボランティア活動を支援するなど、市民協働による公園の維持管理に努めた。

公園整備係

1　公園施設長寿命化対策事業

(1)　委託料　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
栃木市総合運動公園軟式野球場及び陸上競技場キュービクル更新設計業務委託	1,650,000	

(2)　工事費　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
栃木市総合運動公園多目的グラウンド屋外トイレ改修工事	22,286,000	

2　太平山県立自然公園施設整備事業

工事費　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
謙信平下園路改修工事	4,015,000	

3　公園施設整備事業

委託料　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
大平運動公園整備計画策定業務委託	13,013,000	

4　公園施設夜間照明改修事業

工事費　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
大平運動公園庭球場夜間照明設備改修工事	32,736,000	

5　地域会議提案事業

西方ふれあいパーク花の滝管理事業（西方地域会議）　（単位:円）

内　　容	金　額	備　考
西方ふれあいパーク花の滝除草業務委託	957,000	

公園維持係

1　栃木市総合運動公園管理事業

(1)　維持補修　（単位:円）

内　　容	金　額
運動施設（屋外プール用ポンプ修繕工事）	2,178,000

(2)　業務委託　（単位:円）

内　　容	金　額
高木伐採業務委託　外2件	2,190,320

(3)　各種許可申請　（単位:件）

内　　容	件　数
公園占用許可申請	3
公園施設設置許可申請	1

2　栃木市総合運動公園管理運営委託事業

(1)　業務委託　（単位:円）

業　務　名	内　　容	金　額
栃木市総合運動公園管理運営業務	施設管理運営（指定管理）	215,269,449

(2)　利用状況

ア　総合体育館　（単位:人）

区分	主競技場	サブ競技場	卓球場	柔道場	剣道場	トレーニング室	会議室	計
計	58,775	30,537	13,924	2,620	1,600	34,105	1,514	143,075

※教室の人数は除く。PASS 登録者及び PASS 登録者の利用人数は含む。

イ　野球場・グラウンド　（単位：人）

区分	硬式野球場	軟式野球場	芝生運動広場	多目的広場	計
計	17,165	23,121	6,859	21,873	69,018

※12 月 1 日から 3 月 7 日までグラウンド整備のため、硬式・軟式(4 面)の利用中止。

ウ　庭球場　（単位：人）

区分	個　人	団　体	計
計	24,303	16,366	40,669

※教室の人数は除く。PASS サークル登録者の利用人数は含む。

エ　陸上競技場　（単位:人）

区分	個　人	団　体	計
計	8,578	22,113	30,691

※PASS 登録者の利用人数を含む。

オ　プール　（単位:人）

区分	個　人	団　体	計
計	30,614	68	30,682

※教室の人数は除く。PASS 登録者の利用人数は含む。

※10 月から 3 月までの毎週火曜日を保守点検日として利用を中止。

※屋内 25m プール水換水作業のため休館（5 月 30 日、9 月 30 日、12 月 28 日）。

※屋内 25m プール水換水作業及び塗装工事のため休館(2 月 22 日から 3 月 4 日まで)。

カ　弓道場　（単位:人）

区分	個　人	団　体	計
計	1,386	11,834	13,220

※PASS 登録者の利用人数を含む。

(3)　自主事業開催状況

毎年度、市民の健康や体力の維持増進を目的としたスポーツ・健康相談やスポーツ及びレクリエーションの普及のための各種プログラムサービスや教室の開催、利用者の目的に合った効果的なトレーニングができるようなサービスの提供に努めるとともに、プールの閉鎖時期を利用し、50m プールを「管理釣り場」として開設し、施設の有効活用及び利用者の拡大に努めた。

ア　メディカルサービス・フィットネスサービス　（単位:人）

区　　分	利 用 者 数
スポーツ・健康相談、メディカルトレーニング等	1,066

パーソナルトレーニング、プールパーソナル等	1,279

イ　各種プログラム　（単位:人）

教　室　名	内　　容	延べ参加者数
通常プログラム(60 分)	ヨガ、エアロビクス、ピラティス等	12,631
ショートプログラム(30 分)	ステップ、ストレッチ、腰痛体操等	9,711
ジュニアスポーツ教室	キッズスポーツ、ダンス、サッカー等	5,604
水泳教室	幼児、小学生、大人クラス	16,534
プールプログラム(30 分)	泳法別、水中歩行、アクアビクス等	8,810
テニス教室	一般、ジュニアクラス	2,063
合　　計		55,353

ウ　PASS 登録者数　（単位:人）

区　　分	登録者数	登録者利用数
メディカル PASS	21	39,086
メディカル PASS (ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌﾘｰ)	14	
マンスリーPASS	325	
マンスリーPASS (ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑﾌﾘｰ)	95	
合　　計	455	

エ　PASS 登録者の施設利用人数　（単位:人）

区　　分	登録者利用数
総合体育館	22,055
プール	16,795
陸上競技場	157
弓道場	79
合　　計	39,086

オ　PASS サークル登録者数及び登録者施設利用人数　（単位:人）

区　　分	登録者数	登録者利用数
テニス	45	2,299

カ　管理釣り場利用人数　（単位:人）

区　　分	共通券		平日券			計
	一日券	午後券	午前券	イブニング券	ナイター券	
計	746	527	263	74	218	1,828

※開設期間：4 月 1 日から 4 月 14 日まで、11 月 2 日から 3 月 31 日まで

キ　各種イベント

区　　分	利用者数
桜フォトイベント	36
ダジャレ王選手権	43
秋のフォトイベント	44

3　大平運動公園管理事業

(1)　維持補修　　(単位:円)

内　　容	金　額
運動施設（テニスコート水銀灯修繕　外3件）	266,200
公園設備（せせらぎ広場タイル修繕　外5件）	782,100
排水設備（管理棟トイレ修繕　外3件）	312,950
合　　計	1,361,250

(2)　業務委託　　(単位:円)

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	7,403,149
樹木管理業務委託（樹木伐採業務委託　外3件）	1,474,000
機械警備業務委託	184,800
自家用電気工作物保安管理業務	467,280
その他（第1多目的広場目砂散布業務委託 外11件）	1,698,824
合　　計	11,228,053

(3)　各種許可申請　　(単位:件)

内　　容	件　数
公園占用許可申請	3
公園内における行為の許可申請	14
公園施設設置許可申請	0

4　藤岡渡良瀬運動公園管理事業

(1)　維持補修　　(単位:円)

内　　容	金　額
砕石舗装工事	726,000
水栓及びトイレ修繕工事	91,300
合　　計	817,300

(2)　業務委託　　(単位:円)

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	5,443,801
その他（発生土運搬業務委託　外3件）	847,000
合　　計	6,290,801

(3)　各種許可申請　　(単位:件)

内　　容	件　数
公園内における行為の許可申請	8

5　渡良瀬サイクルパーク管理運営事業

業務委託　　(単位:円)

内　　容	金　額
渡良瀬サイクルパーク管理運営業務（施設管理運営業務　外２件）	7,535,000

6　つがの里管理運営事業

(1)　維持補修　　（単位:円）

内　　容	金　額
公園設備（ファミリーパークプラザエアコン修繕工事　外１件）	533,500

(2)　業務委託　　（単位:円）

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	6,895,908
警備業務委託	553,674
樹木管理業務委託（樹木伐採業務委託）	484,000
浄化槽維持管理清掃業務（浄化槽清掃業務委託　外４件）	2,830,850
自家用電気工作物保安管理業務委託	179,256
その他（つがの里窓清掃業務委託　外２件）	650,200
合　　計	11,593,888

(3)　各種許可申請　　（単位:件）

内　　容	件　数
公園占用許可申請	3
公園内における行為の許可申請	21
公園施設管理許可申請	3
公園施設設置許可申請	3
有料公園施設利用承認	4

(4)　つがの里公園内施設利用状況　　（単位:人）

施　設　名	利用者数
ふるさとセンター	8,292
ファミリーパークプラザ	1,755
バーベキュー場	1,183
体験交流館	339
合　　計	11,569

7　西方総合公園管理事業

(1)　維持補修　　（単位:円）

内　　容	金　額
公園設備（駐車場補修等）	506,000

(2)　業務委託　　（単位:円）

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	4,276,914

自家用電気工作物保安管理業務委託	343,200
浄化槽維持管理業務（浄化槽維持管理業務委託　外1件）	333,300
その他（樹木伐採業務委託）	495,000
合　　計	5,448,414

(3)　各種許可申請　　(単位:件)

内　　容	件　数
有料公園施設利用承認	3

(4)　バーベキュー広場利用状況　　(単位:件)

4月～11月利用件数	168

8　岩舟総合運動公園管理事業

(1)　維持補修　　(単位:円)

内　　容	金　額
公園設備（トイレ設備修繕　外2件）	244,200
排水設備（浄化槽水中ポンプ修繕）	90,200
合　　計	334,400

(2)　業務委託　　(単位:円)

内　　容	金　額
緑地等管理作業業務委託	3,297,025
樹木管理業務委託（樹木伐採業務委託）	332,200
トイレ清掃業務委託	629,200
浄化槽保守点検業務委託	145,200
合　　計	4,403,625

(3)　各種許可申請　　(単位:件)

内　　容	件　数
公園占用許可申請	9
公園内における行為の許可申請	35
公園施設設置許可申請	1
有料公園施設利用承認	21

9　都市公園等管理事業

(1)　維持補修　　(単位:円)

内　　容	金　額
遊戯施設（子どもの広場ブランコ修繕　外2件）	861,300
便益施設（箱森北公園トイレ修繕　外9件）	1,433,300
管理施設（昭和第一公園　水銀灯不点修繕　外28件）	5,278,537
合　　計	7,573,137

(2)　業務委託　　(単位:円)

内　　容	業務箇所及び件数	金　額
都市公園樹木等管理業務 （除草、寄せ植え苅込等管理）	栃木地域の公園 9 件 大平地域の公園 3 件 藤岡地域の公園 1 件	43,538,000
公園除草等業務委託 （公園の草刈り、除草剤散布等）	栃木市内の公園 9 件	4,885,100
支障・危険樹木剪定、伐採業務 （折れ枝・倒木撤去を含む）	栃木市内の公園 17 件	5,893,800
公園樹木病害虫防除業務 （害虫、ハチ等駆除）	栃木市内の公園 9 件	3,732,300
さくら害鳥（ウソ）防除業務	太平山県立自然公園	0
年間都市公園等管理業務 （除草、ゴミ拾い、ゴミ等回収）	栃木市内の公園等	3,491,511
年間公園管理業務 （除草、苅込等）	永野川緑地公園内 太陽の広場、わんぱく広場等	4,955,079
年間公園清掃業務 （ゴミ拾い）	永野川緑地公園、皆川城址公園	755,568
年間トイレ清掃業務	栃木市内　48 公園	4,806,516
地縁団体、地元自治会等による 公園清掃、除草等業務	丸沼長瀞公園　外 79 公園	2,311,900
浄化槽維持管理業務 （保守点検、11 条検査）	栃木市内　23 箇所	1,380,940
浄化槽清掃業務 （汚泥引抜き）	栃木市内　23 箇所	2,770,922
警備業務委託	永野川緑地公園パークセンター	145,200
その他の業務	防犯カメラ点検業務委託	0
合　　計		78,666,836

10　太平山遊覧道路桜更新事業

業務委託　（単位:円）

内　　容	金　額
太平山遊覧道路枯木剪定等業務委託	495,000
太平山遊覧道路支障木剪定等業務委託	495,000

11　公園遊具点検事業

業務委託　（単位:円）

内　　容	金　額
都市公園等遊具点検業務委託（栃木市内　42 箇所）	1,743,500

12　各種許可申請　　（単位:件）

内　　容	件　数
公園占用許可申請	17
公園内における行為の許可申請	81
公園施設設置許可申請	2

第６節　建築住宅課

〔総括概要〕

建築住宅課の主な分掌事務は、住宅政策の総合調整、市営住宅全般、空き家の適正管理及び有効活用、市有建築物の整備、設計、維持及び修繕に関することである。

住宅政策関係については、令和元年東日本台風による被災住宅の再建支援として、自宅を再建するために必要な資金を借り入れたことにより生じる利子を補助する「被災住宅再建等利子補給制度」により被災者の初期負担の軽減を図った。

市営住宅の維持管理については、建物等を良好な状態に維持するための管理運営や外壁改修工事等を行うとともに、指定管理者と連携した緊急修繕や使用料の納付相談、徴収業務に努めた。

空き家対策としては、「あったか住まいるバンク制度」による空き家情報の提供や成約物件へのリフォーム補助を行うとともに、「空き家解体費補助制度」及び「空き家等改善資金利子補給制度」により空き家の適正管理及び有効活用を促した。また、官民連携による空き家対策の推進を図るため、空家等管理活用支援法人の指定を行った。

建築営繕業務として、市有建築物の設計及び施工監理については、「(仮称) 都賀総合支所複合施設新築工事」、「栃木市消防本部・栃木市消防署第2出動車両車庫新築工事」、「栃木市消防署等解体工事」及び「川原田東市営住宅解体工事（第1期）」等を行った。

また、老人福祉施設、市営住宅等の市有建築物について建築基準法に基づく定期点検業務委託を実施し、点検結果を施設所管課に報告した。

空き家・住宅政策係

1　公営住宅管理戸数

(1)　市営住宅管理戸数　　（単位：戸）

種別構造 / 団地名	木造 平屋建	木造 2階建	準耐火 平屋建	準耐火 2階建	中層 耐火 3階建	中層 耐火 4階建	中層 耐火 5階建	高層 耐火 8階建	計
本町市営住宅	－	－	－	－	－	－	20	－	20
薗部市営住宅	－	6	－	－	－	－	－	－	6
城内市営住宅	－	－	－	－	－	48	－	－	48
神田市営住宅	－	8	－	－	－	－	－	－	8
大宮市営住宅	－	－	－	－	42	88	－	－	130
川原田西市営住宅	－	－	－	－	24	－	－	－	24
川原田市営住宅	－	－	－	－	58	－	－	60	118
川原田東市営住宅	－	－	60	－	－	－	－	－	60

城内南市営住宅	－	－	45	54	－	－	60	－	159
城内南第2市営住宅	－	－	－	－	12	88	30	－	130
平井市営住宅	－	－	－	－	－	16	－	－	16
平柳市営住宅	－	－	－	－	－	－	－	36	36
藤岡仲町市営住宅	2	－	4	－	－	－	－	－	6
藤岡南山市営住宅	12	－	4	－	－	－	－	－	16
藤岡荒立市営住宅	－	－	40	－	－	－	－	－	40
藤岡都賀市営住宅	－	－	4	－	－	－	－	－	4
岩舟西根南市営住宅	－	－	－	4	－	－	－	－	4
計	14	14	157	58	136	240	110	96	825
退去戸数	35								
入居戸数	18								

(2)　特定公共賃貸住宅管理戸数

管理戸数　30戸

(3)　改良住宅管理戸数

管理戸数　19戸

2　市営住宅維持管理関係

(1)　市営住宅改修工事費　（5件）　（単位：円）

工　事　名	工　事　箇　所	工　　事　　概　　要	工 事 金 額
大宮市営住宅C,D棟屋上防水、外壁及び排水管改修工事	大宮町地内	外壁改修工事 外壁面積2,146㎡、排水管改修工事、屋上防水工事	94,798,000
城内市営住宅2号棟外壁及び排水管改修工事	城内町1丁目地内	外壁改修工事 外壁面積1,398㎡、排水管改修工事	42,339,000
本町市営住宅外壁改修工事	本町地内	外壁改修工事 外壁面積1,722㎡	41,690,000
川原田市営住宅B棟火災報知設備更新工事	川原田町地内	電気設備工事 火災報知設備　感知器176か所	5,515,400
城内南第2市営住宅4号棟物置ドア取替工事	城内町2丁目地内	建具取替工事 物置ドア24か所	4,620,000
合　　計			188,962,400

(2)　指定管理者による市営住宅維持管理

市営住宅17団地の入居者管理事務、施設管理、緊急修繕工事、使用料納付相談及び

滞納整理業務委託

・指定管理者名称　一般社団法人　宅建とちぎ公営住宅管理センター

・委託料　41,000,000円

3　空き家解体費補助制度

地域	件数（件）	金額（円）
栃木地域	45	12,315,000
大平地域	4	1,250,000
藤岡地域	8	2,542,000
都賀地域	4	1,250,000
西方地域	5	1,584,000
岩舟地域	8	2,045,000
計	74	20,986,000

4　あったか住まいるバンク制度

(1)　空き家バンク事業

・空き家バンク事業実績

物件登録件数（件）	成約件数（件）	利用登録者数（人）
100	62	281

(2)　空き家バンクリフォーム等補助事業

・空き家バンクリフォーム等補助件数

種類	件数（件）	金額（円）
リフォーム補助	22	10,641,000
家財処分補助	16	1,427,000
計	38	12,068,000

5　空き家等改善資金利子補給制度

・申請者数　2件　利子補給額　36,952円

6　住宅被災者支援

令和元年東日本台風災害

・被災住宅再建等利子補給金　39件　利子補給額　697,452円

7　空家等管理活用支援法人

空家等対策の推進に関する特別措置法の改正により、新たに空家等管理活用支援法人に関する制度が創設されたことから、市内の特定非営利活動法人を空き家所有者の相談対応、セミナー等啓発事業の実施、弁護士、司法書士等と連携した業務等の役割を担う空家等管理活用支援法人に指定した。

・法人の名称　特定非営利活動法人スマイル
・指定日　令和6年7月1日
・指定期間　令和6年7月1日から令和9年3月31日まで

建築整備係

1　設計・工事依頼関係

(1)　設計・工事監理業務委託

業　務　名	業　務　箇　所	業　　務　　概　　要	委託金額（円）
（仮称）栃木東地域学校給食センター基本設計・実施設計業務委託（R4～R6 年度）	神田町地内	基本設計・実施設計 S 造　2 階建て 延床面積約 1,900 ㎡ 建築、電気設備、 機械設備、外構　一式	27,940,000
（仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備基本設計・実施設計業務委託（R5～R6 年度）	西方町元地内	基本設計・実施設計 庁舎　S 造　2 階建て 資機材倉庫兼備蓄倉庫、訓練塔、危険物倉庫、駐輪場 延べ面積約 1,400 ㎡ 建築、電気設備、 機械設備、外構　一式	21,890,000
いまいずみ保育園園舎等解体設計業務委託	今泉町 2 丁目地内	解体実施設計 S 造平屋建て 延床面積 712.35 ㎡ 付属建築物、浄化槽 受水槽、遊具、外構　外	2,255,000
その他業務委託件数　11 件			40,271,000
合　　計		14 件	92,356,000

(2)　施工監理業務

工　事　名	工　事　箇　所	工　　事　　概　　要	工事金額（円）
（仮称）都賀総合支所複合施設新築工事（R4～R6 年度）	都賀町原宿地内	建築工事　一式 複合施設 RC 造　2 階建て 延べ面積 2,436.66 ㎡ 外構工事　一式	922,460,000

（仮称）都賀総合支所複合施設新築電気設備工事（R4～R6年度）	都賀町原宿地内	電気設備工事　一式 複合施設 RC造　2階建て 延べ面積2,436.66㎡	207,460,000
（仮称）都賀総合支所複合施設新築機械設備工事（R4～R6年度）	都賀町原宿地内	機械設備工事　一式 複合施設 RC造　2階建て 延べ面積2,436.66㎡	187,000,000
栃木市消防本部・栃木市消防署第2出動車両車庫新築工事	平柳町1丁目地内	建築工事　一式 第2出動車両車庫 S造　平屋建て 延べ面積168.0㎡ 電気設備工事　一式 機械設備工事　一式 外構工事　一式	92,411,000
栃木市消防署等解体工事	平柳町1丁目地内	解体工事　一式 栃木市消防署 RC造　3階建て 延べ面積1301.05㎡ 訓練等副塔　S造 物置　S造　外	69,905,000
川原田東市営住宅解体工事（第1期）	川原田町地内	解体工事　一式 簡易耐火構造 平屋建て 延べ面積1,031.22㎡ プレハブ、物置　外	46,475,000
その他工事件数　10件			355,040,400
合　　計			16件 1,880,751,400

建築維持係

1　設計・工事依頼関係

(1)　設計・工事監理業務委託

業　務　名	業　務　箇　所	業　　務　　概　　要	委託金額（円）
栃木文化会館大規模改修基本及び実施設計業務委託（R6～R7年度）	旭町地内	大規模改修基本・実施設計 建築、構造、電気設備、機械設備、舞台設備、外構一式	63,679,000

大平健康福祉センター劣化度診断調査業務委託	大平町西野田地内外	現況調査及び改修提案業務 現況調査　一式 改修提案　一式	11,297,000
栃木市総合運動公園軟式野球場及び陸上競技場キュービクル更新設計業務委託	川原田町地内	軟式野球場及び陸上競技場ｷｭｰﾋﾞｸﾙ更新設計 ｷｭｰﾋﾞｸﾙ更新設計　一式	1,650,000
その他業務委託件数　5件			4,785,000
合　　計		8件	81,411,000

(2)　施工監理業務

工　事　名	工　事　箇　所	工　　事　　概　　要	工事金額 （円）
岩舟文化会館中ホール照明設備及び音響設備等改修工事 (R6～R7 年度)	岩舟町静地内	電気設備工事 照明設備工事　一式 音響設備工事　一式	388,190,000
岩舟文化会館中ホール天井改修工事 (R6～R7 年度)	岩舟町静地内	建築工事 天井改修工事　一式	95,920,000
はこのもり児童センター等空調設備改修工事	箱森町地内	機械設備工事 室内機　38 台 室外機　6 台	63,206,000
その他工事件数　35 件			528,925,400
合　　計		38件	1,076,241,400

2　定期点検業務委託

業　務　名	業　務　箇　所	業　　務　　概　　要	委託金額 （円）
市有建築物定期点検業務委託（栃木その 3）	栃木市境町地内外	点検業務 栃木地区急患センター、 とちぎ山車会館、 栃木市屋内運動場等 15 施設 17 棟	1,551,000
市有建築物定期点検業務委託（藤岡）	栃木市藤岡町藤岡地内外	点検業務 藤岡総合支所、 藤岡遊水池会館、 藤岡公民館等 13 施設　20 棟	1,551,000

その他定期点検業務委託件数　8件	76施設 128棟	8,569,000
合　　計	104施設 165棟	11,671,000

3　外壁調査業務委託

業　務　名	業　務　箇　所	業　　務　　概　　要	委託金額（円）
市有建築物外壁調査業務委託（岩舟公民館 外1施設）	栃木市岩舟町静地内	外壁調査業務 岩舟公民館 岩舟文化会館 2施設　2棟	3,410,000
市有建築物外壁調査業務委託（栃木勤労青少年ホーム 外1施設）	栃木市日ノ出町地内	外壁調査業務 栃木勤労青少年ホーム 技能センター 2施設　2棟	484,000
その他定期点検業務委託件数　2件		3施設　3棟	891,000
合　　計		7施設 7棟	4,785,000

第７節　建築指導課

〔総括概要〕

市民の生命・財産の保護及び都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため、建築基準法に基づく許可､私有地内に築造された道路位置の指定､建築確認申請の審査、確認済証及び完了検査済証の交付等、建築行政事務を行った。

首都直下地震・南海トラフ地震等の大規模地震の発生が切迫していると指摘されている状況や耐震化の現状等を踏まえ、安心・安全で地震に強いまちづくりを更に推進するため､栃木市建築物耐震改修促進計画に基づき､「栃木市住宅耐震化緊急促進アクションプログラム2024」を策定するとともに､昭和56年5月以前の旧耐震基準で建築された木造住宅の所有者等に対して、耐震化の重要性や各種耐震支援制度の普及啓発、耐震診断士の無料派遣、耐震改修工事及び耐震建替工事費用の一部助成を行い、民間木造住宅の耐震化の促進を図った。併せて、ブロック塀や石塀等の倒壊による被害の防止を図り歩行者の安全を確保するために、危険なブロック塀等の撤去改修工事に関する費用の一部助成も行った。また、業務委託により通学路に面する倒壊の危険のあるブロック塀等の場所と件数を把握した。

違反建築物や老朽化が著しい建築物の是正指導に取り組む一方で、狭あい道路を解消するため､建築基準法第 42 条第 2 項の規定に基づき指定した道路の後退用地の所有者から、分筆測量及び工作物撤去費用の一部助成申請並びに無償使用承諾書を受理した。

また、建設リサイクル法に基づく分別解体等の届出書等の受理及び解体現場の立入調査を行い、建築物の分別解体について助言指導を行った。

そのほか、建築物の省エネ対策として、建築物エネルギー消費性能基準の適合性判定、低炭素建築物新築等計画の認定や、長期にわたり良好であり環境負荷の低減を行った長期優良住宅建築等計画の認定などを行った。

建築指導係

1　木造住宅耐震診断士派遣制度・耐震改修等補助制度

耐震診断士派遣申請	60 件	5,760,000 円
耐震改修等補助申請（建替え含む）	26 件	29,348,000 円

※件数及び金額は、受付ベース

2　ブロック塀等撤去改修工事費補助制度

基準法の道路	1 件	150,000 円
通学路	20 件	2,713,000 円

3　狭あい道路拡幅整備促進事業

分筆測量に係る補助申請	4 件	1,181,000 円
工作物等撤去に係る補助申請	1 件	100,000 円

4　道路後退用地無償使用承諾

承諾件数	12 件	後退面積計	150.11 ㎡

5　建設リサイクル法による届出及び通知

10 条届出	311 件	11 条通知	140 件

6　道路位置指定

指定件数	0 件	指定延長	0m
廃止件数	1 件	廃止延長	27.7m

7　建築基準法に基づく建築許可等の状況

条 項 の 区 分	件数
法第 7 条の 6 第 1 項又は法第 18 条第 24 項	1
法第 43 条第 2 項	9
法第 44 条第 1 項	1
法第 47 条	－
法第 48 条第 1 項から第 14 項	－
法第 51 条	－
法第 52 条第 14 項	－
法第 53 条第 4 項、第 5 項	－
法第 53 条の 2 第 1 項	－
法第 55 条第 2 項、第 3 項	－
法第 56 条の 2 第 1 項	－
法第 57 条の 4 第 1 項	－
法第 59 条第 1 項、第 4 項	－
法第 59 条の 2 第 1 項	－
法第 60 条の 2 第 1 項	－
法第 67 条の 2 第 3 項、第 5 項、第 9 項	－
法第 68 条第 1 項から第 3 項、第 5 項	－
法第 68 条の 2 から第 68 条の 7	－
法第 85 条	－
法第 86 条第 1 項から第 4 項	－
合　　計	11

8　建築確認申請受付件数及び同手数料

・受付状況等　【別表】令和７年度建築確認申請受付件数及び同手数料参照

建築審査係

1　建築確認済証、中間検査合格証及び完了検査済証の交付件数　（単位：件）

区分		第１号建築物	第２号建築物	第３号建築物	第４号建築物	建築設備	工作物	合計
確認	栃木市	12	－	5	183	1	0	201
	指定確認検査機関	9	4	29	390	3	9	444
	合計	21	4	34	573	4	9	645
計画変更	栃木市	－	－	－	6	－	－	6
	指定確認検査機関	－	－	8	42	－	－	50
	合計	－	－	8	48	－	－	56
中間検査	栃木市	－	－	－	1	－	－	1
	指定確認検査機関	－	－	－	44	－	－	44
	合計	－	－	－	45	－	－	45
完了検査	栃木市	10	－	3	154	－	－	167
	指定確認検査機関	8	5	39	410	2	8	472
	合計	18	5	42	564	2	8	639

2　計画通知（法第18条）件数　（単位：件）

区分		第１号建築物	第２号建築物	第３号建築物	第４号建築物	建築設備	工作物	合計
計画通知	確認	1	－	3	8	1	－	13
	計画変更	－	－	－	－	－	－	－
	中間検査	－	－	－	－	－	－	－
	完了検査	2	－	－	8	2	－	12

3　建築物エネルギー消費性能適合性判定件数　（単位：件）

申請件数	5	認定件数	5

4　建築物エネルギー消費性能向上計画認定件数（単位：件）

申請件数	0	認定件数	0

5　建築物省エネ法による届出件数（単位：件）

届出件数	10

6　低炭素建築物新築等計画認定件数　（単位：件）

申請件数	2	認定件数	2

7　長期優良住宅建築等計画認定件数　（単位：件）

申請件数	230	認定件数	231

8　バリアフリー法による特定建築物認定件数（単位：件）

申請件数	－	認定件数	－

9　栃木県ひとにやさしいまちづくり条例による特定施設届出件数（単位：件）

届出件数	10

【別表】令和６年度建築確認申請受付件数及び同手数料

（金額の単位：円）

	確認申請																中間検査		完了検査		認定・許可等手数料 (内 42-1-5)		各種証明		月別計	
	1号		2号		3号		4号		EV		工作物		計画変更		計											
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
4月	2	74,000			1	37,000	24	498,000					1	9,000	28	618,000	0	0	15	494,000			12	3,600	55	1,115,600
5月							12	212,000					1	9,000	13	221,000	0	0	7	170,000	1	27,000	20	6,000	41	424,000
6月					1	94,000	21	411,000							22	505,000	0	0	8	167,000	1	33,000	16	4,800	47	709,800
7月	1	37,000					15	291,000					1	15,000	17	343,000	0	0	10	231,000	1	27,000	20	6,000	48	607,000
8月							14	280,000							14	280,000	0	0	10	220,000			24	7,200	48	507,200
9月	2	103,000			1	15,000	15	369,000							18	487,000	0	0	20	489,000	1	27,000	22	6,600	61	1,009,600
10月	2	81,000					16	328,000							18	409,000	0	0	18	452,000	1	27,000	19	5,700	56	893,700
11月	1	94,000					14	260,000							15	354,000	0	0	14	326,000	1	33,000	13	3,900	43	716,900
12月	1	37,000			1	23,000	16	328,000	1	15,000					19	403,000	1	16,000	12	282,000	1	27,000	18	5,400	51	733,400
1月							10	214,000					2	18,000	12	232,000	0	0	15	351,000			26	7,800	53	590,800
2月					1	94,000	15	315,000							16	409,000	0	0	20	508,000	2	57,000	24	7,200	62	981,200
3月							9	177,000					1	15,000	10	192,000	0	0	20	586,000	1	27,000	15	4,500	46	809,500
計	9	426,000	0	0	5	263,000	181	3,683,000	1	15,000	0	0	6	66,000	202	4,453,000	1	16,000	169	4,276,000	10	285,000 0	229	68,700	611	9,098,700

第９章　会計課

〔総括概要〕

会計管理者の会計事務を補助する会計課の主な業務は、会計管理者の職務権限である支出負担行為の確認と支出命令の審査、現金（有価証券を含む）や物品の出納及び保管、小切手の振出し、現金や財産の記録管理、決算の調製である。

これらの事務については、公正の確保のため、法令、条例、規則等及び予算に基づき適法かつ適正な処理に当たるとともに、財政健全化の視点に立ち、その執行に努めた。

支出命令の審査については、支出命令書（支出調書）、請求書、支出負担行為決議書及びこれらの関係書類の精査に努めた。

また、市税、地方交付税、国・県支出金、使用料、手数料、市債等の公金の収納については、これらを的確に把握の上、収入確定への一連の事務処理を行った。

歳計現金、歳計外現金、運用基金及び積立基金の保管については、常に収支状況を把握し、低金利の厳しい状況の中、ペイオフ対策を踏まえ、定期性預金、譲渡性預金、地方債及び流動性預金により運用し、収益（利子）の確保に努めた。

更に、公金の収納及び支払事務を取り扱っている指定金融機関及び収納事務を取り扱っている収納代理金融機関5行に対し、定期検査を行った。

なお、今年度の現金受払状況の受高は127,004,940,309円、払高は121,951,553,273円となっている。

審査係

1　月別支払状況

区　　分	処理伝票数(件)	金額(円)
令和6年 4月	764	5,582,277,177
5月	3,517	6,242,996,374
6月	4,384	7,965,046,825
7月	4,988	8,421,279,299
8月	3,866	9,375,568,117
9月	3,495	9,515,483,993
10月	5,222	8,760,398,080
11月	4,076	6,775,468,106
12月	4,547	9,088,082,578
令和7年 1月	4,233	8,984,002,809
2月	4,408	9,037,302,151
3月	5,056	19,927,430,108
4月	5,651	10,848,265,495

令和7年 5月	772	1,427,952,161
合　　計	54,979	121,951,553,273

2　資金運用状況

・預金等の種類　　大口定期預金・譲渡性預金（ＮＣＤ）・地方債

・運用回数　　23回

・運用資金累計（延べ）額　　10,520,533,811円

・運用収益（利子）額　　3,281,934円

区分	会計・基金名	運用回数(回)	運用資金累計(延べ)額(円)	運用収益(利子)額(円)
歳計現金	一般会計	－	－	－
	国民健康保険特別会計	－	－	－
	後期高齢者医療特別会計	－	－	－
	介護保険特別会計（保険事業勘定）	－	－	－
	介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	－	－	－
	寺尾財産区特別会計	－	－	－
	小　　計	－	－	－
運用基金	保護費即時払基金	－	－	－
	奨学基金	－	－	－
	印紙等購買基金	－	－	－
	小　　計	－	－	－
積立基金	財政調整基金	2	4,000,000,000	1,524,382
	減債基金	2	2,000,000,000	762,190
	大澤基金	3	1,000,000,000	469,780
	庁舎建設基金	1	280,000,000	42,345
	地域福祉基金	－	－	－
	スポーツ振興基金	1	30,000,000	4,536
	ふるさと文化振興基金	1	37,000,000	4,536
	図書館振興基金	1	17,500,000	2,632
	保険財政調整基金	2	1,700,000,000	257,095
	介護給付費準備基金	1	125,000,000	18,904
	小野寺地区市有林管理基金	－	－	－
	寺尾財産区運営基金	1	230,000,000	34,783
	市民協働まちづくりファンド	－	－	－
	墓園管理基金	1	30,000,000	4,536
	皆川地区振興基金	1	30,000,000	4,536
	再生可能エネルギー普及促進基金	－	－	－
	ふるさと応援基金	－	－	－
	義務教育施設整備基金	－	－	－

	ふるさと整備事業基金	−	−	−
	地域医療対策基金	−	−	−
	中山間地域農村環境保全基金	1	10,033,811	1,509
	さくら基金	−	−	−
	創業支援中村由美子基金	−	−	−
	マスコットキャラクター応援基金	−	−	−
	新斎場整備基金	−	−	−
	消防基金	−	−	−
	篤志奨学基金	−	−	−
	子ども未来基金	1	30,000,000	4,537
	小平浪平顕彰基金	−	−	−
	森林環境譲与税基金	−	−	−
	新型コロナ対策基金	−	−	−
	緊急資金利子補助基金	1	156,000,000	23,592
	公共施設整備等基金	1	800,000,000	120,328
	コウノトリ基金	−	−	−
	栃木インター西基金	−	−	−
	企業版ふるさと応援基金	−	−	−
	小　　計	21	10,475,533,811	3,280,221
歳入歳出外現金		2	45,000,000	1,713
合　　計		23	10,520,533,811	3,281,934

※ 令和元年度から普通預金を決済用預金に変更

出納係

1　会計

(1)　現金受払状況　　（単位：円）

区分 / 会計名		受　高	払　高	残　高
一般会計		81,714,808,561	78,167,916,282	3,546,892,279
特別会計	国民健康保険	15,992,359,888	15,804,173,818	188,186,070
	後期高齢者医療	2,526,622,177	2,481,160,498	45,461,679
	介護保険(保険事業勘定)	16,014,351,750	15,464,610,184	549,741,566
	介護保険(介護サービス事業勘定)	84,131,689	81,303,632	2,828,057
	栃木インター西産業団地	3,254,834,059	3,237,141,205	17,692,854
	平川産業団地	791,552,368	787,971,651	3,580,717
	寺尾財産区	59,064,520	57,060,111	2,004,409

運用基金	印紙等購買基金	34,920,380	32,976,400	1,943,980
	保護費即時払基金	3,525,826	1,810,377	1,715,449
	奨学基金	70,112,368	7,560,000	62,552,368
一時借入金		-	-	-
歳入歳出外現金		6,458,656,723	5,827,869,115	630,787,608
合　　計		127,004,940,309	121,951,553,273	5,053,387,036

(2)　令和6年度　歳入歳出決算

ア　一般会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 市税	21,370,102,000	23,015,962,403	22,320,435,564	83,412,160	612,114,679
2 地方譲与税	634,000,000	638,242,000	638,242,000	-	-
3 利子割交付金	4,300,000	7,741,000	7,741,000	-	-
4 配当割交付金	123,000,000	155,877,000	155,877,000	-	-
5 株式等譲渡所得割交付金	155,000,000	221,412,000	221,412,000	-	-
6 法人事業税交付金	392,000,000	406,003,000	406,003,000	-	-
7 地方消費税交付金	3,977,000,000	4,133,065,000	4,133,065,000	-	-
8 ゴルフ場利用税交付金	346,000,000	352,668,120	352,668,120	-	-
9 環境性能割交付金	87,000,000	87,141,000	87,141,000	-	-
10 地方特例交付金	836,002,000	851,854,000	851,854,000	-	-
11 地方交付税	11,629,854,000	11,777,705,000	11,777,705,000	-	-
12 交通安全対策特別交付金	18,500,000	14,839,000	14,839,000	-	-
13 分担金及び負担金	224,637,000	201,992,976	201,008,201	24,400	960,375
14 使用料及び手数料	772,455,000	873,815,496	788,485,424	4,688,332	80,641,740
15 国庫支出金	14,430,933,000	12,907,615,853	12,907,615,853	-	-
16 県支出金	5,660,786,000	5,262,630,750	5,198,976,750	-	63,654,000
17 財産収入	252,583,000	243,617,732	243,617,732	-	-
18 寄附金	1,851,959,000	1,729,694,954	1,729,694,954	-	-
19 繰入金	4,218,496,000	4,106,118,490	4,106,118,490	-	-
20 繰越金	3,593,957,800	3,593,957,948	3,593,957,948	-	-
21 諸収入	3,848,828,000	4,074,233,390	3,672,250,525	16,459,316	385,523,549
22 市債	10,898,700,000	8,306,100,000	8,306,100,000	-	-
合　　計	85,326,092,800	82,962,287,112	81,714,808,561	104,584,208	1,142,894,343

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 議会費	373,551,000	357,413,707	-	16,137,293
2 総務費	14,791,319,200	14,034,156,856	67,767,000	689,395,344
3 民生費	28,704,949,000	26,696,134,309	595,123,000	1,413,691,691
4 衛生費	11,884,759,000	10,742,089,067	553,993,398	588,676,535
5 労働費	79,737,000	76,986,686	-	2,750,314
6 農林水産業費	1,484,420,000	1,165,968,159	270,297,000	48,154,841
7 商工費	3,349,201,000	3,020,475,053	232,525,000	96,200,947
8 土木費	8,500,465,600	6,771,424,425	1,479,375,000	249,666,175
9 消防費	3,300,055,000	3,160,787,234	50,821,000	88,446,766
10 教育費	6,496,069,000	5,814,786,584	349,898,000	331,384,416
11 災害復旧費	10,004,000	-	-	10,004,000
12 公債費	6,329,673,000	6,327,694,202	-	1,978,798
13 予備費	21,890,000	-	-	21,890,000
合　　計	85,326,092,800	78,167,916,282	3,599,799,398	3,558,377,120

イ　国民健康保険特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 国民健康保険税	2,838,513,000	3,756,662,471	2,857,193,343	147,842,647	751,626,481
2 一部負担金	4,000	-	-	-	-
3 使用料及び手数料	2,401,000	1,968,420	1,968,420	-	-
4 国庫支出金	8,205,000	4,940,000	4,940,000	-	-
5 県支出金	12,836,434,000	11,564,488,577	11,564,488,577	-	-
6 財産収入	258,000	257,095	257,095	-	-
7 繰入金	1,208,384,000	1,211,388,960	1,211,388,960	-	-
8 繰越金	246,713,000	246,713,091	246,713,091	-	-
9 諸収入	71,104,000	111,522,687	105,410,402	-	6,112,285
10 市債	1,000	-	-	-	-
合　　計	17,212,017,000	16,897,941,301	15,992,359,888	147,842,647	757,738,766

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	231,657,000	213,066,118	-	18,590,882
2 保険給付費	12,647,016,000	11,327,433,015	-	1,319,582,985
3 国民健康保険事業費納付金	4,044,402,000	4,044,399,195	-	2,805

4 財政安定化基金拠出金	1,000	-	-	1,000
5 保健事業費	140,877,000	101,383,189	-	39,493,811
6 積立金	258,000	257,095	-	905
7 公債費	2,000	-	-	2,000
8 諸支出金	117,804,000	117,635,206	-	168,794
9 予備費	30,000,000	-	-	30,000,000
合　　計	17,212,017,000	15,804,173,818	-	1,407,843,182

ウ　後期高齢者医療特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 後期高齢者医療保険料	1,842,504,000	1,848,205,560	1,840,461,439	1,569,159	6,174,962
2 使用料及び手数料	201,000	316,900	316,900	-	-
3 寄附金	1,000	-	-	-	-
4 繰入金	650,118,000	650,117,700	650,117,700	-	-
5 繰越金	32,339,000	32,339,774	32,339,774	-	-
6 諸収入	3,927,000	3,386,364	3,386,364	-	-
合　　計	2,529,090,000	2,534,366,298	2,526,622,177	1,569,159	6,174,962

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	80,772,000	69,436,364	-	11,335,636
2 後期高齢者医療広域連合納付金	2,305,222,000	2,302,689,229	-	2,532,771
3 後期高齢者健診事業費	106,946,000	74,540,505	-	32,405,495
4 諸支出金	35,150,000	34,494,400	-	655,600
5 予備費	1,000,000	-	-	1,000,000
合　　計	2,529,090,000	2,481,160,498	-	47,929,502

エ　介護保険特別会計（保険事業勘定）

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 保険料	3,486,089,000	3,582,866,280	3,550,573,764	6,121,011	26,171,505
2 分担金及び負担金	31,201,000	31,525,500	31,024,500	-	501,000
3 使用料及び手数料	400,000	361,900	361,900	-	-
4 国庫支出金	3,306,714,000	3,215,118,575	3,215,118,575	-	-
5 支払基金交付金	4,068,361,000	3,873,167,235	3,873,167,235	-	-
6 県支出金	2,161,501,000	2,187,831,436	2,187,831,436	-	-

7 財産収入	18,000	18,904	18,904	−	−
8 寄附金	1,000	−	−	−	−
9 繰入金	2,518,865,000	2,518,862,000	2,518,862,000	−	−
10 繰越金	633,403,000	633,403,071	633,403,071	−	−
11 諸収入	612,000	3,990,365	3,990,365	−	−
12 市債	1,000	−	−	−	−
合　　計	16,207,166,000	16,047,145,266	16,014,351,750	6,121,011	26,672,505

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 総務費	453,363,000	421,879,591	−	31,483,409
2 保険給付費	14,758,364,000	14,059,748,295	−	698,615,705
3 財政安定化基金拠出金	1,000	−	−	1,000
4 積立金	87,307,000	87,163,904	−	143,096
5 地域支援事業費	402,823,000	391,953,104	−	10,869,896
6 公債費	2,000	−	−	2,000
7 諸支出金	504,306,000	503,865,290	−	440,710
8 予備費	1,000,000	−	−	1,000,000
合　　計	16,207,166,000	15,464,610,184	−	742,555,816

オ　介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 サービス収入	76,842,000	76,369,407	76,369,407	−	−
2 繰入金	2,752,000	2,752,000	2,752,000	−	−
3 繰越金	5,011,000	5,010,282	5,010,282	−	−
4 諸収入	5,000	−	−	−	−
合　　計	84,610,000	84,131,689	84,131,689	−	−

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 事業費	79,599,000	76,293,350	−	3,305,650
2 諸支出金	5,011,000	5,010,282	−	718
合　　計	84,610,000	81,303,632	−	3,306,368

カ　栃木インター西産業団地特別会計

・歳入　　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額

1 使用料及び手数料	1,000	376,588	376,588	−	−
2 財産収入	3,235,148,000	3,235,148,197	3,235,148,197	−	−
3 繰入金	17,355,000	17,355,000	17,355,000	−	−
4 繰越金	1,954,000	1,954,274	1,954,274	−	−
5 諸収入	1,000	−	−	−	−
合　　計	3,254,459,000	3,254,834,059	3,254,834,059	−	−

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 産業団地造成事業費	383,504,000	369,646,204	−	13,857,796
2 公債費	2,676,290,000	2,672,830,001	−	3,459,999
3 積立金	194,665,000	194,665,000	−	−
合　　計	3,254,459,000	3,237,141,205	−	17,317,795

キ　平川産業団地特別会計

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 分担金及び負担金	19,700,000	41,164,000	41,164,000	−	−
2 使用料及び手数料	30,000	40,563	40,563	−	−
3 繰入金	97,772,000	97,772,000	97,772,000	−	−
4 繰越金	2,075,000	2,075,805	2,075,805	−	−
5 諸収入	1,000	−	−	−	−
6 市債	899,600,000	650,500,000	650,500,000	−	−
合　　計	1,019,178,000	791,552,368	791,552,368	−	−

・歳出　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 土地区画整理事業費	941,679,000	711,159,882	226,451,000	4,068,118
2 公債費	77,499,000	76,811,769	−	687,231
合　　計	1,019,178,000	787,971,651	226,451,000	4,755,349

ク　寺尾財産区特別会計

・歳入　（単位：円）

款	予算現額	調定額	収入済額	不納欠損額	収入未済額
1 県支出金	1,000	−	−	−	−
2 財産収入	14,147,000	13,239,613	13,239,613	−	−
3 繰入金	1,000	−	−	−	−
4 繰越金	45,383,000	45,824,907	45,824,907	−	−

5 諸収入	2,000	−	−	−	−
合　　計	59,534,000	59,064,520	59,064,520	−	−

・歳出　　（単位：円）

款	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1 議会費	1,222,000	1,135,632	−	86,368
2 総務費	57,959,000	55,924,479	−	2,034,521
3 土木費	3,000	−	−	3,000
4 予備費	350,000	−	−	350,000
合　　計	59,534,000	57,060,111	−	2,473,889

(3)　口座による自動払込分（1件あたり10円(税込)）

科　　目	件数（件）	手数料（円）
市県民税	666	6,660
固定資産税・都市計画税	7,085	70,850
軽自動車税	1,433	14,330
国民健康保険税	3,780	37,800
介護保険料	445	4,450
後期高齢者医療保険料	1,091	10,910
市営住宅使用料	702	7,020
保育料	1,240	12,400
学童保育料	1,565	15,650
奨学資金貸付金	197	1,970
配食サービス事業自己負担金	1,423	14,230
聖地公園管理手数料	214	2,140
幼稚園保育料	72	720
軽度生活援助員派遣負担金	169	1,690
合　　計	20,082	200,820

(4)　金融機関別公金収納状況

金融機関名		件　数（件）		金　額（円）	
			割合(%)		割合(%)
指定金融機関	足利銀行	761,229	85.27	118,104,593,292	93.54
収納代理金融機関	みずほ銀行	14,912	1.67	2,636,325,209	2.09
	三井住友銀行	7,797	0.87	783,705,159	0.62
	群馬銀行	8,243	0.92	650,381,622	0.51
	常陽銀行	511	0.06	45,541,400	0.04

	栃木銀行	26,686	2.99	1,186,471,694	0.94
	栃木信用金庫	28,532	3.20	1,188,009,829	0.94
	足利小山信用金庫	1,554	0.17	61,598,308	0.05
	佐野信用金庫	1,306	0.15	35,698,644	0.03
	鹿沼相互信用金庫	3,861	0.43	115,936,808	0.09
	下野農業協同組合	32,159	3.60	1,269,960,838	1.01
	上都賀農業協同組合	4,566	0.51	148,002,523	0.12
	中央労働金庫	1,397	0.16	32,123,541	0.02
	計	131,524	14.73	8,153,755,575	6.46
合　　計		892,753	100.00	126,258,348,867	100.00

(5)　有価証券取扱状況

区　分		小切手		約束手形		為替手形		合　計	
		件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)	件数(件)	金額(円)
前年度末保管分		－	－	－	－	－	－	－	－
本年度保管分		－	－	－	－	－	－	－	－
計		－	－	－	－	－	－	－	－
処理	取立て(納入)	－	－	－	－	－	－	－	－
	寄附（納入）	－	－	－	－	－	－	－	－
	組戻し(取消し)	－	－	－	－	－	－	－	－
	不渡り	－	－	－	－	－	－	－	－
	計	－	－	－	－	－	－	－	－
本年度末保管分		－	－	－	－	－	－	－	－

2　主な消耗品交付状況（本庁舎）

品　　名	数　量	品　　名	数　量	品　　名	数　量
鉛筆	121 本	シャープペン	63 本	シャープペン芯	91 個
ボールペン	315 本	マジック	319 本	蛍光ペン	626 本
蛍光ペン替	218 個	消しゴム	242 個	賞状（A3）	485 枚
修正テープ	299 個	修正テープ替	287 個	付箋紙	1,756 個
液状のり	299 個	ホッチキス針	1,307 個	インデックス	699 袋
ホワイトボードマーカー	141 本	朱の油	13 個	指サック	34 箱
両面テープ	319 本	セロテープ	315 本	ガムテープ	121 個
ビニールひも	106 個	決裁カバー	120 冊	書類封筒	20,750 枚
広告入書類封筒	20,170 枚	封筒　中	47,350 枚	広告入封筒　中	65,830 枚

封筒 小	11,950 枚	ゴミ袋	1,029 袋	石けん	15個
台所用洗剤	93 本	台所用漂白剤	34 本	スポンジ	212 個
フラットファイル	3,161 枚	クリアフォルダー	835 枚	ラベルシール	200 枚

3　指定金融機関等の検査

地方自治法施行令第168条の4及び栃木市財務規則第139条の規定に基づき、指定金融機関及び収納代理金融機関の検査を次のとおり実施し、適正に処理されていることを確認した。（令和6年度は、書面で実施）

実施日	金融機関
2月21日（金）	指定金融機関　株式会社足利銀行　栃木支店
	収納代理金融機関　株式会社みずほ銀行　栃木支店
	収納代理金融機関　株式会社三井住友銀行　小山支店
	収納代理金融機関　株式会社群馬銀行　栃木支店
	収納代理金融機関　足利小山信用金庫　栃木卸センター支店

第１０章　議会事務局

第１節　議事課

〔総括概要〕

本市議会では、議会基本条例に基づき、二元代表制における役割及び市民を代表している責任を果たすべく、積極的に議会運営を進めてきた。

議会報告会については、「議会報告会運営委員会」が主体となって準備を進め、書面や動画等の様々な方法により報告を行うことで、市民から幅広く報告事項や市政全般に関する意見の集約を行った。また、意見交換会については、「物価高騰による生活への影響について」をテーマとし、特に子育て世帯の家計への影響について意見を聞き、支援のニーズを把握するため、市内公立小中学校のPTA役員を対象に市内3会場でワークショップ形式による意見交換を行った。更に、これらの取組により集約した意見を整理し、「市長への3つの提言」を行った。

議会改革については、「議会改革検討委員会」において、①予算・決算について、②政治倫理条例について、③議員研究会について、④一般質問についての検討を行い、現状の課題や改善方法について協議を進めた。

議会運営委員会では、議会運営を円滑かつ効率的に進めるために、審議する議案や請願・陳情などの提出状況をあらかじめ把握するなど、議会運営全般にわたる事項について審議した。

委員会活動については、総務、民生、産業教育及び建設の各常任委員会において、付託された各案件について専門的な審査を行うとともに、常任委員研究会を開催し市政の課題について調査研究を積極的に行った。また、当初予算及び決算議案の審査に当たっては、より詳細な審査を行うために特別委員会を設置した。

調査研究活動については、議員全員協議会及び議員研究会において、市の主要施策等の調査研究を行った。また、各常任委員会で先進都市視察を実施するとともに、政務活動費を活用した会派等による自主的な行政視察や研修会への参加などを通じて各議員が自己研鑽に努めた。

議会情報の提供については、ホームページやＳＮＳを積極的に活用した最新情報の発信、「市議会だより」の発行、定例会開会の際の「議会チラシ」の新聞折り込み、ケーブルテレビによる本会議の「生中継」、インターネットを活用した本会議の「ライブ配信」及び「録画配信」を行い議会情報の発信に努めた。

議会総務係　議事調査係

1　議会

(1)　議員　令和4年4月25日～

・定数　28人（現員数28人）

議席	氏　　名	議席	氏　　名	議席	氏　　名	議席	氏　　名
1	川 田 俊 介	2	小太刀孝之	3	市 村　　隆	4	雨 宮 茂 樹
5	森 戸 雅 孝	6	浅 野 貴 之	7	小 平 啓 佑	8	大 浦 兼 政
9	針 谷 育 造	10	古沢ちい子	11	大 谷 好 一	12	坂 東 一 敏
13	内海まさかず	14	小久保かおる	15	青 木 一 男	16	松 本 喜 一
17	梅 澤 米 満	18	天 谷 浩 明	19	針 谷 正 夫	20	広 瀬 義 明
21	氏 家　　晃	22	福 富 善 明	23	福 田 裕 司	24	中 島 克 訓
25	大阿久岩人	26	小 堀 良 江	27	白 石 幹 男	28	関口孫一郎

(2)　正副議長

区　分	氏　　名	任　　期
議　長	梅 澤 米 満	令和6年5月31日～
副議長	針 谷 正 夫	令和6年5月31日～

(3)　常任委員会（令和6年5月31日～）

委員会名	委員長	副委員長	委　　員
総　　務	小 平 啓 佑	小太刀孝之	小久保かおる　松 本 喜 一　梅 澤 米 満 天 谷 浩 明　小 堀 良 江
民　　生	森 戸 雅 孝	古沢ちい子	川 田 俊 介　浅 野 貴 之　内海まさかず 広 瀬 義 明　白 石 幹 男
産業教育	福 富 善 明	雨 宮 茂 樹	針 谷 育 造　青 木 一 男　針 谷 正 夫 氏 家　　晃　大阿久岩人
建　　設	大 浦 兼 政	市 村　　隆	大 谷 好 一　坂 東 一 敏　福 田 裕 司 中 島 克 訓　関口孫一郎

(4)　議会運営委員会（令和6年5月31日～）

委員長	副委員長	委　　員
大 谷 好 一	小久保かおる	小太刀孝之　針 谷 育 造　福 富 善 明 中 島 克 訓　関口孫一郎

(5)　議会広報委員会（令和6年5月31日～）

委員長	副委員長	委　　員
白 石 幹 男	川 田 俊 介	小太刀孝之　小 平 啓 佑　古沢ちい子 内海まさかず　天 谷 浩 明

（委員　雨宮茂樹　～令和6年6月6日　古沢ちい子　令和6年6月6日～）

（委員　坂東一敏　～令和6年6月7日　天谷浩明　令和6年6月7日～）

2　会議

(1)　会期及び本会議日数　　（単位：日）

区　分	令和6年 第2回 定例会 (6月)	令和6年 第3回 定例会 (9月)	令和6年 第4回 定例会 (12月)	令和7年 第1回 臨時会 (1月)	令和7年 第2回 定例会 (3月)	合計
会　　期	20	32	20	1	34	107
本会議開催日数	6	7	6	1	6	26
常任委員会 開催延べ日数	5	4	4	－	4	17
予算特別委員会 開催延べ日数	－	－	－	－	7	7
決算特別委員会 開催延べ日数	－	7	－	－	－	7
議会運営委員会 開催日数	4	4	1	1	3	13

(2)　議会付議事件件数　　(単位：件)

区　分		令和6年 第2回 定例会 (6月)	令和6年 第3回 定例会 (9月)	令和6年 第4回 定例会 (12月)	令和7年 第1回 臨時会 (1月)	令和7年 第2回 定例会 (3月)	合計
市長提出	条　例	7	4	－	3	34	48
	予算決算	3	14	7	1	16	41
	人　事	2	4	4	－	9	19
	報　告	9	4	1	1	1	16
	その他	6	9	12	－	10	37
議員提出	条例規則	－	－	－	－	1	1
	意見書	－	2	1	－	－	3
	決　議	1	－	－	－	1	2
	その他	5	1	－	－	2	8
議会人事等		8	－	－	－	－	8
請願・陳情		2	4	2	－	－	8
計		43	42	27	5	74	191

(3)　議案等処理状況

ア　令和6年第2回定例会

・開会　5月31日

・閉会　6月19日

番　　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　　果

報告第2号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
報告第3号	令和5年度栃木市一般会計継続費繰越計算書	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
報告第4号	令和5年度栃木市一般会計繰越明許費繰越計算書	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
報告第5号	令和5年度栃木市平川産業団地特別会計繰越明許費繰越計算書	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
報告第6号	令和5年度栃木市水道事業会計予算繰越計算書	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
報告第7号	令和5年度栃木市下水道事業会計予算繰越計算書	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
報告第8号	令和5年度栃木市一般会計事故繰越し繰越計算書	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
報告第9号	放棄した債権の報告について	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
報告第10号	一般財団法人栃木市農業公社の令和6年度事業計画書の提出について	市長	5月31日	（6月7日）	報告聴取
議案第55号	市長の専決処分事項の承認について（栃木市税条例の一部を改正する条例の制定）	市長	5月31日	6月19日	原案承認
議案第56号	市長の専決処分事項の承認について（栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定）	市長	5月31日	6月19日	原案承認
議案第57号	市長の専決処分事項の承認について（栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定）	市長	5月31日	6月19日	原案承認
議案第58号	令和6年度栃木市一般会計補正予算（第2号）	市長	5月31日	6月19日	原案可決
議案第59号	令和6年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	市長	5月31日	6月19日	原案可決
議案第60号	栃木市税条例の一部を改正する条例の制定について	市長	5月31日	6月19日	原案可決
議案第61号	栃木市役所総合支所設置条例等の一部を改正する条例の制定について	市長	5月31日	6月19日	原案可決
議案第62号	栃木市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	5月31日	6月19日	原案可決
議案	栃木市歴史民俗資料館条例の一部	市長	5月31日	6月19日	原案可決

第 63 号	を改正する条例の制定について				
議　案 第 64 号	工事請負契約の締結について（岩舟文化会館中ホール照明設備及び音響設備改修工事）	市　長	5 月 31 日	6 月 19 日	原案可決
議　案 第 65 号	財産の取得について（栃木市都賀図書館備品（書架等））	市　長	5 月 31 日	6 月 19 日	原案可決
議　案 第 66 号	財産の取得について（小型動力ポンプ付積載車）	市　長	5 月 31 日	6 月 19 日	原案可決
議　案 第 67 号	財産の取得について（高規格救急自動車）	市　長	5 月 31 日	6 月 19 日	原案可決
議　案 第 68 号	財産の取得について（（仮称）栃木東地域学校給食センター整備事業用地）	市　長	5 月 31 日	6 月 19 日	原案可決
議　案 第 69 号	教育長の任命につき同意を求めることについて	市　長	5 月 31 日	5 月 31 日	同　意 （青木 千津子）
議　案 第 70 号	財産の取得について（大平西小学校校舎普通教室）	市　長	5 月 31 日	6 月 19 日	原案可決
議　案 第 71 号	監査委員の選任につき同意を求めることについて	市　長	5 月 31 日	5 月 31 日	同　意 （浅野　貴之）
議　案 第 72 号	令和６年度栃木市一般会計補正予算（第３号）	市　長	6 月 19 日	6 月 19 日	原案可決
請　願 第 1 号	国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める請願	栃木県退職者連合 会長 有野　一良 全日本自治体退職者会栃木県本部 会長 金子　安男	6 月 7 日	6 月 19 日	不 採 択
陳　情 第 4 号	パレスチナ自治区ガザ地区の早期平和実現を求める陳情	百瀬 彩与子	6 月 7 日	6 月 19 日	採　択
決 議 案 第 1 号	ガザ地区における平和の早期実現を求める決議	議　員	6 月 19 日	6 月 19 日	原案可決
	議長辞職の許可		5 月 31 日	（5 月 31 日）	許　可
	議長の選挙		5 月 31 日	（5 月 31 日）	梅澤 米満 当選
	副議長辞職の許可		5 月 31 日	（5 月 31 日）	許　可
	副議長の選挙		5 月 31 日	（5 月 31 日）	針谷 正夫

					当選
	常任委員の選任について		5月31日	5月31日	別紙のとおり選任
	総務常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について	総務常任委員会委員長	5月31日	5月31日	可決
	民生常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について	民生常任委員会委員長	5月31日	5月31日	可決
	産業教育常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について	産業教育常任委員会委員長	5月31日	5月31日	可決
	建設常任委員会の閉会中の継続調査の申し出について	建設常任委員会委員長	5月31日	5月31日	可決
	議会運営委員の選任について		5月31日	5月31日	別紙のとおり選任
	議会運営委員会の閉会中の継続調査の申し出について	議会運営委員会委員長	5月31日	5月31日	可決
	栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙		6月19日	6月19日	梅澤 米満 当選
	宇都宮西中核工業団地事務組合議会議員の選挙		6月19日	6月19日	梅澤 米満 氏家 晃 針谷 正夫 中島 克訓 当選

イ　令和6年第3回定例会

・開会　8月30日

・閉会　9月30日

番号	件名	提出者	提出月日	議決月日	結果
報告第11号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	8月30日	（9月6日）	報告聴取
報告第12号	令和5年度栃木市継続費精算報告書	市長	8月30日	（9月6日）	報告聴取
報告第13号	令和5年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の報告について	市長	8月30日	（9月6日）	報告聴取
報告第14号	一般財団法人栃木市農業公社の令和5年度事業状況報告書の提出に	市長	8月30日	（9月6日）	報告聴取

	ついて				
議案第73号	令和6年度栃木市一般会計補正予算（第4号）	市長	8月30日	―	撤回承認（9月12日）
議案第74号	令和6年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計補正予算（第1号）	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第75号	令和6年度栃木市平川産業団地特別会計補正予算（第1号）	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第76号	令和6年度栃木市水道事業会計補正予算（第1号）	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第77号	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第78号	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第79号	栃木市監査委員に関する条例及び栃木市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第80号	工事請負契約の締結について（東郷堀川調節池整備工事）	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第81号	財産の取得について（公共施設（10施設）LED照明器具）	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第82号	財産の取得について（（仮称）都賀総合支所複合施設備品（事務用品））	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第83号	財産の貸付けについて	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第84号	栃木県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第85号	令和5年度栃木市水道事業会計剰余金の処分について	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第86号	令和5年度栃木市下水道事業会計剰余金の処分について	市長	8月30日	9月30日	原案可決

議案第87号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月30日	8月30日	同意 (佐山　和江)
議案第88号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月30日	8月30日	同意 (臼井　春江)
議案第89号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月30日	8月30日	同意 (大阿久　功子)
議案第90号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	8月30日	8月30日	同意 (石塚　和子)
議案第91号	栃木市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	市長	8月30日	9月30日	原案可決
議案第92号	財産の取得について（追認）（小学校教師用教科書及び指導書）	市長	9月4日	9月30日	原案可決
議案第93号	財産の取得について（追認）（小学校教師用教科書及び指導書）	市長	9月4日	9月30日	原案可決
議案第94号	令和6年度栃木市一般会計補正予算（第4号）	市長	9月12日	9月30日	原案可決
認定第2号	令和5年度栃木市一般会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定
認定第3号	令和5年度栃木市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定
認定第4号	令和5年度栃木市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定
認定第5号	令和5年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定
認定第6号	令和5年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定
認定第7号	令和5年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定
認定第8号	令和5年度栃木市平川産業団地特別会計歳入歳出決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定
認定第9号	令和5年度栃木市水道事業会計決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定

認定第10号	令和5年度栃木市下水道事業会計決算の認定について	市長	8月30日	9月30日	認定
請願第2号	交通信号機存続に関する意見書の提出を求める請願	木の東自治会 会長 早乙女 勝弘	9月6日	9月30日	採択
請願第3号	交通信号機存続に関する意見書の提出を求める請願	小野寺地区上区長 野口 仁左男 小野寺地区中区長 麦倉 茂美 小野寺地区下区長 寺内 朝男	9月6日	9月30日	採択
陳情第5号	「最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情	栃木県労働組合総連合 議長 阿部 長次	9月6日	9月30日	不採択
陳情第6号	再審法改正を求める意見書を政府等に提出することを求める件	栃木県弁護士会 会長 石井 信行	9月6日	9月30日	採択
意見書案第1号	交通信号機存続に関する意見書	議員	9月30日	9月30日	原案可決
意見書案第2号	再審法改正を求める意見書	議員	9月30日	9月30日	原案可決
	決算特別委員会の設置について	議長	8月30日	8月30日	可決

ウ　令和6年第4回定例会

・開会　11月29日

・閉会　12月18日

番号	件名	提出者	提出月日	議決月日	結果
報告第15号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	11月29日	（12月6日）	報告聴取
議案第95号	市長の専決処分事項の承認について（令和6年度栃木市一般会計補正予算（第5号））	市長	11月29日	12月18日	原案承認

議案第96号	令和6年度栃木市一般会計補正予算（第6号）	市長	11月29日	11月29日	原案可決
議案第97号	令和6年度栃木市一般会計補正予算（第7号）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第98号	令和6年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第99号	令和6年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第100号	令和6年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第101号	令和6年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第1号）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第102号	栃木市新市まちづくり計画の変更について	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第103号	工事請負契約の変更について（とちぎクリーンプラザ基幹的設備改良工事）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第104号	工事請負契約の変更について（平井川排水施設整備工事）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第105号	財産の取得について（清水川調節池整備事業用地）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第106号	財産の取得について（学校施設（20校）ＬＥＤ照明器具）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第107号	財産の取得について（学校施設（19校）ＬＥＤ照明器具）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第108号	指定管理者の指定について（栃木市大平地域福祉センター）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第109号	指定管理者の指定について（栃木市藤岡地域活動支援センター）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第110号	指定管理者の指定について（栃木市大平健康福祉センター）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第111号	指定管理者の指定について（栃木市北部健康福祉センター）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第112号	指定管理者の指定について（道の駅みかも）	市長	11月29日	12月18日	原案可決
議案第113号	指定管理者の指定について（大平運動公園）	市長	11月29日	12月18日	原案可決

議案第114号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	11月29日	11月29日	同意 (奈良部 俊次)
議案第115号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	11月29日	11月29日	同意 (高際 はま子)
議案第116号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	11月29日	11月29日	同意 (中田 美千子)
議案第117号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	11月29日	11月29日	同意 (大竹 教子)
請願第4号	交通信号機存続に関する意見書の提出を求める請願	下津原統括区長 飯田 誠 下津原庶務区長 長 保 下津原会計区長 堀江 伸幸	12月6日	12月18日	採択
陳情第7号	政党機関紙の庁舎内勧誘行為の禁止の確認を求める陳情書	ハラスメントから職員を守る栃木県民の会 代表 兼子孫芳	12月6日	12月18日	不採択
意見書案第3号	交通信号機の存続を求める意見書	議員	12月18日	12月18日	原案可決

エ　令和7年第1回臨時会

・開会　1月27日

・閉会　1月27日

番号	件名	提出者	提出月日	議決月日	結果
報告第1号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市長	1月27日	1月27日	報告聴取
議案第1号	令和6年度栃木市一般会計補正予算（第8号）	市長	1月27日	1月27日	原案可決
議案第2号	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	1月27日	1月27日	原案可決
議案	栃木市職員の給与に関する条例及	市長	1月27日	1月27日	原案可決

第　3　号	び一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について				
議　　案 第　4　号	栃木市任期付市費負担教職員の任用、給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市　長	1 月 27 日	1 月 27 日	原案可決

オ　令和 7 年第 2 回定例会

・開会　2 月 21 日

・閉会　3 月 26 日

番　　号	件　　名	提出者	提出月日	議決月日	結　　果
報　　告 第　2　号	専決処分事項の報告について（損害賠償の額の決定）	市　長	2 月 21 日	（3 月 3 日）	報告聴取
議　　案 第　5　号	令和 7 年度栃木市一般会計予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　6　号	令和 7 年度栃木市国民健康保険特別会計予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　7　号	令和 7 年度栃木市後期高齢者医療特別会計予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　8　号	令和 7 年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　9　号	令和 7 年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　10　号	令和 7 年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　11　号	令和 7 年度栃木市平川産業団地特別会計予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　12　号	令和 7 年度栃木市水道事業会計予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　13　号	令和 7 年度栃木市下水道事業会計予算	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　14　号	市長の専決処分事項の承認について（令和 6 年度栃木市一般会計補正予算（第 9 号））	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案承認
議　　案 第　15　号	令和 6 年度栃木市一般会計補正予算（第 10 号）	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　16　号	令和 6 年度栃木市国民健康保険特別会計補正予算（第 3 号）	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決
議　　案 第　17　号	令和 6 年度栃木市後期高齢者医療特別会計補正予算（第 2 号）	市　長	2 月 21 日	3 月 26 日	原案可決

議案第18号	令和6年度栃木市介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第2号）	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第19号	令和6年度栃木市介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算（第2号）	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第20号	令和6年度栃木市栃木インター西産業団地特別会計補正予算（第2号）	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第21号	令和6年度栃木市平川産業団地特別会計補正予算（第2号）	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第22号	栃木市企業版ふるさと応援基金条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第23号	栃木市嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区内における建築基準法の制限の緩和に関する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第24号	栃木市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第25号	栃木市乳児等通園支援事業利用者負担金徴収条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第26号	栃木市栃木インター西産業団地事業基金条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第27号	栃木市表彰条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第28号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第29号	栃木市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第30号	栃木市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第31号	栃木市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決

議案第32号	一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第33号	栃木市旧栃木警察署跡地土地利用事業者審査委員会条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第34号	栃木市税条例及び栃木市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第35号	栃木市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第36号	栃木市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第37号	栃木市社会福祉法人等の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第38号	栃木市地域活動支援センター条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第39号	栃木市地域包括支援センターの包括的支援事業の職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第40号	栃木市学童保育の実施に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第41号	栃木市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第42号	栃木市保育所条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第43号	栃木市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び栃木市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決

議案第44号	栃木市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第45号	栃木市行政手続における個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第46号	栃木市企業立地促進条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第47号	栃木市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第48号	栃木市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第49号	栃木市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第50号	栃木市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第51号	栃木市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第52号	栃木市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第53号	栃木市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例を廃止する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第54号	栃木市西方さくらホーム条例を廃止する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第55号	栃木市民間保育所設置運営事業者審査委員会条例を廃止する条例の制定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決

議案第56号	工事請負契約の締結について（平井川第2調節池整備工事）	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第57号	財産の無償貸付けについて	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第58号	財産の取得の変更について（公共施設（10施設）ＬＥＤ照明器具）	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第59号	財産の処分について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第60号	市道路線の認定について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第61号	市道路線の変更について	市長	2月21日	3月26日	原案可決
議案第62号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（五十嵐 幸男）
議案第63号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（岩崎 好宏）
議案第64号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（諏訪 晃）
議案第65号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（高際 悦子）
議案第66号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（松島 誠）
議案第67号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（綾部 一成）
議案第68号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（藤野 喜代子）
議案第69号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（矢口 稔）
議案第70号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	市長	2月21日	2月21日	同意（益子 里香）
議案第71号	財産の取得について（中学校屋内運動場（栃木東中学校外2校）空調設備）	市長	3月26日	3月26日	原案可決

議案第72号	財産の取得について（中学校屋内運動場（栃木西中学校外2校）空調設備）	市長	3月26日	3月26日	原案可決
議案第73号	財産の取得について（中学校屋内運動場（吹上中学校外2校）空調設備）	市長	3月26日	3月26日	原案可決
議案第74号	財産の取得について（中学校屋内運動場（藤岡中学校外1校）空調設備）	市長	3月26日	3月26日	原案可決
議員案第1号	栃木市議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議員	3月26日	3月26日	原案可決
決議案第1号	子どもへの虐待を許さない意思表明および市当局に対して速やかな事案の解決を求める決議	議員	3月26日	3月26日	原案可決
	予算特別委員会の設置について	議長	2月21日	2月21日	可決

(4)　請願、陳情等受付状況

9件

(5)　その他の会議

区分		開催回数（回）	
常任委員研究会	総務	6	計15
	民生	7	
	産業教育	1	
	建設	1	
議会運営委員研究会		－	
議員全員協議会		10	
各会派代表者会議		21	
議会広報委員会		8	
議会報告会運営委員会		8	
議会改革検討委員会		6	
議員定数及び議員報酬検討委員会		5	
議員研究会		20	
議会報告会意見交換会	議会報告会	書面や動画等により開催	
	意見交換会	3	
議員研修会		2	

3　広報紙発行状況

とちぎ市議会だより

・規　　格　　A4版　艶消しコート紙

・体　　裁　　表紙写真カラー刷、活字及びその他の写真2色刷
4段切（1段30行詰め）

号　数	発行日	ページ数	発行部数（部）
第 61 号	5月20日（月）	18	51,500
第 62 号	8月20日（火）	16	51,500
第 63 号	11月20日（水）	16	51,500
第 64 号	2月20日（木）	16	51,500

4　調査

(1)　常任委員会視察

所管事項調査のため、次のとおり先進都市視察を行った。

委員会名	参加委員(人)	調査期日	調査事項
総　　務	6	11月 5日(火) ～6日(水)	富山県南砺市　移住・定住政策について 長野県上田市　歴史的風致維持向上計画及び歴史的街並みの再生について
民　　生	7	10月10日(木) ～11日(金)	岐阜県岐阜市　自動運転バスの実証実験について 岐阜県大垣市　子育て日本一を目指した各種施策について　他
産業教育	7	10月30日(水) ～31日(木)	宮城県仙台市　小学校跡施設を利活用した学びの多様化学校の運営について 岩手県北上市　企業誘致の取組について
建　　設	6	10月30日(水) ～31日(木)	愛知県豊橋市　水道事業における広域化・広域連携の取り組みについて　他 静岡県沼津市　沼津市リノベーションまちづくりについて

(2)　議会運営委員会視察

先進都市視察については、委員で協議を行い、本年度は実施を見送ることとした。

(3)　議会広報委員会視察

先進都市視察については、委員で協議を行い、本年度は実施を見送ることとした。なお、視察研修に代えて、専門業者による紙面リメイクを実施し、今後の議会だよりの紙面の改良に向けて先進事例等の調査研究を行った。

(4)　その他

市政の抱える重点課題等の調査研究のため会派を中心として、次のとおり先進都市を視察した。

調査期日	調査都市	参加議員
4月24日(水) ～25日(木)	神奈川県横須賀市 神奈川県葉山町	古沢ちい子　小久保かおる　雨宮茂樹 浅野貴之　坂東一敏　針谷正夫
7月16日(火) ～18日(木)	北海道札幌市	広瀬義明　小平啓佑　大浦兼政 青木一男　松本喜一　氏家　晃 関口孫一郎
11月13日(水) ～14日(木)	秋田県大仙市 秋田県横手市	福富善明　川田俊介　市村　隆 森戸雅孝　大阿久岩人　梅澤米満

(5)　その他

各種施策推進の参考とするため、次のとおり現地視察を行った。

調査期日	参加者	調査事項
12月24日(火)	産業教育常任委員会	栃木県小山市 小中学校体育館へのエアコン設置について

5　庶務

(1)　行政視察の受入れ

期　日	自治体名等	人員(人)	視　察　項　目
5月 8日（水）	福岡県春日市	4	議会だよりの編集について 動画による議会広報について
5月10日（金）	新潟県新潟市	4	歴史的街並み､伝統的建造物の保全や活用について 観光施策の取り組みについて
5月14日（火）	兵庫県赤穂市	4	蔵の街課の活動について
5月15日（水）	鹿児島県鹿屋市	9	栃木市フードバレー構想 「とちぎ　おいしいーとこ　フードバレー」について
7月10日（水）	新潟県上越市	8	空き家対策について
7月10日（水）	福島県棚倉町	14	歴史的風致維持向上計画の実施について 議会インターネット中継の導入経過と効果について
7月11日（木）	愛媛県四国中央市	6	住民参画における取組について
7月17日（水）	岐阜県多治見市	3	こども誰でも通園制度と病児保育について
7月29日（月）	千葉県東庄町	7	空き家対策と移住定住について
7月30日（火）	岩手県奥州市	9	中学生議会･高校生との意見交換会について
7月30日（火）	岩手県盛岡市	5	議会PR動画「キュンです。栃木市議会」について

7月31日（水）	長崎県諫早市	8	栃木市定住促進支援事業について
10月 7日（月）	福井県勝山市	7	空き家対策事業について
10月 8日（火）	栃木県高根沢町	5	市独自の子育て支援策について
10月16日（水）	静岡県焼津市	7	空き家対策について
10月18日（金）	島根県松江市	8	歴史的町並み・伝統的建造物群の保全について
10月22日（火）	神奈川県横須賀市	1	「あったか住まいるバンク」について
10月23日（水）	北海道千歳市	7	こども誰でも通園制度事業について
10月30日（水）	高知県高知市	12	空き家対策と移住定住について
10月31日（木）	兵庫県姫路市	9	空き家対策事業
10月31日（木）	千葉県富津市	8	あったか住まいるバンクについて
11月 1日（金）	北海道滝川市	4	部活動の地域移行について
11月 5日（火）	栃木県佐野市	2	小規模特認校について
11月 6日（水）	滋賀県長浜市	7	産業団地の整備について
1月23日（木）	岩手県	11	データセンターの誘致について

(2) 文書件数調　　（単位：件）

収受	発送	合計
314	12	326

(3) その他

・新春賀詞交歓会　1月7日（火）

第１１章　上下水道局

第１節　上下水道総務課（公営企業事務部局）

〔総括概要〕

水道事業においては、安心・安全で信頼される水道水の安定供給かつ公平性が求められており、事業全般にわたる経営の合理化に努めている。

料金徴収業務については、下水道使用料等も併せて徴収しており、メーター検針や料金収納、問合せ対応などの業務を民間事業者に委託して、窓口や現場、土日祝日等における休開栓への迅速・丁寧な対応など、お客様サービスの向上と経営の効率化を図っている。また、年間を通じて未納者に対する督促状及び催告書の送付、給水停止の執行並びに納付指導を行うなど収納率の向上に努めた。

給水状況は、給水戸数63,765戸、給水人口143,085人となり、行政区域内人口（152,355人）に対する普及率は93.9％となった。また、年間有収水量は15,869,167㎥となった。

下水道事業においては、快適で衛生的な生活環境の実現と、公共用水域の水質保全を図るため、本市及び壬生町を対象とした巴波川流域関連公共下水道事業、本市を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）関連公共下水道事業並びに大平地域、藤岡地域、西方地域の３地域６地区で農業集落排水事業を実施している。

事業実施に当たっては､面整備の推進と併せて水洗化率の向上を図るため､随時、未接続世帯に対し、検針時にチラシを投函することにより、下水道への接続を促すとともに、広報紙やホームページなどによる情報提供の充実や、普及対策事業を実施した。現在の公共下水道の普及率は64.9％、水洗化率は97.5％、農業集落排水の水洗化率は78.2％である。

経理事務については、地方公営企業法に則り適正に会計処理を行った。

経営係

1　水道普及状況

行政区域内人口(人)	給水人口(人)	給水戸数(戸)	普及率(%)
152,355	143,085	63,765	93.9

2　給水状況

(1)　年間配水量　　(単位:㎥)

有効水量			無効水量	配水量
有収水量	無収水量	計		
15,869,167	1,036,427	16,905,594	6,677,227	23,582,821

(2)　口径別給水状況

口径	令和7年3月31日現在(戸)	令和6年3月31日現在(戸)	増減(戸)	有収水量(㎥)	利用率(%)
13mm	42,916	42,926	△10	7,807,018	49.20
20mm	19,278	18,772	506	4,590,043	28.92
25mm	855	848	7	483,840	3.05
30mm	203	204	△1	305,090	1.92
40mm	298	300	△2	680,175	4.29
50mm	159	156	3	794,161	5.00
75mm	51	51	－	577,508	3.64
100mm	4	4	－	9,452	0.06
200mm	1	1	－	621,880	3.92
合計	63,765	63,262	503	15,869,167	100.00

3　上下水道事業調査委員会

上下水道事業の運営方針について意見をいただくため、上下水道事業調査委員会を開催した。

・上下水道事業調査委員会委員　13名（1名欠員）

・開催回数　3回

4　流域下水道事業

本市と壬生町を対象とした巴波川流域下水道事業及び本市を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道事業は、栃木県が事業主体となり、建設及び維持管理を行っている。

(1)　流域下水道の建設事業

ア　巴波川流域下水道建設事業費

巴波川流域下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　45,399,363円

イ　渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道建設事業費

渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道建設事業費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　14,106,623円

(2)　流域下水道の維持管理事業

ア　巴波川流域下水道維持管理費

巴波川流域下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　769,575,295円

イ　渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道維持管理費

渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）下水道維持管理費について、次のとおり負担金を支出した。

・本市負担金　　548,438,331円

5　流域下水道促進協議会関係

流域下水道事業の推進を図るため、壬生町と協議会を設置し、巴波川流域下水道フェスティバルを開催した。協議会負担金を次のとおり支出した。

・巴波川流域下水道事業本市負担金　　132,000円

6　上下水道ＰＲ事業

上下水道事業の現状及び上下水道局の取組についての情報を掲載した広報紙「Ｍｉｚ Ｕ」４号・５号の発行やホームページやＳＮＳを活用した情報発信を行った。

上下水道事業に対する市民の理解を深めるため、上下水道施設見学会等のイベントの開催やＦＭくらら「上下水道放送局」による広報活動を行った。

経理係

1　予算・決算

【水道事業】　（単位：円）

区　分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
当初予算	2,783,522,000	2,793,843,000	880,187,000	1,952,294,000
補正予算	88,762,000	－	－	－
繰越額	－	－	302,200,000	428,520,000
合　計	2,872,284,000	2,793,843,000	1,182,387,000	2,380,814,000
決算額	2,897,395,365	2,494,119,135	928,535,151	1,711,429,946

【下水道事業（公共下水道事業・農業集落排水事業）】　（単位：円）

区　分	収益的収入	収益的支出	資本的収入	資本的支出
当初予算	4,194,590,000	4,247,826,000	1,817,176,000	3,192,086,000
補正予算	－	－	－	－
繰越額	3,840,900	3,840,900	294,353,500	308,882,705
合　計	4,198,430,900	4,251,666,900	2,111,529,500	3,500,968,705
決算額	4,216,955,822	4,128,148,292	1,296,507,696	2,577,640,747

2　企業債

【水道事業】

種　類	件　数（件）	当年度発行額（円）	当年度償還高（円）		年度末残高（円）
			元　金	利　息	
政府資金	69	－	229,423,840	27,837,988	1,327,960,263
機構資金	111	217,400,000	393,717,606	58,394,073	5,212,010,669
その他	2	572,300,000	－	－	572,300,000
計	182	789,700,000	623,141,446	86,232,061	7,112,270,932

【公共下水道事業】

種　類	件　数(件)	当年度発行額(円)	当年度償還高(円)		年度末残高(円)
			元　　金	利　　息	
政府資金	204	219,500,000	958,788,621	167,825,676	8,723,778,989
機構資金	157	366,300,000	389,680,423	44,270,015	7,709,458,493
そ の 他	20	－	167,262,532	31,556,932	1,759,750,329
計	381	585,800,000	1,515,731,576	243,652,623	18,192,987,811

【農業集落排水事業】

種　類	件　数(件)	当年度発行額(円)	当年度償還高(円)		年度末残高(円)
			元　　金	利　　息	
政府資金	20	－	114,912,510	29,499,370	1,353,258,608
機構資金	19	－	25,555,211	3,957,693	176,154,439
そ の 他	－	－	－	－	－
計	39	－	140,467,721	33,457,063	1,529,413,047

料金係

【水道事業】

1　水道料金収納状況　（現年度分）

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
380,799	2,476,032,524	2,405,134,014	1,790,333	97.1

【公共下水道事業・農業集落排水事業】

2　使用料収納状況

(1)　下水道使用料

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
236,771	1,517,312,783	1,476,287,233	1,255,666	97.3

(2)　農業集落排水施設使用料

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
11,012	88,994,835	87,509,746	19,084	98.3

3　受益者負担金・分担金収納状況

(1)　下水道事業受益者負担金

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
626	27,131,070	18,738,670	822,800	69.1

(2)　農業集落排水事業受益者分担金

調定件数(件)	調定額(円)	収入額(円)	不納欠損額(円)	収納率(%)
6	1,437,106	1,437,106	0	100.0

4　特別巡回徴収

受益者負担金の収納率の向上と市民意識の高揚を図るため、特別巡回徴収を実施した。

・実施期間　11月27日(水)～12月12日(木)

2月27日(木)～ 3月14日(金)

訪問件数（件）	徴収件数（件）	徴収金額（円）
90	15	255,300

5　公共下水道普及対策事業

広報とちぎやホームページによる広報のほか、Report Tochigiに出演し下水道への接続ＰＲを行った。

通知文や封筒に接続を促す文面の掲載、懸垂幕やのぼり旗、ポスターの掲示を行ったほか、下水道への早期接続を呼びかけるチラシを配布し普及啓発に努めた。

普及啓発用パンフレット及び啓発物品やマンホールカードを随時配布しＰＲを行った。

下水道の利用促進を図るため、職員の戸別訪問による普及推進活動を随時実施した。

6　口座振替キャンペーン

口座振替による水道料金等の納付は、利用者にとって安心・安全・便利な方法であり、また、ペーパーレスによる事務の効率化が図れコスト面でも優れていることから、新規口座振替申込者にプレゼントを行い利用者数の増加を図った。

・実施期間　令和7年2月から令和7年3月

・対象者数　446名

7　上下水道ポータルサイト

使用者が上下水道料金や使用水量をスマートフォンやパソコンから確認することができるポータルサイト「栃木市みずぽーたる」を令和7年2月から本格的に運用を開始した。本格運用開始に伴い、Report Tochigiへの出演や市ホームページへの掲載等の広報活動のほか、登録者に栃木市のデザインマンホール型コースターをプレゼントするキャンペーンを実施した。

・登録者数　103名

第２節　水道建設課

〔総括概要〕

水道事業については、安全安心な水道水の安定的な供給が常に求められており、運営基盤の安定と強化を継続的に確保するため、水道施設や管路における整備更新及び耐震化事業並びに上水道整備事業などを実施した。建設改良事業として主なものは次のとおりである。

水道統合事業では、令和７年度完成に向け薗部浄水場における紫外線照射装置設置の工事を行った。

上水道整備事業では、未普及地域への管路布設のほか、平川土地区画整理事業等の公共事業に伴う配水管の布設及び布設替えを行った。

水道設備更新事業では、藤岡蛭沼浄水場及び岩舟静戸第２浄水場における急速ろ過機内のろ材の更新、藤岡浄水場新設井さく井工事等を行った。

管路耐震化事業では、耐用年数を経過した塩化ビニル製の配水管を重点的に配水用ポリエチレン管等の耐震管へ布設替えを行った。

水道施設耐震化事業では、大平蔵井浄水場における管理棟の耐震補強工事を行った。

上記の建設改良事業以外の活動として、水質検査計画に基づいて水質基準項目及び水質管理設定項目等（PFOS,PFOA 含む）の検査を定期的に実施し、安全な水道水を供給した。また、漏水量を減らして有収率の向上を図るための漏水調査については、今年度から市内全域を対象に衛星画像を用いた漏水リスク評価を導入し、その評価結果に基づき栃木、都賀、西方地域の一部において調査を実施するとともに、配水量が増加傾向にあった栃木、大平、西方地域の一部においても調査することにより漏水の早期発見、早期修繕に努めた。

水道施設の維持管理に関しては、水源、浄水場、配水場、増圧ポンプ場など各施設における運転状況等について日常点検及び定期点検を実施し、異常の早期発見を図ることで事故を未然に防ぐとともに、設備の故障や不具合に対して迅速に対処した。更に突発的に発生する給配水管の漏水事故や水道水の濁り等の苦情に対しても24時間体制で対処し、安全で安心な水道水の安定的な供給に努めた。

施設係

1　給水状況

(1)　月別配水量　　（単位：㎥）

	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
4月	872,130	367,501	143,866	180,040	104,746	219,429	1,887,712
5月	897,671	383,689	148,417	184,662	99,544	223,263	1,937,246
6月	881,803	375,455	144,740	180,554	77,909	217,170	1,877,631
7月	923,736	396,311	152,305	186,361	85,099	230,508	1,974,320

8月	928,532	388,350	149,441	193,890	88,922	230,196	1,979,331
9月	910,228	381,281	146,167	191,968	90,004	220,672	1,940,320
10月	928,245	395,730	150,029	199,235	103,295	228,702	2,005,236
11月	914,868	389,161	143,024	191,382	97,258	218,049	1,953,742
12月	958,515	412,191	142,853	202,998	102,461	232,570	2,051,588
1月	956,110	411,979	142,610	203,453	103,654	235,879	2,053,685
2月	869,966	381,251	130,328	184,469	96,613	217,538	1,880,165
3月	945,494	409,379	144,319	207,640	96,975	238,038	2,041,845
計	10,987,298	4,692,278	1,738,099	2,306,652	1,146,480	2,712,014	23,582,821

(2) 水質検査

区分	検査項目	検査箇所	頻度
浄水	水質検査項目（51項目）	浄水場18箇所 端末給水栓等29箇所	検査項目により毎月又は年1回
	水質管理目標設定項目（27項目）	浄水場18箇所 端末給水栓等24箇所	年1回
原水	水質検査項目（39項目）	浄水場6箇所 水源32箇所	年1回
	水質管理目標設定項目（27項目）	水源11か所	年1回
	クリプトスポリジウム指標菌	水源51箇所	毎月又は年4回

施設係　建設管理係

1　工事関係

(1) 建設改良工事関係（工事請負契約300万円を超えるもの）　（単位：円）

工事名	工事内容	工事費
栃木インター産業団地 配水管布設工事 （吹上町）	配水管布設工 HPPEφ150　L=379.1m 消火栓設置工　地下式単口　1基 給水管取出工 PPφ20～13　1箇所 配水管撤去工 DIPφ100　L=4.1m 給水管撤去工 PPφ20　1箇所	18,172,000
市道12168号線外 配水管布設工事 （大宮町）	配水管布設工 HPPEφ100　L=459.5m 配水管布設工 HPPEφ75　L=377.2m 消火栓設置工　地下式単口　2基 給水管取出工 PPφ20　17箇所	41,151,000
市道1039号線外 配水管布設替工事 （平柳町3丁目）	配水管布設工 HPPEφ150　L= 472.9m 配水管布設工 HPPEφ100　L= 19.2m 配水管布設工 HPPEφ75　L= 3.9m 配水管布設工 HPPEφ50　L= 11.8m	33,979,000

	消火栓設置工　地下式単口　　1基 給水管取出工 PPφ25～20　　8箇所	
市道 1033 号線外 交通安全施設整備に伴う 配水管布設替工事 （大宮町）	配水管布設工 HPPEφ150　L= 58.9m 給水管取出工 PPφ25　　1箇所	16,478,000
市道 14247 号線外 配水管布設工事 （大皆川町外）	配水管布設工 HPPEφ75　L= 162.8m 配水管布設工 HPPEφ50　L= 199.8m 消火栓設置工　地下式単口　　1基 給水管取出工　PPφ20　　9箇所	20,064,000
県道仙波鍋山線 舗装復旧工事 （鍋山町）	路面切削【夜間】A=1329.2 ㎡ 上層路盤【夜間】A=1329.2 ㎡ アスファルト舗装工（基層）【夜間】 A=1329.2 ㎡ アスファルト舗装工（表層）【夜間】 A=1258.8 ㎡	29,524,000
市道 14151 号線外 舗装復旧工事 （吹上町）	舗装版破砕　　A=615 ㎡ 不陸整正　　A=615 ㎡ アスファルト舗装工（表層）　A=630 ㎡	4,290,000
市道 43402 号線 舗装復旧工事 （平柳町３丁目外）	路面切削　　A= 366 ㎡ 路面切削【夜間】　　A= 317 ㎡ 舗装版破砕　　A= 315 ㎡ 舗装版破砕【夜間】　　A= 82 ㎡ アスファルト舗装工（基層）A= 395 ㎡ アスファルト舗装工（基層）【夜間】 A= 135 ㎡ アスファルト舗装工（表層）A=587 ㎡ アスファルト舗装工（表層）【夜間】 A= 338 ㎡	12,342,000
市道 2065 号線外 舗装復旧工事 （平井町）	舗装版破砕　　A= 532.3m 不陸整正　　A= 532.3m 表層　　A= 532.3m	3,575,000
市道 14302 号線 舗装復旧工事 （野中町外）	舗装版破砕　　A=522 ㎡ 不陸整正　　A=522 ㎡ アスファルト舗装工（表層） A= 522 ㎡	3,630,000
市道 13197 号線外 舗装復旧工事 （川原田町）	舗装版破砕　　A=532 ㎡ 不陸整正　　A=532 ㎡ アスファルト舗装工（表層）A=532 ㎡	3,597,000

市道 21210 号線外 下水道工事に伴う 配水管布設替工事 （大平町真弓）	配水管布設工 HPPEφ100　L=15.0m 給水管取出工 PPφ50～20　6 箇所	8,613,000
市道 21059 号線外 配水管布設替工事 （大平町下皆川）	配水管布設工 HPPEφ50　L=483.4m 給水管取出工 PPφ20　32 箇所	24,343,000
市道 23092 号線外 舗装復旧工事 （大平町富田）	舗装版破砕　A=434 ㎡ アスファルト舗装工（表層）A=434 ㎡ 区画線工　L=419.9m	4,598,000
市道 31278 号線外 配水管布設替工事 （藤岡町藤岡）	配水管布設工 HPPEφ75　L= 222.4m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 給水管取出工 PPφ25～20　25 箇所	18,260,000
市道 33102 号線外 配水管布設替工事 （藤岡町藤岡）	配水管布設工 HPPEφ75　L= 408.2m 配水管布設工 HPPEφ50　L= 5.3m 消火栓設置工　地下式単口　2 基 給水管取出工 PPφ50～20　31 箇所	27,610,000
主要地方道　栃木藤岡線外 配水管布設工事 （藤岡町大前）	配水管布設工 HPPEφ100　L= 40.9m 配水管布設工 HPPEφ75　L= 97.6m 消火栓設置工　地下式単口　1 基	11,880,000
県道藤岡停車場線外 配水管布設替工事 （藤岡町藤岡） 前年度繰越	配水管布設工 HPPEφ100　L=348.9m 消火栓設置工　地下式単口　2 基 給水管取出工 PPφ40～20　25 箇所	28,622,000
主要地方道　佐野古河線 舗装復旧工事 （藤岡町藤岡）	舗装版破砕　A=200 ㎡ 路面切削　A=358 ㎡ 不陸整正　A=200 ㎡ アスファルト舗装工（上層）A=200 ㎡ アスファルト舗装工（基層）A=200 ㎡ アスファルト舗装工（表層）A=558 ㎡	7,392,000
市道 1066 号線外 舗装復旧工事 （藤岡町大前外）	舗装版破砕　A=129 ㎡ 路面切削　A=420 ㎡ 不陸整正　A=129 ㎡ アスファルト舗装工（基層）A=74 ㎡ アスファルト舗装工（表層）A=474 ㎡	4,554,000
平川土地区画整理 配水管布設工事 （都賀町平川）	配水管布設工 HPPEφ75　L= 566.5m 消火栓設置工　地下式単口　2 基 仮設管布設工 PPφ50　L= 62.0m 給水管取出工 PPφ25～20　19 箇所	30,173,000

市道 43390 号線外 配水管布設替工事 （都賀町合戦場）	配水管布設工 HPPEφ75　L= 209.7m 消火栓設置工　地下式単口　2 基 給水管取出工 PPφ25～20　11 箇所	16,016,000
市道 1019 号線外 配水管布設替工事 （都賀町升塚）	配水管布設工 HPPEφ50　L=215.1m 給水管取出工 PPφ30～20　12 箇所	10,868,000
平川土地区画整理 配水管布設替工事 （都賀町平川）	配水管布設工 HPPEφ150　L=75.8m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 給水管取出工 PPφ20　2 箇所	6,281,000
市道 43389 号線 舗装復旧工事 （都賀町合戦場）	舗装版破砕　A=771 ㎡ 不陸整正　A=771 ㎡ アスファルト舗装工（表層）　A=771 ㎡ 区画線工　L=4.0m	4,587,000
市道 1004 号線外 配水管布設替工事 （西方町真名子）	配水管布設工 HPPEφ75　L=234.8m 配水管布設工 HPPEφ50　L= 22.2m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 給水管取出工 PPφ20　6 箇所	14,190,000
市道 1052 号線 下水道工事に伴う 配水管布設替工事 （岩舟町新里）	配水管布設工 HPPEφ100　L=119.7m 給水管取出工 PPφ50～20　4 箇所	8,382,000
市道 2088 号線外 配水管布設替工事 （岩舟町下岡）	配水管布設工 HPPEφ100　L=155.9m 配水管布設工 HPPEφ75　L= 8.1m 排泥管布設工 SGP-VDφ50　1 箇所	7,909,000
市道 61238 号線外 配水管布設替工事 （岩舟町静）	配水管布設工 HPPEφ100　L= 77.6m 配水管布設工 HPPEφ75　L=180.9m 配水管布設工 HPPEφ50　L= 5.5m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 給水管取出工 PPφ50～20　26 箇所	23,804,000
市道 62013 号線外 配水管布設替工事 （岩舟町静）	配水管布設工 HPPEφ75　L=163.6m 消火栓設置工　地下式単口　1 基 排泥弁設置工 PPφ50～20　20 箇所	14,564,000
岩舟静戸第 1 浄水場受変電設備外更新工事 （岩舟町静戸） 前年度繰越	受変電設備　1 式 引込盤、受電盤外 電気計装設備　1 式 送水ポンプ盤、計装盤外 送水ポンプ設備　1 式 送水ポンプ　3 台外	328,262,000

岩舟第３水源取水ポンプ 更新工事 （大平町伯仲） 前年度繰越	水中深井戸ポンプ φ125×1.00m3/min×47m 200V 50Hz 2p 18.5kW	6,930,000
藤岡蛭沼浄水場 No.2 急速ろ過機ろ材更新工事 （藤岡町蛭沼）	ろ材更新工　1式 含気泡多孔性硬質ろ材 積高 H1600　7,850L 支持床石　積高 H500　2,454L ろ過機内外面塗装　外	30,734,000
岩舟静戸第２浄水場 No.2 急速ろ過機ろ材更新工事 （岩舟町静戸）	ろ材更新工　1式 含気泡多孔性硬質ろ材 積高 H1600　7,238L 支持床石　積高 H500　2,261L ろ過機内外面塗装　外	27,038,000
藤岡浄水場 新設井さく井工事 （藤岡町藤岡）	さく井 掘削　φ550mm×深度 220m ケーシング　φ400mm	104,170,000
岩舟小野寺第２増圧ポンプ場 残留塩素計更新工事 （岩舟町小野寺）	無試薬式遊離塩素計　1台 信号用避雷器　1台 電源用避雷器　1台	4,147,000
藤岡蛭沼水源 取水流量計更新工事 （藤岡町蛭沼）	取水流量計　1組 φ100 電磁流量計（水中形）	6,292,000
薗部浄水場 浄水池着水井耐震補強工事 （薗部町３丁目） 前年度繰越	耐震補強工事　1式 配管工事　1式 機械設備工事　1式 電気設備工事　1式	62,370,000
大平蔵井浄水場 管理棟耐震改修工事 （大平町蔵井）	管理棟耐震改修工事　1式 （管理棟延床面積　185.57 ㎡）	15,543,000

(2)　漏水修理等件数　（単位：件）

	配水管	給水管	合計
栃木	8	525	533
大平	1	187	188
藤岡	12	86	98
都賀	9	197	206
西方	11	96	107

岩　舟	8	155	163
合　計	49	1,246	1,295

※給水管には止水栓交換も含む。

給水係

1　給水装置工事件数（申請件数）　（単位：件）

	新　設	改　造	修　繕	撤　去	合　計
栃　木	132	311	－	58	501
大　平	53	84	－	15	152
藤　岡	20	20	－	6	46
都　賀	36	51	－	14	101
西　方	4	2	－	3	9
岩　舟	29	41	－	13	83
合　計	274	509	－	109	892

2　公道分岐工事箇所数　（単位：件）

	県　道	市　道	法定外	その他	合　計
栃　木	14	125	15	－	154
大　平	4	53	7	－	64
藤　岡	1	23	2	－	26
都　賀	3	35	1	－	39
西　方	0	4	0	－	4
岩　舟	3	30	2	－	35
合　計	25	270	27	－	322

第３節　下水道建設課

〔総括概要〕

下水道建設課の主な分掌事務は、生活排水処理施設整備のための調査及び計画、公共下水道汚水渠及び雨水渠の整備、農業集落排水を含めた処理施設の適正な維持管理、排水設備や合併処理浄化槽設置者への指導監督及び助成などである。

公共下水道事業として、市民の快適で衛生的な生活環境の実現と、公共用水域の水質保全を図るための汚水渠整備事業、市街地の雨水排除のための雨水渠整備事業を実施している。公共下水道の全体計画区域は、市街化区域を中心とした3,983.61 ヘクタールであり、現在の事業計画区域は、汚水計画 3,495.5 ヘクタール、雨水計画 334.0 ヘクタールである。

汚水渠整備事業は、本市及び壬生町を対象とした巴波川流域関連公共下水道事業並びに本市を対象とした渡良瀬川下流流域（大岩藤処理区）関連公共下水道事業を実施しており、本市全体での今年度末の整備状況は、整備面積 2,956.89 ヘクタール、整備率 84.6％、普及率 64.9％、水洗化率 97.5％である。

主な整備区域は、栃木地域では今泉町１丁目、今泉町２丁目、平柳町２丁目、片柳町２丁目、片柳町４丁目、泉川町、新井町であり、大平地域では大平町富田、大平町真弓、都賀地域では都賀町平川、岩舟地域では岩舟町新里等である。

雨水渠整備事業は、永野川左岸の 102 ヘクタールを整備区域とし、本年度は水質調査業務、地質調査業務、樋管整備工事を実施した。

農業集落排水事業は、大平地域、藤岡地域、西方地域の３地域６地区で汚水を処理するため実施しており、大平地域の下皆川地区は平成９年に計画策定し、平成 14 年に供用開始、みずほ西地区は平成 12 年に計画策定し、平成 18 年に供用開始した。藤岡地域の巴波川南部地区は平成 13 年に計画策定し、平成 19 年に供用開始、巴波川西部地区は平成 16 年に計画策定し、平成 23 年に供用開始した。西方地域の西方西部地区は平成元年に計画策定し、平成５年に供用開始、本郷金井地区は平成４年に計画策定し、平成９年に供用開始した。各排水処理施設において、適正な維持管理等を実施した。なお、農業集落排水全体の整備面積は 351.72 ヘクタール、接続率は 78.2％となっている。

なお、公共下水道の事業計画区域外および農業集落排水事業の整備区域外の生活雑排水による河川等の水質汚濁を防止するため、専用住宅に合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付した。

また、雨水対策事業として宅地からの雨水流出の抑制、雨水の有効利用、地下水の涵養等のため、宅地内に雨水貯留・浸透施設の設置する者に補助金を交付した。

管理係

1　公共下水道の供用開始

・対象区域の告示　3月14日　栃木市企業管理告示第4号

・供用及び下水の処理を開始した日　3月31日

・供用及び下水の処理を開始した区域

巴波川流域 （巴波川処理区）	城内町２丁目、片柳町２丁目、片柳町４丁目、平柳町２丁目、今泉町2丁目、新井町、川原田町、大塚町、都賀町平川の各一部
渡良瀬川下流流域 （大岩藤処理区）	大平町真弓、大平町西野田、岩舟町新里の各一部

・処理区域面積及び処理人口

区　分	処　理　区	処理区域面積(ha)	人　口(人)
新規告示	巴波川処理区	4.44	254
	大岩藤処理区	1.76	154
既告示	巴波川処理区	1,877.60	65,002
	大岩藤処理区	1,073.09	33,413
合　計	巴波川処理区	1,882.04	65,256
	大岩藤処理区	1,074.85	33,567

2　公共下水道管理関係

(1)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)
下水道台帳システム更新およびストックマネジメント支援ツールデータ構築業務委託	処理区域全域	下水道台帳システム更新、台帳作成、排水設備台帳登録業務	9,900,000

3　合併処理浄化槽設置補助事業

河川、水路等の水質汚濁は、家庭からの生活雑排水が主な原因となっている。このため、公共用水域の水質浄化対策として、し尿と生活雑排水を併せて処理できる合併処理浄化槽の設置者、処理水の放流先が無いため、合併処理浄化槽設置と同時に処理水を敷地内で処理するための装置を設置する者及び建物の新築等を行わずに単独処理浄化槽を撤去して合併処理浄化槽へ転換を行った者に対して、補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、その普及を図った。

また、公共下水道の事業認可区域等において、補助金の交付を受けられず自費で合併処理浄化槽を設置してから5年経過しても、供用が開始されないために公共下水道等に接続できない者についても補助の対象とした。

併せて、法令等に基づく浄化槽台帳のシステムの導入を行った。

(1)　業務委託

業務委託名	業務内容	金額(円)
浄化槽台帳システム導入データ移行業務委託	浄化槽台帳システムへ導入データを移行	4,125,000

(2)　合併処理浄化槽設置補助金交付状況

区　　分		基数(基)	1基当たりの上限額(円)	補助額(円)
合併処理浄化槽の設置	5人槽	96	332,000	31,872,000
	7人槽	61	414,000	25,254,000
	10人槽	5	548,000	2,740,000
	計	162	－	59,866,000
敷地内処理装置の設置		32	100,000	3,200,000
単独処理浄化槽の撤去		77	100,000	7,700,000
汲み取り便槽の撤去		9	100,000	900,000
宅内配管工事		88	300,000	26,400,000
合計		－	－	98,066,000

4　雨水貯留・浸透施設設置補助事業

雨水流出の抑制や地下水の涵養、雨水の有効利用や水循環改善を目的とし、栃木市内に専用住宅を所有又は賃借する者で、雨水貯留施設や雨水浸透施設を設置しようとする者に対し、補助金交付要綱に基づき補助金を交付し、その普及を図った。

・雨水貯留・浸透施設設置補助金交付状況

区　　分	申請件数(件)	設置基数	補助額(円)
雨水貯留施設の設置	5	5	96,000
雨水浸透施設の設置	5	17	192,000
合計	10	22	288,000

建設係

1　公共下水道汚水渠整備状況

区　　分		地域	今年度施工分	今年度末累計
管渠延長(m)	幹　線	栃木	－	32,213.0
		大平	－	11,768.7
		藤岡	－	5,090.5
		都賀	－	3,063.5
		西方	－	2,743.2
		岩舟	－	14,769.2
	枝　線	栃木	2435.2	336,284.1
		大平	830.7	105,163.1
		藤岡	－	69,558.6
		都賀	301.0	59,378.4
		西方	－	22,420.9
		岩舟	－	76,240.8

合　　計		3,566.9	738,694.0
マンホール数(箇所)	栃木	60	12,780
	大平	29	3,501
	藤岡	－	2,337
	都賀	9	1,995
	西方	－	788
	岩舟	－	2,924
合　　計		98	24,325
汚水桝数(箇所)	栃木	111	24,614
	大平	61	6,977
	藤岡	-2	3,393
	都賀	53	2,892
	西方	1	1,052
	岩舟	2	4,335
合　　計		226	43,263
マンホールポンプ数(箇所)	栃木	2	19
	大平	－	11
	藤岡	1	25
	都賀	－	4
	西方	－	1
	岩舟	1	21
合　　計		4	81

※　開発行為等の民間の下水道工事をこの整備状況に含めるため、自費工事に伴う撤去工事も計上されることから、「－（マイナス）」表記となる。
（市に寄付されて、市の管理となるため。）

2　私道における公共下水道工事（汚水）　　（単位：件）

地　域	申請	工事	備　考
栃　木	1	1	
大　平	1	1	
藤　岡	－	－	
都　賀	－	－	
西　方	－	－	
岩　舟	－	－	
合　計	2	2	

3　公共下水道建設事業関係

(1)　汚水管渠築造工事

工事箇所	工事内容		金額(円)	備考
	延長(m)	管種・内径(mm)		
新井町地内 西部処理分区第4工区	―	―	23,958,000	(前年度繰越) ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ
泉川町地内 西部処理分区第5工区	428.3	VU 200	61,622,000	(前年度繰越)
片柳町2丁目地内 西部処理分区第7工区	40.0	VU 200	4,180,000	(前年度繰越)
新井町地内 西部処理分区第12工区	481.0	VU 200	42,812,000	(前年度繰越)
今泉町1丁目地内 東部処理分区第1工区	106.7	VU 200	7,535,000	(前年度繰越)
大平町真弓地内 大平町第2処理分区第1工区	394.2	VU 150	37,433,000	(前年度繰越)
岩舟町新里地内 岩舟町第4処理分区第2工区	―	―	19,063,000	(前年度繰越) ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ
新井町地内 西部処理分区第1工区	570.2	VU 200	50,919,000	
新井町地内 西部処理分区第2工区	427.8	VU 200	48,422,000	
新井町地内 西部処理分区第4工区	―	―	19,327,000	ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ
片柳町2丁目地内 西部処理分区第7工区	35.0	VU 200	4,675,000	
片柳町2丁目地内 西部処理分区第8工区	54.7	VU 200	6,875,000	
片柳町4丁目地内 西部処理分区第9工区	35.9	VU 200	4,455,000	
片柳町2丁目地内 西部処理分区第10工区	18.0	VU 200	1,969,000	
今泉町2丁目地内 東部処理分区第1工区	173.4	VU 200	30,162,000	
平柳町2丁目地内 東部処理分区第3工区	50.0	VU 150	5,830,000	
大塚町地内 国府第1処理分区第1工区	22.9	VU 150	3,564,000	
大塚町地内 国府第1処理分区第2工区	31.4	VU 200	4,708,000	
大平町富田地内 大平町第1処理分区第1工区	87.5	VU 200 VU 150	9,372,000	
大平町真弓地内外 大平町第2処理分区第1工区	349.0	VU 150	42,350,000	

藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区第1工区	―	―	19,426,000	ﾏﾝﾎｰﾙﾎﾟﾝﾌﾟ
都賀町平川地内 都賀第3処理分区第1工区	88.5	VU　150	8,778,000	
都賀町平川地内 都賀第3処理分区第2工区	215.0	VU　150	18,513,000	
合　　計	3,609.5		475,948,000	

(2)　舗装本復旧工事

工　事　箇　所	延長(m)	金額(円)	備　考
富士見町地内　市道11194号線	108.0	3,795,000	
箱森町地内　市道14221号線外	174.0	4,576,000	
薗部町1丁目地内　市道11169号線外	107.2	3,432,000	
薗部町2丁目地内　市道14347号線外	457.0	11,913,000	
薗部町4丁目地内　市道2065号線	160.0	4,994,000	
大宮町地内　市道12165号線外	135.0	4,092,000	
大平町富田地内　市道23061号線外	405.9	9,735,000	
藤岡町藤岡地内外　市道33126号線外	121.7	5,511,000	
藤岡町藤岡地内　市道33015号線外	76.8	2,145,000	
藤岡町藤岡地内　市道2151号線外	399.9	10,769,000	
都賀町合戦場地内外　市道43404号線外	300.4	8,800,000	
合　　計	2,445.9	69,762,000	

(3)　その他の工事

地域	公共汚水桝設置工事		付帯工事（前年度繰越含む） （舗装修繕、水道管切廻し工事等）	
	箇所数（件数）	金額（円）	件数	金額（円）
栃木	55　(55)	27,739,800	9	8,847,300
大平	28　(28)	15,191,000	2	422,455
藤岡	7　(7)	7,161,000	2	1,727,000
都賀	19　(19)	8,943,000	2	3,795,000
西方	0　(0)	-	-	-
岩舟	9　(9)	4,090,900	1	187,000
合計	118 (118)	63,125,700	16	14,978,755

(4)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額（円）	備考
公共下水道地質調査 業務委託	都賀町家中地内 都賀第二処理分区	地質調査　1式	3,751,000	前年繰越
公共下水道測量業務	薗部町4丁目地内	用地測量　1式	3,047,000	

委託	西部処理分区			
公共下水道実施設計業務委託	薗部町4丁目地内 西部処理分区	管渠実施設計 1式	5,533,000	
公共下水道管布設替工事積算業務委託	倭町地内 中部第3処理分区	積算業務 1式	1,419,000	
公共下水道地質調査業務委託	都賀町平川地内外 都賀第三処理分区	地質調査　1式	4,103,000	
公共下水道実施設計業務委託	都賀町平川地内外 都賀第三処理地内	管渠実施設計 1式	12,430,000	
公共下水道修正設計業務委託	都賀町家中地内 都賀第二処理地内	管渠修正設計 1式	6,600,000	
公共下水道積算業務委託	都賀町家中地内 都賀第二処理分区	積算業務　1式	1,430,000	
資材単価特別調査業務委託	新井町地内 西部処理分区	資材単価特別調査 1式	85,580	
資材単価特別調査業務委託	藤岡町赤麻地内 藤岡町第3処理分区	資材単価特別調査 1式	85,580	
公共下水道修正設計業務委託	岩舟町新里地内 岩舟町第4処理分区	管渠修正設計 1式	4,851,000	
建物基礎地盤調査業務委託	野中町地内	地盤調査　1式	693,000	
公共下水道枝線築造工事に伴う事前家屋調査業務委託	都賀町家中地内 都賀第二処理分区	家屋調査　1式	396,000	
合　　計			44,424,160	

(5)　物件等損失補償

区　　分	補償箇所	件数(件)	金額(円)
水道給・配水管仮設、移設補償	栃木地域ほか	5	18,244,000

4　公共下水道雨水渠整備状況　　(単位：m)

区　　分	地　域	今年度中施工分	今年度末累計
雨水幹線管渠	栃　木	－	732.5
	藤　岡	－	984.1
合　　計		－	1,716.6

5　公共下水道雨水事業

(1)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考

雨水渠樋管整備工事(永野川左岸第 1 排水区)現場技術業務委託	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	現場技術業務 1 式	1,518,000	前年繰越
雨水渠水質調査業務委託（永野川左岸第 1 排水区）その 2	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	水位調査 1 式	396,000	前年繰越
雨水渠水質調査業務委託（永野川左岸第 1 排水区）	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	水位調査 1 式 解析調査 1 式	8,547,000	
雨水渠地質調査業務委託（永野川左岸第 1 排水区）	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	地質調査 1 式 解析調査 1 式	6,149,000	
雨水渠実施設計業務委託（永野川左岸第 1 排水区）	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	実施設計 1 式	8,305,000	
雨水渠実施設計業務委託（永野川左岸第 1 排水区）その 2	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	実施設計 1 式	484,000	
雨水渠幹線ゲート整備工事（永野川左岸第 1 排水区）積算業務委託	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	積算業務 1 式	2,849,000	
雨水渠幹線整備工事（永野川左岸第 1 排水区）積算業務委託	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	積算業務 1 式	3,201,000	
雨水渠樋管修正設計業務委託（永野川左岸第 1 排水区）	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	修正設計 1 式	4,862,000	
雨水渠幹線水路修正設計業務委託（永野川左岸第 1 排水区）	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	修正設計 1 式	4,950,000	
雨水渠調整池補足測量業務委託（永野川左岸第 1 排水区）	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	現地測量 1 式	473,000	
幹線整備工事に伴う資材単価特別調査業務委託	片柳町 4 丁目地内 永野川左岸第 1 排水区	資材単価特別調査 1 式	42,790	
幹線ゲート整備工事に伴	片柳町 4 丁目地内	資材単価	183,260	

う資材単価特別調査業務委託	永野川左岸第１排水区	特別調査 １式		
雨水渠事業地空撮業務委託	片柳町４丁目地内 永野川左岸第１排水区	空撮業務 １式	110,000	
合　　計			42,070,050	

(2)　工事

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)	備考
雨水渠樋管整備工事（永野川左岸第1排水区）	片柳町４丁目地内 永野川左岸第１排水区	樋管 １式	88,594,000	前年繰越
雨水渠キャスターゲート設置工事（永野川左岸第1排水区）	片柳町４丁目地内 永野川左岸第１排水区	ゲート設置 １式	544,500	
合　　計			89,138,500	

(3)　事業用地管理業務

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
雨水渠事業用地管理業務委託	片柳町４丁目地内外 永野川左岸第１排水区	除草等	2,629,000	
雨水渠事業用地管理業務委託その２	片柳町４丁目地内外 永野川左岸第１排水区	除草等	55,000	
雨水渠事業用地管理業務委託その３	片柳町４丁目地内外 永野川左岸第１排水区	除草等	341,000	
合　　計			3,025,000	

保全係

1　公共下水道施設管理関係

(1)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)
公共下水道流量・水質調査	処理区域全域	流量・水質調査　　28箇所	18,920,000
マンホールポンプ場保守点検	処理区域全域	マンホールポンプ保守点検 79箇所	33,748,243
管渠調査・清掃	城内町１丁目地内外	管渠調査　　4件	14,603,050
	藤岡町藤岡地内外	管渠清掃　　10件	
合　　計			67,271,293

(2)　修繕工事

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)
マンホールポンプ場修繕工事	処理区域全域	通報装置修繕等　21件	9,398,345
舗装修繕工事	処理区域全域	12件	4,665,100
汚水桝修繕工事	処理区域全域	2件	316,800
マンホール修繕工事	処理区域全域	嵩高調整等　10件	2,904,220
管渠修繕工事	処理区域全域	浸入水の止水等　4件	5,267,900
合　計			22,552,365

(3)　ポンプ更新工事

工　事　箇　所	基数	ポンプ能力	金額(円)	備　考
都賀町富張地内 都賀№４４号	マンホールポンプ１基	0.299㎥/min 1.5kw	594,000	
大平町西水代地内 西水代第二号	マンホールポンプ１基	0.83㎥/min 5.5kw	1,417,900	
藤岡町藤岡地内 城山	マンホールポンプ１基	0.484㎥/min 2.2kw	2,200,000	
都賀町富張地内 都賀№１５３号	マンホールポンプ１基	0.299㎥/min 1.5kw	572,000	
合　計			4,783,900	

2　農業集落排水事業施設概要

区　分	地　区	今年度施工分	今年度末累計	備考
管渠延長(m)	下皆川	－	7,515.4	
	みずほ西	－	18,433.6	
	巴波川南部	－	14,450.2	
	巴波川西部	－	28,604.4	
	西方西部	－	12,550.8	
	本郷金井	－	14,900.8	
合　計		－	96,455.2	
マンホール数(箇所)	下皆川	－	244	
	みずほ西	－	486	
	巴波川南部	－	144	
	巴波川西部	－	264	
	西方西部	－	415	
	本郷金井	－	423	
合　計		－	1,976	

汚水桝数(箇所)	下　皆　川	1	213	
	みずほ西	2	451	
	巴波川南部	1	369	
	巴波川西部	1	551	
	西方西部	－	363	
	本郷金井	1	375	
合　　計		6	2,322	
マンホールポンプ数(箇所)	下　皆　川	－	3	
	みずほ西	－	14	
	巴波川南部	－	－	
	巴波川西部	－	4	
	西方西部	－	4	
	本郷金井	－	4	
合　　計		－	29	

3　農業集落排水事業

(1)　ポンプ等更新工事

工　事　箇　所	基数	出力	金額(円)	備　考
巴波川西部地区処理施設 監視モニター	1基		9,559,000	
富吉第１ＣＰステーション №1-1・1-2真空ポンプ	2基	11.0kw	14,696,000	
中根ＣＰステーション №1真空ポンプ	1基	5.5kw	4,983,000	
巴波川南部地区 真空弁ユニット監視装置	２８基		11,704,000	
合　　計			40,942,000	

(2)　業務委託

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)	備考
大平地域農業集落排水処理施設維持管理等	下皆川汚水処理施設・みずほ西汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・し尿浄化槽清掃等	13,693,648	2施設
藤岡地域農業集落排水処理施設維持管理等	巴波川南部汚水処理施設・巴波川西部汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・真空設備維持管理等	19,060,169	2施設

西方地域農業集落排水処理施設維持管理等	西方西部汚水処理施設・本郷金井汚水処理施設	汚水処理施設維持管理・し尿浄化槽清掃等	13,222,130	2施設
合　　計			45,975,947	

(3)　修繕工事

工事名	工事箇所	工事内容	金額(円)
処理施設修繕工事	処理区域全域	ばっ気攪拌機修繕等　25件	21,275,980
汚水桝修繕工事	処理区域全域	真空ユニット等　149件	24,341,809
合　　計			45,617,789

4　公共下水道水質調査関係

業務委託名	業務委託箇所	業務内容	金額(円)
特定事業場水質調査	処理区域全域	特定事業場水質調査42箇所	1,980,000
合　　計			1,980,000

5　公共下水道普及状況

区　　分	地域	前年度末	今年度末	比　較
行政区域内人口(A)(人)	栃木	75,696	75,242	△454
	大平	29,156	28,991	△165
	藤岡	14,343	14,105	△238
	都賀	12,542	12,389	△153
	西方	5,862	5,768	△94
	岩舟	16,229	15,860	△369
合　　計		153,828	152,355	△1,473
処理区域内世帯数(B)(世帯)	栃木	21,367	21,419	52
	大平	4,993	5,042	49
	藤岡	2,779	2,779	0
	都賀	2,561	2,572	11
	西方	857	857	0
	岩舟	3,084	3,099	15
合　　計		35,641	35,768	127
処理区域内戸数(C)(戸)	栃木	19,026	19,078	52
	大平	4,993	5,042	49
	藤岡	2,779	2,779	0
	都賀	2,561	2,572	11
	西方	857	857	0
	岩舟	3,084	3,099	15
合　　計		33,300	33,427	127

処理区域内人口(D)（人）	栃木	55,037	55,261	224
	大平	15,541	15,666	125
	藤岡	8,415	8,415	0
	都賀	7,319	7,349	30
	西方	2,430	2,430	0
	岩舟	9,673	9,702	29
合計		98,415	98,823	408
水洗化世帯数(E)（世帯）	栃木	20,443	20,600	157
	大平	4,968	5,002	34
	藤岡	2,244	2,260	16
	都賀	2,529	2,547	18
	西方	845	846	1
	岩舟	3,080	3,091	11
合計		34,109	34,346	237
水洗化戸数(F)（戸）	栃木	19,011	19,050	39
	大平	4,976	5,010	34
	藤岡	2,273	2,289	16
	都賀	2,555	2,562	7
	西方	850	851	1
	岩舟	3,081	3,092	11
合計		32,746	32,854	108
水洗化人口(G)（人）	栃木	54,989	55,171	182
	大平	15,032	15,089	57
	藤岡	6,831	6,844	13
	都賀	7,314	7,326	12
	西方	2,427	2,427	0
	岩舟	9,444	9,474	30
合計		96,037	96,331	294
普及率(D/A)（%）	栃木	72.7	73.4	0.7
	大平	53.3	54.0	0.7
	藤岡	58.7	59.7	1.0
	都賀	58.4	59.3	0.9
	西方	41.5	42.1	0.6
	岩舟	59.6	61.2	1.6
合計		64.0	64.9	0.9
水洗化率（世帯）(E/B)（%）	栃木	95.7	96.2	0.5
	大平	99.5	99.2	△0.3
	藤岡	80.7	81.3	0.6
	都賀	98.8	99.0	0.2

	西方	98.6	98.7	0.1
	岩舟	99.9	99.7	△0.2
合　　計		95.7	96.0	0.3
水洗化率（戸数）(F/C)（%）	栃木	99.9	99.9	0
	大平	99.7	99.4	△0.3
	藤岡	81.8	82.4	0.6
	都賀	99.8	99.6	△0.2
	西方	99.2	99.3	0.1
	岩舟	99.9	99.8	△0.1
合　　計		98.3	98.3	0
水洗化率（人口）(G/D)（%）	栃木	99.9	99.8	△0.1
	大平	96.7	96.3	△0.4
	藤岡	81.2	81.3	0.1
	都賀	99.9	99.7	△0.2
	西方	99.9	99.9	0
	岩舟	97.6	97.6	0
合　　計		97.6	97.5	△0.1

6　農業集落排水事業普及状況

区　　分	地区	前年度末	今年度末	比　較
処理区域内戸数 (A)（戸）	下　皆　川	228	228	0
	みずほ西	462	462	0
	巴波川南部	369	369	0
	巴波川西部	551	551	0
	西方西部	386	386	0
	本郷金井	370	370	0
合　　計		2,366	2,366	0
処理区域内人口 (B)（人）	下　皆　川	675	675	0
	みずほ西	1,546	1,546	0
	巴波川南部	1,245	1,245	0
	巴波川西部	2,052	2,052	0
	西方西部	1,122	1,122	0
	本郷金井	1,057	1,057	0
合　　計		7,697	7,697	0
接続戸数 (C)（戸）	下　皆　川	227	227	0
	みずほ西	422	426	4
	巴波川南部	263	264	1
	巴波川西部	283	286	3
	西方西部	375	375	0

	本郷金井	350	350	0
合計		1,920	1,928	8
接続人口(D)(人)	下皆川	673	673	0
	みずほ西	1,274	1,280	6
	巴波川南部	931	939	8
	巴波川西部	953	956	3
	西方西部	1,121	1,121	0
	本郷金井	1,051	1,051	0
合計		6,003	6,020	17
接続率(戸数)(C/A)(%)	下皆川	99.6	99.6	0
	みずほ西	91.3	92.2	0.9
	巴波川南部	71.3	71.5	0.2
	巴波川西部	51.4	51.9	0.5
	西方西部	97.2	97.2	0
	本郷金井	94.6	94.6	0
合計		81.1	81.5	0.4
接続率(人口)(D/B)(%)	下皆川	99.7	99.7	0
	みずほ西	82.4	82.8	0.4
	巴波川南部	74.8	75.4	0.6
	巴波川西部	46.4	46.6	0.2
	西方西部	99.9	99.9	0
	本郷金井	99.4	99.4	0
合計		78.0	78.2	0.2

7　公共下水道普及対策事業

(1)　排水設備等の設置　　(単位：件)

確認申請件数	検査済件数
569	604

(2)　水洗便所改造資金利子補給

排水設備工事を行うための工事費の融資あっせんと利子補給を行った。

利子補給件数(件)	利子補給額(円)
4	44,046

8　農業集落排水普及対策事業

排水設備等の設置　　(単位：件)

確認申請件数	検査済件数
17	15

第１２章　消防本部

第１節　消防総務課

〔総括概要〕

消防総務課は、消防総務係・消防団係の２係体制で業務を行っている。

消防総務係の主な分掌事務は、消防職員の人事、研修及び福利厚生、広報広聴、消防事務の企画及び調整並びに消防施設の整備及び維持管理である。

職員の研修については、複雑多様化する災害や救急業務など、近年の消防を取り巻く環境の変化に対応できるように、平成 30 年度から分野ごとに対象者を限定するＴＦＥＴ（Tochigi Fireman Education and Training／栃木市消防職員研修）や専科教育訓練を継続的に実施している。

広報広聴については、ホームページにおいて消防行政に関わる情報を分かりやすく市民に周知するため、消防本部の各種の案内及び応急処置方法等の掲載のほか、整備工事中の消防本部・消防署の進捗状況や救急車の適正利用、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実を図った。

消防施設の整備については、令和元・2 年度の庁舎整備基本・実施設計を踏まえ、令和 3 年度から消防本部・消防署の庁舎整備工事に着手している。

また、都賀・西方地域の消防分署庁舎を整備するため、（仮称）栃木市消防署北部分署庁舎整備実施設計の策定及び事業用地を取得した。

消防団係の主な分掌事務は、消防団の総括及び連絡調整、消防団施設の整備及び管理、資機材の購入である。

施設等の整備については、組織再編により使用しなくなった器具置場を 1 棟解体した。ここは借地であったため、土地の返還を行うことで維持管理の経費を節減することができた。資機材の購入としては平成 28 年に導入したデジタル簡易無線のバッテリーの更新を実施した。

消防団の訓練等として、栃木市消防団通常点検を実施したほか、都賀・西方地域合同訓練や南地域合同訓練を実施し、技能習熟はもとより団員間及び地域間の連携強化を図ることができた。

消防団車両の更新として、小型動力ポンプ付積載車（軽デッキバン）2 台を新規購入し消防力の強化を図った。

消防団の防災・広報活動については、平時における消火活動等に従事したほか、栃木市消防団の広報誌「火伏」第 7 号を発刊した。また、市内の小学校や高校で消防団のＰＲ活動を行った。

消防総務係

1　消防職員数

(1)　階級別職員数　　（4月1日現在・再任用職員除く　単位：人）

区分＼階級	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
定員	階級別定員なし								204
実員	1	9	30	48	35	32	41	3	199

(2) 所属別職員数 （4月1日現在　単位：人）

所属＼階級		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計	摘要
消防本部	消防長	1	－	－	－	－	－	－	－	1	
	次長	－	1	－	－	－	－	－	－	1	
	消防総務課	－	2	4	2	2	1	－	3	14	栃木県消防学校派遣1
	予防課	－	1	3	2	3	2	－	－	11	
	警防課	－	1	3	1	－	1	－	－	6	
	通信指令課	－	1	3	3	2	4	－	－	13	
	計	1	6	13	8	7	8	－	3	46	
消防署	署長	－	1	－	－	－	－	－	－	1	
	消防第１課	－	1	4	6	6	3	10	－	30	
	消防第２課	－	1	3	7	5	6	9	－	31	
	大平分署	－	－	2	7	3	3	5	－	20	
	藤岡分署	－	－	2	7	4	3	4	－	20	
	都賀分署	－	－	2	5	2	2	3	－	14	
	西方分署	－	－	2	3	4	3	2	－	14	
	岩舟分署	－	－	2	5	4	4	4	－	19	
	計	－	3	17	40	28	24	37	－	149	
研修職員		－	－	－	－	－	－	4	－	4	栃木県消防学校入校4
合計		1	9	30	48	35	32	41	3	199	

(3) 消防職級別職員数 （4月1日現在　単位：人）

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	小計
男	1	9	14	16	50	35	42	26	193
女	－	－	－	－	－	1	2	3	6
計	1	9	14	16	50	36	44	29	199

2　消防職員人事

(1) 職員の採用 （単位：人）

職種	人員	男	女
消防	4	3	1

(2)　職員の退職　　（単位：人）

職　種	人　員
消　防	3

(3)　消防職員採用試験の実施状況

ア　試験実施状況

実　施　日	内　　容
9月22日(日)	第一次試験（筆記試験）実施
10月17日(木)	第二次試験（体力測定）実施
10月23日(水)	第二次試験（面接試験）実施

イ　受験状況

職　種	応募者数（人）	受験者数（人）	最終合格者数（人）			実質倍率（倍）
			男	女	計	
消　防	33	27	4	0	4	6.8

3　消防職員研修

(1)　栃木県消防学校教育訓練

期　　間　（[]内は、実日数）	研　修　科　目	参加者数（人）
4月 4日(木)～ 9月18日(火)［114日］	初任教育	4
7月30日(火)～ 8月 8日(木)　［8日］	特別教育水難救助科	2
8月26日(月)～ 9月 6日(金)　［10日］	幹部教育初級幹部科	3
9月24日(火)～10月23日(水)　［21日］	専科教育救助科	3
10月 7日(月)～10月11日(金)　［5日］	幹部教育中級幹部科	3
10月28日(月)～12月24日(火)　［41日］	専科教育救急科	4
1月20日(月)～ 1月31日(金)　［10日］	専科教育警防科	3
1月27日(月)～ 2月 7日(金)　［10日］	専科教育火災調査科	3
2月12日(水)～ 2月20日(木)　［ 7日］	専科教育特殊災害科	3

(2)　消防大学校教育訓練

期　　間　（[]内は、実日数）	研　修　科　目	参加者数（人）
12月12日(木)～12月20日(金)［9日］	女性活躍推進コース	1

4　職員厚生

健康診断の実施状況

検　　診　　名	対　象　者	受診者数（人）
一般健康診断	全職員	136
胃がん検診	〃	90
肺がん検診（胸部X線撮影）	〃	113

大腸がん検診	〃	110
前立腺がん検診	50歳以上	14
人間（脳）ドック	30歳以上	59

5　広報関係

ホームページにおいて消防行政に関わる情報を市民に周知するため、消防本部の組織、各種統計、試験・講習会の案内及び応急手当等の掲載のほか、住宅用火災警報器の設置等の防災意識の普及啓発に努め、広報活動のより一層の充実図った。

6　消防施設の概要　（単位：㎡）

区　分	所　在　地	敷地面積	構　造	1階床面積	2階床面積	3階床面積	延面積
消防本部 栃木市消防署	平柳町 1-34-5	6,685	鉄筋コンクリート造 3階建	1,450	1,020	1,056	3,556
大平分署	大平町蔵井 2001-2	1,309	鉄筋コンクリート造 2階建	228	65		293
藤岡分署	藤岡町藤岡 81-2	1,312	鉄骨鉄筋コンクリート造 2階建	266	104		370
都賀分署	都賀町大柿 1529	1,286	鉄筋コンクリート造 2階建	225	65		290
西方分署	西方町金井 293	1,371	鉄筋コンクリート造 2階建	226	63		289
岩舟分署	岩舟町静 5133-1	3,320	鉄骨造2階建	507	272		779

7　消防施設の整備状況

主な業務　（単位：円）

業　務　内　容	金　額
栃木市消防本部・栃木市消防署第2出動車両車庫新築工事	75,311,000
(仮称)栃木市消防署北部分署庁舎整備実施設計策定業務委託	16,636,400
(仮称)栃木市消防署北部分署庁舎整備事業用地取得	29,735,875
栃木市消防署解体工事	69,905,000

消防団係

1　消防団員数等

消防団組織概要については【別図】組織概要図のとおり

(1)　階級別団員数　（4月1日現在　単位：人）

区分＼階級	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
定　員	1	6	37	43	75	76	771	1,009
実　員	1	6	37	42	75	75	707	944

(2)　所属別団員数　　(4月1日現在　単位：人)

地域等＼階級		団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
団本部	定　員	1	6	－	－	－	－	－	7
	実　員	1	6	－	－	－	－	－	7
本部分団	定　員	－	－	6	12	18	－	－	36
	実　員	－	－	6	11	18	－	－	35
栃　木	定　員	－	－	12	12	23	32	322	401
	実　員	－	－	12	12	23	32	299	378
大　平	定　員	－	－	3	3	8	11	96	121
	実　員	－	－	3	3	8	11	89	114
藤　岡	定　員	－	－	4	4	8	8	112	136
	実　員	－	－	4	4	8	8	101	125
都　賀	定　員	－	－	4	4	6	7	68	89
	実　員	－	－	4	4	6	7	66	87
西　方	定　員	－	－	4	4	5	7	63	83
	実　員	－	－	4	4	5	6	56	75
岩　舟	定　員	－	－	3	3	6	9	95	116
	実　員	－	－	3	3	6	9	87	108
女性分団	定　員	－	－	1	1	1	2	15	20
	実　員	－	－	1	1	1	2	9	15
合　計	定　員	1	6	37	43	75	76	771	1,009
	実　員	1	6	37	42	75	75	707	944

2　消防車等の態勢　　(単位：台)

地域等＼区分	消防ポンプ自動車	小型動力ポンプ付積載車	指揮連絡車	計
団本部	－	－	3	3
本部分団	－	－	6	6
栃　木	17	6	－	23

大　　平	8	－	－	8
藤　　岡	4	4	－	8
都　　賀	4	2	－	6
西　　方	2	4	－	6
岩　　舟	6	－	－	6
女性分団	－	－	1	1
計	41	16	10	67

3　消防団の活動状況

新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら、可能な範囲で行事や訓練を実施した。

(1)　栃木市消防団の主な行事

ア　栃木市消防団入退団式

・実施日　4月7日(日)

・場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木市栃木文化会館）

・新入団員数　59名

イ　通常点検

・実施日　10月27日(日)

・場　所　栃木市総合運動公園多目的グラウンド

(2)　訓練等

名　称	実施回数	参加者
新入団員研修	1回	新入団員
新入団員基礎教育訓練	1回	新入団員
都賀・西方地域合同訓練	1回	都賀、西方地域
栃木市総合防災訓練	1回	大平地域
上級救命講習	1回	女性分団
南地域合同訓練	1回	大平、藤岡、岩舟地域
水防訓練	1回	岩舟地域
ポンプ運用訓練	10回	栃木、大平、岩舟地域
ポンプ操法訓練	2回	栃木地域
放水訓練	15回	栃木、大平、藤岡、都賀地域

(3)　栃木市消防団会議実施状況

名　称	開催日	場　所
第1回団本部・本部分団合同会議	5月17日(金)	消防本部3階会議室
第1回南北会議（北部） 第1回南北会議（南部）	5月27日(月) 5月28日(火)	消防本部3階会議室 静和地区公民館
第2回団本部・本部分団合同会議	8月19日(月)	消防本部3階会議室

第2回南北会議（南部） 第2回南北会議（北部）	8月27日(火)	静和地区公民館 消防本部３階会議室
第3回団本部・本部分団合同会議	1月17日(金)	消防本部３階会議室
第3回南北会議（南部） 第3回南北会議（北部）	1月27日(月)	静和地区公民館 消防本部３階会議室

4　消防施設の整備状況

(1)　主な資機材等の購入

品　名	数　量	金額（円）
小型動力ポンプ付積載車（軽デッキバン）	2台	24,970,000
消防団充電式特殊 LED 投光器	1機	1,000,000
防火衣	15 着	1,257,300
活動服（上下セット）	49着	992,321

(2)　主な施設整備等

事　業　名	事業箇所	金額（円）
旧栃木方面隊第9分団第4部機械器具置場等解体工事	柏倉町地内	3,674,000

5　消防団サポート店登録状況

(1)　業種別　（単位：件）

登録数	うち飲食業	うち製造業	うち販売業	うちその他
89	33	2	17	37

※その他は建設業・自動車整備業・葬祭業・美容業等

(2)　地域別　（単位：件）

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
40	14	11	8	4	12

6　消防団協力事業所認定状況

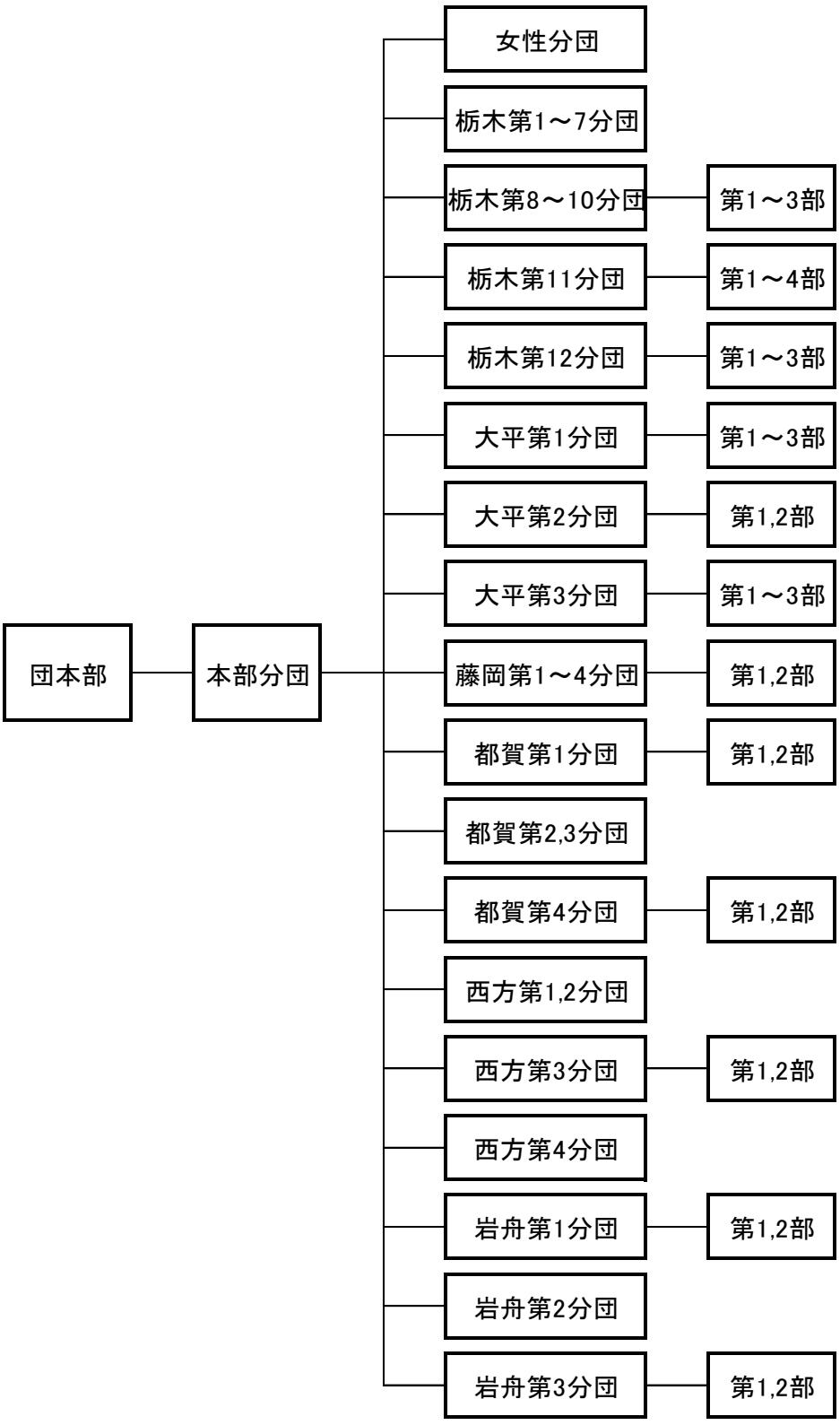
地域別　（単位：件）

栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域
14	5	8	5	0	6

7　広報関係

消防団の存在と活動実績を市民に周知するため、広報とちぎへ記事を掲載したほか、消防団広報誌「火伏」第7号を発刊し、消防団を広くＰＲした。

【別図】組織概要図


団本部
本部分団
女性分団
栃木第1～7分団
栃木第8～10分団
第1～3部
栃木第11分団
第1～4部
栃木第12分団
第1～3部
大平第1分団
第1～3部
大平第2分団
第1,2部
大平第3分団
第1～3部
藤岡第1～4分団
第1,2部
都賀第1分団
第1,2部
都賀第2,3分団
都賀第4分団
第1,2部
西方第1,2分団
西方第3分団
第1,2部
西方第4分団
岩舟第1分団
第1,2部
岩舟第2分団
岩舟第3分団
第1,2部

第２節　予防課

〔総括概要〕

予防課の主な分掌事務は、火災予防、危険物規制、防火対象物指導事務である。

火災予防事務については、全国統一の火災予防運動、防火ポスターの展示及び住宅用火災警報器設置の推進により、市民の防災意識の高揚を図った。

危険物規制事務については、危険物取扱者保安講習会を実施し、危険物施設の保安管理の充実を図った。

防火対象物指導事務については、全国統一の火災予防運動等に火災予防啓発用リーフレット及び啓発品等の配布を実施し、関係者に火災予防の周知を図った。

予防係

1　予防関係

区分／行事	実施日	内容
危険物安全週間	6月2日(日)～6月8日(土)	広報活動 製造所等の立入検査
危険物取扱者保安講習会	1月17日(金)	危険物取扱者対象の講習
秋季全国火災予防運動	11月9日(土)～11月15日(金)	広報活動 火災予防啓発用リーフレット、啓発品等の配付 防火対象物立入検査
春季全国火災予防運動	3月1日(土)～3月7日(金)	火災予防啓発用リーフレット、啓発品等の配付

2　火災原因及び件数　（単位：件）

原因	件数	原因	件数
たばこ	3	内燃機関	－
こんろ	4	配線器具	2
かまど	－	火あそび	1
風呂かまど	－	マッチ・ライター	4
炉	－	たき火	17
焼却炉	1	溶接機・溶断機	2
ストーブ	1	灯火	－
こたつ	－	衝突の火花	1

ボイラー	－	取灰	－
煙突・煙道	－	火入れ	7
排気管	1	放火	4
電気機器	5	放火疑い	1
電気装置	1	その他	19
電灯電話等の配線	1	不明・調査中	12
合計			87

3　災害関係

区分	件数（件）	焼損棟数（類焼含）		世帯数（類焼含）		焼損床面積	死傷者（人）		損害額（千円）	
							死亡	負傷		
建物火災	30	全焼	13	全損	2	1,626 ㎡	2	4	建物	166,066
		半焼	4	半損	1					
		部分焼	7	小損	14					
		ぼや	19							
林野火災	2					－	－	－		－
車両火災	9						－	－		6,172
その他の火災	46						－	－		2,226

4　消防同意処理状況

(1)　防火対象物（延面積 150 ㎡以上）　　（単位：件）

用途別			件数
1	イ	劇場等	－
	ロ	公会堂等	1
2	イ	キャバレー等	－
	ロ	遊技場等	－
	ハ	性風俗施設	－
	ニ	カラオケボックス等	－
3	イ	料理店等	－
	ロ	飲食店	－
4		物品販売店舗等	8
5	イ	旅館・ホテル等	－
	ロ	共同住宅	4
6	イ	病院等	1
	ロ	老人短期入所施設等	－
	ハ	老人デイサービスセンター等	1
	ニ	幼稚園等	－

7		学校	1
8		図書館等	－
9	イ	特殊浴場	－
	ロ	公衆浴場	－
10		停車場等	－
11		神社・寺院等	1
12	イ	工場・作業場	9
	ロ	スタジオ	－
13	イ	駐車場等	－
	ロ	航空機格納庫	－
14		倉庫	12
15		事務所等	5
16	イ	特定複合用途	1
	ロ	非特定複合用途	1
17		文化財	－
合　　計			45

(2)　(1)以外のもの　　(単位：件)

その他の消防同意	件数
住宅	22
その他	108
合　　計	130

危険物係

1　危険物施設設置状況

(1)　地域別危険物施設設置状況　　(単位:件)

区分＼地域別		栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
製造所		1	1	－	－	3	1	6
貯蔵所	屋内貯蔵所	24	13	11	5	5	7	65
	屋外タンク貯蔵所	17	8	－	－	12	7	44
	屋内タンク貯蔵所	2	1	1	1	－	1	6
	地下タンク貯蔵所	54	18	12	13	12	8	117
	簡易タンク貯蔵所	－	－	－	－	－	－	－
	移動タンク貯蔵所	45	25	12	3	14	22	121
	屋外貯蔵所	1	3	－	－	－	－	4
	計	143	68	36	22	43	45	357
取	給油取扱所	61	15	21	11	6	22	136

扱所	第 1 種販売取扱所	1	－	－	－	－	－	1
	第 2 種販売取扱所	－	－	－	－	－	－	－
	一 般 取 扱 所	40	26	11	9	11	18	115
	計	102	41	32	20	17	40	252
合 計		246	110	68	42	63	86	615
事 業 所 数		126	40	42	24	25	45	302

(2) 指定数量の倍数別危険物施設設置状況 (単位:件)

区分＼倍数別		5倍以下	5倍を超え10倍以下	10倍を超え50倍以下	50倍を超え100倍以下	100倍を超え150倍以下	150倍を超え200倍以下	200倍を超えるもの	計
製造所		2	1	1	－	2	－	－	6
貯蔵所	屋内貯蔵所	36	13	10	－	1	2	3	65
	屋外タンク貯蔵所	5	9	18	10	2	－	－	44
	屋内タンク貯蔵所	4	2	－	－	－	－	－	6
	地下タンク貯蔵所	39	41	27	5	4	－	1	117
	簡易タンク貯蔵所	－	－	－	－	－	－	－	－
	移動タンク貯蔵所	86	4	14	13	4	－	－	121
	屋外貯蔵所	1	2	1	－	－	－	－	4
	計	171	71	70	28	11	2	4	357
取扱所	給油取扱所	27	10	43	16	10	6	24	136
	第 1 種販売取扱所	1	－	－	－	－	－	－	1
	第 2 種販売取扱所	－	－	－	－	－	－	－	－
	一 般 取 扱 所	44	39	27	3	－	1	1	115
	計	72	49	70	19	10	7	25	252
合 計		245	121	141	47	23	9	29	615

査察係

1 査察関係

(1) 防火対象物別立入検査実施状況 (単位:件)

用途別＼地域別			栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
1	イ	劇場等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	公会堂等	－	－	1	－	－	－	1
2	イ	キャバレー等	－	－	－	－	－	－	－

	ロ	遊技場等	－	－	－	－	－	1	1
	ハ	性風俗施設	－	－	－	－	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	－	－	－	－	－	－	－
3	イ	料理店等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	飲食店	2	1	－	－	－	－	3
4		物品販売店舗等	3	2	－	－	－	－	5
5	イ	旅館・ホテル等	－	46	－	－	－	－	46
	ロ	共同住宅	－	－	－	－	－	－	－
6	イ	病院等	1	－	－	－	－	－	1
	ロ	老人短期入所施設等	2	－	－	－	－	1	3
	ハ	老人デイサービス センター等	－	－	－	－	－	－	－
	ニ	幼稚園等	－	－	－	－	－	－	－
7		学校	－	－	－	－	－	－	－
8		図書館等	－	－	－	－	－	－	－
9	イ	特殊浴場	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	公衆浴場	－	－	－	－	－	－	－
10		停車場等	－	－	－	－	－	－	－
11		神社・寺院等	－	－	－	－	－	－	－
12	イ	工場・作業場	－	－	1	－	－	－	1
	ロ	スタジオ	－	－	－	－	－	－	－
13	イ	駐車場等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	航空機格納庫	－	－	－	－	－	－	－
14		倉庫	－	－	1	－	1	－	2
15		事務所等	5	－	1	－	－	－	6
16	イ	特定複合用途	2	2	1	－	－	－	5
	ロ	非特定複合用途	－	－	－	－	－	－	－
17		文化財	－	－	－	－	－	－	－
一人暮らし高齢者宅防火診断			－	－	－	－	－	－	－
合　　計			15	51	5	－	1	2	74

(2)　製造所等立入検査実施状況　　（単位：件）

区分＼地域別	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
立入検査実施件数	8	5	1	－	－	1	15

第３節　警防課

〔総括概要〕

警防課の主な分掌事務は、各種災害を警戒、鎮圧し排除するための警防対策、消防計画、他の消防機関との相互応援協定、緊急消防援助隊、消防車両及び消防資機材の整備・配置管理、安全運転管理、救急事務、救急医療情報に係る事務、救急救命士の養成や教育、メディカルコントロール（医師が医学的観点から救急隊員が行う応急処置等の質を保証する体制）に係る事務、救急車両及び救急資器材の整備・配置管理である。そのほか開発行為に係る消防水利の協議を行った。

警防業務では、大規模で複雑多様化する災害発生時において、市民の生命、身体及び財産を守るため、安全で迅速な消防活動が展開できるよう消防車両、消防資器材、消防水利の更新整備及び維持管理を行った。

救急管理業務では、年々増加する救急事案に対応するため、救急現場から医療機関までの搬送体制の強化や救急救命士を含む救急隊員が行う応急処置の質の向上などを目的として、救急救命士の養成、医師による救急活動に対する事後検証の実施、派遣型ワークステーションの運用により、救急隊員のスキルアップ及び救命率の向上を図った。そのほか、高規格救急自動車、救急資器材の更新整備及び維持管理を行った。

なお、指揮支援としてドローンを運用し、災害現場の上空からの映像伝送による情報収集や被害状況等の空撮を行った。

警防係

1　消防車両現勢

所属	車名	メーカー	年式	備考
栃木市消防本部	庁用車	トヨタ	平成 24	
	総務連絡車	トヨタ	平成 10	
	査察広報車	トヨタ	平成 20	
	予防連絡車	スズキ	平成 20	
	警防連絡車	トヨタ	平成 10	
	火災調査車	トヨタ	令和 2	
栃木市消防署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 25	水槽 600 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	水槽付ポンプ車	日野	令和 3	水槽 2,000 ℓ
	化学車	日野	平成 19	水槽 1,500 ℓ　薬液 500 ℓ
	はしご車	日野	平成 28	35m級(先端屈折、伸縮水管付)
	救助工作車	日野	平成 30	クレーン、ウインチ、照明装置付
	災害支援車	いすゞ	平成 25	
	指揮車	トヨタ	平成 27	
	救急１号車	トヨタ	令和 3	高規格

	救急2号車	トヨタ	令和 6	高規格
	救急3号車	トヨタ	令和 2	高規格
	栃木広報1号車	トヨタ	平成 15	
	栃木広報2号車	ニッサン	令和 2	
	防火号	ニッサン	平成 24	
	物資搬送車	マツダ	平成 21	
大平分署	普通ポンプ車	日野	令和 3	水槽 600 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	化学車	日野	平成 22	水槽 1,500 ℓ 薬液 300 ℓ
	救急車	トヨタ	令和元	高規格
	大平広報車	トヨタ	平成 21	
	ボートトレーラー	ソレックス	平成 28	最大積載量 400 kg
藤岡分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 20	
	水槽付ポンプ車	日野	令和 5	水槽 1,500 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	救急車	トヨタ	令和 5	高規格
	藤岡広報車	トヨタ	平成 20	
	ボートトレーラー	ソレックス	平成 28	最大積載量 350 kg
都賀分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 11	
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 25	水槽 1,500 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	救急車	トヨタ	平成 29	高規格
	都賀広報車	トヨタ	平成 23	
西方分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 22	
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 12	水槽 1,500 ℓ
	救急車	トヨタ	平成 30	高規格
	西方広報車	トヨタ	平成 24	
岩舟分署	普通ポンプ車	いすゞ	平成 27	水槽 600 ℓ（ＣＡＦＳ装置付）
	水槽付ポンプ車	いすゞ	平成 20	水槽 1,500 ℓ
	救急車	トヨタ	平成 27	高規格
	岩舟広報車	ニッサン	平成 20	
	ボートトレーラー	ｽﾍﾟｼｬﾙﾄﾚｰﾗｰｽﾞ	平成 12	最大積載量 450 kg

2　地域別消防水利設置状況　（単位:基）

種別＼地域	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	計
消火栓	1,508	458	392	317	161	322	3,158
防火井戸	219	100	39	4	－	－	362
防火水槽	556	173	242	103	42	187	1,303
プール	21	6	6	4	2	4	43
計	2,304	737	679	428	205	513	4,866

3　消防資機材配備状況　　（単位:一式）

種別＼所属別		消防本部	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合計
救助器具	救命索発射銃	－	2	－	－	－	－	－	2
	油圧式救助器具	－	4	1	1	1	－	1	8
	ワイヤーはしご	－	2	－	－	－	－	－	2
	可搬式ウインチ	－	3	1	1	－	－	2	7
	救助マット	－	1	－	－	－	－	－	1
	排煙機	－	4	1	2	－	－	－	7
	マット型空気ジャッキ	－	2	－	－	－	－	－	2
	耐熱防護服	－	2	－	－	－	－	－	2
	化学防護服（防毒衣）	－	91	10	－	2	－	－	103
	放射線防護服	－	2	－	－	－	－	－	2
	放射線測定器	－	5	－	－	－	－	－	5
	可燃・有毒ガス測定器	－	3	1	1	1	1	1	8
	耐電用防護服	－	6	－	－	－	－	－	6
	潜水器具一式	－	12	－	－	－	－	－	12
	救命ボート（※水上バイク含む）	－	3	1	2※	1	1	2	10
	船外機	－	1	1	－	－	－	1	3
	エアーテント	－	2	－	－	－	－	－	2
	熱画像直視装置	－	2	1	1	－	－	1	5
	画像探索装置	－	1	－	－	－	－	－	1
救急用器具	人工呼吸器	－	3	1	1	1	1	1	8
	陰圧式固定具	－	3	2	1	1	2	2	11
	バックボード一式	－	7	2	3	3	2	3	20
	血圧計	－	6	5	5	4	4	5	29
	血中酸素飽和濃度測定器	－	5	5	2	2	4	2	20
	血中酸素・一酸化炭素飽和濃度測定器	－	3	1	1	1	1	1	8
	吸引器	－	7	2	3	2	2	2	18
	喉頭鏡	－	8	7	3	4	3	5	30
	半自動体外式除細動器	－	2	1	1	1	1	1	7
	自動体外式除細動器（AED）	1	2	1	1	1	1	1	8
	ベッドサイドモニター	－	2	1	1	1	1	1	7
	モニタリング除細動器	－	1	－	－	－	－	－	1

破壊器具	エンジンカッター	－	3	2	2	2	1	1	11
	エアツール	－	2	－	－	－	－	－	2
	ガス熔断機	－	2	－	－	－	－	－	2
	チェーンソー	－	8	2	3	2	1	1	17
	削岩機	－	2	－	－	－	－	－	2
	万能斧	－	9	2	3	2	3	5	24
呼吸保護具	空気充填設備	－	1	－	－	－	－	－	1
	空気呼吸器	－	27	10	10	9	10	8	74
	空気ボンベ	－	90	26	26	23	23	22	210
	酸素呼吸器	－	3	－	－	－	－	－	3
	簡易呼吸器	－	2	－	－	－	－	－	2
作業用器具	ホースカー	－	3	1	2	2	2	3	13
	連梯子	－	6	2	2	2	2	2	16
	かぎ付梯子	－	4	－	1	1	－	1	7
	照明発電機	1	11	2	3	2	2	5	26
	拡声装置	3	12	3	6	4	2	5	35
放水・発泡器具	簡易発泡器	－	1	1	1	1	－	－	4
	エアフォームノズル	－	6	4	1	－	－	1	12
	ピックアップノズル	－	1	－	－	1	1	－	3
	ラインプロポーショナー	－	3	1	1	1	－	－	6
	消火栓用スタンドパイプ	－	4	2	2	2	2	2	14
	分岐金具	－	9	4	5	7	4	8	37
	ホースブリッジ	－	3	4	4	4	2	4	21
	ロータリー管鎗	－	1	－	1	－	－	－	2
	フォグガン	－	5	2	2	1	2	－	12
	山林火災用手動ポンプ	－	30	15	18	10	10	15	98
	山林火災用可搬式送水装置	－	2	1	1	1	1	1	7
	ウォーターチャージャー	－	1	2	2	1	1	2	9
	界面活性剤原液(ℓ)	－	1,680	320	220	350	60	400	3,030
その他の器具	超音波厚さ計	1	－	－	－	－	－	－	1
	ピンホール探知機	1	－	－	－	－	－	－	1
	膜厚計	1	－	－	－	－	－	－	1
	非接触温度計	－	3	1	1	1	1	1	8

4　消防相互応援協定関係

協定の名称	締結年月日	協定締結の相手	内容
東北自動車道消防相互応援協定	H27.9.30	佐野市 鹿沼市 宇都宮市 塩谷広域行政組合 那須地区消防組合	東北自動車道における火災、救急、その他の災害の発生時の相互応援
北関東自動車道消防相互応援協定	H26.1.20	足利市 佐野市 鹿沼市 石橋地区消防組合 宇都宮市 芳賀地区広域行政事務組合	北関東自動車道における火災、救急、その他の災害の発生時の相互応援
特殊災害消防対策相互応援協定	S55.4.30	小山市消防本部	危険物施設火災及び中高層建物火災等の特殊災害並びに多数の死傷者等が予測される災害発生時の相互応援
特殊災害消防相互応援協定	S56.5.20	県内消防本部	高層建築火災等の特殊災害及び多数の死傷者等が予測される災害発生時の相互応援
消防相互応援協定	S40.10.21 H元.3.28 H6.8.1 H2.1.29 H25.4.1 H26.4.1	小山市 館林地区消防組合 鹿沼市 石橋地区消防組合 埼玉東部消防組合 佐野市	災害を受報又は覚知した場合、消防隊、救急隊その他必要な人員を出場させ応援活動を実施するもの

救急管理係

1　救急救命士養成

救急救命士は「厚生労働大臣の免許を受けて、傷病者を病院に搬送するまでの間、医師の指示の下に救急救命処置を行うことができる者」とされ、救急救命処置は、医師の具体的指示の下に行われており、現在 58 人が救急救命士として認定されている。

(1)　救急救命士の編成状況　（単位:人）

消防本部	消　防　署						計
	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	
7	20	7	6	6	6	6	58

(2)　救急救命士の資格認定について

救急救命士の行える救急救命処置の範囲については必要に応じて拡大されており、その資格は気管挿管、薬剤投与、処置拡大であり、各資格とも一定の教育課程を修了し、認定を受けた救急救命士のみが医師の具体的な指示の下、認定された処置を行うことができる。

（単位：人）

救急救命士総数		58
資格内訳	気管挿管認定救命士 （医師の具体的な指示の下に必要な傷病者に気管挿管ができる）	44 （重複）
	薬剤投与認定救命士 （医師の具体的な指示の下に必要な傷病者に薬剤投与ができる）	58 （重複）
	処置拡大認定救命士 （医師の具体的な指示の下に重度傷病者に対して輸液、血糖測定、ブドウ糖投与ができる）	50 （重複）

(3)　指導救命士について

救急救命士のうち、所定の研修を受けた後、救急業務に携わる職員に救急業務全般について指導等を行う救急救命士で、現在 6 名が指導救命士として認定されている。

2　事後検証会

救急救命士は、心肺停止傷病者に対し救急救命処置を行った事案や、ドクターヘリを要請し傷病者をヘリに収容した事案等について、医師による事後検証を受け、救命処置を行うための手順等が遵守されているか確認している。

・事後検証会実施回数　17 回（事後検証事案 375 件）

第４節　通信指令課

〔総括概要〕

通信指令課は指令第１係と指令第２係で組織されており、24時間勤務の２交代制で業務を行っている。

通信指令課の主な分掌事務は、消防通信の管理及び運用、通信施設の整備及び維持管理、災害通報の受付及び出動指令、非常招集及び応援要請、気象観測及び気象通報に関すること等である。

消防通信の管理及び運用、通信施設の整備及び維持管理については、災害等で被災故障した通信指令装置等の復旧及び維持管理を実施し、正常運用を行った。

災害通報の受付及び出動指令については、高機能消防指令センターで119番を受信すると同時に、発信地表示装置に住所と付近地図が自動的に表示され、これらの情報を基に消防車両を出動させた。

非常招集及び応援要請については、災害規模状況等により部隊を編成し出動させると共に出動隊及び隊員の確保を行った。

気象観測及び気象通報に関することについては、気象観測装置の維持管理を行うと共にホームページで市民に対し気象観測データを周知した。

外国人の方からの119番通報及び消防・救急の現場活動において、日本語による対応が困難な場合に電話通訳センターを介した通訳サービスを利用し、言語の支障なく迅速かつ的確に対応するため多言語同時通訳を実施した。

また、聴覚・言語障がい者の方がチャット方式で119番通報ができるNet119緊急通報システムについても導入し対応している。

7月3日からLive119（映像通報システム）を導入し、市民からの緊急通報の内容をより正確に把握することで、迅速・的確な災害対策を図り、危機への備え・対応力を高めている。

指令第１係　指令第２係

1　119番通報受付回数　（単位：回）

種別／月	火災	救急・救助	その他の災害	通報訓練	問合せ	まちがいいたずら	同報通報	その他	合計
4月	2	594	13	63	61	61	20	43	857
	(-)	(289)	(1)	(1)	(42)	(50)	(15)	(1)	(399)
5月	7	588	23	73	113	47	17	22	890
	(4)	(285)	(8)	(-)	(77)	(34)	(14)	(5)	(427)
6月	21	810	39	106	73	90	34	61	1,234

	(3)	(288)	(9)	(3)	(51)	(47)	(26)	(10)	(437)
7月	24	894	45	48	108	66	27	49	1,261
	(5)	(424)	(14)	(1)	(85)	(40)	(17)	(8)	(594)
8月	8	773	53	50	112	58	44	28	1,126
	(4)	(351)	(12)	(1)	(72)	(43)	(22)	(4)	(509)
9月	12	679	37	96	86	57	19	40	1,026
	(1)	(325)	(10)	(4)	(71)	(48)	(12)	(9)	(480)
10月	9	756	21	100	127	84	11	28	1,136
	(1)	(357)	(6)	(1)	(105)	(45)	(9)	(6)	(530)
11月	8	664	18	119	79	74	23	23	1,008
	(6)	(305)	(6)	(1)	(55)	(58)	(16)	(8)	(455)
12月	12	790	21	86	127	51	33	23	1,143
	(10)	(391)	(4)	(2)	(94)	(36)	(30)	(3)	(570)
1月	19	936	26	52	155	49	20	11	1,268
	(4)	(455)	(6)	(6)	(104)	(36)	(13)	(1)	(625)
2月	20	683	26	84	87	53	40	23	1,016
	(13)	(339)	(7)	(1)	(50)	(31)	(33)	(4)	(478)
3月	11	714	29	133	75	42	17	26	1,047
	(5)	(336)	(9)	(3)	(58)	(35)	(10)	(-)	(456)
合計	153	8,881	351	1,010	1,203	732	305	377	13,012
	(56)	(4,145)	(92)	(24)	(864)	(503)	(217)	(59)	(5,960)

※下段（　）内は携帯電話からの受付で内数

2　システム主要機器

機　器　名		数量	概　略　仕　様
通信指令課	自動出動指定装置 地図検索装置 支援情報表示装置	4席	Ⅱ型　4席8扱い者
	音声合成装置	1式	
	指令電送装置	1式	
	指令制御装置・非常用指令設備	1式	
	車両運用表示盤	1式	75インチモニター
	支援情報表示盤	1式	75インチモニター
	多目的情報表示盤	4式	75インチモニター3式 43インチモニター1式
	災害情報表示盤	3式	43インチモニター
	無線統制台	7台	活動波2台・共通波5台
	気象情報収集装置	1式	栃木署・藤岡分署（藤岡分署は風向風速のみ）
	災害状況等自動案内装置	1式	
	順次指令装置	1式	
	統合型位置情報通知装置	1式	固定・携帯・IP位置情報の取得
	指揮支援システム	1式	車両型1式、ウェアラブル型8式 ドローン型2式
	防災情報システム	1式	防災情報サーバー1式 防災情報端末3台、プリンター3台
	長時間録音装置	1台	
	Live119映像通報システム	1式	
	聴覚障がい者用メール119	1式	
	聴覚障がい者用ＦＡＸ119	1式	
	Net119緊急通報システム	1式	
本部・署・分署等	署所端末装置	6式	署、各分署1式
	署所端末用受令機	5式	各分署1式
	指令情報出力装置	6式	署、各分署1式
	監視カメラ	18式	本部・署6式、各分署2式 晃石山無線基地局2式
	駆け付け通報装置	6式	署・各分署1式
	車両運用表示盤	6式	50インチモニター、各分署1式
	多目的情報表示盤	1式	50インチモニター、署1式

3　無線機台数

所　　属	種別	所有台数	周波数内訳		
			活動波	共通波	簡易多重
消防本部	基　地　局	1	2	－	－
	固　定　局	2	－	－	2
	陸上移動局	5	2	4	－
栃木市消防署	陸上移動局	40	2	4	－
大平分署	陸上移動局	13	2	4	－
藤岡分署	陸上移動局	13	2	4	－
都賀分署	陸上移動局	12	2	4	－
西方分署	陸上移動局	12	2	4	－
岩舟分署	陸上移動局	12	2	4	－

4　気象関係

月 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
平均気温（℃）	16.3	19.3	23.1	28.1	28.6	26.0	19.5	12.3	5.3	4.4	4.2	9.1
最高気温（℃）	29.1	30.6	35.7	38.4	38.6	36.1	31.1	24.2	17.2	14.1	16.5	24.5
最低気温（℃）	3.9	7.3	14.7	21.3	23.4	16.3	8.0	0.9	-4.4	-4.4	-5.6	-2.1
降水量（㎜）	68.0	132.0	168.0	83.0	308.0	153.5	103.5	59.5	0.0	16.0	1.5	80.5
1日最高 降水量（㎜）	38.0	44.5	34.5	30.0	59.5	56.0	29.0	35.0	0.0	15.5	1.5	22.0
1時間最高 降水量（㎜）	9.5	9.5	19.5	26.5	43.0	47.0	7.0	6.0	0.0	5.5	1.0	6.0
降水日数（日）	8	13	11	13	15	14	12	6	0	2	1	11
平均風速（m）	1.1	1.9	2.0	1.8	2.0	1.8	1.6	1.7	2.0	2.1	2.9	2.1
最大瞬間風速（m）	15.9	14.6	11.1	18.2	18.7	11.4	10.5	14.2	19.0	17.1	22.1	18.8

（観測地点：栃木市消防本部）

第５節　消防署

〔総括概要〕

消防署は、栃木市消防署、大平分署、藤岡分署、都賀分署、西方分署、岩舟分署の1署5分署が配置されており、主な分掌事務は、火災・救急・救助及びその他の災害の防ぎょ活動で、市民の安全安心な暮らしの確保のため、計151人の職員が2交替制で24時間365日の勤務にあたった。

災害出動件数については、火災出動 160 件、救急出動 8,470 件、救助出動 151 件、その他の災害出動 1,374 件であった。特に救急出動は、前年度との比較では 287 件増加し、前々年度との比較では 1,203 件と急激に増加した。また火災出動では、岩手県大船渡市で発生した林野火災に、緊急消防援助隊として、第 1 次隊から第 6 次隊まで計 48 名の職員が出動し、12 日間の活動を実施した。

災害以外では、消防訓練や応急手当講習会への職員派遣、小学生等を対象にした消防庁舎見学の受入れ、火災予防条例に基づく届出の受付、防火対象物の立入検査を実施した。更に、車両で市内を巡回し、火災予防及び熱中症予防の広報活動を実施した。

消防係

1　火災出動件数　（単位：件）

種別＼署別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合　計
建　物	25	13	1	4	5	5	53
林　野	2	1	1	－	－	2	6
車　両	4	2	3	2	－	2	13
その他	33	11	16	8	4	16	88
合　計	64	27	21	14	9	25	160

2　その他の事故関係

(1)　その他の出動件数　（単位：件）

区　分	内　訳	活動内容	件数
危険排除	流　出	事故等により、危険物が流出し、緊急を要するもの	75
	倒　木	道路等への倒木の排除	1
	そ の 他	上記に掲げる以外の活動	2
特別危険排除	N 災 害	核臨界事故等の核汚染による災害	－
	B 災 害	炭そ菌等の生物汚染による災害	－
	C 災 害	サリン等の化学物質汚染による災害	－

	ガス臭	明らかにＬＰＧ臭とわかるもの	－
	異　臭	その他の異臭	－
緊急確認	ベル鳴動	自火報、住警器の異常発報で出動したもの	150
	焚　火	火災、怪煙等の通報で緊急出動したが焚火だったもの	27
	誤　報	火災、怪煙等の通報で緊急出動し、事実が無かったもの	40
	その他	上記に掲げる以外の活動	9
調　査	焚　火	緊急性を要しない焚火指導	27
	落　雷	緊急性を要しない落雷調査	2
	電線のショート	送電線の火花	4
	異　臭	種類の判らない異臭	1
	流　出	河川への油膜等の浮遊による調査	－
	その他	上記に掲げる以外の活動	9
水防活動	工　法	水防工法活動を行ったもの	－
	巡　回	河川増水等の巡回広報活動等を行ったもの	14
支　援（ＰＡ連携等）	救急支援	主に救急活動の支援を行ったもの	598
	高速支援	高速道路に出動した救急支援活動	32
	搬出支援	主に傷病者の搬出活動を行ったもの	195
	航空支援	防災ヘリ、ドクターヘリ要請に伴う出動	73
	直近支援	直近救急隊出動時に消防隊が出動したもの	67
その他	施　錠	屋内、車両等の施錠	1
	捜　索	行方不明者又は、救急現場等が不明確な場合の捜索活動	3
	動物等	人以外の救出活動等	2
	怪煙等	雲、水蒸気等を煙と錯覚したもの	－
	悪　戯	事実がなく、明らかに通報が悪戯ととれるもの	1
	誤　報	事実のないもの	30
	無人航空機	無人航空機（ドローンによる活動を行ったもの）	6
	その他	上記に掲げる以外の活動	5
合　計			1,374

(2)　署別その他の出動件数　　（単位：件）

区分	内　訳	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合　計
危険排除	流　出	32	12	1	7	3	20	75
	倒　木	1	－	－	－	－	－	1
	その他	－	－	－	1	－	1	2

特別	N 災 害	－	－	－	－	－	－	－
危険排除	B 災 害	－	－	－	－	－	－	－
	C 災 害	－	－	－	－	－	－	－
	ガ ス 臭	－	－	－	－	－	－	－
	異　　臭	－	－	－	－	－	－	－
緊急確認	ベル鳴動	58	33	3	18	24	14	150
	焚　　火	9	10	4	－	1	3	27
	誤　　報	15	14	5	1	1	4	40
	そ の 他	3	3	1	－	－	2	9
調査	焚　　火	8	6	1	5	－	7	27
	落　　雷	2	－	－	－	－	－	2
	電線のショート	1	1	2	－	－	－	4
	異　　臭	1	－	－	－	－	－	1
	流　　出	－	－	－	－	－	－	－
	そ の 他	6	1	－	1	－	1	9
水防	工　　法	－	－	－	－	－	－	－
	巡　　回	5	2	2	2	2	1	14
支援（PA連携等）	救急支援	319	111	61	12	17	78	598
	高速支援	18	1	－	6	7	－	32
	搬出支援	137	25	10	3	1	19	195
	航空支援	20	15	10	2	2	24	73
	直近支援	31	14	8	1	－	13	67
その他	施　　錠	－	－	1	－	－	－	1
	捜　　索	1	－	1	－	－	1	3
	動 物 等	1	－	1	－	－	－	2
	怪 煙 等	－	－	－	－	－	－	－
	悪　　戯	－	1	－	－	－	－	1
	誤　　報	12	6	8	2	1	1	30
	無人航空機	6	－	－	－	－	－	6
	そ の 他	4	－	－	－	1	－	5

合　　計	1,374

(2)署別その他の出動件数は、1件の災害に複数の署所が出動したケースあり。

救助係

1　救助事故関係

(1)　事故種別救助出動、活動件数及び救助人員

種別／件数及び人員	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械事故	建物事故	ガス酸欠	破裂事故	その他	合計
出動件数(件)	36	48	1	－	3	38	1	－	24	151
活動件数(件)	2	20	-	－	1	29	－	－	15	67
救助人員(人)	－	22	-	－	1	10	－	－	12	45

(2)　地域別救助出動、活動件数　　(単位：件)

地域／件数	栃木地域	大平地域	藤岡地域	都賀地域	西方地域	岩舟地域	管　外	合計
出動件数	71	28	12	11	5	23	1	151
活動件数	31	9	6	8	3	10	0	67

活動件数とは、出動した件数の中で実際に救助活動を行った件数

指導係

1　火災予防条例に基づく届出の受付状況　　(単位：件)

署別／条例別	栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合計
露店等の開設届出書	108	12	8	5	8	37	178
消防訓練実施計画書	553	141	82	92	63	129	1,060
火災とまぎらわしい煙または、火煙を発するおそれのある行為の届出書	29	32	24	6	8	39	138
煙火の届出書	18	1	6	19	1	27	72
催物開催届出書	4	2	2	4	2	－	14
水素ガスを充てんする気球の設置届	－	－	－	－	－	－	－
合　　計	712	188	122	126	82	232	1,462

2　予防査察の実施状況

防火対象物　　（単位：件）

用途別 ＼ 署別			栃木市消防署	大平分署	藤岡分署	都賀分署	西方分署	岩舟分署	合計
1	イ	劇場等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	公会堂等	－	－	－	－	1	－	1
2	イ	キャバレー等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	遊技場等	－	1	－	－	－	－	1
	ハ	性風俗施設等	－	－	－	－	－	－	－
	ニ	カラオケボックス等	1	－	－	－	－	－	1
3	イ	料理店等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	飲食店	4	－	－	1	1	1	7
4		物品販売店舗等	12	－	－	1	1	1	15
5	イ	旅館・ホテル等	－	－	－	－	－	1	1
	ロ	共同住宅等	－	－	－	－	－	－	－
6	イ	病院等	－	5	－	－	－	－	5
	ロ	老人短期入所施設等	4	1	－	2	－	－	7
	ハ	老人デイサービスセンター等	1	4	－	－	2	－	7
	ニ	幼稚園・特別支援学校	1	－	－	－	－	－	1
7		学校	－	1	－	－	3	－	4
8		図書館等	1	－	－	－	－	－	1
9	イ	特殊浴場	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	公衆浴場	－	－	－	－	－	－	－
10		停車場等	－	－	－	－	－	－	－
11		神社・寺院等	－	1	2	－	－	－	3
12	イ	工場・作業場	1	－	10	2	3	－	16
	ロ	スタジオ	－	－	－	－	－	－	－
13	イ	駐車場等	－	－	－	－	－	－	－
	ロ	航空機格納庫	－	－	－	－	－	－	－
14		倉庫	－	－	－	－	2	6	8
15		事務所等	1	－	2	5	3	4	15
16	イ	特定複合用途	－	－	－	－	－	1	1
	ロ	非特定複合用途	－	－	－	1	－	－	1
17		文化財	－	－	－	－	1	4	5
合計			26	13	14	12	17	18	100

救急係

1　署別・月別救急活動状況

署別＼月別	栃木市消防署 出動件数（件）	栃木市消防署 搬送人員（人）	大平分署 出動件数（件）	大平分署 搬送人員（人）	藤岡分署 出動件数（件）	藤岡分署 搬送人員（人）	都賀分署 出動件数（件）	都賀分署 搬送人員（人）	西方分署 出動件数（件）	西方分署 搬送人員（人）	岩舟分署 出動件数（件）	岩舟分署 搬送人員（人）	合計 出動件数（件）	合計 搬送人員（人）
4月	278	245	127	112	47	42	42	37	44	42	73	67	611	545
5月	285	256	114	106	55	38	37	34	39	38	70	64	600	536
6月	301	267	112	99	47	38	37	34	38	34	78	74	613	546
7月	371	316	155	138	80	64	54	42	53	48	108	98	821	706
8月	347	295	142	125	63	48	48	41	45	42	94	85	739	636
9月	312	276	128	111	58	43	44	39	49	46	77	69	668	584
10月	324	288	123	103	57	41	47	45	51	49	86	76	688	602
11月	287	259	133	112	57	43	47	46	44	41	80	70	648	571
12月	349	306	146	122	67	50	67	63	56	49	112	92	797	682
1月	424	357	165	137	85	69	66	66	77	66	117	100	934	795
2月	307	271	140	111	51	48	43	37	51	44	86	80	678	591
3月	319	291	136	106	45	37	49	42	40	37	84	78	673	591
合計	3,904	3,427	1,621	1,382	712	561	581	526	587	536	1,065	953	8,470	7,385

2　地域別・事故種別救急活動状況

地域別＼事故種別	栃木地域 出動件数（件）	栃木地域 搬送人員（人）	大平地域 出動件数（件）	大平地域 搬送人員（人）	藤岡地域 出動件数（件）	藤岡地域 搬送人員（人）	都賀地域 出動件数（件）	都賀地域 搬送人員（人）	西方地域 出動件数（件）	西方地域 搬送人員（人）	岩舟地域 出動件数（件）	岩舟地域 搬送人員（人）	管外 出動件数（件）	管外 搬送人員（人）
火災	18	2	7	0	5	0	3	0	1	0	9	3	－	－
自然災害	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
水難	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
交通事故	259	245	96	96	39	32	56	52	24	24	76	66	5	4
労働災害	35	34	15	15	14	13	4	4	4	3	8	8	－	－
運動競技	24	23	6	6	3	3	－	－	1	1	3	3	1	0
一般負傷	567	526	173	151	107	99	83	82	48	47	112	101	－	－
加害	14	12	6	2	1	0	3	2	2	1	5	2	－	－

自損行為	31	22	9	6	6	2	5	3	10	8	13	12	－	－
急　　病	2,893	2,535	989	846	564	458	440	403	187	170	634	554	1	0
そ の 他	313	235	378	352	36	20	20	16	64	52	40	29	－	－
合　　計	4,154	3,634	1,679	1,474	775	627	614	562	341	306	900	778	7	4

3　事故種別・月別救急活動状況　　（単位：件）

区分 ＼ 月別	出動件数	救急事故種別										
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
4月	611	2	－	－	56	4	3	80	2	5	393	66
5月	600	3	－	－	41	6	3	75	1	12	387	72
6月	613	3	－	－	42	4	4	82	3	5	418	52
7月	821	4	－	－	44	8	4	88	2	2	584	85
8月	739	3	－	－	59	6	4	77	－	6	515	69
9月	668	1	－	－	51	6	7	87	1	4	443	68
10月	688	1	－	－	48	10	2	116	5	7	424	75
11月	648	4	－	－	47	6	6	91	2	5	408	79
12月	797	6	－	－	49	7	－	99	4	7	558	67
1月	934	4	－	－	34	7	－	112	4	8	677	88
2月	678	6	－	－	45	10	－	95	5	11	443	63
3月	673	6	－	－	39	6	5	89	2	2	457	67
合計	8,470	43	－	－	555	80	38	1,091	31	74	5,707	851

4　事故種別・曜日別搬送人員状況　　（単位：人）

事故種別 ＼ 曜日	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月	1	－	－	82	10	4	147	3	14	798	104	1,163
火	1	－	－	61	11	5	133	1	8	703	109	1,032
水	1	－	－	64	10	1	133	3	5	692	108	1,017
木	－	－	－	66	16	1	149	－	8	661	111	1,012

金	－	－	－	73	18	3	135	2	9	715	143	1,098
土	1	－	－	81	8	10	146	1	4	696	89	1,036
日	1	－	－	92	4	12	162	9	5	702	40	1,027
合計	5	－	－	519	77	36	1,005	19	53	4,967	704	7,385

5　月別高速道路救急活動状況

区分＼月別	東北縦貫自動車道						北関東自動車道						合　計	
	交通事故				その他		交通事故				その他			
	上　り		下　り				東行き		西行き					
	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）	出動件数（件）	搬送人員（人）
4月	4	7	－	－	2	1	1	1	－	－	－	－	7	9
5月	－	－	1	1	2	1	－	－	－	－	－	－	3	2
6月	1	1	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	2	2
7月	－	－	－	－	1	0	－	－	1	1	－	－	2	1
8月	4	1	3	6	1	1	－	－	－	－	－	－	8	8
9月	1	1	1	1	3	2	－	－	－	－	－	－	5	4
10月	2	4	－	－	2	2	－	－	1	1	－	－	5	7
11月	3	4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	3	4
12月	－	－	－	－	2	2	－	－	6	5	1	0	9	7
1月	2	1	－	－	1	1	1	0	－	－	－	－	4	2
2月	－	－	2	4	－	－	－	－	－	－	－	－	2	4
3月	－	－	－	－	1	1	－	－	－	－	－	－	1	1
合計	17	19	7	12	16	12	2	1	8	7	1	0	51	51

6　事故種別・年齢別・程度別搬送人員状況　　（単位：人）

年齢程度＼事故種別			火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
新生児	生後28日未	死	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		重	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1
		中	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	17	17
		軽	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	1	2
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

	満	計	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	19	20
乳幼児	28日から6歳	死	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		重	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1	－	2
		中	－	－	－	1	－	－	4	－	－	31	5	41
		軽	－	－	－	12	－	－	34	－	－	154	2	202
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	－	13	－	－	39	－	－	186	7	245
少年	7歳から17歳	死	－	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	1
		重	－	－	－	1	－	－	－	－	1	3	－	5
		中	－	－	－	5	－	3	7	－	5	24	4	48
		軽	－	－	－	37	－	22	13	1	4	79	5	161
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	－	－	－	43	－	25	20	1	11	106	9	215
成人	18歳から64歳	死	－	－	－	－	1	－	1	－	2	22	－	26
		重	－	－	－	10	3	1	3	－	7	96	29	149
		中	－	－	－	50	14	2	37	2	14	436	114	669
		軽	1	－	－	244	37	6	112	13	9	676	15	1,113
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	1	－	－	304	55	9	153	15	32	1,230	158	1,957
老人	65歳以上	死	1	－	－	3	－	－	6	－	3	102	－	115
		重	2	－	－	8	5	－	38	－	2	358	110	523
		中	1	－	－	50	8	－	388	1	3	1,971	377	2,799
		軽	－	－	－	98	9	2	362	2	2	1,012	24	1,511
		他	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
		計	4	－	－	159	22	2	794	3	10	3,443	511	4,948

※程度（死重中軽他）について

略語の意味　　内容説明（初診医による重症度評価より）

① 死は死亡を示す　：初診時において、死亡が確認されたもの

② 重は重症を示す　：傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの

③ 中は中等症を示す：傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの

④ 軽は軽症を示す　：傷病の程度が入院を必要としないもの

⑤ 他はその他を示す：医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

第１３章　教育委員会事務局

第１節　教育総務課

〔総括概要〕

教育総務課の主な分掌事務は、教育委員会の総合的な企画調整、教育委員会の会議、奨学金制度の運用、教育計画の進行管理、小中学校の適正配置などである。

教育委員会の会議については、定例会及び臨時会を開催するとともに、学校訪問を実施し、市内小中学校の状況把握に努めた。また、教育委員会の活動を広く市民に周知することを目的に､｢栃木市教育委員会だより｣を年2回発行し全戸配布した。

奨学金制度については、貸与型の「ゆめ応援奨学金」及び定住促進を目的として要件を満たすことで返還を免除する「住まいる奨学金」のほか、給付型の「とちぎ吾一奨学金」を運用した。

学校適正配置については、将来の学校の在り方を見据えた「栃木市立小中学校適正配置基本構想」に基づき、本市の学校適正規模の基準に満たない小中学校において、統合の合意形成が図られた地域で統合を進めた。

令和４年度においては、皆川中学校・吹上中学校・寺尾中学校の合同地元代表協議会を設置し、統合を進めることの合意形成が為された。令和５年度には、統合準備会を設立し、統合の時期を令和８年４月１日とすることに決定。教育委員会、庁議を経て、統合中学校名を栃木北中学校とし、学校設置条例の一部改正を行った。令和６年度は、統合準備会及び作業部会において、校章、制服、校歌制作者が決定した。

また、学校現場の業務適正化については、多忙化が進む学校現場において、教職員が子どもと向き合う時間を確保することを目的に策定した「栃木市版　先生の働き方改革ガイドライン」の具体的な取組として、留守番電話による時間外電話対応やタイムレコーダーによる出退勤管理を行った。

教育計画については、計画的かつ効果的な教育行政を推進するため、令和５年度からの第３期栃木市教育計画を策定し、教育計画の進行管理を行っている。

教育総務係

1　教育委員会規則等の制定、改廃件数　10件

2　教育委員会の開催状況

開催日	定例会 臨時会 の別	付議件数（件）			備　考
		議案	協議	報告	
4月26日(金)	定　例　会	6	－	1	
5月24日(金)	定　例　会	10	3	1	

6月24日(月)	定　例　会	1	1	2	
7月22日(月)	定　例　会	3	－	－	
8月26日(月)	定　例　会	3	－	3	
8月30日(金)	臨　時　会	1	2	－	
9月27日(金)	定　例　会	6	-	1	請願1
10月25日(金)	定　例　会	－	2	－	
11月25日(月)	定　例　会	2	1	1	
12月23日(月)	定　例　会	1	1	－	
1月27日(月)	定　例　会	2	－	－	
2月25日(火)	定　例　会	2	1	－	
3月10日(月)	臨　時　会	－	4	－	
3月28日(金)	定　例　会	1	－	－	

3　教育委員会の構成

職名	氏名	性別	就任年月日 任期満了日	備考
教育長	青　木　千津子	女	平成30年6月11日 令和 9年6月10日	平成30年6月11日 教育長に就任
教育長職務代理者	後　藤　正　人	男	平成22年5月19日 令和 8年5月18日	平成30年6月11日 職務代理者に就任
委員	福　島　鉄　典	男	平成22年5月19日 令和 7年5月18日	
〃	西　脇　はるみ	女	平成28年5月19日 令和10年5月18日	
〃	大　塚　裕　子	女	令和 5年5月19日 令和 9年5月18日	
〃	舘　野　知　美	女	令和元年11月25日 令和 9年11月24日	
〃	林　　慶　仁	男	平成26年5月19日 令和 7年5月18日	

4　要保護及び準要保護児童生徒就学援助事業

経済的理由により就学困難な児童生徒に対し学用品費等を支給し、小学校及び中学校における義務教育の円滑な実施を図った。また、就学援助費目の新入学児童生徒学用品費については、入学する年度の開始前である3月に支給を行った。

	対象者 (人)	支給額 (円)
小学校	542	37,437,839

中学校	343	36,086,536
合計	885	73,524,375

5　特別支援教育就学奨励費補助事業

市立小中学校の特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、必要な学用品費等の支給を行った。

	対象者（人）	支給額（円）
小学校	156	4,601,904
中学校	82	4,457,122
合計	238	9,059,026

6　遠距離通学児童生徒援助事業

遠距離通学児童生徒通学費補助金の交付状況

小学校　4㎞以上　　中学校　6㎞以上

	対象者（人）	支給額（円）
都賀中	2	8,000
西方中	3	12,000
合計	5	20,000

7　栃木市奨学金の貸与・給付

経済的理由により修学が困難な方で、高等学校、高等専門学校、専修学校高等課程・専門課程、短期大学、大学の入学予定者及び在学者に対し、貸与型奨学金として「ゆめ応援奨学金」事業を実施した。

同様に、経済的理由により修学が困難な方で、高等専門学校（第４学年以上及び専攻科）、専修学校専門課程、短期大学、大学の入学予定者及び在学者に対し、卒業後１年以内に本市に居住し、引続き５年間居住した時点で奨学金の返還を免除する定住促進奨学金として「住まいる奨学金」事業を実施した。

また、経済的理由により就学が困難な方で、市内の高等学校・特別支援学校の校長の推薦を受けた学生に、給付型奨学金として「とちぎ吾一奨学金」を給付した。

(1)　奨学金月額

	区　　分		月額（円）
貸与型奨学金 （ゆめ応援奨学金）	高等学校・高等専門学校・専修学校高等課程		12,000
	高等専門学校専攻科 専修学校専門課程 短期大学 大学	自宅通学	30,000
		自宅外通学	40,000

定住促進奨学金 （住まいる奨学金）	高等専門学校専攻科 専修学校専門課程 短期大学 大学		20,000
給付型奨学金 （とちぎ吾一奨学金）	高等専門学校専攻科 専修学校専門課程 短期大学 大学		30,000

(2)　奨学金の貸付状況　　（単位：人）

	区　分	1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年	合計
貸与型 奨学金	高等学校	－	－	－				－
	高専	－	－	－	－	－		－
	専門学校	－	－	－	－			－
	短期大学	－	－					－
	大学	1	－	－	1	－	－	2
	合計	1	－	－	1	－	－	2
定住促進 奨学金	高専	－	－	－	－	－		－
	専門学校	－	4	－	1			5
	短期大学	－	1					1
	大学	7	4	5	6	－	－	22
	合計	7	9	5	7	－	－	28
給付型 奨学金	高専	－	－	－	－	－		－
	専門学校	－	－	－	－			－
	短期大学	－	－					－
	大学	4	1	1	－	－	－	6
	合計	4	1	1	－	－	－	6

(3)　栃木市奨学基金の状況（単位：円）

基金額	130,888,868
貸付金額	68,336,500
現金額	62,552,368

(4)　栃木市篤志奨学基金の状況（単位：円）

基金額	27,903,612

8　叙位・叙勲の申請・伝達等

教育職員に関する叙位叙勲の申請、伝達等を行った。

・叙位　4件　・叙勲　7件

教育政策係

1　教育委員会点検評価の実施

本市名誉市民である山本有三の遺した言葉や精神を「生命尊重・人権尊重」や「絆」に繋がるものとして教育振興の中核に据え、本市教育の在り方を示す「第3期栃木市教育計画」に基づく令和6年度の各種事業の取組状況等について、学識経験者をはじめ各分野から選出された点検評価委員による助言や意見をもとに、教育委員会としての点検評価を実施し、8月30日の議会への報告を経て、ホームページ上で公開した。

2　栃木市教育委員会だよりの発行

教育委員会としての役割を明確にし、教育委員会の会議や活動内容等を広く市民に広報するため、「栃木市教育委員会だより」を2回発行し、全戸配布を行った。

	「栃木市教育委員会だより」
発行	広報とちぎ折込（9月、3月号）
形式	A4判
発行部数	各52,100部（全戸配布）

3　学校適正配置の推進

栃木市独自の学校適正規模の基準を定めた「栃木市立小中学校適正配置基本方針」に基づき、学区審議会の答申を基に、平成31年1月に「栃木市小中学校適正配置基本構想」を策定した。

学校適正規模の基準に満たない小中学校について、統合の合意形成が図られた地域のうち、藤岡地域と岩舟地域（小野寺地区）を対象に統合準備会を設置し、統合校開校に向けて統合時期や校歌、制服等について協議した。協議結果を踏まえ、令和2年4月1日小野寺小学校が開校し、令和4年4月1日に藤岡中学校が開校した。

令和4年度においては、皆川中学校・吹上中学校・寺尾中学校の合同地元代表協議会を設置し、統合を進めることの合意形成が為された。令和5年5月には、統合準備会を設立し、統合の時期を令和8年4月1日とすることに決定。7月には、中学校区ごとに保護者と地域への説明会を実施するとともに学校名の募集を行い、第2回の統合準備会において校名候補を2点に絞り、教育委員会、庁議を経て、統合中学校名を栃木北中学校とし、令和5年12月議会において、学校設置条例の一部改正を行った。令和6年度は、統合準備会及び作業部会において、校章、制服、校歌制作者が決定した。

小規模特認校については､大宮南小学校､国府南小学校の2校に制度を適用している。ただし、国府南小学校は毎年、小規模特認校制度の成果検証を行い、制度の継続及び統廃合について協議する。

4　学校運営協議会制度の推進

制度導入8年目となるが、保護者や地域住民の学校運営への参画が更に促され、各学

校の特色を生かした‘地域とともにある学校づくり’が積極的に展開された。

また、市内の 10 地域で設置されている「とちぎ未来アシストネット地域教育協議会」と中学校区で行われる「合同学校運営協議会」の連携が図られ、‘地域ぐるみで支える義務教育 9 年間の学び’「小中一貫コミュニティ・スクール」の充実が図られた。

5　学校現場の業務適正化の推進

学校現場の業務適正化の推進については、これまでの取組や勤務実態・意識調査の結果を踏まえ、令和 5 年 4 月に改訂した「栃木市版 先生の働き方改革ガイドライン」に基づき取り組んでいる。

校長会、教頭会、教務主任会、学校事務研究会、学校運営協議会の代表者で構成する働き方改革プロジェクトチーム会議では、業務改善等の推進における PDCA サイクルの支援や学校、家庭、地域への広報・啓発の推進に取り組んでいる。

また、教職員の時間外勤務実態を客観的に把握する手段として、市内全小中学校にタイムレコーダーを設置している。更に、学校事務の標準化により安定した事務処理が行えるよう、共同学校事務室を市内 7 か所に設置している。

過労死ラインを超える教職員の割合については、令和 6 年は 4.6%であり、昨年度との比較において大きな変化は見られなかったが、人数は、2 名減となった。

6　運動部活動の地域移行の推進

適切なスポーツ環境の確保と教員の負担軽減を図ることを目的として、休日における部活動の地域移行については、地域や学校の実情に応じて段階的に推進することとした。

令和 4 年 12 月に設置した「栃木市運動部活動の地域移行検討会議」での協議により、令和 5 年度に中学校 2 校 4 部活において実証事業を実施する方向付けがなされた。また、国の補助事業である「地域スポーツクラブ活動体制整備事業」の指定を受け、令和 5 年度は、国指定の実証事業を実施することとなった。

実証事業については、新チームとなる 9 月から実践研究を実施した。2 校 4 部活の休日における活動に、運営団体である 2 つの総合型地域スポーツクラブ所属の地域指導者を派遣した。指導に当たっては、平日と休日の一貫した指導体制の構築のため、顧問と指導者による指導方針や指導方法のすり合わせ等の連携を図った。また、クラブコーディネーターにより、顧問と指導者の円滑なコミュニケーションを支援した。

また、令和 5 年度は、本市「部活動の地域移行」の方向性や目標等を示した基本方針を 3 月に策定した。

令和 6 年度は、5 校 9 部活に拡充した実践研究に取り組んだ。また、策定された基本方針のもと、中学校校長、スポーツ団体、保護者及び市職員の代表で構成される推進会議を計 3 回開催し、実証事業の検証・改善及び基本方針で課題となっていた教員等兼職兼業についての運用マニュアルの作成を行った。

第２節　学校教育課

〔総括概要〕

栃木市総合計画「基本方針・3」に基づき、人生の礎となる「生きる力」を身に付けた子どもたちをしっかりと育てることができるよう、各種事務事業を実施し、未来を担う栃木市の子どもが「自分のよさをのびのびと発揮し、自らの意志で自らの人生をいきいきと切り拓く力」（生きる力）を育むことを目指した。

まず、学力向上については、教員の授業力の向上に向けたリーフレット「とち介の学び」をもとに、訪問の要請を受けた小中学校に対して指導助言を行った。3学期には、市内全42小中学校に対して、指導主事による学力向上に係る学校訪問を実施し、校長と学習指導主任から各校の成果と課題を確認した。また、学力向上推進研究校として西方ブロックの小中学校を指定し、2か年の研究の最終年度として、「学び合う力を高める学習指導の在り方」を目指した研究を推進し、その成果を普及することにより、各校の学力向上に向けた取組の充実に資するため、公開研究発表会を実施した。

更に、ＧＩＧＡスクール構想により、令和3年度に児童生徒一人につき一台のタブレット端末が市内全校に配備され、本年度においても、各校において、授業等での端末の活用が一層進んだ。

小中一貫教育については、「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、市内13の中学校ブロックで、小中合同研修会や推進委員会、合同学校運営協議会を開催し、地域ぐるみでの小中一貫教育を推進した。

人権教育については、令和6･7年度の2か年、栃木南ブロックを人権教育実践研究校に指定し、「認め合おう 自分と仲間の 輝く未来のために～差別を自分事として捉え、その解消を目指す児童生徒の育成～」を目指した研究を推進した。

道徳教育については、栃木東ブロックの小中学校を道徳教育推進研究校に指定し、2か年の研究の最終年度として、「思いやりの心をもち、互いに助け合い協力し合う児童生徒の育成～考え、議論する道徳科の授業の充実を通して～」を目指した研究を推進し、その成果を普及することにより、各校における道徳教育の充実に資するため、公開研究発表会を実施した。

グローバル教育については、小学校では、1つの学校に複数の外国語指導助手（ＡＬＴ）が一日訪問し、全児童が英語によるコミュニケーション活動を体験する「グローバルデー」を4校で実施、中学校では、市内の全生徒がＡＬＴと1対1でコミュニケーションを体験する「コミュニケーションチャレンジ」を実施した。更に、グローバル教育プログラム実践研究校として令和5･6年度の2か年、栃木西ブロックの小中学校を指定し、多面的・多角的な視点から物事を捉え、考えを伝え合う力の育成を目指した実践を進め公開研究発表会を実施するなど、本市グローバル教育の基本理念「多様な他者と協働して課題を解決できる児童生徒の育成」の具現化に向けた実践と研究を推進した。

いじめ対策の取組としては、いじめ問題に対する児童生徒の主体的な行動を推進

することを目的とし「“あったか栃木”いじめ防止子どもフォーラム」をオンラインで開催した。

ＩＣＴ教育環境の整備では、ＧＩＧＡスクール構想により導入したタブレット端末等の情報通信機器の保守管理、教育用コンピュータ賃貸借の更新等を行い、ＩＣＴ教育環境の向上に努めた。

学務係

1　学務に関する事業

(1)　児童生徒の就学に関する事務

小中学校児童生徒就学状況　（単位：人）

区　分	小学校		中学校	
	児童数	学級数	生徒数	学級数
令和5年5月1日	7,080	337	3,743	153
令和6年5月1日	6,905	338	3,684	151
比　較	-175	1	-59	-2

(2)　教科書無償給与事務

小中学校児童・生徒教科書給与事務　（単位：冊）

区　分		冊　数
小学校	前期用	62,224
	前期転学用	347
	後期用	12,483
	後期転学用	347
中学校	前期用	35,310
	前期転学用	85
	後期用	-
	後期転学用	79
合　計		110,875

(3)　教師用教科書及び指導書等購入貸与事務

小中学校の教師用教科書及び指導書等を購入し貸与した。

区　分	冊数（冊）	費用（円）
教師用教科書　前後期用	4,336	1,891,453
教師用指導書等（デジタル教材含む） 前後期用	3,049	106,518,896
合　計	7,385	108,410,349

(4)　臨海自然教室実施事業

とちぎ海浜自然の家での集団宿泊生活を通じて学校教育活動を行う、臨海自然教室を実施する事業である。令和6年度は市内25校で実施した。

（4校は隔年実施のため本年度未実施）

(5)　特色ある学校づくり奨励補助金事業

学校独自の「特色ある学校づくり」を推進することを目的として、学校が実施する特色ある教育活動に要する経費に対し、補助金を交付した。

・市内38の小中学校で実施、交付金額1,500,000円

教職員係

1　教職員に関する事業

(1)　教職員の人事事務(県費負担職員)

年度末における完退者及び定期異動に伴う転退者、転採者、転勤者あるいは新採者について、それに関する書類作成、辞令交付式の開催、また、年度途中における産育休者、傷休者等についてその休暇承認や補充者採用の内申等を行った。

(のべ人数　単位：人)

完退者	転退者	転勤者	転採者	新採者
135	52	170	48	36
傷休者	休職者	介休者	産休者	育休者
23	12	0	22	51

(2)　教職員の服務・管理に関する事務(県費負担職員)

・年度末教職員人事異動に伴う学校管理事務説明会
・人事異動に伴う事務
・学級編制に関する事務
・学校事故に関する事務
・各種選考試験に関する事務
・教職員評価制度に関する事務
・表彰に関する事務
・公務災害に関する事務
・教員免許制度に関する事務
・教職員の履歴に関する事務

(3)　教職員の給与内申発令関係事務

教職員の昇給の時期は、4月1日であり、その約1か月前に届いた定期昇給昇格内申書の内容について昇給予定者の記載漏れはないか、昇給延伸該当者で昇給として記載されている者はいないか等の点検を行った後、県教育委員会に内申を行った。

(4)　教職員団体に関する事務

地方公務員法及び職員団体の登録に関する条例・規則に基づいた教職員団体に関する事務を行った。

指導係

1　指導に関する事業

(1)　学校訪問指導

学校運営、学習指導、児童生徒指導、人権教育等に関して指導した。

ア　共同訪問

栃木中央小、吹上小、三鴨小、家中小、岩舟小、栃木南中、吹上中

イ　研究学校

(ｱ)　市指定人権教育実践校

・栃木第四小、南小、栃木南中

(ｲ)　市指定学力向上推進研究校

・西方小、真名子小、西方中

(ｳ)　市指定道徳教育推進研究校

・栃木第三小、栃木東中

(ｴ)　市指定グローバル教育プログラム実践研究校

・栃木中央小、栃木第五小、栃木西中

ウ　学校訪問実施状況

No	学校名	教科等	期日		備考
1	栃木中央小	教科等（5授業）	6月21日	金	共同訪問
2	栃木中央小	社会、総合	11月8日	金	グローバル教育プログラム実践研究校公開研
3	栃木第三小	道徳（2授業）	6月6日	木	道徳教育推進研究校
4	栃木第三小	道徳（3授業）	10月31日	木	道徳教育推進研究校公開研
5	栃木第四小	外国語活動	9月25日	水	人権教育実践校
6	栃木第四小	社会	11月13日	水	人権教育実践校
7	栃木第五小	国語、総合	6月24日	月	グローバル教育プログラム実践研究校
8	栃木第五小	総合（2授業）	11月8日	金	グローバル教育プログラム実践研究校公開研
9	南小	外国語	6月13日	木	人権教育実践校
10	大宮南小	講話	5月22日	水	書く力の育成について
11	大宮南小	国語	10月23日	水	
12	大宮北小	講話	6月19日	水	グローバル教育プログラムについて
13	大宮北小	国語、社会	11月20日	水	
14	皆川城東小	講話	7月29日	月	言語意識を取り入れた授業改善について
15	吹上小	算数	6月19日	水	
16	吹上小	教科等（3授業）	10月16日	水	共同訪問
17	千塚小	算数	11月13日	水	

18	寺尾小	講話	8月5日	月	表現力の育成について
19	寺尾小	算数	10月23日	水	
20	国府南小	講話	6月12日	水	効果的な数学的活動について
21	国府南小	算数	11月13日	水	
22	国府北小	講話	8月2日	金	グローバル教育プログラムについて
23	大平東小	講話	5月15日	水	語彙を豊かにするための手立てについて
24	大平東小	国語	9月25日	水	
25	大平南小	国語	6月24日	月	
26	大平南小	国語	10月29日	火	
27	大平西小	国語	9月18日	水	
28	大平西小	社会	10月30日	水	
29	大平中央小	国語（2授業）	7月3日	水	
30	大平中央小	国語	12月9日	月	
31	藤岡小	講話	6月19日	水	総合的な学習の時間について
32	藤岡小	総合（2授業）	11月27日	水	
33	部屋小	国語	7月1日	月	
34	赤麻小	指導案検討	8月26日	月	
35	赤麻小	国語	11月21日	木	
36	三鴨小	教科等（2授業）	9月25日	水	共同訪問
37	三鴨小	算数	10月30日	水	
38	合戦場小	国語	7月3日	水	
39	合戦場小	国語	10月2日	水	
40	家中小	教科等（2授業）	5月29日	水	共同訪問
41	家中小	国語	11月27日	水	
42	赤津小	指導案検討	10月16日	水	
43	赤津小	理科	11月13日	水	
44	西方小	国語	6月25日	火	学力向上推進研究校
45	西方小	国語	11月15日	金	学力向上推進研究校公開研
46	真名子小	算数	6月27日	木	学力向上推進研究校
47	真名子小	算数	11月21日	木	学力向上推進研究校公開研
48	岩舟小	講話	6月21日	金	自分の考えを表現できる児童の育成について
49	岩舟小	国語	9月20日	金	
50	岩舟小	教科等(3授業)	11月27日	水	共同訪問
51	静和小	算数	10月16日	水	
52	小野寺小	社会	9月25日	水	

53	小野寺小	生活	11月6日	水	
54	栃木東中	道徳（2授業）	11月11日	月	道徳教育推進研究校公開研
55	栃木西中	国語、社会、技術・家庭	12月2日	月	グローバル教育プログラム実践研究校公開研
56	栃木南中	教科等（2授業）	6月10日	月	共同訪問
57	東陽中	講話	8月2日	金	道徳教育について
58	皆川中	国語	11月13日	水	
59	吹上中	教科等（2授業）	9月18日	水	共同訪問
60	寺尾中	国語	9月12日	木	
61	寺尾中	保健体育	10月1日	火	
62	大平中	講話	7月3日	水	安心して生活できる学校づくりについて
63	大平中	講話	9月18日	水	評価について
64	藤岡中	理科	10月1日	火	
65	藤岡中	数学	12月3日	火	
66	都賀中	講話	7月30日	火	すくすくシートについて
67	都賀中	学級活動	12月13日	金	
68	西方中	指導案検討	9月20日	金	学力向上推進研究校
69	西方中	国語	11月29日	金	学力向上推進研究校公開研
70	岩舟中	講話	9月25日	水	評価について

・学校課題　【別表】学校課題・研究主題等一覧参照

(2)　教育研究発表会

市内の保育園、認定こども園、小・中・高等・特別支援学校等の教職員を対象に、学校や個人等で取り組んできた教育実践研究の成果を発表して共有し、教職員の資質及び指導力の向上並びに市内の園児・児童・生徒の健全な育成を図ることを目的に行った。

・発表方法　　録画による動画の限定配信（口頭発表）
　　市教育研究所ホームページへの文書データの掲載（紙上発表）
・配信日時　　1月24日（金）午前10時～2月28日（金）
・口頭発表　　12件（小学校3件、中学校1件、高等学校2件、道徳教育推進研究ブロック1件、学力向上推進研究ブロック1件、教育研究所各部会4件）
・紙上発表　　6件（小学校6件）

(3)　人権教育研修

各人権課題に対する人権教育主任としての見識を高め、教職員としての資質向上を図るために小中学校の人権教育主任等を対象に人権教育研修会を開催した。

また、栃木南ブロックの小中学校を人権教育実践校に指定し、人権感覚を磨き、自ら考え判断し、自ら行動する児童生徒の育成を目指した実践的な研究を実施した。

ア　人権教育研修会

・実施日　8月22日（木）
・内　容　講話「同和問題の現状と課題」
　　部落解放同盟栃木県連合会 書記長 戸田 眞 氏
・参加者　各小中学校から1名ずつ

イ　研究指定校(栃木南ブロック：栃木南中、栃木第四小、南小)での取組

(ｱ)　研究授業・授業研究会の実施
・実施日　6月13日（木）南小　外国語
　　9月25日（水）栃木第四小　外国語
　　10月3日（木）栃木南中　英語
　　11月13日（水）栃木第四小　社会
　　11月25日（月）南小　社会

(ｲ)　研究推進委員会と研究企画部会の開催
・小中学校が連携した研究を推進するための会議の実施
　研究推進委員会(校長、教頭、教務主任、研究担当者)
　　実施回数 2回　11月18日(月)、2月18日(火)
　研究企画部会(教務主任、研究担当者)
　　実施回数 3回　7月18日（木）、10月10日（木）、2月6日(木)

(4)　特別支援教育関係事業

特別支援教育に関わる人材を育成し、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた指導法や校内支援体制の整備について学び、資質の向上を図るため、研修会等を開催した。

ア　特別支援教育コーディネーター連絡会議
・実施回数　1回
・対　　象　特別支援教育コーディネーター　参加者42名

イ　児童生徒支援研修会
・実施回数　1回
・対　　象　特別支援教育コーディネーター　児童生徒指導担当　参加者84名

ウ　通級指導教室担当者研修会
・実施回数　1回
・対　　象　通級指導教室担当者　参加者14名

エ　通級指導教室担当者事務連絡会議
・実施回数　1回
・対　　象　通級指導教室担当者　参加者15名

オ　学校支援員等研修会
・実施回数　2回
・対　　象　学校支援員　学校支援員（医療的ケア）　個別指導通級教室支援員
　　参加者65名

カ　特別支援教育研修会
・実施回数　1回
・対　　象　特別支援学級担当者　参加者83名

キ　臨床心理士や学校教育支援専門員による全校巡回訪問支援等

(5)　幼・保・小連絡協議会

栃木市内の保育園、認定こども園及び小学校の連携を図ることにより、幼児・児童の教育効果を一層高めるために、研修会等を計画した。

ア　代表者会議（年2回）

第1回は書面開催、第2回はオンラインにて実施

イ　研修会

実施回数　2回

参加者　保育園・認定こども園・小学校・特別支援学校教職員

第1回（国府公民館）　計67名

第2回（国府公民館）　計62名

ウ　幼保小教職員相互職場体験研修

保育園・認定こども園から小学校へ　21名

小学校から保育園・認定こども園へ　29名

(6)　地域ぐるみ児童生徒指導

児童生徒の健全育成を図るため、学校と家庭、地域が連携し、各中学校区での情報交換や教育講演会の開催、小・中・高の異校種間による合同研修会等を実施した。

ア　13中学校区児童生徒指導連絡協議会等

各中学校区で教育講演会や健全育成推進活動等を展開

・実施期間　6月～2月

イ　栃木市児童生徒指導研究会

異校種間の情報交換や合同研究会を開催

・実施期間　4月～3月

ウ　児童生徒支援研修会

小学校児童指導主任、中学校生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターによる合同研修会を開催

・実施日　8月23日（金）

エ　各部会

部会名	実施回数または実施日
中学校部会	毎月1回
中・高部会	11月18日(月)

(7)　教育支援センターに関する事務

教育支援相談員等が、不登校及び不登校傾向にある児童生徒に対して、学校復帰を含む社会的自立に向けた指導及び支援を行ったほか、保護者に対する教育相談を行った。

・教育支援センター通級人数　45人（学校復帰人数39人）

（単位：件）

来所相談	2,226
電話相談	920

学校訪問	38
家庭訪問	0
合　　計	3,184

(8)　スクールソーシャルワーカー配置事業

社会福祉の専門的な知識技術を有するスクールソーシャルワーカーを2名配置し、学校内や家庭生活において問題を抱える児童生徒に対して、家庭、学校、地域の関係機関をつなぎ、問題の解決を図った。

ア　実施状況

・対応件数　43件（うち終結した件数12件、他機関へ引き継いだ件数7件、引き続き対応している件数24件）

(9)　防災教育推進事業

児童生徒が災害発生時に、自ら危険を予測し回避するために、災害に関する知識に基づいて的確に判断し、迅速に行動する力や、自他の生命を尊重し、最善を尽くし「主体的に行動する」態度を育成するための防災教育の充実を図った。

ア　栃木市防災教育基本プログラムの活用

・各校の各教科等の年間指導計画上に防災教育との関連を明記、栃木市防災教育基本プログラムを活用した防災教育の系統的・計画的な実施（実施校数：42校）

イ　実践的体験活動の充実

・緊急地震速報等を活用した実践的な避難訓練を実施（実施校数：42校）

(10)　小中一貫教育推進

「栃木市小中一貫教育ガイドライン」をもとに、平成29年度から市内全小中学校で実施している。

各中学校ブロックで設定した目指す子ども像の実現のために、重点目標を設定しブロックならではの義務教育9年間の一貫性のある教育を推進した。

ア　各ブロック重点目標

No	ブロック名	重点目標
1	栃木東ブロック	・学び合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりできる子どもの育成（振り返り活動の充実） ・目標に向かって主体的に行動したり協働したりできる子どもの育成（自己有用感を高める系統的な行事・生徒指導の積み重ね）
2	栃木西ブロック	・主体的に学びに向かう子どもの育成 ・自ら進んで「あいさつ」のできる子どもの育成
3	栃木南ブロック	・みずからよく考え、共に学び、自信をもって表現できる子どもの育成
4	東陽ブロック	・多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ・多様な人との交流を通して自他の存在を尊重し、共に成長する子どもの育成

5	皆川ブロック	・よりよい言語活動（話す・聞く）による他者との協働的な学びの充実 ・目的や相手を明確に意識して筋道を立てた表現力の向上
6	吹上ブロック	・ＩＣＴ活用や協働的学習を通して、意欲的に学ぶことができる児童生徒の育成 ・他者とのコミュニケーションを大切にし、積極的に学校生活を送ることのできる児童生徒の育成
7	寺尾ブロック	・令和 4・5 年度栃木市教育委員会指定「人権教育実践研究校」として取り組んできた成果を生かしながら明確となった課題を解決するために、『寺尾ブロックの小中一貫教育』グランドデザインに沿って、『目指す子ども像』の育成を図る ・目指す子ども像を小中の両校が同じく設定して、より一層小中教職員の同僚性を高め、主体的に学習に取り組み、生き生きと自己表現する児童生徒の育成を図る
8	大平ブロック	・主体的に学習に取り組み、自分の考えを相手に伝えられる子供の育成 ・互いに尊重し合い、豊かな人間関係を築ける子供の育成 ・食に関する正しい知識と、望ましい食習慣を身に付けられる子供の育成
9	大平南ブロック	・教育の効果や連続性を高める教職員・児童生徒の交流・協働の推進 ・発達段階に応じた規範意識の高揚と実践 ・自他尊重の精神の育成 ・自己有用感の育成
10	藤岡ブロック	・いろいろな人と一緒に学びながら、自分の目標を達成したり疑問を解決したりしていく ・みんなのいろいろな考えを大切にしながら、話し合って決め、力を合わせて実行する ・自分の心や体の健康と命を守るための行動や運動を続ける（習慣にする）
11	都賀ブロック	・主体的・協働的に課題解決できる子どもの育成 ・互いに尊重し合い、豊かな人間関係が築ける子どもの育成 ・運動に親しみ、健康の保持増進と体力の向上を目指す子どもの育成
12	西方ブロック	・友達の良いところや自分の意見との違いに気づき、自分の考えを表現することができる子どもの育成 ・基本的な生活習慣を身につけた子どもの育成 ・西方ブロック学力向上推進研究の推進と授業研究発表

13	岩舟ブロック	・授業改善と家庭学習の充実 ・「あいさつ・言葉遣い」のさらなるレベルアップ ・「子どもの自己有用感を高めるための方策」を考える ・正しい姿勢を身に付け、学習や健康の増進の意欲を高めようとする子ども

イ　各ブロック小中合同研修会

中学校ブロックの教員が合同で重点目標の達成に向けて研修会を実施した。

No	ブロック名	実施日
1	栃木東ブロック	① 5月29日（水）② 7月31日（水）③11月11日（月） ④ 2月 5日（水）
2	栃木西ブロック	① 4月12日（金）② 4月26日（金）③ 7月16日（火） ④ 8月 5日（月）⑤ 9月24日（火）⑥10月28日（月） ⑦11月 8日（金）⑧12月 2日（月）⑨ 1月23日（木）
3	栃木南ブロック	① 7月31日（水）
4	東陽ブロック	① 6月 4日（火）② 7月30日（火）
5	皆川ブロック	① 5月15日（水）② 6月12日（水）③ 7月29日（月） ④11月13日（水）⑤ 1月29日（水）
6	吹上ブロック	① 5月29日（水）② 8月 1日（木）
7	寺尾ブロック	① 6月 6日（木）② 1月23日（木）
8	大平ブロック	① 4月30日（火）② 6月10日（月）③12月 6日（金） ④ 1月16日（木）⑤ 1月24日（金）⑥ 3月21日（金）
9	大平南ブロック	① 5月16日（木）② 8月 1日（木）③ 1月22日（水）
10	藤岡ブロック	① 6月 5日（水）② 6月12日（水）③ 7月30日（火） ④11月13日（水）
11	都賀ブロック	① 5月10日（金）② 8月 1日（木）③ 2月25日（火）
12	西方ブロック	① 5月17日（金）② 8月 2日（金）③11月15日（金） ④11月21日（木）⑤11月29日（金）⑥ 1月10日（金） ⑦ 1月23日（木）
13	岩舟ブロック	① 5月16日（木）② 8月 2日（金）③ 9月13日（金） ④ 9月30日（月）⑤12月 2日（月）⑥12月 6日（金） ⑦ 2月 6日（木）⑧ 2月21日（金）

【別表】学校課題・研究主題等一覧

学校名	学　校　課　題　・　研　究　主　題	教科等	備　考
栃木中央小	自ら考え、学びを深める児童の育成 ～思考力を高める指導法の工夫～	各教科	グローバル教育プログラム実践研究校（市指定）

栃木第三小	思いやりの心をもち、互いに助け合い協力し合う児童生徒の育成 ～考え、議論する道徳科の授業の充実を通して～	道徳科	道徳教育推進研究校（市指定）
栃木第四小	自らよく考え、分かりやすく表現し、共に学び合う児童の育成 ～ユニバーサルデザインの視点を生かして～	教科は特定しません	人権教育実践校（市指定）
栃木第五小	思考力・判断力・表現力を育成する指導法 ～学習の基盤となる情報活用能力を中心に～	国語、総合的な学習の時間	グローバル教育プログラム実践研究校（市指定）
南小	自らよく考え、学び合い、自信をもって表現する児童の育成 ～一人一人が安心して学習に取り組める環境づくりの工夫～	全教科	人権教育実践校（市指定）
大宮南小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ～書く力を育み、表現力を高めるためのカリキュラムマネジメントの研究を通して～	国語	
大宮北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ～学習意欲を高め、児童が互いに学び合う授業をめざして～	特に決めていません。	
皆川城東小	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育の推進 ～自他のよさを認め、共に学び合う児童生徒の育成～	よりよい言語活動（話す・聞く）	
吹上小	自分の考えをもち、学び合う子どもの育成 ～課題解決に向けて協働する授業を目指して～	全教科	
千塚小	自分の思いや考えを、自分の言葉として話すことができる児童の育成 ～ＩＣＴ機器を活用した学び合いの工夫を通して～	特に教科については限定していません。	

寺尾小	自分の考えをもち、進んで表現できる児童の育成 ～対話を生む授業づくりを目指して～	算数、国語と中心とした全教科	
国府南小	多様な情報をもとに主体的に考え、表現できる子どもの育成 ～数学的活動を通して思考力・判断力・表現力を育む授業づくり～	算数	
国府北小	多様な意見や情報をもとに主体的に考え、表現できる子供の育成 ～自分の思いや考えを表現するための言語活動の充実を通して～		
大平東小	主体的に学び、いきいきと表現する児童の育成 ～国語科の授業改善を通して～	国語	
大平南小	主体的に課題に取り組み、自分の考えを表現できる子どもの育成 ～読解力の育成を中心にして～	国語	
大平西小	児童が学んだことをいきいきと表現する姿を目指して ～主体的・対話的な視点から深い学びへの単元デザイン～	国語・社会	
大平中央小	読む力を育む国語科学習指導の充実 ～説明的な文章を通して～	国語	
藤岡小	児童の話し合う力・表現力を伸ばす研究 ～総合と各教科とのつながりを通して～	総合的な学習の時間	
部屋小	考えを深め、学びを実感できる児童の育成 ～国語科の授業研究を通して～	国語	
赤麻小	自ら考え、思いや考えを分かりやすく伝え合う力を高める指導の工夫 ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習課題の工夫・改善を通して～	全教科等	
三鴨小	つながりのある学びの展開 ～数学的な見方・考え方を働かせ、考えを表現することができる算数科授業づくり～	算数	
合戦場小	自分の思いや考えを深め、表現できる児童の育成 ～自分の思いや考えをもち、意欲的に伝え	国語	

	るための指導の工夫～		
家中小	自分の考えをもち､進んで表現する子供の育成 ～書く力の向上を目指した学習指導を通して～	各教科	
赤津小	話し合う力を高める学習指導の在り方～深い学びの実現に向けて～	教科問わない	
西方小	学び合う力を高める学習指導の在り方 ～対話を通し、自分の考えを深め、学びを楽しむ指導の工夫・改善～	国語	学力向上推進研究校（市指定）
真名子小	学び合う力を高める学習指導の在り方～対話を重視した「考えたくなる」授業づくり～	国語・算数	学力向上推進研究校（市指定）
岩舟小	自分の考えを表現できる児童の育成～個に応じた手立ての在り方～（1年次）	国語	
静和小	自分の考えをもち、伝え合う児童の育成 ～算数科において、自ら考え、表現する力を育てる学習指導の工夫～	算数	
小野寺小	自分の思いや考えを表現する力を育む指導の工夫 ～ふるさとのよさを発信できる児童の育成をめざして～	国語、社会、生活、総合的な学習の時間	
栃木東中	思いやりの心をもち､互いに助け合い協力し合う生徒の育成 ～ 考え、議論する道徳科の授業の充実を通して ～	道徳	道徳教育推進研究校（市指定）
栃木西中	主体的に学びに向かう生徒の育成 ～『とち介の学び』を基盤として～	全教科領域	グローバル教育プログラム実践研究校（市指定）
栃木南中	生徒が自ら課題を見つけ､自主的に学習に取り組むための学習支援の充実	5教科(特に英語）を中心とした全教科	人権教育実践校（市指定）
東陽中	主体的･対話的で深い学びに導く授業の創造 ～「ねらい」と「振り返り」の充実による、達成感の得られる授業づくり～	全教科・全領域	

皆川中	学ぶ力と心豊かな人間関係の育成を目的とした小中一貫教育推進 ～自他のよさを認め､共に学び高め合う児童生徒の育成～	国語・社会・数学・理科・英語・総合的な学習	
吹上中	主体性を伸ばすための指導の工夫	社会、数学	
寺尾中	主体的に学習に取り組み､生き生きと自己表現する生徒の育成 ～ＩＣＴを活用した個別最適な学びと協働的な学びの充実を目指して～	各教科等	
大平中	誰もが安心して生活できる学校づくり	特別活動（学級活動）	
大平南中	主体的に学び､互いに高め合う生徒の育成 ～自分の言葉で､自分の思いを伝える力を高める～	全教科	
藤岡中	自立した学習者を育てる授業づくり ～他者との関わりを通じて､自らの考えを広げ深めることができる生徒の育成～	全教科及び特別活動において実施	
都賀中	対話を通して課題解決ができる生徒の育成 ～「きく力」「つたえる力」「ねばり強く取り組む力」の向上を目指した指導の工夫～	全教科	
西方中	学びあう力を高める学習指導の在り方 ～学びをつなげる授業を通して､主体的に学び、考え、表現できる生徒の育成～	全教科	学力向上推進研究校（市指定）
岩舟中	思考力・判断力・表現力を高める授業づくり ～自分の考えを相手に分かりやすく伝える力の育成～	社会、数学、音楽、体育	

＊表記については、各校から報告された文言で示している。

グローバル教育推進室　グローバル教育推進係

1　グローバル教育に関する事業

(1)　外国語指導助手（ＡＬＴ）学校派遣

小中学校の外国語教育の充実を図るため、外国語指導助手（ＡＬＴ）22名を各校に派遣し、外国語を通したコミュニケーション能力の育成に重点を置いた授業を展開した。

小中学校ごとに訪問計画を立て、市内全小中学校へ、長期休業を除く月曜日から金曜日に訪問した。

訪問実績（各校各学級への年間訪問時数）

・小学1・2年生　　10時間

・小学3・4年生　　35時間

・小学5・6年生　　55時間

・中学1・2・3年生　33時間

※チーフＡＬＴ1名を除く21名のＡＬＴが、令和6年度の市内児童生徒の登校日数である200日間、それぞれの担当校に訪問した。（チーフＡＬＴは、週に1日程度、市教委での勤務日がある）

(2)　グローバルデー

複数の外国語指導助手(ＡＬＴ)が終日学校を訪問し、外国語の背景にある文化体験やＡＬＴとの直接的なコミュニケーション活動を実施した。

ア　実施校

・真名子小学校　　9月27日（金）

・千塚小学校　　10月18日（金）

・吹上小学校　　11月14日（木）

・藤岡小学校　　1月31日（金）

(3)　グローバルアワー

外国語指導助手（ＡＬＴ）の英語による自国の文化紹介の講座を開設し、参加生徒が受講を希望する国の講座を選択して実施した。

ア　実施校

・寺尾中学校　9月24日（火）

・都賀中学校　11月26日（火）

(4)　コミュニケーションチャレンジ

市内全中学校において、生徒が外国語指導助手（ＡＬＴ）との1対1でのコミュニケーションの中で、自然な文脈で英語を使い、思いや考えを伝え合うことができる機会を提供した。

ア　実施期間

12月2日（月）～12月13日（金）

(5)　グローバル教育講演会

地元を離れ、様々な経験を積んだ方や専門的な分野で活躍している方などの話を聞く講演会をオンラインで開催した。

ア　実施校　栃木東中学校、栃木西中学校、寺尾中学校、藤岡中学校、都賀中学校
　　西方中学校

イ　実施日　2月7日（金）

ウ　講　師　渡邉　賢一　氏

(6)　児童生徒会交流

ＩＣＴ機器を活用して、距離の離れた学校の児童生徒同士が、互いの地域の紹介や学校での取組について意見交換を行った。

ア　実施校　大平南中学校、滝川市立江陵中学校（友好親善都市）

イ　実施日　12月11日（水）、1月10日（金）

(7)　外国人児童生徒等への日本語指導

日本語指導が必要な外国人児童生徒等に対して、市内拠点校の日本語教室においての日本語指導や、在籍校での日本語指導に対して支援者（日本語指導員、日本語指導サポーター）の派遣を実施した。

来日直後の外国人児童生徒等に対しては、在籍校に支援者（母語支援員）を派遣し、児童生徒の母語による支援を実施した。

ア　日本語指導児童生徒数（対応のべ人数）

	初期指導	教科指導	計
日本語教室での通級指導	64	22	86
在籍校への支援者の派遣	1	85	86
合計	65	107	172

2　ＩＣＴ教育環境の整備

(1)　主な情報通信機器の保守管理等の業務委託とその概要　（単位：円）

業　務　名	概　　要	委託費
ネットワーク機器 保守運用管理	校内ネットワーク機器の保守管理	小：6,507,600 中：2,917,200
ＧＩＧＡスクール タブレット運用支援	児童生徒用タブレットの運用支援 （障害受付・調査、設定変更、各学校個別支援対応等）	小：19,786,800 中：　9,768,000

(2)　小中学校への教育用コンピュータの整備

ア　小学校　（全学校共通）・教育用コンピュータの借上及び保守管理

（学校別実施）・機器の更新　新規契約　4校

・機器の再リース　　13校

イ　中学校　（全学校共通）・教育用コンピュータの借上及び保守管理

（学校別実施）・機器の再リース　　7校

第３節　学校施設課

〔総括概要〕

「学校の適正な管理運営」、「安全安心な施設・設備づくり」に重点を置き、各種事業の推進を図った。

学校の適正な管理運営では、施設や設備の保守点検、樹木の剪定・伐採等を行い、施設や設備の安全性の確保に努めた。また、各学校の特色に応じた教材・備品等の整備ができるよう学校裁量制の予算編成を採用し、学校運営の円滑化を図った。

安全安心な施設・設備づくりでは、施設の環境改善のため、校舎、屋内運動場、給排水設備等の改修工事及び設計業務を実施した。

また、学校設備における省エネルギー化を推進するため空調設備の更新工事及び設計業務を実施するとともに、市内 39 校の学校施設 LED 照明器具賃貸借の契約締結を行い、令和８年２月までに照明器具の LED 化を図ることにより、教育環境の向上に努めた。

更には、大平西小学校において校舎の増築を行い、児童数の増加に伴う普通教室不足の解消に努めるとともに、夏場における熱中症予防対策として、中学校 11 校の屋内運動場へ空調設備を整備するための譲渡特約付賃貸借契約を締結し、令和７年８月までの整備に向けて準備を進めた。

学校管理係

1　学校施設管理業務

小学校設備保守点検等委託料　　75,740,322円

中学校設備保守点検等委託料　　36,597,523円

(1)　主な学校施設管理業務とその概要　　（単位：円）

業　務　名	概　　要	委託費
地下タンク検査	灯油の貯蔵施設の漏えい検査	小：165,000
水道貯水槽清掃	受水槽及び高架水槽の清掃	小：5,773,900 中：2,948,000
校舎警備	夜間休日の校舎機械警備	小：10,113,507 中：　5,017,711
自家用電気工作物保安管理	高圧受変電設備(キュービクル)及び電気設備の保安管理	小：7,908,532 中：4,341,334
簡易専用水道管理検査	受水槽及び高架水槽を介して各階に給水する水道設備の管理状況に関する検査	小：232,000 中：　96,000
プール循環浄化装置保守点検	学校水泳プール濾過装置の使用前・後の保守点検	小：1,325,445 中：　279,400
小荷物専用昇降機及び	乗用及び給食運搬用エレベーターの安全	小：5,112,676

エレベーター保守点検	性担保及び機能維持のための保守点検	中：2,767,600
浄化槽保守点検及び浄化槽11条検査	浄化槽の機能維持のための保守点検及び浄化槽法第11条に基づく年1回の水質検査	小：5,080,020 中：2,293,060
浄化槽清掃	浄化槽内汚泥の汲み取り（年2回）	小：5,052,317 中：2,148,502
消防設備点検	自動火災報知機、屋内消火栓、避難器具その他消防設備に係る消防法に基づく点検(年2回)	小：3,285,150 中：1,689,600
高木管理	倒木等危険な樹木の剪定及び伐採（クビアカツヤカミキリ対応を含む）	小：22,193,875 中：8,116,900
市有建築物定期点検	建築基準法第12条に基づく定期点検(年1回)	小：4,532,000 中：2,893,000
市有建築物防火設備定期点検	建築基準法第12条に基づく防火扉、防火シャッターの定期点検	小：4,450,160 中：3,010,040

2　義務教育施設整備基金の状況　（単位：円）

摘　要	増額	減額	現在高	備　考
令和5年度末残高	－	－	32,668,141	
一般会計へ繰入	－	25,373,000	7,295,141	小・中学校施設整備事業費、小学校設備省エネ化推進事業費、小学校運営費、家中小学校運営費へ充当
寄附金等積立金	32,950,000	－	40,245,141	ふるさと応援寄附金、学校施設費寄附金
令和6年度末残高	－	－	40,245,141	

3　小中学校教育環境整備事業（理科教育設備整備等事業）

理科教育設備整備費等補助金により、小学校15校、中学校6校の理科及び算数・数学教育に関する設備の整備を行った。

（単位：円）

	整備額
小学校	828,993
中学校	372,317
合　計	1,201,310

施設営繕係

1　小中学校施設の維持補修状況

小学校維持補修　　334件　　33,651,711円

中学校維持補修　　165件　　16,002,972円

小学校29校、中学校13校の学校施設において、突発的に発生したトイレや手洗い場といった給排水設備の故障、窓ガラスやドア等の破損、照明やエアコンといった電気設備の不具合にかかる補修を行った。

2　小学校施設整備事業【現年事業】

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
バスケットゴール装置保守点検業務委託	大平中央小外6校	1,760,000
遊具点検業務委託（3件）	全小学校	1,053,800
外壁モルタル剥離打診調査業務	皆川城東小	495,000
屋内運動場屋根改修工事改修工法検討業務委託	岩舟小	489,500
焼却炉ダイオキシン類調査業務委託	南小外1校	468,600
その他の業務委託（14件）		2,791,910
合　　計		7,058,810

(2)　施設整備工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
バリアフリー対策工事	赤津小	4,884,000
体育倉庫建替工事	大宮南小	4,818,000
管理普通教室棟4階ロッカー改修工事	大宮北小	4,576,000
体育館ステージ用ステップ改修	千塚小外1校	968,000
その他の工事（21件）		16,179,546
合　　計		31,425,546

(3)　設備改修等工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
屋上受変電設備周囲転落防止柵設置工事	栃木第五小	4,026,000
火災報知設備更新工事	家中小	2,695,000
保健室空調設備更新工事	藤岡小	1,996,500
校長室空調機更新工事	赤津小	1,265,000
電力引込設備改修工事	国府南小	1,146,200
非常用放送設備改修	栃木第三小	990,000
その他の工事（27件）		18,354,710

合　　計	30,473,410

(4)　工作物整備工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
ジャングルジム更新工事	南　　小	1,276,000
4欄高鉄棒更新工事	大宮北小	1,188,000
手摺設置工事	赤　津　小	910,800
砂場①②枠修繕工事	小野寺小	896,000
その他の工事（13件）		6,393,174
合　　計		10,663,974

3　小学校屋内運動場改修事業

小学校の屋内運動場について、環境改善のための業務委託を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
屋内運動場屋根防水改修設計業務委託	真名子小	1,727,000

4　小学校校舎改修事業【繰越事業】

小学校の校舎について、環境改善のための業務委託を実施した。

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
校舎外壁等改修工事設計業務委託	部　屋　小	1,485,000

5　小学校給排水設備整備事業

小学校の給排水設備について、環境改善のための工事を実施した。

(1)　工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
受水槽等改修工事	三　鴨　小	28,930,000

6　小学校設備省エネ化推進事業【現年事業】

小学校設備について、省エネルギー化を推進するための工事を実施した。

(1)　工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
図書室空調設備更新工事費	栃木第三小	4,675,000
図書室空調設備更新工事費	皆川城東小	3,778,500
合　　計		8,453,500

7　小学校設備省エネ化推進事業【繰越事業】

小学校設備について、省エネルギー化を推進するための業務委託及び工事を実施した。

(1)　業務委託　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
空調設備更新再積算業務委託	栃木第四小	110,000

(2)　工事　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
空調設備更新工事	栃木第四小	19,558,000

8　大平西小学校校舎増築事業費

良好な学習環境の確保のため、不足する普通教室増築に伴う業務委託及び工事等を実施した。

(1)　業務委託　（単位：円）

委　託　名	委託費
遺跡調査・周辺業務及び出土品整理作業等業務委託	829,850
重機掘削等業務委託	550,000
無線中継器設置設定業務委託	422,917
合　　計	1,802,767

(2)　賃借　（単位：円）

件　　名	賃借料
校舎賃借料	3,656,400

(3)　施設整備工事　（単位：円）

工　事　名	工事費
校舎増築棟鋼管杭工事	3,740,000
増築棟教室流し台設置工事	1,094,500
その他の工事(5件)	2,072,180
合　　計	6,906,680

(4)　器具購入　（単位：円）

内　　容	購入費
児童用ロッカー及び教師用書庫	791,120
学校給食用搬送コンテナ	429,000
その他の購入(2件)	442,640
合　　計	1,662,760

9　中学校施設整備事業

(1)　業務委託　　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
空調設備整備設計業務委託	吹　上　中	1,375,000
部室棟及び倉庫屋上防水改修工事業務委託	大 平 南 中	478,500
中学校運動器具点検業務委託	栃木東中外6校	308,000
部室棟外壁塗材等アスベスト含有分析業務委託	大 平 南 中	175,450
その他の業務委託（4件）		1,116,775
合　　計		3,453,725

(2)　施設整備工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
部室棟及び倉庫屋根防水改修工事	大 平 南 中	7,865,000
駐輪場増築工事	栃 木 西 中	2,904,000
清心館排煙装置修理工事	都　賀　中	979,000
その他の工事（9件）		5,951,510
合　　計		17,699,510

(3)　設備改修等工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
屋上受変電設備周囲転落防止柵設置工事	栃 木 西 中	3,432,000
北舎2階特別支援教室空調設備工事	岩　舟　中	1,299,100
放送設備更新工事	栃 木 南 中	1,298,000
第2理科室空調機更新工事	栃 木 東 中	1,254,000
家庭科室・理科室ガス設備配管改修工事	栃 木 西 中	1,210,000
屋内消火栓漏水調査修繕作業	大 平 南 中	825,000
スプリンクラー修繕工事	藤　岡　中	825,000
3階図書室空調機修繕工事	皆　川　中	627,000
その他の工事（27件）		13,255,451
合　　計		24,025,551

(4)　工作物整備工事　　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
壁面バスケット台新設工事	栃 木 南 中	1,287,000
北側東部側溝敷設工事	東　陽　中	1,242,450
その他の工事（11件）		4,062,080

合　　計	6,591,530

10　中学校校舎改修事業【繰越事業】

中学校の校舎について、環境改善のための業務委託及び工事を実施した。

(1)　業務委託　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
校舎外壁等改修工事再積算業務委託（第２期）	栃 木 南 中	484,000

(2)　工事　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
校舎外壁等改修工事（第１期）	栃 木 南 中	55,407,000

11　中学校設備省エネ化推進事業【繰越事業】

中学校設備について、省エネルギー化を推進するための業務委託及び工事を実施した。

(1)　業務委託　（単位：円）

委　託　名	学校名	委託費
空調設備更新工事再積算業務委託	栃 木 西 中	88,000

(2)　工事　（単位：円）

工　事　名	学校名	工事費
空調設備更新工事	栃 木 西 中	14,630,000
会議室系統空調設備更新工事	藤　岡　中	9,077,000
合　　計		23,707,000

12　中学校屋内運動場空調設備賃借事業

中学校の屋内運動場について、夏場における熱中症予防のための空調設備の賃貸借契約を締結した。（賃貸借契約期間　令和７年９月１日から令和17年８月31日まで）

（単位：円）

件　名	学校名	賃借料
中学校屋内運動場空調設備賃貸借(その 1)	栃 木 東 中 栃 木 南 中 東　陽　中	100,188,000
中学校屋内運動場空調設備賃貸借(その 2)	栃 木 西 中 大　平　中 大 平 南 中	116,067,600
中学校屋内運動場空調設備賃貸借(その 3)	吹　上　中 都　賀　中 西　方　中	108,517,200

中学校屋内運動場空調設備賃貸借(その 4)	藤　岡　中 岩　舟　中	100,808,400
合　　計		425,581,200

13　学校施設 LED 照明器具賃借事業

省エネルギー化を推進するとともに、学習環境の向上を図るための賃貸借契約を締結した。（賃貸借契約期間　令和 8 年 3 月 1 日から令和 18 年 2 月 29 日まで）

（単位：円）

件　名	学校名	賃借料
栃木市学校施設 LED 照明器具賃貸借(その 1)	栃木第五小 外 19 校	186,252,000
栃木市学校施設 LED 照明器具賃貸借(その 2)	栃木中央小 外 18 校	191,188,800
合　　計		377,440,800

第４節　保健給食課

〔総括概要〕

学校保健については、心身共に健康な児童生徒の育成を目指し、各種健康診断を実施した。

心臓検診、腎臓検診では検査の結果、有所見者に対して各専門医による判定を実施し、学校生活管理指導表により事後の管理指導を行った。

そのほか、結核健康診断、教職員の生活習慣病健康診断及びストレスチェック、就学時健康診断等の事業を実施した。

また、学校薬剤師による飲料水及びプールの水質、照度、一・二酸化炭素等の定期検査により学校の保健環境衛生の向上に努めた。

学校給食については、安全で安心な美味しい学校給食の提供に努めるとともに、食育を推進するため、栄養教諭等による食育研究会を開催し、正しい食習慣や健康の保持増進を図ったほか、物価高騰による学校給食への影響を軽減するため、重点支援地方創生臨時交付金を活用し、食材費の高騰分を負担することで、保護者負担を増やすことなく学校給食を提供した。

また、地産地消の拡大やふるさと学習の推進を図るため、本市の特産品を活用した学校給食「とち介ランチ」や、栃木農業高等学校の食材を使用した学校給食を提供した。

更に、食物アレルギー対応の充実を図るため、学校給食食物アレルギー対応調整会議において、関係機関と連携した相談、協議を行うとともに、アクションカードを活用した緊急時の対応等、各機関との連携による研修会を開催した。

学校給食費（月額小学生 4,300 円、中学生 5,100 円）については、進学時における保護者の経済的負担軽減のため、令和 3 年度から小学校 6 年生及び中学校 3 年生を無償化とした。

栃木第三小学校給食共同調理場、大宮北小学校給食共同調理場及び国府北小学校給食共同調理場の 3 調理場を統合し､新しい学校給食センターを整備するための(仮称)栃木東地域学校給食センター整備については､建設用地を取得し､造成工事及び下水道管築造工事を行うとともに、令和 7 年度からの建設に向けて実施設計業務委託を行った。

新規事業である学校給食調理場設備更新事業において、静和小の排風機の更新及び大平学校給食センターのヒートポンプ給湯システムカスケードユニット更新工事を行ったほか、調理機器の更新を行った。

学校保健係

1　学校保健管理

(1)　結核健康診断（学校保健安全法施行規則に基づき実施）

ア　小中学校　（単位：人）

区分	検診対象者数	受診者数	検討対象者数	精密検査不要者数	要精検者数	有所見者数
小学校	6,911	6,905	44	44	—	—
中学校	3,685	3,679	4	4	—	—
合　計	10,596	10,584	48	48	—	—

イ　教職員(全教職員　胸部レントゲン撮影)　（単位：人）

区分	教職員数	受診者数		未受診者数	未受診者理由	有所見者数
		定期健診	他の健診			
小学校	750	699	20	31	妊娠中・産休・育休 37	—
中学校	416	387	14	15	傷病休暇・休職・内留等 9	
合　計	1,166	1,086	34	46	46	—

(2)　学校腎臓検診

一次・二次検査結果及び三次検査対象者　（単位：人）

区分	検診対象者数	受診者数	一次検査	二次検査	三次検査
			有所見者数	要精検者数	最終判定者数
小学校	6,909	6,881	189	22	18
中学校	3,685	3,636	203	29	26
合　計	10,594	10,517	392	51	44

(3)　学校心臓検診　（単位：人）

区分	検　診 対象者数	一次検診		精密検査
		受診者数	有所見者数	精検受診者数
小学校一年生	1,040	1,040	40（3.8%）	33（3.2%）
中学校一年生	1,194	1,189	74（6.2%）	55（4.6%）
合　計	2,234	2,229	114（5.1%）	88（3.9%）
小学校四年生	1,185	1,181	76（6.4%）	57（4.8%）

※（　）は有所見率

(4)　定期健康診断（生活習慣病検診）

・実施時期　7～8月

・対　　象　学校教職員（県職）

	受診者数（人）	要精検者数（人）	要精検率（%）
小　学　校	316	53	16.7%
中　学　校	160	80	50.0%
合　計	476	133	27.9%

※身長、体重、血圧、尿検査、血液検査、心電図検査、視力検査及び聴力検査は全員対象、胃部Ｘ線検査・大腸がん検査（希望者）

(5)　教職員ストレスチェック

7月1日～7月14日の期間に公立学校共済組合のＷＥＢシステムで実施

対象者数	受検者数	受検率	高ストレス判定者数	高ストレス割合
876人	760人	86.8%	96人	12.6%

(6)　就学時健康診断

・実施時期　9月～10月

・対　　象　平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれの児童

・実施場所　市内小学校　27校（うち2校は2校合同実施）

・被検査者数　1,052人

(7)　出席停止

学校感染症による出席停止児童生徒　（単位：人）※延べ人数

月／学校	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3	計
小学校	106	57	55	74	157	166	142	498	414	213	115	1,997
中学校	36	33	35	74	122	43	48	284	193	121	68	1,057
合　計	142	90	90	148	279	209	190	782	607	334	183	3,054

(8)　日本スポーツ振興センター災害給付金給付状況

学校名	児童･生徒加入者数(人)	給付件数(件)	初回発生件数(件)	給付額(円)
小学校計	6,895	406	271	1,882,959
中学校計	3,671	616	325	4,237,290
合　　計	10,566	1,022	596	6,120,249

2　学校環境衛生管理

区　分	検査日	検査項目	備　　考
飲料水水質検査	4月22日（月）	理化学・細菌検査10項目	水道水
プール水水質検査	6月17日（月）	水質6項目　第1回	2点測定
プール施設調査	7月8日（月）	水質5項目　第2回	〃
照度検査	10月～12月	照度測定	
一･二酸化炭素検査	1月～ 2月	一・二酸化炭素検査	

学校給食係

1　学校給食実施状況

(1)　栃木地域

ア　学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積（㎡）
1	栃木中央小学校 給食共同調理場	栃木中央小	510	21	栄養教諭1	委託	鉄筋コンクリート造	405
		南　　小	246	13				
2	栃木第三小学校 給食共同調理場	栃木第三小	380	14	栄養職員1	委託	〃	195
		栃木東中	278	11				
3	栃木第四小学校 給食共同調理場	栃木第四小	195	8	栄養教諭1	委託	〃	331
		大宮南小	76	6				
		栃木南中	236	10				
4	栃木第五小学校 給食共同調理場	栃木第五小	469	21	栄養教諭1	委託	〃	348
		栃木西中	441	16				
5	大宮北小学校 給食共同調理場	大宮北小	586	21	栄養教諭1	委託	鉄骨造	175
		国府南小	54	6				
6	吹上小学校 給食共同調理場	吹　上　小	283	15	栄養職員1	委託	〃	904
		吹　上　中	237	11				
7	千塚小学校 給食共同調理場	千　塚　小	120	8	栄養教諭1	委託	鉄筋コンクリート造	310
		皆川城東小	109	7				
		皆　川　中	56	4				
8	寺尾小学校 給食共同調理場	寺　尾　小	69	7	栄養教諭1	委託	〃	252
		寺　尾　中	31	3				
9	国府北小学校 給食共同調理場	国府北小	320	14	栄養職員1	委託	〃	194
		東　陽　中	536	19				
計	9調理場	20校	5,232	235	9			

イ　各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数　（食）
栃木中央小	549	70	37,896	78	41,801	48	25,603	196	105,300
栃木第三小	408	69	27,726	78	31,367	48	19,229	195	78,322
栃木第四小	215	69	14,643	79	16,686	48	10,021	196	41,350
栃木第五小	503	70	34,661	79	39,466	48	23,900	197	98,027
南　　小	269	70	18,670	78	20,616	48	12,623	196	51,909
大宮南小	89	69	5,872	78	6,592	48	4,078	195	16,542
大宮北小	625	70	42,618	78	47,993	48	29,171	196	119,782

皆川城東小	124	69	8,605	77	9,448	48	5,897	194	23,950
吹　上　小	311	67	21,423	78	23,993	48	14,638	193	60,054
千　塚　小	139	69	9,297	77	10,473	48	6,495	194	26,265
寺　尾　小	85	69	5,920	78	6,639	48	4,054	195	16,613
国府南小	68	68	4,457	78	5,173	48	3,255	194	12,885
国府北小	345	70	23,835	79	24,710	48	16,464	197	65,009
栃木東中	302	68	19,926	77	22,873	48	13,350	193	56,149
栃木西中	474	69	31,888	78	35,938	48	21,059	195	88,885
栃木南中	260	68	17,468	79	20,352	48	11,524	195	49,344
東　陽　中	576	69	37,829	79	44,659	48	25,496	196	107,984
皆　川　中	71	67	4,660	79	5,383	49	3,282	195	13,325
吹　上　中	260	67	16,767	79	19,972	48	11,515	194	48,254
寺　尾　中	45	67	2,893	78	3,394	48	1,990	193	8,277
合　　計	5,718	1,374	387,054	1,564	437,528	961	263,644	3,899	1,088,226

(2)　大平地域

ア　学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	大平学校給食センター	大平東小	188	9	栄養教諭2 栄養職員1 (1)	委託	鉄骨造	1,902
		大平南小	288	15				
		大平西小	425	16				
		大平中央小	535	22				
		大　平　中	316	13				
		大平南中	472	18				
計	1調理場	6校	2,224	93	3(1)			

※（　）内の数字は会計年度任用職員の内数

イ　各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）
大平東小	206	70	14,141	79	15,825	47	9,399	196	39,365
大平南小	313	70	21,407	79	24,418	48	14,815	197	60,640
大平西小	453	70	31,132	79	34,911	48	20,947	197	86,990
大平中央小	573	70	38,974	79	43,946	48	26,718	197	109,638
大　平　中	345	68	22,656	79	26,028	48	15,573	195	64,257
大平南中	509	68	33,694	79	38,983	48	22,908	195	95,585
センター	4	70	348	79	434	49	231	198	1,013

合　　計	2,403	486	162,352	553	184,545	336	110,591	1,375	457,488

(3)　藤岡地域

ア　学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	藤岡学校給食センター	藤岡小	195	10	栄養教諭1 栄養職員1 (1)	委託	鉄骨造	1,041
		部屋小	64	7				
		赤麻小	131	8				
		三鴨小	127	8				
		藤岡中	324	14				
計	1調理場	5校	841	47	2 (1)			

※（　）内の数字は会計年度任用職員の内数

イ　各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）
藤岡小	217	69	14,824	77	16,587	47	10,103	193	41,514
部屋小	79	69	5,459	77	5,883	47	3,631	193	14,973
赤麻小	147	69	9,992	76	11,097	47	6,866	192	27,955
三鴨小	144	68	9,634	77	10,902	47	6,710	192	27,246
藤岡中	352	67	22,849	76	25,735	47	15,373	190	63,957
センター	4	69	355	77	375	48	232	194	962
合　　計	943	411	63,113	460	70,579	283	42,915	1,154	176,607

(4)　都賀地域

ア　学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	都賀学校給食センター	合戦場小	352	15	栄養職員2 (1)	委託	鉄骨造	1,067
		家中小	161	8				
		赤津小	114	7				
		都賀中	287	11				
計	1調理場	4校	914	41	2(1)			

※（　）内の数字は会計年度任用職員の内数

イ　各施設別給食実施延べ食数

施設名	実施人員	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数	食数	回数	食数	回数	食数	回数	食数

	（人）	（回）	（食）	（回）	（食）	（回）	（食）	（回）	（食）
合戦場小	380	70	25,873	79	29,807	48	17,981	197	73,661
家中小	178	70	12,192	79	13,827	48	8,345	197	34,364
赤津小	130	70	8,888	78	10,023	48	7,265	196	26,176
都賀中	311	69	21,002	79	24,355	48	13,721	196	59,078
センター	4	70	344	79	387	49	240	198	971
合計	1,003	349	68,299	394	78,399	241	47,552	984	194,250

(5) 西方地域

ア 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	共同調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	西方小学校給食共同調理場	西方小	196	10	栄養職員1	委託	鉄筋コンクリート造	569
		真名子小	40	6				
		西方中	128	6				
計	1調理場	3校	364	22	1			

イ 各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）
西方小	217	67	14,454	77	16,306	47	9,888	191	40,648
真名子小	53	68	3,618	76	4,020	47	2,423	191	10,061
西方中	145	65	9,261	77	10,926	47	6,181	189	26,368
合計	415	200	27,333	230	31,252	141	18,492	571	77,077

(6) 岩舟地域

ア 学校給食実施人員及び施設状況（5月1日現在）

番号	調理場名	供給学校			調理従事者(人)		施設構造	
		学校名	児童生徒数（人）	学級数（学級）	栄養教諭 栄養職員	調理員	構造	面積(㎡)
1	岩舟小学校給食調理場	岩舟小	343	15	栄養職員1 (1)	委託	鉄骨造	269
2	静和小学校給食調理場	静和小	239	13	栄養職員1 (1)	委託	〃	205
3	小野寺小学校給食調理場	小野寺小	92	8	栄養職員1 (1)	委託	〃	88
4	岩舟中学校給食調理場	岩舟中	342	15	栄養教諭1	委託	〃	247
計	4調理場	4校	1,016	51	4(3)			

※（　）内の数字は会計年度任用職員の内数

イ　各学校別給食実施延べ食数

学校名	実施人員（人）	1学期		2学期		3学期		合計	
		回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）	回数（回）	食数（食）
岩舟小	372	69	25,461	79	29,087	48	17,760	196	72,308
静和小	261	70	18,203	78	20,319	48	12,472	196	50,994
小野寺小	109	69	7,572	79	8,540	48	5,188	196	21,300
岩舟中	377	68	24,706	77	27,789	47	15,907	192	68,402
合計	1,119	276	75,942	313	85,735	191	51,327	780	213,004

(7)　共同調理場等運営協議会の開催

栃木市立学校給食共同調理場等運営協議会

NO	期日	事業名	場所	参加者
1	6月27日(木)	第1回栃木市立学校給食共同調理場等運営協議会	201会議室	14人
2	1月30日(木)	第2回栃木市立学校給食共同調理場等運営協議会	正庁B	9人

(8)　食育研究会の開催

栃木市食育研究会（献立作成会議）

・開催日　　4月19日（金）、6月18日（火）、10月15日（火）、2月18日（火）計4回

・場所　　オンライン又は市役所

・参加者　　栄養教諭、学校栄養職員等

(9)　学校給食関係職員研修事業

NO	期日	事業名	場所	参加者
1	4月12日(金)	新任・新赴任教職員対象学校給食運営説明会	オンライン	18人
2	5月20日(月)	第1回給食主任・栄養教諭等研修会	オンライン	46人
3	8月27日(火)	第2回給食主任・栄養教諭等研修会	オンライン	49人
4	8月28日(水)	学校給食調理場従事者研修会	正庁	44人

(10)　学校給食費一部無償化の実施

・対象者　　市立小学校の6年生児童　1,166人（5月1日現在）

市立中学校の3年生生徒　1,266人（5月1日現在）

・無償化に伴う市負担額　　市立小学校の6年生児童　55,151,800円

市立中学校の3年生生徒　71,022,600円

(11)　食物アレルギー等対応食補助金の交付

・対象者　　給食費を無償化としている児童生徒のうち、食物アレルギー等のため学校給食の提供を受ける代わりに対応食を持参している者の保護者

・交付実績　　8名　132,020円

(12)　(仮称)栃木東地域学校給食センターの整備

・業務委託

業務委託概要	委託費(円)
(仮称)栃木東地域学校給食センター基本設計・実施設計業務委託	2,794,000
(仮称)栃木東地域学校給食センターBELS申請業務委託	600,000

・工事請負費

工事概要	工事費(円)
(仮称)栃木東地域学校給食センター下水道管築造工事	9,493,000
(仮称)栃木東地域学校給食センター造成工事	59,257,000

・財産取得

概要	取得費(円)
(仮称)栃木東地域学校給食センター用地購入	33,259,208

(13)　調理場等設備の更新

・静和小学校給食調理場排風機改修工事　4,070,000円

・大平学校給食センターヒートポンプ給湯システムカスケードユニット更新工事　6,215,000円

・栃木第五小学校給食共同調理場スチームコンベクションオーブン　4,587,000円

・都賀学校給食センターパススルー冷凍庫　1,199,000円

第５節　生涯学習課

〔総括概要〕

市民一人ひとりが自発的意思に基づき、自己に適した手段・方法を選んで、生涯を通じて行う「生涯学習」は、自分自身の生活を豊かにし、学んだことを生かして活力ある地域や社会をつくるなど、個人・社会にとって大切なものである。

本市は、生涯学習振興計画の基本施策である「生涯にわたる学びの環境の充実」「生涯にわたる学びの機会の充実」を核として、生涯学習の推進に係る施策を実施した。

市民への学習機会の提供としては、「栃木市民大学」のほか、市職員による「市民出前講座」、市民講師主催の「自主講座」を実施した。

とちぎ未来アシストネット事業では、学校、家庭、地域の連携・協力により、地域ぐるみで未来を担う子供たちの「生きる力」を育てることを目指して、地域の特性を生かした学校支援ボランティア活動を展開するとともに、市内小中学校の学校コーディネーター、地域コーディネーター及び公民館担当者合同研修会を開催し、事業への理解促進と資質の向上に努めた。また、本事業の一層の推進のため、各地域の地域コーディネーターが協力し、ボランティア交流会を開催した。

家庭教育学級開設事業としては、家庭教育力の向上を目指して、認定こども園・保育園・小学校において、保護者が互いの子育てについて語り合える参加型の講座を実施した。また、各講座後に相談コーナーを設け、参加者から子育てについての質問や悩みを受け付けた。

人権教育推進事業としては、市内小中学校を会場に教職員及び保護者を対象とした人権教育指導者研修を開催し、人権意識の高揚と理解促進を図った。

図書館事業としては、指定管理者による管理運営の下、栃木、大平、藤岡、都賀、西方、岩舟各館の特色を生かしつつ、市立図書館として均質かつ一体的なサービスの展開に努めたほか、2 月には新築移転となった都賀総合支所内に都賀図書館を移転し、本に親しむ環境と利便性の向上を図った。また、読書活動の推進に向けて、子どもがより多くの本に親しみ、読書習慣を身につけられる環境づくりに努めるとともに、3 月には「栃木市読書活動推進計画」を策定し、市民全体の生涯にわたる読書活動と読書バリアフリーの推進に資する施策を新たに位置づけた。

青少年行政関係としては、青少年の健全育成と社会参画促進を目的として、講演会の開催、模範児童・生徒の表彰等を行った。

また、高校生の視点による栃木市のにぎわいの創出に寄与することを目的とした「とちぎ高校生蔵部」の活動を支援し、栃木市高校生合同文化祭の開催、栃木の街散策マップの作成、FMくらら857「Tochigi high school radio」の偶数月のパーソナリティなどを行い、若者がふるさとへの愛着を高めるとともに、自分の存在意義や居場所を見出し、自己肯定感を育む活動を推進した。

青少年育成センターとしては、街頭補導活動、少年相談業務等を重点事業として、学校、警察、青少年問題協議会等の関係機関等と連携し青少年の健全育成に努めた。

そのほか、地域における生活文化の振興や社会福祉の増進に資する活動を行う社会教育関係団体等の育成・支援に努めた。

生涯学習係

1　生涯学習推進事業

(1)　生涯学習人材バンク

様々な分野で活動し知識や技能を広めたり教えたりする意欲のある市民を生涯学習ボランティアとして登録し、市民からの学びの要望に応えてもらうほか、自主講座やを開催するなど、市民に対する学習の機会を提供した。

・登録件数　40件(個人38件、団体2件)

・自主講座開催数　48講座(6月･12月募集)

(2)　生涯学習情報提供

栃木市における生涯学習情報の周知のため、次のとおりホームページへの掲載及び広報とちぎへの折り込みをした。

項　　目	掲載日	内　　容	備　　考
栃木市講座情報	随時更新	市及び市教育委員会が主催する講座	ホームページ
栃木市出前講座のご案内	広報とちぎ5月号	市職員出前講座の紹介、申込方法	ホームページ 広報とちぎ折込

(3)　市職員・市民出前講座

市民に対し市の仕事や仕組み・制度などを理解していただく機会を提供するとともに、市民と職員のパートナーシップを築くことを目指して、市職員を講師として派遣する市職員出前講座を各課において実施した。

また、趣味や教養の分野について学んでいただくため、生涯学習人材バンク登録者による出前講座(市民出前講座)を実施した。

区　　分	メニュー数	開催件数	受講者数
市職員出前講座	76講座	143件(37講座)	3,082人
市民出前講座	―	45件(6講座)	540人

(4)　学校開放　特別教室

栃木南中学校の特別教室を地域に開放してグループ活動を支援した。

利用団体数(団体)	利用回数(回)	利用人数(人)
2	90	991

(5)　栃木市民大学

市民の多様化・高度化する学習ニーズに応え、出会い・交流・仲間づくりの場を提供し、市民の生涯学習を支援するとともに、各個人が学習した成果を活用するための環境作りを行うことにより、充実した生涯学習社会を実現することを目的として、「郷土を学ぶ」、「まちづくりを学ぶ」、「現代社会を学ぶ」、「健康・医療を学ぶ」の4つの分野からテーマを選定し年間プログラムを組んで実施した。

・受講者数延べ1,083名

プログラム　　（敬称略）

開催日	内　　容	講　　師
7月9日(火)	女の生き方、描かれ方～大河ドラマ「光る君へ」から考える～	國學院大學栃木短期大学日本文学科　教授　津島 昭宏
7月18日(木)	報道現場から見た防災～命を守る情報の受け止め方～	テレビ朝日広報局お客様フロント部元災害報道担当部長 防災士　久慈 省平
8月1日(木)	睡眠と健康～疾病予防と健康的な生活をおくるための睡眠の知識～	獨協医科大学看護学部看護医科学　教授　宮本 雅之
8月22日(木)	異文化理解から多文化共生へ	白鷗大学名誉教授／ＮＰＯ法人みんなの学び場おやま代表理事　結城 史隆
9月12日(木)	アートの可能性	feel pomotion所属 デジタルアーティスト ebi(海老沼 洋介)、小野 和也
9月21日(土)	認知症市民特別講座～まちぐるみで認知症高齢者を支える～ 講演「認知症の理解と援助～共生社会の実現のために～」	社会医療法人財団川崎幸クリニック医院長／公益社会法人認知症の人と家族の会全国本部副代表理事　杉山 孝博
10月3日(木)	わいわい始めるまちづくり	大平わいわいテラス 戸田 良訓
11月5日(火)	自然の宝庫「渡良瀬遊水地」を学ぶ	ＮＰＯ法人わたらせ未来基金理事長／作新学院大学女子短期大学名誉教授　青木 章彦
12月7日(土)	人権を考える市民の集い2024 ・命あるうちに　ひとり残らず取り返す ・拉致問題の風化に抗して	特定失踪者家族会事務局長 竹下 珠路 新潟産業大学経済学部特任教授　蓮池 薫
12月19日(木)	市民の皆様にも知っていて欲しい「いちご王国・栃木」のお話	栃木県農業総合研究センターいちご研究所　企画調査担当特別研究員　三井 俊宏
1月16日(木)	元気に長生き！延ばそう健康寿命	獨協医科大学看護学部看護医科学　教授　西連地 利己

2　社会教育委員会議

「本市の生涯学習のあり方について」を議題として社会教育委員会議を開催し、本市の生涯学習分野における重点事項の洗い出しを行った。

併せて、第２期栃木市生涯学習振興計画の進行管理を行った。

開　催　日	議題・テーマ等
7月31日(水)	・栃木市における講座開催状況について（意見抽出）
9月25日(水)	・本市の生涯学習のあり方について（意見抽出）
12月17日(火)	・本市の生涯学習のあり方について（課題・問題点の整理）
1月28日(火)	・本市の生涯学習のあり方について（方向性の検討）

3　とちぎ未来アシストネット

(1)　研修会・交流会

市内小中学校コーディネーター及び地域コーディネーターを対象として合同研修会を開催し、事業に対する理解促進やコーディネーターとしての能力の向上を図った。また、年度当初には、新任の地域コーディネーターと学校コーディネーターが円滑に活動できるよう、新任学校コーディネーター研修会と新任地域コーディネーター研修会を実施したほか、2月には、第9回ボランティア交流会を実施した。

実施日	会　　場	研修名等	出席者数(人)
4月23日(火)	皆川公民館	新任学校コーディネーター研修会	7
		新任地域コーディネーター研修会	15
5月16日(木) ～5月21日(火)	皆川公民館他	地域・学校コーディネーター・ 公民館担当者合同研修会Ⅰ	113
10月16日(水)	国府公民館	1・2年目地域コーディネーター 研修会	14
12月5日(木)	とちぎ岩下の新 生姜ホール	地域・学校コーディネーター・ 公民館担当者合同研修会Ⅱ	102
2月1日(土)	藤岡文化会館	第9回ボランティア交流会	164

(2)　地域教育協議会及び推進委員会

市内10のエリア(栃木中央、東陽、皆川、吹上、寺尾、大平、藤岡、都賀、西方、岩舟)のボランティアやコーディネーターの交流・連絡調整の場として、各地域の公民館が運営する地域教育協議会と市内全体のアシストネットの方針を協議する推進委員会を年2回開催した。

4　家庭教育

(1)　家庭教育学級

県教育委員会主催の家庭教育オピニオンリーダー研修修了者や家庭教育支援の専門家が講師を務めるハッピー子育て講座では、参加者が互いの子育てについて語り合える参加型の講座を意識し、多くの認定こども園・保育園・小学校で講座を実施した。

また、就学時健診や一日入学時に子育て講座を担当するオピニオンリーダーを対象とした市独自の研修会を開催し、子育てについて意識の共有を図った。

ア　保育園における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話

（対象：保育園児保護者・祖父母）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
4月26日(金)	子育てはスモールステップ♪～１歩進んで２歩下がるくらいが丁度よい～	すずきあすか	けやき保育園	39
6月1日(土)	親子ではぐくむ子どもの心	星野 美幸	フォレストキッズ	32
6月4日(火)	子どもを伸ばす魔法のことば	大塚 幸一	いまいずみ保育園	23
6月6日(木)	食育について考えよう～子どもたちが健康な生活を送るために、今、必要な食事～	古川 展依	大平南第１保育園	25
6月11日(火)	あなたの笑顔子どもの笑顔！！＝発見やる気スイッチ！！	野口 郁子	藤岡はーとらんど保育園	30
6月21日(金)	子どもが片付けられるようになる収納術	齋藤 真弓	大平西保育園	11
11月19日(火)	もうすぐ一年生！うちの子大丈夫？～入学前の子どもとの関わり方	佐藤 陽子	くらのまち保育園	20
1月31日(金)	子どもの心が育つ親子のかかわり	佐藤 秋子	ひかり保育園	54
2月22日(土)	子どもを伸ばす魔法のことば	カルパ	けやき保育園	74
3月5日(水)	もうすぐ一年生！うちの子大丈夫？～入学前の子どもとの関わり方	佐藤 陽子	フォレストキッズ	21

◎実施：10講座、中止：0講座

イ　子育て支援センターにおける親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話　（対象：子育て支援センター園児保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
6月7日(金)	子育てはスモールステップ♪～１歩進んで２歩下がるくらいが丁度よい～	すずきあすか	地域子育て支援センターふじおか	7
9月10日(火)	食事って大切だよ～早寝早起き朝ごはん～	かるがも	地域子育て支援センターいわふね	6
11月28日(木)	自己肯定感を育み、心が育つために大切なこと	野口 郁子	ファミリーサポートセンター	13

◎実施：3講座、中止：0講座

ウ　認定こども園における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話　（対象：認定こども園児保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
6月21日(金)	子どもの心が育つ親子のかかわり	佐藤 秋子	國學院大學栃木二杉認定こども園	11
7月12日(金)	子育てはスモールステップ♪～１歩進んで２歩下がるくらいが丁度よい～	すずきあすか	バンビ認定こども園	25

10月23日(水)	親と子ーその悩み・迷い・戸惑いの中を生き抜く（子育てあいうえお）	大塚 幸一	おおみや幼児教育センター	55
10月31日(木)	「しつけ」の秘訣～子どもが伸びるココロの土台～	佐藤 陽子	栃木・若葉認定こども園	18
11月6日(水)	もう、子育てでイライラするのは卒業します。～自分の感情と上手に付き合うには～	すずきあすか	ひらかわ認定こども園	15
1月16日(木)	もうすぐ一年生！うちの子大丈夫？～入学前の子どもとの関わり方	佐藤 陽子	アルス認定こども園	55
1月23日(木)	困った！こんなときどうする～子どもの気持ちを受け止める方法～	すずきあすか	岩舟認定こども園	34
2月4日(火)	心がほっとする親子のかかわり	佐藤 秋子	しずわでら認定こども園	23

◎実施：8講座、中止：0講座

エ　小規模保育施設における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話　（対象：小規模保育施設児保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
9月6日(金)	食育について考えよう～脳が育つこどものごはん～	青木恵美子	うずま保育園	25

◎実施：1講座、中止：0講座

オ　就学時健康診断・一日入学時における親学習プログラムを活用した親学習会

（対象者：就学時健康診断対象児童の保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
9月11日(水)	保護者のおしゃべり会	らっこっこ	家中小学校	23
9月19日(木)	ホッとおしゃべり	カルパ	栃木第四小学校	31
9月19日(木)	仲間づくり、つながりづくり	かるがも	小野寺小学校	6
9月20日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	千塚小学校	21
9月25日(水)	仲間づくり・つながりづくり	渡邉 晴江	赤麻小学校	25
9月30日(月)	ホッとおしゃべり	カルパ	大宮南小学校	12
10月18日(金)	保護者のおしゃべり会	らっこっこ	赤津小学校	16
10月24日(木)	ホッとおしゃべり	カルパ	寺尾小学校	16
10月25日(金)	保護者のおしゃべり会	こーらす	西方小学校	33
10月25日(金)	保護者のおしゃべり会	こーらす	真名子小学校	4
1月22日(水)	ホッとおしゃべり	カルパ	皆川城東小学校	14

1月22日(水)	保護者のおしゃべり会	らっこっこ	合戦場小学校	65
1月24日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	栃木中央小学校	85
1月29日(水)	「もうすぐ我が子も一年生」トークしよう	ほほえみ	大平東小学校	33
1月29日(水)	「もうすぐ我が子も一年生」トークしよう	ほほえみ	大平西小学校	58
1月29日(水)	「もうすぐ我が子も一年生」トークしよう	ほほえみ	大平中央小学校	92
1月 30日(木)	仲間づくり・つながりづくり	かるがも	静和小学校	38
1月 31日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	栃木第五小学校	88
1月31日(金)	ホッとおしゃべり	カルパ	大宮北小学校	101
2月4日(火)	「もうすぐ我が子も一年生」トークしよう	ほほえみ	大平南小学校	64
2月5日(水)	仲間づくり、つながりづくり	大類 竜矢	藤岡小学校	22
2月5日(水)	仲間づくり、つながりづくり	渡邉 晴江	部家小学校	11
2月12日(水)	ホッとおしゃべり	カルパ	南小学校	33
4月 23日(火)	子どものいいところを伸ばそう	カルパ	国府北小学校	8
4月 24日(水)	仲間づくり・つながりづくり	かるがも	岩舟小学校	20
4月30日(火)	自己肯定感って、どう高めるの？	根岸 昭人	部屋小学校	8
5月2日(木)	子どもの力を伸ばそう	根岸 昭人	三鴨小学校	7
5月 8日(水)	子どもの力を伸ばそう	根岸 昭人	赤麻小学校	3
6月12日(水)	子どものいいところを伸ばそう	カルパ	吹上小学校	23
6月25日(火)	子どものいいところを伸ばそう	カルパ	国府南小学校	25
9月18日(水)	子どものいいところを伸ばそう	カルパ	栃木第三小学校	21
9月25日(水)	子どものいいところを伸ばそう	カルパ	大宮北小学校	17
11月6日(水)	子どものいいところを伸ばそう	渡邉 晴江	藤岡小学校	4

◎実施：33講座、次年度での実施：6講座

カ　小学校における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話

（各校で1回又は2回開催　対象：小学校児童保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
5月15日(水)	子どもを伸ばす魔法のことば	かるがも	静和小学校	18

5月29日(水)	己書～親子の絆を育む自由に描く心の書～	上岡　太	千塚小学校	30
5月30日(木)	もう、子育てでイライラするのは卒業します。～自分の感情と上手に付き合うには～	すずきあすか	合戦場小学校	18
6月13日(木)	子どものやる気と自信を引き出す「ココロ貯金」3つの方法	佐藤 陽子	大平西小学校	39
6月20日(木)	子どもを伸ばす魔法のことば	ほほえみ	大平南小学校	19
6月21日(金)	自分らしい子育て☆～あなたらしさを見つけて子育てに活かそう～	すずきあすか	赤津小学校	12
6月26日(水)	食育について考えよう～脳が育つこどものごはん～	青木 恵美子	真名子小学校	24
6月28日(金)	準備はできてる？～親がわが子へ伝えるべき性教育への心構え～	すずきあすか	岩舟小学校	45
7月5日(金)	もう、子育てでイライラするのは卒業します。～自分の感情と上手に付き合うには～	すずきあすか	大宮北小学校	22
7月8日(月)	自分らしい子育て☆～あなたらしさを見つけて子育てに活かそう～	すずきあすか	皆川城東小学校	11
9月18日(水)	生活に読書の習慣を～おとなもわくわく絵本を～	黒川 拓一	大宮南小学校	15
9月24日(火)	己書～親子の絆を育む自由に描く心の書～	上岡　太	大平東小学校	57
10月2日(水)	発達の道筋から子どもの育ちを考える～子どもの生活リズムについて～	佐藤 秋子	赤麻小学校	48
10月3日(木)	ゲーム機やスマホの使用にあたってのルールづくりや危険性について	大房 剛樹	大平西小学校	122
10月4日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	栃木第三小学校	201
10月16日(水)	いつのまにかなっているだめ親からの脱出	大塚 幸一	小野寺小学校	18
10月18日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	栃木第四小学校	20
10月19日(土)	あいさつや社会生活のルールをきちんと身に付けさせるには	河原 千枝	寺尾小学校	27
10月30日(水)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	南小学校	31
11月6日(水)	子どもの生活リズムを考えていますか？	かるがも	部屋小学校	9
11月6日(水)	子どものほめ方・しかり方	佐藤 秋子	三鴨小学校	45

11月8日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	栃木第三小学校	261
11月9日(土)	思春期の親子のコミュニケーション術	佐藤 陽子	吹上小学校	34
11月14日(木)	いつのまにかなっているだめ親からの脱出	大塚 幸一	栃木中央小学校	84
11月20日(水)	準備はできてる？～親がわが子へ伝えるべき性教育への心構え～	すずきあすか	国府南小学校	36
11月20日(水)	あなたの笑顔子どもの笑顔！！＝発見やる気スイッチ！！	野口 郁子	大平中央小学校	20
1月22日(水)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	家中小学校	25
2月5日(水)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	国府北小学校	31
2月5日(水)	子どもの自己肯定感を高める「ココロ貯金」3つの方法	佐藤 陽子	西方小学校	58
2月6日(木)	ゲーム機やスマホの使用にあたってのルールづくりや危険性について	大房 剛樹	栃木第五小学校	22

◎実施：30講座、中止：2講座

キ　中学校における親学習プログラムを活用した親学習会及び講師による講話

（各校希望制　対象：中学校生徒保護者）

実施日	タイトル	講師(敬称略)	場所	参加人数(人)
6月18日(火)	ゲーム機やスマホの使用にあたってのルールづくりや危険性について	大房 剛樹	都賀中学校	117
7月5日(金)	自分を応援する力を育む子育て	氏家実菜子	岩舟中学校	63
7月10日(水)	ゲーム機やスマホの使用にあたってのルールづくりや危険性について	大房 剛樹	大平南中学校	173
9月12日(木)	思春期の心の発達～発達に合わせた子育てと対応～	星野 美幸	藤岡中学校	47
11月29日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	栃木東中学校	116
11月29日(金)	子どもたちをネットトラブルから守るために	ＫＤＤＩ	都賀中学校	129
12月13日(金)	我が子は思春期真っ只中～思春期の子育ては戸惑いや悩みの連続～	大類 竜矢	西方中学校	38
1月20日(月)	子どものやる気と自信を引き出す「ココロ貯金」3つの方法	佐藤 陽子	栃木西中学校	71
2月13日(木)	思春期の親子のコミュニケーション術	佐藤 陽子	皆川中学校	11

◎実施：9講座、中止：0講座

※カルパ　→ 栃木市栃木家庭教育オピニオンリーダー会「ＣＡＲＰＡ(カルパ)」

※ほほえみ → 栃木市大平町家庭教育オピニオンリーダー「ほほえみの会」

※らっこっこ → 栃木市都賀家庭教育オピニオンリーダー会「らっこっこくらぶ」

※かるがも → 家庭教育オピニオンリーダー「かるがも岩舟」

(2)　家庭教育講演会

子育て世代の親や教職員、家庭教育支援に携わる関係者等を対象とした家庭教育講演会は、栃木市藤岡文化会館にて、下都賀地区ＰＴＡ連絡会、栃木市ＰＴＡ連合会との共催で以下のとおり開催した。

演　題	実施予定日	対象者	講師(敬称略)	参加人数(人)
子どもの育ちを知ると「もっと」子育てが楽しくなる！～思春期の子どもとの関わり方～	6月22日(土)	保護者及び教職員(保育園・認定こども園・小中学校等)、家庭教育支援関係者、一般市民	藤枝 静暁	120

5　社会教育関係団体育成

ＰＴＡ・女性会等の育成

各団体の事業に対し、助言や活動への協力を行うとともに、補助金を交付した。

(単位：円)

団　体　名	補　助　金　額
栃木市ＰＴＡ連合会	420,000
栃木市特別支援教育「手をつなぐ親の会」連絡協議会	117,000
「小さな親切」運動栃木支部	50,000
栃木市地域女性会連絡協議会	400,000
とちぎユースネットワーク	30,000

6　人権教育

(1)　研修

各地域において、人権に関するワークショップ型の研修を実施した。

公民館講座(各種学級)　(敬称略)

地区名	実　施　日	参加人数(人)	講　　師
大平地域	5月13日(月)	55	大類　竜矢
大宮地区	6月19日(水)	20	大類　竜矢
大宮地区	6月26日(水)	47	大類　竜矢
寺尾地区	7月30日(木)	14	大類　竜矢
都賀地域	8月9日(水)	25	大類　竜矢
計		161	

(2)　人権教育推進事業

学校・家庭・地域社会の連携を通した人権に関する地域の教育力の向上や人権に関

する正しい知識と理解を深めるため、令和3年度より「社会にある部落差別問題をはじめとした様々な差別問題」を研修テーマとして、教職員を中心に人権教育に携わる指導者向けの研修事業を推進した。

また、ＰＴＡ関係者や地域住民にも研修会への参加を呼びかけ、人権教育の啓発にも努めた。

人権教育指導者の育成

実施日	内容		参加者(人)
7月10日(水)	人権教育推進事業に関わる校内研修会 講師：部落解放同盟 戸田　眞　氏	大平南中学校	28
7月29日(月)		大宮北小学校・東陽中学校合同開催	70
7月30日(火)		真名子小学校・西方中学校合同開催	37
8月1日(木)		大宮南小学校	14
8月6日(火)		静和小学校・岩舟中学校合同開催	50
9月9日(月)		千塚小学校	14
11月20日(水)		栃木第三小学校	22

7　図書館関係

(1)　図書館協議会

回	開催日	協議内容
第1回	6月25日(火)	・会長及び副会長の選出について ・栃木市図書館の管理運営（5年度実績・6年度事業計画）について ・その他（栃木市読書活動推進計画）
第2回	9月26日(木)	・栃木市読書活動推進計画（素案）について ・館長からの諮問「栃木市の図書館の在り方」について ・その他
第3回	1月23日(木)	・館長からの諮問「栃木市の図書館の在り方」について 図書館サービス（利用者・資料・施設）の現状とあるべき姿 ・栃木市読書活動推進計画（案）について

(2)　自主事業

ア　幼児・児童向け事業

(ｱ) 栃木市図書館各館事業

a　定期事業

開催館	内容	頻度	参加者（人）
栃木	おはなし広場 出演：りんごの会	月2回 開催24回	273 （子129・大144）
	出張えほんデビュー 出演：図書館スタッフ	月1回 開催12回	55（子26・大29）
	こども映画会 共催：下都賀地区視聴覚ライブラリー	開催3回	81（子41・大40）
	親子で楽しむ映画会	開催3回	51（子27・大24）

	主催：下都賀地区視聴覚ライブラリー		
大平	おはなししゃぼんだまの絵本の読み聞かせ 出演：おはなししゃぼんだま	月 3 回 開催 34 回	335 （子 183・大 152）
	図書館スタッフによるおはなし会	月 1 回 開催 11 回	82（子 48・大 34）
	大平西小おはなし会	開催 6 回	331（子 309・子 22）
藤岡	おはなし会・工作教室 出演：ふじおかおはなし会コロポックル	月 2 回 開催 23 回	123 （子 65・大 58）
	図書館スタッフによるおはなし会	開催 11 回	5（子 2・大 3）
都賀	図書館スタッフによるおはなし会	開催 6 回	83（子 54・大 29）
	おもちゃのひろば	開催 6 回	45（子 29・大 16）
西方	おはなし☆きららのおはなし会 出演：おはなし☆きらら	開催 5 回	30（子 18・大 12）
	図書館スタッフのおはなし会	開催 6 回	17（子 9・大 8）
	TOCHICO リサイクルでおはなし会	開催 7 回	57（子 30・大 27）
岩舟	おはなし会 出演：あきの会、「あのね…」の会、 いわふねおはなしキャラバン、虹の会	開催 12 回	80（子 37・大 43）
	スタッフおはなし会	開催 9 回	58（子 30・大 28）

b　単発事業

開催館	開催日	内容	参加者（人）
栃木	6月16日（日）	夏まで待てないりんごのおはなし会 出演：りんごの会・きゃべつ村	29 （子 13・大 16）
大平	全3回	冒険遊び場ネズミもちパーク 4月27日　出張おはなし会 7月13日　出張おはなし会 11月23日　出張おはなし会	 15 10 10
	全3回	工作教室（スタッフ） 9月14日　敬老の日「シェイカーカードを作ろう」（2回実施） 11月16日　クリスマスランタンを作ろう！ 12月21日　「天使のベル」	18 17 28
	12月21日（土）	大平図書館クリスマス会 出演：ヒマジニア他	45（子17・大28）
	1月13日（月）	スペシャルサイエンススクール出張展示 主催：生涯学習課	4
	3月23日（土）	子ども生け花教室 講師：椎名真実氏	11（子8・大3）
	3月22日（日）	子ども映画会	11（子5・大6）

藤岡	全2回	こども映画会 1月13日　「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」 3月23日　「がんばれルルロロ」	 10（子5・大5） 5（子3・大2）
	全4回	親子工作教室 5月3日　フラワーアレンジメント教室 講師：ふらわあしょっぷモアミ 6月16日　新波提灯の絵付け教室 講師：田中提灯店 2月24日　フェイクスイーツ教室 講師：小松君枝氏 3月20日　ダンボールクラフト教室 講師：本田技研工業株式会社社会活動推進センター	 15（子12・大3） 22（子14・大8） 36（子19・大17） 42（子24・大18）
	12月8日（日）	出張移動図書館＠こどもたんけんフェスティバル in ふじおか	12
	12月24日（日）	クリスマス会 出演：ふじおかおはなし会コロポックル	30（子18・大12）
	全2回	子育て支援センターふじおか 8月20日　出張図書館教室 2月14日　出張図書館タイム「おたのしみ制作」	 19（子11・大8） 12（子6・大6）
都賀	全2回	都賀ライブラリーシネマ　2WEEK映画会 5月11日　「おまえうまそうだな」 5月18日　「かがみの孤城」	 14（子8・大6） 5（子2・大3）
西方	全2回	西方小学校学童教室 8月20日　読み聞かせ会 8月21日　読み聞かせ会	 20（子19・大1） 20（子18・大2）
	全2回	真子夢ホール学童教室 8月27日　読み聞かせ会 1月7日　読み聞かせ会	 15（子12・大3） 10（子8・大2）
	9月29日（日）	にしかたおたのしみ映画会「忍たま乱太郎の宇宙大冒険withコズミックフロントNEXT」	5（子3・大2）
岩舟	10月15日（火） ～10月31日（木）	ハロウィン企画「魔女からの挑戦状！！受けて立とう！ハロウィンクイズ」	44
	12月15日（日）	クリスマス児童向け工作教室 「紙皿とおりがみでリースをつくろう！」	4

（ｲ）　栃木市図書館6館共通事業（栃木、大平、藤岡、都賀、西方、岩舟）

開催日	内容	会場	参加者（人）
通年	夢いっぱい事業 児童参加型イベント（栃木、大平、藤岡、都賀）	各館	－

	フォトスポット（5月まで）・ モビール（藤岡） 館内装飾（西方、岩舟）		
7月上旬	七夕飾り	各館	－
7月下旬 ～8月31日（日）	栃木平和展	全館	－
10月27日（日） ～11月9日（土）	幼児読書感想画展	栃木 大平 西方	75 139 34
3月1日（土）	おおきなおおきなおはなし会	都賀公民館	196（子94・大102）

イ　講座・講演会・特別展示

(ｱ) 栃木市図書館各館事業

開催館	開催日	内容	参加者（人）
栃木	全3回	図書館朗読サロン（4月・5月・6月） 出演：朗読を楽しむ会	109
	全5回	昔語りの会（4月・5月・11月・12月・3月） 出演：栃木語り部の会	165
	5月3日（金） ～5月6日（月）	三鷹市山本有三記念会出張企画展 協力：（栃木市）山本有三記念会	72
	5月4日（土）	三鷹市山本有三記念会学芸員特別講座 講師：三浦穂高氏 協力：（栃木市）山本有三記念会	35
	7月20日（土）	戦争と平和（戦争について考える朗読会） 協力：栃木図書館友の会他	55
	7月27日（土） ～8月3日（日）	山本有三没後50年記念事業 灰谷健次郎とその世界展	143
	7月28日（日）	山本有三没後50年記念事業 映画『兎の眼』上映会	40
	8月26日（月）	ワンちゃんに本を読んでみる？ 協力：NPO法人とちぎアニマルセラピー協会	33
	12月8日（日）	年忘れ朗読会　協力：栃木図書館友の会他	36
大平	通年	黒板アート（利用者が描いた作品）	49
	5月11日（土）	蔵の街ビブリオバトルin大平 主催：蔵の街ビブリオバトル実行委員会	8
	5月19日（日）	生け花教室　講師：椎名真実氏	8
	5月14日（火） ～5月31日（金）	花いっぱい図書館　ミニフラワー展	－
	6月20日（木）	オレンジカフェブックトーク(ゆうゆうプラザ) 主催：チームオレンジ　STAND BY YOU	16

	全4回	サタデーシネマ 5月18日　「剣樹抄」第1回 6月22日　「剣樹抄」第2回 7月27日　「剣樹抄」第3回 8月31日　「剣樹抄」第4回	 13 5 11 16
	7月20日（土） ～8月31日(日)	栃木シティ応援展示	－
	9月15日（日）	人権ミニフェスタ2024in栃木市連携事業 主催：栃木・真岡人権啓発活動地域ネットワーク協議会	－
	9月26日（木）	認知症普及啓発イベント連携事業 上映作品「私の頭の中の消しゴム」 協力：大平地域包括支援センター	 30
	11月23日（土）	大人の工作教室 「お正月つまみ細工リースをつくろう」	7
	11月26日（火） 11月29日（金）	あったかとちぎ・みんなのつどい ブックトーク（ふるさとふれあい館） 連携：大平地域包括センター ブックトーク(きららの杜とちぎ蔵の街楽習館) 連携：都賀地域包括センター	 25 15
	11月19日(火)～12月8日（日） 12月1日（日） 12月7日（土） 12月8日（日）	大平図書館読書バリアフリー週間 点字付きしおり配付（215枚） マルチメディアデイジー紹介 わいわい文庫お試し貸出 バリアフリー映画上映 「イーちゃんの白い杖」 点字体験講座「さわって感じて心で読もう！」 講師：清水泰子氏（点字の会「どんぐり」） 手話講座「手話で気持ちを伝えよう」 講師：小川光彦氏	 1 17 8
	1月25日（土）	切り絵体験講座　講師：大平切り絵の会	5
	2月7日（金）～3月2日（日）	アレルギーがあってもなくても楽しめる明るい未来プロジェクト 協力：とちぎアレルギーの会	 10
	全15回	大平図書館市民ギャラリー 4月／絵手紙展示 5月／心の中の物語展 5月／ボタニカルアート 6月／パッチワークキルト展	 －

		7月／ジャングリラ～生き物たちのユートピア～展 9月／クレイフラワー作品展 9月／認知症普及啓発活動関連展示 10月／ドライフラワー展～petit fleur（プチ・フルール展） 11月／こども生け花教室作品展 11月～12月／大平図書館読書バリアフリー週間 12月／立体展示型絵本をめぐるヒマジニア 1月／切り絵作品展示 2月／青竹工芸作品展 3月／14ひきのせかい　いわむらかずお特別展	
藤岡	9月14日（土）	こころの健康サポーター養成講座 主催：健康増進課	17
	1月25日（土）	蔵の街ビブリオバトルin藤岡 主催：蔵の街ビブリオバトル実行委員会	6
	全11回	ふじおかギャラリー 4月／藤岡短歌同好会「たんぽぽ」春季作品展 6月／新波提灯作品展 7月／藤岡短歌同好会「たんぽぽ」夏季作品展 7月／ ヨシ作品展 7月～9月／こころの健康サポーター養成研修＆自殺対策強化週間連携展示 10月／アレルギーがあってもなくても明るい未来プロジェクト連携展示 協力：とちぎアレルギーの会 11月／藤岡短歌同好会「たんぽぽ」秋季作品展 12月／部屋小学校4年生図画工作展 「本から物語が飛び大して来た！？」 1月／藤岡短歌同好会「たんぽぽ」冬季作品展 1月～2月／フェイクスイーツ工房 Ki＊kone作品展 3月／自殺対策強化月間タペストリー展示	-
都賀	6月6日（日）	アレルギーがあってもなくても楽しめる明るい未来プロジェクト 協力：とちぎアレルギーの会	-
	7月6日（土）	実践！おとなの筆ペン教室 講師：大塚昌峰氏	13
	9月16日（月）～9月19日（木）	フロクジ～雑誌の付録くじ～	102

	2月25日（火） ～3月9日（日）	14ひきの世界～いわむらかずお展～	－
西方	6月29日（土）	折り紙教教室　季節の伝承折り紙を楽しもう	12
	11月15日（土） 12月10日（土）	あったか・みんなのつどい 認知症関連資料展示・ブックリスト配付 都賀地域包括センターとの連携事業	－
	全4回	公民館ロビー展示 7月2日～7月10日　七夕 9月17日～11月5日　ハロウィン 12月10日～12月26日　クリスマス 2月3日～3月12日　ひなまつりの本	7
	12月14日（土） ～12月24日（火）	ネコ館長のクリスマスプレゼント	180
	1月4日（土） ～1月13日（月）	ネコ館長のおみくじ＆お年玉プレゼント	60
	1月9日（木） ～2月7日（金）	アレルギーがあってもなくても楽しめる明るい未来プロジェクト連携展示 協力：とちぎアレルギーの会	13
岩舟	7月3日（水） ～7月30日（火）	アレルギーがあってもなくても楽しめる明るい未来プロジェクト連携展示 協力：とちぎアレルギーの会	－
	8月4日（日）	本のフィルムかけ講座	2
	12月17日（火） ～12月25日（水）	ミニクリスマスツリープレゼント	115
	1月4日（土） ～1月14日（火）	年の初めのめぐりあい！「本の福袋」2025	32

（ｲ）栃木市図書館共通

a　市民歴史講座

開催館	開催日	内容	参加者（人）
栃木	8月20日（火）	戦争と平和（ヒロシマと栃木市の1945） 協力：栃木図書館友の会他	21
	2月23日（水） ～2月24日（木）	昭和風俗百年　戦前編と戦後編 共催：下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会 協力：栃木図書館友の会	80
大平	3月15日（土）	作家への道～吉屋信子の少女時代　講師：藍田收氏	16
藤岡	10月19日（土）	「発掘あれこれ？ In ふじおか」 講師：尾島忠信氏	18
西方	2月9日（日）	西方城について　講師：初山孝行氏	26
岩舟	11月17日（日）	例幣使街道と岩舟　講師：和久井紀明氏	27

b　図書館資料リサイクル市

開催日	内容	開催館等
5月6日（月）	「とちぎ蚤の市」リサイクル市（一般書・児童書）	蚤の市通り
10月19日（土）	「とちぎ蚤の市」リサイクル市（栃木・都賀） （一般書・児童書）	
11月9日（金） 11月10日（土）	図書・雑誌リサイクル市 （一般書・児童書）	栃　木
6月22日（火） ～6月30日（日）	児童書リサイクル市	大　平
10月26日（土） ～11月17日（日）	雑誌リサイクル市 （期間中の土日に開催）	
第2・第4日曜日	一般書リサイクル市（全24回）	
5月28日（火） ～6月23日（日）	一般書リサイクル市	藤　岡
11月3日（日） ～11月24日（日）	雑誌リサイクル市	
2月7日（金） ～3月23日（日）	児童書リサイクル市	
4月5日（金） ～5月12日（日）	一般書リサイクル市	都　賀
6月4日（火） ～9月1日（日）	児童書・絵本リサイクル市	
7月9日（火） ～8月8日（木）	一般書リサイクル市	
9月3日（火） ～9月20日（金）	雑誌リサイクル市	
10月19日（土） ～11月24日（日）	雑誌と本のリサイクル市	西　方
7月27日（土） ～7月30日（火）	児童書と絵本のリサイクル市	岩　舟
10月26日（土） ～11月5日（日）	雑誌リサイクル市	
10月26日（土） ～11月30日（土）	一般書リサイクル市	

c　夏休み期間児童・生徒向け事業

開催館	開催日	内容	参加者（人）
栃木	7月20日（土）	スズムシ無料配布＆育て方講座 講師：小倉久吾氏・大塚裕氏	45
	7月23日（土）	夏休み書道教室（2日間連続講座）	14

	7月24日（日）	講師：大塚昌峰氏	
	8月8日（木） 8月22日（木）	怪談ナイト 出演：りんごの会	55 49
	8月11日（金）	夏休み読書感想文教室 講師：毛塚辰幸氏	37
	8月22日（木）	にゃんこ館長の落とし物	37
	8月18日（日）～ 8月24日（土）	グループ学習タイム （小中学生のグループ対象）	16
大平	7月20日（日）～ 9月1日（日）	としょかんスタンプラリー	209
	7月21日（日）	工作教室「ジャングルの宝石パタパタちょうちょをつくろう」　講師：後藤真智子氏	33
	7月23日（火）	工作教室「つまみ細工飾りを作ろう」	14
	7月30日（火） 7月31日（水）	夏休み書道教室（2日間連続講座） 講師：大塚昌峰氏	13
	8月3日（土）	読書感想文教室　講師：毛塚辰幸氏	22
	8月4日（日）	スズムシ無料配布＆育て方講座 講師：小倉久吾氏・大塚裕氏	18
	8月17日（土）	工作教室「とびだせ！ロケットをつくろう」	25
	8月24日（土）	親子映画会「すみっコぐらし　青い月夜のまほうのコ」	17
	7月13日（土） ～9月1日（日）	夏休み親子学習室	27
藤岡	7月20日（土） ～9月1日（日）	ワクワク☆スタンプラリー2024	200
	7月28日（日）	ミニよしずづくり体験教室 講師：渡良瀬ヨシ愛好会	13
	8月25日（日）	栃木子ども総合科学館移動科学教室 講師：栃木県子ども総合科学館	18
	7月20日（土） ～9月1日（日）	夏休みこども学習室	25
都賀	7月20日（土） ～8月31日（土）	ツーガのなつやすみ（スタンプラリー）	200
	7月21日（日）	読書感想文書き方教室 講師：毛塚辰幸氏	18
	8月10日（土）	スズムシ無料配布＆育て方講座 講師：小倉久吾氏・大塚裕氏	23
	8月25日（日）	夏休み映画会「日本昔ばなし　番長皿屋敷」	11
西方	7月28日（日）	スズムシ無料配布＆育て方講座	18

		講師：小倉久吾氏・大塚裕氏	
	7月20日（土） ～8月31日（日）	ねこ探偵の図書館クイズチャレンジ	135
	全5回	ゆうやけ♪かみしばい	のべ12
岩舟	7月21日（日）	小学生のための読書感想文書き方教室	5
	7月20日（土） ～8月31日（土）	夏の読書は運まかせ （特製うちわプレゼント）	40

ウ　読書週間関係事業

(ｱ)　こどもの読書週間（4月23日～5月12日）

開催館	内容	参加者（人）
栃木	オリジナル缶バッジプレゼント（4種）	300
大平	マグネットしおりプレゼント（5種）	200
藤岡	ガチャガチャフェスティバル（豆本ストラップ入り）	200
都賀	オリジナルカードケースプレゼント	200
西方	マグネットしおりプレゼント	100
岩舟	オリジナルしおりプレゼント	100

(ｲ)　読書週間（10月27日～11月9日）

開催館	内容	参加者（人）
栃木	しっぽしおりプレゼント（児童向け）	400
	旅するブックカバープレゼント（YA向け）	100
	文豪著作しおり（一般向け）	450
	パスポートみたいな大人の読書ノートプレゼント	100
大平	オリジナル定規プレゼント	200
	大平地域小学生のおすすめ本ブックツリー	－
	名前をつけてネ！大平図書館新キャラクターお名前募集！	93
	読書週間スタンプラリー（雑誌付録プレゼント）	108
藤岡	読んで、もらえる！秋の雑誌付録フェア	50
西方	ブックカバープレゼント（4種）	150
岩舟	オリジナルしおりプレゼント（一般向け200、児童向け100）	300

エ　栃木市図書館市民フェスタ

開催館	内容	参加者（人）
栃木		
11月9日（土）	摺？～浮世絵体験入門～　講師：栃木市立美術館	10
	映画会＆工作教室～紙ねんどでパンのマグネットを つくろう！　参加：とちまるくん	35
	いっしょにおいしいもの食べよ「しふぉん主義」 （とちぎアレルギーの会タイアップ物品販売）	34
11月10日（日）	映画会＆工作教室～紙ねんどでパンのマグネットを つくろう！　参加：とち介	34

	いっしょにおいしいもの食べよ「ton_ken_pan」 （とちぎアレルギーの会タイアップ物品販売） 消防車がやってくる　協力：栃木市消防本部 （両日開催）本と雑誌のリサイクル市	34 75 -
大平 10月26日（土） 10月27日（日）	保護フィルムがけ講座 英字新聞でエコバッグをつくろう VR防災体験車にのってみよう 協力：栃木市消防署大平分署 空気で遊ぼう＆プラトンボ工作 講師：栃木県こども総合科学館 リボン工作　講師：岡田真由美氏 ワークショップドライフラワーをアレンジしてみよう 講師：鯨井委子	 2 7 71 21 25 17 28
藤岡 11月4日（月）	にんぎょうげき「一本歯のげた」他 　出演：ふじおかおはなし会コロポックル 「香害ってなんだろう？」＆ アロマクラフト教室「オリジナル柔軟剤作り」 　講師：Healthy_Life_Instructor_竹節廣子氏 ギフト～絵本の福袋 雑誌リサイクル市（11/24まで）	 24 14 25
西方 10月19日（土） ～10月20日（日）	ぬいぐるみのおとまり会（両日開催） はずれなし！にしかたスーパーくじ 雑誌と本のリサイクル市（11/24まで）	 5 69
岩舟 10月26日（土） 10月27日（日）	ふろくじ（両日開催） おはなしカーニバル 出演：あのねの会、いわふねおはなしキャラバン、虹の会 一般書リサイクル市（11月30日まで） 雑誌リサイクル市（11月3日まで）	 48 37 - -

オ　展示企画　テーマ毎に資料を展示し、来館者が自由に閲覧・貸出できる形式の企画
自殺対策強化月間啓発展示【栃木／3月】ほか　（単位：回）

	児童向け	YA向け	一般向け	視聴覚
栃　木	40	5	35	－
大　平	35	7	36	－
藤　岡	31	5	20	6
都　賀	22	2	14	4
西　方	25	2	31	－
岩　舟	22	2	32	－

カ　配付型企画　図書館が（しおり、小冊子、缶バッジ等）を来館者に配る形式の企画
としょかんからのクリスマスプレゼント【栃木／12月】ほか　（単位：回）

	児童向け	一般向け		児童向け	一般向け
栃　木	1	1	大　平	3	2
藤　岡	2	－	都　賀	1	2
西　方	2	1	岩　舟	2	2

キ　参加型企画　図書館スタンプラリー等利用者が参加できる企画
絵馬に願い事を書こう！【栃木／1月】ほか　（単位：回）

	児童向け	一般向け		児童向け	一般向け
栃　木	3	－	大　平	5	2
藤　岡	6	－	都　賀	3	－
西　方	16	－	岩　舟	4	－

ク　その他

(ｱ) 栃木図書館

とち介グッズ、山本有三記念会グッズ販売

(ｲ) 大平図書館

とち介グッズ・山本有三記念会グッズ販売

(3) その他の事業

ア　広報活動

(ｱ) 栃木市図書館6館共通（栃木、大平、藤岡、都賀、西方、岩舟）

・栃木市図書館通信「あじさい」発行（毎月発行）
・「小・中学生向け図書館だより」の発行（夏号・冬号）
・広報とちぎへの記事掲載「図書館コーナー」（通年）
・ホームページによる広報活動
・ＦＭくらら857「出前図書館」出演（「とち介PのHAPPYTOWN」内コーナー）
・イベントに合わせた広報活動（各図書館）
・児童向け「としょかんだより」発行（各図書館）

(ｲ) 栃木図書館

・ヤングアダルト向けフリーペーパー発行
・移動図書館利用者用フリーペーパー発行

イ　施設見学（人数は引率者を含む）

館　名	施設見学		職場体験学習		インターンシップ	
栃　木	11件	514人	6件	30人	2件	2 人
大　平	4件	231人	3件	12人	1件	1人
藤　岡	5件	118人	1件	3人	－	－
都　賀	3件	68人	1件	2人	－	－
西　方	3件	57人	－	－	－	－
岩　舟	1件	8人	－	－	－	－

ウ　その他

（ｱ）図書館6館共通

a　「あかちゃんタイム」あかちゃんが泣いたり、幼児が声を出したりしても温かく見守りましょう!と、乳幼児と保護者に気兼ねなく図書館を利用してもらう時間

栃木図書館　　毎週木曜日　10:30～12:00

大平図書館　　毎週金曜日　10:30～12:00

藤岡図書館　　毎週火曜日から金曜日　10:30～12:00

都賀図書館（図書館都賀館）　毎週金曜日　10:30～12:00

図書館西方館　毎週木曜日　10:30～12:00

図書館岩舟館　毎週火曜日から金曜日　10:30～12:00

b　読書ノートの配布／2024年度配布数 278冊

c　スタッフが選んだ「こどもたちにおすすめの本」配布

・4,5歳児/6,7歳児（低学年）編

・中高学年編

d　ハッピー子育て講座（生涯学習課主催）への協力（9/18　国府南小学校）

e　「夢いっぱい」事業（来館が楽しくなる館内装飾やコーナーの設置）

f　「動く図書館」事業

・地域内の保育園及び認定こども園並びに小・中学校へ図書の配達・回収

・地域内の子ども食堂開催時に図書の配達・回収（大平・藤岡）

g　夏季休業期間の小中学生向け学習スペース設置（栃木・大平・藤岡）

h　図書室出張展示（地域内の小・中学校で図書館蔵書の展示）

i　学校や施設等で行うアウトリーチおはなし会（栃木・大平・藤岡・都賀・西方）

（ｲ）栃木図書館

a　移動図書館（移動図書館車あじさい号）

／巡回ステーション21か所、学校11校（臨時運行含）

b　絵本・児童書配本事業／巡回施設4か所

c　訪問（出前）授業／市内小学校2校（吹上・国府北小学校）

d　健康増進課事業への協力（にこにこ教室、だっこだっこ絵本事業）

（ｳ）大平図書館

a　読書バリアフリー事業

・障がい者支援、サピエ図書館、大平図書館読書バリアフリー週間の開催

b　健康増進課事業への協力（だっこだっこ絵本事業）

(4)　資料の所蔵状況

ア　図書資料　（単位：点）

分　類	栃　木	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
総　記	14,187	4,390	1,811	1,006	479	728	22,601
哲　学	11,628	6,792	1,517	748	977	880	22,542
歴　史	28,393	13,974	4,813	3,286	1,211	2,265	53,942
社会科学	38,187	20,579	4,724	3,400	1,677	2,411	70,978
自然科学	18,852	12,288	3,582	3,790	1,919	2,677	43,108
技　術	18,325	12,028	4,152	3,754	2,411	2,244	42,914
産　業	8,015	5,936	1,596	1,475	776	888	18,686
芸　術	24,481	14,801	7,283	4,113	2,195	2,523	55,396
言　語	6,136	4,157	1,150	783	377	596	13,199
文　学	112,482	47,830	21,861	18,956	7,968	16,265	225,362
郷土資料	15,404	6,208	4,000	4,237	1,055	2,609	33,513
その他	20,411	17,465	7,994	7,311	5,156	7,176	65,513
合　計	316,501	166,448	64,483	52,859	26,201	41,262	667,754

イ　視聴覚資料　（単位：点）

分　類	栃　木	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
Ｃ　Ｄ	10,476	14,049	4,195	2,080	17	12	30,829
カセットテープ	396	1,842	－	－	－	－	2,238
レコード	508	938	－	－	－	－	1,446
ＤＶＤ	3,810	1,515	83	455	7	－	5,870
ビデオテープ	2,115	1,241	7	11	－	－	3,374
レーザーディスク	－	－	－	2	－	－	2
CD-ROM	107	32	71	74	1	－	285
DVD-ROM	206	140	71	108	－	－	525
その他	－	3	－	－	－	－	3
合　計	17,618	19,760	4,427	2,730	25	12	44,572

※視聴覚資料の「その他」は読むことが困難な人々を支援するデジタル録音図書

ウ　逐次刊行物　（単位：種）

館　名	新　聞		雑　誌		合　計
	購　入	寄　贈	購　入	寄　贈	
栃　木	15	10	155	67	247
大　平	10	2	115	4	131
藤　岡	6	0	55	0	61
都　賀	6	－	48	1	55
西　方	5	－	28	－	33
岩　舟	4	－	30	－	34
合　計	46	12	431	72	561

(5)　貸出状況

	栃　木	移動図書館	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
開館日数(日)	309	178	315	315	193	317	317	1,944
巡回回数(回)	－	616	－	－	－	－	－	616
貸出人数(人)	84,215	5,618	37,498	12,439	7,961	6,573	6,750	161,054
1日平均(人)	273	32	119	39	41	21	21	546
貸出点数(点)	424,188	16,325	191,063	78,845	46,911	37,425	33,018	827,775
1日平均(点)	1,373	92	607	250	243	118	104	2,787

(6)　利用者登録状況

ア　新規利用者登録数

	栃　木	移動図書館	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
個人(人)	943	4	368	147	103	65	118	1,748
団体	2	－	2	2	0	1	1	8

イ　年齢別利用者登録状況　　(単位：人)

年齢	栃　木	移動図書館	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
～ 6	178	1	159	78	48	12	16	492
7～12	1,773	19	1,236	496	359	248	373	4,504
13～15	1,064	7	745	307	311	128	176	2,738
16～18	1,254	42	780	355	340	132	135	3,038
19～22	1,881	62	1,102	451	428	132	186	4,242
23～29	4,199	126	2,030	881	739	74	220	8,269
30～39	9,421	254	3,554	1,703	1,035	77	161	16,205
40～49	15,649	686	4,631	1,402	896	141	269	23,674
50～59	16,410	234	3,774	1,049	852	92	176	22,587
60 ～	21,713	1,084	7,021	2,353	1,401	293	443	34,308
団体	189	－	63	75	23	7	15	372
合計	73,731	2,515	25,095	9,150	6,432	1,336	2,170	120,429

(7)　各種利用状況

ア　予約・リクエスト件数　(インターネットでは予約のみの受付)　　(単位：件)

	栃　木 (移動図書館含む)	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	合　計
予約	15,625	5,323	1,826	1,033	1,098	1,010	82,301	108,216
ﾘｸｴｽﾄ	2,903	133	129	131	142	123	－	3,561
合計	18,528	5,456	1,955	1,164	1,240	1,133	82,301	111,777

イ　レファレンス件数(レファレンス＝利用者からの相談や、調査の支援)　(単位：件)

	栃　木 (移動図書館含む)	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
来館	11,587	5,083	988	1,360	1,105	787	20,910
電話	424	148	63	55	243	63	996
合計	12,011	5,231	1,051	1,415	1,348	850	21,906

ウ　読書室・キャレルデスク利用件数　(単位：件)

栃　木		大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
読書室	ｷｬﾚﾙﾃﾞｽｸ	ﾚﾌｧﾚﾝｽ室	学習室	学習 スペース	学習室	学習・ 読書ｺｰﾅｰ	
10,801	6,547	9,225	2,841	1,977	451	1,695	33,537

※キャレルデスク＝調査研究用個人机

エ　コピー利用件数

	栃　木	大　平	藤　岡	都　賀	西　方	岩　舟	合　計
件数(件)	897	216	52	18	20	31	1,234
枚数(枚)	5,984	1,066	340	72	38	150	7,650

8　視聴覚ライブラリー

(1)　財産の取得状況及び保有状況

ア　購入視聴覚教材

No.	タイトル	種類	映写時間(分)
1	大切なひと	ＤＶＤ	34
2	多様性の芽をはぐくむ①人種・国籍	ＤＶＤ	12
3	多様性の芽をはぐくむ②ＧＢＴＱ＋	ＤＶＤ	12
4	多様性の芽をはぐくむ③障害	ＤＶＤ	16
5	うみとりくのからだのはなし	ＤＶＤ	16
6	灰色の青空	ＤＶＤ	22
7	ためらわずに避難を！ 水害から命を守る備えと避難行動	ＤＶＤ	27
8	みずものがたり	ＤＶＤ	25
9	日本の名作童話１	ＤＶＤ	60

イ　視聴覚教材保有状況

・16ミリフィルム　483作品

・ビデオテープ　745作品

・ＤＶＤ　261作品

(2)　教材作品利用状況

ア　視聴者層別人数　（単位：人）

対象／種別	成人(男)	成人(女)	青年	高校生	小中学生	PTA	高齢者	その他	計
16ミリフィルム	113	252	1	4	172	0	102	2	646
ビデオテープ	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ＤＶＤ	372	776	1	21	5,510	0	123	529	7,332
計	485	1,028	2	25	5,682	0	225	531	7,978

イ　団体別利用本数　（単位：本）

団体／種別	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校等	認定こども園・保育園	子ども会・育成会	児童施設	ボランティア	PTA	家庭教育学級	女性団体・女性学級	集会所	高齢者	病院施設等	その他	計
16ミリフィルム	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	27	32
ビデオテープ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ＤＶＤ	150	6	0	1	8	20	0	0	0	0	0	0	0	0	126	311
計	150	6	0	1	10	23	0	0	0	0	0	0	0	0	153	343

(3)　その他

下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会の事務局として、16ミリ映写機技術者養成講習会を下記のとおり実施した。

実施日	会　場	修了者数(人)
8月4日(日)	栃木図書館	6

青少年係

1　青少年育成関係

(1)　科学する心を育む推進事業（サイエンススクール）

子どもたちが身近な科学に接することで、その原理を理解しようと自ら考える力を養い、科学技術に対する関心を喚起することを目的として、サイエンススクールを実施した。学校の授業ではなかなか体験できない、日常生活における不思議を科学し、観察や体験活動を通して、子どもたちの科学する心を育むため、小学4年生から6年生を対象(一部親子・一般市民対象)として、下記の事業を実施した。

実　施　日	事　業　名	会　　場	参加人数(人)
7月30日(火)	サイエンススクール in 県立博物館	県立博物館	20
7月31日(水)	未来創造大学	市民交流センター	12
8月 1日(木)	サイエンススクール in パナソニック	市民交流センター	30

8月 9日(金)	サイエンススクール in 戦場ヶ原	日光市戦場ヶ原	20
8月21日(水)	サイエンススクール in 栃工	栃木工業高等学校	11
8月27日(火)	サイエンススクール in 栃木日立理科クラブ	市民交流センター	25
9月 7日(土)	サイエンススクール in 栃農	栃木農業高等学校	11
10月26日(土)	親子でサイエンススクール in 日本工業大学	日本工業大学	34
1月13日(月)	おもしろびっくり！ スペシャルサイエンススショー	大平文化会館･公民館	485

(2) 青少年問題協議会

・理事幹事会、総会の開催
・青少年健全育成講演会の開催(各中学校)
・「家庭の日」推進事業
・青少年対策(心豊かでたくましいとちぎの青少年を育成する県民運動の一環として、青少年の非行・被害防止全国強調月間、子ども・若者育成支援強調月間の推進、とちぎの子ども育成憲章の普及・啓発)
・児童生徒対策(模範児童・生徒の表彰)
・啓発活動(広報とちぎ7月号・11月号・3月号に啓発記事の掲載)

(3) 青少年育成市民会議

次代を担う心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする栃木市青少年育成市民会議及び栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部の活動を支援した。

ア 栃木市青少年育成市民会議

実施日	会　場	内　容	参加人数(人)
2月16日(日)	市民交流センター	合同研修会(市子ども会育成会連絡協議会) 講話 「駄菓子屋楽校の可能性 ～地域の力を活かして～」 講師 栃木地域政策課社会教育指導員 文部科学省ＣＳマイスター 鈴木廣志	25

イ 栃木市青少年育成市民会議とちぎ支部 (敬称略)

実施日	会　場	内　容	参加人数(人)
5月 1日(水)	寺尾中学校	講師派遣事業 講話 「ネット時代の歩き方を考えよう」 講師 合同会社ロジカルキット 下田 太一	30
5月27日(月)	栃木西中学校		430
6月27日(木)	皆川中学校		60
9月10日(火)	寺尾小学校		40

(4) 青少年育成支援事業（とちぎ高校生蔵部）

若者が、様々な体験活動を通してふるさと栃木市への愛着心と社会性を育み、社会参画を推進するため、高校生によるまちづくりボランティアサークル「とちぎ高校生蔵部」の活動支援を行った。

ア　会議

・定例会議　月 2～3 回

イ　イベント等

・栃木市高校生合同文化祭の開催

・栃木散策ガイドマップ の作成

・偶数月第 4 日曜日に「ＦＭくらら 857」にて、「Tochigi high school radio」のパーソナリティーを担当

・各種イベント等の協力

(5)　社会教育団体(青年)の育成

市内青年団体等の連携と協調を図るとともに、社会参画活動を通し、青年の交流とリーダーの育成に努めた。

とちぎユースネットワークの活動

実施日	会　　場	内　　容	参加人数(人)
通年	栃木勤労青少年ホーム	毎月1回 定例会開催	118
5月16日(木)	栃木勤労青少年ホーム	令和６年度　総会	11
12月22日(日)	栃木地域内の家庭	サンタの宅配便(28件訪問)	10

2　青少年育成センター

青少年育成センター活動状況

少年の非行防止と健全育成を期するための街頭補導活動、少年相談業務、啓発広報、有害環境浄化活動等事業の推進に努めた。

(1)　街頭補導の実施

青少年育成センターの街頭補導勤務計画に従い、年間247回、延べ792人の少年補導員等が街頭補導に従事し、323人の少年を不良行為等により補導、青少年の非行防止と健全育成に努めた。

・街頭補導実施状況(栃木市全体)

区　分	回数(回)	少年補導員等(人)
午　前	3	9
午　後	179	538
夜　間	65	245
合　計	247	792

・街頭補導実施結果(栃木市全体)

区　分	現場指導(人)	声掛け(人)	愛の声掛け(人)
午　前	1	0	6
午　後	117	90	7,554
夜　間	48	67	5,743
合　計	166	157	13,303

※現場指導：法令に触れる違反行為

※声掛け：法令違反ではないがマナーに反する行為

※愛の声掛け：非行予防のために行う声掛け活動

(2)　少年相談

青少年育成センターでは随時、少年相談業務を行い、9件の相談を受理し問題解決を図った。

平成19年2月19日より開設した「いじめ相談電話」は、青少年相談員が担当しており、令和6年度の相談件数は0件であった。

ア　少年相談状況(いじめ相談含む)

・相談者別内訳　（単位：件）

区分 / 内容	相談者						
	少年本人	保護者	その他親族	教師	雇主	その他	計
教育相談	0	2	0	5	0	0	7
児童福祉相談	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	2	2
合　計	0	2	0	5	0	2	9
上記のうち電話	0	0	0	5	0	2	7

・相談対象者別内訳　（単位：件）

内訳 / 内容	対象少年								
	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	各種学生	有職者	無職者	計
教育相談	0	0	0	7	0	0	0	0	7
児童福祉相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	1	0	0	0	0	1	2
合　計	0	0	1	7	0	0	0	1	9
上記のうち電話	0	0	1	5	0	0	0	1	7

(3)　有害環境浄化活動

書店等の立入調査を実施し、成人向け雑誌の店内陳列等について指導を行った。また、青少年が利用するスマートフォン等へのフィルタリングの定着を図るため、携帯電話販売店への立入調査を実施し、指導を行った。

・栃木県青少年健全育成条例に基づく立入調査

立入調査対象区分	調査箇所数(件)
図書類取扱業者(書店、コンビニエンスストア等)	4
がん具類取扱業者(がん具店、銃砲店等)	0
自動販売機(雑誌、ＤＶＤ等)	1
深夜立入制限施設(カラオケ、ボウリング場等)	1
複合カフェ(マンガ喫茶、インターネットカフェ)	0
携帯電話等販売店	2
合　計	8

(4)　広報、啓発等

7月に「青少年の非行・被害防止全国強調月間」、11月に「子ども・若者育成支援強調月間」の広報啓発のため、立看板を栃木駅等12か所に掲出し、周知を図った。

また、市ＨＰ及び広報とちぎへの掲載による広報啓発を行った。

(5)　少年補導員研修会

少年補導員の補導技術及び知識の向上を図るため、研修会を開催した。

実施日	会　　場	内　　容
5月16日(木)	栃木市役所	内容　違反広告物除却活動要領について 講師　市都市計画課　吉田容子、石川陽一
6月13日(木)	栃木市役所	新任補導員研修会
9月～10月	栃木市役所	補導班ごとにネットいじめに関するＤＶＤ視聴
9月30日(月)	赤城少年院	視察研修 内容　少年院における矯正教育について

(6)　青少年育成センター運営協議会の開催

青少年育成センターの運営について審議するために運営協議会を開催した。

・開 催 日　6月3日(月)
・会　　場　栃木市役所
・内　　容　会長・副会長の選任について
　　令和5年度青少年育成センター運営報告
　　令和6年度青少年育成センター運営計画
・出席人数　9人

第６節　文化課

〔総括概要〕

文化課の主な分掌事務は、文化振興関係事業及び文化財関係事業である。

文化振興関係では、本市の文化芸術の基本的な考えを示し、体系的な施策の展開を図るため策定した栃木市文化振興計画に基づき、市民及び学識経験者による推進懇談会を組織し推進を図るとともに、文化振興推進制度における施策を実施した。また、俳句を通して小中学生の豊かな心を育むとともに、本市出身の文豪・山本有三の業績を顕彰し、生きる力を身につけてもらうことを目的に、第34回山本有三記念「路傍の石」俳句大会を実施した。更に、各種文化団体が開催する展覧会・演奏会等の後援等を行い、その活動を支援した。文化会館については、指定管理者による参加型・鑑賞型事業や市内小中学校への派遣事業の実施により文化芸術の振興に努めるとともに、効率的な会館運営を行った。また、栃木文化会館を今後、中長期的に使用するための施設改修については、令和4年度実施の建物及び設備の劣化状況調査を基に整備基本計画を策定し、大規模改修基本設計を行った。

文化財関係では、近年増加傾向にある埋蔵文化財包蔵地における開発行為に対し随時工事立会や確認調査を実施し、開発者に対し適切な指導を行うことで埋蔵文化財の保全に努めた。また、地域の貴重な文化遺産の保存活用のため、文化財保護審議会委員の立会のもと、指定文化財等の修繕に係る現地指導等を行った。西方城跡については令和6年10月11日に国の史跡に指定され、その普及・啓発のため、蔵の街市民ギャラリーにおける企画展、現地説明会、歴史講座等を実施し、西方城跡の魅力発信やこれまでの調査成果について発表を行った。新たな事業として、文化財の保存・活用に関するマスタープラン兼アクションプランとなる栃木市文化財保存活用地域計画の作成を進め、法定協議会の設置・開催、文化財所有者アンケートの実施及び市民ワークショップの開催等を行った。資料館等の施設に関しては、収蔵品や資料を整理するとともに管理運営を適切に行った。

文化振興係

1　文化振興関係

(1)　栃木市文化振興計画の推進

本市が目指すべき文化芸術等の方向性を明らかにし、豊かな心を育む文化の継承・発展のために策定した「第2期栃木市文化振興計画」の推進を図った。

ア　文化振興計画推進懇談会

栃木市文化振興計画を市民協働により計画的かつ継続的に推進するに当たり、学識経験者、文化芸術関係団体や社会教育団体の代表者、公募委員等により構成する

推進懇談会を設置し、計画に掲げる施策の取組状況を検証し、改善策や今後の在り方、方向性などに関する意見を求めた。

・開催回数　1回

(2)　文化振興推進制度

地域に根ざした個性豊かな文化を継承するとともに、それを更に発展させ、市民協働による「文教・文化都市」を目指すための制度を推進した。

ア　栃木市文化大使（委嘱者数8人）

本市の文人若しくは墨客又は歴史、文化遺産等について造詣が深く専門的な助言や講話ができる、本市と縁のある方を文化大使として委嘱し、本市の文化面の魅力を情報発信するとともに、文化的遺産や文化活動に対して助言、指導をいただくことにより本市における文化振興を図った。

・市事業等への支援状況

特別職非常勤職員（市立美術館長）　1人

審議会委員等　5人、講演会講師等　1人

イ　栃木市文化マイスター（認定数：39団体、個人29人）

本市の文化面の各分野で調査研究・活動を重ねている団体や個人に申請していただき、文化マイスターの称号を授与し、自身の活動の励みとしてもらうとともに市や地域の各種事業等へ支援、協力をいただくことにより、本市の文化を伝え広め文化振興を図った。

・活動状況　　公民館等事業　31回、文化課受付分事業　5回

ウ　とちぎ文化講座の実施

本市における文化振興を図るため、本市の歴史や文化を様々な角度から学ぶ機会を創設し、地域への理解と愛着を深めることを目的として文化講座を開催した。

講座名	講師	実施日	参加者数(人)
栃木県方言にみる食べものことば ―〈しもつかれ〉を中心に―	新井小枝子	9月19日（木）	39
江戸時代後期以降の栃木町と醤油製造の可能性を考える	鯉沼美沙	10月3日（木）	33
栃木県内唯一「嘉右衛門町伝統的建造物群保存地区」を知ろう	栃木幸夫 石本俊光	10月17日(木)	30
真名子地域と八百比丘尼伝説	中村良一 荻原けい子	10月24日(木)	33
野州麻の生産から見る栃木の産業	篠﨑茂雄	11月14日(木)	31
藺草（いぐさ）の生産から見る栃木の産業	平野哲也	11月25日(月)	29

(3)　栃木市ふるさと文化振興基金

本市の多くの優れた文化遺産を守り、豊かな芸術文化を育むため、栃木市ふるさと文化振興基金を設置し、寄附金等を積み立て、文化振興関係事業費に充てている。

栃木市ふるさと文化振興基金状況

・寄附件数　　679件

内訳　栃木市ふるさと応援寄附金　677件

栃木市ふるさと文化振興基金寄附金　2件

（単位：円）

栃木市ふるさと応援寄附金	16,333,000
栃木市ふるさと文化振興基金寄附金	1,100,000
基金利子	5,595
計（A）	17,438,595
繰出金 ※	△13,807,200
計（B）	△13,807,200
小計（A＋B）	3,631,395
前年度基金額（C）	52,185,601
基金合計（A＋B＋C）	55,816,996

※繰出先：栃木文化会館施設整備事業費

文化会館施設改修事業費

美術館作品収集事業費

田中一村顕彰事業費

(4)　第34回山本有三記念「路傍の石」俳句大会

俳句を通して小中学生の豊かな心を育むとともに、本市出身の文豪山本有三の業績を顕彰し、生きる力を身につけてもらうことを目的として、栃木県内及び友好親善都市である北海道滝川市の小中学校の児童生徒を対象に実施した。

・栃木市、栃木市教育委員会、栃木市俳句協会及び特定非営利活動法人山本有三記念会の共催

・応募総数　6,427句

期　日	場　所	内　容
6月中旬～9月6日（金）	－	作品募集
9月上旬～10月上旬	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	20人の審査員による審査（第1次、第2次、本選、最終）
11月24日（日）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）	表彰式・子ども俳句教室

(5)　その他の芸術・文化振興関係事業

ア　後援関係

各種文化団体の開催する展覧会､演奏会､発表会等を後援した。

イ　県立博物館等の宣伝等

県立博物館やその他の施設からの催物パンフレット・ポスター等の配布・掲示及

び広報紙への掲載を行った。

ウ　栃木市文化活動協議会

加盟する文化活動団体及び個人を支援し、相互の連携強化と親睦融和を図るとともに、市民文化の振興を図った。

実　施　日	事　　業　　名	会　　場	参加者数 (参加団体数)
4月30日（火）	第1回理事会	市役所正庁	28人
6月25日（火）	総会	市役所正庁	48人
9月25日（水）	第2回理事会	市役所正庁	29人
9月28日（土） ～12月8日（日）	各支部文化祭	各文化会館 及び各公民館	277団体
3月8日（土）～9日（日）	とちぎ文化のつどい	とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）	34団体
3月26日（水）	第3回理事会	市役所正庁	24人

エ　第48回栃木県文化振興大会

・実施日　1月31日（金）

・場　所　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

・内　容　「地域文化の振興を目指して」のテーマのもと、県文化協会や県とともに本市教育委員会及び文化協会等が主催者となり、ウェルカムコンサート、記念式典、アトラクション、作品展等を行った。県内市町から、955人が来場した。

2　文化会館関係

(1)　栃木市文化会館運営委員会会議

実　施　日	審　　議　　事　　項
6月24日（月）	・委員長及び副委員長の互選 ・令和5年度実績報告について ・令和6年度事業計画について ・文化会館の工事に伴う休館について（岩舟・栃木）
10月22日（火）	・栃木市文化会館への要望・質問について ・栃木文化会館大規模改修について （栃木市文化会館利用者懇談会全体会と合同開催）
3月17日（月）	・令和6年度利用・修繕状況について ・令和6年度主催事業開催状況について ・令和7年度主催事業計画（案）について ・令和6年度文化会館アンケート結果について

(2)　とちぎ岩下の新生姜ホール（栃木文化会館）

ア　主催事業関係

事　業　名	実　施　日　等	入　場　料	入場者数(人)
参加型事業 ピアノ開放デー「わくわく！ ピアノ！」(ベーゼンドルファー)	5月19日(日) 午前の部：午前10時開演 午後の部：午後1時開演 会場：小ホール	無料	参加59 観覧194
鑑賞事業 純烈ライブ2024 ～貴方と共に～	6月15日(土) 1回目　13時開演 2回目　16時開演 会場：大ホール	6,000円 ※未就学児童 入場不可	① 773 ② 573
鑑賞事業 林部智史CONCERT TOUR 2024 ∞歌で編む無限の物語∞	6月30日（日）16時開演 会場：大ホール	8,800円 ※未就学児童 入場不可	800
鑑賞事業 八神純子 キミの街へ2024 ～Share the moment with you～	8月25日（日）16時30分開演 会場：大ホール	7,000円 ※未就学児童 入場不可	542
参加型事業 TBSこども音楽コンクール	9月 15日(日)11時開演 会場：大ホール	無料	578
鑑賞型事業 ウルトラ6兄弟 THE LIVE ウルトラマン編 ～小さな勇気と絆の力～	10月6日（日） 1回目　11時30分開演 2回目　14時30分開演 会場：大ホール	3歳以上 3,300円 セット券（4名） 12,000円	① 769 ② 708
鑑賞型事業 ORANGE RANGE LIVE TOUR 024 ～タコス DE ピタゴラス ～	11月23日（土・祝） 17時開演 会場：大ホール	6,500円	1,138

創造事業 とちぎ演劇ワークショップ 「リーディングの時間」	12月14日（土）、15日（日）、 22日（日）、1月5日（日）、 13日（月・祝） 会場：諸室	参加料5,000円	23
地域振興事業 ゆかりのアーティストシリーズ チェロ＆ピアノと楽しむ冬の名 曲コンサート2024	12月15日（日） 午後3時30分開演 会場：小ホール	一般 1,000円 高校生以下 500円	256
参加型事業 ピアノ開放デー「わくわく！ ピアノ！」（スタインウェイ）	1月26日（日） 第一部：午前10時開演 第二部：午後1時開演 第三部：午後3時開演 会場：大ホール	無料	参加54 観覧139
地域振興事業 古楽器レクチャーコンサート 「ピアノのむかしのそのむかし」	2月15日（土） 午後3時開演 会場：展示室	一般 500円 高校生以下無料	109
鑑賞事業 とちぎシネマ倶楽部10周年記念 「九十歳。何がめでたい」	3月2日（日） 1回目：午前10時30分開演 2回目：午後2時開演 会場：大ホール	500円	①721 ②578
鑑賞事業 さかはし矢波＆東京SDGｓ 吹奏楽団特別演奏会	3月16日（日） 午後3時開演 会場：大ホール	一般 3,000円 高校生以下 2,000円	447
地域振興事業 中学校アウトリーチ	6月14日（金） 会場：栃木南中学校 音楽の贈り物（飯塚美由紀他 ３名）ソプラノ、ヴァイオリ ン、クラリネット、ピアノに よる室内楽	無料	262

地域振興事業 中学校アウトリーチ	6月19日（水） 会場：大平南中学校 「Bamboo Brass Quartetto」 （速水力（トランペット）、原進（トランペット）、堀恭子（トロンボーン）、秋裕一郎（バストロンボーン））	無料	508
	10月11日（金） 会場：藤岡中学校 「Bamboo Brass Quartetto」 （金子敦則（トランペット）、原進（トランペット）、堀恭子（トロンボーン）、秋裕一郎（バストロンボーン））		334
	11月14日（木） 会場：寺尾中学校 「Bamboo Brass Quartetto」 （金子敦則（トランペット）、原進（トランペット）、堀恭子（トロンボーン）、田村和久（バストロンボーン））		47
	11月15日（金） 会場：吹上中学校 「Bamboo Brass Quartetto」 （金子敦則（トランペット）、原進（トランペット）、堀恭子（トロンボーン）、田村和久（バストロンボーン））		257

地域振興事業 中学校アウトリーチ	11月21日（木） 会場：皆川中学校 渡辺美輪子(サックス四重奏)	無料	70
	12月2日（月） 会場：岩舟中学校 マレットリード・トリオ（飯塚美由紀他2名）クラリネット、打楽器、ピアノ アンサンブル		357
	12月5日（木） 会場：栃木東中学校 渡辺美輪子(サックス四重奏)		311
	12月16日（月） 会場：栃木東陽中学校 「Bamboo Brass Quartetto」（金子敦則（トランペット）、原進（トランペット）、堀恭子（トロンボーン）、秋裕一郎（バストロンボーン））		565

地域振興事業 中学校アウトリーチ	2月25日（火） 会場：栃木西中学校 「Bamboo Brass Quartetto」 （金子敦則（トランペット）、原進（トランペット）、堀恭子（トロンボーン）、秋裕一郎（バストロンボーン））	無料	471

イ　貸館事業関係　　（単位：人）

月	大ホール	小ホール	展示室	大会議室	会議室	和室	応接室	第一練習室	第二練習室	合計
4	4,109	2,721	626	1,251	280	60	28	310	52	9,437
5	4,660	2,181	1,079	717	221	160	54	324	196	9,592
6	9,813	1,996	1,702	685	323	8	55	181	36	14,799
7	8,550	1,054	1,134	1,416	353	193	80	295	73	13,148
8	6,053	1,465	474	509	284	62	35	288	138	9,308
9	9,708	3,391	1,703	590	380	48	47	391	143	16,401
10	5,559	3,572	2,332	1,391	698	592	30	765	159	15,098
11	6,034	2,538	1,201	901	266	151	81	336	198	11,706
12	6,241	1,502	1,736	803	351	48	43	303	61	11,088
1	2,739	1,095	2,129	1,237	220	229	14	180	136	7,979
2	2,115	1,935	2,404	1,150	217	20	28	216	158	8,243
3	8,381	1,882	1,722	940	247	237	79	765	257	14,510
合計	73,962	25,332	18,242	11,590	3,840	1,808	574	4,354	1,607	141,309
月平均	6,164	2,111	1,520	966	320	151	48	363	134	11,776

(3)　大平文化会館

ア　主催事業関係

事　業　名	実　施　日　等	入　場　料	入場者数(人)
参加型事業 ホールたんけんツアーin 大平文化会館	8月10日（土） 午前10時～11時30分 会場：中ホール他	無料	14
参加型事業 ピアノ開放デー「わくわく！ピアノ！」（ベーゼンドルファー）	9月8日（日） 第一部：午前10時開演 第二部：午後1時開演 第三部：午後3時開演 会場：中ホール	無料	参加29 観覧53

鑑賞事業 ティータイムコンサート	① 11月26日（火） 午後2時30分開演 会場：ロビー トリオカンタービレ（ソプラノヴォーカル・ピアノ） ② 3月27日（木） 午後2時30分開演 会場：ロビー 秋山リサ（ヴォーカル）、Yukari Ariel（ピアノ）	無料	①66 ②75
地域振興 市内連携プロジェクトワークショップ 「とちぎアートコネクト」 ～合唱でつながる青少年交流･育成プログラム～	10月19日（土）、 11月4日（月・祝）、 17日（日）、30日（土） 全4回 10月19日、11月17日はきららの杜とちぎ蔵の街楽習館 11月4日は栃木	参加費 4,000円	参加者25
地域振興 市内連携プロジェクト 「とちぎアートコネクト」 ～合唱でつながる青少年交流･育成プログラム～成果発表会	12月1日（日） 午後2時開演 会場：中ホール	無料	138
鑑賞事業 海援隊トーク＆ライブ2024	12月21日（土） 午後4時開演 会場：中ホール	6,000円	624
参加型事業 ロビーコンサート	2月8日（土） 午後2時開演 会場：ロビー	無料	参加7組13 観覧23

イ　貸館事業関係　　（単位：人）

月	中ホール	リハーサル室	展示室	合計
4	1,949	95	0	2,044
5	710	84	155	949
6	1,047	52	0	1,099
7	4,852	47	0	4,899
8	1,959	34	0	1,993
9	2,449	30	365	2,844
10	2,658	160	16	2,834
11	3,479	230	665	4,374
12	3,616	4	70	3,690
1	2,319	18	208	2,545
2	2,014	105	28	2,147
3	3,416	40	80	3,536
合計	30,468	899	1,587	32,954
月平均	2,539	75	132	2,746

(4)　藤岡文化会館

ア　主催事業関係

事　業　名	実　施　日　等	入　場　料	入場者数(人)
参加型事業 ピアノ開放デー「わくわく！ピアノ！」(カワイコンサートグランドピアノ)	7月20日(土)、21日(日) 午前10時～午後5時 会場：中ホール	無料	参加 20日20 21日20
参加型事業 アートワークショップ 「空想の動物 バランスZOO」 ＆展示会	8月18日(日) ワークショップ 午前10時～午後12時30分 8月22日(木)～24日 (土) 作品展示 午前10時～午後4時 会場：多目的ホール	参加費：500円 観　覧：無料	ワークショップ 参加26 観覧41
創造事業 とちぎ演劇ワークショップ 「リーディングの時間」 成果発表会	1月19日（日） 午後2時開演 会場：中ホール	無料	88

鑑賞事業 藤岡文化会館スペシャルプレゼンツ「栃木県警察音楽隊コンサート2025 in 藤岡」	2月2日（日） 午後2時開演 会場：中ホール	無料（要事前申込） ※未就学児童入場不可	663

イ　貸館事業関係　　（単位：人）

月	中ホール	多目的ホール	第1リハーサル室	第2リハーサル室	計
4	0	0	0	0	0
5	273	260	0	0	533
6	1,076	94	0	0	1,170
7	989	0	0	0	989
8	410	61	0	90	561
9	754	0	0	20	774
10	2,652	811	0	0	3,463
11	3,933	2,417	0	0	6,350
12	6,896	867	0	0	7,763
1	2,063	151	0	24	2,238
2	3,159	0	0	0	3,159
3	2,176	0	0	0	2,176
合計	24,381	4,661	0	134	29,176
月平均	2,032	388	0	11	2,431

(5)　岩舟文化会館

令和6年4月から、改修工事のため休館中（令和7年10月再開予定）。

(6)　栃木文化会館施設整備事業

令和4年度に実施した劣化状況調査を基に、改修に関する基本方針や改修項目を盛り込んだ施設整備基本計画を策定した。

また、大規模改修基本設計及び実施設計を業務委託し、令和6年度は基本設計を実施した。

文化財係

1　文化財関係

(1)　市文化財保護審議会関係

開催日	場　所	内　容
4月3日（水）	嘉右衛門町地内	市指定天然記念物「嘉右衛門の欅」枝下ろしに係る現地指導
4月30日（火）	市役所本庁舎	第1回栃木市文化財保護審議会
6月4日（火） 6月5日（水）	古文化財保存修復研究所	県指定有形民俗文化財「とちぎの山車」（倭町三丁目の山車）山車人形の修理状況確認

7月9日（火）	大平町真弓地内	未発見の埋蔵文化財包蔵地の現地確認
7月17日（水）	龍興寺	市指定天然記念物「しだれ桜」の現地確認
7月29日（火）	大中寺（大平町西山田）	市指定建造物「大中寺山門」修理に係る現地指導
7月30日（水）	倭町地内・万町地内	国登録有形文化財「中田家住宅店舗」の改修及び国登録有形文化財「櫻井肥料店主屋」の修理に係る現地指導
8月8日（木）	市役所本庁舎	栃木市文化財保護審議会　第3部会
11月24日（日）	田村町地内	市指定天然記念物「田村町のイチョウ」枝下ろしに係る現地指導
1月29日（水）	とちぎ山車会館・泉町山車倉庫	県指定有形民俗文化財「とちぎの山車」（万町三丁目の山車）及び市指定有形民俗文化財「泉町の山車」の修理に係る現地指導
2月8日（土）	万町地内	未指定文化財「武徳殿」耐震基本計画策定に係る現地指導
2月10日（月）	田村町地内	市指定天然記念物「田村町のイチョウ」枝下ろしに係る現地指導
3月4日（火）	嘉右衛門伝建地区拠点施設「交流館」	第2回栃木市文化財保護審議会

(2)　文化財保護関係

ア　埋蔵文化財

文化財保護法及び栃木県の指導に基づき、公共及び民間団体による土地開発に際し、埋蔵文化財包蔵地の工事立会や確認調査を行った。

・照会件数　　2,104件
・発掘届出件数　　147件（内訳：92条関係 2件、93条関係 123件、94条関係 9件、96条関係 0件、97条関係 0件、99条関係 13件）
・現地立会件数　　57件
・確認調査　　13件
・本調査　　1件

イ　指定文化財

市指定文化財（無形民俗文化財）の修理に対する補助金の交付を行った。

・市指定文化財（無形民俗文化財）「百八灯流し」御神舟修理　463,000円

(3)　資料館関係

ア　下野国庁跡資料館

発掘された実物の瓦、下野国印（推定）、木簡のレプリカ、下野国庁復元模型のほか、槍鉋（やりがんな）等の古代の大工道具等を展示している。

・開館日数　256日
・入館者数　1,123人

イ　栃木市郷土参考館

郷土の産業・教育・日常生活資料、文化財等を展示している。

・開館日数　305日

・入館者数　2,764人

ウ　星野遺跡地層たんけん館・星野遺跡憩の森

星野遺跡のＥトレンチの地層のほか、出土した石器等を展示している。

・開館日数　302日

・イベント開催

石器づくり体験教室

日時：11月16日（土）10時から12時

場所：星野遺跡憩の森

講師：岩宿博物館 小菅将夫氏 及び 岩宿博物館友の会

参加者数：14人

エ　藤岡歴史民俗資料館

篠山貝塚、藤岡神社遺跡、山王寺大桝塚古墳出土遺物、田中正造、旧谷中村等の資料を展示している。施設の老朽化に伴う設備点検実施のため、令和6年8月28日から臨時休館している。

・開館日数　104日

・入館者数　348人

オ　都賀歴史民俗資料館

都賀図書館に併設され、都賀地域の歴史民俗資料を展示していたが、令和6年9月30日をもって閉館した。

・開館日数　163日

・入館者数　450人

カ　西方民俗資料室

西方地域の歴史民俗資料を収蔵している。

キ　おおひら歴史民俗資料館・おおひら郷土資料館「白石家戸長屋敷」

国指定重要文化財の下野七廻り鏡塚古墳出土品を中心に大平地域からの出土遺物等をおおひら歴史民俗資料館にて展示しており、また、江戸時代の大庄屋だった白石家戸長屋敷をおおひら郷土資料館として公開している。

・開館日数　306日

・入館者数　6,956人（内、有料入館者　5,682人）

・工事等

おおひら郷土資料館「白石家戸長屋敷」母屋大玄関屋根修繕工事 1,297,186円

事業名	実施日
戸長屋敷の端午の節句飾り	4月13日（土）～5月26日（日）
戸長屋敷の七夕飾り	6月15日（土）～7月7日（日）
戸長屋敷のお月見飾り	8月24日（土）～10月27日（日）

戸長屋敷のお正月飾り	12月21日（土）～1月19日（日）
戸長屋敷のひな祭り	2月1日（土）～3月9日（日）
風船を使ったランプシェードつくり	8月18日（日）、11月10日（日）
ミニコンサート	7月7日（日）
田村律之助像再建記念公開「紡麦」展	8月10日（土）～9月16日（月）

ク　星野遺跡記念館

星野遺跡発見の歴史や市内における旧石器・縄文時代に関する資料等を展示している。

・開館日数　116日

・入館者数　2,083人

(4)　ふるさとの城郭群再発見事業

西方城跡について、令和6年10月11日に国の史跡に指定されたことを契機として、企画展・現地説明会・歴史講座等のイベントを実施し、西方城跡の魅力やこれまでの調査成果を広く発信した。また、地域の祭りやイベントに参加し、地域住民を対象として普及・啓発を行った。

実施日	場所	内容
12月1日（日）	道の駅にしかた周辺	「ど田舎にしかた祭り」での普及・啓発
1月6日（月）～2月2日（日）	栃木市蔵の街市民ギャラリー	企画展『なんで西方城　なるほど西方城』 来場者数：1,602人
1月12日（日）	西方城跡	現地説明会　参加者数：28人
1月25日（土）	西方城跡	現地説明会　参加者数：50人
1月25日（土）	西方公民館	歴史講座『なんで西方城　なるほど西方城』 参加者数：57人
2月6日（木）～3月16日（日）	道の駅にしかた	西方城跡ミニ展示
3月9日（日）	きららの杜とちぎ蔵の街楽習館(市民交流センター)	「くららフェスタ2025」での普及・啓発

(5) 文化財保存活用地域計画策定事業

文化財の保存・活用に関するマスタープラン兼アクションプランとなる、栃木市文化財保存活用地域計画を作成するため、栃木市文化財保存活用地域計画協議会を設置・開催した。そのほか、文化財所有者の現状や課題を把握するため、アンケートを実施し、市民の意見を計画に反映するため市民ワークショップを実施した。

・文化財保存活用地域計画作成支援業務委託　4,257,000円

・文化財所有者アンケート

対象：指定等文化財所有者167件

期間：12月2日（月）～1月8日（水）

結果：131件回収（78%）

実施日	場所	内容
10月4日（金）	市役所　正庁	第1回栃木市文化財保存活用地域計画協議会
10月26日（土）	嘉右衛門町伝建地区拠点施設「交流館」	市民ワークショップ　寺子屋「とちぎまちづくり」第1回
12月15日（日）	嘉右衛門町伝建地区拠点施設「交流館」	市民ワークショップ　寺子屋「とちぎまちづくり」第2回
2月9日（日）	市役所　正庁	第2回栃木市文化財保存活用地域計画協議会、市民ワークショップ　寺子屋「とちぎまちづくり」第3回

(6)　その他

・文化財等の維持管理

荒宿B古墳群、山王寺大枡塚古墳、赤麻古墳、西方城跡、下野国庁跡、星野遺跡憩の森、星野遺跡地層たんけん館、星野遺跡記念館、古久磯提灯店見世蔵の除草・清掃

・資料保存管理関係

市教委所蔵写真等デジタル化業務委託

第７節　美術・文学館課

〔総括概要〕

美術・文学館課の主な分掌事務は、栃木市立美術館及び栃木市立文学館の管理運営及び展示、美術作品・文学作品等の調査・研究等、教育普及活動などである。

栃木市立美術館は、企画展（「アルフォンス・ミュシャ　魂と装飾の芸術」「夏にたのしむ器　竹のかたち×陶のいろ」「北斎展 ―師と弟子たち―」「没後80年　清水登之」）、及び、収蔵品展Ⅰ～Ⅳを開催した。そのほか、展覧会に関連した講演会、ギャラリートーク、ワークショップや、親子での来館者を対象としたこどもの日のイベント「ミュージアムであそぼう！」等や、市内の飲食店と連携したスタンプラリー等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。なお、年間を通じて、市内小中学校の教員を対象に、美術館並びに文学館への理解を深め、児童生徒の校外学習での活用を促進するため、「先生のための見学会」を開催した。

栃木市立文学館は、2回の企画展（「没後50年　山本有三宛書簡から見る交友」「東海道を旅したとちぎの人々」）を開催した。また、年間を通じて栃木出身の作家である山本有三、吉屋信子、詩人の柴田トヨの各氏を中心に、市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

総務係

1　栃木市立美術館・文学館等の入館者数

(1)　栃木市立美術館

ア　展覧会別入館状況

(ｱ)　企画展

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数(人)	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
アルフォンス・ミュシャ 魂と装飾の芸術 4月3日～6月9日	59	12,429	7,832	3,738	11,570	859
夏にたのしむ器 竹のかたち×陶のいろ 7月13日～9月23日	62	2,070	1,287	600	1,887	183
北斎展　ー師と弟子たちー 10月5日～12月8日	56	10,269	7,222	2,204	9,426	843

没後 80 年　清水登之 1 月 11 日～3 月 20 日	58	2,847	1,879	773	2,652	195
合計	235	27,615	18,220	7,315	25,535	2,080

(ｲ)　収蔵品展

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数(人)	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
収蔵品展Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	235	27,728	18,331	7,317	25,648	2,080
うち収蔵品展のみ観覧	235	113	111	2	113	0

(ｳ)　無料展示

展覧会名	開館日数(日)	観覧者数(人)	大人			中学生以下
			有料	無料	計	
喜多川歌麿の高精細複製画「深川の雪」「品川の月」「吉原の花」無料展示	6	255	－	237	237	18

イ　月別観覧者内訳

月	開館日数(日)	観覧者総数(人)	大人（人）			中学生以下(人)
			有料	無料	計	
4	24	2,974	2,318	465	2,783	191
5	27	5,199	4,085	738	4,823	376
6	8	4,272	1,443	2,537	3,980	292
7	16	508	310	127	437	71
8	26	804	497	237	734	70
9	20	785	507	236	743	42
10	23	3,117	2,374	449	2,823	294
11	26	5,186	3,265	1,511	4,776	410
12	13	2,274	1,636	481	2,117	157
1	18	876	535	316	851	25
2	23	1,008	734	234	968	40
3	17	980	627	223	850	130
合計	241	27,983	18,331	7,554	25,885	2,098

(2)　栃木市立文学館

ア　展覧会別入館状況

(ｱ)　企画展

展覧会名	開館日	観覧者	大人	中学生

	数(日)	数（人）	有料	無料	計	以下
没後50年 山本有三宛書簡から見る交友 4月27日～9月29日	134	3,762	2,092	1,312	3,404	358
東海道を旅したとちぎの人々 10月12日～3月23日	139	4,725	3,267	1,041	4,308	417
合計	273	8,487	5,359	2,353	7,712	775

(ｲ) 常設展

展覧会名		開館日数(日)	観覧者数（人）	大人			中学生以下
				有料	無料	計	
常設展		305	8,924	5,615	2,468	8,083	841
	うち常設展のみ観覧	305	437	256	115	371	66

イ 月別観覧者内訳

月	開館日数（日）	観覧者総数（人）	大人（人）			中学生以下（人）
			有料	無料	計	
4	25	1,862	254	1,483	1,737	125
5	27	3,359	912	2,103	3,015	344
6	26	2,318	321	1,799	2,120	198
7	26	587	163	392	555	32
8	27	868	231	579	810	58
9	25	1,017	366	587	953	64
10	27	1,991	652	1,147	1,799	192
11	26	3,627	1,086	2,231	3,317	310
12	24	1,386	546	751	1,297	89
1	24	898	259	595	854	44
2	23	1,134	450	647	1,097	37
3	25	1,145	375	612	987	158
合計	305	20,192	5,615	12,926	18,541	1,651

2 栃木市立美術館・文学館運営協議会

美術館・文学館の運営を円滑に行うための運営協議会を開催した。

・委員数 10名（うち公募委員2名）

・任期 令和5年7月1日から2年間

開催日	内容

7月30日（火）	・令和6年度事業の状況について ・令和7年度事業計画（案）について
2月18日（火）	・令和6年度事業の状況について ・令和7年度事業計画（案）について

3　栃木市立美術館・文学館サポーター（運営ボランティア）

運営ボランティアとして、栃木市立美術館・文学館サポーターに受付補助、イベント補助等の活動に参加いただいた。

・登録人数　52人

活　動　内　容	活　動　人　数
美術館受付補助業務	延べ272人（4月3日～3月20日）
イベント・講演会等補助業務	延べ91人
チラシ等発送業務	延べ56人
ギャラリートーク補助業務	延べ34人
サポータによるギャラリートーク	延べ8人

4　栃木市立美術館・文学館賛助制度（企業等サポーター）

財源を確保するとともに、官民連携による美術館・文学館の活性化を図るため、美術館・文学館の事業の趣旨に賛同し、賛助する企業・団体等を募集した。

・企業等サポーター（※1口50,000円）

株式会社呉光製作所（1口）、滝沢ハム株式会社（6口）、トヨタホーム株式会社栃木事業所（1口）、栃木信用金庫（2口）、株式会社ホンダカーズ栃木中央（2口）、ケーブルテレビ株式会社（1口）、とちぎ行政書士法人（1口）

5　とちぎMuséeフェスの開催

市内外に美術館及び文学館の魅力をＰＲし、新たなファンの獲得と、まちなかの賑わいの創出を図るため、「とちぎMuséeフェス2024」を開催した。

・開 催 日　11月10日（日）

・会　　場　栃木市立美術館・文学館ひろば
　　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

・内　　容　クラリネット・ピアノ・打楽器コンサート、保育園児による太鼓演奏、チェロコンサート、書道パフォーマンス、フラダンス、講演会「山本有三とゲーテ”たったひとり”の根源」、アートに飛び込む！浮世絵ヨガ～北斎篇～

学芸係

1　栃木市立美術館・文学館展示関係

(1)　栃木市立美術館

企画展「アルフォンス・ミュシャ　魂と装飾の芸術」をはじめ、4 回の企画展及び 4 回の収蔵品展を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、美術館を楽しむ機会を提供した。また、市内小中学校の教員向けに「先生のための見学会」を開催した。

ア　開館期間　4 月 3 日（水）～3 月 20 日（木・祝）

イ　講演会等

(ｱ)　学芸員によるミニ講座「アール・ヌーヴォーとジャポニスム」

・実 施 日　5 月 6 日（月・祝）
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）講義室
・講　　師　美術館学芸員
・聴講者数　34 名

(ｲ)　スペシャルトーク「ミュシャの故郷を知ろう！」

・実 施 日　6 月 1 日（土）
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師　小暮悠氏（マサリク大学大学院哲学部博物館学修士課程、モラヴィア美術館勤務）
・聴講者数　38 名

(ｳ)　東の琅玕齋×西の竹雲斎

・実 施 日　8 月 31 日（土）
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師　鈴木さとみ氏（栃木県立美術館主任研究員）、島崎慶子氏（菊池寛実記念 智美術館主任学芸員）
・聴講者数　37 名

(ｴ)　美術館×文学館 学芸員によるミニトーク　北斎「東海道五十三次」を読み解く！

・実 施 日　11 月 30 日（土）
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師　栃木市立美術館学芸員、栃木市立文学館学芸員
・聴講者数　61 名

(ｵ)　連続講座「清水登之 その生涯と画業」

・実 施 日　第 1 回　1 月 26 日（日）　「栃木から単身アメリカへ」
　　第 2 回　2 月 2 日（日）　「苦悩と歓喜のニューヨーク」
　　第 3 回　2 月 16 日（日）　「パリの日々」
　　第 4 回　2 月 23 日（日・祝）　「昭和日本への帰国」
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）講義室
・講　　師　杉村浩哉（栃木市立美術館館長）

・聴講者数　累計 136 名

ウ　イベント等

(ｱ)　所蔵者によるギャラリートーク

・実 施 日　4 月 13 日（土)、5 月 19 日（日)、5 月 25 日（土)、6 月 2 日（日）

・会　　場　栃木市立美術館

・参加者数　累計 234 名

(ｲ)　ワークショップ「リトグラフ体験」

・実 施 日　4 月 28 日（土）

・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）講義室

・講　　師　齋藤 千明氏（鹿沼市立川上澄生美術館長）

・参加者数　13 名

(ｳ)　学芸員によるギャラリートーク

・実 施 日　5 月 5 日（日・祝)、5 月 25 日（土)、8 月 25 日（日)、9 月 21 日（土)、10 月 12 日（土)、10 月 20 日(日)、11 月 24 日（日)、1 月 11 日（土）

・会　　場　栃木市立美術館

・参加者数　累計 168 名

(ｴ)　こどもの日青空演奏会

・実 施 日　5 月 5 日（日・祝）

・会　　場　栃木市立美術館・文学館ひろば

・講　　師　柏崎直之氏（エレクトーン奏者）

・参加者数　30 名

(ｵ)　ワークショップ 「トートバッグデザイン！」

・実 施 日　5 月 5 日（日・祝)、6 月 1 日（土）

・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン

・参加者数　累計 25 名

(ｶ)　公開！摺り師による浮世絵版画製作

・実 施 日　6 月 16 日（日）

・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン

・講　　師　高橋工房

・参加者数　16 名

(ｷ)　ワークショップ「耳からたのしむ夏～風鈴に描く～」

・実 施 日　6 月 28 日（金)、7 月 13 日（土）

・会　　場　くらのまち保育園、栃木市立美術館

・参加者数　累計 55 名

(ｸ)　学芸員とトークで観察（対話型鑑賞）

・実 施 日　7 月 21 日（日)、11 月 17 日（日)、1 月 19 日（日）

・会　　場　栃木市立美術館

・参加者数　累計 6 名

(ｹ)　ワークショップ「小さな工芸・水滴を楽しむ」

・実 施 日　8 月 4 日（日）
・会　　場　栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数　13 名

(ｺ)　ワークショップ「和紙にしたしむ・墨流し/紙継ぎ/砂子蒔き」
・実 施 日　8 月 18 日（日）
・会　　場　栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・講　　師　名取初穂氏（國學院大學栃木短期大学教授）
・参加者数　15 名

(ｻ)　お茶席（椅子席）
・実 施 日　9 月 15 日（日）
・会　　場　栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数　115 名

(ｼ)　ワークショップ「オリジナル缶バッジづくり」
・実 施 日　9 月 21 日（土）
・会　　場　栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・参加者数　28 名

(ｽ)　大人が楽しむワークショップ「摺り体験！」
・実 施 日　10 月 14 日（月・祝）、11 月 24 日（日）
・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン
・参加者数　累計 10 名

(ｾ)　親子で楽しむワークショップ「摺り体験！」
・実 施 日　10 月 20 日（日）、11 月 17 日（日）
・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン
・参加者数　累計 20 名

(ｿ)　美術館・文学館サポーターによる雪月花ギャラリートーク
・実 施 日　12 月 14 日（土）
・会　　場　栃木市立美術館
・参加者数　累計 29 名

(ﾀ)　見て・聞いて・話して 鑑賞会
・実 施 日　1 月 29 日（水）
・会　　場　栃木市立美術館
・参加者数　6 名

(ﾁ)　ワークショップ「油絵を描いてみよう」
・実 施 日　2 月 9 日（日）
・会　　場　栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・講　　師　林美希氏（栃木県立小山城南高等学校）
・参加者数　12 名

(ﾂ)　ワークショップ「麻紙漉き」
・実 施 日　3 月 2 日（日）
・会　　場　栃木市立美術館多目的室（つなてみち）

・講　　師　野州麻紙工房
・参加者数　15 名

(ｴ)　トーク「栃木の麻」
・実 施 日　3 月 2 日（日）
・会　　場　栃木市立美術館
・講　　師　大森芳紀氏（麻農家 8 代目）
・参加者数　17 名

エ　教員見学会
先生方のための展覧会見学ツアー
・実 施 日　7 月 26 日（金）、7 月 30 日（火）、8 月 1 日（木）、8 月 7 日（水）
・会　　場　栃木市立美術館・文学館
・参加者数　累計 52 名

オ　市内小中学校等への出前授業
・実 施 日　10 月 19 日（土）、12 月 5 日（木）、12 月 20 日（金）、1 月 23 日（木）、2 月 7 日（金）、2 月 19 日（水）
・会　　場　栃木第三小学校、合戦場小学校、国府北小学校、寺尾中学校、国府南小学校
・参加者数　累計 149 名

カ　市内飲食店等との連携イベント
(ｱ)　ミュシャ×フードコラボ！（スタンプラリー）
・実 施 日　4 月 3 日～6 月 9 日
・参加店舗数　市内飲食店 8 店舗
・景品配布数　623 枚（ミュシャコースター）

(ｲ)　ミュシャ×キッチンカーコラボ！
・実 施 日　4 月 3 日～6 月 9 日
・会　　場　美術館・文学館ひろば
・参加店舗数　市内飲食店延べ 60 店舗
・景品配布数　1,000 枚（ミュシャシール）

(ｳ)　北斎展×旅展×フードコラボ！（スタンプラリー）
・実 施 日　10 月 12 日～12 月 8 日
・参加店舗数　市内飲食店 8 店舗、市有施設 3 施設
・景品配布数　122 セット（北斎缶バッジ）

(2)　栃木市立文学館
企画展を 2 回開催、また、年間を通じて市ゆかりの文学に関する常設展示（随時展示替えあり）を開催した。そのほか、展示にちなんだイベント等を実施し、市民等の文学への興味関心の喚起に努めた。

ア　開館期間　4 月 1 日（月）～3 月 31 日（月）

イ　講演会等
(ｱ)　「山本有三の交友関係」
・実 施 日　7 月 21 日（日）

・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師　三浦穂高氏（三鷹市山本有三記念館学芸員）
　　大塚幸一氏（NPO 法人山本有三記念会会長）
・聴講者数　43名

(ｲ)　「山本有三とゲーテ“たったひとり”の根源」
・実 施 日　11 月 10 日（日）
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師　粂川万里生氏（慶応義塾大学文学部教授）
・聴講者数　30名

(ｳ)　美術館×文学館学芸員によるミニトーク　北斎「東海道五十三次」を読み解く！
・実 施 日　11 月 30 日（土）
・会　　場　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）大交流室
・講　　師　栃木市立美術館学芸員、栃木市立文学館学芸員
・聴講者数　61 名

ウ　イベント等

(ｱ)　学芸員によるギャラリートーク
・実 施 日　6 月 23 日（日）、7 月 20 日（土）、8 月 25 日（日）、10 月 26 日（日）、
　　12 月 14 日（土）、2 月 16 日（日）
・参加者数　34 名

(ｲ)　3館連携コラボスタンプラリー
・実施期間　4 月 27 日（土）～令和 7 年 5 月 11 日（日）
・会　　場　三鷹市山本有三記念館（東京都）・山本有三ふるさと記念館（栃木
　　市）・栃木市立文学館

(ｳ)　親子で楽しむワークショップ「ヨシ紙漉き」
・実 施 日　7 月 28 日（日）
・会　　場　栃木市立美術館多目的室（つなてみち）
・講　　師　渡良瀬ヨシ愛好会
・参加者数　14 名

(ｴ)　ゲーム「文豪とアルケミスト」タイアップ
・実施期間　9 月 14 日（土）～5 月 11 日（日）
・内　　容　3 館スタンプラリー（三鷹市山本有三記念館（東京都）・山本有三
　　ふるさと記念館（栃木市）・栃木市立文学館）
　　有料入館者ポストカードプレゼント
　　館内フォトスポット設置（キャラクター等身大パネル設置）
　　オリジナルグッズの販売（クリアファイル・クリアカードセット）

(ｵ)　クリスマスミニコンサート
・実 施 日　12 月 14 日（土）
・出　　演　県立栃木女子高等学校コーラス部
・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン
・参加者数　40 名

(ｶ) 栃木レザー×文学館ワークショップ「レザーでしおりづくり・ペンケースづくり」

・実 施 日　12 月 15 日（日）
・会　　場　栃木市立文学館　とちぎサロン
・講　　師　尾花和哉氏
・参加者数　14 名

(3) 栃木市立美術館及び文学館の PR

専用ホームページ及び SNS 公式アカウント（X、Facebook、Instagram）を運用し、積極的に情報発信を行った。そのほか、FM くらら 857 や広報とちぎにおいて美術館・文学館の収蔵品と展覧会の紹介を行い、美術館・文学館の活動をアピールした。また、美術館・文学館施設案内リーフレット及び美術館・文学館展覧会スケジュールを作成し配布した。また、「没後 80 年　清水登之」の開催に合わせ、市ゆかりの作家である清水登之に親しみをもってもらうことを目的として、市内小学校 5,6 年生の児童に「栃木市ゆかりの作家を知ろう！」を配付した。

2　第 1 回栃木市立美術館美術品収集専門者会議の開催

美術作品の購入及び寄附等の受入れに当たり専門者会議を開催した。

・開催日　2月20日（木）
・場　所　栃木市立美術館
・内　容

購入作品　清水登之《婦人像》大正3(1914) 年　油彩・ボール紙
清水登之《シアトル市ドライドツク》大正3(1914) 年　油彩・ボール紙
清水登之《生家》昭和8(1933) 年　油彩・板
唐来参和作、喜多川歌麿画『三教色』天明3(1783)年　版本
正木桂長清編、喜多川歌麿・仁義道守画『晴天闘歌集』寛政8(1796)年　版本、2冊
式亭三馬作、喜多川歌麿画『石場妓談辰巳婦言』寛政10(1798)年序刊 版本、4冊
喜多川歌麿《五節句浮世鏡（正月）》文化2(1805)年　間判錦絵
何廼舎卜枝撰、三都榮連催主「五側判者披露狂歌合」（仮）嘉永3(1850)年　墨摺

受贈作品　清水登之《警視庁遠望図》昭和15(1940)年　油彩・カンヴァス
清水登之《廬山隘口街附近戦闘図》昭和16(1941)年頃　油彩・カンヴァス
清水登之《大麻収穫》昭和5(1930)年頃　不透明水彩・紙
清水登之《男性裸体習作》大正6(1917)～大正8(1919)年頃　木炭・紙
清水登之《清水登之関連資料》昭和12(1937)～昭和17(1942)年頃

水彩、素描等51点
南摩朱鳥《岩舟の窯業》昭和19(1944)年頃　紙本着色
清水保男《とちのき》1960年代　紙本着色

第１４章　選挙管理委員会事務局

〔総括概要〕

選挙管理委員会事務局の主な分掌事務は、選挙管理委員会の会議に関すること、各種選挙の執行管理、直接請求及び選挙の啓発に関することである。

選挙は、国民が政治に参加する最も基本的な機会であって、積極的な投票への参加は、民主主義の発展のために欠かすことのできないものである。また、明るく適正な選挙の推進のためには、国民一人一人が政治の基本となる選挙に関心を持ち、有権者としての自覚を持つことが必要である。

この趣旨を踏まえ、小・中・高等学校の児童生徒を対象に明るい選挙啓発ポスターの募集・入選作品展を行い、新有権者に対し選挙啓発資料を配布する等、選挙の常時啓発を推進した。また、選挙権の持つ意味や意義を説明する主権者教育として、選挙の出前講座を市内小・高等学校で実施した。

本年度は衆議院議員総選挙及び栃木県知事選挙を執行した。

選挙係

1　選挙管理委員会の状況

(1)　委員及び補充員

職　　名	氏　　名	就 任 年 月 日
委　員　長	小保方　　昭　洋	令和4年6月4日
職務代理者	天　海　　俊　充	〃
委　　員	大阿久　　功　子	平成30年6月4日
〃	小　林　　眞智子	令和4年6月4日
補　充　員	木　村　　正　明	〃
〃	黒　野　　篤　代	〃
〃	安　生　　幸　二	〃
〃	出　井　　裕　子	〃

(2)　委員会開催状況

開催日	種別	付議件数（件）				開催場所
		議案	報告	選挙	指定	
6月　3日（月）	定時	7	1	－	－	市役所401会議室
9月　2日（月）	定時	8	－	－	－	市役所401会議室
10月 14日（月）	選挙	23	－	－	－	市役所402会議室
10月 15日（火）	選挙	2	－	－	－	市役所401会議室
10月 24日（木）	選挙	2	－	－	－	市役所402会議室
10月 27日（日）	選挙	2	－	－	－	マルワ・アリーナとちぎ（総合運動公園総合体育館）

10月 30日（水）	選挙	16	－	－	－	市役所402会議室
10月 31日（木）	選挙	1	－	－	－	市役所401会議室
11月 14日（木）	選挙	1	－	－	－	市役所401会議室
11月 17日（日）	選挙	2	－	－	－	マルワ・アリーナとちぎ （総合運動公園総合体育館）
12月 2日（月）	定時	4	－	－	－	市役所401会議室
3月 3日（月）	定時	5	－	－	－	市役所401会議室

(3) 議案件数　　73件

議案番号	提出日	議案名
6	6月 3日	選挙人名簿の抹消について
7	6月 3日	選挙人名簿の定時登録について
8	6月 3日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
9	6月 3日	栃木市の土地改良区の総代の選挙の投票用紙の様式を廃止する告示について
10	6月 3日	選挙人名簿抄本閲覧者の公表について
11	6月 3日	在外選挙人名簿抄本閲覧者の公表について
12	6月 3日	選挙人名簿の登録日について
13	9月 2日	選挙人名簿の抹消について
14	9月 2日	選挙人名簿の定時登録について
15	9月 2日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
16	9月 2日	在外選挙人名簿の抹消について
17	9月 2日	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
18	9月 2日	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する規程の一部を改正する規程の制定について
19	9月 2日	個人演説会等開催可能施設の変更に係る承諾について
20	9月 2日	選挙人名簿の登録日について
21	10月 14日	選挙人名簿の抹消について
22	10月 14日	選挙人名簿の選挙時登録について
23	10月 14日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
24	10月 14日	指定在外選挙投票区の指定について
25	10月 14日	投票所の場所について
26	10月 14日	期日前投票所の場所及び期間について
27	10月 14日	指定期日前投票所の場所について
28	10月 14日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（小選挙区）
29	10月 14日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（比例代表）
30	10月 14日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について（小選挙区）

31	10月14日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について（比例代表）
32	10月14日	不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所について
33	10月14日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（小選挙区）
34	10月14日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について（比例代表）
35	10月14日	開票の場所及び日時について
36	10月14日	開票立会人のくじを行う場所及び日時について
37	10月14日	ポスター掲示場を設置する場所について
38	10月14日	投票所内の候補者の氏名等の掲示の掲載の順序のくじを行う場所及び日時について（小選挙区）
39	10月14日	投票立会人の選任について（小選挙区）
40	10月14日	投票立会人の選任について（比例代表）
41	10月14日	期日前投票所の投票立会人の選任について（小選挙区）
42	10月14日	期日前投票所の投票立会人の選任について（比例代表）
43	10月14日	衆議院小選挙区選出議員選挙及び衆議院比例代表選出議員選挙における投票所の閉鎖時刻を繰り上げることについて
44	10月15日	衆議院小選挙区選出議員選挙における投票所内の候補者の氏名等の掲示の掲載順序について
45	10月15日	在外選挙人名簿の抹消について
46	10月24日	衆議院小選挙区選出議員選挙における開票立会人の決定について
47	10月24日	衆議院比例代表選出議員選挙における開票立会人の決定について
48	10月27日	選挙人名簿の抹消について
49	10月27日	当日有権者数について
50	10月30日	選挙人名簿の抹消について
51	10月30日	選挙人名簿の選挙時登録について
52	10月30日	選挙権を有する者の50分の1、6分の1及び3分の1の数について
53	10月30日	投票所の場所について
54	10月30日	期日前投票所の場所及び期間について
55	10月30日	投票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について
56	10月30日	期日前投票所の投票管理者及びその職務代理者の住所、氏名及び職務を行うべき日について
57	10月30日	不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所について
58	10月30日	開票管理者及びその職務代理者の住所及び氏名について
59	10月30日	開票の場所及び日時について
60	10月30日	開票立会人のくじを行う場所及び日時について
61	10月30日	ポスター掲示場を設置する場所について
62	10月30日	投票所内の候補者の氏名等の掲示の掲載の順序のくじを行う場所及び日時について

63	10 月 30 日	投票立会人の選任について
64	10 月 30 日	期日前投票所の投票立会人の選任について
65	10 月 30 日	投票所の閉鎖時刻を繰り上げることについて
66	10 月 31 日	栃木県知事選挙における投票所内の候補者の氏名等の掲示の掲載順序について
67	11 月 14 日	栃木県知事選挙における開票立会人の決定について
68	11 月 17 日	選挙人名簿の抹消について
69	11 月 17 日	当日有権者数について
70	12月　2日	選挙人名簿の抹消について
71	12月　2日	選挙人名簿の定時登録について
72	12月　2日	選挙権を有する者の 50 分の 1、6 分の 1 及び 3 分の 1 の数について
73	12月　2日	選挙人名簿の登録日について
1	3 月 3 日	選挙人名簿の抹消について
2	3 月 3 日	選挙人名簿の定時登録について
3	3 月 3 日	選挙権を有する者の 50 分の 1、6 分の 1 及び 3 分の 1 の数について
4	3 月 3 日	在外選挙人名簿の抹消について
5	3 月 3 日	選挙人名簿の登録日について

(4)　告示件数　　41件

告示番号	告示日	告示名
3	6 月 3 日	選挙権を有する者の総数の 50 分の 1、6 分の 1 及び 3 分の 1 の数
4	6 月 3 日	選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表
5	6 月 3 日	在外選挙人名簿の抄本の閲覧状況の公表
6	6 月 3 日	選挙人名簿の登録日
7	7 月 16 日	栃木市の土地改良区の総代の選挙の投票用紙の様式を廃止する告示
8	9 月 2 日	選挙権を有する者の総数の 50 分の 1、6 分の 1 及び 3 分の 1 の数
9	9 月 2 日	選挙人名簿の登録日
10	9 月 30 日	栃木市議会議員及び栃木市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する規程の一部を改正する規程の制定
11	10月 14 日	選挙権を有する者の総数の 50 分の 1、6 分の 1 及び 3 分の 1 の数
12	10月 14 日	指定在外選挙投票区の指定
13	10月 15 日	衆議院議員総選挙における投票所の場所
14	10月 15 日	衆議院議員総選挙における期日前投票所の場所及び期間
15	10月 15 日	衆議院議員総選挙における指定期日前投票所の指定
16	10月 15 日	衆議院小選挙区選出議員選挙の投票管理者及び職務代理者の選任
17	10月 15 日	衆議院比例代表選出議員選挙の投票管理者及び職務代理者の選任
18	10月 15 日	衆議院小選挙区選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及び職務代理者の選任
19	10月 15 日	衆議院比例代表選出議員選挙の期日前投票所の投票管理者及び職務

		代理者の選任
20	10月 15日	衆議院議員総選挙の不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所
21	10月 15日	衆議院小選挙区選出議員選挙の開票管理者及び職務代理者の選任
22	10月 15日	衆議院比例代表選出議員選挙の開票管理者及び職務代理者の選任
23	10月 15日	衆議院議員総選挙の開票の場所及び日時
24	10月 15日	衆議院議員総選挙の開票立会人のくじを行う場所及び日時
25	10月 15日	衆議院小選挙区選出議員選挙のポスター掲示場の設置場所
26	10月 15日	衆議院小選挙区選出議員選挙の氏名等の掲示の掲載順序を定めるくじを行う場所及び日時
27	10月 15日	衆議院議員総選挙の投票所の閉鎖時間の繰上げ
28	10月 30日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
29	10月 31日	栃木県知事選挙における投票所の場所
30	10月 31日	栃木県知事選挙における期日前投票所の場所及び期間
31	10月 31日	栃木県知事選挙における投票管理者及び職務代理者の選任
32	10月 31日	栃木県知事選挙における期日前投票所の投票管理者及びその職務を代理すべき者の選任
33	10月 31日	栃木県知事選挙の不在者投票のための投票用紙及び投票用封筒の交付場所
34	10月 31日	栃木県知事選挙の栃木開票区における開票管理者及びその職務を代理すべき者の選任
35	10月 31日	栃木県知事選挙の開票の場所及び日時
36	10月 31日	栃木県知事選挙の開票立会人のくじを行う場所及び日時
37	10月 31日	栃木県知事選挙のポスター掲示場を設置する場所
38	10月 31日	栃木県知事選挙の氏名掲示の順序のくじを行う場所及び日時
39	10月 31日	栃木県知事選挙の投票所の閉鎖時刻の繰上げ
40	12月 2日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
41	12月 2日	選挙人名簿の登録日
1	3月 1日	選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分の1の数
2	3月 1日	選挙人名簿の登録日

(5) 報告件数　　1件

報告番号	提出日	報告件名
1	6月 3日	選挙管理委員会事務局職員の任免について

2 選挙人名簿登録者数（3月1日現在）　　（単位：人）

投票区名	男	女	計
栃木第1投票区	671	765	1,436
栃木第2投票区	902	928	1,830

栃木第３投票区	790	854	1,644
栃木第４投票区	1,764	1,865	3,629
栃木第５投票区	1,171	1,225	2,396
栃木第６投票区	1,220	1,310	2,530
栃木第７投票区	1,912	1,971	3,883
栃木第８投票区	932	1,001	1,933
栃木第９投票区	1,579	1,609	3,188
栃木第10投票区	2,242	2,352	4,594
栃木第11投票区	2,220	2,258	4,478
栃木第12投票区	1,296	1,341	2,637
栃木第13投票区	1,426	1,538	2,964
栃木第14投票区	1,402	1,418	2,820
栃木第15投票区	672	765	1,437
栃木第16投票区	1,279	1,316	2,595
栃木第17投票区	622	601	1,223
栃木第18投票区	707	710	1,417
栃木第19投票区	907	896	1,803
栃木第20投票区	1,580	1,650	3,230
栃木第21投票区	1,101	1,098	2,199
栃木第22投票区	1,083	1,082	2,165
栃木第23投票区	330	343	673
栃木第24投票区	301	339	640
栃木第25投票区	362	385	747
栃木第26投票区	39	30	69
栃木第27投票区	709	807	1,516
栃木第28投票区	574	570	1,144
栃木第29投票区	1,162	1,180	2,342
合　　計	30,955	32,207	63,162
大平第１投票区	1,747	1,679	3,426
大平第２投票区	430	410	840
大平第３投票区	1,414	1,481	2,895
大平第４投票区	1,301	1,364	2,665
大平第５投票区	616	605	1,221
大平第６投票区	787	844	1,631
大平第７投票区	1,867	1,806	3,673
大平第８投票区	1,349	1,288	2,637
大平第９投票区	2,081	1,995	4,076
大平第10投票区	406	301	707

合　　計	11,998	11,773	23,771
藤岡第１投票区	527	519	1,046
藤岡第２投票区	624	648	1,272
藤岡第３投票区	1,238	1,255	2,493
藤岡第４投票区	1,018	1,064	2,082
藤岡第５投票区	1,387	1,367	2,754
藤岡第６投票区	974	995	1,969
藤岡第７投票区	367	368	735
合　　計	6,135	6,216	12,351
都賀第１投票区	2,167	2,255	4,422
都賀第２投票区	1,172	1,143	2,315
都賀第３投票区	477	475	952
都賀第４投票区	450	445	895
都賀第５投票区	680	661	1,341
都賀第６投票区	263	286	549
合　　計	5,209	5,265	10,474
西方第１投票区	645	661	1,306
西方第２投票区	573	559	1,132
西方第３投票区	814	799	1,613
西方第４投票区	429	433	862
西方第５投票区	15	14	29
合　　計	2,476	2,466	4,942
岩舟第１投票区	862	860	1,722
岩舟第２投票区	1,423	1,404	2,827
岩舟第３投票区	637	655	1,292
岩舟第４投票区	1,373	1,381	2,754
岩舟第５投票区	1,460	1,372	2,832
岩舟第６投票区	689	656	1,345
岩舟第７投票区	448	447	895
合　　計	6,892	6,775	13,667
総　合　計	63,665	64,702	128,367

３　3月1日現在選挙権を有する者の総数の50分の1、6分の1及び3分1の数

(1)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の50分の1　　2,568人

(2)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の6分の1　　21,395人

(3)　市の議会の議員及び長の選挙権を有する者の総数の3分の1　　42,789人

4　在外選挙人名簿登録者数（3月3日現在）　（単位：人）

指定在外選挙投票区名	男	女	計
栃木第1投票区	16	34	50

5　啓発事業

(1)　明るい選挙啓発ポスター募集

小学生　出品総数　182点　うち市入選　38点

中学生　出品総数　54点　うち市入選　12点

高校生　出品総数　0点　うち市入選　0点

市入選作品50点のうち30点を県に出品し、優秀賞に3点、入選に5点、佳作に10点が選ばれた。また、県で優秀賞に選ばれた作品が国の中央審査に出品され、うち1点が公益財団法人明るい選挙推進協会会長・都道府県選挙管理委員会連合会会長賞に選ばれた。

(2)　明るい選挙啓発ポスター入選作品展

・展示期間　3月8日(土)～3月20日(木・祝)

・展示場所　市役所1階　市民スペース

・展示方法　入選作品　小学生38点、中学生12点、計50点を展示

(3)　明るい選挙啓発ポスター教室の開催

・開 催 日　8月3日(土)

・開催場所　きららの杜とちぎ蔵の街楽習館（市民交流センター）

・講 師　文星芸術大学生3人、助手1人

・参加者数　小学4年～6年生 28人

(4)　新有権者あて啓発資料配布

新有権者　1,325人

(5)　主権者教育（出前講座）の実施

選挙の出前講座を三鴨小学校、赤麻小学校、栃木高校で実施した。また、栃木県選挙管理委員会事務局が実施した栃木特別支援学校での出前講座に参加した。

6　選挙結果

(1)　10月27日執行　衆議院議員総選挙

ア　衆議院小選挙区選出議員選挙栃木県第5区

候補者氏名	党派	市得票数	区得票数	当落の別
やこう　勘司	日本維新の会	8,386	20,098	落
茂木 としみつ	自由民主党	37,994	99,897	当
岡　村　けい子	日本共産党	8,772	25,203	落
亀　山　陽　三	無所属	4,346	13,447	落

イ　衆議院比例代表選出議員選挙

（北関東選挙区）

政党名等	市 得票数	北関東 得票数	当選人数 （人）	当選者名
日本共産党	2,959.000	354,915.000	1	塩川　鉄也
日本保守党	1,241.000	146,728.000	0	－
自由民主党	19,667.000	1,603,644.000	7	中野　英幸
				国光　文乃
				永岡　桂子
				田所　嘉徳
				佐藤　勉
				五十嵐　清
				野中　厚
国民民主党	5,696.813	686,080.528	1	岸田　光広
日本維新の会	3,440.000	391,136.000	1	高橋　英明
参政党	1,723.000	175,559.000	0	－
公明党	7,682.000	674,694.000	3	輿水　恵一
				福重　隆浩
				山口　良治
社会民主党	1,063.000	87,247.000	0	－
立憲民主党	12,386.186	1,283,911.293	5	長谷川　嘉一
				武正　公一
				三角　創太
				竹内　千春
				市来　伴子
れいわ新選組	4,872.000	419,511.000	1	高井　崇志

(2)　11 月 17 日執行　栃木県知事選挙　　定数 1

候補者氏名	党派	市得票数	得票総数	当落の別
福田　とみかず	無　所　属	30,072	413,985	当
針　川　さくま	無　所　属	5,747	80,901	落

第１５章　監査委員事務局

〔総括概要〕

監査等については、令和6年度監査実施方針及び年間監査計画に基づいて、定例監査、例月出納検査、決算審査・基金運用状況審査・健全化判断比率等審査、工事監査及び財政援助団体等監査を実施した。

監査に当たっては、栃木市監査基準第3条に基づき、市の事務の管理、執行等について、合規性、正確性、経済性、効率性及び有効性の視点を掲げ実施した。

また、監査の結果に関する報告等については、市議会及び市長等に提出するとともに公表し、適宜措置状況の報告を求めることにより、民主的かつ効率的な行財政の執行に資し、もって市民福祉の増進と地方自治の本旨の実現の寄与に努めた。

監査係

1　監査委員の状況

・識見を有する者　福地　武司　　令和4年5月18日就任

・議 会 選 出 者　浅野　貴之　　令和6年5月31日就任

2　監査等の実施状況

令和6年度監査実施方針及び年間監査計画により、次のとおり実施した。

(1)　定例監査（財務監査及び行政監査）

監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会、市長及び関係執行機関に提出し、かつ、これを公表した。

対象部局等	対 象 課 等	実　施　日
総合政策部	総合政策課、秘書課、広報課、 行財政改革推進課、デジタル推進課、 危機管理課、カーボンニュートラル推進課	5月27日（月）
地域振興部	地域政策課、 大平地域づくり推進課、 藤岡地域づくり推進課、 都賀地域づくり推進課、 西方地域づくり推進課、 岩舟地域づくり推進課、 蔵の街課、スポーツ課、渡良瀬遊水地課	5月28日（火）
消防本部 消防署	消防総務課、予防課、警防課、通信指令課、 消防第1課、消防第2課	6月27日（木）

生活環境部	市民生活課、交通防犯課、 保険年金課、環境課、 クリーン推進課、人権・男女共同参画課	6月28日（金）
会計管理者 議会事務局 選挙管理委員会事務局	会計課 議事課 選挙管理委員会事務局	8月28日（水）
経営管理部 寺尾財産区	総務人事課、契約検査課、管財課、財政課、 税務課、収税課 管財課	9月27日（金）
保健福祉部 こども未来部	福祉総務課、障がい福祉課、高齢介護課、 地域包括ケア推進課、健康増進課 子育て総務課、こども家庭センター、保育課	10月28日（月）
小中学校	南小学校、国府南小学校、国府北小学校、 大平東小学校、大平西小学校、部屋小学校、 大平中学校	11月 6日（水） 11月 7日（木）
教育委員会事務局	教育総務課、 学校教育課（グローバル教育推進室）、 学校施設課、保健給食課、生涯学習課、 文化課、美術・文学館課	11月28日（木）
都市建設部	道路河川整備課（治水対策室）、 道路河川維持課、都市計画課、 市街地整備課、公園緑地課、建築住宅課、 建築指導課	12月25日（水）
上下水道局	上下水道総務課、水道建設課、下水道建設課	1月29日（水）
産業振興部 農業委員会事務局	商工振興課、観光振興課、農業振興課 農林整備課、産業基盤整備課 農業委員会事務局	1月30日（木）

(2) 例月出納検査

検査結果の報告については、地方自治法第235条の2第3項の規定により、市議会及び市長に提出した。

対　　象	実　施　日	対　　象	実　施　日
令和5年度 3月分	4月26日（金）	令和6年度 8月分	9月27日（金）
令和5年度 4月分 令和6年度 4月分	5月27日（月）	〃 9月分	10月28日（月）
		〃 10月分	11月28日（木）
令和5年度 5月分 令和6年度 5月分	6月27日（木）	〃 11月分	12月25日（水）
		〃 12月分	1月29日（水）
令和6年度 6月分	7月29日（月）	〃 1月分	2月25日（火）
〃 7月分	8月28日（水）	〃 2月分	3月27日（木）

(3) 決算審査・基金運用状況審査

市長から審査依頼のあった令和5年度の決算及び基金運用状況について審査を行い、意見書を提出した。

対　　象	実 施 日
水道事業会計 下水道事業会計	6月27日(木)～8月21日(水)
寺尾財産区特別会計	6月27日(木)～8月21日(水)
一般会計 国民健康保険特別会計 後期高齢者医療特別会計 介護保険特別会計(保険事業勘定) 介護保険特別会計(介護サービス事業勘定) 栃木インター西産業団地特別会計 平川産業団地特別会計	6月27日(木)～8月21日(水)
印紙等購買基金 保護費即時払基金 奨学基金	6月27日(木)～8月21日(水)

(4)　健全化判断比率等審査

市長から審査依頼のあった令和5年度の決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率について審査を行い、意見書を提出した。

対　　象	実 施 日
健全化判断比率 資金不足比率	6月27日(木)～8月21日(水)

(5)　工事監査

工事監査は、公益社団法人大阪技術振興協会に委託をして実施した。

なお、監査結果の報告については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会及び市長に提出し、かつ、これを公表した。

対　　象（抽出）	実 施 日
平川土地区画整理事業　区画道路（9-4、6-5、歩4-2）築造工事	12月17日（火）

(6)　財政援助団体等監査

財政援助団体等監査を次のとおり実施し、監査結果については、地方自治法第199条第9項の規定により、市議会及び市長に提出し、かつ、これを公表した。

対 象（抽出）	施設名称	実 施 日
一般社団法人下都賀郡市医師会	栃木地区急患センター	2月14日（金）
株式会社大高商事	栃木市大平まちづくり交流センター（プラッツおおひら）	
環境整備・いすゞビルメンテナンス共同企業体	栃木市栃木勤労青少年ホーム 栃木市勤労者体育センター	

	栃木市大平勤労青少年ホーム	

(7)　要求監査

令和6年度は対象となる案件がなかったため、実施していない。

(8)　住民監査請求による監査

令和6年度は対象となる案件がなかったため、実施していない。

第１６章　公平委員会

〔総括概要〕

公平委員会は、職員の勤務条件に関する措置の要求及び職員に対する不利益処分の審査請求を審査し、必要な措置を講じている。また、公平・適正な審査を期するため独立した中立的な機関であり、委員定数3名、任期4年により運営している。

1　公平委員の状況

委員長　佐山　隆　　平成26年5月18日就任
委　員　髙岩　初枝　　平成30年5月18日就任
委　員　増子　孝徳　　令和 5年6月 9日就任

2　公平委員会

期　　日	内　　容	備　考
6月 7日（金）	・職員団体登録事項の変更について ・委員長の専決処分の報告について	
12月20日（金）	・職員団体登録事項の変更について ・委員長の専決処分事項の指定について ・栃木市公平委員会における管理職員等の範囲（管理職員等と管理職員等以外の職員を区分する職）の確認について	

3　職員団体の登録・抹消

受　　付	届　　出　　者	内　　容	登録・抹消年月日
5月24日（金）	栃木市教職員協議会会長	役員の変更	6月7日登録
11月27日（水）	栃木市職員労働組合執行委員長	役員の変更	12月20日登録

4　会議、研修会等（委員）

開催日	会議、研修会等	開催地	参加者数（人）
5月20日（月）	令和6年度全国公平委員会連合会関東支部総会・第1回研究会	埼玉県	－
5月21日（火）	令和6年度栃木県公平委員会連合会総会	那須塩原市	1
10月 8日（火）	令和6年度全国公平委員会連合会関東支部第2回研究会	埼玉県	－
11月 1日（金）	令和6年度全国公平委員会連合会通常総会	東京都	－

第１７章　固定資産評価審査委員会

〔総括概要〕

固定資産の価格等は、毎年3月末日までに決定され、固定資産課税台帳に登録され、その後一定期間閲覧・縦覧に供される。

固定資産評価審査委員会は、納税義務者からの審査申出に基づき、固定資産課税台帳に登録されている価格について審査決定している。また、公平・適正な審査を期するため独立した中立的な機関であり、委員定数6名、任期3年により運営している。

固定資産評価審査委員会においては、委員長の選任、評価の概要等の報告及び審査申出に対する審査を行った。

1　固定資産評価審査委員の状況

委員長　諏訪　晃　　平成22年 5月18日就任
委　員　高際　悦子　　令和元年 5月18日就任
委　員　髙際　誠一　　令和 4年 5月18日就任
委　員　松島　誠　　令和 4年 5月18日就任
委　員　青木　利男　　平成29年11月25日就任
委　員　大島　秀介　　平成29年 5月15日就任

2　委員会開催状況

開　催　日	内　　容	備　考
5月30日（木）	・委員長の選出について ・令和6年度固定資産評価の概要について ・令和6年度固定資産課税台帳の縦覧・閲覧状況について	諏訪委員を委員長として選出
8月 7日（水）	・固定資産評価審査申出書の形式審査等について	

第１８章　農業委員会事務局

〔総括概要〕

農業委員会は、農業者の利益代表機関として、「優良農地の確保と有効利用」、「農地利用の最適化」、「担い手の確保と育成」、「地域の課題解決」を大きな活動の柱として、様々な活動に取り組んできた。

主な取組として、優良農地の確保と有効利用については、農地の権利移動に対する許可や農地転用許可など、効率的な農地利用を進めるため農地法に基づき公正な審査事務を行った。

農地利用の最適化については、遊休農地の発生を防止するために、農地利用状況調査（農地パトロール）を入念に実施した。その結果を受けて、遊休農地所有者等へ利用意向調査を行い、担い手への集積集約化、遊休農地の解消に努めた。

担い手の確保と育成については、担い手農家への利用集積の促進や新規就農者に対して適正助言及び指導を行った。農業者年金へ加入促進、各地域での農業青色申告会簿記記帳会の開催、家族経営協定の啓発推進を行うなど、地域農業振興の推進を図った。

地域の課題解決については、農業者と意見交換を実施し、その結果を農地利用最適化推進施策に関する意見書にまとめ市に提出した。

令和５年４月に農業経営基盤強化促進法が改正され、「地域計画」を令和７年３月までに策定することが義務づけられた。農業委員会は、この計画のうち10年後の農地利用を示す「目標地図の素案」の作成を行うことになった。令和５年８月から市内７地区で、農業委員・農地利用最適化推進委員が中心となり、地図の作成を行った。令和７年１月に、「地域の田畑を今後どうするか考える座談会」を実施し、地域の中心的な担い手等による話し合いや確認を経て「目標地図の素案」が完成した。

農委総務係

1　農業委員会の構成

(1)　農業委員（令和４年７月20日任命）

・定数　21人

・現員　21人

議席番号	氏　　名	地　　域	議席番号	氏　　名	地　　域
1	若色　昭松	栃　　木	12	山﨑　幸行	岩　　舟
2	高際　英明	藤　　岡	13	大谷　　朗	藤　　岡
3	五十畑節子	岩舟（中立）	14	泉田　裕美	都　　賀
4	正田　秀雄	栃　　木	15	川嶋　房代	西　　方
5	長　　明美	栃　　木	16	川田　久子	栃　　木

6	小林真理子	大　　平	17	荒川　則夫	大　　平
7	柴　賢一郎	栃　　木	18	石塚　一彦	藤　　岡
8	平本　　勲	大　　平	19	大塚　幸八	都　　賀
9	渡邉　昭男	都　　賀	20	佐山　耕基	岩　　舟
10	狐塚　正直	西　　方	21	生澤　良一	大　　平
11	田中　健一	栃　　木			

(2)　農地利用最適化推進委員（令和 4 年 7 月 20 日委嘱）

・定数　40 人以内

・現員　35 人

地域名	栃木	大平	藤岡	都賀	西方	岩舟	合計
人数(人)	10	6	7	4	3	5	35

(3)　委員会の設置

農業委員会の適正かつ円滑な運営のために運営委員会を設置している。また、活発な活動を展開するため、3つの専門委員会を設けている。

ア　運営委員会

農業委員会全体の運営

・農地利用最適化に関する意見書の提出

・農業者との意見交換会

イ　専門委員会

(ｱ)　農地委員会

・担い手への農地利用の集積、集約化

・遊休農地の発生防止、解消

・新規参入の促進

(ｲ)　農業委員会だより編集委員会

農業委員会の活動を周知するための広報誌を発行

・1月1日号発行

・8月1日号発行

(ｳ)　なでしこ委員会

女性農業委員で組織し、女性の視点を活かした農業振興

・小学生への食育活動

・女性農業委員研修会への参加（国・県・下都賀）

2　総会開催状況

定例総会

開　催　日	場　　所	付議事件数(件)
4月23日(火)	市役所正庁	7
5月23日(木)	市役所正庁	7

6月24日(月)	市役所正庁	5
7月23日(火)	市役所501会議室	8
8月23日(金)	市役所501会議室	4
9月24日(火)	市役所正庁	7
10月23日(水)	市役所正庁	7
11月22日(金)	市役所正庁	10
12月23日(月)	市役所501会議室	5
1月23日(木)	吹上公民館　大交流室	6
2月21日(木)	市役所正庁	6
3月24日(月)	市役所正庁	11

3　農地利用最適化推進事業

農業委員と農地利用最適化推進委員が協力して農地利用の最適化を推進した。

実施時期	内容	場所
4月～3月	認定農業者や農地所有適格法人を定期的に訪問し、農地の出し手とのマッチング活動	各担当区域
7月～8月	農地利用状況調査（農地パトロール）	各担当区域

4　証明書等の発行状況

種別	件数（件）
耕作面積証明書	230
農家証明書	78
諸証明等	206
合計	514

5　委員研修・視察等

県農業会議等が主催する研修会に参加するとともに、事務局主催の研修会も積極的に行い、委員の資質の向上に努めた。

・実施状況

実施日	研修内容	開催場所
7月4日(木)	タブレット研修会（現地確認アプリの使い方）	国府公民館
7月17日(水)	農業者年金加入特別研修会	栃木県ＪＡビル
8月30日(金)	農業委員・農地利用最適化推進委員研修会	栃木県教育会館
11月22日(金)	農業者年金加入促進研修会	栃木市正庁

11月15日(金)	関東ブロック女性農業委員等研修会	さいたま市浦和区埼玉県県民健康センター
12月17日(火)	家族経営協定研修会	国府公民館
3月6日(木)	下都賀地域次世代営農システム推進研修会の開催について	とちぎ岩下の新生姜ホール

6　農地等利用最適化推進施策等に関する意見書の提出

農地利用の最適化の効果的な実施の取組として、農業者や農業関係団体から意見・要望を汲み上げ、県や市の施策に反映するため、「農地等利用最適化推進施策等に関する意見書」を提出している。本年度もこれらの意見・要望を文書で取りまとめ、8月1日(木)に農業委員会会長から市長及び議長に意見書を提出した。

7　農業青色申告簿記記帳指導会

栃木市農業青色申告会を組織し、合併前の旧市・町単位を支部として活動している。自立経営農家を志向する経営主に対し、企業的農業経営の確立と、簿記記帳による適正納税が図られるよう、簿記記帳指導会を開催した。また、農業経営の改善、合理化を図るため、パソコン簿記の研修会を開催した。

(1)　農業青色申告会加入者　　(単位：人)

区　分	令和5年度末	令和6年度中増減	現加入者数
栃木支部	109	▲4	105
大平支部	100	▲3	97
藤岡支部	50	▲1	49
都賀支部	65	▲3	62
西方支部	81	▲3	78
岩舟支部	34	1	35
合　計	439	▲13	426

(2)　簿記記帳指導会開催状況

区　分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講　　師
栃木支部	7	158	県農業会議指導協力員 長幸雄、島田和己、久保弘、大阿久善之、野尻真悟 青色申告指導員補助 本澤敏江
大平支部	4	191	県農業会議指導協力員 富田裕貴、堀江裕之、新村享宏、大豆生田全毅、 篠原朝陽、大山幸夫

藤岡支部	7	124	県農業会議指導協力員 上岡正則、田沼正能、飯塚豊
都賀支部	4	126	県農業会議指導協力員 渡辺繁、石川明、茅嶋美季 青色申告指導員補助 根本壽一
西方支部	5	126	県農業会議指導協力員 川嶋伸元、高山一郎、中田全紀
岩舟支部	4	38	県農業会議指導協力員 島田共一、三柴茂
合　計	31	763	県農業会議指導協力員22人　青色申告指導員補助2人

(3)　パソコン簿記研修会開催状況

区　分	回数(回)	受講者延べ人数(人)	講　　師
栃木支部	9	59	根本壽一、大阿久善之、野尻真悟
大平支部	10	80	堀江裕之、新村享宏、大豆生田全毅 篠原朝陽
藤岡支部	10	84	田沼正能、上岡正則
都賀支部	44	254	根本壽一、石川明、茅嶋美季
西方支部	4	40	長嶋電算（ソリマチ農業用ソフト支援） 長嶋修一
岩舟支部	2	12	根本壽一
合　計	79	529	

8　標準農作業料金の設定

兼業農家における、専業農家や農業協同組合等への農作業の部分又は全面委託等受委託関係が、適正かつ円滑に推進されるよう、農作業の目安となるべき標準料金を設定し、参考に示している。

(1)　水稲作業

作業区分		単位	料金（円）
トラクター作業	ロータリー耕起	10a当たり	3,700～5,250
	ロータリー代かき	〃	8,200～14,000
施肥（堆肥代別途）		〃	1,050～1,600
稚苗費（種子代別途）		〃	12,800～17,500
田植（機械植、補植別）		〃	6,500～8,000
除草剤散布（薬剤費別）		〃	1,500～2,500
防除（空散別途）		〃	1,500

刈　取　・　脱　穀	〃	15,000～18,000
乾燥・調整（袋代別途）	60kg当たり	1,400～1,785
畦　畔　つ　く　り	1m当たり	50～70

(2)　麦作業

作業区分		単位	料金（円）
ドリル播	トラクター作業（耕起･施肥･播種･鎮圧）	10a当たり	4,200～6,500
除草		〃	800
麦踏		〃	600～1,600
刈　取　・　脱　穀		〃	12,800～18,000
乾燥・調整（袋代別途）	小麦	60kg当たり	1,500～1,955
	ビール麦	50kg当たり	1,300～1,955

(3)　労務費　（1時間あたり）

作　業　名	料金（円）
一般農作業	954

9　農業者年金事業

農業者の老後生活の安定及び福祉の向上並びに農業者の確保に資することを目的として、農業者年金事業の推進を図った。

(1)　農業者年金加入推進市内担当者研修会

県農業会議から講師を招き、農業者年金についての講義を受け、農業者年金加入推進について理解を深めた。

実施日	場　所	参加者（人）
11月22日(金)	市役所正庁	27

・参加者内訳　農業委員21人、事務局職員6人

(2)　加入状況　（単位：人）

通常加入	政策支援加入
75（内新規加入者4）	15（内新規加入者0）

(3)　年金受給者数

641人

10　家族経営協定の啓発推進

意欲ある担い手を育成するとともに、農業経営の体質強化を進める取組の一つとして、農業委員による家族経営協定の普及推進に取り組んでおり、今年度は11月22日(火)農業委員会総会にあわせ研修会を実施し、委員全員の協定締結を目指した。また過去に協定を結んだ家族に対し見直しを勧める等、積極的に啓発を推進した。

・家族経営協定数　（単位：件）

地　区　名	令和４年度末	令和５年度末	令和６年度末
栃木地区	129	129	134
大平地区	70	72	75
藤岡地区	49	49	50
都賀地区	39	40	40
西方地区	65	65	65
岩舟地区	69	69	74
合　　計	421	424	438

11　相続税・贈与税の納税猶予に関する適格者証明

件数	田　（㎡）	畑　（㎡）	計　（㎡）
1	23,538.25	907.00	24,445.25

12　農業経営基盤強化促進法に基づく事務処理状況

利用権設定等促進事業に係る農用地利用集積計画を総会で決定し、市に要請した。

(1)　利用権の設定関係

月区分	件数	田　（㎡）	畑　（㎡）	計　（㎡）
4	137	568,032.00	23,710.00	591,742.00
5	121	551,202.52	26,589.00	577,791.52
6	51	160,341.52	6,848.00	167,189.52
7	32	118,604.00	9,281.00	127,885.00
8	33	95,021.69	1,293.00	96.314.69
9	47	218,401.30	9,431.00	227,832.30
10	64	350,422.06	2,573.00	352,995.06
11	190	734,857.00	104,803.19	839,660.19
12	295	1,198,384.27	72,674.30	1,271,058.57
1	147	665,651.00	13,881.00	679,532.00
2	154	757,830.37	16,520.76	774,351.13
3	164	758,593.91	10,114.00	768,707.91
計	1,436	6,179,649.64	297,718.25	6,477,367.89

(2)　所有権の移転関係

月区分	件数	田　（㎡）	畑　（㎡）	計　（㎡）
4	2	1,163.00	11,108.00	12,271.00
5	2	13,383.00	－	13,383.00
6	4	19,497.00	－	19,497.00

7	1	2,023.00	−	2,023.00
8	0	−	−	−
9	4	24,606.00	−	24,606.00
10	2	3,627.00	−	3,627.00
11	1	3,995.00	−	3,995.00
12	0	−	−	−
1	1	6,713.00	−	6,713.00
2	0	−	−	−
3	2	9,374.00	−	9,374.00
計	19	84,381.00	11,108.00	95,489.00

13　国有農地の管理事務

国有農地の管理、処分、対価の徴収及び登記事務の推進に努めた。

区　　分	筆数(筆)	面積（㎡）
農耕貸付	11	4,677
転用貸付	9	2,739
未 貸 付	32	7,936
合　　計	52	15,352

14　農地銀行活動事業

効率的かつ安定的な「育成すべき農業経営体」への農用地の利用集積を促進するため、農用地の有効利用と流動化等の調整を行った。（通年）

・利用権設定に結びつけたもの　1,436 件　6,477,367.89 ㎡

農地調整係

1　農地法関係処理状況

(1)　農地法第3条関係

ア　法第3条許可（農地の耕作権の設定・所有権の移転）

月区分	件数	田　（㎡）	畑　（㎡）	計　（㎡）
4	9	20,350.30	3,214.00	23,564.30
5	8	30,831.00	595.00	31,426.00
6	8	12,763.00	867.00	13,630.00
7	5	7,515.00	555.00	8,070.00
8	9	23,605.00	1,881.00	25,486.00
9	12	9,584.91	1,018.00	10,602.91
10	11	30,043.00	9,276.00	39,319.00

11	9	22,270.00	5,143.00	27,413.00
12	17	32,685.00	2,016.00	34,701.00
1	7	24,606.00	3,681.00	28,287.00
2	12	52,582.00	4,326.00	56,908.00
3	8	6,033.00	12,558.00	18,591.00
計	115	272,868.21	45,130.00	317,998.21

(2)　農地法第4・5条許可

ア　法第4条許可（市街化区域外の自己農地転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	1	−	984.00	984.00
5	1	−	328.00	328.00
9	3	4,673.00	642.00	5,315.00
10	2	−	1,110.00	1,100.00
11	1	3,115.25	−	3,115.25
1	2	1.09	0.09	1.18
2	1	−	241.00	241.00
3	3	298.00	528.97	826.97
計	14	8,087.34	3,834.06	11,921.40

イ　法第5条許可（市街化区域外の権利の設定・移転を伴う農地転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	7	9,746.00	1,728.00	11,474.00
5	5	5,415.27	2,340.00	7,755.27
6	4	1,853.00	−	1,853.00
7	9	1,205.00	2,531.00	3,736.00
8	11	30,204.00	6,851.00	37,055.00
9	17	5,834.24	6,010.00	11,844.24
10	7	7,356.24	1,772.00	9,128.24
11	9	2,171.00	4,596.00	6,767.00
12	7	2,006.00	3,004.78	5,010.78
1	5	3,428.00	632.00	4,060.00
2	14	44,070.00	36,918.00	80,988.00
3	9	3,262.00	3,162.00	6,424.00
計	114	116,550.75	69,544.78	186,095.53

(3)　農地法第4・5条届出

ア　法第4条届出（市街化区域内の自己農地転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
5	3	2,448.00	−	2,448.00
6	6	1,999.00	1,509.00	3,508.00

7	3	−	1,750.00	1,750.00
8	4	−	1,921.00	1,921.00
9	1	928.00	−	928.00
10	5	1,112.00	1,596.00	2,708.00
11	2	1,029.00	−	1,029.00
12	5	2,043.00	1,210.00	3,253.00
1	1	−	553.00	553.00
2	4	1,303.00	250.00	1,553.00
3	1	−	360.00	360.00
計	35	10,862.00	9,149.00	20,011.00

イ　法第5条届出（市街化区域内の権利の設定・移転を伴う農地転用）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	13	4,466.41	2,588.69	7,055.10
5	21	13,948.17	3,383.98	17,332.15
6	23	8,046.00	9,818.00	17,864.00
7	14	3,748.01	5,133.86	8,881.87
8	18	3,179.95	5,744.95	8,924.90
9	9	3,333.00	3,501.64	6,834.64
10	26	15,161.35	6,276.32	21,437.67
11	20	6,144.00	7,995.05	14,139.05
12	9	265.00	12,225.00	12,490.00
1	16	5,789.88	32,037.79	37,827.67
2	24	17,683.90	3,628.07	21,311.97
3	23	15,083.52	41,250.59	56,334.11
計	216	96,849.19	133,583.94	230,433.13

(4)　農地法第18条関係（合意解約通知）

月区分	件数	田　(㎡)	畑　(㎡)	計　(㎡)
4	13	69,781.00	8,315.00	78,096.00
5	33	166,313.00	3,288.00	169,601.00
6	11	29,938.70	1,527.00	31,465.70
7	11	22,841.84	99.00	22,940.84
8	12	45,479.38	3,528.00	49,007.38
9	33	83,819.00	247.00	84,066.00
10	21	92,962.14	2,008.00	94,970.14
11	32	158,924.00	3,655.00	162,579.00
12	35	102,888.00	1,748.00	104,636.00
1	52	237,753.00	12,900.00	250,653.00
2	29	112,075.00	11,789.00	123,864.00

3	29	170,131.00	11,996.00	182,127.00
計	311	1,292,906.06	61,100.00	1,354,006.06

(5) 非農地証明

月区分	件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
4	1	1,011.00	3,334.00	4,345.00
6	2	-	598.00	598.00
7	4	2,862.97	2,623.49	5,486.46
8	5	333.00	1,556.00	1,889.00
9	2	1,502.00	-	1,502.00
10	2	26.14	78.00	104.14
11	5	1,218.00	769.76	1,987.76
12	4	241.00	1,177.40	1,418.40
1	1	-	144.00	144.00
2	6	1,625.00	2,069.00	3,694.00
3	3	1.72	93.00	94.72
計	35	8,820.83	12,442.65	21,263.48

(6) 農業振興地域整備計画の変更協議

件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
20	23,486.07	2,607.98	26,094.05

(7) 空き家に付属した農地

件数	田 (㎡)	畑 (㎡)	計 (㎡)
5	436.00	3,317.00	3,753.00

2 耕作放棄地解消対策事業

耕作放棄地解消対策のため、耕作放棄地の実態把握と解消促進に努めた。

(1) 栃木市耕作放棄地対策協議会総会

・実施日 11月15日（金）

・場 所 書面表決により実施

(2) 農地利用状況調査

農地利用最適化推進委員の担当区域ごとに現地調査を実施。

・実施時期 7月～8月

・耕作放棄地面積 105.4ha